土　木　学　会　認　定　C　P　D　プ　ロ　グ　ラ　ム

土木学会
平成28年度全国大会 案内

Japan Society of Civil Engineers 2016 Annual Meeting

大会テーマ

復興、そして創生へ
～土木の力で地域を元気に～

日時：平成28年9月7日（水）～ 9日（金）
会場：東北大学川内北キャンパス・仙台国際センター・ホテルメトロポリタン仙台
主催：公益社団法人　土木学会
共催：東北大学大学院工学研究科

全国大会情報

http://www.jsce.or.jp/taikai2016/

QRコード

本付録の掲載情報は、2016年7月31日現在のものです。
掲載情報が変更になっている場合もございますので、ホームページも合わせてご確認ください。

平成28年度全国大会参加者へのアンケートご協力のお願い

http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/node/111

QRコード

全国大会参加者へのサービス向上と運営の効率化のため、
アンケートへのご協力をお願いいたします。
（2016年９月30日までにご回答ください）

NIPPON KOEI

ささえる、つなげる、みんなでつくる。

世界の人々が、より豊かに、いきいきと、安心して暮らせる社会の実現を目指して、
世の中の仕組みを支え、つなぐためのすべてを、私たちはこれからもつくり続けます。
知恵と技の集合体、私たちは日本工営です。

おかげさまで70周年。

日本工営株式会社

http://www.n-koei.co.jp/

土木学会全国大会 JSCE TOHOKU 2016

「土木学会全国大会案内」

日時：平成28年9月7日（水）～9日（金）　会場：東北大学川内北キャンパス・仙台国際センター・ホテルメトロポリタン仙台

大会テーマ 「復興、そして創生へ ～土木の力で地域を元気に～」

CONTENTS

◆挨拶・講師等のプロフィール

土木学会平成28年度全国大会を迎えて …… 3
基調講演会講師の紹介 …… 4
特別講演会講師の紹介 …… 5
全体討論会の趣旨と講師の紹介 …… 6

◆全国大会会場案内・大会行事

会場所在地・アクセス …… 8
東北大学川内北キャンパス会場図 …… 9
大会スケジュール …… 10

◆行事案内

（１）基調講演会 …… 11
（２）特別講演会 …… 11
（３）全体討論会 …… 11
（４）第71回年次学術講演会 …… 12
（５）研究討論会 …… 12
（６）交流会 …… 12
（７）International Program（国際関連行事） …… 12
（８）映画会 …… 13
（９）パネル展示 …… 14
（10）見学会 …… 15
（11）アンサンブルシヴィル演奏 …… 15
（12）熊本地震報告会 …… 15
（13）リレー講演会 …… 15
東北大学川内北キャンパス会場でのインターネット接続 …… 16
年次学術講演会講演要領 …… 16
演題発表に関わる注意事項[重要] …… 17
ウィルス対策について …… 18
年次学術講演会優秀講演者表彰制度について …… 19

◆研究討論会等内容紹介

研究討論会一覧 …… 20

◆第71回年次学術講演会プログラム

第71回年次学術講演会会場および座長（予定者）一覧表 …… 26
第Ⅰ部門 …… 28
第Ⅱ部門 …… 40
第Ⅲ部門 …… 44
第Ⅳ部門 …… 53
第Ⅴ部門 …… 56
第Ⅵ部門 …… 69
第Ⅶ部門 …… 86
共通セッション …… 89

挨拶　土木学会平成28年度全国大会を迎えて

「復興、そして創生へ ～土木の力で地域を元気に～」

川瀧 弘之　KAWATAKI Hiroyuki
平成28年度土木学会全国大会実行委員長
国土交通省東北地方整備局長

平成28年度土木学会全国大会を、9月7日（水）から9日（金）までの3日間、杜の都・仙台の東北大学川内北キャンパスを主会場として開催いたします。

東北での開催は平成20年に開催して以来8年ぶりとなりますが、先の東日本大震災から5年半の節目に、被災地でもある仙台で開催される大会になります。

今回の大会テーマは、「復興、そして創生へ～土木の力で地域を元気に～」です。

皆様のご支援、ご指導もあり、インフラの復旧、復興は順調に進捗してきています。一方、震災直後からこれまでの間、様々な課題、教訓もあきらかになってきており、大会では、被災地域の「今」と「これから」について、各方面から発表が予定されています。

大会1年前の昨年9月には関東・東北豪雨もありました。また、この4月には熊本地震が発生し、ともに、前例のない大きな災害が発生、両災害についても各種発表が予定されています。

一方で、東北は人口減少や高齢化が、大震災の影響もあり、全国で最も進んでいる地域でもあります。被災地においては、新しいまちづくり等「新しい東北を創る」先進的な取り組みが進められており、被災地以外の東北各地域においても土木・インフラを活用した地方創生のチャレンジが見られますが、土木の力で地域が元気になるヒントが東北の地から発信できればと期待しています。

今大会のメイン会場となります東北大学も、東日本大震災では大きな被害を受けました。その後、被害を受けた施設の復旧が行われると共に、多くの施設のリニューアルも進められました。研究の面においては、震災の被災地域の中心にある総合大学として、土木工学のみならず他の工学分野、さらには医学・農学など幅広い分野において、被災地域の復興・創生に向けた多くの研究を活発に展開しています。また、昨年12月には、大学キャンパスを貫くようにして仙台市営地下鉄東西線が開通し、キャンパスは大変活気づいております。

メイン会場である「仙台国際センター」は、広瀬川と青葉山が俯瞰でき、5月に開催されたG7財務大臣会合の会場の一つにもなったコンベンションセンターです。近くには、仙台藩初代藩主伊達政宗が築造した仙台城跡やその霊屋瑞鳳殿などの貴重な史跡にも囲まれています。

全国大会では様々な行事を予定していますが、二日目、会長講演の後の特別講演会では、豊富な経験と知識を有するお二人の先生から土木に対する期待や使命についてお話しいただく予定です。全体討論会では、大会テーマを標榜し、前例のない社会環境・自然環境の変化や、近年めざましい進展を見せている新しい技術と土木との関わり方も含めて討論いただき、フレッシュな感覚で、全国各ブロックから参加いただく先生方に、土木界や学会のあるべき方向性について議論を深めていただきます。

交流会では、宮城県知事や仙台市長にも地元を代表して参加いただく予定で、美味しい地酒と地域のアトラクションでお迎えしたいと思います。

エクスカーションでは、東日本大震災の被災地の復旧・復興の今を視察いただいたり、8年前の宮城・岩手内陸地震の復興後の状況の視察も企画しております。

映画会では、本部映像委員会のプログラムに支部選定の映像を加えて、より多くの市民に来て頂くプログラムを編成することとしております。

今大会の新企画として、一般の皆様も対象に、我が国の土木のビッグプロジェクトや旬なテーマについて、わかりやすく、第一人者に報告いただくリレー講演会も実施することとしています。東京外環、JRリニア、リニアコライダー、広報戦略など6講座程度を予定しています。

大会成功に向けて現在東北支部では総力をあげて準備中です。ここ仙台の地に多くの会員にご参加いただき、また、一般の市民の皆さんにもご参加いただき、活発な議論・交流が行われ、土木界・土木学会が地域とともに歩み、発展することを祈念いたしまして土木学会全国大会仙台の開催にあたっての挨拶とさせていただきます。

講演会・討論会概要、講師紹介

■ 基調講演会 — 会長講演

9月8日（木） 13:00 ～ 13:30　仙台国際センター

第104代土木学会会長

田代 民治　TASHIRO Tamiharu

鹿島建設株式会社 代表取締役副社長執行役員

学会歴

昭和58年12月　土木学会入会
昭和60年 6月　岩盤力学委員会 ダム小委員会
平成14年 4月　フェロー会員
平成22年 6月　理事
平成23年 6月　副会長
平成27年 6月　次期会長
平成28年 6月　会長

学歴・職歴

昭和46年 6月　東京大学工学部土木工学科 卒業
昭和46年 7月　鹿島建設株式会社 入社
平成06年 1月　宮ヶ瀬ダム本体JV工事事務所長
平成17年 6月　執行役員東京土木支店長
平成22年 6月　代表取締役副社長執行役員土木管理本部長
平成23年 4月　代表取締役副社長執行役員
平成28年 3月　東京大学 博士（工学）

講演題目：次世代に繋ぐ生産現場のイノベーション

一昨年、土木学会は創立100周年を迎えました。長期目標として、社会と土木の100年ビジョン「あらゆる境界をひらき、持続可能な社会の礎を築く」が宣言され、100年後も我々を取り巻く環境は種々変化したとしても、「人々の暮らしの安全を守り豊かにする」という土木技術者の役割は変わらないと謳われています。東日本大震災からの復興・創生、また、本年4月に発生した熊本地震など、まさに多発する災害に対応した強靭な国土の建設、老朽化しつつある社会資本の維持管理・更新、エネルギーの安定供給、地球温暖化への対応、我が国の先端土木技術による国際貢献など、様々な役割が土木界・土木技術者に期待されています。

一方、社会状況は高齢化社会の到来により、生産年齢人口の減少は顕著化・長期化しており、特に我々土木界では技術者や技能者の確保は喫緊の課題であります。建設現場の就労環境は、3K（きつい、危険、きたない）に加え、給料が安い、休暇が少ないなど5Kとも言われています。他産業より低いとされる労働生産性を向上させて、現場の安全はもとより、休日、安定収入の確保を図り、土木を若者や女性に選ばれる職業に変えていかなければ、早晩、土木界が社会から求められる役割を果たすことが難しくなると懸念されます。

今までも土木学会は「自然災害に強いしなやかな国土の創出のために」「これからの社会を担う土木技術者に向けて」「誰がこれを造ったのか―社会への責任、そして次世代へのメッセージ―」など時代の変化を先取りした様々な活動・提言

を行ってきました。今まさに、土木の原点である生産現場に目を向け、生産性、安全性、信頼性の向上を図り、女性等の参画も含めた担い手確保を目指す活動が求められています。

本年4月、会長特別タスクフォース「現場イノベーションプロジェクト〜次世代に繋ぐ生産現場のあり方〜」を立ち上げました。国土交通省も建設現場の生産性を抜本的に向上させる「i-Construction」を展開しています。また、日本建設業連合会も生産性向上推進本部を立ち上げ、対応を始めています。土木学会は、これらの活動と連携し、学会の特徴である学術的な面（基準・設計、教育等）から、こうした土木界の取り組みをさらに加速させていきます。

土木学会では数々の素晴らしい委員会が日々活動していますが、本タスクフォースでは、テーマに関連の深い10の委員会の参画の下、委員会を横断する3つのワーキンググループを構成し、活動しています。それぞれ、“コンクリート構造物の生産性・安全性向上技術（プレキャスト化等）の導入促進”、“ICT・ロボット等、次世代建設技術の実用化・普及を支える研究・教育の拡充”、“女性や若手、シニアを含めた担い手の確保、土木界の裾野拡大”について検討し、具体的なアクションにつなげていくことを目指しています。

私は、ダム工事を主とした約30年の現場勤務の中で、コンクリートダムの合理化施工や高速施工に取り組むとともに、3次元CADシステムの現場への適用などに携わりました。また、現場を離れ、管理部門に移ってからも、現場の様々な取組みを後押ししてきました。土木学会会長としても、次の100年の土木、そして、その原点である生産現場に目を向け、異分野を含めた新たな技術や合理的な発想も積極的に取り入れながら、若者や女性、高齢者など、皆が安全で、生き生きと働くことができる、新しい生産現場のあり方を皆様と一緒に検討して、その第一歩を歩み出したいと考えています。このようなモノづくりの現場に密着した学会活動を推進すること、また生産現場により近い人たちにも学会活動の裾野を広げることは、社会と土木の100年ビジョンを宣言した土木学会の使命であると思っています。

■ 特別講演 1

9月8日（木）13:40 〜 14:40　仙台国際センター

橋本 五郎　HASHIMOTO Goro
読売新聞 特別編集委員

1946年12月、秋田県琴丘町（現三種町）生まれ。1970年慶應義塾大学法学部政治学科を卒業後、読売新聞社入社。同社浜松支局、本社社会部、政治部を経て、1994年論説委員、1997年政治部長、1998年編集局次長、2001年読売新聞編集委員、2006年12月より現職。この間、日本テレビキャスター、NHK中央放送番組審議会委員、東日本大震災復興構想会議委員などを歴任。2014年には日本記者クラブ賞受賞。『総理の器量』（中公新書ラクレ、2012年）、『新聞の力』（労働調査会、2013年）、『総理の覚悟』（中公新書ラクレ、2014年）、『心に響く51の言葉』（中央公論新社、2016年）など著書多数。また、コメンテーターとして情報番組への出演も多数。

講演題目：日本の将来と東北の可能性

これからの日本の行方を占うとともに、東北のもつ潜在力は何なのかを考えながら、地方創生の真の意味を考えたい。

■ 特別講演 2

9月8日（木） 14:50 ～ 15:50 仙台国際センター

竹村 公太郎 TAKEMURA Koutarou
特定非営利活動法人日本水フォーラム 代表理事
リバーフロント研究所 研究参与

1945年生まれ、神奈川県出身、博士（工学）。昭和45年東北大学工学部土木工学科修士修了。同年建設省入省、宮ケ瀬ダム工事事務所長、中部地方建設局河川部長、近畿地方建設局長を経て国土交通省河川局長。2001年退職。一貫して河川、水資源、環境問題に従事。東北大学客員教授、首都大学東京客員教授。著書：『日本文明の謎を解く』『土地の文明』『幸運な文明』『日本史の謎は「地形」で解ける』（PHP文庫3部作）など多数。

講演題目：日本文明と土木 —前近代、近代そしてポスト近代—

文明は下部構造と上部構造で構成されている。下部構造（Infra Structure）は地形と気象の上に形成され、上部構造はその下部構造の上で花開いていく。下部構造は安全、食料、資源そして交流の要素で構成されていて、その要素の一つでも崩壊すると下部構造のみならず、文明全体が衰退し崩壊していく。

華やかな文明の上部構造の誕生と発展は、この下部構造によって支えられていた。

日本文明が奈良で誕生したのは、奈良盆地の自然のインフラで支えられていたからである。桓武天皇が奈良盆地を後にしたのは、その奈良盆地のインフラが崩壊したからだった。京都が一千年の都であり続けたのは、京都の地形インフラに因っていた。家康が江戸で開府したのは、関東の自然インフラの可能性を見出したからであった。平和な江戸時代、日本人は過酷な国土への挑戦に打ち勝ち、近代日本への準備を整えることとなった。

蒸気機関の黒船が来航して近代が開始された。化石エネルギーを得た日本は、激しい膨張の時代へ突入し、短時間に奇跡的といえる世界最先端の近代国家に躍り出ていった。

21世紀になり世界的な環境破壊、気候変動が人類を襲い出した。エネルギーを大量消費し、膨張し続ける近代文明の限界が露わになってきた。今のこの時期、日本はポスト近代の文明を模索し出した。

土木は、この古代から現代まで日本文明の下部構造を支えた。そして未来の日本文明の下部構造を再構築していくのも土木の役目となる。

■ 全体討論会

9月8日（木） 16:00 ～ 17:40 仙台国際センター

テーマ：地域を元気にする新しい発想と技術 —若手研究者が考える地域と土木の未来—

討論内容

土木はこれまで、国土の保全と拡大、そして産業と生活基盤の整備に大きな貢献をしてきた。しかし日本社会の成熟と人口減少期への転換を迎え、国民の価値観は物的な拡大や充足から、自然との共生や心の豊かさ、人々との絆へと移りつつある。特に5年前の東日本大震災と原発事故は、人間と自然の関係や技術のあり方に大きな疑問を投げかけた。人口増加に追いつくための量的な拡大から、風土を生かした豊かさを実感できる地域づくりへの土木技術の転換のために、既存の価値観に囚われない自由な視点、新しい発想が求められる。この討論会では、各地域で活躍している新進気鋭の研究者に、新しい技術の活用例や先進的な取り組みの紹介をしていただき、豊かで元気な地域づくりへの土木の貢献の方向性を議論したい。

全体討論会講師の紹介：

［コーディネーター］ **奥村 誠** OKUMURA Makoto

東北大学 災害科学国際研究所 副所長・教授

1962年京都市生まれ。京都大学工学部卒業後、同大学院工学研究科修了。京都大学工学部助手、講師、広島大学工学部助教授を経て、2006年から東北大学東北アジア研究センター教授。2012年から同大学に新設された災害科学国際研究所で人間・社会対応研究部門被災地支援研究分野を担当し、東北アジア研究センター、大学院工学研究科土木工学専攻を兼務。統計モデル、最適化を活用し、都市間交通計画や低密度地域の交通、資源政策、災害対応に関する研究に従事している。

［パネリスト］ **佐川 康貴** SAGAWA Yasutaka

九州大学 大学院工学研究院 准教授

1976年愛媛県生まれ。1998年九州大学工学部建設都市工学科卒業、2000年同大学院修士課程修了。2000年4月より同大学院工学研究院建設デザイン部門助手、2007年3月博士（工学）の学位を取得。2010年10月より同部門（現 社会基盤部門）准教授、現在に至る。専門はコンクリート工学。コンクリート分野におけるリサイクルや構造物の耐久性に関する研究に従事。最近は、（一社）九州橋梁・構造工学研究会（KABSE）「ツタワルドボク研究分科会」のメンバーとして土木の魅力をアピールする活動にも力を入れている。

［パネリスト］ **高橋 良和** TAKAHASHI Yoshikazu

京都大学大学院 工学研究科 准教授

1970年生まれ。博士（工学）。1994年京都大学工学部土木工学科卒業。1996年京都大学工学部助手、2003年から一年間カリフォルニア大学バークレー校に留学後、2006年京都大学防災研究所准教授を経て2014年より現職。専門は土木耐震工学。2010年より日本学術会議若手アカデミーの創設に従事し、2014年より日本学術会議連携会員。専門における研究に加え、社会と土木との新しい接点を模索すべく、2010年より「どぼくカフェ」を立ち上げ、2014年土木学会創立100周年記念事業「どぼくカフェ」へと展開。

［パネリスト］ **谷口 綾子** TANIGUCHI Ayako

筑波大学大学院 システム情報工学科 准教授

北海道大学土木工学科卒業、同大大学院都市環境工学専攻博士後期課程修了（2003）。建設コンサルタント、日本学術振興会特別研究員（PD、東京工業大学）、筑波大学講師、カールスタッド大学客員研究員等を経て、2013年より現職。専門は都市交通計画、態度・行動変容研究、リスク・コミュニケーション等。『モビリティ・マネジメント入門』（共著、学芸出版社、2008）にて交通図書賞受賞。国土交通省交通政策審議会環境部会、運輸審議会運輸安全マネジメント部会等の専門委員を歴任。現在は心理学の知見を活かし、健康になれる交通まちづくり、コミュニケーション活性化と交通安全等に取り組む。

［パネリスト］ **知花 武佳** CHIBANA Takeyoshi

東京大学大学院 工学系研究科 准教授

1975年10月兵庫県生まれ。1998年3月に東京大学工学部土木工学科を卒業後、同大学院修士課程、博士課程を修了。博士（工学）（2003年）。その後同大学院工学系研究科にて、研究員、助手、講師を経て、2010年11月より現職。研究課題は河川生物の生息場評価、河川地形の形成過程解明、河川流域の地域特性解明、など。河川およびその流域環境に関わる様々な課題を扱っており、近年は中山間地の集落が抱える問題にも取り組んでいる。現地調査とその考察を重視しており、日本の一級河川はすべて源流近くから河口まで自家用車で視察している。

［パネリスト］ **原 忠** HARA Tadashi

高知大学 教育研究部自然科学系 教授、防災推進センター 副センター長

1999年中央大学大学院理工学研究科修了。建設コンサルタント、中央大学理工学部助手、和歌山工業高等専門学校准教授を経て、2010年高知大学教育研究部自然科学系准教授、2014年同教授、2015年高知大学総合研究センター防災部門長、2016年2月より現職。専門は地盤工学、地盤耐震工学。四国南海トラフ地震対策戦略会議、国土交通省四国地方整備局災害に強いまちづくり検討会、高知港における地震津波防護の対策検討会議、高知県南海トラフ地震対策推進本部アドバイザー、高知県燃料タンク対策協議会アドバイザー、高知県地震・津波防災技術検討会などの委員を務める。

会場・行事案内

■ 会場所在地・アクセス

東北大学川内北キャンパス（第71回年次学術講演会、研究討論会）　〒980-8579　仙台市青葉区川内41

仙台国際センター（特別講演会・全体討論会）　〒980-0856　仙台市青葉区青葉山無番地

◇JR仙台駅から

地下鉄東西線「八木山動物公園」行きに乗車。

東北大学川内北キャンパスへは、川内駅にて下車。

仙台国際センターへは、国際センター駅にて下車。

所要時間約5～10分。

※東北大学川内北キャンパスと仙台国際センターの間は、徒歩10分程度（約700m）。

◇仙台空港から

仙台空港アクセス線「仙台」行きで、JR仙台駅へ（所要時間約25分）。

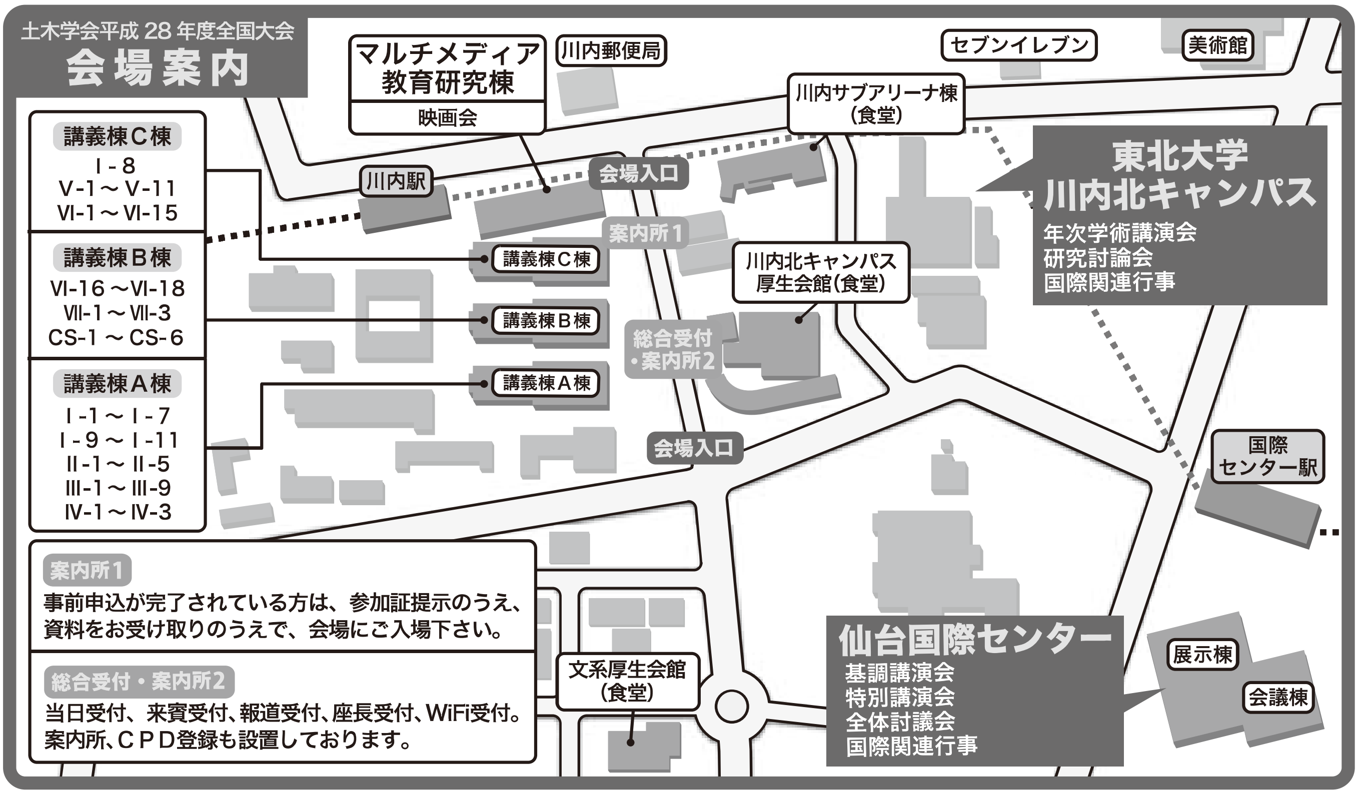
仙台駅から上記地下鉄東西線を利用。

ホテルメトロポリタン仙台（交流会）　〒980-8477　仙台市青葉区中央1-1-1

JR仙台駅西口南側に隣接。

※地下鉄・バスでは、仙台市交通局発行のICカード icsca（イクスカ）に加え、Suica（モバイル含む）やSuicaと相互利用している他の交通系ICカード（PASMO、Kitaca、TOICA、manaca（マナカ）、ICOCA、PiTaPa、SUGOCA、nimoca、はやかけん）も利用可能です。また、地下鉄乗車の際に切符を購入される場合は、時間帯によっては会場最寄り駅の券売機が大会参加者で混雑することも予想されます。帰りの切符を事前購入することなどについてもご検討ください。

■東北大学川内北キャンパス会場図



■大会スケジュール

Time axis: 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00

日程	会場	場所	プログラム
第1日目 9月7日（水）	東北大学川内北キャンパス	講義棟A・B・C	受付開始／年次学術講演会①（80min）／年次学術講演会②（80min）／研究討論会①（120min）／年次学術講演会③（80min）／年次学術講演会④（80min）
			国際関連行事：The18th International Summer Symposium／国際関連行事：ネットワーキングレセプション（キッチンテラスクルール）
		マルチメディア棟	支部主催 映画会(アニメ)／本部映像委員会主催 映画会（H26年度コンクール＆川と橋の特集）
	仙台国際センター	展示棟	国際関連行事 海外支部会議／（リレー講演）挨拶／リニア新幹線／ILCと地方創生／国交省広報 イノベーション／相馬LNG基地建設／東京外かく環状道路／観光立国推進
		会議棟	国際関連行事：International Roundtable Meeting
			国際関連行事：International Workshop for Young Engineers
			国際関連行事：Future Contribution to the Development of Infrastructure in Developing Countries
	エクスカーション		② 震災復興ツアー半日コースA（SS仙台国際センター駅→山元町 →岩沼→荒浜→SS荒井駅交流館）
	市民参加行事		「仙台の土木遺産をめぐる」（SS仙台国際センター駅→澱橋→四ツ谷用水→牛越橋→三居沢発電所→SS仙台国際センター駅）／意見交換会
	JR仙台駅	2Fコンコース	パネル展示 （震災復興関連・土木コレクション）
	サンモール一番町商店街	シリウス一番町前	パネル展示 （土木コレクション）
	地下鉄東西線国際センター駅	多目的スペース	パネル展示 （土木コレクション関連）
			「ドボっこ杜のカフェ」
第2日目 9月8日（木）	東北大学川内北キャンパス	講義棟A・B・C	受付開始／年次学術講演会⑤（80min）／年次学術講演会⑥（80min）
			国際関連行事：The18th International Summer Symposium
		マルチメディア棟	本部映像委員会主催 映画会（みちのくの明日を拓く〜鉄道編〜）
	仙台国際センター	展示棟	熊本地震報告会
		会議棟	演奏／基調講演／特別講演（橋本五郎氏）／特別講演（竹村公太郎氏）／全体討論会
	ホテルメトロポリタン仙台	千代の間	交流会
	国際関連行事テクニカルツアー		海外ゲスト対象（ホテルメトロポリタン仙台〜女川〜瑞巌寺〜仙台市津波避難施設〜東北大学災害科学国際研究所〜ホテルメトロポリタン仙台）
			留学生・サマーシンポジウム対象（東北大学災害科学国際研究所〜仙台市津波避難施設〜玉浦西災害公営住宅〜千年希望の丘〜仙台空港〜閖上魚市場・旧荒浜小学校〜ホテルメトロポリタン仙台）
	JR仙台駅	2Fコンコース	パネル展示 （震災復興関連・土木コレクション）
	サンモール一番町商店街	シリウス一番町前	パネル展示 （土木コレクション）
		一番町中央ビル	演奏
	地下鉄東西線国際センター駅	多目的スペース	パネル展示 （土木コレクション関連）
			「ドボっこ杜のカフェ」
第3日目 9月9日（金）	東北大学川内北キャンパス	講義棟A・B・C	受付開始／年次学術講演会⑦（80min）／年次学術講演会⑧（80min）／研究討論会②（120min）／年次学術講演会⑨（80min）
		講義棟A205	高校生シンポジウム
		マルチメディア棟	本部映像委員会主催 映画会（震災と復興に向けた取組み）／支部主催 映画会(アニメ)／支部主催 映画会(アニメ)
		講義棟B2F（大会本部）	大会総括記者会見
	エクスカーション		① 土木遺産ツアー（JR仙台駅東口→鳴子ダム→はなやま→栗駒山麓ジオパーク→JR仙台駅東口）
			② 震災復興ツアー半日コースB（JR仙台駅東口→山元町→岩沼→荒浜→SS荒井駅交流館）
			③ 震災復興ツアー1日コース（JR仙台駅東口→南三陸町防災庁舎→BRTバス停、さんさん商店街 →石ノ森漫画館→野蒜駅→SS荒井駅）
	市民参加行事		「仙台の土木遺産をめぐる」（SS仙台国際センター駅→澱橋→四ツ谷用水→牛越橋→三居沢発電所→SS仙台国際センター駅）／意見交換会
	東北大学災害科学国際研究所の見学会		受付／見学会（1回目）／見学会（2回目）
	JR仙台駅	2Fコンコース	パネル展示 （震災復興関連・土木コレクション）
	サンモール一番町商店街	シリウス一番町前	パネル展示 （土木コレクション）
	地下鉄東西線国際センター駅	多目的スペース	パネル展示 （土木コレクション関連）
			「ドボっこ杜のカフェ」

■行事案内

（１）基調講演会

9月8日（木）13:00 ～ 13:30　仙台国際センター

会長講演「次世代に繋ぐ生産現場のイノベーション」

土木学会 会長　田代 民治（鹿島建設代表取締役副社長執行役員）

【会　場】仙台国際センター会議棟大ホール

【入場料】無料（一般参加可能）

（２）特別講演会

9月8日（木）13:40 ～ 15:50　仙台国際センター

特別講演「日本の将来と東北の可能性」

読売新聞 特別編集委員　橋本 五郎

特別講演「日本文明と土木 ―前近代、近代そしてポスト近代―」

特定非営利活動法人日本水フォーラム　代表理事、リバーフロント研究所　研究参与　竹村 公太郎

【会　場】仙台国際センター会議棟大ホール

【入場料】無料（一般参加可能）

（３）全体討論会

9月8日（木）16:00 ～ 17:40　仙台国際センター

テーマ「地域を元気にする新しい発想と技術 ～若手研究者が考える地域と土木の未来～」

［コーディネーター］　奥村 誠　東北大学災害科学国際研究所副所長・教授

［パ　ネ　リ　ス　ト］　佐川 康貴　九州大学大学院工学研究院准教授

高橋 良和　京都大学大学院工学研究科准教授

谷口 綾子　筑波大学大学院システム情報工学科准教授

知花 武佳　東京大学大学院工学系研究科准教授

原 忠　高知大学教育研究部自然科学系教授、防災推進センター副センター長

【会　場】仙台国際センター会議棟大ホール

【入場料】無料（一般参加可能）

（４）第71回年次学術講演会

9月7日（水）～9日（金）　東北大学川内北キャンパス

9月7日（水）	9:00 ～ 10:20、	10:40 ～ 12:00、	15:20 ～ 16:40、	17:00 ～ 18:20
9月8日（木）	9:00 ～ 10:20、	10:40 ～ 12:00		
9月9日（金）	9:00 ～ 10:20、	10:40 ～ 12:00、	15:20 ～ 16:40	

（５）研究討論会

9月7日（水）、9日（金）　東北大学川内北キャンパス

9月7日（水）	13:00 ～ 15:00
9月9日（金）	13:00 ～ 15:00

（６）交流会

9月8日（木）18:30 ～ 20:00　ホテルメトロポリタン仙台

【会　場】ホテルメトロポリタン仙台　４階「千代」

【参加費】事前申込み：（一般）6,000円、（学生）2,000円〔事前申込み期日：8月31日〕

当日申込み：（一般）7,000円、（学生）2,000円

※申し込みは大会情報ホームページ（交流会）をご覧ください。

大会情報ホームページ（交流会）：http://www.jsce.or.jp/taikai2016/kouryuukai.html

（７）International Program（国際関連行事）

Sept. 7（Wed）— 8（Thu）Tohoku University Kawauchi-Kita Campus & Sendai International Center

9月7日（水）～ 8日（木）　東北大学川内北キャンパス、仙台国際センター

JSCE Annual Meeting International Program focuses on current issues and challenges facing the civil engineering profession. Please take this opportunity to share ideas and opinions with engineering professionals from around the world.

国際関連行事として、期間中に英語による以下の行事を実施いたします。ふるってご参加ください。

1）International Roundtable Meeting（ラウンドテーブルミーティング）

Topic：Expectations for CIM（BIM for Infrastructure）in Innovation of Construction Production Systems（建設生産システムの変革に向けたCIMへの期待）

Date：September 7（Wed）

Time：14:00 ～ 17:00

Venue：Shirakashi Conference Room, Conference Bldg. 3F, Sendai International Center

（仙台国際センター会議棟3F、白橿1）

2) The 18th International Summer Symposium（第18回インターナショナルサマーシンポジウム）

Date：September 7（Wed）― 8（Thu）

Time：9:00 ～ 12:00

Venue：B Bldg.－Room B200 & B201, Tohoku University Kawauchi-Kita Campus

（東北大学川内北キャンパス B棟, B200教室およびB201教室）

3) International Workshop for Young Engineers（国際若手技術者ワークショップ）

Topic：The "Miracle" of Kamaishi- The Solution that Achieved the Miracle

Date：September 7（Wed）

Time：13:30 ～ 17:30

Venue：Meeting Room 4, Exhibition Bldg. 2F, Sendai International Center

（仙台国際センター展示棟2F, 会議室４）

4) 国際センター & 建設マネジメント委員会共催　特別討論会

Topic：「これからの国際貢献について」"Future Contribution to the Development of Infrastructure in Developing Countries"

Date：September 7（Wed）

Time：10:40 ～ 12:40

Venue：Room Hagi, Conference Bldg., 2F, Sendai International Center (仙台国際センター会議棟2F, 萩）

Language：Japanese、English

For further details, please visit the JSCE－IAC website: http://committees.jsce.or.jp/kokusai/

詳細については、土木学会国際センターのホームページをご覧ください。

（８）映画会

9月7日（水）～ 9日（金）　東北大学川内北キャンパス

【会　場】東北大学川内北キャンパス　マルチメディア棟

【入場料】無料（一般参加可能）

【プログラム１】

主　催：土木学会土木技術映像委員会

9月7日（水）　平成26年度土木学会映画コンクール ＆ 川と橋の特集

13:00 ～　開会挨拶　土木技術映像委員会委員長　大野春雄

13:05 ～　技術を継ぐ ～東京ゲートブリッジ橋梁上部築造工事記録～（25分）

13:30 ～　余部橋りょう　さらなる100年へ（20分）

13:50 ～　「勝鬨橋」復刻版を含む解説映像（27分）

14:17 ～　復刻版「北上川」～先人たちの復興の努力を綴る記録映画～（37分）

14:54 ～　休憩（6分）

15:00 ～　迫り来る南海トラフ巨大地震に備えて（25分）

15:25 ～　広域的なネットワークの形成に向けて（22分）

15:47 ～　調布駅付近連続立体交差事業（15分）

16:02 ～　夢は世界をかけめぐる（21分）

16:23　第1日目　終了

9月8日（木）　特集　みちのくの明日を拓く ～鉄道編～

10:00 ～　挨拶　土木技術映像委員会

10:03 ～　青函トンネル（47分）

10:50 ～　東北新幹線　岩手一戸トンネル　世界最長陸上トンネルに挑む（31分）

11:21 ～　杜の都の地下鉄 ～仙台地下鉄南北線建設記録～（22分）

11:43 ～　ＳＴＡＲＴ 2015.12.06 ～仙台地下鉄東西線～（12分）

11:55　第2日目　終了

9月9日（金）　特集　震災と復興に向けた取組み

10:40 ～　挨拶　土木技術映像委員会

10:43 ～　「三陸の奇跡」と「命の道」（6分）

10:49 ～　東日本大震災、現場の戦い（50分）

11:43 ～　昭和14年秋田県男鹿地方地震の被害（17分）

12:00　第3日目　終了

【プログラム２】

主　催：土木学会東北支部全国大会実行委員会

9月7日（水）　10:30 ～ 11:30
9月9日（金）　13:00 ～ 14:00　アニメーション映画「未来に向けて～防災を考える～」

9月9日（金）　14:00 ～ 15:30　アニメーション映画「パッテンライ‼　南の島の水ものがたり」

（９）パネル展示　9月7日（水）～ 9日（金）　JR仙台駅2階コンコース サンモール一番町商店街 地下鉄東西線国際センター駅多目的スペース

主催：土木学会東北支部全国大会実行委員会

　土木学会平成28年度全国大会テーマ「復興、そして創生へ　～土木の力で地域を元気に～」のもと、「震災からの復興」「土木コレクション」の２テーマに関するパネル展示を行います。

【日　時】9月7日（水）～ 9日（金）9:00 ～ 19:00（会場によって時間差があります。詳しくは1-10を参照ください。）

【会　場】JR仙台駅2F コンコース、サンモール一番町商店街、地下鉄東西線国際センター駅多目的スペース

【入場料】無料（一般参加可能）

(10) 見学会

9月7日（水）、9日（金）

コース No.	コース名		日　時	参加費	定　員
①	土木遺産ツアー 1日コース 鳴子ダム、荒砥沢ダム		9月9日（金） 8:00～17:00	3,800円 昼食・保険・税込み	40名
②	震災復興ツアー半日コース 山下駅周辺 岩沼市千年希望の丘 仙台東部道路津波避難階段 3.11メモリアル交流館	日程A	9月7日（水） 12:30～17:00	2,000円 軽食・保険・税込み	各回 40名
		日程B	9月9日（金） 8:00～12:30		
③	震災復興ツアー 1日コース 南三陸町防災庁舎 BRTバス さんさん商店街（海鮮丼） 石巻市内（石ノ森萬画館） 野蒜駅		9月9日（金） 8:30～17:00	3,800円 昼食・保険・税込み	40名
④	東北大学災害科学国際研究所見学 グラングラン（2人乗り地震体験車）、3Ｄ映画「大津波」、 古文書、防災・減災スタンプラリーなど		9月9日（金） 13:30～15:00	無　料 （事前登録が必要です）	先着80名 （申込み多数の場合は15:00～の第2回開催も検討します）

お申込み方法および詳細については大会情報ホームページ（http://www.jsce.or.jp/taikai2016/kengakukai.html）をそれぞれご覧ください。見学コースは状況により変更する場合もございます。

(11) アンサンブルシヴィル演奏

【会　場】仙台国際センター会議棟大ホール　　9月8日（木）12:20 ～ 12:50　仙台国際センター

【入場料】無料（一般参加可能）

【会　場】サンモール一番町商店街　　9月8日（木）15:00 ～ 16:00　サンモール一番町商店街

【入場料】無料（一般参加可能）

(12) 熊本地震報告会

9月8日（木）9:30 ～ 12:00　仙台国際センター

【会　場】仙台国際センター展示棟　会議室1・2

【入場料】無料（一般参加可能）、定員400名程度

詳細につきましては、土木学会ホームページにてお知らせいたします。

(13) リレー講演会～「土木の今」を聞く～

9月7日（水）13:00 ～ 18:10　仙台国際センター

【会　場】仙台国際センター展示棟　会議室1・2

【入場料】無料（一般参加可能）、定員400名程度

平成28年度全国大会に係わるCPD単位の詳細については、技術推進機構ホームページ（http://committees.jsce.or.jp/opcet/cpd/01-2016zenkoku）をご覧ください。

■東北大学川内北キャンパス会場でのインターネット接続

eduroamアカウントをお持ちの方は通常通りの安全な無線LAN接続ができます。eduroamアカウントをお持ちでない方で、モバイル・ルータ等をお持ちの方はできるだけご持参くださるようお願いいたします。また今回は試行として、会期中のみのeduroamゲストIDを発行します。数に限りがありますが、総合受付の「WiFi受付」で参加票をご提示のうえ、ご所属・氏名・所属機関の正式メールアドレスを申し出てください。「一人1個のIDで譲渡・貸与不可」の条件でお使いいただけます。ただし、本サービスはあくまでも試行であり、今後の大会での継続を保証するものではありません。なお、仙台国際センター提供の無線LANは使えません。

年次学術講演会講演要領

■講演会発表の進め方

1）各セッションの運営は、座長に一任されています。

2）座長と講演者の打合せをセッション開始直前にその会場で行います。その際、座長より、講演順番、講演時間、討論時間などについて指示がありますので、それを遵守してください。

3）発表時間は原則として、入退場も含めて7分です。7分以内に発表が完了できるように、準備をお願いします。

4）パソコン・液晶プロジェクターは各発表会場に用意されますので、それらを使用して発表を行ってください。なお、パソコンの操作は講演者自身で行ってください（会場担当係では対応しかねますのでご了承ください）。

5）発表用ファイルは、USBメモリもしくはCD-ROMに保存して発表会場へご持参ください。セッション開始前に各会場に準備されたパソコンにコピーしていただきます。

6）発表では、会場設置のパソコンを使用していただきます。次の「演題発表に関わる注意事項」を必ず確認・遵守してください。

General Instructions for Presenters

1）The responsibility for organizing the sessions lies with the session chair of that session.

2）A short briefing will be held before each session begins. The session chair will provide information about the order of presentations, the time allotment for presentation and discussion, etc.

3）Each presentation has been allotted 7 minutes, including the time required for changeover. Be sure that you finish your presentation within 7 minutes.

4）The laptop computer and LCD projector provided in each session room are to be used for all presentations. Each speaker is responsible for operating the computer during their presentation; this is not the responsibility of the technical staff in the session rooms.

5）Before your session begins, copy your presentation file onto the provided computer in the session room.

6）All speakers are required to use the provided computer for their presentation. Follow the further instructions in “Guide for Slide Presentation”.

演題発表に関わる注意事項（重要）

1. 発表スライドの準備

１）発表者は、パワーポイントなどの発表用ファイルを5)で指定したOSで読み取れるフォーマットのUSBメモリもしくはCD-ROM（ファイナライズされたもの）に保存してご持参ください。他のメディアは利用できません。

２）メディア・ファイルのウィルスチェックを必ず事前に実施してください。

３）ファイルサイズは20MB以下を目安とし、これを超える場合も100MB以下を厳守してください。

４）発表用ファイルの名前は、演題番号としてください。（例えば、II部門の演題番号138の場合は、”II138.pptx”などとなります。）

５）パソコンと液晶プロジェクターは講演会場設置のものを必ずご利用いただきます。会場のパソコンのOSはWindows 7です。インストールされているソフトは、MS Office 2013、DVDマルチ、QuickTime Player、Windows Media Player、GOM Player（コーデックは K-Lite Codec Pack）、Adobe Reader Xです。なお、フォント種については講演者の環境とは異なる可能性もありますのでご注意ください。

※前項のソフトウェア以外の特別なものを講演で必要とする等のため、講演者ご持参のパソコンを使わざるを得ない場合は、当日、座長の許可を得たうえでそのセッションの最後の順番で発表していただきます。時間が限られているため、ケーブルの取り替えは当該発表者自身が発表時間内に行っていただきます。討議は発表直後に行っていただき、討議が終了したら速やかに会場設置のパソコンと取り替えてください。ケーブル端子はミニD-sub 15pin (HD15pin) です。

2. 発表の際の留意事項

１）発表セッションの10分前までにご自身の発表される会場に入室してください。遅れると発表できない場合があります。

２）必ずセッション開始前に、持参した発表用ファイルを会場設置のコンピューターにコピーしてください。

３）発表者の方は、発表セッションでは会場前方の席にて待機してください。

４）トラブル等により発表順が変更になる場合もありますのでご了承ください。

５）各会場には、レーザーポインタが用意されていますので、ご使用ください。

６）発表終了後、会場担当係が責任を持ってファイルを削除します。

Guide for Slide Presentation

1. Preparing Slides

１）Bring your presentation file on a USB memory stick or CD-R to your session. Do not use any other form of digital media. Make sure that your digital media and presentation file are readable by the computer system indicated in the following section, 5).

２）Please scan your digital media and presentation file with antivirus software prior to the session, and make sure that they have no virus infection.

３）Preferably, the size of your presentation file should not exceed 20 MB, and must not exceed 100 MB.

４）Name your presentation file with the number assigned to your presentation. For example, the file name would be “II138.pptx”, if your presentation number is 138 of Division II.

５）All speakers are required to use the laptop computer and LCD projector provided in the session room. The operation system of the provided computers is Windows 7. The following software are available: MS Office2013, DVD Multi, QuickTime Player, Windows Media Player, GOM Player (K-Lite Codec Pack) and Adobe Reader X.

Note that font options available on the provided computer might differ from those used when you created your presentation file.

※ If it is absolutely necessary that you use your own computer in order to use software and/or computer specifications besides those listed above, ask the chairperson for permission before the session starts. If this is permitted, your presentation may be rescheduled to the last slot of the session. Please promptly switch computers within the allotted presentation time, and restore the connection of the provided computer immediately after the end of your presentation and discussion. The provided computer is connected to the LCD projector via a cable terminal with mini D-sub 15pin (HD15pin).

2. In Session

1) Please arrive at your session room at least 10 minutes before the session starts. Failure to do so may result in the cancellation of your presentation.
2) Copy your presentation file to the computer provided in the session room before the beginning of the session.
3) Please seat yourself close to the front of the session room before your presentation.
4) The order of presentations in the session may be changed in the event of unexpected technical trouble.
5) A laser pointer is provided in all the session rooms.
6) After the session, your presentation file will be deleted by technical staff in the session room.

■ウィルス対策について

会場内に設置した全てのPCにウィルス対策ソフトをインストールしていますが、発表の際に使用したメディアは、お持ち帰りの後、ご自身のPCに接続する前に再度ウィルスチェックをしていただくようお願い致します。ウィルス感染に関する責任は学会として負いかねますので、各自の責任で会場内のパソコンをご利用ください。

Preventive Measures against Computer Virus

Antivirus software is installed in all computers provided in the session rooms. However, we strongly request all session speakers to rescan their digital media with an antivirus software after their session presentation prior to connecting the media to their computer. JSCE disclaims any responsibility for any damage to computer systems due to the use of computers provided in the session rooms and consequential virus infection.

■ 土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰制度について

全国大会委員会

全国大会年次学術講演会の発表者を対象に「土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰」を実施しております。

この「表彰規定」は、将来の土木界を担っていく若手の研究者および技術者の論文内容や講演技術が向上し、さらに全国大会が活性化することを目的とし定めたものです。

今回講演される若手研究者、技術者の方々のご健闘を期待いたします。

土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰規定

この規定は土木学会全国大会における研究発表の表彰に関する取り扱いについて定めたものである。

1. 表彰の目的

土木学会全国大会で優れた講演を行った若手研究者、技術者を表彰し，

①論文内容、講演技術の向上に寄与する。

②若手研究者、技術者の参加意欲の向上を図る。

③全国大会全体の活性化に貢献する。

などを目的とする。

2. 名称

この表彰の名称は「土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰」とする。

3. 対象者

- 全国大会で実際に講演を行う個人会員の中で、40歳以下の研究者、技術者を対象に、論文内容に加え、講演が簡潔明瞭で優れたものに与える。
- 講演予定者と講演者が一致しない場合は、審査の対象外とする。
- ポスターセッションは対象外とする。

4. 選出方法

- 各セッションの座長（司会者）は、対象者の講演を「土木学会年次学術講演会優秀講演者採点表記入上の留意事項」に基づき採点し、合計得点最上位者1名を推薦する。
- 本部事務局（全国大会実行委員会事務局）にて、部門ごとに各セッションからの被推薦者の合計得点を集計する。その中から、各部門セッション数の2分の1の人数となる合計得点の上位者を、優秀講演者として選出する。なお、ボーダーラインにある合計得点数が同じ被推薦者を全て含めた場合に、各部門セッション数の2分の1の人数を超えるときには、合計得点が同じ被推薦者の中から年齢の若い順番に選出し、2分の1を超えない人数に調整する。

5. 表彰

- 土木学会全国大会報告号において氏名を発表する。
- 後日、個人あてに表彰状を送付する。
- 表彰は全国大会実行委員会講演部会長と全国大会委員会委員長の連名で行う。

6. その他

- この規定は、1995年度全国大会から施行する。
- 本規定は必要に応じて全国大会委員会において見直す。

附則（平成7年3月24日理事会了承）

（平成8年6月18日一部改正）

平成28年度土木学会全国大会

研究討論会一覧（東北大学川内北キャンパス）　日時：平成28年９月７日（水）、９日（金）

日時／会場	題　目	座長および話題提供者
【研01】 ９月７日 13:00-15:00 Ｂ棟B101教室	**河川堤防の安全性を如何に守るか —今後数百年を見据えて—** 地盤工学委員会・堤防小委員会 http://committees.jsce.or.jp/jiban/	座　　長　岡村未対　愛媛大学 話題提供者　小高猛司　名城大学 前田健一　名古屋工業大学 内田龍彦　中央大学 服部　敦　国総研 佐々木哲也　土木研究所 笠井雅広　国土交通省水管理・国土保全局
	河川堤防はいわゆる形状規定で築堤され、近年ではそれに加えて浸透や滑り破壊に対する安全率ベースの詳細点検が行われ、弱部を抽出して対策が施されている。しかしながら、その膨大な延長に比べて堤体や地盤の調査は極めて限定的であること、詳細点検の精度が必ずしも高くないこと、未だ整備が未完了の区間を多く残すことなど、多大な問題を抱えている。また、集中豪雨の頻度が増加してゆくことを考えると、長期的な視野に立った河川堤防の整備方針は重要である。 本討論会では、極めて長期間に亘り維持管理をし、かつ必要な強化をしながら供用されている我が国の河川堤防について、その維持管理や設計の方針とそれに伴い必要となる技術について長期的な視野に立ち議論する。続いて現状の形状規定と詳細点検（安全率ベース）による照査技術、現地調査技術などの個別要素技術の現状と課題、新規技術開発について話題提供し、討論する。	
【研02】 ９月７日 13:00-15:00 Ｂ棟B102教室	**原子力関連施設と断層変位** 原子力土木委員会 http://committees.jsce.or.jp/ceofnp/	座　　長　小長井一男　横浜国立大学、原子力土木委員会副委員長 話題提供者　第一部： 丸山久一　原子力土木委員会委員長 竹村公太郎　現代社会と原子力　—　資源収奪の歴史の果てに 講師調整中　浮かび上がるリスクコミュニケーションの課題 第二部： 小長井一男　横浜国立大学、原子力土木委員会副委員長／土木学会での取組み 講師調整中　原子力学会での取組み 蛯沢勝三　電中研、原子力土木委員会副委員長／海外での取組み
	将来変位する可能性のある断層等の直上への原子力施設の設置は。平成25年施行の新規制基準では論外で、地盤変位に対する科学的検討は思考停止のままである。しかし地殻変動による変位の帯が断層から離れて現れたり、浅層地盤の破壊によって地盤が動くこともある。断層の直上に在ろうがなかろうが変形の可能性に対して、高度に複雑な施設への影響と安全性、また深刻な事態に至った場合の対応までを考えなければならないのが、東日本大震災から我々が得た教訓であろう。ともすればタブー視されかねないこの課題に対して土木学会原子力工学委員会や関連学会が目立たずも積み上げてきた検討の成果を報告し、社会への還元に対して幅広く議論する。	
【研03】 ９月７日 13:00-15:00 Ａ棟A307教室	**災害廃棄物の発生量予測・処理・復興資材活用のシステム計画** 環境システム委員会 http://committees.jsce.or.jp/envsys/	座　　長　片谷教孝　桜美林大学／環境システム委員会前委員長 話題提供者　青山和史　鹿島建設環境本部／日本建設業連合会 遠藤守也　仙台市環境局次長 勝見　武　京都大学／地盤工学委員会副委員長 森口祐一　東京大学／環境システム委員会委員長 吉岡敏彦　東北大学／廃棄物資源循環学会副会長
	東日本大震災においては、膨大な量の災害廃棄物や津波堆積物が発生したが、多くの難題を抱える中、一部の地域を除いて目標年限とされた発災後３年で処理が完了した。この間、現場における処理記録がとりまとめられるとともに、災害廃棄物の発生量の予測、処理計画の策定、選別・処理・復興資材化技術などに関する調査研究が盛んに行われ、今後の大規模災害発生を見据えたより体系的な処理システムの計画に活用しうる幅広い知見が蓄積されてきた。本研究討論会では、災害廃棄物処理の実務の専門家を交え、熊本地震への対処状況も含めて土木分野の幅広い関係者が知見を共有することで、今後の災害への備えの一助とすることを狙いとする。	
【研04】 ９月７日 13:00-15:00 Ｂ棟B103教室	**「防災・減災・復旧への構造的アプローチと木材利用の可能性」** 木材工学委員会・構造工学委員会 http://committees.jsce.or.jp/mokuzai/	座　　長　佐々木貴信　秋田県立大学：木材工学委員会木橋研究小委員会委員長 話題提供者　小野秀一　一般社団法人日本建設機械施工協会　施工技術総合研究所 大江克之　株式会社IHIインフラ建設　橋梁事業部 遠藤雅司　国土交通省東北地方整備局　道路部 後藤文彦　秋田大学理工学部 平沢秀之　函館工業高等専門学校
	東日本大震災に対する生活基盤の復旧に全力が尽くされているところではあるが、一方で、今後に備えて災害時に被災地の生活基盤を速やかに復旧するための仮設構造物が求められている。木材は、軽く、加工が容易であり、入手もしやすいことから、災害時において応急的な建設資材として活用できる分野があると考えられる。本討論会では東日本大震災における構造物の被害事例や復旧における応急仮設橋の適用例、最新の技術を紹介いただくとともに、木材を活用した防災・減災・復旧へのアプローチの可能性を探る。	

日時／会場	題　目	座長および話題提供者
【研05】 ９月７日 13:00-15:00 Ａ棟A401教室	**津波減災のための事前対策政策とその社会実装可能性の検討** 減災アセスメント小委員会（海岸工学委員会と土木計画学研究委員会との合同） http://www.coastal.jp/ja/index.php	座　　長　岡安章夫　東京海洋大学 話題提供者　岡安章夫　海岸工学・東京海洋大学教授 平野勝也　計画学・東北大学准教授 河野達仁　計画学・東北大学教授 安田誠宏　海岸工学・関西大学准教授 井上智夫　海岸工学・国土交通省海岸室長 多々納裕一　計画学・京都大学教授

政府の地震調査研究推進本部が2014年12月に発表した「全国地震動予測地図」によると、今後30年以内に震度６弱以上の地震に襲われる確率は、横浜市、千葉市、水戸市および高知市が70％を超え、静岡市と和歌山市が60％～70％、奈良市や大分市が50％となっている。このように、全国的に人口密度も高い地域で将来起こりうる震災への対策が急務となっている。
そこで、震災に対する減災のために、ａ）震災前に対処すべきハードおよびソフトの予備的対策、さらに、ｂ）震災後の復旧・復興において行うべき政策の制度設計を事前に行う必要がある。
そこで土木学会において、2014年10月に減災アセスメント小委員会を立ち上げ、これまで研究会を行ってきた。これまでの１年強の活動の成果である、１）津波の規模と生起頻度との関係の定量化手法（津波ハザードモデル）についての最先端研究とその利用可能性、２）減災のためのハード・ソフト施策の効果の定量化に対する都市均衡モデルの利用可能性、３）整備すべき防潮堤高の検討に必要な情報と考え方の整理について報告する。

日時／会場	題　目	座長および話題提供者
【研06】 ９月７日 13:00-15:00 Ｃ棟C200教室	**気候変動への適応研究推進に向けて！** 水工学委員会 http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/	座　　長　中北英一　京都大学防災研究所 話題提供者　有働恵子　東北大学 風間　聡　東北大学 神田　学　東京工業大学 宮本仁志　芝浦工業大学 森　信人　京都大学 矢野真一郎　九州大学 藤田光一　国土技術政策総合研究所

地球温暖化時の降水・洪水への適応策の提案だけでなく、水循環や水環境を含めた気候変動の影響評価、適応策の提案が求められている。しかし、影響評価研究に比較して、適応策の提案研究が十分に進み活用されているとは言いがたい。そのため、気候変動の様々な分野への影響が明らかとなっていることを踏まえ、適応に向けたより一層の研究推進および成果の発信が必要であると考える。本討論会においては、トップダウンとしての基本計画的な位置づけでの実務機関と気候研究コミュニティの連携を保ち、かつボトムアップとして、水工学として適応のために議論・研究しておくべき「外力や環境の変化に伴う技術、計画論とは何なのか？」を、水工学の観点から議論するものである。

日時／会場	題　目	座長および話題提供者
【研07】 ９月７日 13:00-15:00 Ｂ棟B200教室	**鋼橋の長寿命化に向けて－防食技術の進むべき方向－** 鋼構造委員会 http://committees.jsce.or.jp/steel/	座　　長　貝沼重信　九州大学（鋼構造委員会　鋼構造物の防食性能の回復に関する調査研究小委員会　委員長） 話題提供者　下里哲弘　琉球大学 髙木千太郎　（一財）首都高速道路技術センター 坂本達朗　（公財）鉄道総合技術研究所 前田　博　（一社）日本橋梁建設協会 貝沼重信　九州大学

重要な社会資本である橋梁の高齢化が進む中、その長寿命化は喫緊の課題である。今後は、限られた予算の中で維持管理を着実に実施し、効果的・効率的に橋梁を長寿命化していくことが求められる。腐食は鋼橋の主な損傷原因となっており、防食機能を長期の間維持し、不具合があればその機能を確実に回復していくことが長寿命化の実現に向けて大変重要である。このような状況を受け、様々な社会環境の変化に伴う要求性能の多様化にも応えつつ、鋼橋の防食機能を長期にわたって維持するための技術が研究・開発されてきている。本討論会では、鋼橋を対象として、防食技術の現状と課題について概観し、課題の打開策や進むべき方向について議論する。

日時／会場	題　目	座長および話題提供者
【研08】 ９月７日 13:00-15:00 Ｂ棟B202教室	**人口減少下における市民合意形成** コンサルタント委員会市民合意形成小委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/kenc/index.asp	座　　長　上野俊司　国際航業株式会社 話題提供者　森本章倫　早稲田大学理工学術院　社会環境工学科　教授 菅井秀一　岩沼市役所 白水靖郎　中央復建コンサルタンツ株式会社 伊藤将司　株式会社福山コンサルタント

人口の減少や少子高齢化を背景として、多様な世代にとって快適な生活環境の提供と、持続可能な都市経営の実現が課題となっている。そのような状況下において、新たな公共交通の導入や公共施設の再編など、都市の縮退や統合等これまであまり経験をしていないまちづくりがはじまっている。
本研究討論会においては、当委員会がこれまで活動してきた社会資本整備や防災まちづくりの市民合意形成に関する研究成果を踏まえ、先進事例を紹介しながらこのような新たな動きの中で求められる市民合意形成について、議論を深めてみたい。

日時／会場	題　目	座長および話題提供者
【研09】 ９月７日 13:00-15:00 Ｂ棟B203教室	**測る×コンピューティング** 応用力学委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/amc/index.html	座　　長　寺田賢二郎　東北大学 話題提供者　高野直樹　慶應義塾大学／題目（仮）：計測とモデリング 八嶋　厚　岐阜大学／題目（仮）：地盤構造物に関する計測技術 谷　和夫　東京海洋大学／題目（仮）：実大規模実験の現状と意義

「測る」（計測、実験、現地調査）による現象の直接的観察は、過去から現代までの科学の発展を支えてきた。日進月歩で発展する計測技術は、計測対象や時空間のスケールの幅を増々拡大しており、これに高度に発展したコンピューティング（数値解析やデータ分析）技術を融合することにより、現代や将来の応用力学の可能性を高める強力な武器となる。本討論会では、現代の「測る」に基づく工学の新展開、および現代の高度に発展した「コンピューティング」との融合によって広がる可能性について議論する。

<table>
<tr><th>日時／会場</th><th>題　目</th><th>座長および話題提供者</th></tr>
<tr><td>【研10】
９月９日
13:00-15:00
Ａ棟A202教室</td><td>**宇宙開発に貢献する建設用ロボット技術～宇宙／土木分野の連携･相乗的発展に向けて～**

建設用ロボット委員会
http://committees.jsce.or.jp/robot/</td><td>座　　長　建山委員長　建設用ロボット委員会
話題提供者　未定　宇宙探査イノベーションハブ事業担当者(JAXA)
未定　同事業参画の建設系企業等から５名程度</td></tr>
<tr><td colspan="3">21世紀を跨いだ今、人類の活動領域を月や火星にまで拡大しようとする議論が世界で活発化してきています。宇宙航空研究開発機構(JAXA)では、平成27年度から、異分野からの人材・知識を結集した研究拠点「宇宙探査イノベーションハブ」が設置され、革新的な宇宙探査技術の研究開発が進められています。地上の建設用ロボットの技術開発が進められる中、共通課題も少なくなく、宇宙分野への応用と地上への還元が期待されています。本研究討論会では、宇宙探査イノベーションハブ事業担当者(JAXA)と同事業に参画する建設系企業等から話題提供を頂き、両分野の技術のニーズやシーズの共有を図るとともに、今後の相乗的な技術進展に向けた意見交換を行います。</td></tr>
<tr><td>【研11】
９月７日
13:00-15:00
Ａ棟A200教室</td><td>**生産性および品質向上のためのコンクリート工学を目指して**

コンクリート委員会
http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/index.html</td><td>座　　長　中村　光　名古屋大学
話題提供者　石橋忠良　JR東日本コンサルタンツ㈱
岩﨑福久　国土交通省
河田孝志　清水建設㈱
佐藤和徳　東北地方整備局
田村隆弘　徳山工業高等専門学校
二井谷教治　オリエンタル白石㈱</td></tr>
<tr><td colspan="3">近年、技能技術者の不足に伴う担い手確保などの背景から、建設分野における生産性向上が求められている。一方で熟練工の減少は、生産性の低下のみならず品質不良のリスクを増加させることが懸念され、構造物の信頼性を損なう要因となる。本研究討論会ではコンクリート工を対象とし、生産性と品質向上の両者を実現することを目的として、現場施工およびプレキャストコンクリートに関する現状の課題と対応策について具体的な議論を行い、今後の方向性を提示したい。</td></tr>
<tr><td>【研12】
９月７日
13:00-15:00
Ｂ棟B201教室</td><td>**市民のイマジネーションに働きかける土木広報～市民へ伝わる土木の心～**

土木広報センター
http://committees.jsce.or.jp/cprcenter/</td><td>座　　長　依田照彦　土木広報センター長
話題提供者　伊藤博英　宮城県建設業協会専務理事
井上圭介　国土交通省東北地方整備局企画部企画調整官
髙橋良和　京都大学工学部准教授
羽賀翔一　漫画家
平原由三枝　NHKエンタープライズ経営企画室業務主幹
緒方英樹　土木広報センター社会インフラ解説グループ長</td></tr>
<tr><td colspan="3">2011年３月11日以降、大震災をエポックとして、社会と市民は、今度こそ専門家と情報を共有して、「ふつうの暮らし」、すなわち「安全・安心な国土づくり」という切実な願いが実現できるであろうと期待している。このような中で、土木広報の果たす役割は大きい。しかし、「伝える」ことが、そのまま「伝わる」ことにつながるとは限らない。すなわち、人がつながることから、信頼関係の構築、多面的なネットワークの拡大を目指すべきである。そのためには、地域に密着したテーマや題材で人々のイマジネーションに働きかけるコミュニケーションが有効と思われる。そこで研究討論会では、東日本大震災からの復興活動で大きな役割を担っている建設業界の活動、東北地方６県の震災・インフラ・観光等に関する情報をアプリで広く配信するなど東北地方整備局の広報の取組みについて、身の回りにある土木的なもので盛り上がる「どぼくカフェ」で展開する土木と一般市民の関わり方、土木をテーマに、わかりやすく興味深く描いている「ダム漫画」、戦国武将の土木をテーマに市民へ語る文化講座の実情など、様々な分野から紹介・報告して、会場参加者と意見交換をおこなう。</td></tr>
<tr><td>【研13】
９月７日
13:00-15:00
Ｂ棟B204教室</td><td>**「Innovation－若手技術者による土木“革新”－」**

企画委員会　若手会員パワーアップ小委員会
http://committees.jsce.or.jp/kikaku/</td><td>座　　長　未定　企画委員会－「若手会員パワーアップ小委員会」の委員
話題提供者　未定　企画委員会－「若手会員パワーアップ小委員会」の委員　他</td></tr>
<tr><td colspan="3">2015年度に企画委員会に新設された「若手会員パワーアップ小委員会」の活動紹介を行うとともに、若手技術者の挑戦と失敗は将来に向けた投資であるとの認識を広めるため、挑戦に対して抱える課題や不満の解決施策、キャリア・パス等目指すべき働き方、土木業界の将来展望に対する提案等について、会場から広く意見を募る。土木技術者が働き甲斐を実感できる職場づくりとワークライフバランスの実現、土木業界の更なる活性化、市民へ土木の魅力を発信することを目的とし、土木学会を活用した具体的な取り組み方法について議論する。</td></tr>
<tr><td>【研14】
９月９日
13:00-15:00
Ｂ棟B204教室</td><td>**「東日本大震災から５年を経た復興状況から今後の下水道の在り方を考える」**

環境工学委員会
http://committees.jsce.or.jp/eec/</td><td>座　　長　李　玉友　東北大学
話題提供者　加藤裕之　国土交通省
渋谷昭三　仙台市建設公社
小川　浩　常葉大学</td></tr>
<tr><td colspan="3">東日本大震災から５年を経て、仙台市では津波により壊滅的な被害を受けた下水処理場がようやく全面復旧の時を迎えた。我が国では今後も南海トラフ巨大地震等の発生が懸念されており、起こり得る震災への対応を考慮した取り組みが求められている。そこで本討論会では、被災した下水道インフラの復旧に取り組んでこられた関係者に話題提供をしていただき、震災被害からの復興経験に学ぶことで東日本大震災の教訓を生かした今後の下水道の在り方を考え、環境工学分野がその特徴を生かしながらより実効的な貢献をしていくには何が必要かを討論する機会としたい。</td></tr>
<tr><td>【研15】
９月９日
13:00-15:00
Ｂ棟B101教室</td><td>**「災害時における情報技術の果たすべき役割」**

土木情報学委員会
http://committees.jsce.or.jp/cceips/</td><td>座　　長　蒔苗耕司　宮城大学
話題提供者　遠藤和重　復興庁岩手復興局
大元　守　石巻市
杉浦伸哉　㈱大林組
横尾泰広　国際航業㈱
渡辺　豊　ルーチェサーチ㈱</td></tr>
<tr><td colspan="3">東日本大震災から５年が経過し、UAVの一般化、CIMの適用拡大など、災害時に活用可能な情報技術も進展している。これらを踏まえ、災害時における情報の活用方法(技術、事例)を紹介するとともに、情報技術の果たすべき役割を討議する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>日時／会場</th><th>題　目</th><th>座長および話題提供者</th></tr>
<tr><td>【研16】
９月９日
13:00-15:00
Ｂ棟B203教室</td><td>放射性汚染廃棄物対策技術
ー除去土壌の減容･再生利用方策等についてー

エネルギー委員会／低レベル放射性廃棄物･汚染廃棄物対策に関する研究小委員会
http://committees.jsce.or.jp/enedobo/</td><td>座　　長　大西有三　関西大学客員教授／京都大学名誉教授
話題提供者　未定　環境省
勝見　武　京都大学
佐藤　努　北海道大学
万福裕造　農業･食品産業技術総合研究機構
河西　基　アサノ大成基礎エンジニアリング／電力中央研究所</td></tr>
<tr><td colspan="3">東日本大震災に伴う東京電力福島第一原発(1F)事故が起きてから５年が経過した。1Fサイト内(オンサイト)では汚染水対策が進展して落ち着きが得られつつあり、中長期ロードマップに基づき廃止措置への準備が本格化しつつある。一方、オフサイトでは、事故由来放射性物質による汚染廃棄物を対象とする国による中間貯蔵施設の設置について2015年２月に県･地元自治体の了解が得られ同年３月から搬入が開始されている。しかしながら、それらの汚染廃棄物は約1600万～2200㎥と大量で、しかも９割以上は除去土壌等と推計されており、その減容･再生利用方策の確立と安全性を十分に確保して早期に実用化していくことが急務の課題となっている。本研究討論会では、これらの課題への取り組みに焦点を当て、専門家による最新状況の報告･話題提供を行うとともに、会場を交えての活発な討論を通して、今後の福島の復興に向けて減容･再生利用を有効に取り入れた安全かつ合理的な除去土壌対策の加速的な進展に資する。</td></tr>
<tr><td>【研17】
９月９日
13:00-15:00
Ａ棟A307教室</td><td>地域社会の安全を目指したレジリエンスエンジニアリング

安全問題研究委員会
http://www.jsce.or.jp/committee/csp/csp1.htm</td><td>座　　長　白木　渡　香川大学
話題提供者　広兼道幸　関西大学
深谷純子　深谷レジリエンス研究所
須藤英明　鹿島建設
首藤由紀　社会安全研究所
磯打千雅子　香川大学
未定　香川県危機管理総局</td></tr>
<tr><td colspan="3">安全･安心･安定した社会のためには、地域住民はもとより、我が国の将来を担う子供たちに、万一の災害に備えて自分の身はまず自分で守り(自助)、自分を取り巻く家庭･学校･職場等が安全で安心かつ安定した生活の場として継続できる基盤づくりの大切さを知ってもらい(共助･公助)、さらに、自分たちが何をすべきか(権利･義務･責任)を考えて行動できる力を体得してもらうことが重要かつ必要である。当討論会は、こうした観点から、全国各地域に暮らす人々が、自分を取り巻く家庭･学校･職場等が万一の災害に直面しても損失を最小限に抑え、生活の場を復旧復興そして継続していくための基盤整備(人材育成･地域組織マネジメント)としてレジリエンスエンジニアリングの概念を用いて情報を共有し議論する場としたい。</td></tr>
<tr><td>【研18】
９月９日
13:00-15:00
Ｂ棟B102教室</td><td>ビッグデータと舗装

舗装工学委員会
http://www.jsce.or.jp/committee/pavement/index.html</td><td>座　　長　姫野賢治　中央大学　理工学部　都市環境学科(舗装工学委員会委員)
話題提供者　大廣智則　㈱NEXCOエンジニアリング北海道／路面状態判定装置(CAIS)を活用した効率的な冬期路面管理について
佐々木博　㈱富士通交通･道路データサービス／社会インフラの効率的な維持管理の実現～道路の簡易点検から始める長寿命化～
白井　悠　㈱NIPPO／スマートフォンを用いた段差量管理の効率化
八木浩一　バンプレコーダ㈱／スマートフォンによる路面性状ビッグデータの生成と活～平常時活用と熊本地震での路面損傷検出事例～
今野将顕　JIPテクノサイエンス㈱／IRIの精度向上に向けた取り組みについて</td></tr>
<tr><td colspan="3">現在我々の生活において流通する電子データの量は爆発的に増加しており、それら大量の電子情報、いわゆるビッグデータを様々な分野で有効に活用し始めている。総務省は、情報通信技術ICTが日本経済の成長に対する重要な鍵であると位置づけ、ICT成長戦略会議を設置している。また、国土交通省は観光振興やバス事業の経営革新などへのビッグデータ活用に取り組んでいる。本研究討論会では、舗装分野において利用可能なビッグデータの取得事例やその活用事例などを話題として、舗装におけるビックデータ活用の現状、将来展望と課題について討論する。</td></tr>
<tr><td>【研19】
９月９日
13:00-15:00
Ａ棟A200教室</td><td>水工情報システムの発展

水工学委員会
http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/</td><td>座　　長　立川康人　京都大学大学院工学研究科教授
話題提供者　山田　正　中央大学理工学部都市環境学科教授
川﨑将生　国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部水循環研究室室長
風間　聡　東北大学大学院工学研究科教授
渡邊明英　㈱東京建設コンサルタント本社事業本部環境防災本部環境防災研究所所長
平　謙二　三菱電機エンジニアリング㈱メディアシステム事業所郡山支所所長
高橋範仁　㈱建設技術研究所東北支社河川部主幹
旭　一岳　㈱RiverLink代表取締役</td></tr>
<tr><td colspan="3">激甚化している水災害に備えるため、降水現象や洪水流下等の水文･水理現象を確実に捉え、水工情報として防災･減災の活動に使えるよう高度化･システム化することが求められている。このことから、水文･水理現象を観測する技術とシミュレーションする解析技術(データ補完･データ同化等)、観測･解析した結果を可視化する技術などを高度に組み合わせ、有効に活用することの重要性が増している。しかしながら、個々の技術は独自の研究開発分野ごとに発展してきた経緯があり、互いに連携する機会が少なかった。そこで本研究討論会では、これらの個々の観測技術、解析技術、可視化技術等の水工情報システム全体を形づくる各分野の研究開発者が連携し、互いに発展するための方策について議論する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>日時／会場</th><th>題　目</th><th>座長および話題提供者</th></tr>
<tr><td>【研20】
９月９日
13:00-15:00
A棟A401教室</td><td>実験における地盤材料の評価
―水理学的アプローチと地盤工学的アプローチ―

海岸工学委員会
http://www.coastal.jp/ja/index.php</td><td>座　　長　水谷法美　名古屋大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻
話題提供者　鈴木高二朗　港湾空港技術研究所海洋研究領域耐波研究グループ　グループ長
鈴木崇之　横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院都市地域社会専攻
飛田哲男　関西大学環境都市工学部都市システム工学科
松田達也　豊橋技術科学大学建築・都市システム学系</td></tr>
<tr><td colspan="3">水理模型実験の縮尺設定に際してフルード相似則を用いることが多い。しかし地盤材料を扱う場合、その幾何縮尺を厳密に適用することは難しい。そこで水理学分野では、同質かつ小さな材料が一般的に用いられてきた。一方、地盤工学分野で従来から活用されてきた遠心載荷装置を用いた水理模型実験手法が開発され、学会でも数々の適用事例が報告されている。しかし従来の水理学分野では１Ｇ場を前提とするのに対し、遠心載荷装置では遠心力場に応じた相似則を用いることから、水理学分野と地盤工学分野において相似則を含めた実験の整合性および結果の取り扱いに対する共通認識を得るには至っていない。そこで両分野の研究者にお集まり頂いて討議を行う。</td></tr>
<tr><td>【研21】
９月９日
13:00-15:00
B棟B103教室</td><td>困った時の複合構造物～施工性の改善と今後の課題～

複合構造委員会
http://www.jsce.or.jp/committee/fukugou/index.html</td><td>座　　長　奥井義昭　埼玉大学
話題提供者　伊原　茂　首都高速道路㈱
街道　浩　川田工業㈱
加藤敏明　㈱大林組
古市耕輔　鹿島建設㈱</td></tr>
<tr><td colspan="3">東北地方太平洋地震から５年を経過し、東北地方では交通網や住居環境を再整備するべく復興が進められてきている。また、東京や大阪などの都市部では、高度成長期に構築された構造物の供用が50年を超え始め更新事業がスタートしている。これらの工事においては、急速施工が必要であったり、狭隘空間での施工が必要であったりと、一般的な施工方法を前提とした計画では対応できず、何らかの施工上の制約をクリアすることが前提条件となることが殆どである。このような場合には、過去の研究討論会でも議論を重ねてきた通り、複合構造物が様々な施工上の課題を解決する有効な手段となることがあり、実際に採用された事例が散見される。本討論会では、複合構造物の採用により、施工に対する課題を解決した事例を紹介頂き、その有効性を確認するとともに、さらなるコスト縮減や工期縮減などの施工の合理化を実現するために必要となる材料間での精度管理や点検方法の整合性などの課題を抽出し、将来的な複合標準示方書・施工編の改訂に資する意見を得るべく議論したい。</td></tr>
<tr><td>【研22】
９月９日
13:00-15:00
B棟B104教室</td><td>今後の公共事業発注者のあり方を考える

建設マネジメント委員会
http://committees.jsce.or.jp/cmc/</td><td>座　　長　木下誠也　日本大学危機管理学部
話題提供者　福本勝司　㈱大林組
遠藤敏雄　㈱復建技術コンサルタント、(一社)建設コンサルタンツ協会東北支部長
後藤隆一　宮城県土木部
安田吾郎　国土交通省東北地方整備局
千葉嘉春　熱海建設㈱、(一社)宮城県建設業協会会長
吉田正喜　UR都市機構宮城・福島震災復興支援本部</td></tr>
<tr><td colspan="3">建設マネジメント委員会は、平成23年８月に公共事業改革プロジェクト小委員会成果報告において「公共事業調達法」を提案し、公共事業調達の抜本改革の方向性を明らかにした。平成26年６月には、品確法（公共工事の品質確保の促進に関する法律）が改正され、これを踏まえて平成26年８月、建設マネジメント委員会は、公共事業執行システム研究小委員会成果報告において、公共工事発注者の役割の見直しや公共工事の価格決定構造の転換などのさらなる改革の道筋を示した。これに引き続いて建設マネジメント委員会は、公共工事発注者のあり方研究小委員会を設置し、これらの課題を検討し、平成28年８月に研究成果を報告したところである。
本討論会では、これらの研究活動を通じて明らかとなった公共事業発注者のあり方について、東北地方の復興事業等における事例を参考にしつつ、さまざまな立場から議論し、今後の改革の道筋を描こうとするものである。</td></tr>
<tr><td>【研23】
９月９日
13:00-15:00
B棟B201教室</td><td>土木構造物共通示方書の位置づけと学会示方書のあり方

構造工学委員会
http://www.jsce.or.jp/committee/struct/framepage2.htm</td><td>座　　長　中村　光　名古屋大学教授、構造工学委員会副委員長
話題提供者　第一部：
本間淳史／幸左賢二　NEXCO東日本／九州工業大学
佐藤尚次／鈴木　誠　中央大学／千葉工業大学
第二部：
石橋忠良／渡辺忠朋　JR東日本コンサルタンツ／北武コンサルタンツ
下村　匠／山口隆司　長岡技術科学大学／大阪市立大学
小島芳之／木村嘉富　鉄道総合技術研究所／国土交通省国土技術政策総合研究所
本間淳史　NEXCO東日本</td></tr>
<tr><td colspan="3">主題：構造工学委員会では、2010年に土木構造物共通示方書を初めて発刊し、本年、夏に改訂版を出版した。本研究討論会ではまず第１部でその改訂内容等を概説する。次に、土木学会で各種示方書が発刊されているが、その考え方や使われ方は異なっているのが現状である。そこで、第２部では、土木構造物共通示方書、コンクリート標準示方書、鋼・合成構造標準示方書、複合構造標準示方書、トンネル標準示方書などの学会基準や道路橋示方書や鉄道設計標準などの国の技術基準の関係者を交え、今後の学会示方書のあり方や共通示方書の必要性や位置づけについて議論する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>日時／会場</th><th>題　目</th><th>座長および話題提供者</th></tr>
<tr><td>【研24】
９月９日
13:00-15:00
C棟C200教室</td><td>インフラ維持管理・更新におけるイノベーションの創造と地方インフラのマネジメント

アセットマネジメントシステム実装のための実践研究委員会／土木学会技術推進機構
http://committees.jsce.or.jp/opcet/</td><td>座　　長　藤野陽三　横浜国立大学
話題提供者　前川宏一　東京大学
田中泰司　東京大学生産技術研究所
小澤一雅　東京大学
六郷恵哲　岐阜大学
松田　浩　長崎大学
岩城一郎　日本大学
岡田有策　慶応大学
神田昌幸　国土交通省都市局</td></tr>
<tr><td colspan="3">内閣府主導のもと、SIP戦略的イノベーション創造プログラムが平成26年度よりスタートした。土木分野における採択課題である「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」では、先進的かつイノベーティブな技術の開発・社会実装に加えて、地方自治体の維持管理の課題解決にも取り組んでいる。本研究討論会では、岐阜大学や長崎大学などの各地で取り組みが始まっている、地方大学を核とした市町村インフラの維持管理の展開について、人材教育、法制度、先進技術の導入などといった多角的な視野から議論する。</td></tr>
<tr><td>【研25】
９月９日
13:00-15:00
B棟B202教室</td><td>土木学会東日本大震災アーカイブサイトの今後の展開（その３）
ー震災映像が語る現場からのメッセージー

土木技術映像委員会
http://committees.jsce.or.jp/avc/</td><td>座　　長　大野春雄　土木学会土木技術映像委員会委員長（建設教育研究推進機構理事長・攻玉社工科短期大学名誉教授）
話題提供者　熊谷順子　元 東北地方整備局企画部防災課長
現 ㈱復建技術コンサルタント事業企画本部理事
大沢美春　（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構
小野寺誠　気仙沼商会
他</td></tr>
<tr><td colspan="3">東日本大震災から５年目を迎え、土木学会震災アーカイブサイトの映像データベースを構成する国交省の撮影映像、自治体や被災地の方々からの提供映像などを研究教育の場面や地域コミュニティーなどの分野でより広く活用できるよう、昨年に引き続きアーカイブサイトの今後の展開について討論する。
今回の討論会では震災を現場で体験し、活動を行った方々に当時何を思い、どう行動したのかという観点で話題提供をして頂き、震災の映像記録とともにこれらのメッセージや経験を伝承し風化させずに今後の災害対策、防災技術の開発、国土計画、社会基盤整備などに生かしていく方策を模索していく。</td></tr>
<tr><td>【研26】
９月９日
13:00-15:00
C棟C102教室
※会場変更のお知らせ
Ⅰ-8セッションおよび研究討論会26は、会場手配の関係でA201からC102に会場変更となりました。</td><td>土木計画学50年の研究成果
ー実践とリサーチの観点からー

土木計画学研究委員会
http://www.jsce.or.jp/committee/ip/index.shtm</td><td>座　　長　塚井誠人　広島大学
話題提供者　張　峻屹（広島大学）　聞き手：原（東北大学）／国内研究環境、新テーマ発掘
稲村　肇（東北工業大学）　聞き手：塚井（広島大学）／学官産の学際フロンティア発掘
篠原　修（東京大学）　聞き手：山口（京都大学）／新分野（景観）の社会実装
森杉壽芳（東北大学）　聞き手：円山（熊本大学）／新分野（費用便益）の社会実装</td></tr>
<tr><td colspan="3">本討論会では、実践とリサーチの往還の中で成果を上げられた先生方を登壇者に迎えて、「これまでのハード整備にこめられた“よき社会”のイメージ・コンセプトをきちんと認識・継承した上で、現状の課題解決に結びつく具体的なインフラ整備や関連制度に翻訳するような一連の活動」について、お話を伺います。どのような出会いやきっかけが先生方の活動につながったか、優れたリサーチと優れた実践を生み出す場づくりについて研究者や社会に求められる姿勢、新分野を社会実装されたあとのご自身のスタンスの変容、今後の土木計画学や、または開拓された分野の後進に対するご期待について、フロアの聴講者と率直な意見交換が行います。</td></tr>
</table>

第71回年次学術講演会会場および座長(予定者)一覧表

部門	会場	月日	9月7日(水) 9:00〜10:20	10:40〜12:00	15:20〜16:40	17:00〜18:20
Ⅰ	Ⅰ-1	A棟A101教室	計算力学 Ⅰ-001〜Ⅰ-007 紅露一寛	維持管理(一般)(1) Ⅰ-008〜Ⅰ-015 北根安雄	維持管理(一般)(2) Ⅰ-016〜Ⅰ-022 谷口 望	維持管理(一般)(3) Ⅰ-023〜Ⅰ-030 片山英資
	Ⅰ-2	A棟A102教室	維持管理(測定)(1) Ⅰ-067〜Ⅰ-073 上半文昭	維持管理(測定)(2) Ⅰ-074〜Ⅰ-080 笠野英行	維持管理(測定)(3) Ⅰ-081〜Ⅰ-087 宮森保紀	維持管理(計画・評価) Ⅰ-088〜Ⅰ-095 金田崇男
	Ⅰ-3	A棟A103教室	地盤液状化(1) Ⅰ-131〜Ⅰ-136 石原雅規	地盤液状化(2) Ⅰ-137〜Ⅰ-142 近藤明彦	地盤液状化(3) Ⅰ-143〜Ⅰ-148 大矢陽介	地盤震動(観測)(1) Ⅰ-149〜Ⅰ-155 吉見雅行
	Ⅰ-4	A棟A104教室	ダンパー (1) Ⅰ-186〜Ⅰ-192 高橋良和	ダンパー (2) Ⅰ-193〜Ⅰ-198 武田篤史	ダンパー (3) Ⅰ-199〜Ⅰ-204 豊岡亮洋	ダンパー (4)、落橋防止装置 Ⅰ-205〜Ⅰ-211 田中賢太郎
	Ⅰ-5	A棟A105教室	橋梁の耐震(1) Ⅰ-247〜Ⅰ-253 葛西 昭	橋梁の耐震(2) Ⅰ-254〜Ⅰ-260 鈴木森晶	橋梁の耐震(3) Ⅰ-261〜Ⅰ-267 中尾尚史	橋梁の耐震(4) Ⅰ-268〜Ⅰ-273 梶田幸秀
	Ⅰ-6	A棟A106教室	強震動予測 Ⅰ-307〜Ⅰ-312 田中浩平	地震防災(1) Ⅰ-313〜Ⅰ-318 森 敦	地震防災(2) Ⅰ-319〜Ⅰ-325 庄司 学	地震防災(3) Ⅰ-326〜Ⅰ-331 丸山喜久
	Ⅰ-7	A棟A200教室	疲労(1) Ⅰ-362〜Ⅰ-368 穴見健吾	疲労(2) Ⅰ-369〜Ⅰ-375 平山繁幸	疲労(3) Ⅰ-376〜Ⅰ-382 判治 剛	疲労(4) Ⅰ-383〜Ⅰ-389 小笠原照夫
	Ⅰ-8	C棟C102教室※	数値解析 Ⅰ-424〜Ⅰ-430 渡邊学歩	診断・補修・補強(1) Ⅰ-431〜Ⅰ-438 増井 隆	診断・補修・補強(2) Ⅰ-439〜Ⅰ-446 政門哲夫	診断・補修・補強(3) Ⅰ-447〜Ⅰ-454 菅沼久忠
	Ⅰ-9	A棟A202教室	衝撃(解析)(1) Ⅰ-490〜Ⅰ-495 山澤文雄	衝撃(解析)(2) Ⅰ-496〜Ⅰ-501 荒木恒也	衝撃(実験)(1) Ⅰ-502〜Ⅰ-508 小室雅人	衝撃(実験)(2) Ⅰ-509〜Ⅰ-514 今野久志
	Ⅰ-10	A棟A203教室	基礎・盛土の耐震 Ⅰ-546〜Ⅰ-552 溜 幸生	地中構造物の耐震(1) Ⅰ-553〜Ⅰ-560 大竹省吾	地中構造物の耐震(2) Ⅰ-561〜Ⅰ-567 佐藤 清	耐風・風工学(1) Ⅰ-568〜Ⅰ-573 山口 敦
	Ⅰ-11 Ⅱ-1	A棟A204教室	水理構造物 Ⅱ-001〜Ⅱ-007 旭 一岳	水圏環境の保全・再生・創造 Ⅱ-008〜Ⅱ-014 古里栄一	河口の水理と水質 Ⅱ-015〜Ⅱ-020 赤松良久	ダムと貯水池の管理 Ⅱ-021〜Ⅱ-027 黒川岳司
Ⅱ	Ⅱ-2	A棟A205教室	水理計測・観測手法 Ⅱ-035〜Ⅱ-041 小関博司	河川堤防、浸食 Ⅱ-042〜Ⅱ-048 渡邊康玄	流砂 Ⅱ-049〜Ⅱ-055 川村里実	流砂・河床変動 Ⅱ-056〜Ⅱ-062 赤堀良介
	Ⅱ-3	A棟A301教室	流出・洪水(1) Ⅱ-098〜Ⅱ-104 多田 毅	流出・洪水(2) Ⅱ-105〜Ⅱ-110 佐藤嘉展	氾濫・水災害(1) Ⅱ-111〜Ⅱ-117 天口英雄	氾濫・水災害(2) Ⅱ-118〜Ⅱ-124 武田 誠
	Ⅱ-4	A棟A302教室	津波 災害 Ⅱ-160〜Ⅱ-166 Anawat Suppasri	津波 波力 Ⅱ-167〜Ⅱ-173 小笠原敏記	堤防・防波堤の機能 Ⅱ-174〜Ⅱ-180 荒木進歩	海岸・港湾施設 Ⅱ-181〜Ⅱ-187 織田幸伸
	Ⅱ-5 Ⅲ-1	A棟A303教室		洗掘・侵食(1) Ⅲ-001〜Ⅲ-007 小高猛司	洗掘・侵食(2) Ⅲ-008〜Ⅲ-015 鶴ケ崎和博	
Ⅲ	Ⅲ-2	A棟A304教室	基礎工工法・試験 Ⅲ-016〜Ⅲ-022 森川嘉之	基礎工支持力 Ⅲ-023〜Ⅲ-028 佐名川太亮	杭 解析・評価 Ⅲ-029〜Ⅲ-035 磯部公一	杭 施工技術(1) Ⅲ-036〜Ⅲ-042 樋口俊一
	Ⅲ-3	A棟A305教室	土壌地下水汚染 Ⅲ-078〜Ⅲ-085 竹下祐二	地盤の応力と変形 Ⅲ-086〜Ⅲ-093 橘 伸也	透水・浸透(1) Ⅲ-094〜Ⅲ-100 森井俊広	透水・浸透(2)遮水・浸透制御 Ⅲ-101〜Ⅲ-107 荒木功平
	Ⅲ-4	A棟A306教室	試験法・調査法(1) Ⅲ-142〜Ⅲ-149 中澤博志	試験法・調査法(2) Ⅲ-150〜Ⅲ-157 末次大輔	試験法・調査法(3) Ⅲ-158〜Ⅲ-163 内村太郎	数値解析 Ⅲ-164〜Ⅲ-171 竹山智英
	Ⅲ-5	A棟A307教室		不飽和土 Ⅲ-205〜Ⅲ-210 海野寿康	土質安定処理・地盤改良(1) Ⅲ-211〜Ⅲ-218 竹内秀克	土質安定処理・地盤改良(2) Ⅲ-219〜Ⅲ-226 平野孝行
	Ⅲ-6	A棟A401教室		地盤の動的挙動(1) Ⅲ-267〜Ⅲ-271 福武毅芳	地盤の動的挙動(2) Ⅲ-272〜Ⅲ-278 野田利弘	地盤の動的挙動(3) Ⅲ-279〜Ⅲ-284 仙頭紀明
	Ⅲ-7	A棟A402教室	粘性土・特殊土 Ⅲ-322〜Ⅲ-327 三上武子	斜面 工法 Ⅲ-328〜Ⅲ-334 加藤俊二	斜面 実験(1) Ⅲ-335〜Ⅲ-340 中島 進	斜面 グラウンドアンカー・実験(2) Ⅲ-341〜Ⅲ-348 若井明彦
	Ⅲ-8	A棟A403教室	締固め Ⅲ-384〜Ⅲ-390 平川大貴	トンネル(1) Ⅲ-391〜Ⅲ-397 重田佳幸	トンネル(2) Ⅲ-398〜Ⅲ-404 畑 浩二	トンネル(3) Ⅲ-405〜Ⅲ-411 山田浩幸
	Ⅲ-9 Ⅳ-1	A棟A404教室		交通流 Ⅳ-001〜Ⅳ-006 柳原正実	交通調査・データ Ⅳ-007〜Ⅳ-012 日下部貴彦	道路交通の安全・安心確保 Ⅳ-013〜Ⅳ-020 元田良孝
Ⅳ	Ⅳ-2	A棟A405教室	土木史 Ⅳ-032〜Ⅳ-038 永村景子	空間認識 Ⅳ-039〜Ⅳ-044 松田泰明	景観形成・設計 Ⅳ-045〜Ⅳ-051 平野勝也	景観調査・分析 Ⅳ-052〜Ⅳ-057 白柳洋俊
	Ⅳ-3	A棟A406教室	防災・災害(1) Ⅳ-091〜Ⅳ-096 長江剛志	防災・災害(2) Ⅳ-097〜Ⅳ-103 北詰恵一	防災・災害(3) Ⅳ-104〜Ⅳ-110 谷本真佑	防災・災害(4) Ⅳ-111〜Ⅳ-117 加知範康
Ⅴ	Ⅴ-1	C棟C305教室	アスファルト系舗装(1) Ⅴ-001〜Ⅴ-007 佐々木厳	アスファルト系舗装(2) Ⅴ-008〜Ⅴ-014 田中敏弘	セメント系舗装 Ⅴ-015〜Ⅴ-021 青木政樹	リサイクル(舗装) Ⅴ-022〜Ⅴ-028 五伝木一
	Ⅴ-2	C棟C306教室	木材・木質材料 Ⅴ-064〜Ⅴ-070 三村佳織	木材利用 Ⅴ-071〜Ⅴ-077 木村礼夫	舗装材料(1) Ⅴ-078〜Ⅴ-084 丸山記美雄	舗装材料(2) Ⅴ-085〜Ⅴ-091 河村直哉
	Ⅴ-3	C棟C307教室	混和材(1) Ⅴ-120〜Ⅴ-126 小川由布子	混和材(2) Ⅴ-127〜Ⅴ-133 竹田宣典	混和材(3) Ⅴ-134〜Ⅴ-140 鷲尾朝昭	混和材(4) Ⅴ-141〜Ⅴ-147 宮原茂禎
	Ⅴ-4	C棟C401教室	新材料 新工法(1) Ⅴ-181〜Ⅴ-187 三田勝也	新材料 新工法(2) Ⅴ-188〜Ⅴ-194 細田 暁	新材料 新工法(3) Ⅴ-195〜Ⅴ-201 李 春鶴	新材料 新工法(4) Ⅴ-202〜Ⅴ-208 川端雄一郎
	Ⅴ-5	C棟C402教室	エコ・緑化・副産物利用 Ⅴ-244〜Ⅴ-250 福留和人	副産物利用・リサイクル Ⅴ-251〜Ⅴ-257 谷村 充	凍害(1) Ⅴ-258〜Ⅴ-263 林 大介	凍害(2) Ⅴ-264〜Ⅴ-270 小山田哲也
	Ⅴ-6	C棟C403教室	品質管理・検査(1) Ⅴ-306〜Ⅴ-311 浦野真次	品質管理・検査(2) Ⅴ-312〜Ⅴ-317 安保知紀	フレッシュコンクリート Ⅴ-318〜Ⅴ-324 南 浩輔	フレッシュコンクリート・ポンプ圧送 Ⅴ-325〜Ⅴ-331 伊達重之
	Ⅴ-7	C棟C404教室	耐火性 Ⅴ-367〜Ⅴ-372 ヘンリーマイケル	塩害(1) Ⅴ-373〜Ⅴ-379 染谷 望	塩害(2) Ⅴ-380〜Ⅴ-386 鈴木三馨	塩害(3) Ⅴ-387〜Ⅴ-393 富山 潤
	Ⅴ-8	C棟C405教室	維持管理(1) Ⅴ-428〜Ⅴ-434 岡崎慎一郎	維持管理(2) Ⅴ-435〜Ⅴ-441 斯波明宏	LCC・LCA/サステナビリティ Ⅴ-442〜Ⅴ-448 蔵重 勲	劣化予測 Ⅴ-449〜Ⅴ-455 宮村正樹
	Ⅴ-9	C棟C406教室	補修・補強(構造)(1) Ⅴ-491〜Ⅴ-496 宇野州彦	補修・補強(構造)(2) Ⅴ-497〜Ⅴ-502 上原子晶久	補修・補強(構造)(3) Ⅴ-503〜Ⅴ-509 岩波光保	連続繊維補強コンクリート(構造) Ⅴ-510〜Ⅴ-516 服部尚道
	Ⅴ-10	C棟C407教室	構造物調査・診断(1) Ⅴ-550〜Ⅴ-555 田中秀治	構造物調査・診断(2) Ⅴ-556〜Ⅴ-561 鈴木雅博	構造物調査・診断(3) Ⅴ-562〜Ⅴ-567 濱田 譲	構造物調査・診断(4) /振動 Ⅴ-568〜Ⅴ-572 井口重信
	Ⅴ-11	C棟C408教室	耐震 Ⅴ-606〜Ⅴ-612 内藤英樹	耐震/耐震補強 Ⅴ-613〜Ⅴ-619 渡辺 健	曲げ・耐震診断 Ⅴ-620〜Ⅴ-626 小林 薫	せん断・ねじり Ⅴ-627〜Ⅴ-633 村田裕志
Ⅵ	Ⅵ-1	C棟C103教室	建設マネジメント(1) Ⅵ-022〜Ⅵ-028 藤田宗久	建設マネジメント(2) Ⅵ-029〜Ⅵ-035 今石 尚	アセットマネジメント(1) Ⅵ-036〜Ⅵ-042 堀 倫裕	アセットマネジメント(2) Ⅵ-043〜Ⅵ-049 池田真理子
	Ⅵ-2	C棟C104教室	鉄道(1) Ⅵ-082〜Ⅵ-088 松田茂広	鉄道(2) Ⅵ-089〜Ⅵ-095 舟橋秀麿	鉄道(3) Ⅵ-096〜Ⅵ-102 栗林健一	鉄道(4) Ⅵ-103〜Ⅵ-109 久多羅木吉治
	Ⅵ-3	C棟C105教室	施工技術(1) Ⅵ-145〜Ⅵ-150 清水正巳	施工技術(2) Ⅵ-151〜Ⅵ-157 石原ロ一人	施工技術(3) Ⅵ-158〜Ⅵ-163 藤崎勝利	施工技術(4) Ⅵ-164〜Ⅵ-170 黒澤 亘
	Ⅵ-4	C棟C106教室	施工計画(1) Ⅵ-206〜Ⅵ-212 川田成彦	施工計画(2) Ⅵ-213〜Ⅵ-219 八朝秀晃	施工計画(3) Ⅵ-220〜Ⅵ-226 北出啓一郎	施工計画(4) Ⅵ-227〜Ⅵ-233 尾崎健一郎
	Ⅵ-5	C棟C200教室	軌道保守(1) Ⅵ-261〜Ⅵ-267 立川正勝	軌道保守(2) Ⅵ-268〜Ⅵ-274 田中博文	軌道保守(3) Ⅵ-275〜Ⅵ-281 本野貴志	軌道保守(4) Ⅵ-282〜Ⅵ-288 南木聡明
	Ⅵ-6	C棟C201教室	軌道保守(9) Ⅵ-317〜Ⅵ-323 熊倉孝雄	軌道保守(10) Ⅵ-324〜Ⅵ-330 浦川文寛	軌道保守(11) Ⅵ-331〜Ⅵ-337 山崎誠幸	軌道保守(12) Ⅵ-338〜Ⅵ-344 高橋貴蔵
	Ⅵ-7	C棟C202教室	山岳トンネル(1) Ⅵ-380〜Ⅵ-386 石川達也	山岳トンネル(2) Ⅵ-387〜Ⅵ-393 安井成豊	山岳トンネル(3) Ⅵ-394〜Ⅵ-400 小出孝明	山岳トンネル(4) Ⅵ-401〜Ⅵ-407 上野 光
	Ⅵ-8	C棟C203教室	山岳トンネル(10) Ⅵ-443〜Ⅵ-449 沢藤尚文	山岳トンネル(11) Ⅵ-450〜Ⅵ-456 橘 直毅	山岳トンネル(12) Ⅵ-457〜Ⅵ-463 伊藤 哲	山岳トンネル(13) Ⅵ-464〜Ⅵ-470 横尾 敦
	Ⅵ-9	C棟C204教室	ダム(4) Ⅵ-506〜Ⅵ-512 岡山 誠	ダム(5) Ⅵ-513〜Ⅵ-519 上遠野均	ダム(6) Ⅵ-520〜Ⅵ-526 宇野洋志城	リニューアル(1) Ⅵ-527〜Ⅵ-532 熊坂徹也
	Ⅵ-10	C棟C205教室	リニューアル(7) Ⅵ-563〜Ⅵ-569 月館 洋	リニューアル(8) Ⅵ-570〜Ⅵ-576 冨田克彦	リニューアル(9) Ⅵ-577〜Ⅵ-582 岩井 稔	リニューアル(10) Ⅵ-583〜Ⅵ-588 前田利光
	Ⅵ-11	C棟C206教室	河川・港湾(1) Ⅵ-623〜Ⅵ-629 野勢辰也	河川・港湾(2) Ⅵ-630〜Ⅵ-637 遠藤和雄	地盤・基礎(1) Ⅵ-638〜Ⅵ-644 寺田倫康	地盤・基礎(2) Ⅵ-645〜Ⅵ-651 田中啓之
	Ⅵ-12	C棟C301教室	建設環境(1) Ⅵ-688〜Ⅵ-694 宮瀬文裕	建設環境(2) /新材料・新素材 Ⅵ-695〜Ⅵ-701 松村綾子	検査技術・診断(1) Ⅵ-702〜Ⅵ-708 佐藤大輔	検査技術・診断(2) Ⅵ-709〜Ⅵ-715 北川真也
	Ⅵ-13	C棟C302教室	検査技術・診断(8) Ⅵ-751〜Ⅵ-757 天野 勲	検査技術・診断(9) Ⅵ-758〜Ⅵ-764 戸田勝哉	検査技術・診断(10) Ⅵ-765〜Ⅵ-771 青柳 聖	品質管理(1) Ⅵ-772〜Ⅵ-778 川崎祐征
	Ⅵ-14	C棟C303教室	シールドトンネル(1) Ⅵ-814〜Ⅵ-819 西田与志雄	シールドトンネル(2) Ⅵ-820〜Ⅵ-826 坂田智基	シールドトンネル(3) Ⅵ-827〜Ⅵ-832 今石 尚	シールドトンネル(4) Ⅵ-833〜Ⅵ-838 増澤伸司
	Ⅵ-15	C棟C304教室	技術開発(1) Ⅵ-873〜Ⅵ-879 山田金喜	技術開発(2) Ⅵ-880〜Ⅵ-886 松井雅紀	技術開発(3) Ⅵ-887〜Ⅵ-892 山本 彰	情報化施工(1) Ⅵ-893〜Ⅵ-899 森田泰司
	Ⅵ-16	B棟B101教室	耐震・免震 Ⅵ-001〜Ⅵ-007 曽我部直樹			
	Ⅵ-17	B棟B102教室	海外工事 Ⅵ-008〜Ⅵ-014 川上季伸			
	Ⅵ-18	B棟B103教室	各種基礎 Ⅵ-015〜Ⅵ-021 玉嶋克彦			
Ⅶ	Ⅶ-1	B棟B202教室	廃棄物処理計画及び処分・リサイクル技術 Ⅶ-001〜Ⅶ-006 柴田健司	廃棄物処分場管理 Ⅶ-007〜Ⅶ-013 下村泰造	循環資源・リサイクル Ⅶ-014〜Ⅶ-020 北條俊昌	バイオレメディエーション Ⅶ-021〜Ⅶ-028 寺崎寛章
	Ⅶ-2	B棟B203教室	原子力土木(地震・津波・断層変位) Ⅶ-058〜Ⅶ-063 小池信昭	原子力土木(地盤・斜面) Ⅶ-064〜Ⅶ-069 中村 晋	原子力土木(地中構造物耐震・耐久性) Ⅶ-070〜Ⅶ-074 渡辺和明	原子力土木(外的事象PRA) Ⅶ-075〜Ⅶ-080 中島正人
	Ⅶ-3	B棟B204教室	ビオトープ(1) Ⅶ-112〜Ⅶ-118 池田幸資	ビオトープ(2) Ⅶ-119〜Ⅶ-124 川原田圭介	森林・植生 Ⅶ-125〜Ⅶ-130 田中裕一	水質浄化技術 Ⅶ-131〜Ⅶ-136 中野和典
CS	CSの1会場	B棟B101教室		放射性廃棄物の処分技術(1) CS13-001〜CS13-007 吉村 貢	放射性廃棄物の処分技術(3) CS13-014〜CS13-019 森川誠司	放射性廃棄物の処分技術(4) CS13-020〜CS13-026 森川義人
	CSの2会場	B棟B102教室		放射性廃棄物の処分技術(2) CS13-008〜CS13-013 大山 将	道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(1) CS11-001〜CS11-007 久保圭吾	道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(2) CS11-008〜CS11-014 藤山知加子
	CSの3会場	B棟B103教室		土木教育一般(1) CS1-001〜CS1-007 皆川 浩	土木教育一般(2) CS1-008〜CS1-013 岩倉成志	土木教育一般(3) CS1-014〜CS1-020 山田久美
	CSの4会場	B棟B104教室	計算力学(1) CS8-001〜CS8-007 岡澤重信	計算力学(2) CS8-008〜CS8-014 加藤準治	計算力学(3) CS8-015〜CS8-021 長谷部寛	計算力学(4) CS8-022〜CS8-028 車谷麻緒
	CSの5会場	B棟B200教室	International session国際セッション(3) CS2-015〜CS2-020 党 紀	International session国際セッション(4) CS2-021〜CS2-026 佐藤大作	複合構造物(1) CS3-001〜CS3-006 西崎 到	計算力学(5) CS8-029〜CS8-036 田中聖三
	CSの6会場	B棟B201教室	International session国際セッション(7) CS2-041〜CS2-047 Goit Chandra Shekhar	International session国際セッション(8) CS2-048〜CS2-053 Yao Luan	気候変動による影響への適応(1) CS5-001〜CS5-006 小林健一郎	気候変動による影響への適応(2) CS5-007〜CS5-012 矢野真一郎

※会場変更のお知らせ
Ⅰ-8セッションおよび研究討論会26は、会場手配の関係でA201からC102に会場変更となりました。

部門	会場	9月8日(木) 9:00〜10:20	9月8日(木) 10:40〜12:00	9月9日(金) 9:00〜10:20	9月9日(金) 10:40〜12:00	9月9日(金) 15:20〜16:40
Ⅰ	Ⅰ-1	維持管理(防食・耐候)(1) Ⅰ-031〜Ⅰ-037 加納　勇	維持管理(防食・耐候)(2) Ⅰ-038〜Ⅰ-045 三浦正純	維持管理(環境)(1) Ⅰ-046〜Ⅰ-052 貝沼重信	維持管理(環境)(2) Ⅰ-053〜Ⅰ-058 永田和寿	維持管理(塗装) Ⅰ-059〜Ⅰ-066 石原修二
	Ⅰ-2	耐震補強(1) Ⅰ-096〜Ⅰ-101 岩田秀治	耐震補強(2) Ⅰ-102〜Ⅰ-107 中島章典	維持管理(補修) Ⅰ-108〜Ⅰ-114 石川敏之	維持管理(疲労) Ⅰ-115〜Ⅰ-122 下里哲弘	維持管理(耐荷性能) Ⅰ-123〜Ⅰ-130 藤井　堅
	Ⅰ-3	地盤震動(観測)(2) Ⅰ-156〜Ⅰ-161 小野祐輔	地盤震動(解析) Ⅰ-162〜Ⅰ-167 後藤浩之	地震応答解析(1) Ⅰ-168〜Ⅰ-173 吉田直弘	地震応答解析(2) Ⅰ-174〜Ⅰ-179 坂井公俊	地震応答解析(3) Ⅰ-180〜Ⅰ-185 松﨑　裕
	Ⅰ-4	免震構造・デバイス(1) Ⅰ-212〜Ⅰ-218 姫野岳彦	免震構造・デバイス(2) Ⅰ-219〜Ⅰ-225 吉田純司	免震構造・デバイス(3) Ⅰ-226〜Ⅰ-232 党　紀	免震構造・デバイス(4) Ⅰ-233〜Ⅰ-239 篠原聖二	非破壊評価 Ⅰ-240〜Ⅰ-246 白旗弘実
	Ⅰ-5	橋梁の耐震(5) Ⅰ-274〜Ⅰ-280 矢部正明	橋梁の耐震(6) Ⅰ-281〜Ⅰ-286 後藤芳顯	座屈・耐荷力(柱) Ⅰ-287〜Ⅰ-293 奥井義昭	座屈・耐荷力(桁・その他) Ⅰ-294〜Ⅰ-300 玉越隆史	座屈・耐荷力(板・その他) Ⅰ-301〜Ⅰ-306 佐藤　歩
	Ⅰ-6	地震防災(4) Ⅰ-332〜Ⅰ-337 常井友也	地震防災(5) Ⅰ-338〜Ⅰ-343 秦　康範	橋梁床版(1) Ⅰ-344〜Ⅰ-348 大西弘志	橋梁床版(2) Ⅰ-349〜Ⅰ-354 藤山知加子	橋梁床版(3) Ⅰ-355〜Ⅰ-361 田中良樹
	Ⅰ-7	疲労(5) Ⅰ-390〜Ⅰ-396 村越　潤	疲労(6) Ⅰ-397〜Ⅰ-402 木ノ本剛	継手(1) Ⅰ-403〜Ⅰ-409 橋本国太郎	継手(2) Ⅰ-410〜Ⅰ-416 清川昇悟	接合・溶接 Ⅰ-417〜Ⅰ-423 南　邦明
	Ⅰ-8	診断・補修・補強(4) Ⅰ-455〜Ⅰ-461 中村一史	基礎・トンネルの耐震 Ⅰ-462〜Ⅰ-468 山崎貴之	ダム・タンクの耐震(1) Ⅰ-469〜Ⅰ-475 平野廣和	ダム・タンクの耐震(2) Ⅰ-476〜Ⅰ-482 上島照幸	ダム・タンクの耐震(3) Ⅰ-483〜Ⅰ-489 有賀義明
	Ⅰ-9	橋梁一般(施工)(1) Ⅰ-515〜Ⅰ-520 川畑篤敬	橋梁一般(施工)(2) Ⅰ-521〜Ⅰ-525 澁谷　敦	橋梁一般(設計)(1) Ⅰ-526〜Ⅰ-532 野阪克義	橋梁一般(設計)(2) Ⅰ-533〜Ⅰ-539 志賀弘明	橋梁一般(設計)(3) Ⅰ-540〜Ⅰ-545 段下義典
	Ⅰ-10	耐風・風工学(2) Ⅰ-574〜Ⅰ-579 菊地由佳	耐風・風工学(3) Ⅰ-580〜Ⅰ-586 伊藤靖晃	安全性・信頼性(1) Ⅰ-587〜Ⅰ-592 丸山　收	安全性・信頼性(2) /最適設計 Ⅰ-593〜Ⅰ-598 松田　浩	耐力・変形性能 Ⅰ-599〜Ⅰ-605 小野　潔
	Ⅰ-11	河川の水環境	構造同定	橋梁一般(測定)	橋梁振動(実験・測定)(1)	橋梁振動(実験・測定)(2)
Ⅱ	Ⅱ-1	Ⅱ-028〜Ⅱ-034 藤野　毅	Ⅰ-606〜Ⅰ-613 西尾真由子	Ⅰ-614〜Ⅰ-620 玉田和也	Ⅰ-621〜Ⅰ-627 西川貴文	Ⅰ-628〜Ⅰ-634 深田宰史
	Ⅱ-2	流路・河床変動 Ⅱ-063〜Ⅱ-069 長田健吾	河床形態 Ⅱ-070〜Ⅱ-076 岩見収二	植生水理 Ⅱ-077〜Ⅱ-083 吉田圭介	開水路の水理 Ⅱ-084〜Ⅱ-090 山上路生	
	Ⅱ-3	流域管理 Ⅱ-125〜Ⅱ-131 佐山敬洋	大気水象 Ⅱ-132〜Ⅱ-139 小田僚子	水災害リスクマネジメント(1) Ⅱ-140〜Ⅱ-146 相馬一義	水災害リスクマネジメント(2) Ⅱ-147〜Ⅱ-153 本間基寛	地下水理・地下水文 Ⅱ-154〜Ⅱ-159 石平　博
	Ⅱ-4	漂流物・危険物 Ⅱ-188〜Ⅱ-194 藤木　峻	高潮災害 Ⅱ-195〜Ⅱ-201 今津雄吾	沿岸域の波・流れ Ⅱ-202〜Ⅱ-207 有働恵子	沿岸域の環境・生態系 Ⅱ-208〜Ⅱ-214 渡辺一也	越波・漂砂 Ⅱ-215〜Ⅱ-221 松林由里子
	Ⅱ-5	造波・発電	ブロックと捨石の安定性	河川環境構造物	魚類	流体力学
Ⅲ	Ⅲ-1	Ⅱ-222〜Ⅱ-228 久保田真一	Ⅱ-229〜Ⅱ-235 宇野喜之	Ⅱ-236〜Ⅱ-242 髙橋正行	Ⅱ-243〜Ⅱ-248 糠澤　桂	Ⅱ-091〜Ⅱ-097 重枝未玲
	Ⅲ-2	杭　施工技術(2) Ⅲ-043〜Ⅲ-049 森川嘉之	杭　模型実験 Ⅲ-050〜Ⅲ-057 宇野州彦	圧縮・圧密 Ⅲ-058〜Ⅲ-064 杉山太宏	地下空洞と地下構造物(1) Ⅲ-065〜Ⅲ-071 粥川幸司	地下空洞と地下構造物(2) Ⅲ-072〜Ⅲ-077 清木隆文
	Ⅲ-3	透水・浸透(3)地下水 Ⅲ-108〜Ⅲ-114 李　圭太	透水・浸透(4) Ⅲ-115〜Ⅲ-121 笹倉　剛	補強土(1) Ⅲ-122〜Ⅲ-128 安福規之	補強土(2) Ⅲ-129〜Ⅲ-135 峯岸邦夫	補強土(3) Ⅲ-136〜Ⅲ-141 松田達也
	Ⅲ-4	フィルダム Ⅲ-172〜Ⅲ-177 向後雄二	土留め Ⅲ-178〜Ⅲ-185 三反畑勇	廃棄物(1) Ⅲ-186〜Ⅲ-191 藤川拓朗	廃棄物(2) Ⅲ-192〜Ⅲ-197 土田　孝	リサイクル Ⅲ-198〜Ⅲ-204 今西　肇
	Ⅲ-5	土質安定処理・地盤改良(3) Ⅲ-227〜Ⅲ-234 田中洋輔	土質安定処理・地盤改良(4) Ⅲ-235〜Ⅲ-242 熊谷隆宏	土質安定処理・地盤改良(5) Ⅲ-243〜Ⅲ-250 橋本　聖	土質安定処理・地盤改良(6) Ⅲ-251〜Ⅲ-258 前田健一	土質安定処理・地盤改良(7) Ⅲ-259〜Ⅲ-266 新坂孝志
	Ⅲ-6	地盤の動的挙動(4) Ⅲ-285〜Ⅲ-291 木元小百合	地盤の動的挙動(5) Ⅲ-292〜Ⅲ-298 石川敬祐	土の動的性質 Ⅲ-299〜Ⅲ-305 橋本隆雄	凍結・凍上(1) Ⅲ-306〜Ⅲ-313 小峯秀雄	凍結・凍上(2) Ⅲ-314〜Ⅲ-321 所　哲也
	Ⅲ-7	斜面　解析(1) Ⅲ-349〜Ⅲ-355 野々山栄人	斜面　解析(2) Ⅲ-356〜Ⅲ-362 阿部慶太	斜面　解析(3)・災害調査復旧 Ⅲ-363〜Ⅲ-369 笠間清伸	斜面　排水・法面特性 Ⅲ-370〜Ⅲ-376 河内義文	斜面　設計法・評価法・すべり安定 Ⅲ-377〜Ⅲ-383 篠田昌弘
	Ⅲ-8	トンネル(4) Ⅲ-412〜Ⅲ-418 宇田川義夫	トンネル(5) Ⅲ-419〜Ⅲ-425 小早川博亮	トンネル(6) Ⅲ-426〜Ⅲ-432 杉山博一	シールドトンネル Ⅲ-433〜Ⅲ-440 小林克哉	岩の工学的性質 Ⅲ-441〜Ⅲ-445 小泉　悠
	Ⅲ-9	鉄道計画	港湾・航空	地盤防災	維持・防修	
Ⅳ	Ⅳ-1	Ⅳ-020〜Ⅳ-025 地田信也	Ⅳ-026〜Ⅳ-031 荒谷太郎	Ⅲ-446〜Ⅲ-452 若松加寿江	Ⅲ-453〜Ⅲ-460 石井裕泰	
	Ⅳ-2	災害状況の計測 Ⅳ-058〜Ⅳ-064 朝香智仁	地理情報の計測と利用 Ⅳ-065〜Ⅳ-071 桑原祐史	自転車・歩行者交通 Ⅳ-072〜Ⅳ-077 鈴木美緒	自転車・歩行者空間 Ⅳ-078〜Ⅳ-083 三浦詩乃	交通安全施策 Ⅳ-084〜Ⅳ-090 寺内義典
	Ⅳ-3	公共交通・地区交通 Ⅳ-118〜Ⅳ-122 小嶋　文	都市・地域計画(1) Ⅳ-123〜Ⅳ-127 日比野直彦	都市・地域計画(2) Ⅳ-128〜Ⅳ-134 大沢昌玄	都市・地域計画(3) Ⅳ-135〜Ⅳ-140 泊　尚志	
Ⅴ	Ⅴ-1	維持・修繕(舗装)(1) Ⅴ-029〜Ⅴ-035 増戸洋幸	維持・修繕(舗装)(2) Ⅴ-036〜Ⅴ-041 渡邉一弘	構造評価(舗装) Ⅴ-043〜Ⅴ-049 竹内　康	舗装一般(1) Ⅴ-050〜Ⅴ-056 川名　太	舗装一般(2) Ⅴ-057〜Ⅴ-063 佐藤研一
	Ⅴ-2	路面評価(1) Ⅴ-092〜Ⅴ-098 郭　慶煥	路面評価(2) Ⅴ-099〜Ⅴ-105 富山和也	短繊維コンクリート(1) Ⅴ-106〜Ⅴ-112 熊野知司	短繊維コンクリート(2) Ⅴ-113〜Ⅴ-119 橋本紳一郎	
	Ⅴ-3	セメント科学・混和剤(1) Ⅴ-148〜Ⅴ-154 西　祐宜	混和剤(2) Ⅴ-155〜Ⅴ-160 佐藤正己	評価・試験方法 Ⅴ-161〜Ⅴ-166 古賀裕久	クリープ・収縮 Ⅴ-167〜Ⅴ-173 伊代田岳史	ひび割れ Ⅴ-174〜Ⅴ-180 谷口秀明
	Ⅴ-4	補修・補強(材料)(1) Ⅴ-209〜Ⅴ-215 片平　博	補修・補強(材料)(2) Ⅴ-216〜Ⅴ-222 槇原弘貴	補修・補強(材料)(3) Ⅴ-223〜Ⅴ-229 山本貴士	補修・補強(材料)(4) Ⅴ-230〜Ⅴ-236 山内　匡	補修・補強(材料)(5) Ⅴ-237〜Ⅴ-243 橋本勝文
	Ⅴ-5	温度応力(1) Ⅴ-271〜Ⅴ-277 白根勇二	温度応力(2) Ⅴ-278〜Ⅴ-284 浅本晋吾	引張・圧縮、物性(1) Ⅴ-285〜Ⅴ-291 吉田　亮	物性(2) Ⅴ-292〜Ⅴ-298 皆川　浩	骨材 Ⅴ-299〜Ⅴ-305 上野　敦
	Ⅴ-6	高流動・水中コンクリート Ⅴ-332〜Ⅴ-338 吉田克弥	製造・施工 Ⅴ-339〜Ⅴ-345 宇野洋志城	特殊コンクリート(1) Ⅴ-346〜Ⅴ-352 大内雅博	特殊コンクリート(2) Ⅴ-353〜Ⅴ-359 杉橋直行	締固め Ⅴ-360〜Ⅴ-366 谷口裕史
	Ⅴ-7	防食(1) Ⅴ-394〜Ⅴ-400 審良善和	防食(2) Ⅴ-401〜Ⅴ-407 山本　誠	鋼材腐食(1) Ⅴ-408〜Ⅴ-413 高谷　哲	鋼材腐食(2) Ⅴ-414〜Ⅴ-420 宮里心一	鋼材腐食(3) Ⅴ-421〜Ⅴ-427 網野貴彦
	Ⅴ-8	非破壊試験法(1) Ⅴ-456〜Ⅴ-462 渡邊　健	非破壊試験法(2) Ⅴ-463〜Ⅴ-469 鎌田敏郎	非破壊試験法(3) Ⅴ-470〜Ⅴ-476 大野健太郎	非破壊試験法(4) Ⅴ-477〜Ⅴ-483 岩城一郎	非破壊試験法(5) Ⅴ-484〜Ⅴ-490 阿波　稔
	Ⅴ-9	アルカリ骨材反応(1) Ⅴ-517〜Ⅴ-523 久保善司	アルカリ骨材反応(2) /複合劣化 Ⅴ-524〜Ⅴ-530 高橋佑弥	耐久性一般(1) Ⅴ-531〜Ⅴ-537 江口康平	耐久性一般(2) Ⅴ-538〜Ⅴ-544 佐川康貴	耐久性一般(3) Ⅴ-545〜Ⅴ-549 日比野誠
	Ⅴ-10	プレストレストコンクリート(1) Ⅴ-573〜Ⅴ-578 田中泰司	プレストレストコンクリート(2) /コンクリート製品 Ⅴ-579〜Ⅴ-584 青木圭一	短繊維補強コンクリート(構造)(1) Ⅴ-585〜Ⅴ-591 上田尚史	短繊維補強コンクリート(構造)(2) /疲労・衝撃(1) Ⅴ-592〜Ⅴ-598 伊藤　始	疲労・衝撃(2) Ⅴ-599〜Ⅴ-605 松本浩嗣
	Ⅴ-11	新材料・新工法(構造) Ⅴ-634〜Ⅴ-640 三木朋広	構造設計/数値解析/破壊力学 Ⅴ-641〜Ⅴ-647 長井宏平	付着・定着・継手(1) Ⅴ-648〜Ⅴ-654 岡本　大	付着・定着・継手(2) /プレキャストコンクリート(1) Ⅴ-655〜Ⅴ-660 佐藤靖彦	プレキャストコンクリート(2) Ⅴ-661〜Ⅴ-667 細野宏巳
Ⅵ	Ⅵ-1	安全管理 Ⅵ-050〜Ⅵ-056 長澤達朗	安全管理、工程管理 Ⅵ-057〜Ⅵ-062 鈴木　尊	安全管理、組織・人材育成 Ⅵ-063〜Ⅵ-069 前渋卓郎	建設公共、建設産業 Ⅵ-070〜Ⅵ-074 石井明俊	建設ロボット Ⅵ-075〜Ⅵ-081 江田正敏
	Ⅵ-2	鉄道(5) Ⅵ-110〜Ⅵ-116 川崎祐征	鉄道(6) Ⅵ-117〜Ⅵ-123 早川博久	施工技術(10) Ⅵ-124〜Ⅵ-130 鈴木　亨	施工技術(11) Ⅵ-131〜Ⅵ-137 土屋雅徳	施工技術(12) Ⅵ-138〜Ⅵ-144 大浜　大
	Ⅵ-3	施工技術(5) Ⅵ-171〜Ⅵ-177 谷田部勝博	施工技術(6) Ⅵ-178〜Ⅵ-184 杉橋直行	施工技術(7) Ⅵ-185〜Ⅵ-191 武田　均	施工技術(8) Ⅵ-192〜Ⅵ-198 片山政弘	施工技術(9) Ⅵ-199〜Ⅵ-205 中出　剛
	Ⅵ-4	施工計画(5) Ⅵ-234〜Ⅵ-240 河野哲也	施工計画(6) Ⅵ-241〜Ⅵ-247 小林　顕	施工計画(7) Ⅵ-248〜Ⅵ-254 新村　亮	施工計画(8) Ⅵ-255〜Ⅵ-260 坂梨利男	
	Ⅵ-5	軌道保守(5) Ⅵ-289〜Ⅵ-295 白江雄介	軌道保守(6) Ⅵ-296〜Ⅵ-302 森本　勝	軌道保守(7) Ⅵ-303〜Ⅵ-309 西宮裕騎	軌道保守(8) Ⅵ-310〜Ⅵ-316 及川祐也	
	Ⅵ-6	軌道保守(13) Ⅵ-345〜Ⅵ-351 山根寛史	特殊構造物 Ⅵ-352〜Ⅵ-358 山本　平	地下構造物(1) Ⅵ-359〜Ⅵ-365 岩波　基	地下構造物(2) Ⅵ-366〜Ⅵ-372 古荘伸一郎	地下構造物(3)、開削トンネル Ⅵ-373〜Ⅵ-379 青柳隆浩
	Ⅵ-7	山岳トンネル(5) Ⅵ-408〜Ⅵ-414 高橋　浩	山岳トンネル(6) Ⅵ-415〜Ⅵ-421 嶋本敬介	山岳トンネル(7) Ⅵ-422〜Ⅵ-428 岡村正典	山岳トンネル(8) Ⅵ-429〜Ⅵ-435 海瀬　忍	山岳トンネル(9) Ⅵ-436〜Ⅵ-442 尾畑　洋
	Ⅵ-8	山岳トンネル(14) Ⅵ-471〜Ⅵ-477 石田滋樹	山岳トンネル(15) Ⅵ-478〜Ⅵ-484 土門　剛	ダム(1) Ⅵ-485〜Ⅵ-491 高畑　研	ダム(2) Ⅵ-492〜Ⅵ-498 佐藤英明	ダム(3) Ⅵ-499〜Ⅵ-505 黒木　博
	Ⅵ-9	リニューアル(2) Ⅵ-533〜Ⅵ-538 今泉敏郎	リニューアル(3) Ⅵ-539〜Ⅵ-544 齊藤史朗	リニューアル(4) Ⅵ-545〜Ⅵ-550 荒関正二	リニューアル(5) Ⅵ-551〜Ⅵ-556 金岡　幹	リニューアル(6) Ⅵ-557〜Ⅵ-562 松田　敏
	Ⅵ-10	リニューアル(11) Ⅵ-589〜Ⅵ-595 久保昌史	リニューアル(12) Ⅵ-596〜Ⅵ-601 富井孝喜	リニューアル(13) Ⅵ-602〜Ⅵ-608 根岸　裕	橋梁(1) Ⅵ-609〜Ⅵ-615 守屋紀和	橋梁(2) Ⅵ-616〜Ⅵ-622 細谷　学
	Ⅵ-11	地盤改良(1) Ⅵ-652〜Ⅵ-658 藤田　淳	地盤改良(2) Ⅵ-659〜Ⅵ-666 緒方明彦	リニューアル(14) Ⅵ-667〜Ⅵ-673 岡本修一	リニューアル(15) Ⅵ-674〜Ⅵ-680 前田敏也	リニューアル(16) Ⅵ-681〜Ⅵ-687 大塚　勇
	Ⅵ-12	検査技術・診断(3) Ⅵ-716〜Ⅵ-722 内藤英樹	検査技術・診断(4) Ⅵ-723〜Ⅵ-729 吉沢　勝	検査技術・診断(5) Ⅵ-730〜Ⅵ-736 森　康雄	検査技術・診断(6) Ⅵ-737〜Ⅵ-743 阪本泰士	検査技術・診断(7) Ⅵ-744〜Ⅵ-750 河野　豊
	Ⅵ-13	品質管理(2) Ⅵ-779〜Ⅵ-785 古賀秀幸	CIM (1) Ⅵ-786〜Ⅵ-792 北原　剛	CIM (2) Ⅵ-793〜Ⅵ-799 河田雅也	CIM (3) /GIS/GPS Ⅵ-800〜Ⅵ-806 杉浦伸哉	土留(1) Ⅵ-807〜Ⅵ-813 大木基裕
	Ⅵ-14	シールドトンネル(5) Ⅵ-839〜Ⅵ-845 中川雅由	シールドトンネル(6) Ⅵ-846〜Ⅵ-852 津野　究	シールドトンネル(7) Ⅵ-853〜Ⅵ-859 柳川一心	シールドトンネル(8) Ⅵ-860〜Ⅵ-865 鹿島竜之介	土留(2) Ⅵ-866〜Ⅵ-872 山下　徹
	Ⅵ-15	情報化施工(2) /自動化システム Ⅵ-900〜Ⅵ-906 宮村正樹	設計技術、入札・契約、資金調達 Ⅵ-907〜Ⅵ-913 田坂幹雄	施工計画(9)、測量・計測(1) Ⅵ-914〜Ⅵ-920 森本直樹	測量・計測(2) Ⅵ-921〜Ⅵ-927 神﨑恵三	測量・計測(3) Ⅵ-928〜Ⅵ-934 長澤正明
	Ⅵ-16					
	Ⅵ-17					
	Ⅵ-18					
Ⅶ	Ⅶ-1	土壌・地下水汚染(1) Ⅶ-029〜Ⅶ-035 大城　温	土壌・地下水汚染(2) Ⅶ-036〜Ⅶ-043 高畑　陽	底泥 Ⅶ-044〜Ⅶ-049 井芹　寧	水質生態系モニタリング Ⅶ-050〜Ⅶ-057 渡辺亮一	
	Ⅶ-2	上下水都市雨水管理 Ⅶ-081〜Ⅶ-087 伊藤　歩	膜分離・物理化学処理 Ⅶ-088〜Ⅶ-093 李　玉友	下水処理 Ⅶ-094〜Ⅶ-100 長岡　裕	栄養塩除去 Ⅶ-101〜Ⅶ-106 多川　正	嫌気性処理 Ⅶ-107〜Ⅶ-111 小野寺崇
	Ⅶ-3	大気環境・騒音振動(1) Ⅶ-137〜Ⅶ-142 齋藤邦夫	大気環境・騒音振動(2) Ⅶ-143〜Ⅶ-148 北川敏樹	環境影響評価 Ⅶ-149〜Ⅶ-155 安里俊則	環境システム Ⅶ-156〜Ⅶ-163 加藤裕之	環境計画・環境管理 Ⅶ-164〜Ⅶ-170 小林　功
CS	CSの1会場	地下空間の多角的利用(1) CS4-001〜CS4-006 角川順洋	地下空間の多角的利用(2) CS4-007〜CS4-011 中山　学	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(1) CS7-001〜CS7-007 宇野昌利	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(3) CS7-015〜CS7-021 佐田達典	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(5) CS7-029〜CS7-035 松谷　治
	CSの2会場	道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(3) CS11-015〜CS11-021 横山　広	道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(4) CS11-022〜CS11-027 小関裕二	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(2) CS7-008〜CS7-014 岡本　修	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(4) CS7-022〜CS7-028 高田知典	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(6) CS7-036〜CS7-041 石間計夫
	CSの3会場	複合構造物(2) CS3-007〜CS3-013 大久保宣人	複合構造物(3) CS3-014〜CS3-020 葛西　昭	複合構造物(4) CS3-021〜CS3-027 牧　剛史	複合構造物(5) CS3-028〜CS3-034 平　陽兵	複合構造物(6) CS3-035〜CS3-041 溝江慶久
	CSの4会場	ダイバーシティ＆インクルージョン(1) CS9-001〜CS9-004 保田祐司	ダイバーシティ＆インクルージョン(2) CS9-005〜CS9-009 山田　菊子	新設および大規模改修時における橋梁計画(1) CS6-001〜CS6-006 森山　彰	新設および大規模改修時における橋梁計画(2) CS6-007〜CS6-012 田辺篤史	新設および大規模改修時における橋梁計画(3) CS6-013〜CS6-018 野澤伸一郎
	CSの5会場	International session国際セッション(1) CS2-001〜CS2-007 小松怜史	International session国際セッション(2) CS2-008〜CS2-014 水谷　司	放射性廃棄物の処分技術(5) CS13-027〜CS13-032 渡邊保貴	放射性廃棄物の処分技術(6) CS13-033〜CS13-039 岩谷隆文	放射性廃棄物の処分技術(7) CS13-040〜CS13-046 古賀和正
	CSの6会場	International session国際セッション(5) CS2-027〜CS2-033 小山倫史	International session国際セッション(6) CS2-034〜CS2-040 菊本　統	土木工学における諸資料および映像記録の収集、保存と利活用(1) CS10-001〜CS10-006 上岡弘和	土木工学における諸資料および映像記録の収集、保存と利活用(2) CS10-007〜CS10-011 原口征人	放射性廃棄物の処分技術(8) CS13-047〜CS13-053 森　拓雄

第71回 年次学術講演会プログラム

第Ⅰ部門　応用力学、構造工学、鋼構造、耐震工学、地震工学、風工学など

Ⅰ-1（A棟A101教室）／9月7日(水)

■計算力学／9:00～10:20／紅露 一寛（新潟大学）

Ⅰ-001　構造同定手法を援用した簡易構造系の有限要素モデル精緻化手法の実験的検討／長崎大学［学］田中 敦海・西川 貴文・中村 聖三

Ⅰ-002　マルチフラクタル解析を応用したカオス時系列解析による微弱な加速度変化からのRC橋脚の損傷検知／東京大学［正］水谷 司

Ⅰ-003　非線形スペクトル確率有限要素法に用いるリターンマッピングアルゴリズムの基礎的検討／大成建設［正］羽場 一基・堀田 渉・畑 明仁

Ⅰ-004　GPUクラスタを用いたモンテカルロシミュレーションによる地殻変動被害予測／東京大学［学］山口 拓真・縣 亮一郎・市村 強

Ⅰ-005　大規模地震応答解析のための全自動並列ロバスト整合四面体メッシュ生成手法の開発及び実装／東京大学［学］勝島 啓介・藤田 航平・市村 強

Ⅰ-006　粒子法による流体剛体連成解析の精度検証と妥当性確認／九州大学［学］大屋 朋子・浅井 光輝・伊津野 和行

Ⅰ-007　単斜晶系異方性材料中の欠陥に対する非線形超音波のシミュレーション／群馬大学［正］斎藤 隆泰・金井 翔平

■維持管理（一般）(1)／10:40～12:00／北根 安雄（名古屋大学）

Ⅰ-008　火災を想定した熱履歴が経年橋梁鋼材の材料特性に及ぼす影響／名古屋大学［正］廣畑 幹人・中山 太士・橋本 健

Ⅰ-009　鋼トラス橋のケーブルを用いた崩壊防止構造に関する基礎的検討／岐阜工業高等専門学校［正］水野 剛規・後藤 芳顯・山田 忠信

Ⅰ-010　鋼の加熱自然冷却後の常温時強度に関する研究／大阪工業大学［学］高橋 佑介・小林 裕介・細見 直史

Ⅰ-011　通信用管路腐食とマンホール内水量の関係に関する検討／日本電信電話［正］伊藤 陽・田中 宏司

Ⅰ-012　透明型防錆キャップの耐久性に関する研究／IHI［正］岩本 達志・下里 哲弘・淵脇 秀晃

Ⅰ-013　チタンカバー・ペトロラタム被覆工法の期待耐久性評価／日鉄住金防蝕［正］橋本 凌平・今井 篤実・川瀬 義行

Ⅰ-014　錆鋼板への各種素地調整後の断面EPMAマッピング画像の観察結果／高速道路総合技術研究所［正］服部 雅史・古谷 嘉康・広瀬 剛

Ⅰ-015　レーザーを用いた鋼表面の素地調整／広島大学［学］尾上 紘司・藤井 堅・真鍋 幸男

■維持管理（一般）(2)／15:20～16:40／谷口 望（前橋工科大学）

Ⅰ-016　支点移動に着目した石造アーチ橋の構造安定性に関する基礎的研究(その2)／福岡大学［正］今泉 暁音・坂田 力・水田 洋司

Ⅰ-017　佐世保市における石造アーチ橋の現況調査と変形挙動の再現解析に関する基礎的研究／長崎大学［学］松元 香奈子・蒋 宇静・大嶺 聖

Ⅰ-018　幾何学的非線形を考慮した少数主桁連続橋の冗長性に関する検討／熊本高等専門学校［正］岩坪 要・伊津野 省吾・斉木 功

Ⅰ-019　トラス橋全体の終局強度からみた腐食限界と余寿命の推定／広島大学［学］福田 洋顕・藤井 堅・浅尾 尚之

Ⅰ-020　連続多主桁橋のリダンダンシー解析における床版のモデル化に関する一考察／東北大学［学］熊谷 宏之・斉木 功・岩坪 要

Ⅰ-021　粗さ成分に着目した港湾鋼構造物の部位ごとの腐食表面形状特性／名古屋大学［学］吉田 武史・北根 安雄・伊藤 義人

Ⅰ-022　都市内高架橋で撤去されたフィンガージョイントの腐食表面性状に関する基礎的研究／九州大学［学］百田 寛之・貝沼 重信・鄭 暎樹

■維持管理（一般）(3)／17:00～18:20／片山 英資（福岡北九州高速道路公社）

Ⅰ-023　海浜部および準沿岸部での1年間大気暴露試験における環境因子／長岡工業高等専門学校［学］西脇 天太・小見 恒介・宮嵜 靖大

Ⅰ-024　1年間大気暴露試験によるステンレス鋼と炭素鋼で構成される厚板の腐食特性／長岡工業高等専門学校［学］小見 恒介・西脇 天太・宮嵜 靖大

Ⅰ-025　Sn添加耐食鋼の塗装寿命延長化の検証と7年間の曝露試験結果／新日鐵住金［正］菅江 清信・上村 隆之・田中 睦人

Ⅰ-026　塗装周期延長耐食鋼(CORSPACE)の実用化／新日鐵住友金属［正］壱岐 浩・田中 睦人・児玉 正行

Ⅰ-027　ボルト接合部にシリコーンを腐食抑制技術に関する研究／名古屋工業大学［学］牛田 成彦・永田 和寿・田中 弘栄

Ⅰ-028　橋梁用ゴム支承の低温耐候性に着目した劣化要因について／寒地土木研究所［正］佐藤 京・今井 隆・原 暢彦

Ⅰ-029　列車風圧等による繰り返し応力が鉄道用GFRP製防風柵に与える影響評価／西日本旅客鉄道［正］宇佐美 俊介・中山 太士・石川 敏之

Ⅰ-030　塗料と形状を考慮した防霧ネットの開発に関する研究／熊本大学［学］蓬原 拓朗・戸田 善統・小田 貴志

Ⅰ-1（A棟A101教室）／9月8日(木)

■維持管理（防食・耐候）(1)／9:00～10:20／加納 勇（土木研究センター）

Ⅰ-031　Cold Spray技術を用いた防食性能回復工法の既設鋼橋の桁端部腐食への試験施工／首都高技術［正］日和 裕介・下里 哲弘・有住 康則

Ⅰ-032　Al-5Mg合金溶射と重防食塗装の重ね部の耐食・防食特性に関する基礎的研究／九州大学［学］杜 錦軒・貝沼 重信・小林 淳二

Ⅰ-033　コールドスプレー工法技術を用いた実腐食高力ボルトの防食処理技術開発に関する研究／沖縄しまたて協会［正］玉城 喜章・下里 哲弘・有住 康則

Ⅰ-034　電気防食された海中鋼構造物における防食性能の長期間追跡調査／阪神高速技術［正］勝島 龍郎・田畑 晶子・原田 潤

Ⅰ-035　パイプ型と従来型の落橋防止装置に関する防食性能の相違／MKエンジニアリング［正］磯 光夫・矢島 卓・宮原 良平

Ⅰ-036　高速道路上に架かるニッケル系高耐候性鋼材を使用した橋梁のワッペン式暴露試験／鉄道・運輸機構［正］横山 秀喜・藤原 良憲・栗原 淳也

Ⅰ-037　凍結防止剤散布橋梁における耐候性鋼材ワッペン試験／山口大学［学］釜崎 晴也・丸山 和人・麻生 稔彦

■維持管理（防食・耐候）(2)／10:40～12:00／三浦 正純（四電技術コンサルタント）

Ⅰ-038　大気環境における無塗装耐候性鋼材の腐食生成物層と鋼素地の表面性状の相関性／九州大学［学］道野 正嗣・貝沼 重信・平尾 みなみ

Ⅰ-039　実橋調査に基づく耐候性鋼橋梁の定量的さび評価についての提案／日本橋梁建設協会［正］大坪 恭・阿部 浩志・鈴木 克弥

Ⅰ-040　表面処理された耐候性鋼橋梁の劣化度評価と板厚減少量／土木研究センター［正］加納 勇・安波 博道・中島 和俊

Ⅰ-041　鋼球式暴露試験による耐候性鋼橋の腐食挙動予測／国土技術政策総合研究所［正］窪田 真之・玉越 隆史・河野 晴彦

Ⅰ-042　44年経過した耐候性鋼材のさび層の解析／新日鐵住金［正］長澤 慎・原田 佳幸・田中 睦人

Ⅰ-043　耐候性鋼橋の補修方法に関する試験施工について／木更津高専［正］佐藤 恒明・田井 政行・野口 成人

Ⅰ-044　腐食原因排除の有無による耐候性鋼橋梁の最適補修法の検討／日鉄住金防蝕［正］今井 篤実・佐野 大樹・麻生 稔彦

Ⅰ-045　さび安定化補助処理が施された耐候性鋼橋梁の補修とその経過観察／日鉄住金防蝕［正］佐野 大樹・西山 研介・今井 篤実

Ⅰ-1（A棟A101教室）／9月9日(金)

■維持管理（環境）(1)／9:00～10:20／貝沼 重信（九州大学）

Ⅰ-046　車両走行による凍結防止剤の飛散がもたらす周辺塩分環境

の変化／京都大学［学］野口 恭平・秦 聡一朗・白土 博通
Ⅰ-047　長期飛来塩分量調査と風向風速データによる飛来塩分量の予測／松江工業高等専門学校［正］大屋 誠・武邊 勝道・広瀬 望
Ⅰ-048　異なる空間スケールに着目した海塩粒子輸送予測システム開発のための基礎的検討／松江工業高等専門学校［正］広瀬 望・坪倉 ユウタ・武邊 勝道
Ⅰ-049　大気中の塩分濃度計測に基づく鋼材への塩分付着率の推定／松江工業高等専門学校［学］坪倉 佑太・広瀬 望・武邊 勝道
Ⅰ-050　寒冷地における鋼橋の腐食形態―腐食の特徴と地域による違い―／シビテック［F］大藪 宏文・佐藤 京・角間 恒
Ⅰ-051　寒冷地における鋼橋の腐食形態―架設環境の影響―／四電技術コンサルタント［正］三浦 正純・佐藤 京・角間 恒
Ⅰ-052　並列橋における凍結防止剤の飛散と鋼材腐食の検討／長岡技術科学大学［学］多和田 寛・中嶋 龍一朗・岩崎 英治

■維持管理（環境）（2）／10:40～12:00／永田 和寿（名古屋工業大学）
Ⅰ-053　鋼材の熱容量がFe/Ag対ACM型腐食センサの出力に及ぼす影響評価／九州大学［学］八木 孝介・貝沼 重信・平尾 みなみ
Ⅰ-054　飛来塩分捕集法及び設置方向の違いによる飛来塩分捕集量の関係について／松江工業高等専門学校［正］安食 正太・武邊 勝道・大屋 誠
Ⅰ-055　寒冷地の海水飛沫環境における裸普通鋼板の腐食挙動に関する基礎的検討／九州大学［学］平尾 みなみ・貝沼 重信・八木 孝介
Ⅰ-056　結露水流下による鋼材表面の洗浄効果を考慮した付着塩分量推定／［学］井伊 悠・野口 恭平・秦 聡一朗
Ⅰ-057　空気力学的対策による橋梁各部位への海塩粒子付着量低減に関する研究／京都大学［学］繁田 臣寿・八木 知己・杉井 謙一
Ⅰ-058　超音波噴霧器を用いた定量塩付着手法および塩付着性状に関する検討／九州大学［学］渡邉 亮太・貝沼 重信・平尾 みなみ

■維持管理（塗装）／15:20～16:40／石原 修二（三井造船）
Ⅰ-059　61年供用された鋼道路橋（開運橋）のインピーダンス測定／岩手大学［学］佐藤 司・大西 弘志・山崎 稜介
Ⅰ-060　塗膜傷近傍における塗膜下の鋼材の電気化学機構に関する基礎的研究／九州大学［学］藤本 拓史・貝沼 重信・増本 岳
Ⅰ-061　明石海峡大橋2P主塔塗膜剥離工法検討／本州四国連絡高速道路［正］信重 和紀・麓 興一郎・江口 敬一
Ⅰ-062　めっきボルト上の塗装仕様に関する各種性能評価／建設技術研究所［正］荒牧 聡・下里 哲弘・藤本 圭太郎
Ⅰ-063　近接した塗膜傷間における鋼材腐食の電気化学機構に関する基礎的研究／九州大学［学］増本 岳・貝沼 重信・小林 淳二
Ⅰ-064　塗膜傷・劣化の複合性とその電気化学機構を考慮した鋼部材の経時腐食挙動の空間統計数値シミュレーション／九州大学［学］小林 淳二・貝沼 重信・増本 岳
Ⅰ-065　橋脚における塗膜の白亜化調査と考察／名古屋工業大学［学］山中 信・永田 和寿・鞍馬 宏紀
Ⅰ-066　ACMセンサーによる応急塗装の腐食速度評価／福井県建設技術研究センター［正］前田 健児・中津 美智代・三田村 文寛

Ⅰ-2（A棟A102教室）／9月7日（水）

■維持管理（測定）（1）／9:00～10:20／上半 文昭（鉄道総合技術研究所）
Ⅰ-067　多次元自己回帰モデルを用いた橋梁の統計的損傷検知手法の開発／京都大学［学］五井 良直・金 哲佑
Ⅰ-068　GPS時刻同期型MEMSセンサの橋梁モニタリングへの適用／［学］毛利 宏輔・山本 亨輔・浅川 一樹
Ⅰ-069　固有振動数と相関を有した健全度診断指標を用いた状態監視手法の実橋梁における検討／鉄道総合技術研究所［正］石原 匠・阿部 慶太・名取 努
Ⅰ-070　ケーブル点検ロボットによる斜張橋ケーブル点検／阪神高速道路［正］岡本 亮二・杉岡 弘一・塚本 成昭
Ⅰ-071　たわみの影響線を利用した橋梁の劣化箇所同定の試み／宇都宮大学［学］武田 龍國・中島 章典・Nguyen Minh Hai
Ⅰ-072　PC舟形橋梁の固有振動数と静たわみ計測による剛性推定の相関性について／舞鶴工業高等専門学校［正］玉田 和也・北山 明生
Ⅰ-073　局部加振法のためのセンサ配置を考慮した損傷検出評価方法の検討／中央コンサルタンツ［正］柳原 裕平・三上 修一・山崎 智之

■維持管理（測定）（2）／10:40～12:00／笠野 英行（日本大学）
Ⅰ-074　遠隔非接触測定による鉄道PC斜張橋の振動特性調査／鉄道総合技術研究所［正］上半 文昭・松尾 賢・小林 泰一郎
Ⅰ-075　被覆されたコンクリート内部の劣化推定／東京都市大学［学］須藤 夏希・丸山 収
Ⅰ-076　ウェーブレット変換を用いた構造物の損傷検知の試み／東京都市大学［学］野坂 翔・関屋 英彦・丸山 収
Ⅰ-077　MEMSセンサによる支承の変位応答計測に基づいた橋梁の異常検知システム／東京都市大学［正］関屋 英彦・三木 千壽
Ⅰ-078　土工部に設置された鋼製杭基礎を有する角型支柱情報板の振動特性に関して／中央大学［学］瀬戸 大輔・平野 廣和・佐藤 尚次
Ⅰ-079　地際腐食損傷に対する非接触・非破壊検査の円柱橋脚への適用／東京鐵骨橋梁［正］細見 直史・入部 孝夫・貝沼 重信
Ⅰ-080　ひずみゲージ無線化ユニットの開発と通信評価／共和電業［正］高木 真人・関屋 英彦・三木 千壽

■維持管理（測定）（3）／15:20～16:40／宮森 保紀（北見工業大学）
Ⅰ-081　サンプリングモアレ法に基づくコンクリート構造物のひび割れ検知手法／鉄道総合技術研究所［正］箕浦 慎太郎・徳永 宗正・渡辺 勉
Ⅰ-082　支点拘束を有する小規模鋼鈑桁橋の温度変化による挙動と赤外線サーモグラフィーを用いた解析／岩手大学［学］近藤 直輝・高橋 明彦・葛西 智文
Ⅰ-083　垂直補剛材ひずみによる併走車両の軸重推定／［学］山本 一貴・山口 栄輝
Ⅰ-084　車両振動に基づく道路地盤評価技術の開発／［正］山本 亨輔・森川 みどり
Ⅰ-085　PC単純桁橋梁に対するBridge-Weigh-In-Motionの適用／福井大学［学］伊藤 拓・鈴木 啓悟
Ⅰ-086　ローラー支承の可動不良状況およびその対策効果に関する検討／JR西日本［正］橋本 健・中山 太士・河村 清春
Ⅰ-087　JR東日本管内における鋼桁の腐食に関する一考察／東日本旅客鉄道［正］岡澤 亮太・加藤 健二

■維持管理（計画・評価）／17:00～18:20／金田 崇男（土木研究所）
Ⅰ-088　地方公共団体管理橋梁の点検・診断・長寿命化修繕計画策定に関する一考察／国際航業［正］香川 紳一郎
Ⅰ-089　Load Ratingを用いた桁端部に腐食を有する鋼I桁橋の安全性評価に関する研究／大阪市立大学［学］有山 大地・有村 健太郎・船越 博行
Ⅰ-090　新潟県及び県下市町村管理橋梁の経年劣化傾向比較／東京大学［正］松藤 洋照・長井 宏平・井林 康
Ⅰ-091　各種パラメータを考慮したBMSにおける感度解析について／北海学園大学［正］小幡 卓司・丹生谷 祥平・松尾 優子
Ⅰ-092　ODA支援国の橋梁維持管理と自国産業に基づいた支援策に対する検討／苫小牧工業高等専門学校［学］金田 祐樹・松尾 優子・小幡 卓司
Ⅰ-093　地方における橋梁の維持管理の現状と点検の効率化について／長崎大学［正］森田 千尋・松田 浩・稲田 裕
Ⅰ-094　道路橋維持管理費の不確実性を考慮した将来推計／国土技術政策総合研究所［正］松村 裕樹・玉越 隆史・星隈 順一
Ⅰ-095　鉄道河川橋梁橋脚の長期計測による健全度診断指標の適用性検証／鉄道総合技術研究所［正］小湊 祐輝・阿部 慶太・名取 努

Ⅰ-2（A棟A102教室）／9月8日（木）

■耐震補強（1）／9:00～10:20／岩田 秀治（東海旅客鉄道）
Ⅰ-096　健全度確認センサーの開発／熊谷組［正］大越 靖広・西内 美宣・木村 礼夫
Ⅰ-097　丸鋼を用いた骨組試験体に対するRCフレームの補強効果／東日本旅客鉄道［正］桑木野 耕介・伊東 典紀・大郷 貴之
Ⅰ-098　建物に接したRC高架橋柱の耐震補強について／熊谷組［正］田村 知宏・野本 一美・糸井 一義
Ⅰ-099　高架橋上PC電化柱の耐震補強検討システムの開発／ジェイアール西日本コンサルタンツ［正］長尾 勇大・井口 真一
Ⅰ-100　砂詰基礎の置き換えを想定したシリコーンゴム充填基礎の静荷重試験／鉄道総合技術研究所［正］原田 智・室野 剛隆・清水 政利
Ⅰ-101　急速施工と耐久性を考慮した海上部RC橋脚の耐震補強設計／東日本高速道路［正］塩野 智也・齋藤 正司・塩畑 英俊

■耐震補強（2）／10:40～12:00／中島 章典（宇都宮大学）
Ⅰ-102　鋼上路アーチ橋における地震後の復旧性及び維持管理性に着目した耐震補強設計について／建設技術研究所［正］王 健・河原崎 雄介・松本 崇志

I -103 アンカーフレーム定着された鋼上路式アーチ橋（豆焼橋）に対する耐震補強設計／オリエンタルコンサルタンツ［正］伊藤 雪・曽田 信行・津久井 隆
I -104 側径間の重量の大きい鋼上路式アーチ橋（水神橋）に対する耐震補強設計／オリエンタルコンサルタンツ［正］前田 和裕・曽田 信行・津久井 隆
I -105 鋼トラス橋（片品川橋）ジャッキアップ時のRC巻立てコンクリートのFEM解析／日立造船［正］樫本 修二・浅井 貴幸・丸山 純一
I -106 対震橋脚システムによる耐震性向上策の提案と地震応答特性評価／阪神高速道路技術センター［正］服部 匡洋・安藤 高士・篠原 聖二
I -107 地震時の構造系を変化させたPC連続箱桁橋の耐震補強設計／八千代エンジニヤリング［正］名古屋 和史・東田 典雅・下岡 英智

I -2（A棟A102教室）／9月9日（金）

■維持管理（補修）／9:00〜10:20／石川 敏之（関西大学）

I -108 残留変形を有する鋼部材への炭素繊維シート接着による補修工法に関する基礎検討／長野工業高等専門学校［正］奥山 雄介・宮下 剛・小林 朗
I -109 腐食損傷した鋼部材接合部におけるCFRPおよびCFアンカー補修の検討／長岡技術科学大学［学］上原 侑也・和田 新・秀熊 佑哉
I -110 引張荷重を受ける当て板補修部の載荷実験と荷重伝達に関する考察／名古屋工業大学［学］藤本 高志・永田 和寿・小川 麻実
I -111 鋼鉄道橋バックルプレートの分担荷重／西日本旅客鉄道［正］福本 守・木村 元哉・今田 大元
I -112 局部座屈したH形鋼短柱の炭素繊維シートを用いた補強方法に関する基礎検討／新日鉄住金マテリアルズ［正］秀熊 佑哉・大垣 賀津雄・小林 朗
I -113 高力ボルト鋼板当て板補修部の荷重伝達機構に関する解析的研究／名古屋工業大学［正］永田 和寿・小川 麻実・藤本 高志
I -114 鋼桁における腐食損傷したカバープレート取り替え工法の検討／西日本旅客鉄道［正］大久保 成将・木村 元哉・坂田 鷹起

■維持管理（疲労）／10:40〜12:00／下里 哲弘（琉球大学）

I -115 鋼床版SFRC舗装の現地調査報告／土木研究所［正］佐々木 寛幸・佐藤 歩・村越 潤
I -116 鋼床版実大試験体上面に敷設したSFRC舗装接合面の引張強度の経年変化計測／土木研究所［正］佐藤 歩・SASAKI Hiroyuki・MURAKOSHI Jun
I -117 変位誘起型疲労損傷の原因究明を目的とした橋梁変形の可視化の試み／東京都市大学［学］森近 翔伍・関屋 英彦・丸山 收
I -118 Uリブ鋼床版下面からの補修・補強工法に用いる鋳鉄製当て板の軽量化に関す検討／大阪市立大学［学］森下 弘大・山口 隆司・飛永 浩伸
I -119 実橋に試験施工した破断検知線の追跡調査／日本車輛製造［正］吉嶺 建史・峯田 敏宏・伊藤 裕一
I -120 洋上風力発電設備支持物モニタリングデータとFEM動的解析結果の比較／TTES［正］勝山 真規・川崎 昌三・吉岡 健
I -121 鋼床版支点部補剛材に生じた亀裂の補修／本州四国連絡高速道路［正］中山 和真・越野 勝・阪上 隆英
I -122 熱弾性応力測定による鋼構造の疲労き裂補修対策実施効果の検証／神戸大学［学］藤本 泰成・溝上 義昭・阪上 隆英

■維持管理（耐荷性能）／15:20〜16:40／藤井 堅（広島大学）

I -123 腐食損傷した格点部を有する鋼トラス橋全体系の耐荷性能／東日本旅客鉄道［正］平山 武志・野上 邦栄・岸 祐介
I -124 腐食した鋼鉄道リベット桁支点部の載荷試験と残存耐力評価／首都大学東京［学］中田 祐利花・野上 邦栄・松本 祥吾
I -125 模擬腐食を導入した鋼トラス橋圧縮箱断面部材の残存耐荷力評価／首都大学東京［学］井上 恭輔・野上 邦栄・岸 祐介
I -126 腐食特性が鉄塔鋼管部材の耐荷性能に及ぼす影響に関する実験的検討／電力中央研究所［正］佐藤 雄亮・石川 智巳
I -127 送電鉄塔用鉛ダンパーの履歴特性と減衰効果について／東電設計［正］山崎 智之・中村 秀治・本郷 榮次郎
I -128 プラットトラス送電鉄塔の耐荷力特性に関する解析的検討／東電設計［F］中村 秀治・山崎 智之・本郷 榮次郎
I -129 高速カメラを活用した送電鉄塔の振動計測手法の予備的検討／東電設計［正］栗原 幸也・辻 徳生・中村 秀治
I -130 溶接が古材の材料特性に及ぼす影響について／JR東日本［正］川田 真也・後藤 貴士

I -3（A棟A103教室）／9月7日（水）

■地盤液状化（1）／9:00〜10:20／石原 雅規（土木研究所）

I -131 解明された地震時の液状化現象のメカニズム／八戸工業大学［F］塩井 幸武・橋詰 豊
I -132 舗装亀裂からの噴砂発生メカニズムに関する模型実験／東京大学［学］堀内 佑樹・桑野 玲子・桑野 二郎
I -133 南海トラフ想定地震動と工学的基盤の深さの違いを考慮した大阪市域での液状化解析／日建設計シビル［正］由井 洋和・岡 二三生
I -134 地盤全体系の正負交番載荷試験の提案とこれを用いた液状化判定のための基礎的検討／鉄道総合技術研究所［正］坂井 公俊・井澤 淳
I -135 地盤と地下構造物の動的相互作用による地表面沈下に関する研究—その2 模型振動実験における液状化地盤内の体積ひずみの推定—／港湾空港技術研究所［正］大矢 陽介・小濱 英司
I -136 地盤固化による低コストな液状化対策技術の中大規模地震に対する解析的評価／鹿島建設［正］京川 裕之・大谷 芳輝・鎗田 哲也

■地盤液状化（2）／10:40〜12:00／近藤 明彦（海上・港湾・空港技術研究所）

I -137 東日本大震災における河川堤防の地震外力ごとの被災率／土木研究所［正］石原 雅規・地蔵 智樹・佐々木 哲也
I -138 地盤改良を考慮した軟弱粘性土地盤上の河川堤防の液状化解析／京都大学［学］松岡 浩志・木元 小百合・赤木 俊文
I -139 動的遠心模型実験による河川特殊堤の耐震対策工の作用力モデル及び対策効果評価法の検討／国土技術政策総合研究所［正］梶尾 辰史・片岡 正次郎・谷本 俊輔
I -140 N値の低い洪積液状化地盤における盛土構造物の耐震補強設計について／東日本旅客鉄道［正］山内 真也・中村 宏・石川 剛
I -141 堤防の液状化対策としてのり尻直下地盤を改良する場合の固結工法の安定検討／土木研究所［正］地蔵 智樹・石原 雅規・佐々木 哲也
I -142 傾斜堤護岸を対象とした低コスト液状化対策技術に関する遠心模型実験／鹿島建設［正］石井 健嗣・小原 隆志・北本 幸義

■地盤液状化（3）／15:20〜16:40／大矢 陽介（港湾空港技術研究所）

I -143 地盤の不整形性を考慮した軟弱地盤内の水道管の地震応答解析／九州大学［学］佐藤 麻衣子・梶田 幸秀
I -144 下水道埋設管路網の液状化被害と入力地震動の関係／筑波大学［学］原 昌弘・庄司 学
I -145 薬液固結砂の高強度化と液状化強度特性／早稲田大学［学］山崎 知・赤木 寛一・川村 淳
I -146 臨海部埋立地における適用可能な液状化対策技術の検討（その1）／港湾空港技術研究所［正］寺田 竜士・小濱 英司・菅野 高弘
I -147 臨海部埋立地における適用可能な液状化対策技術の検討（その2）／八千代エンジニヤリング［正］国生 隼人・吉野 博之・小山 萌弥
I -148 薄鋼矢板を用いた戸建住宅の液状化被害軽減工法に関する実験的研究—薄鋼矢板の接合部引張試験—／住友林業［正］金子 雅文・佐々木 修平・三上 和久

■地盤震動（観測）（1）／17:00〜18:20／吉見 雅行（産業技術総合研究所）

I -149 臨時地震観測に基づく宮崎市街地の津波避難困難区域におけるサイト増幅特性の評価／大阪大学［学］湊 文博・秦 吉弥・村上 啓介
I -150 地域メッシュに着目した徳島県三好市街地における地盤震動特性の評価／大阪大学［学］吉田 武・秦 吉弥・三神 厚
I -151 1993年能登半島沖地震の震源域における地盤震動特性の評価／大阪大学［正］秦 吉弥・村田 晶・湊 文博
I -152 高速道路盛土における微動と地震動の振動特性の比較／芝浦工業大学［学］大塚 悠大・紺野 克昭・渡辺 陽太
I -153 単点常時微動観測による岸壁の空洞検出の試み／ニュージェック［正］伊藤 佳洋・長尾 毅・山田 雅行
I -154 線状アレイ観測によるRayleigh波位相速度推定法に関する考察／福井大学［正］小嶋 啓介・森谷 嘉文
I -155 常時微動の回転成分を用いた地盤構造推定の可能性について／京都大学［正］清野 純史・増田 貴之

Ⅰ-3（A棟A103教室）／9月8日(木)

■地盤震動(観測)(2)　／9:00～10:20／小野 祐輔(鳥取大学)

Ⅰ-156　極小微動アレイ探査法による相模平野の地盤構造の推定に関する研究／神奈川大学［正］荏本 孝久・落合 努・先名 重樹
Ⅰ-157　表層地盤の周波数依存型減衰の上限値に関する分析／東京電力パワーグリッド［正］杉本 剛康・中村 直樹・田邉 成
Ⅰ-158　耐震解析に用いる等価線形化法への散乱減衰の適用／東京電力パワーグリッド［正］中村 直樹・杉本 剛康・鵜飼 祐一
Ⅰ-159　サイスミシティとGNSSデータの時空間変動からみた3.11地震の先行過程／東北工業大学［F］神山 眞・小出 英夫・沢田 康次
Ⅰ-160　国内の内陸地殻内地震を対象とした地表及び潜在断層地震の地震動特性の違い／鳥取大学［学］吉田 昌平・香川 敬生・野口 竜也
Ⅰ-161　動的平板載荷実験に基づく地盤最表層のS波インピーダンス測定法の開発／京都大学［学］江口 拓生・後藤 浩之・川方 裕則

■地盤震動(解析)　／10:40～12:00／後藤 浩之(京都大学)

Ⅰ-162　3成分入力波動場に基づく、3次元非線形地盤応答解析法／東京大学［正］飯田 昌弘
Ⅰ-163　関東地方の工学的基盤における地震動シミュレーション／東電設計［正］栗田 哲史・董 勤喜・佐藤 慶治
Ⅰ-164　空間相関を考慮した地盤固有周期の面的推定手法の提案／鉄道総合技術研究所［正］田中 浩平・坂井 公俊
Ⅰ-165　地震基盤位置における波形データベースを用いた設計地震動評価に関する基礎的検討／中央開発［正］王寺 秀介・田中 浩平・坂井 公俊
Ⅰ-166　簡易式による南海トラフ地震・首都直下地震の地表面加速度の推定／高圧ガス保安協会［F］木全 宏之・小山田 賢治・佐野 孝
Ⅰ-167　木造住宅の個別要素法による建物モデルの試作と常時微動による固有周期との比較／［学］石川 諒・原 忠・山田 雅行

Ⅰ-3（A棟A103教室）／9月9日(金)

■地震応答解析(1)　／9:00～10:20／吉田 直弘(ドーユー大地)

Ⅰ-168　動的解析による水門の耐震性能照査に関する一考察／RATECH［正］大原 隆一郎・大竹 雄
Ⅰ-169　南海トラフ巨大地震動に対する鋼ランガー橋の地震時応答に関する研究／早稲田大学［学］尾曽越 計・小野 潔・片岡 正次郎
Ⅰ-170　改良版個別要素法に基づく鉄道無筋コンクリート橋脚の振動台実験の再現解析／京都大学［学］好川 浩輝・古川 愛子・清野 純史
Ⅰ-171　高架橋構造物の耐震設計に関する一考察／JR東日本［正］中村 光宏・田附 伸一・藤原 寅士良
Ⅰ-172　高架橋上における照明柱の地震時挙動解析／横浜国立大学［学］三浦 正樹・山田 均・勝地 弘
Ⅰ-173　延長床版の適用における耐震設計の留意点について／西日本高速道路［正］山本 泰造

■地震応答解析(2)　／10:40～12:00／坂井 公俊(鉄道総合技術研究所)

Ⅰ-174　2方向地震動のPhase Polarityと曲線橋の地震応答への影響の分析／京都大学［正］五十嵐 晃・儀久 昴
Ⅰ-175　水平2方向入力の加速度軌跡が構造モデルの非線形応答に及ぼす影響／大成建設［正］井上 和真・渡辺 和明・五十嵐 晃
Ⅰ-176　胸壁の照査用震度算出に関する骨組解析の適用性の検討／港湾空港技術研究所［正］府川 裕史・小濱 英司
Ⅰ-177　ガスパイプラインの耐震性検討を目的とした3次元非線形動的有限要素法による地盤震動解析／東京大学［学］吉行 淳・藤田 航平・市村 強
Ⅰ-178　3次元的基盤不整形性を有する甲府市の地下ライフラインの地震時ひずみ発生メカニズム／山梨大学［学］木下 顕吾・鈴木 猛康
Ⅰ-179　時間領域のモード解析とその適用―E-ディフェンスによる超高層RC造建築物の振動特性―／バイブラントシステム開発［正］安藤 幸治・岩楯 敞広

■地震応答解析(3)　／15:20～16:40／松﨑 裕(東北大学)

Ⅰ-180　マルチスケールモデルを用いた横浜ベイブリッジの地震応答解析とウインドタングの損傷評価／東京大学［学］武田 智信・水谷 司・長山 智則
Ⅰ-181　非線形復元力特性が橋脚の地震応答に及ぼす影響解析／香川大学［学］大守 亮輔・野田 茂
Ⅰ-182　ファイバーモデルとM-ϕモデルによるRC橋脚の地震応答解析の比較／ドーユー大地［正］吉田 直弘・浅井 貴幸・平野 勝彦
Ⅰ-183　既設吊橋のレベル2地震時における耐震性評価／ドーユー大地［正］松田 宏・松田 泰治・今村 壮宏
Ⅰ-184　桁衝突に伴う橋台抵抗特性に関する解析的検討／土木研究所寒地土木研究所［正］西 弘明・佐藤 孝司・西城 能利雄
Ⅰ-185　橋梁上部構造のファイバー要素解析を用いた解析手法に関する検討／岐阜大学［学］井上 一磨・木下 幸治

Ⅰ-4（A棟A104教室）／9月7日(水)

■ダンパー（1）／9:00～10:20／高橋 良和(京都大学)

Ⅰ-186　座屈拘束ブレースを変位変換装置に組込んだ橋梁制震用ダンパーの正負交番載荷実験／JFEシビル［正］井上 高充・塩田 啓介・櫻井 有哉
Ⅰ-187　鋼モルタル板を用いた座屈拘束ブレースの性能評価と橋梁の制震ダンパーとしての適用性検討／JFEシビル［正］櫻井 有哉・萩原 健一・塩田 啓介
Ⅰ-188　拘束部材に溝形鋼を適用したBRBの拘束力に関する実験的検討／名城大学［学］清水 俊彦・渡辺 孝一
Ⅰ-189　BRB接合部の組立精度を考慮した鋼製ラーメン橋脚の制震性能に関する解析的検討／名城大学［学］石田 真士・渡辺 孝一
Ⅰ-190　魚骨形座屈拘束ブレースの性能解析における摩擦係数の影響に関する検討／名城大学［学］劉 厳・吉田 太智・賈 良玖
Ⅰ-191　脚柱とフーチング間にダンパーを設置して補強したRC橋脚の動的解析による補強効果の検討／JFEシビル［正］萩原 健一・櫻井 有哉・塩田 啓介
Ⅰ-192　鋼製座屈拘束ダンパーを用いたRC橋梁システムの耐震補強設計に関する基礎的研究／早稲田大学［学］西山 聡一郎・熊崎 達郎・秋山 充良

■ダンパー（2）／10:40～12:00／武田 篤史(大林組)

Ⅰ-193　鋼ローゼ橋におけるせん断パネル型ダンパーの挿入位置に関する考察／大阪大学［学］山東 寛司・石川 達也・小野 潔
Ⅰ-194　鋼管集成橋脚せん断パネル接合部の低サイクル疲労照査／名古屋大学［学］野田 拓史・舘石 和雄・判治 剛
Ⅰ-195　低降伏点鋼を用いた円形鋼管せん断ダンパーの漸増正負交番載荷実験／愛知工業大学［学］飯田 智仁・鈴木 森晶・塩田 啓介
Ⅰ-196　波形鋼板(BRRP)制震ダンパーの低サイクル疲労実験／名城大学［学］閻 楊・加藤 弘務・宇佐美 勉
Ⅰ-197　低サイクル疲労試験とFEM解析によるU型鋼製ベローズの疲労強度／摂南大学［正］田中 賢太郎・頭井 洋・松村 政秀
Ⅰ-198　橋桁制震ダンパーベローズへのアルミ合金の適用性／摂南大学［正］頭井 洋・田中 賢太郎・斎藤 栄徳

■ダンパー（3）／15:20～16:40／豊岡 亮洋(鉄道総合技術研究所)

Ⅰ-199　TMDを用いた送電鉄塔の耐震性向上に関する基礎的研究／熊本大学［学］松本 将之・會田 和摩・松田 泰治
Ⅰ-200　橋梁に用いる制震デバイスの振動台実験による制震効果の確認／首都高速道路［正］和田 新・右高 裕二・滝本 和志
Ⅰ-201　支承復元力と組み合わせた慣性質量ダンパーの橋梁制震への適用／清水建設［正］林 大輔・磯田 和彦・和田 新
Ⅰ-202　橋梁制震に用いる慣性質量ダンパーの振動台実験による制震効果の確認／清水建設［正］滝本 和志・林 大輔・右高 裕二
Ⅰ-203　摩擦ダンパーを用いた橋梁模型の振動台実験について(その1:実験概要）／青木あすなろ建設［正］波田 雅也・和田 新・右高 裕二
Ⅰ-204　新幹線走行に伴うPRC橋の共振現象のTMDによる振動制御効果の検証／［学］山本 悠人・水谷 司・蘇 迪

■ダンパー(4)、落橋防止装置／17:00～18:20／田中 賢太郎(摂南大学)

Ⅰ-205　非対称摩擦型ダンパーの基礎的検討／大林組［正］武田 篤史
Ⅰ-206　摩擦ダンパーを用いた橋梁模型の振動台実験について(その2:地震時挙動）／青木あすなろ建設［正］藤本 和久・和田 新・右高 裕二
Ⅰ-207　鋼管コイルばねを用いた落橋防止装置のねじり変形拘束機構に関する研究／青木あすなろ建設［正］新井 佑一郎・柳田 佳伸・石鍋 雄一郎
Ⅰ-208　主桁のモデル化手法が落橋防止装置の地震時挙動に及ぼす影響／九州大学［学］永原 稔之・馬越 一也・崔 準ホ

I -209　斜角桁の回転に対する落橋防止対策／JR東日本［正］青木 千里・黒田 智也・山田 正人
I -210　鉄道橋支承サイドブロック構造に対する合理的な形状の検討／復建エンジニヤリング［正］桧山 剛・藤原 良憲・平 暁
I -211　鋼鉄道橋の斜角桁支承部の地震応答特性に関する数値解析的検討／伊藤忠テクノソリューションズ［正］松本 拓・和田 一範・池田 学

I -4（A棟A104教室）／9月8日(木)

■免震構造・デバイス(1) ／9:00～10:20／姫野 岳彦(川金コアテック)
I -212　地震時要求性能および制約条件を考慮した免震ゴム支承の設計法の提案／鉄道総合技術研究所［正］豊岡 亮洋
I -213　スプリング拘束型鉛プラグ入り積層ゴム支承の繰り返し耐久性能／川金コアテック［正］高橋 徹・鵜野 禎史・青木 圭一
I -214　等価線形化手法を用いたすべり型免震構造の地震応答解析手法について／熊本高等専門学校［正］渕田 邦彦・佐々木 宗志
I -215　自己発熱を考慮した雰囲気温度における高減衰ゴム支承の特性値及び地震時温度上昇量の検討／埼玉大学［正］奥井 義昭・中村 圭佑・今井 隆
I -216　大型ネオジウム磁石を備える転がり免震支承の自由振動特性／崇城大学［正］片山 拓朗
I -217　免震支承の経年劣化が免震橋梁の地震時損傷配分に及ぼす影響に関する基礎的研究／東北大学［学］津村 拓都・小野寺 周・松崎 裕
I -218　大規模地震を経験した積層ゴム支承の残存耐震性評価に関する実験的研究／九州大学［学］SUNG HYUNWOO・岩本 周哲・今井 隆

■免震構造・デバイス(2) ／10:40～12:00／吉田 純司(山梨大学)
I -219　経年劣化免震ゴム支承の耐震性能評価に関する解析的検討／阪神高速道路［正］林 訓裕・五十嵐 晃・党 紀
I -220　積層ゴム支承におけるゴムと内部鋼板の接着層の経年劣化特性の評価／阪神高速技術［正］向井 梨紗・坂本 直太・篠原 聖二
I -221　既設橋に予備せん断したゴム支承を用いた耐震補強工法の提案／オイレス工業［正］宇野 裕惠・広瀬 剛・川神 雅秀
I -222　都市内立体高架橋の免震ゴム支承の地震時鉛直応答とその安全性／横浜国立大学［学］數井 佑丞・藤野 陽三・SIRINGORINGO Dionysius Manly
I -223　鉛プラグ入り積層ゴム支承の復元力特性のモデル化に関する研究／アーク情報システム［正］内藤 伸幸・松田 泰治・宇野 裕惠
I -224　橋梁用免震ゴム支承のオゾンクラックに対するコーティング補修性能評価／［学］伊藤 康晃・伊藤 義人・廣畑 幹人
I -225　塩害環境下で長期間供用されたパッド型ゴム支承の圧縮特性評価／土木研究所［正］井上 崇雅・青木 康素・星隈 順一

I -4（A棟A104教室）／9月9日(金)

■免震構造・デバイス(3) ／9:00～10:20／党 紀(埼玉大学)
I -226　危機耐性と経年劣化を考慮した機能分離型免制震橋の一提案／埼玉大学［正］党 紀・金井 寛裕・Joshi Bidha
I -227　ゴムダンパー（HDR-S)の劣化原因究明を目的とした材料試験／名古屋高速道路公社［正］大門 大・鈴木 信勝・山下 章
I -228　ディスク形コンパクト支承(DRB)の終局状態と自然環境における耐久性／住友理工［正］竹ノ内 浩祐・姫野 岳彦・朝倉 康信
I -229　滑り性能を改善した摩擦振子型免震機構付き橋梁構造の水平二方向震動実験／早稲田大学［学］眘戸 鉄太・石橋 寛樹・秋山 充良
I -230　免震支承のエネルギー吸収量に着目した免震設計に関する一試算／土木研究所［正］高橋 宏和・岡田 太賀雄・星隈 順一
I -231　津波の影響を受ける橋への損傷制御型支承の適用に関する研究(その1 損傷制御型支承のコンセプトと試作支承による検証実験）／土木研究所［正］森屋 圭浩・中尾 尚史・星隈 順一
I -232　津波の影響を受ける橋への損傷制御型支承の適用に関する研究(その2 一支承線全体としての耐荷力特性の検証）／土木研究所［正］中尾 尚史・森屋 圭浩・星隈 順一

■免震構造・デバイス(4) ／10:40～12:00／篠原 聖二(阪神高速道路)
I -233　復元力を向上させた瓦型ゴムシューの実験結果のシミュレーション／［正］塚原 美佳・野上 雄太・石橋 忠良
I -234　鉄道長大橋りょうの免震ゴム支承への置き換えに関する諸元選定解析／四国旅客鉄道［正］中田 裕喜・豊岡 亮洋・古屋 卓稔
I -235　免震ゴム支承を用いた鉄道長大橋りょうの耐震補強に関する詳細解析／鉄道総合技術研究所［正］古屋 卓稔・中田 裕喜・豊岡 亮洋
I -236　鉄道長大橋りょうの支承免震化を考慮した地震時列車走行性解析／鉄道総合技術研究所［正］徳永 宗正・曽我部 正道・古屋 卓稔
I -237　FEM解析による損傷制御型サイドブロック取付ボルトの配置方法の検討／首都高速道路技術センター［正］張 広鋒・和田 新・右高 裕二
I -238　損傷制御型サイドブロック取付けボルトの配置方法に関する振動台実験／首都高速道路［正］右高 裕二・和田 新・張 広鋒
I -239　地震時の塑性化を許容した変位拘束ケーブルとすべり支承の連続桁橋への適用／京都大学［学］栗野 翔太・五十嵐 晃・宇野 裕惠

■非破壊評価／15:20～16:40／白旗 弘実(東京都市大学)
I -240　渦流探傷による疲労き裂検出精度向上のための一提案／東京都市大学［正］古東 佑介・小西 拓洋
I -241　表面SH波の鋼材内波動伝播特性／福井大学［学］Nguyen Phuong Ha
I -242　二媒質材料の超音波映像化のためのFSAP方式とその高速化の検討／愛媛大学［学］小澤 耀生・泉 英輝・溝田 裕久
I -243　時間領域境界要素法を援用した異方性板内部の欠陥に対する順解析および逆解析／群馬大学［学］稲垣 祐生・下田 瑞斗・斎藤 隆泰
I -244　フェーズドアレイ超音波法による鋼床版疲労試験体Uリブの探傷／エム・エムブリッジ［正］古田 大介・池上 克則・三瓶 洋之
I -245　鋼床版デッキ貫通型き裂検知手法の適用性に関する検討／首都高速道路技術センター［正］村野 益巳・谷村 豊・高橋 実
I -246　鋼床版デッキプレート進展き裂の深さ検出に関する超音波探傷法の適用性に関する検討／土木研究所［正］高橋 実・小池 光裕・村越 潤

I -5（A棟A105教室）／9月7日(水)

■橋梁の耐震(1) ／9:00～10:20／葛西 昭(熊本大学)
I -247　東北地方太平洋沖地震による荒川湾岸橋の接合部損傷の解明／横浜国立大学［学］藤井 美久・藤野 陽三・SIRINGORINGO Dionysius
I -248　根巻きコンクリートの有無による矩形断面鋼製橋脚の損傷形態に関する実験的研究／愛知工業大学［学］鈴木 洋平・嶋口 儀之・鈴木 森晶
I -249　最大荷重到達前の繰り返し載荷を受ける矩形鋼製橋脚の耐震性能に関する実験／愛知工業大学［正］嶋口 儀之・鈴木 森晶・鈴木 洋平
I -250　SBHS500を用いた無充填鋼製橋脚とCFT橋脚の塑性域での履歴特性とFE解析／名古屋工業大学［学］藤原 史・後藤 芳顯・海老澤 健正
I -251　鋼製橋脚の倒壊判定と耐倒壊性能に関する検討／アイ・エス・ビー［正］BACH NGUYEN VAN・後藤 芳顯・海老澤 健正
I -252　鋼トラス上部工(片品川橋)の耐震補強設計における二次部材の限界状態に関する解析的検討／日立造船［正］松下 裕明・浅井 貴幸・丸山 純一
I -253　設計地震動を上回る地震動に対する鉄道橋梁の初期建設コストに関する研究／パシフィックコンサルタンツ［正］高橋 健・寳地 雄大・室野 剛隆

■橋梁の耐震(2) ／10:40～12:00／鈴木 森晶(愛知工業大学)
I -254　制震デバイス構造を用いた鋼製橋脚耐震補強設計／ジェイアール東日本コンサルタンツ［正］保延 有一・梅本 喜久
I -255　SM570鋼材を用いた鋼製補剛箱形断面橋脚の簡易耐震性能照査法に関する解析的検討／名城大学［学］鈴木 元哉・葛 漢彬
I -256　支圧拘束板を用いたCFT橋脚の耐震性能向上に関する研究／豊田工業高等専門学校［正］川西 直樹・後藤 芳顯・松岡 陵平
I -257　角形CFT柱の曲げ耐力・変形性能の評価方法の検討／東

日本旅客鉄道［正］井上 佳樹・青木 千里・網谷 岳夫
I -258　座屈損傷を受けた円形鋼製橋脚の炭素繊維シート巻立てによる補修効果／［学］岡崎 直斗・中村 一史・岸 祐介
I -259　径厚比パラメータが小さい電縫鋼管の正負交番載荷実験／JFEシビル［正］尾添 仁志・小野 潔・七澤 利明
I -260　電縫鋼管の耐力・変形能および評価法に関する解析的検討／大阪大学［学］市川 尚樹・小野 潔・奈良 敬

■橋梁の耐震(3)／15:20～16:40／中尾 尚史(土木研究所)
I -261　曲率あるいは歪を用いた耐震照査法による鋼製橋脚の限界変位の予測精度に与える荷重履歴の影響／名古屋工業大学［正］海老澤 健正・後藤 芳顯・野中 哲也
I -262　セグメントの限界ひずみによる耐震照査法における部材の細長比と軸力比の影響／瀧上工業［正］奥村 徹・後藤 芳顯
I -263　振動台実験による大型車の地震時転倒可能性に関する検討／横浜国立大学［学］成田 顕次・末藤 彧捷・SIRINGORINGO Dionysius
I -264　応答変位法を用いた入力損失効果の評価手法の提案／鉄道総合技術研究所［正］寳地 雄大・室野 剛隆
I -265　鉄道構造物と自然地盤の周期比に基づく減衰定数の簡易推定と車両走行性の概略評価への活用／鉄道総合技術研究所［正］和田 一範・坂井 公俊・室野 剛隆
I -266　常時微動観測に基づく鉄道橋梁・高架橋の減衰定数の概略評価／テス［正］赤坂 大介・和田 一範・坂井 公俊
I -267　振動方向の違いによる単柱橋脚の減衰定数の変化に関する一考察／［正］石川 太郎・坂井 公俊・和田 一範

■橋梁の耐震(4)／17:00～18:20／梶田 幸秀(九州大学)
I -268　STUDY ON SHAPE EFFECT OF INTERLOCKING BRICKS ON RESISTANCE OF MASONRY STRUCTURES／京都大学［正］古川 愛子・Gerry Tri Satya Daru
I -269　レンガ造の鉄道橋脚の制震構造化による耐震補強／JR東海［正］岩田 秀治・鈴木 亨・上西 寿康
I -270　地震動と津波外力を受ける津谷川橋梁の破壊の進展／早稲田大学［学］五十嵐 裕哉・安 同祥
I -271　気仙大橋における津波に対する開孔床版の効果／長大［正］虻川 高宏・長谷川 明
I -272　既設PCT桁用水平力分担構造取付装置の開発(その1)／ビービーエム［正］植田 健介・岡村 哲也・今井 隆
I -273　既設PCT桁用水平力分担構造取付装置の開発(その2)／ビービーエム［正］岡村 哲也・植田 健介・今井 隆

I -5（A棟A105教室）／9月8日(木)

■橋梁の耐震(5)／9:00～10:20／矢部 正明(長大)
I -274　現場条件に応じた既設石積み壁の耐震補強工法の選定法／鉄道総合技術研究所［正］谷 賢俊・中島 進・藤原 寅士良
I -275　橋台背面に杭打設し土圧低減を図る耐震補強工法／早稲田大学［正］安 同祥・清宮 理
I -276　大規模抗土圧構造物の耐震補強設計について／［正］山本 忠・桐生 郷史・中村 宏
I -277　背面土とコンクリート橋台躯体との境界部のモデル化が水平抵抗特性に与える影響について／九州大学［学］朝廣 祐介・梶田 幸秀
I -278　ノックオフ部材を有するすべり支承の高架橋への適用性／［正］中西 泰之・松村 政秀・山口 隆司
I -279　鋼製橋脚を有する既設乗換こ線橋の耐震性能評価／東日本旅客鉄道［正］大島 博之・山田 正人
I -280　水平力の分担を考慮したこ線橋の耐震補強検討／ジェイアール東日本コンサルタンツ［正］築地 秀和・栗原 啓之

■橋梁の耐震(6)／10:40～12:00／後藤 芳顯(名古屋工業大学)
I -281　SM570の構成則に関する実験的研究／早稲田大学［学］川井 健吾・小野 潔・市川 尚樹
I -282　SM570鋼材を用いた鋼製補剛箱形断面橋脚の繰り返し弾塑性解析／名城大学［学］辛 ヨウ超・鈴木 元哉・宇津宮 直幸
I -283　SM570を用いたコンクリート充填鋼製橋脚の耐震性能に関する実験的研究／首都高速道路［正］神田 信也・山内 貴宏・岡田 誠司
I -284　鋼材の延性破壊パラメータの決定およびメッシュ依存性に関する解析的研究／名城大学［学］猪飼 豊樹・賈 良玖・葛 漢彬
I -285　高応力三軸度の影響を考慮した鋼材の延性破壊性状に関する実験的研究／名城大学［学］方 星・葛 漢彬
I -286　局所系および全体系初期たわみが鋼部材の軸圧縮強度に与える影響／川田工業［正］宮本 勇紀・葛西 昭・久保 雅也

I -5（A棟A105教室）／9月9日(金)

■座屈・耐荷力(柱)／9:00～10:20／奥井 義昭(埼玉大学)
I -287　補剛箱形断面部材におけるダイヤフラムの有無が連成座屈強度評価方法に与える影響／首都大学東京［正］岸 祐介・鵜池 政行・野上 邦栄
I -288　断面欠損を有する鋼トラス橋圧縮部材の残存耐荷力評価に関する検討／土木研究所［正］小峰 翔一・村越 潤・高橋 実
I -289　無補剛箱形断面柱の連成座屈強度に対する初期たわみ影響評価式改良／瀧上工業［正］山下 真史・中村 聖三・奥松 俊博
I -290　繰り返し水平力を受ける鋼変断面片持ち柱の崩壊メカニズムの変動について／神戸市立工業高等専門学校［正］酒造 敏廣
I -291　鋼製パイプ断面を有する柱杭一体構造の有効座屈長／オリエンタルコンサルタンツ［正］大森 貴行・葛西 昭・小原 礼
I -292　引張強度570N/mm^{2}級スパイラル鋼管の正負交番載荷実験と数値解析／JFEスチール［正］塩崎 禎郎
I -293　圧縮と曲げを受けるH型アルミ短柱部材の変形挙動と耐荷力評価／［正］筒井 隆宏・山尾 敏孝・葛西 昭

■座屈・耐荷力(桁・その他)／10:40～12:00／玉越 隆史(土木研究所)
I -294　SBHS500を用いた両縁支持板の耐荷力特性に関する実験的研究／早稲田大学［学］安宅 俊樹・小野 潔・加藤 健太郎
I -295　残留応力の大きさの違いがSBHS500製無補剛短柱の耐荷力特性に及ぼす影響／大阪大学［学］加藤 健太郎・小野 潔・安宅 俊樹
I -296　SBHS400を用いたコンパクト断面I桁の曲げ性能確認試験／新日鐵住金［正］北市 さゆり・横関 耕一・冨永 知徳
I -297　画像計測技術による面外たわみ量を用いた角形鋼管の圧縮耐荷力予測／熊本大学［学］牛塚 悠太・葛西 昭・上田 誠
I -298　曲げとせん断を受けるアルミニウム合金桁の耐荷力／大阪大学［学］山木 陸呂宇・大倉 一郎
I -299　Cr-Ni系ステンレス鋼および構造用炭素鋼で構成されるI形断面梁の曲げ強度特性／長岡工業高等専門学校［学］和田 勇輝・宮嵜 靖大
I -300　腐食した桁端部を想定した局部振動計測に基づく耐荷性能評価／東京大学［正］長山 智則・Khatri Thaneshwor

■座屈・耐荷力(板・その他)／15:20～16:40／佐藤 歩(土木研究所)
I -301　縦補剛材剛比および断面構成が異なる多リブ圧縮補剛板の強度特性／長岡工業高等専門学校［学］井比 亨・宮嵜 靖大・奈良 敬
I -302　材料のヤング係数および塑性域の変化が板の面内曲げ強度特性に及ぼす影響／長岡工業高等専門学校［学］高橋 寛成・宮嵜 靖大・奈良 敬
I -303　圧縮載荷実験による鋼トラス橋格点部の終局状態に関する研究／早稲田大学［学］市川 裕規・笠野 英行・依田 照彦
I -304　車両火災時の部材温度に着目した鋼橋の耐火性能評価／東京大学［学］国吉 竜太・蘇 迪・長山 智則
I -305　引張試験による二相系ステンレス鋼の材料特性／長岡工業高等専門学校［学］佐藤 信輔・宮嵜 靖大
I -306　リーン二相系ステンレス鋼溶接I形断面部材の残留応力／明石工業高等専門学校［正］三好 崇夫

I -6（A棟A106教室）／9月7日(水)

■強震動予測／9:00～10:20／田中 浩平(鉄道総合技術研究所)
I -307　強震動距離減衰式の適応型更新推定／香川大学［F］野田 茂・三崎 健司
I -308　強震動シミュレーションのための周波数・震源距離依存型ラディエーション係数モデルに関する検討／港湾空港技術研究所［正］長坂 陽介・野津 厚
I -309　地震動位相の微分可能性について／港湾空港技術研究所［正］野津 厚
I -310　クラスター分析による地震動の経時特性の分類／岐阜大学［学］高島 拓也・能島 暢呂・久世 益充
I -311　自己組織化マップを用いた地震動の経時特性の考察／岐阜大学［正］久世 益充・能島 暢呂・高島 拓也
I -312　地震諸元推定と閾値超過監視を併用した地震警報判断処理／東海旅客鉄道［正］他谷 周一・岡本 弘・下野 五月

■地震防災(1)／10:40～12:00／森 敦(エイト日本技術開発)
I -313　東日本大震災における通信用橋梁添架管路設備の被害分析について／NDS［正］近藤 卓・田中 宏司・若竹 雅人
I -314　東北地方太平洋沖地震における高速道路路面の段差被害分析／高速道路総合技術研究所［正］藤岡 一頼・横田 聖哉・日下 寛彦

Ⅰ-315　地盤の不連続点における橋梁の地震被害形式と杭変形について／元前橋工科大学［F］那須 誠
Ⅰ-316　断層を跨ぐ鉄道ラーメン高架橋の地震時挙動に関する基礎的検討／鉄道総合技術研究所［正］日野 篤志・室野 剛隆・澤田 純男
Ⅰ-317　岩手県北部の橋梁の被害状況と津波特性の推定／［学］中城 拓也・幸左 賢二・佐々木 達生
Ⅰ-318　粒子法に基づく橋梁に作用する津波力の再現に向けた基礎検討／千葉大学［学］菅波 慎吾・丸山 喜久・庄司 学

■地震防災(2)　／15:20〜16:40／庄司 学(筑波大学)
Ⅰ-319　コンクリートで防護された地下管路の応答変位法による軸方向ひずみの評価／NTT［正］若竹 雅人・田中 宏司・伊藤 陽
Ⅰ-320　通信管路の耐震補強が必要な箇所と対策時期を評価する手法について／日本電信電話［正］田中 宏司・若竹 雅人・伊藤 陽
Ⅰ-321　断層変位を受ける地中線状構造物の解析手法の簡易化に関する検討／大成建設［正］坂下 克之・畑 明仁
Ⅰ-322　広域水道システムの地震時送水信頼性評価のシミュレーション／岐阜大学［学］LE QUANG DUC・能島 暢呂・加藤 宏紀
Ⅰ-323　液状化による地震リスクを考慮した下水道管路施設のアセットマネジメントに関する研究／日本技術士会［正］常井 友也
Ⅰ-324　都市ガス供給における地震時緊急停止システムの性能評価／岐阜大学［学］森山 達哉・能島 暢呂・猪股 渉
Ⅰ-325　サポートベクトル回帰に基づく被害関数の機械学習／岐阜大学［正］能島 暢呂・猪股 渉

■地震防災(3)　／17:00〜18:20／丸山 喜久(千葉大学)
Ⅰ-326　鉄道沿線地震計近傍で重機を使用した場合の計測事例／ジェイアール東海コンサルタンツ［正］丹羽 健友・永沼 崇彦・中嶋 繁
Ⅰ-327　海底地震計データを利用した早期地震警報判断処理手法の検討／JR東海［正］岡本 弘・他谷 周一・丹羽 健友
Ⅰ-328　強震計観測情報を用いた係留施設の供用可否判定システムの開発／ニュージェック［正］山本 龍・宇野 健司・大塚 尚志
Ⅰ-329　南海トラフ巨大地震津波に曝露される道路ネットワークの津波被害推計／筑波大学［学］水越 湧太・庄司 学
Ⅰ-330　地震災害を想定した被害情報の統合分析アルゴリズムの構築／国総研［正］長屋 和宏・松本 幸司・能島 暢呂
Ⅰ-331　災害時における通行実績情報と交通規制の実態を踏まえた道路防災情報提供のあり方に関する一考察／国土技術政策総合研究所［正］松本 幸司・長屋 和宏・孝明 孝明

Ⅰ-6（A棟A106教室）／9月8日(木)

■地震防災(4)　／9:00〜10:20／常井 友也(日本技術士会)
Ⅰ-332　常時微動を用いた地震時家屋被害予測／長岡技術科学大学［学］嵯峨 義朗・高橋 健太・宮木 康幸
Ⅰ-333　MEMS加速度・ジャイロセンサを用いた層間変形角計測の試み／東京理科大学［学］三村 真代・佐伯 昌之
Ⅰ-334　地震時における構造物の弾塑性応答を用いた損傷判定指標開発の試み／東京理科大学［学］榊原 賢・佐伯 昌之
Ⅰ-335　長周期地震動記録を用いた超高層建物の振動特性の把握／千葉大学［学］竹平 匠吾・山崎 文雄・劉 ウェン
Ⅰ-336　広域ライフラインの地震リスク評価のためのシナリオ地震選定／岐阜大学［学］加古 涼介・能島 暢呂
Ⅰ-337　共分散構造分析に基づく地すべり地形の特徴の評価／千葉大学［学］古川 昭太・丸山 喜久

■地震防災(5)　／10:40〜12:00／秦 康範(山梨大学)
Ⅰ-338　地震後の道路交通状況を考慮した津波避難実験用走行シナリオの構築／千葉大学［学］小山 天城・丸山 喜久
Ⅰ-339　従業員への防災教育を目的とする防災力検定システムの開発／愛知工業大学［学］戸崎 将寛・小池 則満
Ⅰ-340　スマートフォンの位置情報を用いた流動人口の推定に向けた基礎検討／千葉大学［学］一ノ瀬 良奈・丸山 喜久・永田 茂
Ⅰ-341　電子メール等を利用した緊急通報システムの開発／千葉工業大学 発表時は、中庭測量コンサルタント［学］細山 幸樹・小泉 俊雄・木名瀬 雅
Ⅰ-342　被災宅地危険度判定士が用いる電子調査票の開発／千代田コンサルタント［正］橋本 隆雄
Ⅰ-343　東京オリンピックの前に首都直下地震が起こったら／［F］伯野 元彦

Ⅰ-6（A棟A106教室）／9月9日(金)

■橋梁床版(1)　／9:00〜10:20／大西 弘志(岩手大学)
Ⅰ-344　多層版内部に作用する変位と応力の影響線について／井沢設計［正］廣瀬 清泰・三上 浩・堀川 都志雄
Ⅰ-345　異スパンの増厚コンクリートで補強される損傷床版の数値解析／三井住友建設［F］三上 浩・水野 政純・河野 一資
Ⅰ-346　半連続プレキャスト床版に用いる充填材に関する実験的検討／新日鉄住金エンジニアリング［正］北 慎一郎・櫻井信彰・中山 逸人
Ⅰ-347　将来拡幅を考慮した合成床版形式の設計に関する一考察／中日本高速道路［正］小野 聖久・内山 治
Ⅰ-348　今後の橋梁予備設計のあり方に対する一提案／パシフィックコンサルタンツ［正］金沢 吉彦・山本 智弘・矢口 昂史

■橋梁床版(2)　／10:40〜12:00／藤山 知加子(法政大学)
Ⅰ-349　展張格子鋼板筋を配置したSFRC上面増厚補強RC床版の耐疲労性の評価／日本大学［学］野口 博之・阿部 忠・吉岡泰邦
Ⅰ-350　鋼板接着補強された既設RC床版の輪荷重走行試験／阪神高速道路［正］佐藤 彰紀・北村 耕一・薄井 王尚
Ⅰ-351　小型FWD試験機を用いた道路橋床版の変位・加速度計測結果／岩手大学［学］千田 昌磨・遊田 勝・大西 弘志
Ⅰ-352　SELF-PROPELLED IMPACT VIBRATION EQUIPMENT AND EVALUATION OF DETERIORATION DEGREE OF BRIDGE SLAB／金沢大学［学］グエン ツ ガ・桝谷 浩・開井 宏光
Ⅰ-353　炭素繊維シート補強された道路橋RC床版の健全性点検技術／オリエンタルコンサルタンツ［正］古賀 秀幸・安倍 敦・諸橋 拓実
Ⅰ-354　模擬損傷を有する床版の打音の周波数特性に関する研究／前橋工科大学［学］秋山 拓也・谷口 望・廣江 正明

■橋梁床版(3)　／15:20〜16:40／田中 良樹(土木研究所)
Ⅰ-355　上方への載荷による床版の押し抜きせん断実験法と各供試体の耐力評価／砂子組［正］田中 孝宏・佐藤 和彦・川村 正之
Ⅰ-356　床版上面切削後に有機ファイバーを打設した押し抜きせん断の破壊メカニズムに関する研究／砂子組［正］近藤 里史・川村 正之・平島 博樹
Ⅰ-357　床版下面に人為的にひび割れを入れた床版のカーボン補強押し抜きせん断実験／砂子組［正］川村 正之・近藤 里史・山本 寛子
Ⅰ-358　ワッフル型UFC床版床組の構造および剛性に関する検討／阪神高速道路［正］小坂 崇・金治 英貞・一宮 利通
Ⅰ-359　ワッフル型UFC床板の振動およびたわみに関する検討／鹿島建設［正］藤代 勝・一宮 利通・金治 英貞
Ⅰ-360　光ファイバを用いたUFC床版のひずみ計測／鹿島建設［正］一宮 利通・今井 道男・小坂 崇
Ⅰ-361　PCM舗装の疲労耐久性評価／首都高速道路技術センター［正］大宮 勲・青木 聡・岸田 政彦

Ⅰ-7（A棟A200教室）／9月7日(水)

■疲労(1)　／9:00〜10:20／穴見 健吾(芝浦工業大学)
Ⅰ-362　荷重伝達型十字継手におけるのど断面応力の推定に関する研究／名古屋大学［学］古崎 智大・舘石 和雄・判治 剛
Ⅰ-363　厚板の溶接継手の曲げ疲労に対する破壊力学的考察／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋［正］山田 健太郎
Ⅰ-364　軸方向圧縮応力を受ける面外ガセット溶接継手の疲労き裂の発生・進展挙動と疲労強度／法政大学［学］木村 直登・森 猛・中山 大輝
Ⅰ-365　せん断応力を受ける溶接継手と母材の疲労試験／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋［正］重原 大二朗・山田 健太郎
Ⅰ-366　移動荷重を受ける鋼I桁ウェブガセット溶接部の疲労強度／東京鐵骨橋梁［正］松井 喜昭・森 猛・佐藤 歩
Ⅰ-367　裏波を有する突合せ溶接継手の疲労強度／［正］高田 嘉秀・森 猛・村上 貴紀
Ⅰ-368　繰返し曲げ負荷を受ける鋼板の背面き裂発生条件に関する研究／名古屋大学［学］白井 晴也・判治 剛・舘石 和雄

■疲労(2)　／10:40〜12:00／平山 繁幸(首都高速道路技術センター)
Ⅰ-369　ショットピーニングによる溶接継手部の疲労強度向上効果に関する検討／岐阜大学［正］木下 幸治・秋山 竜馬・山田 翔平
Ⅰ-370　開口したICR処理部への再ICR処理の効果／岐阜大学［学］秋山 竜馬・木下 幸治

I -371　UITによる溶接継手の疲労強度改善効果の推定方法の検討その4／新日鐵住金［正］島貫 広志・米澤 隆行・田中 睦人
I -372　角形鋼管を平板に溶接した継手の低サイクル疲労寿命予測／名古屋大学［正］判治 剛・寺尾 名央・舘石 和雄
I -373　X線回折法を用いた残留応力計測による疲労き裂の検出／関西大学［正］石川 敏之・松村 寿男・内山 宗久
I -374　点検時に適用可能な疲労き裂進展性診断装置の開発／阪神高速技術［正］塚本 成昭・津田 仁・貝沼 重信
I -375　疲労き裂への応力拡大係数解析ひずみゲージの適用／共和電業［正］齊藤 順倫・横山 薫・三木 千壽

■疲労(3)　／15:20～16:40／判治 剛(名古屋大学)
I -376　鋼床版デッキ貫通型き裂の発生・進展に関する検討／首都高速道路技術センター［正］平山 繁幸・谷村 豊・蛭川 満
I -377　鋼床版デッキプレート・トラフリブ溶接ルート部の残留応力低減に関する検討／法政大学［F］森 猛・内田 大介・入野 啓太
I -378　鋼床版デッキプレートのUリブ・横リブ交差部の疲労強度向上法／［正］松本 理佐・ロッケンバッハ 浄・石川 敏之
I -379　鋼床版デッキ進展き裂・疲労耐久性に対するSFRC舗装厚の影響に関する解析的検討／法政大学［学］金子 想・森 猛・村越 潤
I -380　Uリブ鋼床版の下面補強工法の一提案とFE解析による効果検証／ワイ・シー・イー［正］一宮 充・岩崎 雅紀・田畑 晶子
I -381　Uリブ鋼床版の下面補強工法のビード進展き裂に対する効果の実験的検証／横河ブリッジ［正］井口 進・曽我 麻衣子・田畑 晶子
I -382　Uリブ鋼床版の下面補強工法のデッキ進展き裂に対する効果の実験的検証／横河ブリッジ［正］曽我 麻衣子・井口 進・田畑 晶子

■疲労(4)　／17:00～18:20／小笠原 照夫(川田工業)
I -383　開断面縦リブ鋼床版の縦リブ-横リブ交差部の応力性状分析／首都高速道路技術センター［正］葉山 瑞樹・木ノ本 剛・平山 繁幸
I -384　平リブを有する取替鋼床版の輪荷重走行試験／エム・エムブリッジ［正］渡邉 俊輔・鈴木 俊光・三木 千壽
I -385　車両走行位置分布を考慮した鋼床版縦横リブ交差部の疲労寿命検討／新日鉄住金［正］横関 耕一・冨永 知徳・三木 千壽
I -386　Uリブ鋼床版 ビード貫通亀裂の進展特性／本州四国連絡高速道路［正］溝上 善昭・花井 拓・鎌田 将史
I -387　疲労き裂が生じた鋼床版垂直スティフナ溶接部に対するUIT処理の効果(実験)／法政大学［学］阪間 大介・大住 圭太・森 猛
I -388　疲労き裂が生じた鋼床版垂直スティフナ溶接部に対するUIT処理の効果(解析)／［正］大住 圭太・森 猛・阪間 大介
I -389　垂直補剛材上端に生じる貫通き裂を片面ICR処理で閉口した場合のき裂進展挙動／京都大学［学］平野 雄一・松本 理佐・石川 敏之

I -7(A棟A200教室)／9月8日(木)

■疲労(5)　／9:00～10:20／村越 潤(首都大学東京)
I -390　溶接継手に生じた疲労き裂に対するCFRP接着補修の効果に関する研究／名古屋大学［学］金山 由布子・判治 剛・舘石 和雄
I -391　高力スタッドボルトによる当て板補強の板曲げ疲労挙動／片山ストラテック［正］奥村 学・田畑 晶子・原田 潤
I -392　鋼製橋脚横梁内支点ダイアフラムの疲労損傷に対するL型補強材の補強効果／首都高速道路［正］梶原 仁・飛田 遼・齋藤 豪
I -393　鉄道橋Iビーム桁支点首部の疲労き裂の進展性状に関する研究／名古屋大学［学］岩井 将樹・判治 剛・舘石 和雄
I -394　吊橋太径ねじ部材の疲労損傷に関する検討／［正］高田 大資・梶尾 光邦・溝上 善昭
I -395　モジュラー型伸縮装置のミドルビーム溶接部の疲労強度／法政大学［正］山崎 信宏・森 猛・菊地 広祐
I -396　現場応力計測に基づく長大橋伸縮装置の疲労損傷原因分析／首都高速道路［正］木ノ本 剛

■疲労(6)　／10:40～12:00／木ノ本 剛(首都高速道路)
I -397　疲労強度の信頼性向上に向けた疲労試験データベースの活用と今後の課題／パシフィックコンサルタンツ［正］石原 大作・青木 康素・村越 潤
I -398　鋼床版I桁 縦桁-横桁交差部溶接継手の疲労評価／本州四国連絡高速道路［正］鎌田 将史・溝上 善昭・大舘 健司
I -399　鋼I桁のウェブギャップ板に発生する疲労き裂の進展速度分析／首都高速道路［正］牧山 大祐・中村 充
I -400　既設鋼道路橋の疲労対策優先度に関する検討／阪神高速道路［正］原田 潤・田畑 晶子・加賀山 泰一
I -401　既設鋼桁の疲労照査法に関する検討／阪神高速道路［正］藤林 美早・西岡 勉・明田 修
I -402　既設鋼道路橋の疲労照査に関する検討／阪神高速道路［正］田畑 晶子・小林 寛・明田 修

I -7(A棟A200教室)／9月9日(金)

■継手(1)　／9:00～10:20／橋本 国太郎(神戸大学)
I -403　無機ジンクリッチペイント摩擦面における15%増し締めボルト軸力の適用性／鉄道・運輸機構［正］南 邦明
I -404　接合面をアルミ溶射及び高膜厚無機ジンクリッチペイントとした高力ボルト摩擦接合継手のすべり係数に関する実験的研究／大阪市立大学［学］藤田 翔吾・山口 隆司・東 清三郎
I -405　高力ボルト継手の終局状態におけるボルト孔径の推定方法／石川工業高等専門学校［学］福田 陽介・三ツ木 幸子・高井 俊和
I -406　板幅が高力ボルト摩擦接合継手のすべり後挙動に与える影響の2,3の考察／大阪市立大学［学］森山 仁志・山口 隆司
I -407　高力ボルト継手引張載荷実験の終局挙動の変動特性に関する2,3の考察／石川工業高等専門学校［正］高井 俊和・三ツ木 幸子・舟山 耕平
I -408　高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力と降伏耐力に対する継手形状の影響／鉄道総合技術研究所［正］網谷 岳夫・小林 裕介・森 猛
I -409　母材をSBHS500とした高力ボルト摩擦接合継手の強度特性／日本鉄鋼連盟［正］高木 優任・山口 隆司・森山 仁志

■継手(2)　／10:40～12:00／清川 昇悟(横河ブリッジ)
I -410　主桁添接板取替時における応力変動の計測について／日本橋梁［正］川村 弘昌・竹内 正一・鮫島 力
I -411　主桁添接板取替時における応力変動のFEM解析について／日本橋梁［F］小西 日出幸・竹内 正一・川村 弘昌
I -412　実腐食形状を有する高力ボルト摩擦接合添接板のすべり耐力特性／宮地エンジニアリング［正］山下 修平・下里 哲弘・田井 政行
I -413　高力ボルトの腐食形状が残存軸力に及ぼす影響／西日本旅客鉄道［正］坂田 鷹起・和田 直樹・木村 元哉
I -414　腐食した高力ボルトの残存軸力に関する解析的検討／神戸大学［学］二宮 僚・橋本 国太郎
I -415　鋳鉄板を用いた高力ボルト機械式継手のすべり試験／大阪市立大学［学］池田 裕也・飛永 浩伸・山口 隆司
I -416　接合面をボルト孔周辺のみ素地調整した一面摩擦接合継手の実用性に関する研究／大阪市立大学［学］山本 佑大・山口 隆司・田畑 晶子

■接合・溶接／15:20～16:40／南 邦明(鉄道建設・運輸施設整備支援機構)
I -417　高力ボルト摩擦接合継手の添接板をエネルギー吸収部材とする場合の終局挙動に関する研究／石川工業高等専門学校［学］舟山 耕平・三ツ木 幸子・高井 俊和
I -418　添接板をエネルギー吸収部材とする高力ボルト継手の設計手法の一検討／［学］村田 俊・三ツ木 幸子
I -419　特殊ナットを用いた高力ボルト1面摩擦接合継手の持続荷重載荷試験／駒井ハルテック［正］吉岡 夏樹・金城 力・山口 隆司
I -420　スレッドローリングねじで接合された重ね継手の疲労強度に関する一考察／ロブテックスファスニングシステム［正］中島 一浩・鈴木 博之・川邉 裕一
I -421　リブ配置およびエンドプレート形状に着目した緊急仮設橋主桁連結部の構造最適化に関する研究／大阪市立大学［学］杉本 悠真・江頭 慶三・今井 祐三
I -422　すみ肉溶接T継手の角変形量に与える同時裏面加熱の低減効果に関する検討／［正］津山 忠久・小谷 祐樹・岡野 成威
I -423　CFT門型橋脚における鋼管と横梁接合部の溶接施工試験について／西日本旅客鉄道［正］相原 修司・大橋 亮平・小倉 強

Ⅰ-8（C棟C102教室）／9月7日(水)

■数値解析／9:00～10:20／渡邉 学歩(山口大学)

Ⅰ-424　脆弱面を考慮した既存FEMメッシュの再分割法に関する検討／鹿島建設［正］大家 史・大谷 芳輝・田部井 和人
Ⅰ-425　飽和多孔質弾性体の高周波数域の波動問題に対する有限要素解析／東京工業大学［学］藤本 隼史・古川 陽・廣瀬 壮一
Ⅰ-426　レーザー超音波可視化試験を援用した一方向炭素繊維強化プラスチックの弾性定数の推定／群馬大学［学］森 亜也華・斎藤 隆泰
Ⅰ-427　空気超音波探触子の形状加工に関する基礎的検討／東京工業大学［学］月岡 桂吾・古川 陽・廣瀬 壮一
Ⅰ-428　E-MPS法を用いた橋梁上部構造の3次元破壊解析／群馬大学［学］秋友 誠・斎藤 隆泰
Ⅰ-429　鉄道車両走行時に軌道に作用する荷重特性に関する解析的研究／［学］池田 圭輔・園田 佳巨・渕上 翔太
Ⅰ-430　地震動が軌道の動的座屈強度に及ぼす影響／新潟大学［学］千葉 颯兵・阿部 和久・紅露 一寛

■診断・補修・補強(1)／10:40～12:00／増井 隆(首都高速道路)

Ⅰ-431　既設鋼I桁下フランジ継手部のバイパス部材を用いた現場取替え工法に関する解析的検討／大阪市立大学［学］戸田 健介・山口 隆司・森山 仁志
Ⅰ-432　支承部にゴム板補修を施した鋼鉄道橋におけるき裂の発生原因と対策／JR西日本［正］佐藤 篤・池頭 賢
Ⅰ-433　中間補剛材上端溶接部の破断時における上部接合型3面当板の疲労対策効果／西日本旅客鉄道［正］和田 直樹・池頭 賢・松本 健太郎
Ⅰ-434　片側施工高力ボルトによる当て板補強に関する実験的検討／大日本コンサルタント［正］河原井 耕介・横山 広・竹村 学
Ⅰ-435　変状・劣化の程度が異なる鋼板接着RC床版のたわみ測定／内外構造［正］前川 敬彦・佐藤 彰紀・坂本 直太
Ⅰ-436　コンクリート系舗装による鋼床版の応力低減効果に関する基礎的検討／施工技術総合研究所［正］小野 秀一・村越 潤・高橋 実
Ⅰ-437　損傷による鉄筋コンクリート部材の減衰定数の変化に関する検討／電力中央研究所［正］永田 聖二・宮川 義範
Ⅰ-438　当て板接着とスタッドボルトを併用した鋼板の曲げ試験／関西大学［学］池田 拓矢・石川 敏之

■診断・補修・補強(2)／15:20～16:40／政門 哲夫(日本エンジニアリング)

Ⅰ-439　接着剤を用いた腐食鋼板の部分的強度回復に残存錆が及ぼす影響／広島大学［学］横田 龍一・藤井 堅・堀井 久一
Ⅰ-440　AFRPシート接着工法により曲げ補強したH形鋼梁の静載荷実験／室蘭工業大学［正］栗橋 祐介・三上 浩・小室 雅人
Ⅰ-441　CFRP部材による鋼桁端腐食部の補修方法と性能回復に関する解析的検討／首都大学東京［学］近藤 諒翼・中村 一史・松本 幸大
Ⅰ-442　VaRTM成形を応用したCFRPによる鋼桁端腐食部の補修に関する検討／首都大学東京［学］小林 洸貴・中村 一史・近藤 諒翼
Ⅰ-443　溶接継手部から発生した疲労き裂のプレテンションを導入したCFRP板接着による補修効果／大林組［正］伊藤 寛弥・Thay Visal・中村 一史
Ⅰ-444　鋼鈑桁橋桁端部への炭素繊維シート補修工法の適用について／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋［正］小森 徹・加賀谷 悦子・宮下 剛
Ⅰ-445　炭素繊維成形板接着時の磁石による面圧作用が疲労寿命に与える影響／ショーボンド建設［正］竹村 学・平塚 慶達・松本 理佐
Ⅰ-446　シングルラップ接着接合の理論解析とはく離によるエネルギー解放率／関西大学［学］坂本 貴大・石川 敏之

■診断・補修・補強(3)／17:00～18:20／菅沼 久忠(TTES)

Ⅰ-447　大規模補修した九年橋の固有振動数／土木技研［正］遊田 勝・岩崎 正二・出戸 秀明
Ⅰ-448　大規模補修した九年橋の動的挙動／土木技研［正］松原 和則・岩崎 正二・出戸 秀明
Ⅰ-449　下水道施設の非線形解析に関する基礎的研究―その1―建築一貫構造計算プログラムを用いた非線形解析／エーバイシー［F］本多 顕治郎・福江 清久・植松 祐亮
Ⅰ-450　下水道施設の非線形解析に関する基礎的研究―その2―円形タンクの非線形有限要素解析／エーバイシー［正］福江 清久・植松 祐亮・本多 顕治郎
Ⅰ-451　下水道施設の非線形解析に関する基礎的研究―その3―二方向版に対するせん断耐力の検証／エーバイシー［正］堀江 知司・本多 顕治郎・福江 清久
Ⅰ-452　鋼素地面の点錆発生時間に及ぼす湿度の影響分析と一試算／富士技建［正］武藤 和好・藤川 圭介・宮田 弘和
Ⅰ-453　レーザー散乱光を用いたブラスト鋼板の表面粗さの測定と評価／フジエンジニアリング［正］元井 邦彦・宮田 弘和・築山 彰
Ⅰ-454　鋼棒を用いた折れた石材はりの補修方法の実験的検討／熊本大学［F］山尾 敏孝・堀田 昴良・金澤 希

Ⅰ-8（C棟C102教室）／9月8日(木)

■診断・補修・補強(4)／9:00～10:20／中村 一史(首都大学東京)

Ⅰ-455　道路橋として供用されている木橋の点検と健全度調査例／オリエンタルコンサルタンツ［正］上野 大介・小住 友哉
Ⅰ-456　自動車のばね上加速度を活用した道路路面診断に向けた基礎検討／［学］河井 大地
Ⅰ-457　ひび割れ計測機と飛行ロボットによる橋梁点検支援システムに関する研究／大阪市立大学［学］堂ノ本 翔平・山口 隆司・菱田 聡
Ⅰ-458　ピッチキャッチ探傷に基づくコンクリート内在欠陥の検出／福井大学［学］角田 貴也・鈴木 啓悟・斎藤 隆泰
Ⅰ-459　腐食損傷をうけた上路トラス橋の格点部照査方法に関する考察／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋［正］橘 吉宏・長井 正嗣・岩崎 英治
Ⅰ-460　損傷を受けた梁の曲げ応力・耐力の概略判定方法について／建設プロジェクトセンター［正］筒井 光男・水田 洋司・坂田 力
Ⅰ-461　壁石を有する石橋模型の壁石効果と変形挙動の解明／熊本大学［学］金子 和明・山尾 敏孝・堀田 昴良

■基礎・トンネルの耐震／10:40～12:00／山崎 貴之(鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

Ⅰ-462　強震動の高振動数成分が杭基礎のキネマティック応答に与える影響に関する研究／埼玉大学［学］佐藤 絵人・齊藤 正人
Ⅰ-463　杭頭部の半剛結化による合理的な杭基礎構造の検討／東海旅客鉄道［正］伊藤 太郎・岩田 秀治・鈴木 亨
Ⅰ-464　衣浦トンネル（Ⅰ期線）の縦断方向耐震補強／オリエンタルコンサルタンツ［正］梅林 福太郎・大竹 省吾・福間 雅俊
Ⅰ-465　衣浦トンネル（Ⅰ期線）の横断方向耐震補強／オリエンタルコンサルタンツ［正］大竹 省吾・梅林 福太郎・福間 雅俊
Ⅰ-466　柱杭一体構造鋼管の圧縮耐荷力に関する一考察／熊本大学［学］小原 礼・葛西 昭・大森 貴行
Ⅰ-467　追設部材による桟橋式係船岸の耐震補強効果に着目した基礎的変形特性の検討／海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所［正］近藤 明彦・小濱 英司・寺田 竜士
Ⅰ-468　超過外力に対する杭基礎一体型鋼管集成橋脚の耐震性評価／阪神高速道路［正］篠原 聖二・小坂 崇・金治 英貞

Ⅰ-8（C棟C102教室）／9月9日(金)

■ダム・タンクの耐震(1)／9:00～10:20／平野 廣和(中央大学)

Ⅰ-469　鉛直加振が矩形タンクスロッシング波高特性に及ぼす影響に関する実験的研究／岐阜工業高等専門学校［正］渡邉 尚彦・久保田 大地・宮崎 泰樹
Ⅰ-470　底面反力に着目した弾性円筒容器の振動台実験／電力中央研究所［正］高畠 大輔・豊田 幸宏
Ⅰ-471　正方形断面容器のスロッシング現象に関する数値流体解析／八戸工業高等専門学校［正］丸岡 晃・小山内 功宇太・橘 亜紀穂
Ⅰ-472　ダム湖貯水位がフィルダム堤体の振動特性に与える影響についての常時微動長期継続観測に基づく検討―森吉山ダムにおける試験湛水の機会を利用して―／日本大学［正］上島 照幸・佐藤 直哉
Ⅰ-473　ロックフィルダムの長い管路における動水圧の卓越振動数による圧力伝播速度の推定／水資源機構［正］佐藤 信光・冨田 尚樹・阿曽 浩
Ⅰ-474　ダムコンクリートの疲労引張強度に関する実験的検討／土木研究所［正］藤田 将司・金銅 将史・繁田 淳吾
Ⅰ-475　ダムコンクリートの動的破壊特性に関する実験的検討（その2）／土木研究所［正］繁田 淳吾・藤田 将司・金銅 将史

■ダム・タンクの耐震(2)／10:40～12:00／上島 照幸(日本大学)

Ⅰ-476　アーチダムの地震時応力に及ぼす動的せん断剛性の影響／弘前大学［F］有賀 義明・斉藤 大・三浦 千穂
Ⅰ-477　地震動の作用方向がアーチダム堤体応答に及ぼす影響／電力中央研究所［正］西内 達雄

I -478　重力式コンクリートダムの耐震性能に及ぼす地震入力方向の影響検討／清水建設［正］藤田 豊・木全 宏之・堀井 秀之
I -479　台形CSGダムの地震時挙動に対する地震動強さ及び堤高の影響／土木研究所［正］中田 哲二・金銅 将史・榎村 康史
I -480　実機FRP製貯水槽を用いてのバルジング振動に関する振動実験／東京都水道局［正］塩野谷 遼・平野 廣和・井田 剛史
I -481　液体輸送車両用制振装置の波動抑制効果に関する研究／十川ゴム［正］河田 彰・平野 廣和・井田 剛史
I -482　横置き円筒形タンクのスロッシング振動に関して／中央大学［学］因 和樹・平野 廣和・佐藤 尚次

■ダム・タンクの耐震(3) ／15:20～16:40／有賀 義明(弘前大学)

I -483　ダム門柱における3次元ソリッド非線形解析手法の適用性の検討(その1) ／オリエンタルコンサルタンツ［正］福間 雅俊・佐藤 信光・冨田 尚樹
I -484　ダム門柱における3次元ソリッド非線形解析手法の適用性の検討(その2) ／オリエンタルコンサルタンツ［正］久木留 貴裕・佐藤 信光・冨田 尚樹
I -485　中空重力式コンクリートダムの観測記録と数値解析による固有周期の比較検討／中部電力［正］亀谷 泰久・佐藤 正俊・玉井 誠司
I -486　地震時における重力式ダムのクレストラジアルゲートの加速度計測と再現解析／水資源機構［正］市川 滋己・佐藤 信光・冨田 尚樹
I -487　地盤～タンク連成3次元RC非線形動的解析を用いたLNG地下タンクの耐震設計その(1) ～レベル2地震耐荷性能評価～／大成建設［正］山梨 達哉・山本 平・高橋 智彦
I -488　地盤～タンク連成3次元RC非線形動的解析を用いたLNG地下タンクの耐震設計 その(2) ～レベル2地震止水性能評価～／東京電力フュエル&パワー［正］山邊 洋之・高橋 智彦・山本 平
I -489　地盤～タンク連成3次元RC非線形動的解析を用いたLNG地下タンクの耐震設計その(3) ～最終破壊形態の評価～／大成建設［正］山本 平・山梨 達哉・高橋 智彦

I -9 (A棟A202教室) ／9月7日(水)

■衝撃(解析)(1) ／9:00～10:20／山澤 文雄(土木研究所 寒地土木研究所)

I -490　飛来物の衝突を受けるコンクリート版の局部破壊に関する解析的研究／九州大学［学］後藤 航・園田 佳巨
I -491　ファイバー要素を用いたH形鋼による門形梁に関する動的骨組解析／構研エンジニアリング［正］牛渡 裕二・小室 雅人・保木 和弘
I -492　単粒度砕石を充填したジオセル緩衝体の耐衝撃挙動に関する衝撃応答解析／東京インキ［正］大山 亮貴・小室 雅人・栗橋 祐介
I -493　ポケット式落石防護網に使用するひし形金網の重錘落下衝撃解析／室蘭工業大学［学］田中 優貴・小室 雅人・西 弘明
I -494　個別要素法を用いた鋼製透過型砂防堰堤に作用する衝撃力解析／防衛大学校［正］堀口 俊行・香月 智
I -495　個別要素法を用いた掘削解析による粘着力の設定と落石防護土堤の衝撃解析／名古屋工業大学［学］内藤 直人・前田 健一・牛渡 裕二

■衝撃(解析)(2) ／10:40～12:00／荒木 恒也(土木研究所 寒地土木研究所)

I -496　直接衝撃荷重を受ける扁平RC梁のファイバー要素解析／構研エンジニアリング［正］高橋 浩司・栗橋 祐介・牛渡 裕二
I -497　AFRPシートで下面補強した扁平RC梁の耐衝撃挙動に関するファイバー要素解析／構研エンジニアリング［正］鈴木 健太郎・小室 雅人・今野 久志
I -498　AFRPシート補強を施した実規模RC製ロックシェッドの三次元動的骨組解析／土木研究所 寒地土木研究所［正］今野 久志・山澤 文雄・西 弘明
I -499　金網枠付きEPS、鋼格子部材および砂による落石緩衝材に関する研究／［学］上杉 拓矢・徐 紳翔・前川 幸次
I -500　FRPロッドによって曲げ補強されたRC 梁の耐衝撃挙動に関する弾塑性応答解析／室蘭工業大学［正］小室 雅人・岸 徳光・栗橋 祐介
I -501　鉄筋腐食したRC梁部材の曲げ耐荷性能および耐衝撃性能に関する解析的検討／九州大学［学］桑原 功旺・玉井 宏樹・園田 佳巨

■衝撃(実験)(1) ／15:20～16:40／小室 雅人(室蘭工業大学)

I -502　柔衝突飛翔体の中速度衝突を受ける超高強度繊維補強コンクリートの衝撃挙動／大成建設［正］川口 哲生・吉本 宏和・武者 浩透
I -503　剛・柔飛翔体の中速度衝突を受けるUFCパネルの衝撃応答に関する実験的検討／防衛大学校［学］片岡 新之介・別府 万寿博・川口 哲生
I -504　柔飛翔体が高速衝突した超高強度繊維補強コンクリートの局部破壊に関する研究／大成建設［正］吉本 宏和・川口 哲生・武者 浩透
I -505　繊維補強セメント複合材料板の材料特性が裏面剥離限界板厚に及ぼす影響に関する一考察／防衛大学校［学］上野 裕稔・市野 宏嘉・別府 万寿博
I -506　グラウト材による固化体の接触爆発に対する耐爆性能に関する基礎的研究／防衛大学校［正］市野 宏嘉・別府 万寿博・大野 友則
I -507　鉄筋モルタルはりの剛性・耐力が裏面剥離性状に与える影響に関する一考察／防衛大学校［学］岩根 利浩・柴田 大希・市野 宏嘉
I -508　マルチハザードに対して設計された橋脚の耐爆実験／宇都宮大学［正］藤倉 修一・Bruneau Michel

■衝撃(実験)(2) ／17:00～18:20／今野 久志(土木研究所 寒地土木研究所)

I -509　AFRPロッド埋設工法により曲げ補強したRC梁の漸増繰返し衝撃荷重載荷実験／釧路工業高等専門学校［F］岸 徳光・栗橋 祐介・三上 浩
I -510　損傷度の異なる扁平RC梁のAFRPシート補強による耐衝撃性向上効果／室蘭工業大学［学］酒井 啓介・栗橋 祐介・今野 久志
I -511　AFRPシート補強を施した実規模RC製ロックシェッドの重錘落下衝撃実験／寒地土木研究所［正］山澤 文雄・今野 久志・西 弘明
I -512　接触・近接爆発を受けるRC梁の破壊挙動に関する基礎的実験／防衛大学校［学］永田 真・市野 宏嘉・別府 万寿博
I -513　凍害劣化RC梁の衝撃載荷実験後の静的残存耐力に関する実験的研究／室蘭工業大学［学］池田 和隆・栗橋 祐介・島多 昭典
I -514　落石防護網に使用するひし形金網の等価エネルギーによる重錘落下衝撃実験／土木研究所寒地土木研究所［正］荒木 恒也・西 弘明・今野 久志

I -9 (A棟A202教室) ／9月8日(木)

■橋梁一般(施工)(1) ／9:00～10:20／川畑 篤敬(JFEエンジニアリング)

I -515　新名神高速道路 朝明川橋の送り出し架設の報告／中日本高速道路［正］尾辻 千瑛・野島 昭二・引口 学
I -516　新名神高速道路志知高架橋の工程短縮策／中日本高速道路［正］保田 敬一・干川 博之・中村 錦哉
I -518　供用下にあるラケット型鋼製橋脚の改築工事通行止め規制を回避させた上層横梁部材の架設計画／JFEエンジニアリング［正］瀬尾 高宏・門田 徹・中山 和弥
I -519　駅構内におけるラーメン高架橋新設／九鉄工業［正］蔵薗 有佑
I -520　現場溶接による製作キャンバーへの影響に関する考察(併用桁) ／宮地エンジニアリング［正］澁谷 敦・大野 克紀・藤原 良憲

■橋梁一般(施工)(2) ／10:40～12:00／澁谷 敦(宮地エンジニアリング)

I -521　現場条件を考慮したUリブ内部のモルタル充填方法および充填確認方法の開発／日本橋梁［正］竹内 正一・松下 裕明・松永 耕介
I -522　Uリブ溶接ビードの切断および仕上げの効率的な施工法の開発／日立造船［正］須藤 丈・田畑 晶子・原田 潤
I -523　寒冷地高耐久RC床版に向けた施工実験／［正］小林 岳彦・田中 喜一郎・出口 哲義
I -524　乾式ブラストにおける粉塵抑制方法の検討／［正］井合 雄一・赤嶺 健一
I -525　ジャッキや杭打機の転倒事故原因について━構造安定問題の観点から━／北海学園大学［F］当麻 庄司

I -9 (A棟A202教室) ／9月9日(金)

■橋梁一般(設計)(1) ／9:00～10:20／野阪 克義(立命館大学)

I -526　支圧板方式鋼ポータルラーメン橋剛結部の荷重分担に関する検討／高田機工［正］山田 貴男・山口 隆司・池田 裕哉

Ⅰ-527　鋼アーチ部材を有する鋼・コンクリート混合橋の接合部における解析モデルの検討／IHIインフラシステム［正］引口 学・野島 昭二・長尾 千瑛
Ⅰ-528　鋼製門型ラーメン橋脚隅角部の弾塑性挙動と終局強度／JFEスチール［正］若山 萌美・野上 邦栄
Ⅰ-529　鋼製T型橋脚隅角部の応力評価への高度解析手法の適用性／首都大学東京［学］西 優美子・野上 邦栄・岸 祐介
Ⅰ-530　急曲線を有する鉄道合成箱桁の半径方向ずれ分布に関する解析的検討／日本交通技術［正］関根 賢一・藤原 良憲・金川 仁
Ⅰ-531　長大斜張橋架設段階毎の地震に対する安全性の検討／大成建設［正］大橋 亮介・清宮 理
Ⅰ-532　ケーブル破断事故による斜長橋の動的応答／早稲田大学［学］安倍 健登・Hoang Vu・清宮 理

■橋梁一般（設計）(2)　／10:40～12:00／志賀 弘明（JFEエンジニアリング）

Ⅰ-533　長大吊橋複合主塔の橋軸方向面内の終局強度特性に関する検討／東京都［正］関 裕太・野上 邦栄・岸 祐介
Ⅰ-534　中央径間長3000m超長大多径間吊橋の試設計と地震応答特性／東京都建設局［正］岩下 慎吾・野上 邦栄・馬越 一也
Ⅰ-535　サグ比の異なる超長大多径間吊橋の弾塑性挙動と耐荷力特性／首都大学東京［学］小沢 武仁・岸 祐介・野上 邦栄
Ⅰ-536　多径間連続斜張橋における合理的な設計活荷重の検討／阪神高速道路［正］杉山 裕樹・金治 英貞・渡邉 裕規
Ⅰ-537　SBHS鋼材の鉄道橋への適用に関する研究／トーニチコンサルタント［正］原 飛鳥・横山 秀喜・斉藤 雅充
Ⅰ-538　SBHS700を用いた鋼ハイブリット桁の鋼重低減効果の検討／［学］小野 友暉・木下 幸治
Ⅰ-539　高強度コンクリートを用いたスタッド押抜きせん断試験と強度照査式に関する検討／土木研究所［正］金田 崇男・佐々木 寛幸・石原 大作

■橋梁一般（設計）(3)　／15:20～16:40／段下 義典（川田工業）

Ⅰ-540　鋼単純桁における新しい桁連結工法の検討／建設技術研究所［正］光川 直宏・諸角 治・甲元 克明
Ⅰ-541　既設合成桁の合理的な床版取替えにおける主桁補強量に関する検討／建設技術研究所［正］松本 崇志・光川 直宏・小倉 司
Ⅰ-542　既設合成桁の合理的な床版取替えにおける効果的な主桁補強方法に関する検討／大阪市立大学［学］小林 駿祐・山口 隆司・光川 直宏
Ⅰ-543　鋼床版垂直補剛材上端部の応力性状に関する解析的検討／日本橋梁建設協会［正］内田 大介・井口 進・小笠原 照夫
Ⅰ-544　鋼床版垂直補剛材上端部のギャップ量が補剛機能に与える影響／日本橋梁建設協会［正］齊藤 史朗・松下 裕明・奥村 学
Ⅰ-545　疲労フリー鋼床版とH形鋼を用いた廉価で急速施工可能な小支間橋梁の提案／東京都市大学［正］横山 薫・三木 千壽・白旗 弘実

Ⅰ-10（A棟A203教室）／9月7日（水）

■基礎・盛土の耐震／9:00～10:20／溜 幸生（東電設計）

Ⅰ-546　液状化地盤における橋台の地震時挙動に及ぼす設計年次の影響（その1 振動台実験の条件および地盤の応答）／土木研究所［正］谷本 俊輔・石田 修一・星隈 順一
Ⅰ-547　液状化地盤における橋台の地震時挙動に及ぼす設計年次の影響（その2 橋台の応答）／土木研究所［正］石田 修一・谷本 俊輔・星隈 順一
Ⅰ-548　強震時における斜杭基礎のキネマティック相互作用に関する実験的検討／埼玉大学［学］渡邊 賢徳・齊藤 正人
Ⅰ-549　等価1自由度モデルによる鉄道盛土の地震時非線形挙動の表現／複合技術研究所［正］鈴木 聡・坂井 公俊・荒木 豪
Ⅰ-550　盛土耐震補強における橋台背面沈下対策（その2）／東日本旅客鉄道［正］和田 直也・前田 剛志
Ⅰ-551　堤体の地震応答を考慮した盛土構造物の地震時安全性簡易評価手法に関する研究／京都大学［学］眞邉 寛人・古川 愛子・清野 純史
Ⅰ-552　滑動崩落の再現解析による被害要因の検討／パシフィックコンサルタンツ［正］門田 浩一・本橋 あずさ

■地中構造物の耐震(1)　／10:40～12:00／大竹 省吾（オリエンタルコンサルタンツ）

Ⅰ-553　地下構造物間の接触面における地震時の剥離・滑動を評価するためのジョイント要素の配置について／弘前大学［学］三上 侑子・有賀 義明
Ⅰ-554　下水処理施設の免震・免波構造における免波効果の解析について／［学］佐藤 優乃・加藤 恵佑・有賀 義明
Ⅰ-555　大規模地下浄水池の地震時応答に及ぼす加振方向の影響／弘前大学［学］三浦 千穂・有賀 義明
Ⅰ-556　地震時における水道配水用ポリエチレン管の限界せん断応力に関する研究／京都大学［正］西川 源太郎・塩浜 裕一・鈴木 剛史
Ⅰ-557　埋設管周辺地盤の締固め条件による摩擦力の速度依存性に関する実験／神戸大学［学］稲瀬 友樹・鍬田 泰子・平山 智章
Ⅰ-558　異高型複断面トンネルを対象とした静的載荷実験／東京地下鉄［正］今村 俊毅・小西 真治・津野 究
Ⅰ-559　破砕帯を通過する山岳トンネルの変位抑制工法の効果に関する一考察／大成建設［正］西谷 友幸・長田 翔平・石岡 賢治
Ⅰ-560　山岳トンネル縦断方向の耐震検討方法に関する一考察／大成建設［正］長田 翔平・西谷 友幸・石岡 賢治

■地中構造物の耐震(2)　／15:20～16:40／佐藤 清（大林組）

Ⅰ-561　池状構造物の2次元モデルを用いた3次元効果に関する解析的検討／日中構造研究所［正］梁 生錮・松原 勝己・吉山 博
Ⅰ-562　数値解析に基づく粒状体のせん断抵抗の速度依存性に関する考察／京都大学［学］竹本 幸士郎・澤田 純男・後藤 浩之
Ⅰ-563　地震応答解析における近接構造物の影響についての考察／パシフィックコンサルタンツ［正］山本 健太・橋本 知尚
Ⅰ-564　液状化地盤におけるボックスカルバートの横断方向の耐震設計に関する考察／パシフィックコンサルタンツ［正］橋本 知尚
Ⅰ-565　地下構造物の3次元解析における縦梁のモデル化に関する一考察／日建設計シビル［正］道谷 梓・西山 誠治・田辺 篤史
Ⅰ-566　非線形動的有限要素解析による切梁式掘削土留め工の地震時挙動に関する検討／日建設計シビル［正］西山 誠治・北川 晴之・小島 謙一
Ⅰ-567　切梁式掘削土留め工の地震時設計手法に関する検討／日建設計シビル［正］青木 佑輔・小島 謙一・西山 誠治

■耐風・風工学(1)　／17:00～18:20／山口 敦（東京大学）

Ⅰ-568　各種迎角における断面辺長比2矩形断面の大振幅空力自励振動／京都大学［学］佐々木 雄多・八木 知己・濱野 真彰
Ⅰ-569　小さい断面辺長比を有する矩形断面の空力振動に関する実験的研究／［学］須田 健太郎・松田 一俊・加藤 九州男
Ⅰ-570　瀬戸大橋トラス補剛桁のオープングレーチング閉塞の影響調査／横浜国立大学［学］内藤 将志・勝地 弘・山田 均
Ⅰ-571　非定常空気力係数に着目した長大橋梁の耐風設計へのCFDの活用の検討／清水建設［正］伊藤 靖晃・Graham Michael
Ⅰ-572　高欄形状による少数主桁橋の空力特性の変化／関東学院大学［正］中藤 誠二・坂井 拓郎
Ⅰ-573　DMDを用いた剥離バブル領域の流れに関する研究／［学］下西 舞・塚前 伊久磨・谷口 優佑

Ⅰ-10（A棟A203教室）／9月8日（木）

■耐風・風工学(2)　／9:00～10:20／菊地 由佳（東京大学）

Ⅰ-574　FASTを用いた風車の応答解析の精度向上を目指した検討／東京理科大学［学］鳥飼 博史・木村 吉郎・河合 康太
Ⅰ-575　実測データを用いた強風時の免震建物の振動特性と地震応答との比較／横浜国立大学［学］櫻井 雅人
Ⅰ-576　4導体電線における相対迎角・相対風速・無次元ねじれ速度を用いた空気力の定式化／電力中央研究所［正］松宮 央登・西原 崇・八木 知己
Ⅰ-577　振り子支持形式を用いた斜円柱模型の雨なし振動の再現を目指した風洞実験／東京理科大学［学］石井 誉大・原尾 勇輝・木村 吉郎
Ⅰ-578　斜張橋の実ケーブルを模擬したドライギャロッピングに関する実験的検討／IHI［正］山内 邦博・上島 秀作
Ⅰ-579　ケーブル式太陽光発電設備の耐風安定性の計測／駒井ハルテック［正］岡田 幸児・橘 肇・細見 雅生

■耐風・風工学(3)　／10:40～12:00／伊藤 靖晃（清水建設）

Ⅰ-580　海上橋建設時に観測された気流傾斜角に関するCFDを用いた検討／東京理科大学［学］佐々木 怜於・木村 吉郎・伊東 光
Ⅰ-581　岐阜市長良川における河川風の現地観測と数値解析／岐阜大学［学］伊藤 寛・吉野 純・浅井 駿汰
Ⅰ-582　日射を用いた上昇流発生に関する研究／京都大学［学］湯井 大貴・山崎 健登・白土 博通

I -583　静圧固定法を用いたSUPGシステムの評価／筑波大学［学］高橋 悠太・山本 亨輔
I -584　ドップラーライダーを用いた浮体式洋上風況観測手法の提案と検証／東京大学［正］山口 敦・Inaba Hiroki・石原 孟
I -585　メソスケールモデルを用いた洋上風況予測と実測による検証／東京大学［F］石原 孟・菊地 由佳
I -586　淡路島洲本における日最大風速を対象とした模擬時系列の作成／法政大学［正］北川 徹哉

I -10（A棟A203教室）／9月9日(金)

■安全性・信頼性(1)　／9:00～10:20／丸山 收(東京都市大学)
I -587　初期不整を有する薄肉円筒シェルの終局挙動の実験・解析・統計的評価法／長崎大学［学］鬼塚 友章・松田 浩・古賀 掲維
I -588　既存鋼鈑桁橋のモデルパラメータ事後分布を用いた信頼性評価／［学］黒田 璃紗・西尾 真由子
I -589　点推定を利用した構造物被害評価手法の精度検証／東京工業大学［正］飯山 かほり・盛川 仁・廣瀬 壮一
I -590　地震危険度等各種要因を考慮した液状化対策のための最適地盤調査計画／東京都市大学［学］田崎 陽介・吉田 郁政
I -591　地盤応答の非線形性を考慮した地震時損傷確率評価の簡便法―手法の提案―／篠塚研究所［正］望月 智也・静間 俊郎・中村 孝明
I -592　地盤応答の非線形性を考慮した地震時損傷確率評価の簡便法―適用性の検討―／篠塚研究所［正］静間 俊郎・望月 智也・中村 孝明

■安全性・信頼性(2)　／最適設計／10:40～12:00／松田 浩(長崎大学)
I -593　開床式鋼下路トラス橋のリダンダンシー解析／鉄道総合技術研究所［正］斉藤 雅充・池田 学・田島 文彦
I -594　南海トラフ地震を想定した橋梁・盛土構造物の耐震・耐津波信頼性評価に関する基礎的研究／早稲田大学［学］名波 健吾・磯辺 弘司・秋山 充良
I -595　河川増水における橋梁上部構造流出に関する信頼性の検討／中央大学［学］光永 憲弘・佐藤 尚次
I -596　要求性能に応じた最適応答を実現する二重管柱構造の基礎的検討／JR東日本［正］伊東 佑香・小林 薫
I -597　アルミニウム合金形材防護柵の形状最適化に関する研究／［学］勝田 裕仁・伊藤 義人・廣畑 幹人
I -598　多層カーボンナノチューブに生じる特異な断面変形挙動の分子動力学解析／北海道大学［学］谷内 湧・池岡 直哉・佐藤 太裕

■耐力・変形性能／15:20～16:40／小野 潔(早稲田大学)
I -599　異なる軸方向鉄筋径により製作した円形RC橋脚縮小試験体の曲げ復元力特性／岐阜大学［学］山本 翔吾・木下 幸治
I -600　建築分野の耐震設計指針によるフレキシブルRC橋脚の耐力評価に関する考察／大日本コンサルタント［正］高 文君・大塚 久哲・梶田 幸秀
I -601　簡易治具により内巻き帯鉄筋の間隔を保持した柱の性能確認試験／東日本旅客鉄道［正］加藤 格・堀内 俊輔・田附 伸一
I -602　高強度鉄筋でRC巻立て補強した低鉄筋比RC壁式橋脚の地震時破壊特性と耐力・変形能／土木研究所［正］鬼木 浩二・中尾 尚史・岡田 太賀雄
I -603　埋込み軸方向鉄筋と繊維シートにより補強したRC橋脚の正負交番載荷試験／土木研究所 寒地土木研究所［正］佐藤 孝司・西城 能利雄・西 弘明
I -604　ディンプル鋼管を用いた無筋コンクリート橋脚補強構造のコンクリート割れに関する解析的検討／新日鐵住金［正］冨永 知徳・川野 有祐
I -605　耐震補強による柱部材の変形性能評価と3次元計測の活用に関する研究／山口大学［学］冨吉 隆生・下瀬 恒太郎・北原 敬佑

I -11（A棟A204教室）／9月8日(木)

■構造同定／10:40～12:00／西尾 真由子(横浜国立大学)
I -606　クロススペクトル比を用いたモード減衰定数の推定法に関する一考察／東京工業大学［正］盛川 仁・満永 仁志・飯山 かほり
I -607　RC構造物の固有振動モードの同定に関する基礎的研究／早稲田大学［学］佐藤 裕紀・Siu-Kui Au・秋山 充良
I -608　列車通過時加速度に基づく橋梁モード特性および変位の逆解析法／鉄道総合技術研究所［正］松岡 弘大・上半 文昭・曽我部 正道
I -609　走行車両の加速度計測による路面形状の同定／京都大学［学］長谷川 聡一朗・金 哲佑・McGetrick Patrick
I -610　実測記録と数値モデルに基づくバランスド扁平アーチ橋の振動特性把握―下部工周面地盤の影響―／日本大学［正］仲村 成貴・塚崎 翔太・関 文夫
I -611　精密小型加振機を用いた道路標識の損傷同定手法の検討／東京理科大学［学］辻 貴洋・佐伯 昌之
I -612　寒冷地橋梁の確率モデルにおける劣化同定／岩田地崎建設［正］須藤 敦史・兼清 泰明・佐藤 京
I -613　オペレーショナルモード解析における入力および計算条件と推定精度に関する考察／長崎大学［学］柴田 剛志・西川 貴文・中村 聖三

I -11（A棟A204教室）／9月9日(金)

■橋梁一般(測定)／9:00～10:20／玉田 和也(舞鶴工業高等専門学校)
I -614　尾道大橋における48年間のクリープ・リラクセーション挙動に関する一考察／建設技術研究所［正］塚田 祥久・水谷 志津枝・岩崎 誠二
I -615　鋼橋監視装置の開発について／東海旅客鉄道［正］西田 良和・鎧坂 勝則・伊藤 裕一
I -616　鋼橋監視装置を用いた実鋼橋での長期応力監視／東海旅客鉄道［F］鎧坂 勝則・西田 良和・伊藤 裕一
I -617　北陸自動車道における活荷重の実態把握に関する一検討／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋［正］有馬 直秀・深田 宰史・鈴木 啓悟
I -618　鋼鈑桁橋の振動に伴う低周波音の発生部位とその要因に関する研究／首都大学東京［学］鳥部 智之・中村 一史・長船 寿一
I -619　コンパクト断面を採用した鋼道路橋(金谷郷高架橋)の実挙動計測／東日本高速道路［正］中村 雅範・宮下 剛
I -620　静的載荷試験に基づく補修後九年橋の静的挙動特性／橋梁調査会［正］千葉 陽子・大西 弘志・岩崎 正二

■橋梁振動(実験・測定)(1)　／10:40～12:00／西川 貴文(長崎大学)
I -621　歩調の0.5倍成分が卓越する歩行形態の把握と医工連携研究への取り組み／近畿大学［F］米田 昌弘
I -622　5径間単純PC鉄道橋の固有振動数の季節変動と供試体実験／北見工業大学［正］宮森 保紀・張 友奇・中島 斎
I -623　橋梁振動データの波形特徴量に対する重回帰分析に基づく通過車両数推定式の構築／横浜国立大学［学］伊藤 駿・西尾 真由子・生井 貴宏
I -624　箱根西麓・三島大吊橋(三島スカイウォーク)の振動試験／川田テクノロジーズ［正］甲木 里沙・畠中 真一・田中 寛泰
I -625　環境風洞での3Dプリンタ供試体加振実験による橋梁振動特性への温度変化の影響分析／横浜国立大学［学］長島 大介・西尾 真由子
I -626　FBGセンサによる鋼橋の長期モニタリング結果分析／豊橋技術科学大学［正］松本 幸大・織笠 千春・吉岩 明彦
I -627　供用中の鉄道橋橋脚の振動モード同定／京都大学［学］河邊 大剛・金 哲佑・五井 良直

■橋梁振動(実験・測定)(2)　／15:20～16:40／深田 宰史(金沢大学)
I -628　低周波数帯における加速度センサの性能評価に関する研究／東京都市大学［学］永井 孝宏・丸山 收・関屋 英彦
I -629　かもめ橋におけるケーブル振動計測及び張力同定／東京大学［正］蘇 迪・長山 智則・水谷 司
I -630　鋼合成鉄道橋における共振現象に関する一考察／JR西日本［正］池頭 賢・西田 寿生・丹羽 雄一郎
I -631　橋梁上の走行車両振動を用いる移動車両橋梁モニタリングの実験的検討／［学］井上 真一・金 哲佑・長谷川 聡一郎
I -632　二径間連続非合成曲線鈑桁橋の固有振動特性に関する実験的・解析的検討／構研エンジニアリング［正］中谷 幸太・川瀬 良司・小室 雅人
I -633　制御理論を用いた橋梁上を走行する移動荷重の重量推定／東京都市大学［学］鈴木 健吾・丸山 收・関屋 英彦
I -634　伸縮装置を用いたBridge-Weigh-In-Motionに関する研究／長岡技術科学大学［学］高橋 政宏・宮下 剛・利根川 太郎

第Ⅱ部門　水理学、水文学、河川工学、水資源工学、港湾工学、海岸工学、海洋工学、環境水理など

Ⅱ-1（A棟A204教室）／9月7日(水)

■水理構造物／9:00～10:20／旭 一岳(リバーリンク)

Ⅱ-001　ゲート付き流水型ダムの常用洪水吐き水路における魚道機能に関する基礎的検討／土木研究所［正］宮脇 千晴・宮川 仁・本山 健士
Ⅱ-002　射流中の横越流の排出機能に対するフラップ設置の影響／日本大学［学］細川 康司・安田 陽一・石川 眞
Ⅱ-003　相対落差が小さい場合における跳水下流部の流速分布に対する流入条件の影響／日本大学［学］加藤 拓磨・安田 陽一
Ⅱ-004　雨水貯留施設に接続する傾斜下水管の排水機能／日本大学［学］西井 俊・安田 陽一・石川 眞
Ⅱ-005　階段状水路におけるnonuniform aerated skimming flowの水面形解析／日本大学［学］竜沢 宗一郎・高橋 正行・大津 岩夫
Ⅱ-006　Ogee堰水理の刃形堰との対比に着目した検討／建設技術研究所［正］多田羅 謙治・羽田野 袈裟義・李 洪源
Ⅱ-007　台形断面開水路における流速分布特性について／［正］前田 浩伸・伊藤 真行

■水圏環境の保全・再生・創造／10:40～12:00／古里 栄一(埼玉大学)

Ⅱ-008　ジェットポンプ式流動装置の混合管内の混合過程と装置形状の関係／呉工業高等専門学校［正］黒川 岳司・牛尾 幸航
Ⅱ-009　釧路湿原における近年の植生状況と地下水位及び地形情報の関係についての基礎研究／室蘭工業大学［学］坂本 久宣・中津川 誠・谷口 陽子
Ⅱ-010　一次元・二次元ハイブリット河川生態系モデルを用いた堰が河川環境に及ぼす影響の検討／山口大学［学］河野 誉仁・赤松 良久・永野 博之
Ⅱ-011　生息場モデルを用いた河川健全度予測手法の開発／宮崎大学［正］糠澤 桂・風間 聡・渡辺 幸三
Ⅱ-012　流水による撹乱の指標に関する研究／近畿事務所［正］中西 史尚・綾 史郎
Ⅱ-013　河道内に繁茂したヨシの流出特性に関する研究／佐賀大学［正］山西 博幸・高 致晟
Ⅱ-014　LEDの波長特性を利用した沈水植物の選択的復元技術／西日本技術開発［正］井芹 寧・朝位 孝二・ハオ 愛民

■河口の水理と水質／15:20～16:40／赤松 良久(山口大学)

Ⅱ-015　震災によって創出された塩性湿地における栄養塩収支／首都大学東京［学］橋本 和磨・福島 慶太郎・横山 勝英
Ⅱ-016　分岐・合流を有する感潮河道における塩水遡上特性に関する現地観測／首都大学東京［学］松村 健史・横山 勝英
Ⅱ-017　筑後川感潮域の平水時の潮汐による流れと土砂移動量／日本工営［正］金子 祐・川邉 英明・福岡 捷二
Ⅱ-018　山崎川感潮域における水質汚濁の現状について／名古屋工業大学［学］室屋 京介・冨永 晃宏
Ⅱ-019　中川運河における水質の季節変化に関する研究／鹿島建設［正］森下 真那人・宇野 裕奎・冨永 晃宏
Ⅱ-020　流域・海浜特性の地域差が生む河口形状とその改変の違いの解明／東京大学［学］山川 剛・知花 武佳・原田 大輔

■ダムと貯水池の管理／17:00～18:20／黒川 岳司(呉工業高等専門学校)

Ⅱ-021　無人航空機(UAV)を活用したロックフィルダム洪水吐きの健全度調査／パシフィックコンサルタンツ［正］竹澤 祥太・中村 哲・杉本 雄一
Ⅱ-022　水路トンネル水虫除去車の開発と効果の検証について／東日本旅客鉄道［正］大湊 直樹・小野 桂寿・池田 泰博
Ⅱ-023　鉛直二重管吸引工法 実証試験設備の基本諸元の水理設計方法／電源開発［正］久野 彰大・太田 誠二・前田 圭介
Ⅱ-024　天然凝集材の現場適用可能な分散処理装置による濁質処理効果の検討／土木研究所［正］宮川 仁・石神 孝之・楠見 正之
Ⅱ-025　洪水時における温井ダム貯水池内の流動の分析／中央大学［学］大野 純暉・阿部 智・福岡 捷二
Ⅱ-026　テーゲル湖(ドイツ)における気泡循環対策の間欠運用による水温成層への影響／埼玉大学［正］古里 エイイチ・Kanta Bhuyan Jayatu・Chorus Ingrid
Ⅱ-027　マイクロバブルによる貯水池表層の混合効果を対象とした数値解析／中国電力［正］土屋 善之・井上 智子・柳川 敏治

Ⅱ-1（A棟A204教室）／9月8日(木)

■河川の水環境／9:00～10:20／藤野 毅(埼玉大学)

Ⅱ-028　付着藻類量の時空間変動推定を目的とした名取川流域の栄養塩濃度推定／東北大学［学］渡邊 健吾・糠澤 桂・会田 俊介
Ⅱ-029　大町ダムにおける水質と水生生物の関係性に関する基礎的考察／土木研究所［正］傳田 正利・萱場 祐一
Ⅱ-030　渡良瀬川に流入する有機物負荷量を推定するための流速について／足利工業大学［正］長尾 昌朋・上岡 充男
Ⅱ-031　雨水吐室への可動堰導入を想定した江戸城外濠における汚濁負荷量の低減効果に関する研究／法政大学［学］奥田 悠暉・井上 将治・鈴木 善晴
Ⅱ-032　砂防ダムを想定した落差における水温変化に関する実験／大同大学［正］鷲見 哲也・水野 貴視
Ⅱ-033　サーモカメラを用いた河川漂流ゴミ判別精度の検討／東京理科大学［正］二瓶 泰雄・村上 周平・仲吉 信人
Ⅱ-034　河川水中でのマイクロプラスチック汚染の実態の検討／東京理科大学［学］工藤 功貴・二瓶 泰雄・日向 博文

Ⅱ-2（A棟A205教室）／9月7日(水)

■水理計測・観測手法／9:00～10:20／小関 博司(土木研究所)

Ⅱ-035　プレート型振動センサを用いた高速流中を流下する礫の計測手法に関する研究／土木研究所［正］櫻井 寿之・小柴 孝太・角 哲也
Ⅱ-036　浮遊砂サンプラーを活用した河川流下物大量回収のための適用条件／学生［学］民田 純一・佐藤 圭輔
Ⅱ-037　PIV流速計測データによる圧力の空間分布の算定／大阪産業大学［学］辰己 諒多・水谷 夏樹・宮島 昌弘
Ⅱ-038　河川における水表面流速観測値に対する風速依存性の一考察／パシフィックコンサルタンツ［正］裵 希恵・山崎 裕介・浜口 憲一郎
Ⅱ-039　H-ADCP計測とDIEX法の流量観測法における不確実性解析／京都大学［学］野本 雄基・二瓶 泰雄・柏田 仁
Ⅱ-040　空中移動撮影された河川ビデオ画像の流速画像解析手法の開発／神戸大学［学］建口 沙彩・能登谷 祐一・藤田 一郎
Ⅱ-041　UAV-SfM手法を用いた高解像度な河道測量技術の開発／山口大学［正］赤松 良久・神野 有生・掛波 優作

■河川堤防、浸食／10:40～12:00／渡邊 康玄(北見工業大学)

Ⅱ-042　開水路流れと土の変形の連成解析を用いた堤防浸透破壊に関する数値シミュレーション／京都大学［正］音田 慎一郎・北林 資也・肥後 陽介
Ⅱ-043　流水の直接作用による粘性土の浸食量式の一提案／北見工業大学［正］吉川 泰弘・黒田 保孝・佐々木 寿史
Ⅱ-044　掃流砂として移動する砂礫が粘土河床の浸食に及ぼす影響と河床の鉛直構造／早稲田大学［学］池田 憲昭・関根 正人・高野 大貴
Ⅱ-045　砂質土からなる堤防の越流破堤に関わる実験的検討／早稲田大学［学］鈴木 昌宏・関根 正人・佐野 正太
Ⅱ-046　大型・小型模型実験に基づく平成27年9月鬼怒川堤防決壊状況の検討／東京理科大学［学］守屋 博貴・倉上 由貴・二瓶 泰雄
Ⅱ-047　小型模型実験に基づく様々な耐越水堤防の浸透特性の検討／東京理科大学［学］浅野 友里・倉上 由貴・二瓶 泰雄
Ⅱ-048　2015年9月関東・東北豪雨において生じた堤防法面上のガリー侵食量と越流規模との関係／埼玉大学［正］八木澤 順治・田中 規夫

■流砂／15:20～16:40／川村 里実(土木研究所寒地土木研究所)

Ⅱ-049　混合粒径条件下における高精度な流砂量式構築のための基礎的実験／岐阜大学［学］大橋 一弘・原田 守啓
Ⅱ-050　流砂量と流砂運動の素過程に及ぼす粒子形状・粒度分布の影響／東京建設コンサルタント［正］田所 弾・福岡 捷二
Ⅱ-051　粒子群の流下挙動に粒子形状の影響／中央大学［学］高鍬 裕也・福岡 捷二
Ⅱ-052　初期条件の違いが粒度幅の極端に広い河床の鉛直構造に与える影響／早稲田大学［学］中川 裕貴・関根 正人・平松 裕基
Ⅱ-053　数値移動床水路における個別要素法の接触力解析の適用性—水と土砂のエネルギー散逸機構の考察—／中央大学［正］福田 朝生・福岡 捷二
Ⅱ-054　釧路湿原流入河川での旧河道への再通水を想定した長期土

砂移動形態の推定／北海道河川財団［正］山本 太郎・工藤 貴義・渡邉 和好
Ⅱ-055 乾湿と凍結融解の繰り返しに伴う軟岩侵食速度の変化／寒地土木研究所［正］井上 卓也・船木 淳悟

■流砂・河床変動／17:00～18:20／赤堀 良介（愛知工業大学）
Ⅱ-056 ダムからの土砂供給の量と質が下流河川に与える影響の基礎的検討／土木研究所［正］山下 遼・宮川 仁・櫻井 寿之
Ⅱ-057 ダム下流の濁水流下過程におけるSS低減と河床材料の影響に関する基礎的検討／土木研究所［正］本山 健士・石神 孝之・櫻井 寿之
Ⅱ-058 交互砂州地形上での常射混在流の構造と河岸侵食に関する実験的研究／宇都宮大学［学］泉 祐太・池田 裕一・飯村 耕介
Ⅱ-059 水制設置による台形ワンドの土砂堆積制御に関する研究／名古屋工業大学［学］東芦谷 謙・加藤 智道・冨永 晃宏
Ⅱ-060 根固め用袋材周辺の河床変動に関する研究／不動テトラ［正］萩原 照通・風間 聡・会田 俊介
Ⅱ-061 治山えん堤における石組み連続帯工区間の側岸横断勾配の影響に関する実験的検討／日本大学［学］小林 泰士・安田 洋一・長沢 研作
Ⅱ-062 河川狭窄部における深掘れ発生要因に関する検討／名古屋工業大学［学］原 悠二・冨永 晃宏

Ⅱ-2（A棟A205教室）／9月8日（木）

■流路・河床変動／9:00～10:20／長田 健吾（阿南工業高等専門学校）
Ⅱ-063 河道の弯曲の影響を受ける堰上流の合流部の流れ・河床変動特性に関する研究／明石工業高等専門学校［学］久保 裕基・高田 翔也・神田 佳一
Ⅱ-064 側岸侵食が河道平面形へ与える影響について／土木研究所寒地土木研究所［正］山口 里実・渡邊 康玄
Ⅱ-065 生態系保持空間を有する多摩川中流部における治水と環境の調和した河道断面形状に関する研究／中央大学［学］上村 勇太・米沢 拓繁・福岡 捷二
Ⅱ-066 蛇行区間における船底形断面設計法に関する研究／建設技術研究所［正］笹木 拓真・福岡 捷二
Ⅱ-067 礫河床における砂礫の移動に及ぼす砂供給の効果／舞鶴工業高等専門学校［学］山田 啓太郎・三輪 浩・福井 晶浩
Ⅱ-068 土砂移動の著しく多い姫川における洪水流と河床変動解析のための上流端境界条件設定法／中央大学［学］岡安 光太郎・横山 貴宏・内田 龍彦
Ⅱ-069 空隙率変化を考慮した平面二次元河床変動モデルを用いた砂州の空隙率空間分布の算定／建設技術研究所［正］岩見 収二・細井 寛昭・藤田 正治

■河床形態／10:40～12:00／岩見 収二（建設技術研究所）
Ⅱ-070 土砂動態観測に基づいた平瀬河床環境規定要因の解明／東京大学［正］原田 大輔・知花 武佳・伊藤 悠
Ⅱ-071 米代川上流交互砂州区間の蛇行特性について／パシフィックコンサルタンツ［正］堀合 孝博・加藤 譲・舘山 悟
Ⅱ-072 大井川下流域における網状流路の特徴と変動特性の把握／名城大学［学］棚橋 巧治・溝口 敦子
Ⅱ-073 土砂供給量が中規模河床波の形成に及ぼす影響について／新潟大学［学］山口 晃広・星野 剛・安田 浩保
Ⅱ-074 iRIC（Nays2DH）による豊平川昭和56年8月洪水の河床変動再現計算／開発工営社［正］濱木 道大・田代 隆志・清水 康行
Ⅱ-075 鴨川における河床掘削後の砂州再生に関する一考察／京都大学［F］細田 尚・三上 敦史・音田 慎一郎
Ⅱ-076 河岸水制による河口砂州の制御効果に関する検討／京都大学［学］越智 尊晴・川口 はな・三輪 浩

Ⅱ-2（A棟A205教室）／9月9日（金）

■植生水理／9:00～10:20／吉田 圭介（岡山大学）
Ⅱ-077 平成27年9月関東・東北豪雨による鬼怒川河道への洪水インパクトの影響評価／芝浦工業大学［学］井上 敏也・宮本 仁志・千ヶ崎 祐夏
Ⅱ-078 透過型砂防堰堤による樹根と土砂の捕捉に関する検討／防衛大学校［正］香月 智・立石 龍平・堀口 俊行
Ⅱ-079 オソベツ川における晶氷の堆積と河岸樹木による川幅縮小の影響に関する検討／土木研究所 寒地土木研究所［正］島谷部 寿人・吉川 泰弘・阿部 孝章
Ⅱ-080 礫床河川の流況に植物群落が与える影響に関する基礎的研究／宇都宮大学［学］木原 健貴・池田 裕一・飯村 耕介
Ⅱ-081 側岸植生を有する複断面流路での側岸侵食と河床低下の伝播に関する水理実験／名古屋大学［正］尾花 まき子・鶴田 遼・戸田 祐嗣
Ⅱ-082 庄内川の河道内植生域における出水期前後での細粒土砂堆積の傾向について／愛知工業大学［正］赤堀 良介・野田 翔平・堀金 広富貴
Ⅱ-083 河道内植生動態モデルにおける流量・地形・植物特性の感度分析／芝浦工業大学［学］飯村 隼多・宮本 仁志

■開水路の水理／10:40～12:00／山上 路生（京都大学）
Ⅱ-084 河川屈曲部に設置されたわんど内流れに及ぼす植生の影響について／関西大学［学］米倉 翔・Ishigaki Taisuke
Ⅱ-085 限界勾配矩形断面水路における漸変流の水面形／日本大学［学］清水 涼太郎・安田 陽一・西沢 敏矩
Ⅱ-086 長方形断面水路下流端付近の水面形に関する検討／日本大学［学］宮代 由生・安田 陽一・清野 恒陽
Ⅱ-087 円形断面開水路における水理特性曲線に関する実験的検討／日本大学［学］武石 真諭・安田 陽一・石川 眞
Ⅱ-088 河道掘削時に造成された低水路内人工ワンド環境の維持に関する考察／大同大学［学］吉川 慎平・鷲見 哲也
Ⅱ-089 跳水内部の空気混入率分布に関する検討／日本大学［学］内田 健太・高橋 正行・大津 岩夫
Ⅱ-090 開水路床に存在する単一隆起の影響によって生じる水面形に関する研究／中央大学［学］諸岡 雅樹・山田 正

Ⅱ-3（A棟A301教室）／9月7日（水）

■流出・洪水（1）／9:00～10:20／多田 毅（防衛大学校）
Ⅱ-098 流域の湿潤状態を考慮した洪水予測手法に関する研究／長岡工業高等専門学校［学］保坂 大輝・池 佳祐・山本 隆広
Ⅱ-099 水文・環境データの精度の違いが流出解析の精度に与える影響／中央大学［学］小石 一宇・佐藤 憲弥・諸岡 良優
Ⅱ-100 良好な再現性を得る貯留関数式のパラメータの範囲について／明星大学［正］藤村 和正・井芹 慶彦・岡田 将治
Ⅱ-101 DAD解析を用いた確率降雨量と確率洪水流量の関係／東北大学［学］菅原 雄太・高 雷・風間 聡
Ⅱ-102 ランダムカスケードモデルを用いた基本高水ピーク流量算定に関する研究／長岡工業高等専門学校［学］星野 大雅・小池 高哉・山本 隆広
Ⅱ-103 分布型流出モデルを用いた深層崩壊と地中水貯留高・地形に関する考察／徳島大学［学］長谷川 諒・田村 隆雄・武藤 裕則
Ⅱ-104 玉川上水復活に向けた流量算定／中央大学［学］山田 真衣・小石 一宇・矢本 貴俊

■流出・洪水（2）／10:40～12:00／佐藤 嘉展（愛媛大学）
Ⅱ-105 CommonMPを用いた並列型流出予測システムの構築／京都大学［正］立川 康人・藤田 翔子・市川 温
Ⅱ-106 PSO法によるCommonMPモデルを対象としたパラメータ同定手法の適用性検討／建設技術研究所［正］箕浦 靖久・米勢 嘉智・岡峰 奈津美
Ⅱ-107 CommonMPモデルを用いた実時刻流量予測のための粒子フィルタ法の適用性検討／建設技術研究所［正］岡峰 奈津美・米勢 嘉智・箕浦 靖久
Ⅱ-108 CommonMPを活用したダムの洪水調節効果算定―公表資料の客観性向上に資するプロジェクト改良―／河川情報センター［正］田所 正・三平 良雄・柿澤 一弘
Ⅱ-109 総合洪水解析システム（IFAS）の開発と展望／土木研究所［正］津田 守正・岩見 洋一
Ⅱ-110 iRICを例とした水工情報システムの現状と課題について／RiverLink［正］旭 一岳

■氾濫・水災害（1）／15:20～16:40／天口 英雄（首都大学東京）
Ⅱ-111 大都市における内水氾濫頻発区域の分布とその特性―大阪市を対象とした解析―／東北大学［学］中口 幸太・小森 大輔・井上 亮
Ⅱ-112 最近の水害被害想定による東京メトロの大規模浸水対策／東京地下鉄［正］小柴 康平・大塚 努・保柄 重夫
Ⅱ-113 春日井市における内水氾濫解析と移動する雨水の可視化の試み／中部大学［学］野々部 竜也・武田 誠・橋本 善毅
Ⅱ-114 石神井川流域における下水道への雨水集中プロセスと内水氾濫／早稲田大学［学］神山 宙大・関根 正人・近藤 恭平
Ⅱ-115 森ヶ崎下水道処理区を対象とした豪雨時の浸水の数値予測とこれによる危険度評価／早稲田大学［学］斎藤 涼太・関根 正人・児玉 香織
Ⅱ-116 外水氾濫時における地下鉄軌道を伝播する氾濫水の挙動予測に関する検討／［学］岡部 良治・寺田 光宏・土井 崚平

Ⅱ-117　荒川決壊を想定した東京東部低平地の大規模浸水プロセスに関する数値予測／早稲田大学［学］小林 香野・関根 正人

■氾濫・水災害（2）／17:00～18:20／武田 誠（中部大学）

Ⅱ-118　降雨流出・洪水氾濫を一体的に解析するRRIモデル開発の経緯と展望／京都大学［正］佐山 敬洋・岩見 洋一・宮本 守

Ⅱ-119　Lバンド合成開口レーダ画像を用いた平成27年9月関東・東北豪雨の湛水域抽出／災害科学国際研究所 広域被害把握研究室［学］織田 征和・越村 俊一・ADRIANO Bruno

Ⅱ-120　阿賀野川における降雨流出氾濫モデルの適用と浸水開始時刻の再現性検証について／土木研究所［正］栗林 大輔・佐山 敬洋・近者 敦彦

Ⅱ-121　多数洪水シナリオを用いた最適な破堤間隔に関する数値計算／関西大学［学］大野 哲平・高橋 智幸

Ⅱ-122　中小河川を対象とした可能最大洪水氾濫の推定とその不確実性／富山県立大学［正］呉 修一

Ⅱ-123　福岡市城南区を対象とした個人住宅による雨水流出抑制効果の検討／福岡大学［学］林 雅夢・渡辺 亮一・浜田 晃規

Ⅱ-124　洪水氾濫・高潮複合災害の被害額と伊勢湾台風被害額との比較／東北大学［学］秋間 将宏・風間 聡・小森 大輔

Ⅱ-3（A棟A301教室）／9月8日（木）

■流域管理／9:00～10:20／佐山 敬洋（京都大学）

Ⅱ-125　気候変動によるダム利水運用への影響評価に関する基礎的検討／京都大学［学］鈴木 俊亮・野原 大督・堀 智晴

Ⅱ-126　アースダム決壊に伴う決壊状況解析及び浸水マップ作成に関する研究／京都大学［学］岩橋 卓也・Charatpangoon Bhuddarak・清野 純史

Ⅱ-127　日本全国のダム貯水池における流木蓄積量の統計解析／東北大学［学］助川 友斗・小森 大輔・風間 聡

Ⅱ-128　ダム貯水池における流木発生特性に関する一考察／建設技術研究所［正］永谷 言・川村 育男・石田 裕哉

Ⅱ-129　タイ国Chao Phraya川流域内大規模貯水池の運用における上流域観測降雨の適用可能性に関する検討／富山県立大学［学］道谷 健太郎・手計 太一・呉 修一

Ⅱ-130　中小河川における環境・維持管理に関するリスク評価の考え方と手法の構築に向けて／土木研究所［正］大石 哲也・萱場 祐一

Ⅱ-131　建設ICTを活用した河道観察手法の検討／パシフィックコンサルタンツ［正］山中 貴之・桑原 正人・栗林 孝典

■大気水象／10:40～12:00／小田 僚子（千葉工業大学）

Ⅱ-132　レーダー・アメダス解析雨量を用いた日本全国における降水特性の解析／東北大学［学］森田 興輝・有働 恵子

Ⅱ-133　豪雨発生の早期検知に対するレーダー積算雨量情報の適応可能性／京都大学［学］堀池 洋祐・西山 浩司・中北 英一

Ⅱ-134　SOMによるクラスタ解析に基づいた局地的豪雨の発生発達可能性に関する研究／法政大学［学］三村 昂大・岡田 翔太・鈴木 善晴

Ⅱ-135　ゲリラ豪雨のタマゴにおける鉛直渦管形成の解析／京都大学［学］佐藤 悠人・中北 英一・山口 弘誠

Ⅱ-136　WRFを用いた短時間豪雨予測システムの構築に関する基礎研究／中央大学［学］盧 涛・山田 朋人・山田 正

Ⅱ-137　複数の散布手法を想定したシーディングによる豪雨抑制効果の有効性・信頼性に関する研究／法政大学［学］八木 柊一朗・鈴木 善晴・横山 一博

Ⅱ-138　擬似温暖化実験による降雨強度に対する温暖化影響評価／岐阜大学［学］林 光太郎・吉野 純・後藤 元輝

Ⅱ-139　数値気象モデルを用いた海風二次元計算～都市幾何の影響評価～／東京理科大学［学］金子 凌・仲吉 信人

Ⅱ-3（A棟A301教室）／9月9日（金）

■水災害リスクマネジメント（1）／9:00～10:20／相馬 一義（山梨大学）

Ⅱ-140　面的制約条件に加え深度方向を含んだ総合河道計画検討に対する考察／セントラルコンサルタント［正］兼松 祐志・川添 昌紀・小高 猛司

Ⅱ-141　新技術を用いた洪水からの避難支援への取り組み（最上川上流での事例）／東北地方整備局山形河川国道事務所［正］千葉 純嗣

Ⅱ-142　水害避難時の様々な周辺環境条件下における歩行限界の定量化／東京理科大学［学］水野 力斗・二瓶 泰雄

Ⅱ-143　橋梁部の流木捕捉状況と水面形変化に関する小型開水路実験／［学］桜庭 拓也・二瓶 泰雄

Ⅱ-144　山国川流域を対象とした橋梁への流木集積リスクの評価／九州大学［学］土橋 将太・富田 浩平・矢野 真一郎

Ⅱ-145　十勝川千代田実験水路における荒締切を想定した基礎実験／土木研究所寒地土木研究所［正］島田 友典・前田 俊一・柏谷 和久

Ⅱ-146　平成27年関東・東北豪雨を事例とした合成開口レーダ（SAR）衛星の利活用検討／国際航業［正］本田 謙一・藤平 啓・浅田 典親

■水災害リスクマネジメント（2）／10:40～12:00／本間 基寛（日本気象協会）

Ⅱ-147　経路上の障害情報が水害避難行動に及ぼす影響に関する基礎的考察／京都大学［学］西川 詞雲・堀 智晴・野原 大督

Ⅱ-148　荒川下流域におけるタイムラインの運用について／関東地方整備局荒川下流河川事務所［正］佐藤 希世・里村 真吾・狩野 豊

Ⅱ-149　荒川下流域におけるタイムラインの改訂について／東京建設コンサルタント［正］町田 岳・里村 真吾・狩野 豊

Ⅱ-150　被害期待値を用いた治水安全度バランスの評価手法と適正化に関する研究／いであ［正］安田 実・荒木 智三・栗林 孝典

Ⅱ-151　大規模水害対策ワークショップ前後のアンケート調査によるWS参加者の意識変容に関する一考察／いであ［正］田村 智貴・佐藤 英治・澤田 俊明

Ⅱ-152　地域連携によるワークショップを軸とした大規模水害対策検討フレームとプロセス／いであ［正］佐藤 英治・澤田 晃二・澤田 俊明

Ⅱ-153　水害調査データベース構築と調査の円滑化に向けた水害調査ガイドラインの提案／東京理科大学［正］大槻 順朗・呉 修一・八木澤 順治

■地下水理・地下水文／15:20～16:40／石平 博（山梨大学）

Ⅱ-154　黒部川扇状地沿岸部における地下水塩水化の数値実験／富山県立大学［学］松浦 拓哉・北 隆平・手計 太一

Ⅱ-155　農業用排水路による地下水環境への影響評価～インドネシア・中央カリマンタン州の熱帯泥炭湿地林域を対象として～／京都大学［学］神田 亜希子・城戸 由能・中北 英一

Ⅱ-156　混合粒径砂州内部における粒径が異なる部位の存在が浸透流に及ぼす影響／土木研究所 寒地土木研究所［正］矢野 雅昭・渡邊 康玄・谷瀬 敦

Ⅱ-157　多孔質媒体中を運動する汚染粒子の動的挙動解析／鹿島建設［学］池田 隼人・内山 祐介

Ⅱ-158　扇状地における礫床河川砂州内の浸透流動の観測／岐阜大学［学］坂口 絢香・大橋 慶介・児島 利治

Ⅱ-159　水質および温度変化過程が異なる砂質土壌の不凍水曲線の比較／近畿大学［正］高野 保英・Hayashi Masaki

Ⅱ-4（A棟A302教室）／9月7日（水）

■津波 災害／9:00～10:20／Anawat Suppasri（東北大学）

Ⅱ-160　四国霊場八十八ヶ所と遍路みちにおける自然災害被災リスクの検証／神戸市立工業高等専門学校［正］宇野 宏司

Ⅱ-161　1833年天保出羽沖地震津波の歴史津波の痕跡調査による一考察／パシフィックコンサルタンツ［正］畔柳 陽介・馬淵 幸雄・今井 健太郎

Ⅱ-162　日常利用と防災機能を有する海岸防災施設造成のあり方に関する研究─静岡県袋井市浅羽南地区の「湊命山」造成の事前協議に着目して─／日本大学［学］水石 知佳・横内 憲久・岡田 智秀

Ⅱ-163　新設高速道路と液状化による地盤沈下を考慮した徳島県北部における津波浸水予測／基礎建設コンサルタント［正］中川 頌将・山中 亮一・馬場 俊孝

Ⅱ-164　想定外の巨大津波に危機耐性を発揮する2つの新避難対策／近畿技術コンサルタンツ［正］冨田 穣

Ⅱ-165　福島県相馬港周辺における樹林帯と段落ち部の組合せによる多重防御効果／埼玉大学［学］金井 花笑・田中 規夫

Ⅱ-166　仮想造波板境界処理法を用いた2D-3D連成津波遡上解析／九州大学［学］江口 史門・浅井 光輝

■津波 波力／10:40～12:00／小笠原 敏記（岩手大学）

Ⅱ-167　陸上構造物に対する各種津波圧算定式の適用性検討／ニュージェック［正］殿最 浩司・志方 建仁・松山 昌史

Ⅱ-168　取放水路に作用する津波の衝撃揚圧力低減方法／大成建設［正］伊藤 一教・高畠 知行・小俣 哲平

Ⅱ-169　津波による構造物への外力に関する実験的研究／大林組［F］野村 敏雄・武田 篤史・鴫原 良典

Ⅱ-170　波圧・波力同時計測による衝撃的な津波荷重の計測方法／鹿島建設［正］鈴木 一輝・福山 貴子・秋山 義信

Ⅱ-171　円筒形タンクに作用する水平方向津波波力の算定／大阪大学［正］荒木 進歩・國松 航・小竹 康夫
Ⅱ-172　遡上津波の流体力に対する構造物幅の影響に関する水理実験／大成建設［正］織田 幸伸・本田 隆英・小俣 哲平
Ⅱ-173　コンボルト型屋外貯蔵タンクの耐津波構造への解析的検討／コンボルト・ジャパン［正］石田 博康・黒田 修一・栗林 健太郎

■堤防・防波堤の機能／15:20〜16:40／荒木 進歩（大阪大学）
Ⅱ-174　二重鋼矢板堤防の堤内地被害抑制効果に関する実験的研究／新日鐵住金［正］乙志 和孝・黒澤 辰昭・三戸部 佑太
Ⅱ-175　広頂堰を越流する流れのエネルギー減衰に蛇籠が及ぼす効果に関する研究／防衛大学校［学］林 大地・多田 毅・宮田 喜壽
Ⅱ-176　堤防裏法被覆工の相対粗度間隔が越流のエネルギー減衰に及ぼす影響／埼玉大学［学］狩野 匠・八木澤 順治
Ⅱ-177　海岸堤防越流後の減勢に適した二重堤防構造の実験的検討／埼玉大学［学］五十嵐 善哉・田中 規夫
Ⅱ-178　津波越流に対する海岸堤防の法尻洗掘対策に関する水理実験と数値計算／大成建設［正］小俣 哲平・本田 隆英・織田 幸伸
Ⅱ-179　没水型長周期波対策工の消波性能に関する水理模型実験による検討／日本海洋コンサルタント［正］山本 禎寿・内山 一郎・及川 隆
Ⅱ-180　三重式縦スリット透過性構造物の消波特性に関する実験的研究／大阪市立大学［学］中原 悠輔・重松 孝昌・山野 貴司

■海岸・港湾施設／17:00〜18:20／織田 幸伸（大成建設）
Ⅱ-181　マリーナ及びプレジャーボート用浮桟橋の設計法の現状と今後の課題／大林組［正］佐村 維要・高岩 千人・小林 靖始
Ⅱ-182　ニューマチックケーソン式桟橋の耐震性能照査法における杭の特性値βの適用性について／日本港湾コンサルタント［正］柴田 大介・長尾 毅
Ⅱ-183　超音波非接触式肉厚測定装置による港湾鋼構造部材の肉厚測定に関する検討／港湾空港技術研究所［正］野上 周嗣・加藤 絵万・白井 一洋
Ⅱ-184　現場管理値に適応した耐津波防波堤直下のSCP改良地盤物性に関する基礎的検討／四国地方整備局高松港湾空港技術調査事務所［正］竹田 晃・上郡 知輝・国生 隼人
Ⅱ-185　電気防食の最適な維持管理手法の提案／［正］磯田 隆行・林 稔・齊藤 直
Ⅱ-186　長径間型フラップゲート式防潮堤における隣接扉体接続部への作用力特性／日立造船［正］木村 雄一郎・山川 善人・谷尾 大地
Ⅱ-187　無人飛行体（UAV）を用いた護岸の健全度評価に関する一考察／パシフィックコンサルタンツ［正］太田 智・原田 大輔・片浦 正雄

Ⅱ-4（A棟A302教室）／9月8日（木）

■漂流物・危険物／9:00〜10:20／藤木 峻（港湾空港技術研究所）
Ⅱ-188　津波避難タワーに衝突する漂流物の挙動に関する基礎的検討／大成建設［正］小尾 博俊
Ⅱ-189　風外力体積力型埋め込み境界法を導入した数値波動水槽CADMAS-SURF／3Dによる海域を漂流する物体の挙動解析／岐阜工業高等専門学校［正］菊 雅美・中村 友昭
Ⅱ-190　津波来襲時における流出危険物の挙動に関する水理実験／清水建設［正］今津 雄吾・吉田 絢・Pham Phuc
Ⅱ-191　漂流物群を伴う遡上津波が河川構造物に及ぼす外力に関する数値解析的検討／寒地土木研究所［正］阿部 孝章・吉川 泰弘
Ⅱ-192　障害物を考慮した防潮堤に作用する津波波力解析に関する一考察／京都大学［学］唐尾 太智・米山 望
Ⅱ-193　浮遊漂流物の移動を阻止するシステムの検討―停止柵による津波漂流物のシミュレーション―／環境シミュレーション［正］阪田 升・高畠 秀男・有田 守
Ⅱ-194　貯留堰を有する取水路を対象としたスロッシング解析／大成建設［正］本田 隆英・織田 幸伸・伊藤 一教

■高潮災害／10:40〜12:00／今津 雄吾（清水建設）
Ⅱ-195　鹿児島港において想定しうる高潮の最大規模に関する研究／海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所［正］藤木 峻・川口 浩二
Ⅱ-196　擬似温暖化実験によるフィリピン・レイテ湾における高潮の将来予測と不確実性評価／岐阜大学［学］豊田 将也・吉野 純・小林 智尚
Ⅱ-197　秋田県南部海岸における長期的な汀線位置変動と波高変動の対応／秋田大学［学］鍵主 佳飛・藤村 潤・松冨 英夫
Ⅱ-198　島堤の蛇行被災に及ぼす陸域からの反射波の影響について／三省水工［正］河村 裕之・中村 孝幸・浅田 潤一郎
Ⅱ-199　被覆材の有無による人工リーフ堤体の断面変化に関する研究／日本大学［学］山崎 崇史・鷺見 浩一
Ⅱ-200　大規模台風時の高潮災害の防災対策への検討 その1:第二室戸台風の再現解析／構造計画研究所［正］安重 晃・落合 努・荏本 孝久
Ⅱ-201　大規模台風時の高潮災害の防災対策への検討 その2:シミュレーションのタイムラインへの活用例／構造計画研究所［正］落合 努・安重 晃・荏本 孝久

Ⅱ-4（A棟A302教室）／9月9日（金）

■沿岸域の波・流れ／9:00〜10:20／有働 恵子（東北大学）
Ⅱ-202　非静水圧を考慮した水路床非均一性による水面形に関する研究／［学］洪 尓超
Ⅱ-203　湾曲部の河道形状が河川津波の遡上に及ぼす影響に関する実験的検討／土木研究所［正］石神 孝之・本山 健士・笛田 俊治
Ⅱ-204　北上川における津波遡上と氾濫流に与える河川流・河口砂州の影響／近畿地方整備局［正］松井 大生・内田 龍彦・福岡 捷二
Ⅱ-205　CIP法による大きさのあまり違わないソリトンの追突実験とシミュレーション／防災技術コンサルタント［正］千田 健一・国技 雄一・菊池 茂
Ⅱ-206　河川と海域の現地観測に基づく河川水温が有明海の水温成層に与える影響の評価／［学］森 ゆかり・矢野 真一郎
Ⅱ-207　漂着ゴミをトレーサーとした花見川河口周辺の流れの把握に関する研究／日本大学［学］平田 悠真・中村 倫明・落合 実

■沿岸域の環境・生態系／10:40〜12:00／渡辺 一也（秋田大学）
Ⅱ-208　造成したアマモ場における葉上・底生生物の生物多様性評価手法に関する研究／金沢工業大学［学］加藤 慎吾・有田 守・芳田 利春
Ⅱ-209　英虞湾におけるコアマモの株移植実験／大成建設［正］高山 百合子・片倉 徳男・伊藤 一教
Ⅱ-210　海水浄化岸壁模型を用いた海水の浄化実験／明石工業高等専門学校［正］檀 和秀・垣田 正樹
Ⅱ-211　ビーチロック形成メカニズムに関する一検討／鹿島建設［正］山木 克則・北島 洋二・茅根 創
Ⅱ-212　3次元非静水圧モデルによる宍道湖・中海連結での年間流動シミュレーション／東京都市大学［学］池田 香澄・田中 陽二
Ⅱ-213　遠州灘におけるVHF帯海洋レーダを用いた海流観測／中部電力［正］上原 史洋・田中 良仁・坂井 伸一
Ⅱ-214　大船渡港湾口防波堤復旧事業における環境保全対策とその効果／エコー［正］高尾 敏幸・小澤 敬二・及川 隆

■越波・漂砂／15:20〜16:40／松林 由里子（岩手大学）
Ⅱ-215　不規則波による代表打ち上げ高さに関する実験／東北工業大学［学］菅原 命士・高橋 敏彦・相原 昭洋
Ⅱ-216　越波流量空間分布に基づいた越波の模型実験における現地と模型との風速の対応に関する研究／九州大学［学］小川 大輔・山城 賢・仲村 渉
Ⅱ-217　上部フレア護岸の越波流量及び天端高さの推定方法に関する検討／神戸製鋼所［正］田中 敦・竹鼻 直人・荻野 啓
Ⅱ-218　カラーパターン照明を用いた3次元浮遊砂濃度分布の可視化計測法の開発／東北大学［学］今田 遥介・三戸部 佑太・田中 仁
Ⅱ-219　漂砂による地形変化計算時における斜面崩壊の取り扱いに関する一考察／名古屋大学［正］中村 友昭・趙 容桓・水谷 法美
Ⅱ-220　関門航路のサンドウェーブに関する数値シミュレーション／九州大学［学］八尋 蓮・相原 佑紀・山城 賢
Ⅱ-221　矢板式岸壁腐食孔からの埋立土砂の吸い出し機構に関する実規模数値解析／国土交通省［学］福田 俊・中村 友昭・趙 容桓

Ⅱ-5（A棟A303教室）／9月8日（木）

■造波・発電／9:00〜10:20／久保田 真一（不動テトラ）
Ⅱ-222　沿い波型遊水室で稼動する浮体式波力発電のポテンシャル評価／山口大学［F］羽田野 袈裟義・長瀬 吉行・李 万元
Ⅱ-223　マルチ（波浪・津波）造波水路の更新・増強／鹿島建設

［正］秋山 義信・福山 貴子・鈴木 一輝
Ⅱ-224　電動式スルースゲートを用いた津波再現実験／東亜建設工業［正］松田 信彦
Ⅱ-225　振動台実験の土槽側壁で発生する水面波の抑制方法／東京海洋大学［正］谷 和夫・冨田 晃弘・岡安 章夫
Ⅱ-226　五島・奈留瀬戸における潮流発電実証事業の候補地選定／東亜建設工業［正］倉原 義之介・津田 宗男・江口 三希子
Ⅱ-227　五島・奈留瀬戸における潮流発電装置に対する生物付着の防止効果／東亜建設工業［正］江口 三希子・津田 宗男・清瀬 弘晃
Ⅱ-228　五島・奈留瀬戸における潮流発電装置に及ぼす付着生物の影響と対策／東亜建設工業［正］津田 宗男・清瀬 弘晃・倉原 義之介

■ブロックと捨石の安定性／10:40～12:00／宇野 喜之（エコー）
Ⅱ-229　津波に対する防波堤背後の腹付工の効果に関する水理模型実験／不動テトラ［正］三井 順・久保田 真一・松本 朗
Ⅱ-230　潜堤上の密度が異なる被覆ブロックの安定性に関する考察／名古屋大学［正］趙 容桓・山田 悠貴・中村 友昭
Ⅱ-231　防波堤捨石マウンド内の津波浸透流の支持力に対する影響と腹付工の効果／沿岸技術研究センター［正］大村 厚夫・及川 隆・照井 和幸
Ⅱ-232　消波ブロックにおける被災度算定モデルの現地適用性について／ネクスコ・エンジニアリング東北［正］久保田 謙作
Ⅱ-233　60度以上の斜め入射波に対する消波工不連続部の安定特性に関する実験的研究（続報）／玉野総合コンサルタント［正］森川 高徳・小椋 進・鬼頭 孝明
Ⅱ-234　新型消波ブロックの傾斜堤2層整積み被覆における安定性／日建工学［正］松下 紘資・Kyung-Duck Suh・Eun Jong Min
Ⅱ-235　消波ブロックによる防波堤背面補強体の滑動抵抗力の検討／エコー［正］長谷川 巌・小椋 進・鬼頭 孝明

Ⅱ-5（A棟A303教室）／9月9日（金）

■河川環境構造物／9:00～10:20／髙橋 正行（日本大学）
Ⅱ-236　伝統的蛇カゴ工法を応用したウナギ生息環境の創出／鹿島建設［正］有馬 毅・間宮 尚・青山 和史
Ⅱ-237　落差部に設置する粗石斜路における流況特性に対する流入構造の影響／日本大学［学］平岡 大貴・安田 陽一
Ⅱ-238　横断勾配を持つ全断面粗石魚道の流れと魚の遡上率について／東洋大学［学］櫻井 龍太郎・青木 宗之・松木 越
Ⅱ-239　礫堆積時における階段式魚道内の流れ特性について／東洋大学［正］青木 宗之・橘 勇貴・坂間 睦美
Ⅱ-240　近自然魚道の設置と多面的効果の検証に関する研究／大日本コンサルタント［正］中村 創・新井 聖司
Ⅱ-241　旧北上川における魚遡上環境の改善に関する取り組み／国土交通省［正］松葉 俊哉・高田 浩穂・菊地 純
Ⅱ-242　軽量材料を用いた蛇カゴ組立式魚道の考案と実地試験結果／鹿島建設［正］柵瀬 信夫・伏見 直基・高木 直治

■魚類／10:40～12:00／糠澤 桂（宮崎大学）
Ⅱ-243　河川低次生態系シミュレーションへの魚類動態モデルの導入／名古屋大学［学］溝口 裕太・戸田 祐嗣
Ⅱ-244　砂州状態を考慮したサケ産卵環境の評価手法の検討／ドーコン［正］山田 雄基・傳甫 潤也・堀岡 和晃
Ⅱ-245　超小型電子標識を用いた長期的なサクラマス行動把握手法の検証／寒地土木研究所［正］林田 寿文・新居 久也・谷瀬 敦
Ⅱ-246　環境DNAを用いた魚類量推定法の開発／山口大学［学］一松 晃弘・赤松 良久・乾 隆帝
Ⅱ-247　環境DNA分析を用いた淀川におけるイタセンパラ生息域の推定／パシフィックコンサルタンツ［正］上月 佐葉子・稲波 璃香・源 利文
Ⅱ-248　河川中流域における水生生物の生息環境に配慮した河岸保護工に関する実験的検討／北海道開発局［正］佐藤 好茂・天羽 淳・渡辺 雅俊

■流体力学／15:20～16:40／重枝 未玲（九州工業大学）
Ⅱ-091　ため池結果維持における浸水シミュレーション／香川大学［学］久保 栞・和田 光真・吉田 秀典
Ⅱ-092　桟粗度開水路乱流場の水面形パターン分類に関する検討／神戸大学［学］衣笠 恭介・藤田 一郎・谷 昂二郎
Ⅱ-093　設置位置の異なる円柱群の抵抗特性について／東洋大学［学］坂間 睦美・青木 宗之
Ⅱ-094　複雑な流れ場を有する沈砂池内の流動を評価するための準三次元洪水流解析法の開発／中央大学［正］後藤 岳久・福岡 捷二
Ⅱ-095　一般座標系での3次元開水路流れモデルによる湾曲部流れの数値シミュレーション／京都大学［学］村瀬 仁士・音田 慎一郎・細田 尚
Ⅱ-096　球あるいは半球状粗面を有する流れのDNS解析／神戸大学［学］福本 達也・藤田 一郎・吉村 英人
Ⅱ-097　Discontinuous Galerkin法による浅水長波流れ解析に関する検討／中央大学［学］凌 国明・樫山 和男

第Ⅲ部門　土質力学、基礎工学、岩盤工学、土木地質、地盤環境工学など

Ⅲ-1（A棟A303教室）／9月7日（水）

■洗掘・侵食（1）／10:40～12:00／小高 猛司（名城大学）
Ⅲ-001　遠心力場における防波堤捨石マウンド内の流速測定／東洋建設［正］宮本 順司・鶴ヶ崎 和博・岩本 哲也
Ⅲ-002　津波時の防波堤基礎マウンドの安定化構造に関する遠心模型実験／東洋建設［正］鶴ヶ崎 和博・宮本 順司・HEM Ramrav
Ⅲ-003　越流・浸透流を考慮した防波堤被覆材の安定重量に関する考察と水理模型実験／九州大学［学］井上 翔太
Ⅲ-004　洗掘に伴うゆるみの抵抗計による多点計測／名古屋工業大学［学］高木 健太郎・前田 健一・山口 敦志
Ⅲ-005　一次元透水試験時の出砂を伴う浸透破壊と強度特性変化に関する研究／［学］久泉 友二・岩永 英・肥後 陽介
Ⅲ-006　内部浸食の構成式と実験結果への適用性の検討／京都大学［学］赤木 俊文・木元 小百合
Ⅲ-007　洗掘時の橋脚前方の下降流による地盤内の間隙水圧挙動に関する模型実験／鉄道総合技術研究所［正］渡邉 諭・宮下 優也・欅 健典

■洗掘・侵食（2）／15:20～16:40／鶴ケ崎 和博（東洋建設）
Ⅲ-008　パイピング現象の進行条件に関する考察／日本工営［正］齊藤 啓・前田 健一・李 兆卿
Ⅲ-009　一様流中の空洞とくぼみが及ぼす流速場の変化とパイピングの進行に関する基礎的研究／中央大学［学］新妻 友太・山田 正
Ⅲ-010　河床変動シミュレーションによる洗掘現象の再現性に関する基礎的検討／鉄道総合技術研究所［正］湯浅 友輝・渡邉 諭・太田 直之
Ⅲ-011　ベントナイト混合砂の堤防浸透対策材料としての適用性に関する検討／名城大学［学］竹内 啓介・小高 猛司・崔 瑛
Ⅲ-012　ジオシンセティックス補強によるアップサイクルブロック防潮堤の耐津波性に関する実験／大阪大学［学］植田 裕也・常田 賢一・森田 晃司
Ⅲ-013　メタンハイドレート生産障害対策のための細粒分目詰まり機構の実験的検討／鹿島建設［正］露木 健一郎・三浦 悟・北本 幸義
Ⅲ-014　鋼製砂防施設における透過部の設置角度等の違いが捕捉効果に与える影響／京都大学［正］原田 紹臣・中谷 加奈・里深 好文
Ⅲ-015　粘性土を考慮した内部侵食モデルによる粒子—流体連成シミュレーション／大成建設［正］藤名 瑞耀・福元 豊・村上 章

Ⅲ-2（A棟A304教室）／9月7日（水）

■基礎工法・試験／9:00～10:20／森川 嘉之（港湾空港技術研究所）
Ⅲ-016　液状化地盤におけるシートパイル補強工法の適用に関する検討（その1 中間支持型シートパイル補強工法）／北武コンサルタント［正］斉藤 聡彦・西岡 英俊・佐名川 太亮
Ⅲ-017　液状化地盤におけるシートパイル補強工法の適用に関する検討（その2 先端支持型シートパイル補強工法）／鉄道総合技術研究所［正］戸田 和秀・西岡 英俊・妙中 真治

Ⅲ-018　スカートサクション基礎の引抜き抵抗に関する実海域実験(その1:概要および貫入結果)／大林組［正］伊藤 政人・増井 直樹・林 秀郎
Ⅲ-019　スカートサクション基礎の引抜き抵抗に関する実海域実験(その2:引抜き結果)／大林組［正］粕谷 悠紀・山本 彰・松田 隆
Ⅲ-020　スカートサクション基礎の引抜き抵抗に関する実海域実験(その3:繰返し引抜き結果)／大林組［F］山本 彰・粕谷悠紀・松田 隆
Ⅲ-021　スカート・サクション基礎の引抜き抵抗に関する実海域実験(その4:FEM解析)／大林組［F］松田 隆・伊藤 政人・粕谷 悠紀
Ⅲ-022　画像解析による杭基礎模型直下地盤における粒子破砕計測／［学］濱口 隼人・毛 無衛・古関 潤一

■基礎工支持力／10:40～12:00／佐名川 太亮(鉄道総合技術研究所)
Ⅲ-023　三重津海軍所ドライドック渠底部の地盤工学的解釈／防衛大学校［正］正垣 孝晴・中野 充
Ⅲ-024　三重津海軍所ドライドックで使われた砂と粘土の産地特性と施工法／興和［正］鈴木 直文・正垣 孝晴・中野 充
Ⅲ-025　ソイルセメントH形鋼杭の先端支持力度強化に関する検討／大林組［正］古賀 翔平・渡邉 康司・山本 忠久
Ⅲ-026　ソイルセメントH形鋼杭の引抜き抵抗に関する研究／大林組［正］渡邉 康司・古賀 翔平・山本 忠久
Ⅲ-027　岩盤における鋼管杭の押込み・引抜き抵抗力に関する室内試験及び杭の鉛直載荷試験(その2)／大林組［正］稲積一訓・田口 博文・辰見 夕一
Ⅲ-028　岩盤における鋼管杭の押込み・引抜き抵抗力に関する室内試験及び杭の鉛直載荷試験 その1／東亜建設工業［正］田口 博文・稲積 一訓・辰見 夕一

■杭 解析・評価／15:20～16:40／磯部 公一(北海道大学)
Ⅲ-029　大型・大深度ニューマチックケーソン刃口部の施工時応力に関する一考察／アイテックコンサルタント［正］茂木浩二・小宅 知行・佐藤 晋哉
Ⅲ-030　解析モデルの違いが鋼管矢板基礎の荷重―変位関係に与える影響／阪神高速道路［正］西原 知彦・篠原 聖二・木村 亮
Ⅲ-031　水平地盤反力係数の変位レベル依存性が基礎の水平抵抗に与える影響／鉄道総合技術研究所［正］笠原 康平・佐名川 太亮・西岡 英俊
Ⅲ-032　鉄道RCラーメン高架橋の杭基礎形式選定における一考察／パシフィックコンサルタンツ［正］手嶋 康博・内村 有宏・瀧田 学
Ⅲ-033　盛土ホームへの可動式ホーム柵設置におけるコストダウンについて／ジェイアール東日本コンサルタンツ［正］宝蔵寺 宏彰・余地 英通・田中 源吾
Ⅲ-034　基礎の着目変位レベルに応じた地盤反力係数の推定方法／新潟大学［正］大竹 雄・七澤 利明・本城 勇介
Ⅲ-035　地盤調査法とひずみレベルを考慮した地盤変形係数の推定方法／岐阜大学［正］本城 勇介・大竹 雄・七澤 利明

■杭 施工技術(1)／17:00～18:20／樋口 俊一(大林組)
Ⅲ-036　新東名高速道路 新城IC付近で沈下した橋梁下部工の対策工事／NEXCO中日本［正］村中 誠・岡田 和弘・加藤 昌明
Ⅲ-037　新東名高速道路 新城IC付近での橋梁下部工の沈下の原因と対策／中日本高速道路［正］宮部 光貴・早川 慎治・加藤 昌明
Ⅲ-038　無溶接工法を用いた場所打ち杭の施工報告／東日本高速道路［正］上原 隆三
Ⅲ-039　東北地方太平洋沖地震で被災した二連石造アーチ橋の補修方法に関する検討／京都大学［学］平田 望・澤村 康生・西村 祐人
Ⅲ-040　LNG地上式タンク基礎杭における支持層レベル推定と支持力確認／清水建設［正］後藤 大輔・伊藤 暁・池田 昇平
Ⅲ-041　固結シルト層を支持層とする回転杭の支持機構に関する一考察／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋［正］高野 真史・石橋 健作・小野山 利之
Ⅲ-042　簡易式COD計による地中連続壁施工時の安定液のCOD測定／［正］森下 智貴・三浦 俊彦・荒川 真

Ⅲ-2（A棟A304教室）／9月8日(木)

■杭 施工技術(2)／9:00～10:20／森川 嘉之(港湾空港技術研究所)
Ⅲ-043　鋼管杭の機械式継手の開発と性能検証(その1:接合性および打込み工法への適用性評価)／新日鐵住金［正］石濱吉郎・北濱 雅司・妙中 真治
Ⅲ-044　鋼管杭の機械式継手の開発と性能検証(その2:構造性能の確認)／新日鐵住金［正］妙中 真治・北濱 雅司・石濱 吉郎
Ⅲ-045　セメント系固化材による表層改良と改良杭を併用した液状化対策工法の検証(その1)―遠心実験―／大林組［正］加藤 一紀・永井 秀樹・永禮 大
Ⅲ-046　セメント系固化材による表層改良と改良杭を併用した液状化対策工法の検証(その2)―有効応力解析―／大林組［正］鳥巣 セダ・永井 秀樹・永禮 大
Ⅲ-047　基礎設備に用いる小径回転杭の支持力に関する研究(その1)―単杭の引抜き抵抗力―／新日鉄住金エンジニアリング［正］和田 昌敏・澤石 正道・加藤 健
Ⅲ-048　設備基礎に用いる小径回転杭の支持力に関する研究(その2)―組杭の水平抵抗力―／新日鉄住金エンジニアリング［正］澤石 正道・和田 昌敏・高橋 章浩
Ⅲ-049　場所打ち杭施工時の孔壁変形に着目した縮小模型実験／JR東日本［正］金田 淳・高崎 秀明・池本 宏文

■杭 模型実験／10:40～12:00／宇野 州彦(五洋建設)
Ⅲ-050　フーチングを有しない多柱式ラーメン構造における地盤の静的水平抵抗特性／オリエンタルコンサルタンツ［正］原田 健彦・大森 貴行・梅林 福太郎
Ⅲ-051　フーチングを有しない多柱式ラーメン構造の動的挙動を評価するための遠心場の加振実験／土木研究所［正］林 克弘・梅林 福太郎・大森 貴行
Ⅲ-052　側方移動の影響を受ける橋台杭基礎の断面力に関する遠心模型実験／土木研究所［正］田辺 晶規・谷本 俊輔・七澤利明
Ⅲ-053　杭頭周辺の地盤改良による組杭の横抵抗の向上／海上・港湾・航空技術研究所［正］森川 嘉之・松原 宗伸・水谷 崇亮
Ⅲ-054　杭間地盤を改良した控え組杭の横抵抗メカニズム／海上・港湾・航空技術研究所［正］松村 聡・水谷 崇亮・森川 嘉之
Ⅲ-055　笠付鋼管杭の鉛直支持力と水平抵抗特性に関する実物大実験／技研製作所［正］尾川 七瀬・岡田 浩一・石原 行博
Ⅲ-056　杭相対剛性および地盤修復性に関する基礎的実験(その2:改良体挙動)／［正］冨澤 幸一・三浦 清一
Ⅲ-057　小口径鋼管杭の多列補強効果について／ケー・エフ・シー［正］渡邊 直人・菅原 大暉・鱸 洋一

Ⅲ-2（A棟A304教室）／9月9日(金)

■圧縮・圧密／9:00～10:20／杉山 太宏(東海大学)
Ⅲ-058　浸水に伴う橋台背面盛土の沈下に関する基礎的実験／鉄道総合技術研究所［正］阪東 聖人・高柳 剛・太田 直之
Ⅲ-059　逆解析による長期圧密沈下予測法の検討／岡山大学［正］西村 伸一・柴田 俊文・珠玖 隆行
Ⅲ-060　おぼれ谷に堆積する軟弱地盤上に施工された高速道路盛土の沈下変状に関する考察／ネクスコ・エンジニアリング東北［正］澤野 幸輝・高坂 敏明・外崎 靖也
Ⅲ-061　構造を有する粘土の繰返しせん断履歴による体積圧縮挙動／北海道大学［学］畑中 佑太・西間 友洸・磯部 公一
Ⅲ-062　遠心模型実験を用いた高位構造粘土地盤の地震後圧密沈下挙動の解明／北海道大学［学］西間 友洸・畑中 佑太・磯部 公一
Ⅲ-063　真空圧密された軟弱地盤における盛土施工時の圧密排水メカニズムに関する遠心模型実験／京都大学［学］長谷川元輝・白神 新一郎・澤村 康生
Ⅲ-064　短いドレーン材を用いた真空圧密土槽実験における沈下形状と圧密効果／真空圧密ドレーン工法研究会［正］新舎博・山内 義文・堤 彩人

■地下空洞と地下構造物(1)／10:40～12:00／粥川 幸司(安藤・間)
Ⅲ-065　不均一な上載荷重が作用するヒンジ式アーチカルバートの動的遠心模型実験／京都大学［学］宮崎 祐輔・澤村 康生・岸田 潔
Ⅲ-066　強震応答実験装置を用いた2ヒンジプレキャストアーチカルバートの振動実験と再現解析による損傷形態の検討／京都大学［学］松下 麗菜・澤村 康生・岸田 潔
Ⅲ-067　防護管の浅層埋設時における通信の信頼性に関する基礎検証／NTTアクセスサービスシステム研究所［正］小林 大樹・田邊 克洋・杁山 義弘
Ⅲ-068　弾性論に基づく円形管の応答変位法に対する批判的考察／大阪市立大学［正］東田 淳
Ⅲ-069　円形管の耐震設計法(断面方向)の開発／中央復建コンサルタンツ［正］井上 裕司・島津 多賀夫・吉村 洋
Ⅲ-070　提案設計法と現行設計法によって予測したRC管の地震時挙動の比較／アサノ大成基礎エンジニアリング［正］島津多賀夫・東田 淳・吉村 洋
Ⅲ-071　提案設計法と現行設計法によって予測したFRPM管の地震

時挙動の比較／阿南工業高等専門学校［正］吉村 洋・島津 多賀夫・東田 淳

■地下空洞と地下構造物（2）／15:20～16:40／清木 隆文（宇都宮大学）

Ⅲ-072 幌延深地層研究計画地下研究施設整備（第Ⅱ期）等事業におけるグラウト工事結果の概要／大成建設［正］南出 賢司・鈴木 弘・進藤 彰久

Ⅲ-073 限定充填工法による亜炭鉱廃坑の予防的防災工事の施工／飛島建設［正］豊田 雅博・杉浦 乾郎・坂本 昭夫

Ⅲ-074 上総層群泥岩を対象とした空洞施工事例の地盤挙動の再現FEM解析／大林組［F］杉江 茂彦・中道 洋平・鈴木 和明

Ⅲ-075 3次元FEM解析による既設開削トンネル側壁開口時の補強桁設置効果及び全体挙動の評価／中央復建コンサルタンツ［正］坂田 智基・仲山 貴司・西山 和宜

Ⅲ-076 樋門周辺地盤のゆるみ・空洞領域が河川堤防の浸透安定性に及ぼす影響／名城大学［学］劉 天明・崔 瑛・小高 猛司

Ⅲ-077 浅い地中構造物と地盤との周面摩擦に関する模型実験／千葉工業大学［学］中塚 里桜・遠藤 宗仁・小宮 一仁

Ⅲ-3（A棟A305教室）／9月7日（水）

■土壌地下水汚染／9:00～10:20／竹下 祐二（岡山大学）

Ⅲ-078 凍結融解とイオン交換を利用した洗浄技術の特性について／摂南大学［学］井上 拓人・伊藤 譲・廣瀬 剛

Ⅲ-079 沈降分析法とレーザー回折散乱法による細粒土粒径の比較／清水建設［正］毛利 光男・設樂 和彦・石鍋 誠一

Ⅲ-080 黒色片岩のセメント固化・不溶化効果に関する検討／西松建設［正］石渡 寛之・佐藤 靖彦・久野 高敬

Ⅲ-081 要対策土の盛土内利用検討に向けた降雨実験／土木研究所［正］稲垣 由紀子・加藤 俊二・佐々木 哲也

Ⅲ-082 砒素吸着鉄粉の反復使用時における汚染泥水浄化効果に関する検討／大成建設［正］太田 綾子・海野 円・根岸 昌範

Ⅲ-083 砒素吸着鉄粉のアルコルビン酸処理による再生試験／［正］海野 円・松村 綾子・根岸 昌範

Ⅲ-084 飽和二層地盤における放射性物質の移流特性に関する数値解析／国立明石工業高等専門学校［学］上山 遥路・稲積 真哉・福岡 将士

Ⅲ-085 光合成細菌を施与した土質の透水性・保水性と改善効果に関する基礎的検討／九州大学［学］加藤 省三・安福 規之・古川 全太郎

■地盤の応力と変形／10:40～12:00／橘 伸也（神戸大学）

Ⅲ-086 杭打機の荷重が作用する複合地盤の挙動観測とその評価について／伊藤組土建［正］滝澤 嘉史

Ⅲ-087 上総層群泥岩の圧密および三軸試験の再現解析／大林組［正］中道 洋平・杉江 茂彦

Ⅲ-088 FLAC3Dを用いた弾完全塑性解析による逆断層問題への適用性評価／電源開発［正］森 貴寛・久野 彰大・金子 賢治

Ⅲ-089 地盤構成のアスペクト比に着目した擁壁背後地盤の大変形挙動／早稲田大学［学］三浦 丈典・赤木 寛一・桐山 貴俊

Ⅲ-090 修正Cam-clayモデルを用いたPCLNG貯槽の基礎版変形量予測／大成建設［正］岡本 辰也・寺岡 匡伸・北郷 徳久

Ⅲ-091 旧北上川河口部における軟弱地盤上の堤防整備について／東北地方整備局［正］高田 浩穂・太田 史朗・古谷 充史

Ⅲ-092 繊維―粒子複合材料の応力・ひずみ関係のモデル化とその検証／防衛大学校［正］宮本 慎太郎・安福 規之・石藏 良平

Ⅲ-093 逆断層強制大変位による地盤の変形挙動に関する遠心載荷実験／八戸工業大学［正］橋詰 豊・金子 賢治・森 貴寛

■透水・浸透（1）／15:20～16:40／森井 俊広（新潟大学）

Ⅲ-094 セメントグラウト材による断層破砕帯の止水グラウトに関する解析的検討／清水建設［正］米山 一幸・登坂 博行

Ⅲ-095 繰返し透水実験による地盤材料の透水特性の変化に関する考察（その1:繰返し透水試験の結果）／［正］吉田 直人・秋場 俊一・石原 雅規

Ⅲ-096 繰返し透水実験による地盤材料の透水特性の変化に関する考察（その2:X線CTによる評価）／土木研究所［正］秋場 俊一・吉田 直人・石原 雅規

Ⅲ-097 孔間トレーサー試験における試験対象割れ目に交差する割れ目の影響／電力中央研究所［正］田中 靖治

Ⅲ-098 琉球石灰岩中の物質移行解析における階層的モデリングの適用性／大成建設［正］増岡 健太郎・山本 肇

Ⅲ-099 不飽和盛土内の宙水発生メカニズムに関する研究／京都大学［学］南野 佑貴・肥後 陽介・加藤 亮輔

Ⅲ-100 降雨浸透による河川堤防内の水分動態計測に関する考察／岡山大学［学］津國 遼太郎・竹下 祐二・金 秉洙

■透水・浸透（2）遮水・浸透制御／17:00～18:20／荒木 功平（山梨大学）

Ⅲ-101 盛土のり面におけるキャピラリーバリア構造の降雨浸透抑制に関する降雨実験／鉄道総合技術研究所［正］佐藤 武斗・木口 峰夫・森腰 慎一

Ⅲ-102 ベントナイトシートによる表面遮水壁型堤体における浸透量特性／フジタ［F］福島 伸二・小島 秋・北島 明

Ⅲ-103 数値シミュレーションによるキャピラリーバリア地盤の限界長の検討／飛島建設［正］松元 和伸・井上 光弘・森井 俊広

Ⅲ-104 先行降雨がキャピラリーバリアの遮水性に与える影響／京都大学［学］澤田 茉伊・三村 衛

Ⅲ-105 中空ねじり試験機によるせん断変形後の地盤材料の水平方向透水係数測定に関する研究／広島大学［学］高岡 慶人・土田 孝・片山 遥平

Ⅲ-106 覆土式遮水構造の設計に向けた砂層をベントナイト層で挟み込む三層構造試料における浸潤・膨潤特性の視覚的簡易評価／早稲田大学［学］尾崎 匠・小峯 秀雄・山本 修一

Ⅲ-107 ハイドレートモホロジによる浸透率低下特性変化の数値解析的検討／産業技術総合研究所［正］片桐 淳・今野 義浩・米田 純

Ⅲ-3（A棟A305教室）／9月8日（木）

■透水・浸透（3）地下水／9:00～10:20／李 圭太（建設技術研究所）

Ⅲ-108 京都府南山城地域における水源揚水井の長寿命化に関する研究／関西大学［学］中寺 美月・楠見 晴重・大西 有三

Ⅲ-109 熊本地下水長期トレンドの確認／大成ジオテック［正］福田 光治・林 豊・栗木 徳明

Ⅲ-110 河川堤体を対象とした透水性及び不飽和浸透特性の評価手法に関する一考察／パシフィックコンサルタンツ［正］舘川 逸郎・新村 卓也・藤吉 秀彰

Ⅲ-111 地中CO_2濃度測定による地下水位変動予測に関する基礎実験／北九州市立大学［正］山田 百合子・伊藤 洋・福田 大輔

Ⅲ-112 試験孔内での注水による現場飽和状態の測定方法に関する基礎的研究／大阪大学［学］喜多 浩志・小松 満

Ⅲ-113 群井配置の揚水注水一体型井戸に関する数値解析的検討／鹿島建設［F］笹倉 剛・中島 悠介

Ⅲ-114 盛土内部の含水状態計測に関する計測方法の検討／鉄道総合技術研究所［正］島田 貴文・中島 進・佐藤 武斗

■透水・浸透（4）／10:40～12:00／笹倉 剛（鹿島建設）

Ⅲ-115 動水勾配と漏水の流速に着目した透水性基盤構造の堤防のパイピング破壊への影響／名古屋工業大学［学］櫛山 総平・前田 健一・齊藤 啓

Ⅲ-116 平成27年9月関東・東北豪雨で破堤した渋井川堤防土の三軸試験／名城大学［学］高木 竜二・小高 猛司・崔 瑛

Ⅲ-117 砂質堤体土からの洪水浸透時の細粒分流出を想定した三軸試験／名城大学［学］御手洗 翔太・李 圭太・小高 猛司

Ⅲ-118 高透水性基礎地盤を有する河川堤防の浸透破壊に関する模型実験／名城大学［学］林 愛実・小高 猛司・崔 瑛

Ⅲ-119 全断面堤体模型を用いた高透水性基礎地盤を有する河川堤防の浸透破壊に関する検討／名城大学［学］森 三史郎・小高 猛司・崔 瑛

Ⅲ-120 高透水性基盤上に難透水性堤体を有する河川堤防の浸透破壊メカニズムの検討／名城大学［学］尤 源・林 愛実・森 三史郎

Ⅲ-121 粒度分布の異なる砂試料を用いた下水管損傷部周辺の内部浸食試験／京都大学［学］宇都宮 悠・木元 小百合・赤木 俊文

Ⅲ-3（A棟A305教室）／9月9日（金）

■補強土（1）／9:00～10:20／安福 規之（九州大学）

Ⅲ-122 北海道新幹線に用いた補強盛土一体橋梁（GRS一体橋梁）その1:計画・設計・施工／鉄道・運輸機構［正］阪田 暁・山崎 貴之・高野 裕輔

Ⅲ-123 北海道新幹線に用いた補強盛土一体橋梁（GRS一体橋梁）その2:長期動態計測／鉄道・運輸機構［正］高野 裕輔・山崎 貴之・阪田 暁

Ⅲ-124 北海道新幹線に適用した補強盛土一体橋梁（GRS一体橋梁）その3 新幹線走行時の動態計測／鉄道建設・運輸施設整備支援機構［正］山崎 貴之・高野 裕輔・阪田 暁

Ⅲ-125 排水性能を有する羽根付き補強材の現地引抜き試験に関する一考察／JR西日本［正］烏野 悟・西田 幹嗣・高馬 太一

Ⅲ-126 軟弱地盤地域における変位制限の厳しい鉄道土構造物の計画／東日本旅客鉄道［正］石田 卓也・鈴木 辰彦・小林 寿子

Ⅲ-127　経年を有するテールアルメ擁壁の試掘調査とL2地震動に対する耐震性評価事例／鉄道総合技術研究所［正］松丸 貴樹・渡辺 健治
Ⅲ-128　国内最大規模の補強土(テールアルメ)壁を用いた擁壁工の検討事例／大林組［正］柳瀬 大輔・古田 卓也・室井 忠之

■補強土(2)／10:40～12:00／峯岸 邦夫(日本大学)
Ⅲ-129　地下水位が高い状態にあるアンカー式補強土壁の地震時挙動について／豊田工業高等専門学校［学］佐藤 寛樹・小林 睦・三浦 均也
Ⅲ-130　両面アンカー式補強土壁の地震時挙動に関する遠心力場加振実験／豊田工業高等専門学校［学］鈴木 恒太・小林 睦・三浦 均也
Ⅲ-131　帯鋼補強土壁における壁面剛性が主働領域に与える影響に関する動的遠心模型実験／京都大学［学］柴田 尚紀・澤村 康生・木村 亮
Ⅲ-132　ジオセル補強土擁壁の耐震特性に関する振動台実験／福井大学［正］伊藤 雅基・小嶋 啓介・久保 哲也
Ⅲ-133　廃棄物地盤における地震時の動的挙動に関する実験的検討／長崎大学［学］田中 栄一・大嶺 聖・杉本 知史
Ⅲ-134　ジオグリッドの面内せん断試験と補強土壁水平載荷試験結果の再現計算／農研機構農村工学研究部門［正］川邉 翔平
Ⅲ-135　モルタルを注入したジャケットの曲げ特性に関する実験的検討／鹿島建設［正］田中 恵祐・中島 悠介・小原 隆志

■補強土(3)／15:20～16:40／松田 達也(豊橋技術科学大学)
Ⅲ-136　高機能フィルターを活かしたサイフォン原理による高含水比粘土の圧密排水効果／九州大学［正］石藏 良平・安福 規之・宗田 昇大
Ⅲ-137　粘性土盛土におけるサンドイッチ工法への水砕スラグの適用に関する実験的検証／長崎大学［学］内田 周治・蒋 宇静・大嶺 聖
Ⅲ-138　定水位透水試験に基づく浸透能に対するジオグリッド影響の把握／東京理科大学［学］藤井 陽大・倉上 由貴・二瓶 泰雄
Ⅲ-139　大型模型実験による現行河川堤防及びGRS河川堤防の耐越水侵食性の検討／東京理科大学［学］倉上 由貴・二瓶 泰雄・森田 麻友
Ⅲ-140　振動と変位に着目した洗掘模型実験／鉄道総合技術研究所［正］欅 健典・宮下 優也・渡邉 諭
Ⅲ-141　透水性舗装に用いる多層構造ジオシンセティックスの材料特性に及ぼす目付量の影響／日本大学［正］山中 光一・峯岸 邦夫・小野寺 貴史

Ⅲ-4（A棟A306教室）／9月7日(水)

■試験法・調査法(1)／9:00～10:20／中澤 博志(防災科学技術研究所)
Ⅲ-142　貫入土壌硬度計測によるのり面保護工背面地盤の簡易調査手法の検討(その3:吹付のり面における調査結果)／土木研究所［正］小栗 ひとみ・加藤 俊二・川添 英生
Ⅲ-143　貫入土壌硬度計測によるのり面保護工背面地盤の簡易調査手法の検討(その4:背面地盤の健全性評価及び吹付のり面の評価)／土木研究所［正］川添 英生・加藤 俊二・小栗 ひとみ
Ⅲ-144　小型動的コーン貫入試験における打撃効率の把握／東京都市大学［学］鈴木 直人・田中 和穂・伊藤 和也
Ⅲ-145　小型・軽量化を目指した簡易地盤調査技術の開発について／東京電力ホールディングス［正］滝野 晶平・河村 直明・山内 優
Ⅲ-146　浦安市高洲・舞浜における地盤調査(その1:調査概要とボーリング結果)／基礎地盤コンサルタンツ［正］久保田 耕司・大島 昭彦・張 林松
Ⅲ-147　浦安市高洲・舞浜における地盤調査(その2:大型動的コーン貫入試験)／大阪市立大学［学］京矢 侑樹・大島 昭彦・平田 茂良
Ⅲ-148　浦安市高洲・舞浜における地盤調査(その3:中型動的コーン貫入試験)／地盤調査システム［正］佐藤 将・大島 昭彦・深井 公
Ⅲ-149　浦安市高洲・舞浜における地盤調査(その4:スウェーデン式サウンディング試験)／大阪市立大学［学］張 林松・大島 昭彦・下平 祐司

■試験法・調査法(2)／10:40～12:00／末次 大輔(佐賀大学)
Ⅲ-150　地盤材料試験の技能試験結果の評価方法についての検討／関西地盤環境研究センター［正］澤 孝平・中山 義久・城野 克広
Ⅲ-151　高知高専型一面せん断試験機による低応力域での定体積試験に関する研究／高知工業高等専門学校［正］岡林 宏二郎・山崎 元貴・常石 晶
Ⅲ-152　室内試験による簡易な地盤熱伝導率調査法の検討／東京都市大学［学］石垣 拓也・末政 直晃・石田 直子
Ⅲ-153　屈折率整合可視化実験による粒状体の三軸圧縮試験の変位場計測／防衛大学校［学］山本 圭祐・宮田 喜壽・野々山 栄人
Ⅲ-154　木曽川下流域の沖積粘土の力学特性(その2)／中部土質試験協同組合［正］久保 裕一・小高 猛司・崔 瑛
Ⅲ-155　薄層支持となる橋梁杭基礎下の洪積粘土層の圧密特性について／ドーユー大地［正］松方 健治・土田 孝
Ⅲ-156　遠心模型実験に用いる間隙流体が中間土の特性に与える影響について／大成建設［正］忠野 祐介・宇野 浩樹・立石 章
Ⅲ-157　低相対密度の下層を有する層状模型地盤作製方法／農業・食品産業技術総合研究機構［正］田頭 秀和・黒田 清一郎・林田 洋一

■試験法・調査法(3)／15:20～16:40／内村 太郎(東京大学)
Ⅲ-158　廃棄物埋立地における表面波探査および常時微動測定による廃棄物層厚推定手法の検討／香川大学［正］山中 稔・武本 章寛・小城 祐樹
Ⅲ-159　地盤内空洞等を対象としたリングビームスキャナーの開発／前田建設工業［正］平田 昌史・矢嶋 貴大・清水 英樹
Ⅲ-160　地中レーダを用いた坑道近傍の水みちとなる岩盤内割れ目の評価／鹿島建設［正］栗原 啓丞・升元 一彦・竹内 竜史
Ⅲ-161　地上からの複数の物理探査手法による石灰岩ブロックの分布状況の推定／鹿島建設［正］松下 智昭・升元 一彦・長田 昌彦
Ⅲ-162　MRIによる不飽和土の浸透に伴う水分分布の把握に関する新たな試み／山梨大学［学］藤森 弘晃・荒木 功平・舛谷 敬一
Ⅲ-163　FDR-V法によるベントナイト混合土の水分・密度測定に関する検討／岡山大学［正］小松 満・千々松 正和

■数値解析／17:00～18:20／竹山 智英(神戸大学)
Ⅲ-164　計算格子を利用した領域積分数値計算法の地盤大変形問題への適用／清水建設［正］桐山 貴俊・肥後 陽介
Ⅲ-165　MPMによる一次元有限変形圧密問題の数値解析／京都大学［学］竹内 智昭・肥後 陽介・桐山 貴俊
Ⅲ-166　緩衝材がある擁壁裏込めの2D・3D解析による土圧低減効／竹中工務店［正］金田 一広・山崎 浩之
Ⅲ-167　緩衝材がある擁壁裏込めの動的土圧低減効果に関する数値解析／港湾空港技術研究所［正］山崎 浩之・金田 一広
Ⅲ-168　注水孔・揚水孔の簡易モデルにおける点源周り要素分割数の影響評価による適用性検証／清水建設［正］山田 俊子・櫻井 英行・鈴木 誠
Ⅲ-169　開削工法による鉄道駅部での地下水流動阻害に関する二次元モデルの適用性に対する検討／鉄道総合技術研究所［正］長尾 洋太・小島 謙一・島田 貴文
Ⅲ-170　岩盤の亀裂分布の画像処理解析法／鹿島建設［正］戸邉 勇人・宮嶋 保幸・白鷺 卓
Ⅲ-171　DEMシミュレーションを用いた一面せん断試験での隙間幅の基準の検討／岡山大学［正］金 秉洙・加藤 正司・竹下 祐二

Ⅲ-4（A棟A306教室）／9月8日(木)

■フィルダム／9:00～10:20／向後 雄二(東京農工大学)
Ⅲ-172　フィルダム堤体材料を用いた繰返し荷重による強度低下に関する試験および解析／土木研究所［正］藤川 祥・藤田 将司・榎村 康史
Ⅲ-173　円弧すべり解析による東北地方太平洋沖地震による藤沼アースフィルダムの沈下量評価／芝浦工業大学［正］岡本 敏郎・小嶋 孝輔
Ⅲ-174　堤体内に底樋をもつフィルダムの固化改良土を用いた耐震補強事例／フジタ［正］北島 明・福島 伸二・谷 茂
Ⅲ-175　基礎地盤の液状化に伴うアースダム被害軽減対策に関する数値実験／農研機構 農村工学研究部門［正］林田 洋一・増川 晋・田頭 秀和
Ⅲ-176　藤沼ダム建設工事におけるコア材・ランダム材の飽和度管理(その1)～工事概要と材料特性など～／安藤ハザマ［正］三反畑 勇・永井 裕之・山岸 明広
Ⅲ-177　藤沼ダム建設工事におけるコア材・ランダム材の飽和度管理(その2)／安藤ハザマ［正］永井 裕之・三反畑 勇・山岸 明広

■土留め／10:40～12:00／三反畑 勇（安藤・間）

Ⅲ-178 柱列状改良体を連結した橋台耐震補強工法に関する振動台実験／［正］水野 弘二・池本 宏文・細井 学

Ⅲ-179 柱状改良体を連結した橋台耐震補強工法に関する傾斜実験／東日本旅客鉄道［正］細井 学・池本 宏文・高崎 秀明

Ⅲ-180 柱列状改良体を連結した橋台耐震補強工法に関する解析的検討／東日本旅客鉄道［正］池本 宏文・高崎 秀明・藤原 寅士良

Ⅲ-181 補強杭と連結した土留め壁の耐震補強効果に関する一考察／東日本旅客鉄道［正］鈴木 健一・池本 宏文・高崎 秀明

Ⅲ-182 斜め控え壁を用いた鋼矢板斜め土留めの適用事例と設計定数の逆解析検証／［正］大城 一徳・照井 太一・大川 祥功

Ⅲ-183 弾塑性法による鋼管擁壁の変形挙動の評価／［正］藤原 覚太・石濱 吉郎・竹村 次朗

Ⅲ-184 補強土擁壁の盛土材として用いた徐冷フェロニッケルスラグの有効性／八戸工業大学［学］盛 健太郎・橋詰 豊・金子 賢治

Ⅲ-185 連続箱型鋼製枠の一体性検証実験／太陽工業［正］川岸 靖・山本 浩二・石田 正利

Ⅲ-4（A棟A306教室）／9月9日(金)

■廃棄物(1) ／9:00～10:20／藤川 拓朗（福岡大学）

Ⅲ-186 無機改質材を用いた除去土壌の改質 その1―改質効果と草木選別―／鹿島建設［正］田中 真弓・関 弘・杉浦 栄亮

Ⅲ-187 無機系改質材を用いた除去土壌の改質 その2―土壌の性状と改質効果の関係／鹿島建設［正］大橋 麻衣子・田中 真弓・小澤 一喜

Ⅲ-188 無機改質材を用いた除去土壌の改質 その3―盛土材料としての性能評価―／鹿島建設［正］小澤 一喜・大橋 麻衣子・田中 真弓

Ⅲ-189 無機系廃棄物を原料としたシリカ系固化材の硬化メカニズムおよび強度特性／国立明石工業高等専門学校［学］中瀬 悠也・稲積 真哉・山崎 淳一

Ⅲ-190 重金属等を含む焼却主灰造粒固化物の長期溶出挙動評価／鹿島建設［正］佐藤 毅・河合 達司・川端 淳一

Ⅲ-191 海面処分場の底面遮水層に必要な強度と圧密係数に関する考察／広島大学［学］遠藤 秀祐・土田 孝・高橋 源貴

■廃棄物(2) ／10:40～12:00／土田 孝（広島大学）

Ⅲ-192 放射線遮蔽性能を有する超重泥水の線量低減効果の定量的評価および遮蔽設計に向けた試み／早稲田大学［学］吉川 絵麻・小峯 秀雄・後藤 茂

Ⅲ-193 マグネシウム系固化材により固化・不溶化した焼却主灰の土工材料に向けた検討／福岡大学［学］平川 裕也・佐藤 研一・藤川 拓朗

Ⅲ-194 各種暴露及び乾湿繰返し試験を用いたスラリー型石炭灰混合材料の耐久性評価／福岡大学［学］豊永 麻依・佐藤 研一・藤川 拓朗

Ⅲ-195 熱力学的平衡計算を利用した焼却灰の一軸圧縮強さに及ぼす鉱物の影響評価／立命館大学［学］筒井 祐貴・石森 洋行・建山 和由

Ⅲ-196 重金属吸着マットを用いた吸着層工法の開発―実証試験結果と設計方法の指針―／JFEミネラル［正］石神 大輔・高橋 大樹・五十嵐 敏文

Ⅲ-197 地上観測衛星による津波堆積物の量と質の把握／東北工業大学［F］今西 肇・後藤 瑠尉

■リサイクル／15:20～16:40／今西 肇（東北工業大学）

Ⅲ-198 エージング処理を施した一般廃棄物焼却灰の路盤材としての適用性評価／福岡大学［正］藤川 拓朗・平川 裕也・佐藤 研一

Ⅲ-199 ガス圧定量法を用いた炭酸カルシウム含有率試験方法に関する一考察／大分工業高等専門学校［学］麻生 更紗・佐野 博昭・山田 幹雄

Ⅲ-200 転炉スラグ混合粘性土の力学特性に及ぼす混入率の影響／日本大学［学］小高 秀登・峯岸 邦夫・山中 光一

Ⅲ-201 相対密度の違いによるフェロニッケルスラグの材料特性及び破砕性／福岡大学［学］福味 尊・佐藤 研一・藤川 拓朗

Ⅲ-202 高圧脱水固化して作製した浚渫土砂ブロックの有害物質溶出特性／九州大学［学］堂本 佳世・笠間 清伸・平澤 充成

Ⅲ-203 含水比および土のう枚数をパラメータとした土のうのCBR値の検討／京都大学［学］大東 優馬・福林 良典・木村 亮

Ⅲ-204 建設発生土リサイクルにおける泥炭の有効利用に関する検討／北海道科学技術総合振興センター［正］荒牧 憲隆・金子 勝比古

Ⅲ-5（A棟A307教室）／9月7日(水)

■不飽和土／10:40～12:00／海野 寿康（宇都宮大学）

Ⅲ-205 不飽和砂質土の非排気―非排水せん断時の力学特性および水分特性に関する研究／京都大学［学］石川 椋・木元 小百合・赤木 俊文

Ⅲ-206 サクションの効果を考慮したSYS Cam-clay modelによる不飽和シルト三軸試験の数値シミュレーション／名古屋大学［正］吉川 高広・野田 利弘・小高 猛司

Ⅲ-207 不飽和砂質土の非排気―非排水せん断時の力学特性および水分特性のモデル化／京都大学［正］木元 小百合・石川 椋・赤木 俊文

Ⅲ-208 不飽和砂のひずみの局所化領域における間隙水分布と軸差応力変化の関係／京都大学［学］木戸 隆之祐・肥後 陽介

Ⅲ-209 X線CTスキャンを利用した地盤材料の内部浸食に伴う強度特性の評価／北見工業大学［学］三鍋 佑季・川尻 峻三・川口 貴之

Ⅲ-210 乾燥過程におけるスラリー粘性土の収縮特性(その1)／信州大学［正］梅崎 健夫・河村 隆・瀬谷 曜

■土質安定処理・地盤改良(1)／15:20～16:40／竹内 秀克（不動テトラ）

Ⅲ-211 PBDを用いた圧密促進工法における排水材内水圧の測定例／日建設計シビル［正］片桐 雅明・中道 正人・山口 誠

Ⅲ-212 拘束圧下での模擬不撹乱粘性土のかく乱・減容化効果の実験的検証―かく乱の程度の影響―／東亜建設工業［正］田中 洋輔・御手洗 義夫・木内 大介

Ⅲ-213 ベントナイトと砂分を添加した海成粘土の透水係数と圧密係数の予測式／広島大学［学］高橋 源貴・土田 孝・遠藤 秀祐

Ⅲ-214 軟弱地盤上に建設する高速道路盛土の問題とその対策の概要／東日本高速道路［正］小宮 奈保子・澤野 幸輝・松崎 孝汰

Ⅲ-215 軟弱地盤上に建設した試験盛土の長期挙動について／ネクスコ・エンジニアリング東北［正］松崎 孝汰・澤野 幸輝・小宮 奈保子

Ⅲ-216 地下水位変動に伴う軟弱粘土の圧密遅延トラブルと対策（現象の概要および対策編）／鴻池組［正］國富 和眞・久松 伸一・森本 達司

Ⅲ-217 地下水位変動に伴う軟弱粘土の圧密遅延トラブルと対策(解析編）／鴻池組［正］久松 伸一・國富 和眞・森本 達司

Ⅲ-218 砕石の床掘置換材の性能確認および評価手法に関する研究／九州工業大学［学］鬼塚 充明

■土質安定処理・地盤改良(2)／17:00～18:20／平野 孝行（西松建設）

Ⅲ-219 液状化に伴う残留変形評価法による締固め改良効果の評価事例／不動テトラ［正］原田 健二・安田 進・イシカワ 敬祐

Ⅲ-220 脈状改良による液状化対策効果の持続性に関する検討／鉄道総合技術研究所［正］荒木 豪・井澤 淳・藤原 寅士良

Ⅲ-221 隆起抑制効果が向上したCPG工法―等価改良率を用いた改良効果の評価―／三信建設工業［正］竹之内 寛至・佐々 真志・山崎 浩之

Ⅲ-222 改良効果が向上したCPG工法―締固め量、相対密度、K値について―／アートンシビルテクノ［正］高橋 但・佐々 真志・山崎 浩之

Ⅲ-223 液状化対策効果が向上したCPG工法―K値の挙動と液状化強度―／東興ジオテック［正］岡見 強・佐々 真志・山崎 浩之

Ⅲ-224 気泡混入水による砂質土供試体の液状化強度特性／防災科学技術研究所［正］中澤 博志・前田 幸男・濱本 昌一郎

Ⅲ-225 矢板式岸壁に対する空気注入不飽和化工法の適用／ニュージェック［正］曽根 照人・小泉 勝彦・山根 信幸

Ⅲ-226 不飽和化による液状化地盤対策工法の基礎実験／東日本旅客鉄道［正］山根 華織・吉田 直人・藤原 寅士良

Ⅲ-5（A棟A307教室）／9月8日(木)

■土質安定処理・地盤改良(3) ／9:00～10:20／田中 洋輔（東亜建設工業）

Ⅲ-227 短繊維混合補強土の締固め度と強度特性(その3)／西松建設［正］平野 孝行・吉田 直人・土橋 聖賢

Ⅲ-228 短繊維混合補強土のインデックス値と強度特性／フジタ［F］阪本 廣行・吉田 直人・土橋 聖賢

Ⅲ-229 短繊維混合補強土に用いる繊維太さの影響(その1)／伊藤忠建機［正］藤井 二三夫・吉田 直人・土橋 聖賢

Ⅲ-230 短繊維混合補強土に用いる繊維太さの影響(その2)／三井化学産資［正］西村 淳・吉田 直人・土橋 聖賢

Ⅲ-231 短繊維混合固化処理土の強度定数に関する一考察／金沢大

学［学］山栗 祐樹・重松 宏明・多田 駿太郎
Ⅲ-232　製鋼スラグ混合土とセメント固化処理土に対する短繊維補強効果の比較〜一軸圧縮試験結果〜／五洋建設［正］堤 彩人・田中 裕一・山田 耕一
Ⅲ-233　気仙沼市震災復興事業の工事施工等に関する一体的業務―建設汚泥の繊維質系泥土改良材による再資源化―／清水建設［正］齋藤 諒平・関根 雅宏・野崎 俊介
Ⅲ-234　火山灰を材料とする気泡混合固化土の長期強度について／土木研究所寒地土木研究所［正］佐藤 厚子・林 憲裕

■土質安定処理・地盤改良(4)　／10:40〜12:00／熊谷 隆宏(五洋建設)
Ⅲ-235　薬液注入材の体積変化に伴う拘束効果に関する検討／東京都市大学［学］石川 喜章・末政 直晃・佐々木 隆光
Ⅲ-236　三次元注入試験による薄い介在砂層に対する地盤注入管の技術検証／鹿島建設［正］田中 俊行・山本 拓治・須田 久美子
Ⅲ-237　浸透法で作製した薬液改良土供試体の密度・充填率について／大成建設［正］松井 秀岳・下村 雅則
Ⅲ-238　屈折率整合技術を用いた溶液型薬液の模型注入実験／五洋建設［正］吉岡 保弘・林 健太郎・高野 大樹
Ⅲ-239　過剰間隙水圧が残留する薬液注入改良地盤のせん断強度／五洋建設［正］秋本 哲平・林 健太郎・ラスーリ ローズベイ
Ⅲ-240　微粒子の浸透特性に関する注入実験／東京都市大学［学］上村 健太郎・末政 直晃・佐々木 隆光
Ⅲ-241　薬液改良土のシリカ含有量測定方法の開発と応用／強化土エンジニヤリング［正］佐々木 隆光・宮部 慎介・末政 直晃
Ⅲ-242　加熱養生による薬液改良体の強度予測法の検証／東京都市大学［学］滝浦 駿介・末政 直晃・佐々木 隆光

Ⅲ-5（A棟A307教室）／9月9日(金)

■土質安定処理・地盤改良(5)　／9:00〜10:20／橋本 聖(土木研究所)
Ⅲ-243　セメント固化改良における海水成分の有効活用に関する一考察／大林組［正］西村 俊亮・谷口 勝基・三浦 俊彦
Ⅲ-244　海水曝露環境に置かれた強度の異なる固化処理土の劣化特性／五洋建設［正］柳橋 寛一・新舎 博・堤 彩人
Ⅲ-245　土粒子径と表面粗さに着目した粘土と地盤改良体の界面強度の評価／九州大学［学］有間 航・石藏 良平・安福 規之
Ⅲ-246　周辺土の含水比がセメント系固化材による改良体へ与える影響(その1)強度特性／セメント協会［正］野田 潤一・半井 健一郎・清田 正人
Ⅲ-247　周辺土の含水比がセメント系固化材による改良体へ与える影響(その2)含水比およびpH／セメント協会［正］泉尾 英文・半井 健一郎・上村 豊
Ⅲ-248　促進養生を用いたソイルセメントの強度特性に関する研究実現場における促進養生強度からの材齢28日強度の推定／ケミカルグラウト［正］山野辺 純一・遠藤 宗仁・小宮 一仁
Ⅲ-249　促進養生を用いたソイルセメントの強度特性に関する研究室内実験による模擬土壌の促進強度特性／千葉工業大学［正］遠藤 宗仁・山野辺 純一・小宮 一仁
Ⅲ-250　浚渫土を原料土として作製した固化破砕粒子のせん断強度特性／五洋建設［正］安藤 有司・新舎 博・堤 彩人

■土質安定処理・地盤改良(6)　／10:40〜12:00／前田 健一(名古屋工業大学)
Ⅲ-251　高圧噴射攪拌工法における多扇形改良の実用化／三信建設工業［正］新坂 孝志・中西 康晴
Ⅲ-252　小型機械を用いた地盤改良工の砂礫地盤に対する施工実験／WILL工法協会［正］市坪 天士・島野 嵐・中馬 忠司
Ⅲ-253　仙台空港B滑走路における地盤改良工事の施工管理について／不動テトラ［正］安藤 滋郎・高橋 仁志・佐藤 匡
Ⅲ-254　高強度型高圧噴射攪拌工法の実証試験結果／東興ジオテック［正］大野 喜代孝・岡見 強・藤田 康彦
Ⅲ-255　懸濁型薬液注入工法の室内浸透試験／八戸工業大学［学］有川 正・橋詰 豊・金子 賢治
Ⅲ-256　気泡ソイルセメント安定液の電気伝導率を用いた性状管理手法について／早稲田大学［学］若松 大幹・赤木 寛一・安井 利彰
Ⅲ-257　複合地盤の応力分担特性に着目した非着底改良地盤の圧密沈下挙動に関する考察／九州大学［学］甲斐田 葉丞・石藏 良平・安福 規之
Ⅲ-258　砕石マット併用低改良率地盤改良の効果について／土木研究所 寒地土木研究所［正］橋本 聖・林 憲裕・林 宏親

■土質安定処理・地盤改良(7)　／15:20〜16:40／新坂 孝志(三信建設工業)
Ⅲ-259　堆積軟岩盛土の長期安定性確保のための対策技術の検討(その1)―室内試験結果―／川崎地質［正］橋本 保・菅野 孝美・高橋 幸久
Ⅲ-260　堆積軟岩盛土の長期安定性確保のための対策技術の検討(その2)―試験盛土―／大成建設［正］藤原 斉郁・青木 智幸・根岸 昌範
Ⅲ-261　再生石膏固化材の硬化特性と固化土の現場強度／香川高等専門学校［正］小竹 望・塩入 潤一郎・佐野 博昭
Ⅲ-262　転炉スラグの地盤改良材としての有効性／名古屋工業大学［正］森河 由紀弘・吉田 亮・吉澤 千秋
Ⅲ-263　撥水材を用いた安定処理土の強度特性に影響を及ぼす諸要因／鹿島建設［正］三上 大道・岡本 道孝・照井 秀幸
Ⅲ-264　赤土の固化乾燥処理による粒度改良と処理土の締固め特性／九州産業大学［正］松尾 雄治・林 泰弘・藤 龍一
Ⅲ-265　港湾床掘工事にて発生したスレーキング性泥岩の仮置き盛土施工事例／東亜建設工業［正］木内 大介・一場 武洋・鈴木 大介
Ⅲ-266　建設発生土等の長期的な品質管理向上技術に関する研究について／土木研究所［正］森 芳徳・井上 玄己・宮武 裕昭

Ⅲ-6（A棟A401教室）／9月7日(水)

■地盤の動的挙動(1)　／10:40〜12:00／福武 毅芳(清水建設)
Ⅲ-267　諏訪湖南東部における常時微動H／Vスペクトル比の特徴／ニュージェック［正］鈴木 達也・平井 俊之・堤 杏紗
Ⅲ-268　浦安市沖積粘土層の物理・化学性質の経時変化と鋭敏性の原因検討／大阪市立大学［正］大島 昭彦・久保田 耕司・笹尾 憲一
Ⅲ-269　大阪・神戸地域のVs推定式と揺れやすさマップの検証／大阪市立大学［学］中村 優孝・大島 昭彦・平井 俊之
Ⅲ-270　浦安市における常時微動H／Vスペクトル比と表層地盤特性との関係／ニュージェック［正］平井 俊之・中垣 規子・堤 杏紗
Ⅲ-271　不整形基盤から生成されるRayleigh波の水〜土骨格連成有限変形解析による再現／抽出／名古屋大学［正］中井 健太郎・野田 利弘・浅岡 顕

■地盤の動的挙動(2)　／15:20〜16:40／野田 利弘(名古屋大学)
Ⅲ-272　桟橋の簡易耐震性能照査法に関する基礎的研究―地盤剛性／パシフィックコンサルタンツ［正］寺島 彰人・長尾 毅・大澤 史崇
Ⅲ-273　動的遠心力模型実験装置の開発並びに盛土の液状化実験に関する研究／復建調査設計［正］橋田 賢治・岡林 宏二郎・伊藤 輝
Ⅲ-274　遠心力場における地震・津波連動実験法の開発と防波堤基礎への適用／東洋建設［正］角田 紘子・宮本 順司・鶴ヶ崎 和博
Ⅲ-275　砕石とジオシンセティックスを用いた道路盛土の液状化時変形抑制に関する振動台実験／福井工業高等専門学校［学］橋本 涼・吉田 雅穂・橋本 芹菜
Ⅲ-276　複数回液状化試験結果における消散エネルギーを用いた分析方法の検討／東京大学［学］青柳 悠大・古関 潤一
Ⅲ-277　アダパザルの中層建物の液状化による沈下量の再現解析／東京電機大学［F］安田 進・石川 敬祐・小泉 卓也
Ⅲ-278　福島県いわき市平周辺の地震による地盤沈下と地盤堆積構造の関係／日本大学［学］斎藤 健太・高木 将人・林 久資

■地盤の動的挙動(3)　／17:00〜18:20／仙頭 紀明(日本大学)
Ⅲ-279　鉱さい堆積場における累積損傷度理論を用いた液状化評価／大成建設［正］広重 敬嗣・立石 章・千野 和彦
Ⅲ-280　液状化した地盤の揺動による道路の突き上げ被害に対する解析の試み／東京電機大学［学］浦野 倫宏・安田 進・石川 敬祐
Ⅲ-281　液状化に伴う地盤揺動に対する地震応答解析の有効性の検証／東京電機大学［正］石川 敬祐・安田 進
Ⅲ-282　本震による不飽和土層の飽和化に起因した余震時の液状化被害拡大に関する解析的考察／名古屋大学［F］野田 利弘・吉川 高広
Ⅲ-283　道路盛土の地震時残留変位量簡易推定法の適用について／西日本高速道路エンジニアリング関西［正］三好 忠和・常田 賢一
Ⅲ-284　変形特性試験法の違いが表層地盤の地震時挙動評価に与える影響に関する基礎的検討／鉄道総合技術研究所［正］井澤 淳・室野 剛隆

Ⅲ-6（A棟A401教室）／9月8日(木)

■地盤の動的挙動(4) ／9:00～10:20／木元 小百合(京都大学)

Ⅲ-285 N値ゼロの軟弱層を有する地盤上の岸壁構造物の耐震性に対する2次元・3次元照査比較／GEOASIA研究会［正］高稲 敏浩・野田 利弘・伊勢 典央

Ⅲ-286 有効応力解析法を用いた鋼矢板締切工法による幅広盛土の液状化対策の検討／東日本旅客鉄道［正］小林 武史・古関 潤一・松丸 貴樹

Ⅲ-287 液状化に伴う残留変形評価法による中規模構造物の評価事例／東京電機大学［学］永井 慎太郎・安田 進・石川 敬祐

Ⅲ-288 3次元静的残留変形解析における液状化層のせん断剛性の補正に関する一検討／大成建設［正］小林 真貴子・忠野 祐介・宇野 浩樹

Ⅲ-289 地層構成が異なる地盤上に建設された防波堤の耐震性評価／名古屋大学［正］酒井 崇之・野田 利弘・中井 健太郎

Ⅲ-290 基盤排水層設置を想定した盛土の耐震性の数値解析的検討／中日本高速道路［正］稲垣 太浩・中野 正樹・酒井 崇之

Ⅲ-291 拡張された繰返し弾塑性モデルによる地中構造物の浮上がり実験のシミュレーション／大成建設［正］宇野 浩樹・立石 章

■地盤の動的挙動(5) ／10:40～12:00／石川 敬祐(東京電機大学)

Ⅲ-292 地震動に着目した格子状改良の液状化抑止効果に対する解析的検証／エーバイシー［正］宮崎 航・本多 顕治郎・植松 祐亮

Ⅲ-293 格子状地盤改良工法に対する疑似3次元解析手法の検討／竹中土木［正］今井 政之・金田 一広・菅野 高弘

Ⅲ-294 材料摩擦性および地盤改良形式が液状化対策効果に及ぼす影響／名古屋工業大学［学］田中 雄也・森河 由紀弘・前田 健一

Ⅲ-295 格子状改良・排水工法による液状化対策効果についての解析的検討(その4) ―3次元有効応力解析を用いた格子壁間隔による効果の検討―／西松建設［正］土屋 光弘・蔡 飛・芦澤 拓八

Ⅲ-296 格子状改良・排水工法の液状化対策効果に関する試計算(その1) ―実地盤モデルのケーススタディと2次元有効応力解析―／西松建設［正］小宮 隆之・土屋 光弘・蔡 飛

Ⅲ-297 格子状改良・排水工法の液状化対策効果に関する試計算(その2) ―3次元有効応力解析を用いた実地盤モデルのケーススタディ―／群馬大学［正］蔡 飛・芦澤 拓八・土屋 光弘

Ⅲ-298 格子状改良・排水工法の液状化対策効果に関する試計算(その3) ―2次元および3次元有効応力解析の比較検討―／西松建設［F］佐藤 靖彦・蔡 飛・土屋 光弘

Ⅲ-6（A棟A401教室）／9月9日(金)

■土の動的性質／9:00～10:20／橋本 隆雄(千代田コンサルタント)

Ⅲ-299 富山県射水市由来の微生物を用いた地盤改良技術に関する研究／富山県立大学［学］伊藤 留寿都・畠 俊郎

Ⅲ-300 粒度特性が異なる砂質土を対象とした浸透固化改良土の液状化強度特性／日本大学［学］斎藤 源輝・秋本 哲平・林 健太郎

Ⅲ-301 粘性土の繰返しせん断時の剛性低下および間隙水圧上昇が生じるひずみレベル／前田建設工業［正］三上 武子・一井 康二

Ⅲ-302 過圧密された浦安砂の液状化強度特性と地下水位変動による過圧密の影響／東京電機大学［学］武田 陽・安田 進・石川 敬祐

Ⅲ-303 相対密度の異なる飯豊珪砂の中空ねじりせん断試験による液状化強度特性／不動テトラ［正］高山 英作・古関 潤一

Ⅲ-304 2種の砂を用いた東日本大震災K-NET原町波による液状化試験／東京電機大学［学］佐藤 剛・安田 進・石川 敬祐

Ⅲ-305 浦安市高洲・舞浜における沖積粘土層の土質特性／大阪市立大学［学］小坂 慎一・大島 昭彦・張 林松

■凍結・凍土(1) ／10:40～12:00／小峯 秀雄(早稲田大学)

Ⅲ-306 凍土方式遮水壁大規模整備実証事業の概要―凍土方式遮水壁大規模整備実証事業(その1) ―／鹿島建設［正］佐々木 敏幸・江崎 太一・佐原 史浩

Ⅲ-307 凍土方式遮水壁 閉合手順の検討―凍土方式遮水壁大規模整備実証事業(その2) ―／鹿島建設［正］江崎 太一・田部井 和人・宇津野 衛

Ⅲ-308 地盤の熱的性質について―凍土方式遮水壁大規模整備実証事業(その3) ―／鹿島建設［正］照井 秀幸・吉田 輝・佐藤 一成

Ⅲ-309 地下水流を考慮した凍結管配置・閉合方法に関する検討―凍土方式遮水壁大規模整備実証事業(その4) ―／鹿島建設［正］田部井 和人・並川 正・佐々木 敏幸

Ⅲ-310 三次元熱水連成解析による凍土方式遮水壁の造成シミュレーション―凍土方式遮水壁大規模整備実証事業(その5) ―／［正］宇津野 衛・並川 正・田部井 和人

Ⅲ-311 地下水位管理を目的とした注水井戸に関する注水効果の確認―凍土遮水壁大規模整備実証事業(その6) ―／鹿島建設［正］瀬尾 昭治・須賀 敦・城野 健一郎

Ⅲ-312 放射線環境下での施工実績―凍土方式遮水壁大規模整備実証事業(その7) ―／鹿島建設［正］阿部 功・山本 正嗣・上原 昌也

Ⅲ-313 試験凍結による地盤の凍結融解特性―凍土方式遮水壁大規模整備実証事業(その8) ―／鹿島建設［正］佐藤 一成・吉田 輝・江崎 太一

■凍結・凍土(2) ／15:20～16:40／所 哲也(苫小牧工業高等専門学校)

Ⅲ-314 凍結融解繰り返しによる飽和細粒土のアイスレンズ面方向の透水係数変化について(1) ／奥村組［正］廣瀬 剛・伊藤 譲・石川 達也

Ⅲ-315 凍結融解繰り返しによる飽和細粒土のアイスレンズ面方向の透水係数変化について(2) ／摂南大学［正］伊藤 譲・廣瀬 剛・石川 達也

Ⅲ-316 土の凍結膨張における熱流直行方向の応力挙動／北海道大学［学］金内 尭・天沼 稚香子・蟹江 俊仁

Ⅲ-317 混合ハイブリッドFEMを適用した凍結凍上解析の基礎的研究／北海道大学［学］白石 瑛人・神谷 遼多・工藤 史登

Ⅲ-318 凍結粘性土中の不凍水量と電気比抵抗特性の関係の検討／早稲田大学［学］齋藤 祐磨・小峯 秀雄・後藤 茂

Ⅲ-319 凍結工法適用時に凍害劣化を引き起こさない裏込材の開発／富士化学［正］黒岩 大地・笹原 茂生・西田 与志雄

Ⅲ-320 凍土の変形係数推定に用いる真ひずみ率の乾燥密度依存性／精研［正］大石 雅人・上田 保司

Ⅲ-321 凍結によるコンシステンシー限界の変化要因に関する検討／北見工業大学［学］川俣 さくら・川口 貴之・中村 大

Ⅲ-7（A棟A402教室）／9月7日(水)

■粘性土・特殊土／9:00～10:20／三上 武子(前田建設工業)

Ⅲ-322 千葉県印旛沼に堆積する沖積粘土の過圧密領域における力学特性／石川工業高等専門学校［学］出村 隆能・重松 宏明・小川 真

Ⅲ-323 堆積軟岩の物理特性がベントナイト混合土の繰返し変形特性に与える影響／アースプライム［正］佐々木 朋子・金子 秀樹・森川 義人

Ⅲ-324 粘性土の残留状態におけるせん断クリープ破壊モデル／愛媛大学［正］バンダリ ネトラプラカシュ・矢田部 龍一

Ⅲ-325 東海地方に分布する温泉余土の基礎的物理・力学特性の把握／宇都宮大学［正］海野 寿康・吉直 卓也・戸部 那奈美

Ⅲ-326 CO_2ハイドレート含有砂供試体の時間依存性挙動に関する実験およびそのモデル化／名古屋工業大学［正］岩井 裕正・小西 陽太・木元 小百合

Ⅲ-327 前橋泥流堆積物の固結度に着目した液状化強度特性の検討／群馬大学［学］中島 航・北村 和輝・樋口 邦弘

■斜面 工法／10:40～12:00／加藤 俊二(土木研究所)

Ⅲ-328 ワイヤケーブルとネットを併用した新しいのり面保護工「DCネット工法」の開発／ライト工業［正］歳藤 修一・庭田 和之・仲岡 重治

Ⅲ-329 DCネット工法ののり面補強効果に関する実験／神鋼建材工業［正］阿部 真也・石川 芳治・正木 聡

Ⅲ-330 支圧板付きロックボルトの地震時補強効果に関する実験的検討／東京工業大学［学］中本 詩瑶・関 栄・岩佐 直人

Ⅲ-331 風化流紋岩の切土のり面におけるトップリング崩壊に対するのり面対策／西日本高速道路エンジニアリング中国［正］原田 和幸・佐々木 薫・畠中 清茂

Ⅲ-332 地山補強材を打設した模型斜面における遠心模型実験の有限要素シミュレーション／東京都市大学［学］渡田 洋介・伊藤 和也・岩佐 直人

Ⅲ-333 不織布製ジオセル材を用いた法面保護効果試験／札幌オーバーシーズコンサルタント［正］滝沢 正人・金沢 義輝

Ⅲ-334 長尺供試体傾斜単純せん断試験に及ぼす供試体内補強材の影響／［学］熊原 拓希・重村 智

■斜面 実験(1) ／15:20～16:40／中島 進(鉄道総合技術研究所)

Ⅲ-335 抑止杭を用いた送電設備斜面の地震時対策工に関する遠心模型実験(その1) ―既設の基礎が抑止杭に及ぼす影響と変位抑制効果の評価―／東京電力ホールディングス［正］河村 直明・高橋 秀明・高橋 章浩

Ⅲ-336　抑止杭を用いた送電設備斜面の地震時対策工に関する遠心模型実験(その2) ―斜面の加速度分布と修正震度を用いた抑止杭の設計計算法の提案―／東電設計［正］高橋 秀明・河村 直明・高橋 章浩
Ⅲ-337　1G場振動台実験における模型盛土造成斜面の固有振動数の探索／名古屋大学［学］堀田 繁・村尾 英彦・中井 健太郎
Ⅲ-338　入力振動数の違いに着目した盛土造成斜面の1G場振動台実験／名古屋大学［正］村尾 英彦・中井 健太郎・野田 利弘
Ⅲ-339　地盤変状の影響を受ける斜面上に設置された道路橋の杭基礎に関する遠心模型実験／土木研究所［正］河村 淳・真弓 英大・谷本 俊輔
Ⅲ-340　落石安定性の常時モニタリングの試み／高速道路総合技術研究所［正］永田 政司・藤岡 一頼・三塚 隆

■斜面 グラウンドアンカー・実験(2)　／17:00～18:20／若井 明彦（群馬大学）
Ⅲ-341　長大な切土法面の安定対策工の設計施工実績／鹿島建設［正］上谷 泰高・服部 悦士・藤澤 理
Ⅲ-342　グラウンドアンカーの損傷事例とその原因に対する一考察／ネクスコ東日本エンジニアリング［正］西村 光司・小林 怜史・渡辺 陽太
Ⅲ-343　グラウンドアンカーを衝撃弾性波で振動させた場合の周波数の特性／ライト工業［正］別府 正顕・森 研二・福井 謙三
Ⅲ-344　地震時の斜面崩壊危険度評価に関する検討／防衛大学校［正］篠田 昌弘・宮田 喜壽
Ⅲ-345　パイプフローによる斜面崩壊メカニズムに関する実験的研究／呉工業高等専門学校［学］岩井 鉄平・森脇 武夫・加納 誠二
Ⅲ-346　高機能植生基材吹付工の表層崩壊防止効果に関する模型実験／ライト工業［正］池田 桂・石川 芳治・庭田 和之
Ⅲ-347　実大模型斜面を用いた斜面掘削工事による崩壊形態に関する研究／労働安全衛生総合研究所［正］平岡 伸隆・吉川 直孝・伊藤 和也
Ⅲ-348　道路盛土等の大規模土砂災害に対応した復旧技術に関する実大実験／土木研究所［正］井上 玄己・森 芳徳・宮武 裕昭

Ⅲ-7（A棟A402教室）／9月8日(木)

■斜面 解析(1)　／9:00～10:20／野々山 栄人（防衛大学校）
Ⅲ-349　不連続変形法と粒子法による固体と流体の連成数値解析に関する研究／関西大学［学］久野 実希子・三木 茂・大西 有三
Ⅲ-350　雨水の浸透を考慮した豪雨時の剛塑性有限要素法による斜面安定解析／［学］竹内 佳成
Ⅲ-351　落石運動に及ぼす斜面形状と入射角の影響に関する二次元個別要素法解析／名古屋工業大学［学］田中 敬大・前田 健一・内藤 直人
Ⅲ-352　簡易な質点系解析による落石実験の再現性／東京都市大学［正］吉田 郁政・中瀬 仁・中村 晋
Ⅲ-353　砂防ダムの影響を考慮した土石流流動シミュレーション／鉄道総合技術研究所［正］阿部 慶太・川越 健・田中 宏樹
Ⅲ-354　き裂が生じた鉄道盛土の降雨時盛土内水位を再現する解析モデルの検討／鉄道総合技術研究所［正］宮下 優也・布川 修・湯浅 友輝
Ⅲ-355　鉄道盛土の降雨被災箇所と地震被災箇所との関係分析／東日本旅客鉄道［正］大島 竜二・藤原 寅士良

■斜面 解析(2)　／10:40～12:00／阿部 慶太（鉄道総合技術研究所）
Ⅲ-356　改良土に加える稲わらの有無が斜面の変形に与える影響に関する一考察／立命館大学［学］大矢 綾香・大矢 綾香・Bui Hong Ha
Ⅲ-357　平成26年長野県北部地震により山地で発生した地すべりの機構解析／群馬大学［学］大淵 亮・佐竹 亮一郎・若井 明彦
Ⅲ-358　MPMを用いたひずみ指標に基づく地震時における斜面安定限界の評価手法の提案／日本大学［正］中村 晋・河井 正・中村 英孝
Ⅲ-359　3D-FEMによる引張材を用いたフレーム構造の斜面安定効果の評価／福岡大学［正］千田 知弘・岩佐 直人・堀 謙吾
Ⅲ-360　急傾斜地防災データベースの構築および安定解析による崩壊危険度判定／長崎大学［学］石田 純平・蒋 宇静・杉本 知史
Ⅲ-361　三次元斜面安定解析を用いた斜面危険度および崩壊土量に関する一考察／九州大学［学］田中 大貴・笠間 清伸・古川 全太郎
Ⅲ-362　地下水位と連動した斜面変動を再現するための簡易な弾粘塑性解析／群馬大学［正］若井 明彦・酒井 直樹

Ⅲ-7（A棟A402教室）／9月9日(金)

■斜面 解析(3)・災害調査復旧／9:00～10:20／笠間 清伸（九州大学）
Ⅲ-363　粘着モデルにおける粒子接点角βに関する一考察／［学］宇都 遼太郎・酒匂 一成
Ⅲ-364　古墳時代の遺跡の建物倒壊痕跡に基づく火砕流の衝撃力の推定／群馬大学［学］亀山 ひろみ・若井 明彦・杉山 秀宏
Ⅲ-365　埋め込み境界法を用いた地盤材料の土粒子スケール透水シミュレーション／東北大学［学］橘 一光・森口 周二・高瀬 慎介
Ⅲ-366　公表雨量データを用いた自然斜面における簡易浸透流解析手法の開発／広島大学［学］丸田 亮・土田 孝
Ⅲ-367　模型砂地盤内アーチ機構解明のための土圧センサーの検討／日本大学［学］岡嶋 礼男・重村 智
Ⅲ-368　JR東海道本線由比・興津間で発生した大規模斜面崩壊災害の復旧／JR東海［正］倉本 了輔・長谷川 秀樹
Ⅲ-369　北海道における融雪期の盛土災害に関する基礎的調査／土木研究所寒地土木研究所［正］山木 正彦・林 憲裕・林 宏親

■斜面 排水・法面特性／10:40～12:00／河内 義文（ケイズラブ）
Ⅲ-370　排水パイプの集水孔仕様が排水特性へ及ぼす影響について／日鐵住金建材［正］古谷 浩平・安冨 懸一・大高 範寛
Ⅲ-371　集水孔仕様が排水パイプの排水特性に及ぼす影響に関する定水位浸透模型実験／日鐵住金建材［正］安冨 懸一・古谷 浩平・大高 範寛
Ⅲ-372　橋台背面の盛土部に適用する排水パイプの施工範囲に関する検討／西日本旅客鉄道［正］西田 幹嗣・入川 充夫・藤井 昌隆
Ⅲ-373　吹付工の背面侵入水へののり肩排水対策に関する検討／土木研究所［正］加藤 俊二・川添 英生・佐々木 哲也
Ⅲ-374　安価な地盤傾斜計を用いた切土のり面の変状特性／西日本高速道路［正］内田 純二・雨郡 好澄・別役 一哉
Ⅲ-375　方位センサを搭載した地盤傾斜計の開発と切土のり面における性能調査／明治コンサルタント［正］納谷 宏・林田 昇・内田 純二
Ⅲ-376　締固め条件を変化させた試験盛土の凍結融解挙動に関する考察／北見工業大学［学］田中 悠暉・川尻 峻三・橋本 聖

■斜面 設計法・評価法・すべり安定／15:20～16:40／篠田 昌弘（防衛大学校）
Ⅲ-377　中国地方における現地調査を踏まえた高速道路に影響を及ぼす渓流評価手法／西日本高速道路［正］村上 豊和・下野 宗彦・中田 幸男
Ⅲ-378　のり面補強における抑止工の耐震設計について(その2)／JR東日本［正］田中 祐二・石川 剛・山内 真也
Ⅲ-379　斜面災害の誘因となる融雪を考慮した土壌水分状態の評価手法について／室蘭工業大学［学］宮崎 嵩之・中津川 誠・吉村 勇人
Ⅲ-380　池の沢渓岸斜面の安定性評価と土砂動態の把握に関する一考察／山梨大学［正］荒木 功平
Ⅲ-381　3次元有限要素解析を用いたすべり安定性評価における基礎的検討／構造計画研究所［正］岡村 航・三橋 祐太
Ⅲ-382　3次元有効応力解析による平成26年広島豪雨災害を対象としたすべり安定性評価／構造計画研究所［正］渡辺 高志・三橋 祐太・岡村 航
Ⅲ-383　地すべり危険箇所広域推定支援を目的とした素誘因影響図の提案／東京理科大学［学］関根 洋佑・小島 尚人

Ⅲ-8（A棟A403教室）／9月7日(水)

■締固め／9:00～10:20／平川 大貴（中央大学）
Ⅲ-384　津波堆積土等の発生土の盛土試験(その1 盛土試験の概要)／日本大学［正］仙頭 紀明・飛田 善雄・風間 基樹
Ⅲ-385　津波堆積土等の発生土の盛土試験(その2 鉄鋼スラグを混合した改良土の力学特性)／JFEスチール［正］林 正宏・鈴木 操・吉澤 千秋
Ⅲ-386　厚層化盛土転圧時の土中応力の実測結果について／東亜建設工業［正］堺谷 常博・大和屋 隆司
Ⅲ-387　水浸状態の圧縮曲線を用いた締固め地盤の品質管理／日建設計シビル［正］ニェイン スウェイ・本田 道識・石井 武司
Ⅲ-388　非破壊試験装置を用いた盛土法面の締固め品質評価の統計的解釈／九州大学［学］藤原 将真・安福 規之・石藏 良平
Ⅲ-389　脆弱岩砕材による盛土造成における締固め管理基準の検討／フジタ［正］堀田 崇由・福島 伸二・北島 明
Ⅲ-390　供試体寸法と粒度調整ならびに締固め度が礫質堤防土のせん断挙動に及ぼす影響／名城大学［学］田村 太郎・小高 猛司・崔 瑛

■トンネル(1) ／10:40～12:00／重田 佳幸
（パシフィックコンサルタンツ）

Ⅲ-391 山岳トンネルにおける地質リスクの顕在化の有無と対策工に関する分析／フジタ［正］宇田川 義夫
Ⅲ-392 地質的見地によるトンネル突発性崩落モデルの検証／明大工業［正］吉村 辰朗・田原 隼人・中井 幸洋
Ⅲ-393 インバート形状の違いが盤ぶくれに与える影響に関する検討／鉄道建設・運輸施設整備支援機構［正］渡辺 和之・小林 寛明・嶋本 敬介
Ⅲ-394 インバート構造が施工時および完成後の変状に与える影響に関する数値解析／鉄道建設・運輸施設整備支援機構［正］小林 寛明・下津 達也・渡辺 和之
Ⅲ-395 山岳トンネルにおける切羽前方湧水予測技術(その2) ／大林組［正］桑原 徹・奥澤 康一・久下 敦
Ⅲ-396 斜面斜交型のトンネルにおける坑口対策の検討／東日本高速道路［正］佐々木 大也・早川 正城・沖原 穂高
Ⅲ-397 超長尺先進ボーリングおよび穿孔振動探査法(T-SPD)の探査結果と実施工結果との比較／大成建設［正］工藤 直矢・加藤 宏征・山上 順民

■トンネル(2) ／15:20～16:40／畑 浩二(大林組)

Ⅲ-398 斜面近傍にあるトンネルの挙動に関する基礎的研究／首都大学東京［学］梅澤 麻理花・土門 剛・西村 和夫
Ⅲ-399 トンネルの薄肉支保工に関する基礎的研究／首都大学東京［学］中島 秀・西村 和夫・土門 剛
Ⅲ-400 地山のせん断変形を想定した山岳トンネルの覆工破壊時の荷重に関する検討／［正］岸田 展明・日下 敦・砂金 伸治
Ⅲ-401 地山と一次支保工の材料境界面の付着特性がトンネル構造体の安定性に与える影響に関する検討／清水建設［正］福田 毅・安藤 拓・多田 浩幸
Ⅲ-402 固有値解析によるトンネル覆工裏状況推定方法の検討／ジェイアール東海コンサルタンツ［正］谷利 晃・稲熊 唯史・朝倉 俊弘
Ⅲ-403 小土被り山岳トンネルの覆工設計における地盤反力係数の算定方法に関する一考察／土木研究所［正］日下 敦・岸田 展明・砂金 伸治
Ⅲ-404 鋼製エレメントを用いた線路下横断構造物の応力特性に関する一考察／JR東日本［正］山田 宣彦・内藤 圭祐・池本宏文

■トンネル(3) ／17:00～18:20／山田 浩幸(鴻池組)

Ⅲ-405 走行型計測による外力性変状の評価例／パシフィックコンサルタンツ［正］重田 佳幸・海瀬 忍・水野 希典
Ⅲ-406 トータルステーションを用いたトンネルの変状路面計測／ネクスコ・エンジニアリング東北［正］山家 信幸・安田賢哉・鶴原 敬久
Ⅲ-407 盤膨れ対策インバート施工後のトンネル変形挙動に関する考察～上信越自動車道 日暮山トンネル下り線～／ネクスコ東日本エンジニアリング［正］中野 清人・倉持 典幸・安積 淳一
Ⅲ-408 既設トンネルの変状の進行と作用荷重に関する考察／土木研究所［正］吉岡 知哉・砂金 伸治・石村 利明
Ⅲ-409 坑外集水井による鉄道トンネルの地下水低下／JR西日本［正］小林 俊彦・近藤 政弘・坂本 寛章
Ⅲ-410 走行車両の音響反射によるトンネル覆工コンクリートの振動計測／明石工業高等専門学校［正］鍋島 康之
Ⅲ-411 ひび割れ指数(TCI)を用いた覆工に発生するひび割れ形態の整理／パシフィックコンサルタンツ［正］前田 洸樹・海瀬 忍・水野 希典

Ⅲ-8（A棟A403教室）／9月8日(木)

■トンネル(4) ／9:00～10:20／宇田川 義夫(フジタ)

Ⅲ-412 トンネルの変形に影響を及ぼす岩石の劣化と吸水膨張特性に関する検討／鉄道総合技術研究所［正］川越 健・嶋本敬介・石田 良二
Ⅲ-413 脆弱泥岩地山におけるトンネル施工について／大成建設［正］一枝 俊豪・竹渕 俊和・大塚 勇
Ⅲ-414 導坑先進工法における拡幅掘削前後の変位割合に関する一考察／大成建設［正］小原 伸高・市田 雄行
Ⅲ-415 脆弱地山での神社・鉄塔直下における補助工法の設計と施工に関する一考察／鴻池組［正］山田 浩幸・安田 裕輔・村島 雅征
Ⅲ-416 トンネル切羽前方の電気探査解析／新潟大学［学］佐々木丈・阿部 和久・椎谷 成孝
Ⅲ-417 PS-WLで採取した岩石試料の品質及び強度・変形特性と連続打撃貫入抵抗の関係／興和［正］中野 義仁・柴田 東・今村 大介
Ⅲ-418 先端打撃式ボーリングの穿孔振動を用いた弾性波探査／大成建設［正］市來 孝志・山上 順民・青木 智幸

■トンネル(5) ／10:40～12:00／小早川 博亮(電力中央研究所)

Ⅲ-419 Hoek & Brownの破壊規準を用いた三次元弾塑性モデルの構築／大林組［正］中岡 健一・畑 浩二・蒋 宇静
Ⅲ-420 トンネルの設計における2次元解析結果と3次元解析結果の相違に関する一考察／大成建設［正］市田 雄行・小原 伸高・金子 哲也
Ⅲ-421 推進工法の応力解放率に関する解析的検討／鉄道総合技術研究所［正］西山 和宜・仲山 貴司
Ⅲ-422 都市トンネル施工時の切羽安定性評価指標TFIの提案／山口大学［学］佐々木 亨・森本 真吾・進士 正人
Ⅲ-423 ひずみ硬化型PHモデルの未固結地山における低土被りトンネル掘削解析への適用／地層科学研究所［正］中川 光雄
Ⅲ-424 初期応力の主軸の傾きがトンネル支保工に与える影響／清水建設［正］長尾 裕貴・福田 毅・安藤 拓
Ⅲ-425 ロックボルトと内面補強工の併用工法に関する解析的検討／ケー・エフ・シー［正］岡部 正・松尾 勉

Ⅲ-8（A棟A403教室）／9月9日(金)

■トンネル(6) ／9:00～10:20／杉山 博一(清水建設)

Ⅲ-426 山岳トンネル二次覆工の骨組み構造解析における地盤反力係数の補正／パシフィックコンサルタンツ［正］木谷 努・松井 宏樹・荻原 啓太
Ⅲ-427 農業用水路トンネルのロックボルトによる補強に関する基礎的研究／岡山大学［正］柴田 俊文・村上 椋・田本 敏之
Ⅲ-428 湧水がロックボルトの施工品質に与える影響について／ケー・エフ・シー［正］井本 厚・田中 祐介・松尾 勉
Ⅲ-429 地盤切削機構を用いた小断面ボックスカルバート推進工法の実証試験／JR東日本［正］郡司 圭悟・本田 諭・齋藤 貴
Ⅲ-430 実事例を用いた連壁本体利用構造物の設計法の比較／鉄道総合技術研究所［正］小林 克哉・小島 謙一・佐藤 僚生
Ⅲ-431 北海道新幹線におけるトンネル凍害対策(断熱材施工延長の検討)について(その2) ／パシフィックコンサルタンツ［正］畠山 幸佑・高木 康成・南 邦明
Ⅲ-432 ノンコア削孔スライムを用いた切羽前方重金属予測技術に関する考察(その2) ／大林組［正］奥澤 康一・井出 一貴・中戸 敬明

■シールドトンネル／10:40～12:00／小林 克哉(鉄道総合技術研究所)

Ⅲ-433 シールドトンネルに作用する浮力に関する実験的検討／大林組［正］板場 建太・土門 剛・西村 和夫
Ⅲ-434 二次覆工を有するシールドトンネルのひび割れのモデル化に関する実験および数値的考察／日本電信電話［正］松本安弘・出口 大志・川端 一嘉
Ⅲ-435 鉄道シールドトンネルの設計におけるトンネル径を土被りに関する検討／鉄道総合技術研究所［正］鎌田 和孝・津野 究・三倉 寛明
Ⅲ-436 シールドトンネルを対象とした大型覆工模型実験／鉄道総合技術研究所［正］津野 究・鎌田 和孝
Ⅲ-437 構造物近接環境下での粘性土層を対象とした凍結工法によるトンネル接続事例／前田建設工業［正］及川 照靖・松尾 琢夫・小泉 淳
Ⅲ-438 チャンバー内撹拌シミュレーションへのMPS解析の適用性(その2) ／清水建設［正］杉山 博一・岩井 俊之・高梨和光
Ⅲ-439 泥水シールドでの鉄粉洗浄による砒素除去技術の現場実証／鹿島建設［F］川端 淳一・伊藤 圭二郎・大貫 博司
Ⅲ-440 シールドトンネルにおける変状対策工の経過観察結果に関する一考察／土木研究所［正］森本 智・砂金 伸治・石村利明

■岩の工学的性質／15:20～16:40／小泉 悠(鹿島建設)

Ⅲ-441 劣化にともなう岩石の物性値変化に対する含水状態の影響／フジタ［正］丹羽 廣海・村山 秀幸・岡崎 健治
Ⅲ-442 ロックせん断試験の弾塑性解析／電力中央研究所［正］小早川 博亮・竹畑 栄伸
Ⅲ-443 三軸応力下の層理を含む田下凝灰岩のひずみ全成分計測／鉄道総合技術研究所［正］富樫 陽太・細田 光一・小川 浩司
Ⅲ-444 向山泥岩の膨潤特性に及ぼすスメクタイト含有率と内部固結の影響の一考／早稲田大学［学］石塚 光・小峯 秀雄・磯 さち恵
Ⅲ-445 岩石三軸試験時のAE測定とPFC解析による破壊シミュレーション／鹿島建設［正］森 孝之・犬塚 隆明・イスマル アシュラフ

Ⅲ-9（A棟A404教室）／9月9日(金)

■地盤防災／9:00～10:20／若松 加寿江(関東学院大学)

Ⅲ-446　既設の住宅直下地盤における軟弱箇所の地球統計学的推定／明石工業高等専門学校［学］浦上 滉平・稲積 真哉
Ⅲ-447　河川堤防の地震時脆弱箇所を抽出するための情報整理方法の提案～東北地方太平洋沖地震における東北地方整備局管内河川堤防の被災事例分析を踏まえて～／国土技術研究センター［正］柳畑 亨・佐々木 康・阿部 誠司
Ⅲ-448　戸建住宅における液状化指数PLの適用に関する検討／新潟大学［正］保坂 吉則・安孫子 央紀・花岡 裕也
Ⅲ-449　地震時における崩壊危険箇所抽出技術の開発／エイト日本技術開発［正］種平 一成・藤原 康正・田中 努
Ⅲ-450　鉄道盛土の地震危険度マクロ評価法に関する検討／西日本旅客鉄道［正］藤原 雅仁・山田 孝弘・常田 賢一
Ⅲ-451　「蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画」策定に向けた取り込み／［正］窪田 敏一
Ⅲ-452　地上設置型合成開口レーダー（GBSAR)を用いた火山における地表面変動の観測例／土木学会［正］倉岡 千郎・中島 祐一

■維持・補修／10:40～12:00／石井 裕泰(大成建設)

Ⅲ-453　熱赤外線カメラによるグラウンドアンカーのり面の観察／土木研究所［正］横山 一輝・近藤 益央・藤田 智弘
Ⅲ-454　再緊張を行ったアンカーにおけるアンカー荷重と温度のモニタリング／三重大学［正］酒井 俊典・近藤 益央・藤田 智弘
Ⅲ-455　グラウンドアンカー工の効果的な維持管理に関する検討／相愛［正］常川 善弘・酒井 俊典・近藤 益央
Ⅲ-456　アンカー工の長寿命化に関する検討／日本工営［正］太田 敬一
Ⅲ-457　青函トンネル先進導坑における膨張性地山の評価／鉄道建設・運輸施設整備支援機構［正］山崎 周一・野城 一栄・張間 正紀
Ⅲ-458　覆工の凍害劣化を考慮したトンネル内つらら防止工法に関する一考察／JR西日本［正］山崎 友裕・大江 崇元・杉本 寿樹
Ⅲ-459　排水施設の有無による盛土構造物内の含水比分布に関する実験的考察／明石工業高等専門学校［学］吉岡 佑太・鍋島 康之・戎 剛史
Ⅲ-460　3ヒンジプレキャストアーチカルバートの上載盛土の影響に関する分析／高速道路総合技術研究所［正］藤原 優・藤岡 一頼・佐伯 宗大

第Ⅳ部門　土木計画、地域都市計画、国土計画、交通計画、交通工学、鉄道工学、景観・デザイン、土木史、測量など

Ⅳ-1（A棟A404教室）／9月7日(水)

■交通流／10:40～12:00／柳原 正実(首都大学東京)

Ⅳ-001　ダイナミックモデルによる道路の上下流端条件を考慮した交通流の非定常解析／京都大学［学］前原 耀太・細田 尚・白井 秀和
Ⅳ-002　道路トンネルの換気実態調査にもとづく自動車1台あたりの排出量／土木研究所［正］石村 利明・砂金 伸治・森本 智
Ⅳ-003　高速道路の暫定二車線区間における工事規制中の誘導について／秋田大学［正］浜岡 秀勝・高島 尚希
Ⅳ-004　高速道路の追越車線利用偏重解明のための車線変更挙動の研究／［学］岩崎 真純・山口 恭平・野中 康弘
Ⅳ-005　MFDによる東日本大震災時のグリッドロック現象の分析／芝浦工業大学［学］郡山 義章・清田 裕太郎・野中 康弘
Ⅳ-006　広域道路網交通流シミュレーションを用いた高速道路における新料金制度の提案と評価に関する研究／横浜国立大学［学］犬飼 望・中村 文彦・田中 伸治

■交通調査・データ／15:20～16:40／日下部 貴彦(東京大学)

Ⅳ-007　道路交通分析に適した道路ネットワークデータの改善に向けた取り組み／東京都市大学［学］小泉 慶太・今井 龍一
Ⅳ-008　ETCビッグデータの交通事故分析への活用／広島大学［学］福満 聖也・塚井 誠人
Ⅳ-009　ETC2.0プローブ情報の起終点判別に関する一考察／国土技術政策総合研究所［正］松島 敏和・橋本 浩良
Ⅳ-010　トリップ出発／到着時刻に着目した交通調査回答特性の手法間比較分析／熊本大学［学］佐藤 嘉洋・円山 琢也
Ⅳ-011　人口空間分布を考慮したバス停単位需要推計手法の提案／芝浦工業大学［学］鷲津 宏明・田中 寛朗・遠藤 玲
Ⅳ-012　携帯電話網の運用データに基づく人口分布統計を用いた公共交通カバーエリア内人口の算出／東京都市大学［学］太田 勝也・今井 龍一

■道路交通の安全・安心確保／17:00～18:20／元田 良孝(岩手県立大学)

Ⅳ-013　広域路面雪氷状態予測手法の冬期交通事故分析への適用性に関する基礎的検討／土木研究所 寒地土木研究所［正］齊田 光・藤本 明宏・平澤 匡介
Ⅳ-014　吹雪危険箇所を評価するための移動気象観測の合理化に関する考察(1) ―気象条件に関する検討―／土木研究所 寒地土木研究所［正］伊東 靖彦・武知 洋太・松澤 勝
Ⅳ-015　吹雪危険箇所を評価するための移動気象観測の合理化に関する考察(2) ―移動気象観測回数の検討―／土木研究所寒地土木研究所［正］武知 洋太・伊東 靖彦・松澤 勝
Ⅳ-016　道路舗装の損傷と利用者のクレームの関係性／金沢工業大学［学］高橋 葵和子・森山 守・木村 定雄
Ⅳ-017　橋梁の劣化に影響を与える要因分析～定期点検結果を用いて～／金沢大学［学］南 貴大・藤生 慎・中山 晶一朗
Ⅳ-018　工作物衝突事故の優先対策区間選定方法に関する検討／土木研究所 寒地土木研究所［正］高田 哲哉・平澤 匡介・石田 樹
Ⅳ-019　「阪高SAFETYナビ」によるドライバーへの事故リスク情報の提供結果／阪神高速道路［正］岩里 泰幸・宇野 巧・小澤 友記子

Ⅳ-1（A棟A404教室）／9月8日(木)

■鉄道計画／9:00～10:20／地田 信也(鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

Ⅳ-020　首都直下地震を想定した都市鉄道ネットワークの脆弱性評価／日本大学［学］中川 拓朗・金子 雄一郎・横山 茂樹
Ⅳ-021　移動閉そくシステムによる都市鉄道のさらなる高頻度運転化の検討／芝浦工業大学［学］吉枝 春樹・小林 渉・岩倉 成志
Ⅳ-022　東海道線支線地下化・新駅設置事業／西日本旅客鉄道［正］深瀬 尚子
Ⅳ-023　新幹線等の駅利用環境の評価に関する調査／鉄道建設・運輸施設整備支援機構［正］増田 康男・落合 弘明・内田 雅洋
Ⅳ-024　北陸新幹線開業後の航空利用者の交通機関選択行動に関する基礎的分析／金沢大学［学］河本 麻実・藤生 慎・高山 純一
Ⅳ-025　地球温暖化対策としての鉄道の活用に関する意識調査／鉄道総合技術研究所［正］大屋戸 理明

■港湾・航空／10:40～12:00／荒谷 太郎(海上技術安全研究所)

Ⅳ-026　日アセアン・コンテナ航路網の構造特性と時系列変化／鹿島建設［正］小木曽 圭祐・井上 聰史・家田 仁
Ⅳ-027　港湾における事業継続計画の基本的な考え方／国土交通省［正］水谷 雅裕
Ⅳ-028　我が国における大型クルーズ客船の寄港実態に関する基礎的分析／金沢大学［学］松田 耕司・藤生 慎・中山 晶一朗
Ⅳ-029　トラック輸送の動向を踏まえた海上輸送へのモーダルシフトの可能性について／日本工営［正］後岡 寿成・篠原 守昌・遠山 憲二
Ⅳ-030　気象条件に着目した滑走路処理容量の変動特性に関する研究／茨城大学［学］蒔田 良知・平田 輝満・二見 康友
Ⅳ-031　東海道新幹線途絶を想定した航空代替輸送の需要量推計と供給力拡大方策に関する研究／茨城大学［学］川瀬 俊明・平田 輝満

Ⅳ-2（A棟A405教室）／9月7日(水)

■土木史／9:00～10:20／永村 景子(九州大学)

Ⅳ-032　旅行・宿泊プランからみた現代における「湯治」の実態／日本大学［正］西山 孝樹・天野 光一・阿部 貴弘

Ⅳ-033 淺野總一郎と京浜工業地帯発展の関連性について―淺野總一郎の鶴見沖埋立に至る沿革―／浅野工学専門学校［正］森住 藍・浅野 一
Ⅳ-034 高速道路の環境対策史(常磐自動車道 流山・柏 その2) ／日特建設［F］中村 眞
Ⅳ-035 大河津分水の理解度向上のための水辺と土木遺産の利活用／エコロジーサイエンス［正］樋口 勲・佐野 大輔
Ⅳ-036 光学的計測手法の土木遺産保存での利活用／計測リサーチコンサルタント［正］渡邉 弘行
Ⅳ-037 広島城内に現存する戦争遺跡に関する調査研究／広島工業大学［正］大東 延幸・十河 茂幸・秋政 久裕
Ⅳ-038 灯台のプロポーションに関する研究／名古屋市立大学［学］日高 みなみ・青木 孝義・佐藤 大輔

■空間認識／10:40～12:00／松田 泰明(土木研究所 寒地土木研究所)
Ⅳ-039 住商混在地域における児童の地域認識に関する研究／日本大学［学］森 紗耶・横内 憲久・岡田 智秀
Ⅳ-040 認知空間の歪みと都市環境／大阪工業大学［学］酒井 拓実・田中 一成・吉川 眞
Ⅳ-041 沿岸部の都市における体感環境／大阪工業大学［学］葉狩 義秀・田中 一成・吉川 眞
Ⅳ-042 大阪における都市と山々のスカイライン分析／大阪工業大学［学］岡部 雄基・吉川 眞・田中 一成
Ⅳ-043 参道空間におけるシークエンスの構成把握／大阪工業大学［学］大崎 雄治・吉川 眞・田中 一成
Ⅳ-044 だんじり祭りに着目した祭礼空間の分析／大阪工業大学［学］渡辺 秀斗・吉川 眞・田中 一成

■景観形成・設計／15:20～16:40／平野 勝也(東北大学)
Ⅳ-045 下水道マンホール蓋のデザインと周辺景観／奥村組［正］大槻 弥生・川嶋 英介
Ⅳ-046 道路施設の色彩に関する現状と課題について／土木研究所 寒地土木研究所［正］吉田 智・小栗 ひとみ・佐藤 昌哉
Ⅳ-047 人間の視覚への影響を及ぼす水面からの光の乱反射を考慮した親水空間設計法の考察／日本大学［正］後藤 浩・依田 光正・城内 博
Ⅳ-048 地方公共団体の土木設計業務における景観形成の取り組み／［学］芳賀 徹也・福井 恒明
Ⅳ-049 中小河川における景観重点区間の選定条件に関する検討／土木研究所［正］鶴田 舞・萱場 祐一・片桐 浩司
Ⅳ-050 電線電柱類の景観対策手法と景観向上効果について―農村自然域を対象として―／土木研究所 寒地土木研究所［正］岩田 圭佑・小栗 ひとみ・松田 泰明
Ⅳ-051 農村景観保全に向けた「コンパクトファーム」の提案と実現化方策に関する研究―（その2）実施主体別に見た事業プロセスの検討―／日本大学［学］小泉 雄大・横内 憲久・岡田 智秀

■景観調査・分析／17:00～18:20／白柳 洋俊(愛媛大学)
Ⅳ-052 古都・奈良における変遷景観の把握／ジェイアール西日本コンサルタンツ［正］中司 涼介・吉川 眞・田中 一成
Ⅳ-053 3次元データを用いた景観シミュレーションの応用に関する研究／昭和土木設計［正］山村 浩一・佐々木 高志・藤原 聖子
Ⅳ-054 夜間景観のモデル化手法の提案／大阪府庁［正］櫻木 俊輔・吉川 眞・田中 一成
Ⅳ-055 人の視覚による景観画像の分類と構成要素との関係／函館工業高等専門学校［正］山崎 俊夫・横内 綺羅・菅藤 友美
Ⅳ-056 ソーシャルメディアを用いた駅空間の分析／パシフィックコンサルタンツ［正］三井 佑真・吉川 眞・田中 一成
Ⅳ-057 奈良公園における緑景観の分析／大阪工業大学［学］竹村 唯・吉川 眞・田中 一成

Ⅳ-2（A棟A405教室）／9月8日(木)

■災害状況の計測／9:00～10:20／朝香 智仁(日本大学)
Ⅳ-058 災害時における航空機からの手持ち斜め写真撮影の高度化に関する基礎考察／アジア航測［正］瀧川 正則・臼杵 伸浩・中田 慎
Ⅳ-059 時系列複数衛星観測データを用いたスマトラ島沖地震における災害復興の分析／日本大学［学］吉原 弘一郎・羽柴 秀樹
Ⅳ-060 ネパール国の中核都市から山岳地域民族居住地へのアクセスを対象とした地滑り影響評価／茨城大学［学］井上 雄太・伊藤 哲司・桑原 祐史
Ⅳ-061 ALOS-2を用いた鬼怒川流域における平成27年台風18号による浸水状況の把握／日本大学［正］内田 裕貴・青山 定敬・杉村 俊郎
Ⅳ-062 ALOS-2/PALSAR-2データを用いた浸水域の抽出／広島工業大学［正］小西 智久・菅 雄三・平尾 裕斗
Ⅳ-063 光学系衛星データを用いた土砂災害調査について／広島工業大学［学］平尾 裕斗・菅 雄三・小西 智久
Ⅳ-064 精密地形情報を活用した豪雨時の盛土のり面被災リスクの相対評価／西日本旅客鉄道［正］中澤 明寛・御崎 哲一・高山 宜久

■地理情報の計測と利用／10:40～12:00／桑原 祐史(茨城大学)
Ⅳ-065 空中写真測量の自動DSM計測およびGISのTINによる3D建物モデルの半自動作成／東洋大学［正］久保寺 貴彦・那須 充・草野 克己
Ⅳ-066 UAV動画キャプチャ画像による道路損傷評価／新星コンサルタント［正］中島 英敬・朝香 智仁・飯田 貴博
Ⅳ-067 ドローンの安全な飛行計画について／大成建設［正］清水 裕雄・岩崎 孝夫
Ⅳ-068 UAV（ドローン）を使った写真測量精度の検証／大成建設［正］髙橋 要・江田 正敏・矢尾板 啓
Ⅳ-069 Worldview-3衛星画像のピクセルベース画像分類処理による都市土地被覆の分離特性の検討／日本大学［学］村本 準・羽柴 秀樹
Ⅳ-070 ASTERデータを参照したひまわり8号による地表面推定温度の検証／日本大学［学］奥山 健志・村井 渉・内田 裕貴
Ⅳ-071 高分解能衛星WorldView-3画像を用いたオブジェクト指向解析による街路樹の抽出のための検討／日本大学［正］髙岩 直彰・羽柴 秀樹

Ⅳ-2（A棟A405教室）／9月9日(金)

■自転車・歩行者交通／9:00～10:20／鈴木 美緒(東京工業大学)
Ⅳ-072 横断歩道上における歩行者状態と自転車の回避挙動の関係性分析／名城大学［学］神谷 岳・松本 幸正
Ⅳ-073 自転車利用者の通行位置及び通行方向の意識実態に関する一考察／国土技術政策総合研究所［正］木村 泰・今田 勝昭・河本 直志
Ⅳ-074 目的地までの距離と出発位置を考慮した自転車利用者の通行位置選択要因に関する研究／横浜国立大学［学］長野 高志・中村 文彦・田中 伸治
Ⅳ-075 離散選択モデルを用いたセグウェイ挙動モデルの構築に関する一考察／高知工科大学［正］西内 裕晶・川崎 智也・轟 朝幸
Ⅳ-076 歩道計測型MMSを用いた点字ブロックの抽出／日本大学［正］江守 央・佐田 達典
Ⅳ-077 高校生が担い手となる自転車立証活動の効果に関する考察／国士舘大学［学］山下 浩一朗・寺内 義典・稲垣 具志

■自転車・歩行者空間／10:40～12:00／三浦 詩乃(横浜国立大学)
Ⅳ-078 地方都市の都市構造と中心市街地の自転車・歩行者通行量増加施策の関連分析／和歌山工業高等専門学校［正］櫻井 祥之・伊勢 昇・小川 宏樹
Ⅳ-079 新宿東口の歩行者環境改善にむけた課題に関する研究／早稲田大学［学］Liang Wan-yun
Ⅳ-080 時系列のPTデータを用いた銀座来訪者の行動特性の変化／東京工業大学［学］小林 巴奈・毛利 雄一・寺部 慎太郎
Ⅳ-081 歩行者の経路探索に利用される要素の把握／大阪工業大学［学］伊東 慶彦・田中 一成・吉川 眞
Ⅳ-082 生理指標を用いた街路空間の快適性評価／名城大学［学］中務 真里子・鈴木 温
Ⅳ-083 自転車通行空間の計画・設計におけるCIMの活用可能性について／日本建設情報総合センター［正］小路 泰広

■交通安全施策／15:20～16:40／寺内 義典(国士舘大学)
Ⅳ-084 生活道路における交通安全診断制度の国内導入にあたって／パシフィックコンサルタンツ［正］藤井 久矢・渡井 恭周・高橋 靖弘
Ⅳ-085 幹線道路旧道の路側帯拡幅と中央線抹消による自動車走行挙動と歩行者通行環境に関する分析／立命館大学［正］小川 圭一・鳥居 孝二朗
Ⅳ-086 道路狭さく設置による歩行者の安全性への影響分析／名古屋工業大学［学］堀川 智貴・堀 将誌・鈴木 弘司
Ⅳ-087 車両運動と運転行動の視点からの交通事故要因分析に関する一考察／西日本高速道路エンジニアリング九州［正］坂田 裕彦・中野 由貴・三倉 義教
Ⅳ-088 高齢者の高速道路利用特性に関する基礎的研究／ネクスコ・エンジニアリング東北［正］相澤 範明・松浦 信之
Ⅳ-089 自動車運転免許返納を控えた高齢者の運転意識／豊田工業高等専門学校［正］野田 宏治・山岡 俊一・大森 峰輝

Ⅳ-090　高齢運転者の運転免許返納意識に関する研究／岩手県立大学［F］元田 良孝・宇佐美 誠史・堀 沙恵

Ⅳ-3（A棟A406教室）／9月7日(水)

■防災・災害(1) ／9:00〜10:20／長江 剛志(東北大学)

Ⅳ-091　南海トラフ地震に対する災害廃棄物処理計画体系／関西大学［学］小橋 昭文・北詰 恵一・清水 紀行
Ⅳ-092　南海トラフ巨大地震による津波浸水想定区域における防災集団移転事業実施の最適時期に関する研究／九州大学［学］豊田 航太郎・加知 範康・塚原 健一
Ⅳ-093　東日本大震災における孤立地区調査／東北工業大学［F］村井 貞規
Ⅳ-094　災害時の自助・共助の可能性に関する検討―家庭の買い置き品に着目して―／金沢大学［学］吉田 裕実子・大澤 脩司・藤生 慎
Ⅳ-095　巨大地震発生想定時の沿岸観光地における避難行動分析／名古屋工業大学［学］竹村 亮佑・丸山 智弘・鈴木 弘司
Ⅳ-096　震災時における救急搬送時間の短縮に向けた一考察―知多半島医療圏を対象として―／愛知工業大学［学］鈴木 聡一・小池 則満

■防災・災害(2) ／10:40〜12:00／北詰 恵一(関西大学)

Ⅳ-097　緊急物資輸送に係る道路リスクに関する検討／防衛大学校［学］文 聖仁・矢代 晴実・鳥澤 一晃
Ⅳ-098　マルチスケールで捉えた自然災害のリスク／横浜国立大学［学］川合 彩加・菊本 統・伊藤 和也
Ⅳ-099　沿岸域における防災分野のIoT技術の活用について／京都大学［正］熊谷 兼太郎・小野 憲司
Ⅳ-100　帰宅困難者問題における各主体別リスクに関する研究／防衛大学校［学］塚本 昭博・矢代 晴実
Ⅳ-101　防災訓練／演習を企画する演習の実施／宇都宮大学［正］近藤 伸也・宇治田 和
Ⅳ-102　児童とその保護者の関係に着目した防災教育実施の効果に関する研究／北見工業大学［正］高橋 清・石田 樹里・三浦 翔平
Ⅳ-103　津波人命リスクモデルによる災害弱者の社会的問題の検討―鎌倉の人命リスクにおける高齢者・児童人口の特性―／遥感環境モニター［正］金子 大二郎

■防災・災害(3) ／15:20〜16:40／谷本 真佑(秋田工業高等専門学校)

Ⅳ-104　津波避難における被災人口率分布に関する研究／千代田化工建設［正］藤田 謙一・矢代 晴実
Ⅳ-105　避難開始モデルを用いた津波に対する住民の危機意識の地域差分析／京都大学［学］小川 夢斗・奥村 与志弘・土肥 裕史
Ⅳ-106　チリ国バルパライソ住民の2015年イヤペル津波の避難行動について／山口大学［正］朝位 孝二・池田 誠
Ⅳ-107　福祉避難所の整備状況に関するアンケート調査／徳島大学［正］金井 純子・野々村 敦子・中野 晋
Ⅳ-108　洪水が発生した地域における避難意志決定の実態／中央大学［学］郷津 勝之・諸岡 良優・寺井 しおり
Ⅳ-109　トンネル内火災時における足元灯の避難誘導効果の検証／高速道路総合技術研究所［正］清水 雅之・八木 弘・海瀬 忍
Ⅳ-110　道路トンネル火災時における足元誘導灯の効果検証／中日本高速道路［正］山崎 哲也

■防災・災害(4) ／17:00〜18:20／加知 範康(九州大学)

Ⅳ-111　避難指示発令の事例から見た災害対応の現状と問題点の考察／福岡大学［正］渡辺 浩・千田 知弘・城戸 拓也
Ⅳ-112　東京都西部における鉄道の自然災害に対する脆弱性の検討／中央大学［学］金子 貴裕・佐藤 尚次
Ⅳ-113　2014年8月広島土石流災害後の地域防災計画の見直し／長崎大学［F］高橋 和雄
Ⅳ-114　暴風雪災害における避難施設としての「道の駅」と災害時のニーズについて／国立［正］松田 泰明・吉田 智・高田 尚人
Ⅳ-115　高速道路における斜面災害に対する降雨時通行規制基準値の最適設定手法の提案／大阪大学［学］音地 拓・櫻谷 慶治・小濱 健吾
Ⅳ-116　交通への影響を考慮した口蹄疫の防疫計画／宮崎大学［学］米良 昂大・嶋本 寛
Ⅳ-117　チリ国タルカワノ住民の2015年イヤペル津波による影響防災意識について／アジア防災センター［学］池田 誠・朝位 孝二

Ⅳ-3（A棟A406教室）／9月8日(木)

■公共交通・地区交通／9:00〜10:20／小嶋 文(埼玉大学)

Ⅳ-118　金沢都市圏の路線バスのアクセス信頼性に関する研究／金沢大学［学］小池 光右・中山 晶一朗・高山 純一
Ⅳ-119　バスロケーションシステムの利用状況とバス利用者属性との関連分析／名城大学［学］石川 雄己・松本 幸正
Ⅳ-120　駅前広場に隣接する土地利用に関する考察―駅前広場における荷捌きの実態を解明する前段として―／日本大学［学］森田 翔・大沢 昌玄
Ⅳ-121　都心部街路での「送迎」目的路上駐停車の現状／北海学園大学［正］堂柿 栄輔・梶田 佳孝・簗瀬 範彦
Ⅳ-122　大規模イベント開催時におけるバス利用動機の実態分析／首都大学東京［学］熊倉 裕晃・柳原 正実・小根山 裕之

■都市・地域計画(1) ／10:40〜12:00／日比野 直彦(政策研究大学)

Ⅳ-123　高額医療費疾患と通院実態に関する一考察―国民健康保険データベース(KDB)を用いて―／金沢大学［学］玉森 祐矢・藤生 慎・中山 晶一朗
Ⅳ-125　コンパクトシティ政策が地方交付税を含めた地方財政に与える影響に関する研究／九州大学［学］垣本 知樹・塚原 健一・加知 範康
Ⅳ-126　大阪府政・市政における財政改革による影響に関する実証的研究／京都大学［学］平田 将大・宮川 愛由・藤井 聡
Ⅳ-127　動学SCGEモデルによる圏央道整備の地域帰着便益時系列の試算／日本大学［学］東山 洋平・藤崎 洸平・森杉 壽芳

Ⅳ-3（A棟A406教室）／9月9日(金)

■都市・地域計画(2) ／9:00〜10:20／大沢 昌玄(日本大学)

Ⅳ-128　都市のコンパクト化の意義とその評価／筑波大学［学］杉本 峻佑・毛利 雄一・寺部 慎太郎
Ⅳ-129　持続可能な都市構造転換のための都市構造評価指標に関する研究／名城大学［学］橋本 達・鈴木 温
Ⅳ-130　都市構造の分析を前提とした空き家広域推定に関する基礎的検討／摂南大学［学］小野 裕基・熊谷 樹一郎・松田 優花
Ⅳ-131　空間的な集積状態の特性に着目した植生分布の変遷の把握／摂南大学［学］東中 一晃・熊谷 樹一郎・植松 恒
Ⅳ-132　水害対策と一体となったまちづくりに関する調査／都市再生機構［正］曽根 真理・鈴木 康嗣・宇津木 和弘
Ⅳ-133　過疎市町村における道の駅の拠点性／福井大学［正］川本 義海・鈴木 翔平
Ⅳ-134　地域住民の意識調査に基づく道の駅の利用促進と地域貢献への取組み／西日本高速道路エンジニアリング四国［正］高畑 東志明・橋本 和明・松田 靖博

■都市・地域計画(3) ／10:40〜12:00／泊 尚志(東北工業大学)

Ⅳ-135　健康まちづくりを目指す地区のマネジメントと市域への展開の方向性／関西大学［学］北村 良太・北詰 恵一・小西 季衣
Ⅳ-136　健康まちづくりを意図した都市健康度に関する要因分析／関西大学［正］井ノ口 弘昭・秋山 孝正
Ⅳ-137　移動販売サービスの導入による都市中心部への外出頻度の変化に関する基礎的研究／和歌山工業高等専門学校［学］湊 絵美・伊勢 昇・櫻井 祥之
Ⅳ-138　財・サービスの多様性を考慮した生活必需品に関するアクセシビリティ評価／名城大学［学］鈴木 宏幸・鈴木 温
Ⅳ-139　ノルウェー王国・スタヴァンゲル市街地にみる歩行者空間の実態／大阪工業大学［学］矢延 徹也・田中 一成・吉川 眞
Ⅳ-140　まちづくり活動の活性化に向けた仕掛けづくりに関する一考察／国土開発センター［正］稲田 裕介・辰野 肇・佐賀 厚志

第Ⅴ部門　土木材料、舗装工学、コンクリート工学、コンクリート構造、木材工学など

V-1（C棟C305教室）／9月7日(水)

■アスファルト系舗装(1)　／9:00〜10:20／佐々木 巌(土木研究所)

V-001　長期供用劣化したアスファルトのDSRによる評価／東亜道路工業［正］小林 真依・村山 雅人・平戸 利明
V-002　コンクリート床版の劣化損傷対策としての基層用アスファルト混合物の検討／土木研究所 寒地土木研究所［正］星 卓見・丸山 記美雄・木村 孝司
V-003　走査電子顕微鏡(SEM)による道路砕石の評価／東亜道路工業［正］小林 亜湖・平戸 利明・村山 雅人
V-004　耐水性向上を目指したアスファルト安定処理上層路盤の配合検討／西日本高速道路［正］松本 大二郎・岩本 淳治・橘 竜瞳
V-005　HWT試験を用いた高耐流動性混合物の評価／技術研究所［正］朴 希眞・常松 直志・遠藤 桂
V-006　温度変化に伴うポリマー改質アスファルト中のSBS分散状態と物性についての一考察／昭和シェル石油［正］野口 健太郎・瀬尾 彰
V-007　プラントミックスタイプの改質アスファルトIII型-Wの開発／大有建設［正］今井 宏樹・小森 秀之助

■アスファルト系舗装(2)　／10:40〜12:00／田中 敏弘(高速道路総合技術研究所)

V-008　フェロニッケルスラグ細骨材によるアスコンの塑性流動抵抗性の向上効果／長岡技術科学大学［正］高橋 修・渡邊 舞花
V-009　NAT-ITSM試験方法に基づくアスファルト混合物の締固め度—温度—スティフネスの関係／NIPPO［正］渡邉 真一・尾本 志展・向後 憲一
V-010　わが国のアスファルト混合物における室内疲労曲線に関する実験的検討／NIPPO［正］白井 悠・尾本 志展・向後 憲一
V-011　アスファルトバインダの化学性状に対する紫外線劣化の影響／土木研究所［正］川島 陽子・新田 弘之・西崎 到
V-012　重交通路線のひび割れ抑制に着目した特殊改質アスファルトの開発／大成ロテック［正］紺野 路登・水野 孝浩・日浦 裕志
V-013　簡易型RI密度計を用いたアスファルト混合物の密度測定に関する検討／鹿島道路［正］佐藤 文洋・鎌田 修・横田 慎也
V-014　積雪寒冷地における空港舗装のブリスタリング対策に関する一考察／土木研究所寒地土木研究所［正］安倍 隆二・木村 孝司・上野 千草

■セメント系舗装／15:20〜16:40／青木 政樹(大成ロテック)

V-015　積雪寒冷地における既設コンクリート舗装の破損および補修の現状／土木研究所寒地土木研究所［正］磯田 卓也・上野 千草・安倍 隆二
V-016　コンクリート舗装版の開削調査について／東日本高速道路［正］湯下 義弘・尾関 淳・佐藤 正和
V-017　舗装コンクリートのダレ試験に関する検討／土木研究所［正］森濱 和正・加藤 祐哉・勝畑 敏幸
V-018　製鋼スラグと海水を使用した舗装用硬練りコンクリートの配合検討／大林道路［正］下舘 鎮・新村 亮・林 正宏
V-019　各種粗骨材を用いた舗装コンクリートの材料分離抵抗性に関する検討／土木研究所［正］加藤 祐哉・森濱 和正・古賀 裕久
V-020　C-S-H系早強剤の舗装コンクリートへの適用検討／BASFジャパン［正］小山 広光・大野 誠彦・佐藤 勝太
V-021　トンネル内コンクリート舗装の表面成分と摩擦抵抗に関する一考察／土木研究所［正］井谷 雅司・上野 千草・磯田 卓也

■リサイクル(舗装)　／17:00〜18:20／五伝木 一(鹿島道路)

V-022　積雪寒冷地におけるアスファルト再生骨材の圧裂係数による品質管理に関する一考察／土木研究所寒地土木研究所［正］上野 千草・安倍 隆二・木村 孝司
V-023　再生合材に関する一検討／昭和シェル石油［正］佐野 昌洋・瀬尾 彰
V-024　再生用添加剤を用いた劣化アスファルトの再生方法に関する研究／［学］本山 正樹・中村 健
V-025　再生用添加剤の違いが繰り返し再生された混合物の疲労抵抗性に及ぼす影響／日本大学［学］松本 康節・加納 陽輔・加納 孝志
V-026　旧アスファルトの性状に基づいた再生混合物の疲労破壊抵抗性の推定／長岡技術科学大学［正］中村 健
V-027　土系舗装の竹チップによる防草効果の検討／福岡大学［正］古賀 千佳嗣・佐藤 研一・藤川 拓朗
V-028　セメントを使用しない大粒径再生AE路盤の検討／日本貨物鉄道［正］大茂 知資・梅森 悟史・真鍋 和則

V-1（C棟C305教室）／9月8日(木)

■維持・修繕(舗装)(1)　／9:00〜10:20／増戸 洋幸(東亜道路工業)

V-029　浸透型クラックシール材と浸透型補修工法を併用した予防的維持修繕／西日本高速道路［正］洲崎 尚樹・本松 資朗・上坂 憲一
V-030　阪神高速道路の舗装補修工事における高度化した補修設計の妥当性検証／阪神高速道路［正］篠田 隆作・岡本 信也・尾幡 佳徳
V-031　浸透型補修工法による既設高機能舗装Ｉ型の骨材飛散抵抗性の改善効果の検討／西日本高速道路［正］下清水 秀則・本松 資朗・上坂 憲一
V-032　Q値と機械Impedanceによるアスファルト混合物の非破壊評価に関する基礎的研究／鹿島道路［正］嶋田 誠文・五伝木 一・坂本 康文
V-033　非破壊試験機によるアスファルト混合物の評価に向けた取り組み／鹿島道路［正］五傳木 一・嶋田 誠文・坂本 康文
V-034　厚層施工における中温化技術による施工時間短縮効果／西日本高速道路［正］竈本 武弘・小林 安弘・大藤 貴也
V-035　特殊改質アスファルト混合物のリフレクションクラック抑制効果に関する検討／前田道路［正］松本 健太郎・久保田 純司・高 謙

■維持・修繕(舗装)(2)　／10:40〜12:00／渡邉 一弘(土木研究所)

V-036　占用復旧箇所の早期破損要因に関する検討／土木研究所［正］岩永 真和・寺田 剛・久保 和幸
V-037　供用10年経過した遮水型排水性舗装の追跡調査結果／東亜道路工業［正］増戸 洋幸・塚本 真也・栗田 裕樹
V-038　平板載荷試験による変形係数推定の試み／日本貨物鉄道［正］大熊 佑治・白田 幸忠・上浦 正樹
V-039　寒冷地での作業性改善を目的とした全天候型常温合材の開発／三井住建道路［正］深町 淳・浅倉 正勝・小野 洋
V-040　アスファルト舗装におけるひび割れ深さ推定手法の検討／東日本高速道路［正］畠山 仁・千坂 俊治・公平 学
V-041　高たわみ性SMAを用いた改良型埋設ジョイントの耐久性評価／［正］石井 亜也加・尾幡 佳徳・木下 孝樹
V-042　レーザーを用いた路面ひび割れ計測システムとひび割れ情報の見える化について／ネクスコ・エンジニアリング東北［正］高橋 基夫・公平 学・畠山 仁

V-1（C棟C305教室）／9月9日(金)

■構造評価(舗装)　／9:00〜10:20／竹内 康(東京農業大学)

V-043　アスファルト舗装内の空洞がFWDたわみに及ぼす影響／国土技術政策総合研究所［正］坪川 将丈・河村 直哉・竹高 麗子
V-044　移動式たわみ測定装置(MWD)の測定精度に関する検討／土木研究所［正］若林 由弥・寺田 剛・久保 和幸
V-045　逆解析手法の違いが舗装の寿命評価に与える影響／東京農業大学［正］川名 太・竹内 康・小梁川 雅
V-046　地中探査レーダを用いた舗装構造物調査に関する一検討／東亜道路工業［正］設楽 直柔・塚本 真也・松山 友彦
V-047　舗装計測用小型FWDの計測値の考察／福井県建設技術センター［正］三田村 文寛
V-048　舗装の早期劣化区間の構造調査／国土技術政策総合研究所［正］東 拓生・藪 雅行・石原 佳樹
V-049　赤外線カメラを用いたポットホール事前検知技術に関する基礎検討／土木研究所寒地土木研究所［正］丸山 記美雄・星 卓見・木村 孝司

■舗装一般(1)　／10:40〜12:00／川名 太(東京農業大学)

V-050　タイヤ／路面接地応力分布による路面テクスチャの評価に関する検討／土木研究所［正］川上 篤史・久保 和幸・石垣 勉
V-051　ジョン・Ｆ・ケネディ国際空港におけるEMASの導入状況について／港湾空港総合技術センター［正］島田 伊浩・八谷 好高

V-052　勾配ゼロホームに用いるメンテナンスが容易な舗装材の開発／東日本旅客鉄道［正］三木 孝則・吉田 一・高橋 泰之
V-053　ホイールトラッキング試験条件が動的安定度に与える影響／東亜道路工業［正］松井 伸頼・寺田 剛
V-054　既設RC床版上に施工する塗膜系防水層（アスファルト加熱型）の性能評価／阪神高速道路［正］谷口 惺・篠田 隆作・小坂 崇
V-055　北海道型SMAの路面テクスチャが凍結路面の生成に与える影響に関する研究／土木研究所寒地土木研究所［正］田中 俊輔・安倍 隆二・武市 靖
V-056　供試体厚さ及び混合物種類が圧裂試験に及ぼす影響についての一検討／鹿島道路［正］田口 翔大・篠田 隆作・久利 良夫

■舗装一般（2）／15:20～16:40／佐藤 研一（福岡大学）
V-057　各種副産物を骨材としたアスファルト舗装の国道28号における試験施工結果／奥村組［正］藤森 章記・山田 優・佐野 正典
V-058　き裂長さによるアスファルト混合物の疲労特性評価／群馬高専［学］柳井 悠也・木村 清和・高橋 修
V-059　途上国における過積載の実態と舗装／国際協力機構［正］田中 顕士郎・古木 守靖・今野 啓悟
V-060　路床の締固め状態を評価できる簡易な測定方法の検討／土木研究所［正］寺田 剛・近藤 益央・岩永 真和
V-061　歩行者系舗装の硬さと筋電位の関係／東亜道路工業［正］野尻 大祐・多田 悟士・鬼塚 信弘
V-062　歩行者系舗装路面のすべり抵抗性と下腿筋電の関係／東亜道路工業［正］三上 晃寛・多田 悟士・鬼塚 信弘
V-063　遊具からの落下に対する舗装の安全性評価について／大成ロテック［正］青木 政樹・布施 達弘・竹内 康

V-2（C棟C306教室）／9月7日（水）

■木材・木質材料／9:00～10:20／三村 佳織（兼松日産農林）
V-064　CLTを用いた短支間木橋の開発（4）／秋田県立大学［正］中村 昇
V-065　架設後5年経過した木製トラス橋の移設／函館高専［正］平沢 秀之・戸沼 淳
V-066　既設橋台における木杭基礎の使用事例／ジェイアール総研エンジニアリング［正］木村 礼夫・矢野 哲郎・大林 宏也
V-067　盛土荷重を受ける鉛直排水材を併用した丸太筏—列杭複合基礎の周辺地盤の変形抑制効果／佐賀大学［正］末次 大輔・佐々木 ジン
V-068　既設戸建住宅の基礎に丸太を連結する液状化対策に関する振動台実験／福井工業高等専門学校［正］吉田 雅穂・塚本 湧正・三輪 滋
V-069　ピロディンによる測定値と木材含水率の関係についての一斉試験／港湾空港技術研究所［正］山田 昌郎・原 忠・水谷 羊介
V-070　18年経過したボールジョイント型木製トラス歩道橋の健全度調査／金沢工業大学［F］本田 秀行

■木材利用／10:40～12:00／木村 礼夫（ジェイアール総研エンジニアリング）
V-071　潮位変動の影響を受けた杭出し水制工に関する調査研究（その1.調査地点の概要と健全度評価）／［正］三村 佳織・原 忠・小林 かなほ
V-072　潮位変動を受けた杭出し水制工に関する調査研究（その2. 設置環境と健全度）／［学］小林 かなほ・原 忠・三村 佳織
V-073　潮位変動の影響を受けた杭出し水制工に関する調査研究（その3.使用樹種の合理的利活用に関する検討）／森林総合研究所［正］加藤 英雄・原 忠・三村 佳織
V-074　漁港岸壁のLP-LiCによる耐震補強工事の事例／飛島建設［F］三輪 滋・沼田 淳紀・村田 拓海
V-075　漁港岸壁のLP-LiCによる耐震補強工事における炭素貯蔵効果／飛島建設［正］村田 拓海・沼田 淳紀・三輪 滋
V-076　大規模分譲住宅地におけるLP-LiCによる炭素貯蔵効果／飛島建設［正］沼田 淳紀・村田 拓海・飯田 達夫
V-077　木製水車を利用したマイクロ水力発電による地域活性化の事例／安藤ハザマ［正］池田 穣・石井 真人

■舗装材料（1）／15:20～16:40／丸山 記美雄（土木研究所）
V-078　土工部舗装の遮水性向上を目指した配合設計に関する一考察／東日本高速道路［正］加藤 亮・山田 雄太・大庭 健太郎
V-079　劣化による各種アスファルト乳剤系表面処理工法用材料の化学的性状変化／東亜道路工業［正］新井 崇史・浅井 康弘
V-080　摩耗抵抗性に優れる景観舗装用一液水性アクリル樹脂塗料の開発／東亜道路工業［正］谷知 尚之・多田 悟士
V-081　応力緩和を考慮した直接引張試験によるアスコンのひび割れ抵抗性評価に関する検討／長岡技術科学大学［学］小林 龍平・高橋 修
V-082　ねじり骨材飛散試験機を用いたグルービングの安定性評価／国土技術政策総合研究所［正］河村 直哉・坪川 将丈・竹高 麗子
V-083　マイクロバブル型フォームドアスファルト混合物の作業性に関する一検討／世紀東急工業［正］村井 宏美・小柴 朋広・伊藤 大介
V-084　竹廃材を混入した土系舗装の性能指標に及ぼす配合条件の影響／日本大学［学］伊藤 友哉・山中 光一・峯岸 邦夫

■舗装材料（2）／17:00～18:20／河村 直哉（国土技術政策総合研究所）
V-085　回転粘度計による中温化アスファルトの作業性評価／鹿島道路［正］田中 絵里・芳賀 潤一・五傳木 一
V-086　アスファルトの4成分が劣化後のバインダ性状に与える影響に関する一検討／ニチレキ［正］細木 渉・丸山 陽・南部 貴則
V-087　主材料の異なる土系舗装の凍結融解特性（その1）／信州大学［学］川田 幸広・河村 隆・梅崎 健夫
V-088　主材料の異なる土系舗装の保水および吸水特性（その1）／信州大学［正］河村 隆・梅崎 健夫・矢島 美紀
V-089　廃タイヤ焼却灰によるアスファルト混合物の紫外線劣化抑性効果／福岡大学［学］西 将太郎・佐藤 研一・藤川 拓朗
V-090　インドネシア産天然アスファルトを用いたグースアスファルト混合物の性状について／大成ロテック［正］平川 一成・川上 篤史・佐々木 厳
V-091　舗装用蓄光塗料の路面への適用性と効果の検討／日本道路［正］川上 聖・焼山 明生・越智 正行

V-2（C棟C306教室）／9月8日（木）

■路面評価（1）／9:00～10:20／郭 慶煥（前田道路）
V-092　滑走路舗装における劣化予測モデルの構築／東京都市大学［学］秋元 宏仁・末政 直晃・伊藤 和也
V-093　スマートフォンによる舗装診断技術の有効性検証／富士通交通・道路データサービス［正］佐々木 博
V-094　平たん性指標の特性について／高速道路総合技術研究所［正］江口 利幸・田中 裕士
V-095　路面由来の精神疲労評価における心拍変動指標の有効性と時間依存性の検証／北見工業大学［正］富山 和也・川村 彰
V-096　光切断法による路面形状データを活用した新たな路面評価法の検討／西日本高速道路エンジニアリング四国［正］山本 達哉・橋本 和明・松田 靖博
V-097　路面特性の違いによるタイヤ／路面騒音の評価指標に関する検討／鹿島道路［正］岡部 俊幸・大嶋 智彦・渡邉 一弘
V-098　東名高速道路における路面性状から見た健全度評価／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋［正］高井 健志・中村 康広・山田 雄太

■路面評価（2）／10:40～12:00／富山 和也（北見工業大学）
V-099　遮熱性舗装のはがれ面積率の測定方法に関する一検討／東亜道路工業［正］普天間 太・塚本 真也・増戸 洋幸
V-100　車載した高速レーザ変位計による「きめ深さ」の測定事例／東亜道路工業［正］桑島 直矢・塚本 真也・普天間 太
V-101　コンクリート舗装の損傷度合いの評価におけるIRI適用性に関する検討／国土技術政策総合研究所［正］石原 佳樹・藪 雅行・東 拓生
V-102　COMPARISON STUDY OF ROAD ROUGHNESS CONDITIONS BETWENN DIFFERENT TWO CITIES／北見工業大学［学］Abulizi NUERAIHEMAITIJIANG・富山 和也・川村 彰
V-103　VIZIROADを用いたルワンダの国道アスファルト舗装の損傷実態と課題に関する研究／横浜国立大学［学］末原 皐多・早野 公敏・NYIRIMANZI DavidRTDA
V-104　中長距離走時にランナーに発生する加速度の方向を考慮した舗装評価に関する実験的研究／中央大学［学］藤田 紗月・姫野 賢治・前川 亮太
V-105　舗装路面の撮影画像を用いた路面性状の評価結果／大成ロテック［正］水野 孝浩・城本 政一・奥谷 敏雄

V-2（C棟C306教室）／9月9日（金）

■短繊維コンクリート（1）／9:00～10:20／熊野 知司（摂南大学）
V-106　高温下における短繊維補強コンクリートの曲げ特性に関す

る研究／岐阜大学［学］仲野 弘識・末森 寿志・守田 貴昭
V-107 超高強度鋼繊維補強コンクリートにおける繊維の配向性が曲げ性能に与える影響／筑波大学［学］山田 大・渡邉 啓介・橋本 裕子
V-108 超高強度鋼繊維補強コンクリートにおける繊維の配向性と架橋則の関係／筑波大学［正］金久保 利之・橋本 裕子・山田 大
V-109 超高強度鋼繊維補強コンクリートにおける繊維の配向性を考慮した曲げ性能の評価／筑波大学［学］橋本 裕子・山田 大・八十島 章
V-110 繊維補強コンクリート中の繊維の配向に及ぼす流動性の影響／岐阜大学［学］石河 義希・河村 有紀・周 波
V-111 超高強度繊維補強コンクリート中の繊維の配向と曲げ破壊挙動の関係の検討／岐阜大学［学］河村 有紀・石河 義希・周 波
V-112 RC床版補修・補強材料としての超緻密高強度繊維補強コンクリートの材料物性に関する研究／長崎大学［学］岩本康平・松田 浩・森田 千尋

■短繊維コンクリート(2) ／10:40～12:00／橋本 紳一郎(福岡大学)
V-113 繊維径および繊維長がUFCのフレッシュ性状および硬化性状に与える影響／宇部興産［正］玉滝 浩司・吉田 浩一郎・藤野 由隆
V-114 コンクリートの諸物性に与えるポリプロピレン短繊維の添加効果／萩原工業［正］室賀 陽一郎・森宗 義和・大島 章弘
V-115 ポリマーを混入した繊維補強超速硬セメントコンクリートの基礎的研究／豊田工業高等専門学校［正］河野 伊知郎・中根 康智・須田 裕哉
V-116 バサルト短繊維混入コンクリートの破壊挙動と繊維混入率の関係／名城大学［学］梶浦 拓馬・岩下 健太郎・佐原 慎司
V-117 高強度繊維補強モルタル製埋設型枠の断面補修に関する基礎的検討／鹿島建設［正］渡邊 有寿・大井 篤・本田 智昭
V-118 繊維長と繊維混入量の違いによるFRCCの力学特性に関する研究／岐阜大学［学］守田 貴昭・仲野 弘識・周 波
V-119 繊維配向性を考慮した架橋側モデルに基づくDFRCCの曲げ性状の評価／筑波大学［学］大圖 友梨子・渡邉 啓介・金久保 利之

V-3（C棟C307教室）／9月7日(水)

■混和材(1) ／9:00～10:20／小川 由布子(広島大学)
V-120 多成分の結合材で構成される低炭素型のコンクリートの施工事例／前田建設工業［正］白根 勇二・太田 健司・宮原茂禎
V-121 環境配慮コンクリートによる二次製品工場のスラブ施工／大成建設［正］宮原 茂禎・大脇 英司・中村 英佑
V-122 環境配慮コンクリートの凍結融解抵抗性に空気連行剤が与える影響について／大成建設［正］岡本 礼子・大脇 英司・宮原 茂禎
V-123 高炉スラグ微粉末を高含有したコンクリートの凍結融解抵抗性に与える湿潤養生期間と空気量の影響／西松建設［正］椎名 貴快・土師 康一・中村 英佑
V-124 高炉スラグ微粉末高含有コンクリートの収縮特性に関する検討／戸田建設［正］新谷 岳・土師 康一・田中 徹
V-125 高炉スラグ骨材を用いた低炭素型のコンクリートの5年暴露後の表層品質評価／大林組［F］竹田 宣典・桜井 邦昭
V-126 高炉セメントにメタカオリン含有人口ポゾランを混合したコンクリートの海洋環境下での耐久性に関する基礎的検討／鹿児島大学［学］里山 永光・武若 耕司・山口 明伸

■混和材(2) ／10:40～12:00／竹田 宣典(大林組)
V-127 各種低発熱型セメントを使用したコンクリートの塩化物イオン拡散係数について／北海道電力［正］毛馬内 学・齋藤 敏樹・森 大祐
V-128 混和材を用いたコンクリートの促進中性化後の塩化物イオン浸透／土木研究所［正］中村 英佑・栗原 勇樹・古賀 裕久
V-129 炭酸化を受ける高炉セメントペーストの空隙構造と組成変化／太平洋セメント［正］河野 克哉・朴 チョル・多田 克彦
V-130 同一水和度の硬化体における高炉スラグ微粉末混入が乾燥収縮に与える影響／芝浦工業大学［学］太田 真帆・原沢蓉子・伊代田 岳史
V-131 内部養生を模擬した水分供給がフライアッシュセメントペーストの細孔構造および水酸化カルシウム量に与える影響／広島大学［正］小川 由布子・BUI P. Trinh・半井 健一郎
V-132 マスコンクリート構造物の温度ひび割れ制御におけるフライアッシュコンクリートの初期物性について／電源開発［正］石川 嘉崇・野嶋 潤一郎・溝渕 利明
V-133 フライアッシュ混合セメントに関する複合水和発熱モデルの高度化検討／大成建設［正］木ノ村 幸士・石田 哲也

■混和材(3) ／15:20～16:40／鷲尾 朝昭(電源開発)
V-134 フライアッシュのポゾラン反応に及ぼす養生温度履歴の影響／鉄道建設・運輸施設整備支援機構［正］神越 俊基・梅村 靖弘・佐藤 正己
V-135 供試体の製作方法と養生条件がフライアッシュコンクリートの強度発現に与える影響／鉄道総合技術研究所［正］三倉 寛明・笠倉 亮太・渡辺 健
V-136 早強性・低収縮を両立したコンクリートの基礎的性状／住友大阪セメント［正］宮薗 雅裕・亀島 博之・横関 康祐
V-137 フライアッシュを添加した高強度コンクリートのフレッシュ性状と初期強度に関する検討／富山県立大学［正］伊藤 始・栗山 浩・窪田 一沙
V-138 フライアッシュを用いたコンクリートの各種物性試験／北海道電力［正］関口 雄介・佐久間 清文・宮田 佳和
V-139 高品質化したフライアッシュのコンクリート混和材としての利用に関する基礎的研究／松江工業高等専門学校［正］周藤 将司・高田 龍一・江木 敏雄
V-140 産地の異なるフライアッシュを混合した中庸熱フライアッシュセメントのダム用コンクリートへの適用に関する検討／宇部三菱セメント［正］田中 純一・住吉 正浩・林 健司

■混和材(4) ／17:00～18:20／宮原 茂禎(大成建設)
V-141 クリンカー鉱物組成がフライアッシュセメントの諸特性に及ぼす影響／足利工業大学［学］趙 騰・宮澤 伸吾・坂井悦郎
V-142 浮遊選鉱法により洗浄したフライアッシュのコンクリート混和材としての評価／中国電力［正］松尾 暢・江木 俊雄・渡辺 勝
V-143 フライアッシュを使用した裏込め充填材について／北海道電力［正］開 洋介・関谷 美智・齋藤 敏樹
V-144 コンクリート殻を骨材とした産業副産物を用いた硬化体の基礎物性／電源開発［正］石川 学・石川 嘉崇・鷲尾 朝昭
V-145 厳しい劣化環境下における高耐久床版の施工方法検討／大林組［正］森澤 海里・岩城 一郎・石田 哲也
V-146 C-S-H系早強剤を使用したフライアッシュコンクリートの低温環境下におけるフレッシュ性状および初期硬化性状／BASFジャパン［正］井元 晴丈・作榮 二郎・田中 泰司
V-147 C-S-H系早強剤を用いたフライアッシュコンクリートの冬期施工性の評価／大林組［正］榊原 直樹・焼田 聡・田中泰司

V-3（C棟C307教室）／9月8日(木)

■セメント科学・混和剤(1) ／9:00～10:20／西 祐宜(フローリック)
V-148 硫酸濃度の異なる溶液がセメント硬化体に作用したときの二次鉱物の生成に及ぼす影響／東北大学［学］國嶋 康平・宮本 慎太郎・皆川 浩
V-149 C-S-H系早強剤を用いた早強コンクリートの断熱温度上昇特性／BASFジャパン［正］小泉 信一・井元 晴丈・大野誠彦
V-150 C-S-H系早強剤の添加方法に関する実験的検討／BASFジャパン［正］佐藤 勝太・小泉 信一・井元 晴丈
V-151 C-S-H系早強剤を多量に添加したコンクリートの養生条件の違いによる強度発現性／BASFジャパン［正］作榮 二郎・井元 晴丈・小山 広光
V-152 C-S-H系早強剤を用いたモルタルの長期強度に及ぼす蒸気養生の影響／東海大学［学］上村 将吾・中嶋 望・小山 広光
V-153 促進剤を添加したモルタルの促進熱養生における強度発現性に関する研究／日本大学［正］佐藤 正己・入江 正明・梅村 靖弘
V-154 モルタルの初期強度発現に及ぼす養生温度の影響／東海大学［学］中嶋 望・上村 将吾・丸山 貴吉

■混和剤(2) ／10:40～12:00／佐藤 正己(日本大学)
V-155 超高強度コンクリート用新規高性能減水剤の練混ぜ時間短縮効果／BASFジャパン［正］大野 誠彦・佐藤 勝太・小山 広光
V-156 流動性を長時間保持しコールドジョイントの発生を防止できるコンクリートの開発／大林組［正］桜井 邦昭・平田隆祥
V-157 超遅延剤を用いたコンクリートの品質確認試験に関する報告／安藤・間［正］新居 秀一・白岩 誠史・古城戸 浩隆
V-158 界面活性剤系増粘剤によるセメントペーストの状態改良お

よびブリーディング抑制効果／フローリック［正］西 祐宜・松沢 友弘・森本 孝敏
V-159　高炉セメント、フライアッシュを使用したコンクリートへの新規収縮低減剤の適用／日本触媒［正］正長 眞理・名和 豊春
V-160　高炉スラグ微粉末を高混入したモルタルのひび割れ閉塞状況の観察／東京都市大学［学］渡邉 和貴・福田 和世・栗原 哲彦

V-3（C棟C307教室）／9月9日（金）

■評価・試験方法／9:00〜10:20／古賀 裕久（土木研究所）
V-161　原コンクリートのAE剤有無を判定するための液化窒素による簡易試験方法の開発／徳島大学［学］青江 匡剛・石丸 啓輔・橋本 親典
V-162　コンクリートの圧縮強度試験におけるペーストキャッピングの有効性と適用限界／足利工業大学［正］松村 仁夫・黒井 登起雄
V-163　PAE系ポリマーセメントモルタルのフロー値とミニスランプ値との関係／前田工繊［正］大久保 誠・辻 総一朗・中井 裕司
V-164　外観観察によるコンクリート用表面処理材の定量的評価方法の検討／大旺新洋［正］橋村 茂雄・下村 昭司・横井 克則
V-165　画像相関法を用いた耐アルカリ性ガラス繊維ネットによる収縮ひずみ分散効果の評価／太平洋セメント［正］内田 雅隆・早野 博幸・江里口 玲
V-166　橋梁用ゴム支承に用いられるワックスの低温特性とオゾン劣化への影響／化学物質評価研究機構［正］岩瀬 由佳・進藤 徹・近藤 寛朗

■クリープ・収縮／10:40〜12:00／伊代田 岳史（芝浦工業大学）
V-167　載荷材齢7日におけるFAコンクリートの引張クリープ特性／呉工業高等専門学校［学］山田 浩司・三村 陽一・堀口 至
V-168　高炉セメントを用いたコンクリート構造物の乾燥収縮・クリープ評価に関する一考察／東日本旅客鉄道［正］東畑 永人・田附 伸一
V-169　膨張材と収縮低減剤を併用したコンクリートの収縮特性／太平洋マテリアル［正］長塩 靖祐・竹下 永造・佐竹 紳也
V-170　ラテックス改質速硬コンクリートの自己収縮特性評価／太平洋セメント［正］井口 舞・兵頭 彦次・郭 度連
V-171　練り混ぜ水の一部を超吸水性ポリマーにより置換したセメントペーストの自己収縮挙動／金沢大学［学］山崎 健仁・五十嵐 心一
V-172　分割施工RC高架橋の収縮によるひび割れ対策の検証 その1／東日本旅客鉄道［正］上浦 健司・竹谷 勉・堀口 直行
V-173　分割施工RC高架橋の収縮によるひび割れ対策の検証 その2／前橋工科大学［学］堀口 直之・谷口 望・上浦 健司

■ひび割れ／15:20〜16:40／谷口 秀明（三井住友建設）
V-174　新仙台火力発電所PC-LNG地上タンクのコンクリートの温度ひび割れ対策の有効性評価／清水建設［正］佐山 貴宏・和田 宙司・相澤 伸幸
V-175　熱・水分移動および硬化過程を考慮したRBSMによるRC部材のひび割れ進展挙動解析／名古屋大学［学］杉本 啓太・山本 佳士・中村 光
V-176　静的破砕材を用いた鉄筋腐食ひび割れの模擬に関する基礎的研究／筑波大学［学］藻川 哲平・金久保 利之・八十島 章
V-177　鉄筋腐食によるひび割れを模擬したコンクリートの圧縮性能に関する基礎的検討／［正］村井 凌・藻川 哲平・金久保 利之
V-178　地下トンネルの補修後再漏水に関する実験的検証／NTT［正］石川 琢也・川端 一嘉・出口 大志
V-179　注入状況の確認が可能なひび割れ注入シールテープの開発／ニチバン［正］勝野 晃宏・市村 周二・前田 敏也
V-180　微生物を用いたコンクリートのひび割れ修復技術の開発／埼玉大学［学］川名 梨香子・房 捷・欒 尭

V-4（C棟C401教室）／9月7日（水）

■新材料 新工法（1）／9:00〜10:20／三田 勝也（佐賀大学）
V-181　充填用ポリマーセメントモルタルの基本物性／太平洋マテリアル［正］佐竹 紳也・山田 尚之・神頭 峰磯
V-182　充填用ポリマーセメントモルタルの施工性／日本車輌製造［正］山田 尚之・神頭 峰磯・佐竹 紳也
V-183　一液型ウレタンエラストマー防水・止水材／東邦化学工業［正］鶴岡 紫郎・長谷川 清志・小川 普史
V-184　高分子系増粘剤の種類がおよぼすセメントペーストの流動特性の影響／デイ・シイ［正］二戸 信和・長橋 秀一
V-185　セルロースエーテルを添加した二液性可塑状グラウトの基礎的研究／信越化学工業［正］小西 秀和・山川 勉
V-186　超速硬コンクリートの伸縮装置後打ち部適用に関する研究／IHIインフラシステム［正］戸田 勝哉・岸田 政彦・高尾 智之
V-187　ラテックス混和量がラテックス改質速硬コンクリートの基礎物性に及ぼす影響／太平洋マテリアル［正］山中 俊幸・郭 度連・李 春鶴

■新材料 新工法（2）／10:40〜12:00／細田 暁（横浜国立大学）
V-188　熱可塑性樹脂シートがコンクリートの外観に与える影響／鹿島建設［正］高浦 雄貴・芦澤 良一・藤岡 彩永佳
V-189　発泡スチロールによるコンクリートの保温養生効果に関する検討／［正］内田 典男・豊増 隆敏・取違 剛
V-190　滑落角と相互作用エネルギーを用いたコンクリート表面気泡の抑制効果の評価／清水建設［正］依田 侑也・辻埜 真人・齊藤 亮介
V-191　反応型けい酸塩系表面含浸材の物質透過性に及ぼす添加剤と補助剤の影響／［学］増田 旬之介・宮里 心一・高島 達行
V-192　炭素粉末と発泡ビーズを添加したモルタルの電磁波遮蔽性の評価に関する研究／村本建設［正］檜田 篤志・髙井 伸一郎・熊野 知司
V-193　電気泳動試験による塩分吸着剤を混入したモルタルの塩分吸着効果の検証／日本国土開発［正］千賀 年浩・山内 匡・横山 大輝
V-194　ラテックスの混和量がラテックス改質速硬コンクリートの物質透過性に及ぼす影響／太平洋マテリアル［正］郭 度連・鹿嶋 大智・李 春鶴

■新材料 新工法（3）／15:20〜16:40／李 春鶴（宮崎大学）
V-195　高安定性アスファルト混合物を用いた厚層打換え工法の施工事例／東亜道路工業［正］松下 裕弥・佐藤 正和・鈴木 貴洋
V-196　冬季における水性防食塗料による鋼道路橋の塗替え塗装／大日本塗料［正］桑原 幹雄・尾田 光・中山 俊彦
V-197　養生期間の異なる実規模試験体を対象とした各種非破壊試験による評価についての一考察／鹿島建設［正］藤岡 彩永佳・柿本 啓太郎・温品 達也
V-198　種々の結合材を用いた実規模柱における長期養生効果／鹿島建設［正］温品 達也・渡邉 賢三・子田 康弘
V-199　FRP製車両用通路のモニタリング（続報）／［正］小沼 恵太郎・西田 雅之・江口 修二
V-200　紫外線照射で構造物のひび割れを発光させ検出する塗装塗膜／プラナスケミカル［正］高橋 康一
V-201　発光型ひび割れ検出塗膜の気体透過性と検出感度に関する検討／土木研究所［正］百武 壮・西崎 到・新田 弘之

■新材料 新工法（4）／17:00〜18:20／川端 雄一郎（港湾空港技術研究所）
V-202　フライアッシュと水酸化ナトリウムで作製するゼオライト硬化体の作製方法と圧縮強度に関する研究／茨城大学［学］小沼 遥佑・木村 亨・沼尾 達弥
V-203　低A/W比、高Si/A比配合のジオポリマーにおける諸特性／鉄道総合技術研究所［正］佐藤 隆恒・上原 元樹・東原 実
V-204　下水汚泥焼却灰を活用したジオポリマーモルタルの基礎的性状に関する研究／日本大学［学］望月 勇樹・伊藤 義也・山口 晋
V-205　シラン系表面含浸剤を用いたジオポリマーの白華対策／大分工業高等専門学校［学］伊藤 隆紘・一宮 一夫・原田 耕司
V-206　ジオポリマー法による環境負荷低減PCまくらぎの試作／安部日鋼工業［正］大木 信洋・東原 実・佐藤 隆恒
V-207　ジオポリマーコンクリートを用いたRCはりの曲げ挙動／九州工業大学［正］合田 寛基・原田 耕司・西崎 丈能
V-208　透明な支承封止材料の開発／ショーボンド建設［正］朝本 康太・小牟禮 建一・山崎 大輔

V-4（C棟C401教室）／9月8日（木）

■補修・補強（材料）（1）／9:00〜10:20／片平 博（土木研究所）
V-209　反応型けい酸塩系表面含浸材の組成の違いがコンクリートの改質効果に与える影響／鹿児島大学［学］畑野 貴洋・武若 耕司・山口 明伸
V-210　けい酸塩系表面含浸材に用いる反応促進材の種類の違いがコンクリートの品質改善に及ぼす影響／福岡大学［学］金堀 雄伍・櫨原 弘貴・添田 政司

V-211　けい酸塩を用いた硫酸劣化に対するコンクリートの保護性能に関する基礎的研究／福岡大学［学］阿部 稜・櫨原 弘貴・添田 政司
V-212　表面含浸材の併用法における塗布量と劣化抑制効果の関係／関西大学［学］三好 孝英・鶴田 浩章・上田 尚史
V-213　表面含浸材の塗布方向による効果の違いについて／飛島建設［正］笠井 和弘・槙島 修
V-214　併用型表面含浸材の施工時間短縮に関する実験的検討／東洋大学［学］石川 健児・福手 勤・酒井 貴洋
V-215　寒冷沿岸域に5年間暴露したけい酸塩系表面含浸材塗布コンクリートの性能評価／寒地土木研究所［正］遠藤 裕丈・島多 昭典

■補修・補強(材料)(2)　／10:40～12:00／櫨原 弘貴(福岡大学)
V-216　配合条件が異なるコンクリートに適用したシラン・シロキサン系表面含浸材の暴露試験／カジマ・リノベイト［正］長谷川 裕介・神谷 由紀・林 大介
V-217　ひび割れ部におけるシラン系含浸材の適用に関する実験的研究／金沢大学［正］久保 善司・阿部 花香・菊池 創太
V-218　ASR劣化状況の違いがシラン系表面含浸材を塗布したコンクリートの水分逸散性能に及ぼす影響／神戸大学［学］川合 将斗・森川 英典・中西 智美
V-219　施工後30年を経過した反応性シラン系表面含浸材の撥水性効果／ショーボンド建設［正］瘧師 英利・山崎 大輔・国枝 稔
V-220　養生日数が温度変化を受ける断面修復箇所の付着強度に与える影響／土木研究所［正］片平 博・古賀 裕久
V-221　表面被覆材と含浸材の塗布面の違いが鉄筋の腐食抑制に及ぼす効果―室内試験―／土木研究所［正］櫻庭 浩樹・熊谷 慎祐・加藤 智丈
V-222　表面被覆材と含浸材の塗布面の違いが鉄筋の腐食抑制に及ぼす効果―屋外暴露試験―／土木研究所［正］加藤 智丈・熊谷 慎祐・櫻庭 浩樹

V-4（C棟C401教室）／9月9日(金)

■補修・補強(材料)(3)　／9:00～10:20／山本 貴士(京都大学)
V-223　積雪寒冷環境に暴露したひび割れ注入供試体の接着耐久性に関する一考察／土木研究所寒地土木研究所［正］内藤 勲・島多 昭典
V-224　下水処理施設における耐硫酸コンクリートの2年間の実環境曝露試験／大成建設［正］上野 恭宏・新藤 竹文・荻野 正貴
V-225　2液混合型注入止水材の性能と地下コンクリート構造物への適用効果／大林組［正］平田 隆祥・片岡 弘安・小川 晴果
V-226　トンネル裏込め充填に用いる可塑状注入材の圧送施工性確認／名工建設［F］伊藤 文彦・峯沢 勝志・杉浦 陽一郎
V-227　実構造物に発生した豆板を模擬した供試体の樹脂注入試験／東日本旅客鉄道［正］佐々木 尚美・小林 薫・赤堀 誠
V-228　実構造物に発生した豆板の内部確認手法を用いた空隙計測結果と考察／ジェイアール東日本コンサルタンツ［正］赤堀 誠・小林 薫・佐々木 尚美
V-229　高密度鋼材配置のコンクリート部材で生じた初期欠陥の補修方法／中日本高速道路［正］野島 昭二・渡邉 晋也

■補修・補強(材料)(4)　／10:40～12:00／山内 匡(日本国土開発)
V-230　床版補強用の炭素繊維シートの曲げ強さ評価に関する一検討／炭素繊維補修・補強工法技術研究会［正］久部 修弘・松井 孝洋・立石 晶洋
V-231　BFRP、AFRPシート接着コンクリートの環境温度変化に伴うひずみ変化挙動／名城大学［正］岩下 健太郎・臼井 史也・山内 匡
V-232　既設RC床板ハンチ部の剥落防止に適用する材料性能／首都高速道路［正］中村 充・牧山 大祐
V-233　超速硬高靱性コンクリートの低弾性化検討／大林組［正］早川 智浩・古川 祐介・室賀 陽一郎
V-234　ポリウレア樹脂によるコンクリート構造物の耐久性向上に関する基礎実験／清水建設［正］久保 昌史・輿石 正己・高梨 和光
V-235　連続炭素繊維シート複合パネルの耐摩耗性および粗度係数の評価／大成建設［正］橋本 理・新藤 竹文・松岡 康訓
V-236　コンクリートの素地調整方法が表面粗さおよび表面被覆材の付着性状に及ぼす影響／東急建設［正］鈴木 将充・前原 聡・早川 健司

■補修・補強(材料)(5)　／15:20～16:40／橋本 勝文(京都大学)
V-237　亜硝酸リチウム系表面含浸材の併用効果に関する基礎的研究／極東興和［正］江良 和徳・大山 省吾・十河 茂幸
V-238　鉄筋腐食の有無の違いが亜硝酸塩の防錆効果に及ぼす影響に関する基礎的研究／福岡大学［学］久保田 崇嗣・櫨原 弘貴・添田 政司
V-239　断面修復材に混和した亜硝酸リチウムがマクロセル腐食に及ぼす影響に関する研究／福岡大学［学］西嶋 大貴・櫨原 弘貴・添田 政司
V-240　塩分吸着剤を配合した防錆材の高性能化による効果／ジェイアール総研エンジニアリング［正］鈴木 昭仁・水野 清・立松 英信
V-241　塩分吸着剤を混入したモルタルの腐食抑制性能の検証／東海大学［学］横山 大輝・千賀 年浩・山内 匡
V-242　叩落し部への応急処置としてエポキシ系防錆剤を用いたマクロセル対策工の提案／金沢工業大学［学］田中 祐貴・宮里 心一・畑中 達郎
V-243　剥がれが生じた表面被覆コンクリートへの塩化物イオン浸透の解析／京都大学［学］中村 慶一郎・松本 理佐・服部 篤史

V-5（C棟C402教室）／9月7日(水)

■エコ・緑化・副産物利用／9:00～10:20／福留 和人(石川工業高等専門学校)
V-244　植栽を目的とした竹繊維混入ポーラスコンクリートの特性／明石工業高等専門学校［学］五藤 圭・辻 知樹・武田 字浦
V-245　ポーラスコンクリートの締固め性にモルタルの流動性が及ぼす影響／太平洋セメント［正］岸良 竜・高橋 英孝・石田 征男
V-246　シラスと廃石こうを有効利用した環境配慮型歩道用透水性舗装材の開発に関する検討／鹿児島大学［学］松永 凌馬・武若 耕司・山口 明伸
V-247　炭酸化したガラス繊維補強パネルの強度特性／鹿島建設［正］関 健吾・横関 康祐・向原 敦史
V-248　ステアリン酸系金属石鹸および爆砕竹繊維を混入したモルタルの物理特性／明石工業高等専門学校［正］武田 字浦・井上 晃祐・澁谷 卓
V-249　路盤用再生骨材の吸水率とプレキャスト製品への適用性について／寒地土木研究所［正］清野 昌貴・吉田 行・島多 昭典
V-250　がらを利用した海水練りプレパックドコンクリートによる防潮堤の試験施工／大林組［F］新村 亮・片野 啓三郎・久田 真

■副産物利用・リサイクル／10:40～12:00／谷村 充(太平洋セメント)
V-251　戻りコンクリートから回収したスラッジ水および上澄水と高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの基礎研究／三和石産［正］宮本 勇馬・大川 憲・笠井 哲郎
V-252　フライアッシュ原粉と銅スラグを併用した消波ブロック用コンクリートの適用性検討／東京電力ホールディングス［正］古川園 健朗・相馬 裕・武井 俊哉
V-253　竹原火力発電所新1号機設備更新工事に用いるコンクリートの耐久性評価に関する報告／電源開発［正］鷲尾 朝昭・石川 嘉崇・石川 学
V-254　木灰と消石灰のみを用いたコンクリートの強度発現／高知工科大学［学］片山 諒辰・大内 雅博・永野 正展
V-255　戻りコンクリートから製造した乾燥スラッジ微粉末の製造方法に関する研究／三和石産［正］大川 憲・宮本 勇馬・青木 真一
V-256　混入条件の違いによるリサイクルナイロン繊維のモルタル補強効果に関する検討／北海道大学［学］海野 太貴・横田 弘・Shanya Orasutthikul
V-257　スラッジ水の高度利用に関する研究―夏期コンクリートにおけるスラッジ水安定剤の性能―／全国生コンクリート工業組合連合会［正］入江 一次・砂田 栄治・伊藤 司

■凍害(1)　／15:20～16:40／林 大介(鹿島建設)
V-258　真空脱水工法を適用した鉛直部材のスケーリング抵抗性に関する研究／清水建設［正］齊藤 亮介・阿部 寛之・田中 ヒロカズ
V-259　積雪寒冷地のダムコンクリートのスケーリング進行予測に関する検討／北海道大学［学］竹田 京子・佐藤 靖彦・長谷川 武春
V-260　新たな非塩化物系凍結防止剤がスケーリング劣化に与える影響／興栄コンサルタント［正］畑佐 陽祐・木下 幸治・蓮池 里菜
V-261　寒冷環境下のコンクリート構造物における塩化物イオンの浸透状況調査／土木研究所 寒地土木研究所［正］川村 浩二・遠藤 裕丈・島多 昭典

V-262　凍害を受けたRCはりのせん断破壊に対する安全性評価／東北大学［正］内藤 英樹・鈴木 基行
V-263　レンガの凍結融解に伴って発生するAEの詳細な分析／北見工業大学［学］宮川 郁朗・中村 大・川口 貴之

■凍害(2)／17:00～18:20／小山田 哲也(岩手大学)

V-264　中空微小球を配合したコンクリートの運搬時間が凍結融解抵抗性に及ぼす影響／デンカ［正］木村 潤市・寺崎 聖一・樋口 隆行
V-265　中空微小球を用いたコンクリートのフレッシュ性状および凍結融解抵抗性の考察／鹿島建設［正］林 大介・高木 英知・橋本 学
V-266　収縮低減剤の使用がセメントペーストの水和反応に及ぼす影響／フローリック［正］松沢 友弘・西 祐宜・胡桃澤 清文
V-267　結合材の種類が高炉スラグ細骨材を用いたコンクリートの凍結融解抵抗性に与える影響／岡山大学［正］藤井 隆史・杉田 篤彦・綾野 克紀
V-268　LPC-FA系コンクリートの耐凍害性に関する基礎研究／八戸工業高等専門学校［学］馬渡 大壮・庭瀬 一仁・藤原 広和
V-269　高吸水性ポリマーを添加したコンクリートの耐凍害性評価／東北大学［学］志藤 暢哉・久田 真・一宮 一夫
V-270　異なる打込み方法が凍結融解抵抗性に与える影響に関する実験的検討／鹿島建設［正］橋本 学・林 大介・柳井 修司

V-5（C棟C402教室）／9月8日(木)

■温度応力(1)／9:00～10:20／白根 勇二(前田建設工業)

V-271　積算温度によるマスコンクリートの圧縮強度推定に関する実務的考察／青木あすなろ建設［正］劉 翠平・坂本 繁一・小川 輝幸
V-272　コンクリートの極若材齢時におけるコンクリートのヤング係数の経時変化／大成建設［正］臼井 達哉・武田 均・村田 裕志
V-273　中庸熱セメントを基材としたスラグ混和コンクリートの温度応力に関する検討／太平洋セメント［正］三谷 裕二・森 寛晃・大野 拓也
V-274　中庸熱セメントを基材としたスラグ混和コンクリートの温度ひび割れ抵抗性評価／太平洋セメント［正］大野 拓也・三谷 裕二・森 寛晃
V-275　大断面1BOX開削トンネルの設計段階における温度ひび割れ検討／ジェイアール西日本コンサルタンツ［正］野村 顕・森山 晃士・福田 圭祐
V-276　ポリプロピレン製ハニカム構造材料のダムフォーム用型枠材への適用に関する検討／鹿島建設［正］水野 浩平・酒井 秀樹・福島 伸二
V-277　コンクリートダムにおける高速施工を利用した温度ひび割れ抑制方法に関する検討／鹿島建設［正］岡山 誠・田代 民治・大内 斉

■温度応力(2)／10:40～12:00／浅本 晋吾(埼玉大学)

V-278　冷温水の通水による温度ひび割れ抑制工法／鹿島建設［正］青山 達彦・柳井 修司・渡邊 有寿
V-279　簡易パイプクーリングによるPC防液堤の温度ひび割れ対策／大成建設［正］木村 利秀・寺岡 匡伸・北郷 徳久
V-280　ダムコンクリートにおける流水養生の水和熱低減効果に関する一考察／鹿島建設［正］室野井 敏之・武井 昭・坂井 吾郎
V-281　鉛直・低流速パイプクーリングの実大実験と実施工による熱交換特性の評価／奥村組［F］東 邦和・森田 修二
V-282　トップヒート型ヒートパイプを用いたクーリング工法に関する実験的考察(その1:加熱シートを用いた性能確認試験)／前田建設工業［正］加藤 楓・秋田 剛・佐藤 文則
V-283　トップヒート型ヒートパイプを用いたクーリング工法に関する実験的考察(その2:コンクリートの水和熱を利用した性能確認試験)／前田建設工業［正］秋田 剛・笹倉 伸晃・佐藤 文則
V-284　環境対応型ヒートパイプのパイプクーリングへの適用／鉄建建設［正］伊吹 真一・柳 博文

V-5（C棟C402教室）／9月9日(金)

■引張・圧縮、物性(1)／9:00～10:20／吉田 亮(名古屋工業大学)

V-285　各種セメントを対象とした極若材齢を含むコンクリート強度発現性に関する検討／太平洋セメント［正］吉光 涼・扇 嘉史・早川 隆之
V-286　既設コンクリート構造物のコア試験による力学的劣化指標に関する考察／中日本ハイウエイ・エンジニアリング名古屋［F］青山 實伸・菊池 徹
V-287　超高強度繊維補強コンクリートの曲げ強度に及ぼす配向の影響に関する基礎的研究／［正］桐山 宏和・大畑 裕志・吉田 浩一郎
V-288　骨材界面におけるセメント粒子分布の点過程シミュレーション／金沢大学［学］吉川 峻生・内藤 大輔・五十嵐 心一
V-289　亜硝酸塩系硬化促進剤と減水剤を用いたコンクリートの低温下における諸性状／北見工業大学［学］岩澤 実和・井上 真澄・須藤 裕司
V-290　サンゴ骨材および海水を用いたコンクリートの物性の検討／大林組［正］片野 啓三郎・森澤 海里・新村 亮
V-291　生物活性炭吸着池における摩耗作用が躯体コンクリート表層部に及ぼす影響／［学］小倉 達也・大野 健太郎・宇治 公隆

■物性(2)／10:40～12:00／皆川 浩(東北大学)

V-292　結合材種類および温度履歴養生時の前養生と昇温速度がモルタルの特性に及ぼす影響／首都大学東京［学］多田 真人・上野 敦・大野 健太郎
V-293　高温作用がセメント硬化体の線膨張係数に与える影響の検討／埼玉大学［学］湯口 綾介・浅本 晋吾・蔵重 勲
V-294　簡易物性評価試験による若材齢時におけるコンクリートの熱膨張係数に関する研究／法政大学［学］面来 洋見・新井 淳一・溝渕 利明
V-295　コンクリートの弾性係数の温度依存特性に関する一考察／東日本旅客鉄道［正］内田 雅人・原田 悟・鈴木 誠治
V-296　コンクリート中の気泡の空間分布の定量評価に関する研究／大成建設［正］室谷 卓実・五十嵐 心一
V-297　セメント系硬化体の電気抵抗に及ぼす諸要因の解明と空隙構造連続性評価への応用に関する基礎的検討／長崎大学［正］佐々木 謙二・宮本 尚卓・原田 哲夫
V-298　セメントペースト硬化体におけるインクボトル空隙が塩化物イオンの吸着・脱着に及ぼす影響／名古屋工業大学［学］井上 裕介・吉田 亮・岸 利治

■骨材／15:20～16:40／上野 敦(首都大学東京)

V-299　ボールミル細骨材とロッドミル細骨材の粒子形状の比較／大成建設［正］片山 達章
V-300　海外の細骨材の品質がモルタルの圧縮強度に及ぼす影響／金沢工業大学［学］畑中 達郎・鈴木 将充・伊藤 正憲
V-301　コンクリート中の粗骨材のひずみ挙動に関する一実験／摂南大学［正］熊野 知司・檜田 篤志・葉山 和則
V-302　北関東の各種砕石を用いたコンクリートの乾燥収縮と岩石の特性／モトキ建材［正］中根 政範・黒井 登起雄
V-303　粗骨材の吸水性状、ヤング係数および付着性状がコンクリートの乾燥収縮に与える影響／名古屋工業大学［学］青山 祥梧・飯田 憲佳・梅原 秀哲
V-304　高炉スラグ微粉末・細骨材による空隙構造の緻密化の違いと硬化物性に与える影響／名古屋工業大学［学］青山 和将・吉田 亮・齋藤 和秀
V-305　水酸化カルシウム飽和溶液およびコンクリート工場排水に浸漬させた一般廃棄物溶融スラグ細骨材を用いたコンクリートの材齢1年における圧縮強度／茨城大学［正］木村 亨・沼尾 達弥・藤ヶ崎 雅人

V-6（C棟C403教室）／9月7日(水)

■品質管理・検査(1)／9:00～10:20／浦野 真次(清水建設)

V-306　湿式ブラスト法における鋼材表面の水分管理方法／大日本塗料［正］尾田 光・桑原 幹雄
V-307　簡易ブリーディング試験による材料分離抵抗性の評価／土木研究所［正］古賀 裕久
V-308　四電極法を用いた練混ぜ時の水量と硬化後の強度推定に関する研究／芝浦工業大学［学］末木 博・寺尾 涼・伊代田 岳史
V-309　フレッシュコンクリートの材齢28日強度即時判定を取り入れた品質管理／日本車輌製造［正］神頭 峰磯・土井 一慶
V-310　降雨および日射がコンクリート構造物の表層品質評価に及ぼす影響／鉄道総合技術研究所［正］西尾 壮平・半井 恵介
V-311　鉄道構造物への散水試験と目視評価の試行と一考察／西日本旅客鉄道［正］半井 恵介・横田 直倫・西尾 壮平

■品質管理・検査(2)／10:40～12:00／安保 知紀(鉄建建設)

V-312　低温環境下におけるコンクリート表層部の品質管理／東日本高速道路［正］松本 知也・中村 泰誠
V-313　小規模施工が連続する18N/mm²コンクリートの品質管理

効率化および検証結果／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋［正］鈴木 正幸・橋場 幸彦・岩瀬 愛弓
V-314 スマートセンサを用いたダム用コンクリートの型枠脱型時期判定に関する検討／鹿島建設［正］田頭 唯人・真﨑 達也・林 健二
V-315 コンクリート供試体の圧縮強度の季節変動／鹿島建設［正］志村 彩・向原 健・金崎 伸夫
V-316 アジテータ車のドラム内に設置したプローブによる特殊コンクリートのレオロジー特性／東洋建設［正］湯地 輝・森田 浩史・竹中 寛
V-317 アジテータ車に設置したプローブによる特殊コンクリートの品質推定に関する検討／東洋建設［正］森田 浩史・湯地 輝・竹中 寛

■フレッシュコンクリート／15:20〜16:40／南 浩輔（前田建設工業）
V-318 型枠内での鉄筋間通過時の粗骨材の均一性に関する検討／清水建設［正］浦野 真次・高橋 圭一・根本 浩史
V-319 細骨材率の違いが加振環境下でのフレッシュコンクリートのレオロジーおよび充填性能に与える影響／東海大学［学］大八木 雅人・齋藤 拓弥・藤倉 裕介
V-320 周波数の異なる振動下におけるモルタルの塑性粘度が充填性能に与える影響／東海大学［学］齋藤 拓弥・大八木 雅人・藤倉 裕介
V-321 非鉄スラグ細骨材コンクリートの間隙通過性に影響を与える要因に関する一考察／徳島大学［学］山田 悠二・岡 友貴・橋本 親典
V-322 断面内の温度勾配の違いがブリーディングの発生に及ぼす影響に関する検討／飛島建設［正］川里 麻莉子・槇島 修・平間 昭信
V-323 フロー試験の物理的解釈に基づくセメントペーストの粘性評価手法／東京理科大学［学］橋本 永手・西村 和朗・江口 康平
V-324 施工条件の違いがブリーディング量および型枠表層品質に与える影響／東亜建設工業［正］忽那 惇・田中 亮一・福手 勤

■フレッシュコンクリート・ポンプ圧送／17:00〜18:20／伊達 重之（東海大学）
V-325 スランプ試験後の平板叩きによるコンクリートの簡易変形試験における支持条件の違いが測定結果に与える影響／大成建設［正］梁 俊・高橋 幸一・皆川 浩
V-326 加振ボックス充てん試験及びタンピング試験によるコンクリートのフレッシュ性状評価の検討／福岡大学［正］橋本 紳一郎・中村 敏之・渕上 翔平
V-327 フレッシュコンクリートの圧送性評価方法に関する基礎研究／全国生コンクリート工業組合連合会中央技術研究所［正］山之内 康一郎・佐久間 翔平・伊藤 義也
V-328 計測条件を考慮したコンクリートの簡易圧送性評価及び判定の検討／福岡大学［学］北野 潤一・橋本 紳一郎・南 浩輔
V-329 長距離圧送におけるコンクリートの配合選定と品質管理方法の検討／清水建設［正］吉田 匠吾・田之倉 誠・根本 浩史
V-330 加速度センサーを用いたコンクリートの簡易圧送性評価の適用性向上／前田建設工業［正］南 浩輔・太田 健司・橋本 紳一郎
V-331 鋼繊維補強高流動コンクリートのポンプ圧送性に関する検討／大成建設［正］豊田 努・臼井 達哉・木ノ村 幸士

V-6（C棟C403教室）／9月8日（木）

■高流動・水中コンクリート／9:00〜10:20／吉田 克弥（日本シーカ）
V-332 細骨材の種類により異なる気泡による自己充填コンクリート中の個体粒子間摩擦低減効果／高知工科大学［学］中村 巴大・廣瀬 大輔・大内 雅博
V-333 高流動コンクリートのレオロジー定数に関する検討／太平洋セメント［正］早川 隆之・扇 嘉史・谷村 充
V-334 フライアッシュを用いた中流動コンクリートの耐塩害特性と耐摩耗特性／関西大学［学］野村 晃平・鶴田 浩章・上田 尚史
V-335 X線CT法による水中不分離性コンクリートの空隙、粗骨材、モルタル分布について／安藤・間［正］村上 祐治・新谷 廉・澤田 純之
V-336 高水圧条件下における水中不分離性コンクリートの流動性および圧縮強度について／東亜建設工業［正］田中 亮一・鶴岡 秀樹・網野 貴彦
V-337 長時間流動性を保持する水中不分離性コンクリートの施工試験／東京電力ホールディングス［正］高橋 美昭・堤 知明・村上 祐治
V-338 場所打ち杭のコンクリートの充填性に関する小型模型試験／鉄建建設［正］西脇 敬一・柳 博文・竹田 茂嗣

■製造・施工／10:40〜12:00／宇野 洋志城（佐藤工業）
V-339 ブリーディング抑制型AE減水剤を用いたコンクリートによる高架橋柱部材の構築／鹿島建設［正］石井 明俊・温品 達也・渡邉 賢三
V-340 生分解性吸水高分子ゲルを用いた内部養生効果に関する検討／東海大学［学］テモリー アマヌラ・德 良介・竹中 寛
V-341 初期養生の改善及び透水性型枠の使用による減勢工コンクリートの品質向上対策／鹿島建設［正］安田 和弘・金戸 崇史・安東 隆昌
V-342 混合セメントを用いたコンクリートの強度発現に及ぼす湿潤養生条件の影響／石川工業高等専門学校［学］熱野 皓己・福留 和人・大島 美穂
V-343 給水養生工法の養生効果の評価に関する研究／石川工業高等専門学校［学］岸 亨祐・福留 和人・熱野 皓己
V-344 水分供給・逸散および水和解析による養生条件の影響評価に関する研究／石川工業高等専門学校［学］大島 美穂・福留 和人・岸 亨祐
V-345 けい酸塩系改質材を打継目に塗布したコンクリートの一体性に関する検討／東洋大学［学］山崎 大輔・福手 勤・森田 浩史

V-6（C棟C403教室）／9月9日（金）

■特殊コンクリート（1）／9:00〜10:20／大内 雅博（高知工科大学）
V-346 海水および珊瑚由来の石灰岩骨材を用いた自己充填型コンクリートの基本性状／東洋建設［正］竹中 寛・酒井 貴洋・田中 亮一
V-347 海水および珊瑚由来の石灰岩骨材を用いたコンクリートの基本的な力学性状／五洋建設［正］酒井 貴洋・清宮 理・竹中 寛
V-348 水中不分離性を付与した急結性可塑性グラウトの水中下における積上がりの検討／デンカ［正］串橋 巧・河越 達生・橋本 学
V-349 フライアッシュコンクリートの蒸気養生履歴が水和反応と空隙構造及び耐凍害性に及ぼす影響／日本大学［学］先名 陵・佐藤 正己・梅村 靖弘
V-350 X線デジタル画像による遠心成形した重量コンクリートのX線遮蔽率の評価／日本ヒューム［正］井川 秀樹・横室 隆・橘高 義典
V-351 港湾構造物の根固め・被覆ブロック等への適用を目的とした高比重モルタルの室内試験／若築建設［正］秋山 哲治・藤村 貢・小澤 良一
V-352 銅スラグ細骨材を用いた高比重モルタルの品質目安としてのミニスランプ管理値の検討／若築建設［正］藤村 貢・秋山 哲治・鈴木 克実

■特殊コンクリート（2）／10:40〜12:00／杉橋 直行（清水建設）
V-353 速硬性軽量コンクリートの基礎的物性と実床版への適用／太平洋セメント［正］肥後 康秀・杉山 彰徳・郭 度連
V-354 理論単位容積質量1.5t/m^{3}の発泡ビーズ軽量コンクリートの物性および配合設計／太平洋セメント［正］野崎 隆人・原口 望・杉山 彰徳
V-355 保水性と強度に優れたハイブリッドポーラスコンクリートの開発／呉工業高等専門学校［学］木山 直道・堀口 至・三村 陽一
V-356 コンクリート表面近傍にアラミド繊維を配置した場合の凍結融解抵抗性の検討／三井住友建設［正］竹山 忠臣・篠崎 裕生・浅井 洋
V-357 砂付アラミド3軸メッシュを用いた場合におけるコンクリートの充填性／西日本高速道路エンジニアリング関西［正］大藤 貴也・湯浅 利幸・山口 大樹
V-358 耐アルカリ性ガラス繊維ネットを用いたコンクリートの割裂引張強度に関する検討／太平洋マテリアル［正］竹下 永造・長塩 靖祐
V-359 充てん性を考慮した即時脱型コンクリートの配合に関する検討／［学］杉田 菜々望・橋本 紳一郎・山本 康雄

■締固め／15:20〜16:40／谷口 裕史（安藤・間）
V-360 振動締固めがフレッシュモルタルに与える影響／東京理科大学［学］西村 和朗・橋本 永手・加藤 佳孝
V-361 加速度センサープローブを用いたコンクリート締固め振動の計測と締固めエネルギー／鹿島建設［正］藤田 祐作・露木 健一郎・林 大介
V-362 テーブルバイブレータの振動締固めによる空気量の減少に

関する実験的検討／鹿島建設［正］高木 英知・橋本 学・林 大介
V-363　流動化剤(増粘剤一液タイプ)を用いたコンクリートの締固め性能に関する検討／飛島建設［正］槙島 修・川里 麻莉子
V-364　締固め時間の変動がコンクリートの上下方向における材料分離に与える影響／芝浦工業大学［学］田篭 滉貴・伊代田 岳史・岡本 敏道
V-365　高強度コンクリートにおける再振動締固めの方法の違いがコンクリートの品質に与える影響に関する基礎的研究／福岡大学［学］陶 洋・三浦 明・櫨原 弘貴
V-366　粗骨材最大寸法40mmのRCDコンクリートの強度特性に関する一考察／鹿島建設［正］取違 剛・西山 隆詞・安田 成夫

V-7（C棟C404教室）／9月7日(水)

■耐火性／9:00～10:20／ヘンリー マイケル(北海道大学)
V-367　長時間車両火災によるトンネル構造部材の損傷に関する耐火試験／エーアンドエーマテリアル［正］伊澤 政弘・清宮 理
V-368　火災による爆裂が発生したRC柱の受熱温度推定に関する研究／中央復建コンサルタンツ［正］大岩 司・大山 理
V-369　高温加熱を受けたコンクリートの再養生による強度回復／福島工業高等専門学校［F］緑川 猛彦・林 久資
V-370　塩化物浸透深さによる火害を受けたコンクリートの物質侵入抵抗性に対する含浸材の補修効果に関する検討／［正］鎌田 亮太・小澤 満津雄・丸田 浩
V-371　塩化物量分布による火害を受けたコンクリートの物質侵入抵抗性に対する含浸材の補修効果に関する検討／太平洋マテリアル［正］丸田 浩・小澤 満津雄・鎌田 亮太
V-372　フライアッシュベースのジオポリマーの高温下における強度特性／九州大学［学］上野 貴行・佐川 康貴・一宮 一夫

■塩害(1)／10:40～12:00／染谷 望(港湾空港技術研究所)
V-373　塩水浸漬試験による混和材を用いたモルタルの塩分浸透性状に及ぼす養生の影響／東京大学［学］細井 雄介・石田 哲也・高橋 佑弥
V-374　塩分を含有する砂中に埋設されたモルタルへの塩分浸透に及ぼす乾湿状態の影響／金沢工業大学［学］石井 一騎・宮里 心一
V-375　コンクリートの塩化物イオン拡散係数と表面吸水速度との関係／香川高等専門学校［学］井上 翼・林 和彦
V-376　非定常状態の電気泳動試験へのEPMAの適用によるコンクリートの拡散係数の測定の検討／大成建設［正］荻野 正貴・大脇 英司・白瀬 光泰
V-377　コンクリートの配合と含水状態が比抵抗に及ぼす影響／大成建設［正］鈴木 三馨・武田 均・石田 哲也
V-378　モルタル供試体高さおよび電極間距離の違いが二電極法により測定される電気抵抗に与える影響／大阪大学［学］工藤 正智・内田 慎哉・鎌田 敏郎
V-379　ヘキサシアノ鉄(Ⅲ)酸カリウム水溶液と鉄粉を利用した鋼材腐食発生限界塩化物イオン濃度の設定に関する基礎的実験／木更津工業高等専門学校［正］青木 優介・増田 洋介

■塩害(2)／15:20～16:40／鈴木 三馨(大成建設)
V-380　塩害による鉄筋コンクリート大型梁部材の腐食量が腐食ひび割れ幅に与える影響／香川大学［学］釜本 拓哉・松島 学・岡崎 慎一郎
V-381　上面鉄筋が腐食したRC床版の腐食ひび割れ進展と耐荷力の解析的評価／名古屋大学［学］石黒 裕崇・中村 光・山本 佳士
V-382　光ファイバセンサを用いた大気中の塩分環境下における鉄筋の腐食膨張挙動／太平洋セメント［正］吉田 愛・早野 博幸・井坂 幸俊
V-383　光ファイバセンサを用いたコンクリート中の電食下における鉄筋の腐食膨張挙動／太平洋セメント［正］早野 博幸・井坂 幸俊・吉田 愛
V-384　マクロセルを模擬した実寸大の供試体におけるCIPE法の適用／日本防蝕工業［正］竹子 賢士郎・山本 悟・阿部 健
V-385　模擬試験によるコンクリート中鋼材腐食速度測定(CIPE法)における電流分布の検討／日本防蝕工業［正］阿部 健・山本 悟・竹子 賢士郎
V-386　鉄筋腐食の生じたRC部材において補修と補強を同時に実現する工法の検討／弘前大学［正］上原子 晶久・山下 拓海・鹿島 篤志

■塩害(3)／17:00～18:20／富山 潤(琉球大学)
V-387　気候及び地理条件に着目した塩害の影響要因の分析／芝浦工業大学［学］伊藤 孝文・石田 博貴・伊代田 岳史
V-388　気象・海象条件を考慮した桟橋上部工の塩害環境評価手法に関する基礎的検討／東亜建設工業［正］花岡 大伸・羽渕 貴士
V-389　沿岸部におけるのり面構造物の塩化物量調査(報告)／日特建設［正］窪塚 大輔・宇次原 雅之・佐伯 竜彦
V-390　海域における塩分粒子の発生から構造物表面への到達過程の数値解析／長岡技術科学大学［正］中村 文則・下村 匠・細山田 得三
V-391　海洋構造物の高さ方向の飛来塩分環境―駿河海岸での調査から―／土木研究所［正］佐々木 厳・櫻庭 浩樹・西崎 到
V-392　凍結防止剤による飛散塩分がコンクリート構造物に与える影響／東日本高速道路［正］山口 恭平・佐々木 楓・皆川 浩
V-393　海岸高架橋に適用したコンクリート塗装等の28年目の評価／東日本高速道路［正］加藤 真一・東田 典雅・齋藤 正司

V-7（C棟C404教室）／9月8日(木)

■防食(1)／9:00～10:20／審良 善和(鹿児島大学)
V-394　電気防食工法の維持管理手法確立に向けた橋梁の詳細調査(その1 A橋)／土木研究所［正］関 繭果・小城 守・峰松 敏和
V-395　電気防食工法の維持管理手法確立に向けた橋梁の詳細調査(その2 B橋)／住友大阪セメント［F］峰松 敏和・宇佐美 惣・関 繭果
V-396　電気防食工法の維持管理手法確立に向けた橋梁の詳細調査(その3 C橋)／ナカボーテック［正］大島 高雄・関 繭果・宇佐美 惣
V-397　実部材から取得した鋼材のカソード分極抵抗に基づく数値解析による分極量分布の評価／東北大学［正］皆川 浩・村山 俊平・宮本 慎太郎
V-398　電気化学的補修適用後に施工した表面保護工法の耐久性に関する検討／徳島大学［学］中山 一秀・上田 隆雄・七澤 章
V-399　犠牲陽極亜鉛の腐食特性・生成物に対するpHの影響／京都大学［学］仁科 勇輝・山本 誠・高谷 哲
V-400　粘着性ハイドロゲルの鉄筋コンクリート電気防食用バックフィル材への適用／積水化成品工業［正］天藤 理・町田 誠・皆川 浩

■防食(2)／10:40～12:00／山本 誠(住友大阪セメント)
V-401　ロングライフ塗装用鋼板(エコビュー)の10年暴露試験評価結果／神戸製鋼所［正］湯瀬 文雄・松下 政弘
V-402　鋼構造物用塗装系の塗装間隔が塗膜特性に与える影響に関する基礎的検討／鉄道総合技術研究所［正］坂本 達朗
V-403　既設鋼橋における塗膜付着力に関する検討／JR東海［正］三條 剛嗣・伊藤 裕一・根岸 裕
V-404　鋼製橋りょうの塗替えにおける環境負荷低減に向けた取組み／東京地下鉄［正］柳沢 有一郎・河畑 充弘・内藤 宏文
V-405　塩分吸着剤を添加した鉄筋コンクリートの暴露試験／奥村組［正］石井 敏之・沼田 憲・鳥取 誠一
V-406　海洋環境下における鋼管杭モルタル被覆防食部の25年耐久性について／東亜建設工業［正］網野 貴彦・宮沢 明良・MOUSSA G.S. ZOULKANEL
V-407　実構造物における高耐久性ふっ素樹脂塗料の長期耐久性能の確認／本州四国連絡高速道路［正］大川 宗男・熊井 貴弘

V-7（C棟C404教室）／9月9日(金)

■鋼材腐食(1)／9:00～10:20／高谷 哲(京都大学)
V-408　各種セメントの鋼材腐食発生限界塩化物イオン濃度に関する検討／太平洋セメント［正］東 洋輔・河野 克哉・多田 克彦
V-409　断面修復材の種類と母材コンクリートの塩分含有量が鉄筋腐食に及ぼす影響／金沢工業大学［学］宮崎 悠太・宮里 心一・網野 貴彦
V-410　異なる相対湿度環境における亜硝酸リチウム圧入工法の鉄筋腐食抑制効果／宮崎大学［正］李 春鶴・江良 和徳・大寺 稔雅
V-411　新たな非塩化物系凍結防止剤の鋼材腐食性に関する検討／岐阜大学［学］蓮池 里菜・木下 幸治・畑佐 陽祐
V-412　中性化により腐食した鉄筋の詳細分析／東急建設［正］前原 聡・伊代田 岳史
V-413　伸びを有するステンレス鉄筋のモルタル中における腐食特性の評価／金沢工業大学［学］中島 朋子・宮里 心一

■鋼材腐食(2) ／10:40～12:00／宮里 心一(金沢工業大学)
V-414 貼付け型シート陽極を用いたターフェル外挿法による腐食速度の計測／ショーボンド建設［正］三村 典正・黒川 公人・河野 広隆
V-415 鋼材表面の環境変化に伴うカソード反応の変化が鋼材腐食の進行に与える影響／東京理科大学［学］中川 智統・染谷 望・加藤 佳孝
V-416 コンクリート中の普通鉄筋とステンレス鉄筋の接触が自然電位に与える影響／京都大学［学］大久保 洵・河野 広隆・服部 篤史
V-417 塩害環境下におけるチタンワイヤセンサーでの自然電位計測に関する研究／金沢大学［学］杉浦 尚樹・青山 敏幸・石井 浩司
V-418 PC鋼より線を用いた暴露はり試験体の電気化学測定／港湾空港技術研究所［正］染谷 望・加藤 佳孝・中井 裕司
V-419 鉄箔を用いたセンサの静電容量値による腐食面積測定手法の基礎検討／太平洋セメント［正］江里口 玲・井坂 幸俊・佐藤 達三
V-420 赤外線によるコンクリート中の鉄筋腐食状況の把握に関する研究／法政大学［学］渡部 瑠依子・溝渕 利明

■鋼材腐食(3) ／15:20～16:40／網野 貴彦(東亜建設工業)
V-421 供用85年を経過した道路橋橋台の腐食状況調査／京都大学［学］川上 圭司・高谷 哲・佐々木 亘
V-422 北陸地域を対象としたワッペン試験片を用いた鋼材腐食に関する一検討／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋［正］加賀谷 悦子・岩崎 英治・戎家 隆
V-423 ステンレス鉄筋を用いたRC部材の鉄筋腐食時の外観変状と構造性能の検討／長岡技術科学大学［学］山下 諒輔・下村 匠・山口 貴幸
V-424 重防食塗装系の剥離要因に関する調査／本州四国連絡高速道路［正］大塚 雅裕・楠原 栄樹
V-425 イオン交換樹脂を混和したPCグラウトの開発／埼玉大学［学］今村 光希・睦好 宏史・欒 尭
V-426 塩分吸着剤による鋼構造物防食塗装塗替え時の塩分除去検討／ショーボンド建設［正］黒川 公人・三村 典正・山崎 大輔
V-427 コンクリート内部環境を模擬した水溶液のpH変化／京都大学［正］平野 裕一・高谷 哲・山本 貴士

V-8(C棟C405教室) ／9月7日(水)

■維持管理(1) ／9:00～10:20／岡崎 慎一郎(香川大学)
V-428 地域性を考慮したトンネル群の劣化状態予測／東京都市大学［正］丸山 收・小澤 孝弘・須藤 敦史
V-429 コンクリート構造物の凍害劣化補修の実態調査およびその分析／東電設計［正］鈴木 修一・堤 知明
V-430 積雪寒冷地のコンクリートダムのスケーリングに対する抵抗性について／ドーコン［正］米坂 俊介・佐藤 英隆・佐藤 靖彦
V-431 ASR劣化したPC部材の長期変形の実験的検討／九州工業大学［学］矢野 佑輔・幸左 賢二・上原 伸郎
V-432 富山産河川砂利のアルカリシリカ反応性と外来塩分環境下でのASR劣化トンネルの特徴／金沢大学［学］津田 誠・麻田 正弘・鳥居 和之
V-433 約15年経過した再アルカリ化工法の追跡調査／JR西日本［正］小谷 洋平・石橋 昌史・吉田 隆浩
V-434 ガス切断による旧タイプアンカーの除荷実験／西日本高速道路エンジニアリング中国［正］金子 雅博・川波 敏博・早川 道洋

■維持管理(2) ／10:40～12:00／斯波 明宏(三井住友建設)
V-435 表面塩化物イオン測定による内部塩化物イオンの簡易推定について／金沢大学［学］菊池 創太・久保 善司・木虎 久人
V-436 かぶりデータを活用した高架橋の剥離剥落予測に関する検討／JR東日本［正］栗林 健一・森井 広樹・杉崎 光一
V-437 凍結防止剤が散布された道路橋RC床版上面かぶり部分におけるコンクリートの劣化／野村昌弘の研究所［正］野村 昌弘・鳥居 和之
V-438 JR東日本管内における鋼橋のき裂変状の特徴および今後の維持管理についての検討／東日本旅客鉄道［正］小林 亜沙子・加藤 健二
V-439 表面被覆工を施工したRC高架橋の内部含水率の実態把握／［正］永野 匡敏・岸 利治
V-440 腐食環境センサの電気防食工法への適用性に関する検討／ナカボーテック［正］板屋 隼人・篠田 吉央・井坂 幸俊
V-441 汽水・淡水域における護岸鋼矢板の腐食劣化の実態に関する調査／土木研究所［正］冨山 禎仁・西崎 到

■LCC・LCA／サステナビリティ／15:20～16:40／蔵重 勲(電力中央研究所)
V-442 寒冷地域における橋梁定期点検結果を対象としたマルコフ連鎖モデルによる劣化予測の検討／東京大学［正］田中 泰司・長井 宏平
V-443 既存RC橋梁に生じる材料劣化の空間変動性および点検結果を反映した耐荷力評価に関する確率論的考察／早稲田大学［学］福島 広之・櫻井 絢子・秋山 充良
V-444 硫酸劣化を生じた鉄筋コンクリート部材の寿命予測解析／大成建設［正］渡部 孝彦・佐藤 靖彦
V-445 異なる自己治癒条件によるセメントペースト硬化体の微細ひび割れ制御に関する実験的研究／北見工業大学［正］崔 希燮・井上 真澄・鎌田 美佳
V-446 廃棄物の資源化を示す環境指標に関する考察―資源化量の増減に対する指標の変化―／広島大学［F］河合 研至・田中 敏嗣・星野 清一
V-447 除染廃棄物仮置場で使用中のフレキシブルコンテナの長期耐久性能確認／太陽工業［正］齋藤 卓・堀田 敦・山本 正人
V-448 除染廃棄物仮置場供用中の上部シートの経年物性変化の確認／太陽工業［正］堀田 敦・豊岡 真一・石田 正利

■劣化予測／17:00～18:20／宮村 正樹(福山コンサルタント)
V-449 白鳥大橋におけるふっ素樹脂塗料の残存塗膜耐用年数推定に関する一考察／ドーコン［正］佐々木 康史・島田 武
V-450 鹿児島県における橋梁群の維持管理に係わる環境外力の影響評価に関する一考察／鹿児島大学［学］前田 圭・山口 明伸・武若 耕司
V-451 鉄筋腐食による沿岸域の鉄筋コンクリート構造物の維持管理に関する提案／中国電力［正］山本 健太・磯田 隆行・斉藤 直
V-452 鉄筋腐食分布の推定に基づく腐食RCはりの曲げ耐荷力評価に関する研究／京都大学［学］藤澤 真海・山本 貴士・高谷 哲
V-453 かぶり厚さが鋼材腐食量に与える影響／東電設計［正］瀬下 雄一・中川 貴之・安田 浩二
V-454 かぶり厚さおよびシース径が腐食ひび割れ発生性状に与える実験的検討／高知工業専門学校［学］中谷 明登・近藤 拓也・横井 克則
V-455 ドリル削孔粉末から得られた溶液pHを用いたセメント硬化体の劣化深さ推定方法／東京理科大学［学］金子 泰明・江口 康平・加藤 佳孝

V-8(C棟C405教室) ／9月8日(木)

■非破壊試験法(1) ／9:00～10:20／渡邉 健(徳島大学)
V-456 弾性波トモグラフィによるASR劣化コンクリート橋脚の内部損傷評価／京都大学［正］麻植 久史・塩谷 智基・西田 孝弘
V-457 弾性波の位相変化に着目した内部欠陥からの反射波の検出／東洋計測リサーチ［正］山下 健太郎・炭谷 浩一・境 友昭
V-458 弾性波法によるコンクリート内部の空洞情報把握に関する基礎的検討／名古屋大学［学］鈴木 理絵・中村 光・三浦 泰人
V-459 周波数制御した弾性波によるコンクリート内部欠陥探査―供試体実験―／大進コンサルタント［正］炭谷 浩一・池端 秀幸・山下 健太郎
V-460 衝撃弾性波法による計測条件の違いがコンクリートの版厚推定に与える影響／立命館大学［学］野崎 峻・内田 慎哉・木村 貴圭
V-461 衝撃弾性波法による鋼板接着補強RC床版の鋼板剥離検出の基礎検討／首都大学東京［学］齋藤 孝文・大野 健太郎・宇治 公隆
V-462 衝撃弾性波法による鋼板接着補強RC床版内部の曲げひび割れ評価に関する実験的検討／大阪大学［学］藤原 理絵・鎌田 敏郎・寺澤 広基

■非破壊試験法(2) ／10:40～12:00／鎌田 敏郎(大阪大学)
V-463 衝撃弾性波法による火害を受けたコンクリートの劣化深さの推定に関する基礎検討／リック［正］岩野 聡史・小澤 満津雄・内田 慎哉
V-464 弾性波トモグラフィ法による火害を受けたコンクリートの劣化範囲推定に関する基礎検討／首都大学東京［正］大野 健太郎・小澤 満津雄・内田 慎哉
V-465 弾性波初動部を用いたPC部材のグラウト未充填部検出の基礎検討／首都大学東京［学］西村 桂一・大野 健太郎・宇治 公隆

V-466　機械インピーダンスによる火害を受けたコンクリートの劣化範囲の非破壊評価手法に関する基礎的研究／立命館大学［正］内田 慎哉・小澤 満津雄・大野 健太郎
V-467　打音法などのコンクリート表層欠陥探査における振動測定方法の検討／佐藤工業［正］歌川 紀之・北川 真也
V-468　舗装用アスファルト混合物の温度が打音特性に与える影響／金沢工業大学［学］徳永 創・北川 真也・木村 定雄
V-469　反発速度比を用いたコンクリートの強度推定に関する検討／日本建設機械施工協会［正］渡邉 晋也・萩原 直樹・飛田 一彬

V-8（C棟C405教室）／9月9日(金)

■非破壊試験法(3)　／9:00～10:20／大野 健太郎(首都大学東京)
V-470　打撃応答特性を自己組織化マップに適用したコンクリート内部の欠陥評価／長岡工業高等専門学校［学］野内 彩可・村上 祐貴・井山 徹郎
V-471　音響伝達関数に基づくPCグラウト充填状況の評価手法の妥当性検証への衝撃応答解析の適用／大阪大学［学］朝倉 響・鎌田 敏郎・服部 晋一
V-472　RC床版内部の腐食ひび割れの発生に伴う打撃応答特性の経時変化／長岡工業高等専門学校［学］木沢 敬太・村上 祐貴・井山 徹郎
V-473　ドライ超音波のグラウト充てん状況調査への適用／エッチアンドビーシステム［正］木下 尚宜・廣瀬 正行・張 弘
V-474　広帯域超音波法によるグラウト充填不足調査に関する基礎実験／JR西日本［正］楠本 秀樹・天谷 公彦・木下 尚宜
V-475　超音波ならびに電磁レーダー非破壊試験による覆工コンクリート内部亀裂の探査比較／明石工業高等専門学校［学］松本 俊範・鍋島 康之
V-476　超音波法による鉄筋腐食の発生状況の定量的評価に向けた基礎的検討／徳島大学［学］福富 隼人・渡辺 健・橋本 親典

■非破壊試験法(4)　／10:40～12:00／岩城 一郎(日本大学)
V-477　コンクリートの様々な角度の面に適用可能な表面吸水試験装置の開発／香川高等専門学校［学］増尾 敬・林 和彦
V-478　表面吸水試験によるコンクリート床版上面の品質評価手法の検討／横浜国立大学［正］小松 怜史・細田 暁
V-479　注水完了までの時間の差が表面吸水試験の品質評価に及ぼす影響／横浜国立大学［学］田島 涼
V-480　高炉セメントB種を用いたコンクリートの養生方法の違いが透気性および透水性に及ぼす影響／ものつくり大学［学］門井 康太・澤本 武博・樋口 正典
V-481　脱型時期および給水養生の開始時間がコンクリートの透気性に及ぼす影響／ものつくり大学［正］澤本 武博・門井 康太・舌間 孝一郎
V-482　各種透気試験方法に関する共通試験―その1 試験概要―／コンステック［正］佐藤 大輔・今本 敬一・蔵重 勲
V-483　各種透気試験方法に関する共通試験―その2:ラウンドロビンテストの結果概要―／電力中央研究所［正］蔵重 勲・今本 啓一・佐藤 大輔

■非破壊試験法(5)　／15:20～16:40／阿波 稔(八戸工業大学)
V-484　あらかじめ磁化された鉄筋の着磁後の破断検出に関する検討／大阪大学［学］佐藤 大起・寺澤 広基・鎌田 敏郎
V-485　破断したPC鋼材を有するPC梁の非破壊検査法に関する研究／埼玉大学［学］塩野 誠・徳田 裕美・横田 敏広
V-486　異なるコンクリート材料が有する磁性が鉄筋破断による漏洩磁束に与える影響／京都大学［学］永瀬 繁幸・寺澤 広基・松本 理佐
V-487　X線CTとPTVを用いた載荷によるコンクリート内部変形計測法の開発／近畿大学［学］裵 泰樹・麓 隆行・竹原 幸生
V-488　X線CT法による加熱された大型供試体の劣化範囲評価に関する基礎研究／近畿大学［正］麓 隆行・小澤 満津雄・内田 慎哉
V-489　X線CT法を用いた鉄筋埋設モルタルの内部観察／北海道大学［学］高橋 駿人・志村 和紀・杉山 隆文
V-490　電磁パルス法による金属系あと施工アンカー固着部の非破壊評価に関する実験的検討／西日本高速道路［正］宮田 弘和・内田 慎哉・鎌田 敏郎

V-9（C棟C406教室）／9月7日(水)

■補修・補強(構造)(1)　／9:00～10:20／宇野 州彦(五洋建設)
V-491　鋼板巻立て補強されたRC部材の地震時損傷評価手法／東北大学［学］小林 滉季・内藤 英樹・諸橋 拓実
V-492　地震により損傷した壁部材の補強後の力学的性状／フジタ［正］平野 勝識・笹谷 輝勝・後藤 隆臣
V-493　PC鋼棒を内部定着した打継ぎコンクリートはりの曲げ実験／極東興和［正］三本 竜彦・三原 孝文・榊 卓也
V-494　PCM吹付け工法による打継目を有する低鉄筋比コンクリート部材の補強効果／九州大学［正］畠山 繁忠・日野 伸一・金丸 亜紀
V-495　傾斜滑動面による無筋コンクリート橋脚の転倒限界向上方法の実験的検討／東日本旅客鉄道［正］伊藤 隼人・小林 薫・平林 雅也
V-496　傾斜滑動面による無筋コンクリート橋脚の転倒限界向上方法の実施工を想定した摩擦係数の測定結果／ジェイアール東日本コンサルタンツ［正］山下 修史・小林 薫・伊藤 隼人

■補修・補強(構造)(2)　／10:40～12:00／上原子 晶久(弘前大学)
V-497　埋設型床版下面補強工法で補強されたRC床版の輪荷重走行試験による補強性能／山口大学［正］高海 克彦・村田 征也・彌永 穂高
V-498　格子鋼板筋を用いた下面増厚補強RC床版における接着剤効果／日本大学［正］水口 和彦・阿部 忠・吉岡 泰邦
V-499　薄肉パネルを用いたポットホール補修工法の接合面の耐荷性に関する実験的検討／富士ピー・エス［正］松下 拓樹・福田 雅人・鈴木 正範
V-500　RC中空床版橋における円筒型枠直上部の耐荷特性に関する実験的検討／富士ピー・エス［正］杉江 匡紀・福田 雅人・鈴木 正範
V-501　RC梁へのバサルトメッシュ接着によるせん断補強効果に関する実験的研究／大阪市立大学［学］盛岡 諒平・角掛 久雄・田村 悟士
V-502　主桁間隔の狭い鉄道PCI形桁に適用する外ケーブル補強工法の解析的検討／ジェイアール西日本コンサルタンツ［正］福田 圭祐・森川 英典・湯淺 康史

■補修・補強(構造)(3)　／15:20～16:40／岩波 光保(東京工業大学)
V-503　あと施工アンカーの耐疲労性に与えるコンクリートの乾湿状態の影響(金属系アンカー)／JR東日本［正］井口 重信・菅原 寛文・廣田 元嗣
V-504　あと施工アンカーの耐疲労性に与えるコンクリートの乾湿状態の影響(接着系アンカー)／JR東日本［正］菅原 寛文・井口 重信・廣田 元嗣
V-505　接着系あと施工アンカーのアルカリ耐久性に関する試験方法の検討／東日本旅客鉄道［正］伊藤 信・山田 宣彦・井口 重信
V-506　接着系あと施工アンカーのアルカリ耐久性に関する実験的検討／JR東日本［正］内藤 圭祐・井口 重信・山田 宣彦
V-507　大きな繰り返し曲げ損傷を受けた鉄筋コンクリート柱の補修効果に関する実験的研究／オリエンタル白石［正］山崎 純太・近藤 貴紀・水野 英二
V-508　接着剤および炭素繊維シートを適用したブラケット構造の縮小モデル載荷試験／IHIインフラ建設［正］木村 俊紀・山下 亮・山本 貴士
V-509　六角ナット定着型せん断補強鉄筋を用いた後施工せん断補強工法の開発／奥村組［正］山口 治・松本 恵美・三澤 孝史

■連続繊維補強コンクリート(構造)　／17:00～18:20／服部 尚道(東急建設)
V-510　17年間自然暴露したFRP緊張材を用いたプレテンションはりの有効プレストレス／前田工繊［正］中井 裕司・渡部 寛文・榎本 剛
V-511　17年間自然暴露したFRP緊張材を用いたプレテンションはりの曲げ破壊性状／川田建設［正］渡部 寛文・中井 裕司・志道 昭朗
V-512　ストランドシートで下面補強されたRC桁の曲げ耐力に関する実験的研究／北海学園大学［正］高橋 義裕・小林 朗・荒添 正棋
V-513　コンクリート圧縮強度がポリウレア樹脂層を有するストランドシート―コンクリート間の付着特性に及ぼす影響／新日鉄住金マテリアルズ［正］荒添 正棋・小林 朗・高橋 義裕
V-514　面取り部に接着された炭素繊維シートの曲げ引張強度および付着特性／新日鉄住金マテリアルズ［正］立石 晶洋・小林 朗・荒添 正棋
V-515　CFRPグリッドを用いたPCM吹付け工法によるRCはりのせん断補強効果の評価手法／九州大学［学］郭 瑞・日野 伸一・畠山 繁忠
V-516　RC部材のひび割れ抑制効果に及ぼす連続繊維配置位置と鉄筋径の影響に関する検討／宮崎大学［学］堀田 成治・坂元 利隆・安井 賢太郎

V-9（C棟C406教室）／9月8日（木）

■アルカリ骨材反応（1）／9:00～10:20／久保 善司（金沢大学）

V-517　亜硝酸カルシウムがASR膨張抑制に及ぼす影響に関する検討／太平洋セメント［正］落合 昂雄・兵頭 彦次・江里口 玲

V-518　凍結防止剤散布下におけるコンクリート床版のASR対策に関する検討／日本大学［学］功刀 裕貴・子田 康弘・岩城 一郎

V-519　高炉スラグ微粉末によるコンクリートのASR膨張抑制効果に関する基礎的研究／五洋建設［正］中島 俊介・黒田 保・吉野 公

V-520　収縮補償型膨張コンクリートのASRによる膨張挙動とその抑制対策／金沢大学［学］菊地 弘紀・杉山 彰徳・鈴木 雅博

V-521　含浸材によるコンクリート内部含水率の経時変化と測定時温度に関する考察／本州四国連絡高速道路［正］楠原 栄樹・山根 彰・西村 徹也

V-522　ASRゲルの移動性に伴うコンクリート膨張の寸法効果／東京大学［学］小川 森平・高橋 佑弥・前川 宏一

V-523　X線CT撮影を用いたASR劣化が生じたコンクリート内部のひび割れ状況／大阪工業大学［学］的場 良太・裏 泰樹・三方 康弘

■アルカリ骨材反応（2）／複合劣化／10:40～12:00／高橋 佑弥（東京大学）

V-524　コンクリートコアの促進膨張試験によるASRの進行予測と梁部材を用いた促進試験による検証／大成建設［正］大脇 英司・宮原 茂禎・西田 宏司

V-525　ASR劣化を生じるコンクリートの持続圧縮応力作用下での力学特性と変形特性に関する研究／京都大学［学］楠本 和也・新田 裕樹・高谷 哲

V-526　損傷理論を導入したボクセル有限要素解析によるアルカリシリカ反応の膨張挙動解析／琉球大学［正］富山 潤・浅井 光輝・久保 善司

V-527　ASR対策規制後に生じたPC中空床板橋のひび割れ調査、診断事例／エイト日本技術開発［正］藤村 彰・中山 福徳・山崎 好宏

V-528　長期的に外来塩の供給を受ける鉄筋コンクリートの塩害とASRの複合劣化に関する検討／徳島大学［正］上田 隆雄・甲把 浩基・七澤 章

V-529　鉄筋腐食がASR劣化床版のひび割れ状態に与える影響／大成建設［正］市原 鴻・久保 善司・菊池 創太

V-530　RC構造物の構造性能予測における複合劣化の評価について／［正］伊藤 均・溝渕 利明

V-9（C棟C406教室）／9月9日（金）

■耐久性一般（1）／9:00～10:20／江口 康平（東京理科大学）

V-531　硫酸塩の添加量が硫酸塩の遅延生成に及ぼす影響／鉄道総合技術研究所［正］鶴田 孝司・鈴木 浩明・上原 元樹

V-532　Na_2SO_4を含む土壌中の含水状態がコンクリートの化学的侵食に及ぼす影響／日本建築総合試験所［正］吉田 夏樹

V-533　異なる環境が高炉セメントの炭酸化メカニズムに与える影響／芝浦工業大学［正］伊代田 岳史

V-534　高炉スラグ微粉末混合コンクリートの耐久性の検証を目的とした曝露試験／オリエンタル白石［正］吉村 徹・鮫島 力・西谷 朋晃

V-535　フライアッシュⅡ種・Ⅳ種を細骨材補充材として用いたコンクリートの耐久性／高知工業高等専門学校［学］芝 沙矢香・横井 克則・三木 まや

V-536　練上がり温度の上昇がモルタルの耐久性に与える影響および表面塗布剤による品質改善／太平洋セメント［正］中山 莉沙・東 洋輔・森 寛晃

V-537　現場適用事例における耐久性向上養生剤の性能評価／東洋建設［正］酒井 大樹・山中 俊幸・竹中 寛

■耐久性一般（2）／10:40～12:00／佐川 康貴（九州大学）

V-538　ひび割れを有するコンクリートにおける水分移動に関する研究／埼玉大学［学］穴田 洋輔・欒 堯

V-539　遠心力締固めコンクリートにおけるひび割れ内部の中性化評価／日本電信電話［正］根岸 香織・東 康弘・澤田 孝

V-540　ASR供試体のひび割れ観察および鉄筋破断面観察／九州工業大学［学］益田 紘孝・幸左 賢二・上原 伸郎

V-541　内部ひび割れを有するRC部材の塩化物イオン濃度の予測手法に関する研究／茨城大学［正］車谷 麻緒・小林 賢司・安藏 尚

V-542　繰返し荷重を受けるコンクリート梁の塩分浸透および腐食特性に関する基礎的研究／福岡大学［学］三浦 明・添田 政司・櫨原 弘貴

V-543　硫酸塩に浸せきさせたモルタル供試体の電気泳動試験を用いた塩化物イオン移動についての実験的検討／東京理科大学［学］直町 聡子・江口 康平・加藤 佳孝

V-544　コンクリート埋設直後におけるアルミニウム合金の腐食挙動／［正］兼子 彬・高堂 治・伊藤 義人

■耐久性一般（3）／15:20～16:40／日比野 誠（九州工業大学）

V-545　暴露試験19年目における初代十勝大橋桁コンクリートの性状評価／土木研究所寒地土木研究所［正］吉田 行・嶋田 久俊・島多 昭典

V-546　経年80年程度の高架橋コンクリートの実態調査／東日本旅客鉄道［正］鈴木 雄大・桑木野 耕介・大郷 貴之

V-547　長期間水道施設として供用されたコンクリートの耐久性評価／清水建設［正］山口 浩・藤川 和久・大門 一郎

V-548　三年間暴露した断面修復材の付着強度／土木研究所［正］川上 明大・片平 博・古賀 裕久

V-549　過酷な環境で施工した表面被覆材の屋外暴露1年後の接着性／土木研究所［正］熊谷 慎祐・櫻庭 浩樹・加藤 智丈

V-10（C棟C407教室）／9月7日（水）

■構造物調査・診断（1）／9:00～10:20／田中 秀治（ウエスコ）

V-550　既存コンクリート構造物を対象とした表面吸水試験装置及び目視評価法による表層品質調査／長岡工業高等専門学校［学］品川 彰・井林 康

V-551　衝撃弾性波法を用いた漁港施設の簡易機能診断手法／水産総合研究センター［正］中村 克彦・藤田 孝康・山下 健太郎

V-552　市町村橋梁を対象にした日常点検のためのチェックシートの構築／日本大学［学］浅野 和香奈・子田 康弘・岩城 一郎

V-553　コア削孔によるひずみ測定手法のPC桁への適用に関する実験的検討／富山県立大学［学］小林 勇佑・伊藤 始・西野 哲史

V-554　多配列地中探査レーダによる中空床版橋ボイドかぶり厚計測精度の検証／西日本高速道路エンジニアリング関西［正］上田 憲寿・柳井 喜浩・安藤 亮介

V-555　光点検知を搭載したタブレットPCによる劣化部位計測システム／日本電信電話［正］齋藤 千紘・川端 一嘉・高橋 宏行

■構造物調査・診断（2）／10:40～12:00／鈴木 雅博（ピーエス三菱）

V-556　鉄筋探査用RCレーダを用いた点検困難箇所のコンクリート非破壊診断技術／復建技術コンサルタント［正］小早川 正樹・唐木 正史

V-557　長期間供用中の海岸沿いに位置する鉄筋コンクリート鉄道橋における各種健全度調査／JR西日本［正］渡辺 佳彦・内田 祐太・荒巻 智

V-558　コンクリート橋の維持管理のための3Dモデリングと実計測の活用／長崎大学［学］河村 太紀・田崎 智・西行 健

V-559　コンクリート橋の塩害損傷である錆汁と腐食ひび割れの発現順序に関する一考察／北未来技研［正］朝倉 啓仁・佐藤 誠・近藤 雅紀

V-560　樋門函体におけるひび割れモニタリングに関する検討／日本工営［正］金本 康宏・鹿内 陽介・郷家 康弘

V-561　電磁波レーダを用いたコンクリート構造物のクラックへの補修材の充填状況の確認方法に関する検討／大成ロテック［正］城本 政一・水野 孝浩・王 せいせい

■構造物調査・診断（3）／15:20～16:40／濱田 譲（ジェイアール西日本コンサルタンツ）

V-562　学習型打音解析技術を用いたコンクリート構造物調査／首都高技術［正］高津 惣太・森 清・由井 稔也

V-563　デジタル画像による道路構造物ひび割れ自動抽出技術の開発／首都高技術［正］佐藤 久・早坂 洋平・永見 武司

V-564　漏洩磁束法によるプレテンションPCI桁橋におけるPC鋼材破断非破壊検査／四国総合研究所［正］廣瀬 誠・木村 美紀・萩原 直樹

V-565　漏洩磁束法によるポストテンション橋におけるPC鋼材破断非破壊検査／高速道路総合技術研究所［正］萩原 直樹・豊田 雄介・廣瀬 誠

V-566　鋼板接着補強床版の内部コンクリートの劣化度評価技術の開発／阪神高速道路［正］八ツ元 仁・小坂 崇・佐藤 彰紀

V-567　画像解析を用いたRC はりに発生する内部ひび割れ進展挙動の計測と可視化／茨城大学［学］邉見 哲一・車谷 麻緒・岡崎 慎一郎

■構造物調査・診断(4) ／振動／17:00～18:20／井口 重信(東日本旅客鉄道)

V-568　UHF帯地中レーダによる鉄筋コンクリート床版の自動損傷検知アルゴリズムの開発／東京大学［学］中村 渚・水谷 司・垂水 稔
V-569　新設道路橋壁高欄で使用されたコンクリート表面含浸工の供用後3年時点での遮塩性／中日本高速道路［正］真田 修・町田 靖
V-570　X線を使用した応力測定技術の既存構造物への適用／オリエンタルコンサルタンツ［正］黒川 直哉・田中 樹由・岩波 光保
V-571　ウォータジェットを用いた非破壊検査「水撃音響法」における整流効果／熊本大学［正］森 和也・徳臣 佐衣子
V-572　振動試験に基づくコンクリート開水路の健全性評価／東北大学［学］杉山 涼亮・五十嵐 亜季・内藤 英樹

V-10(C棟C407教室) ／9月8日(木)

■プレストレストコンクリート(1) ／9:00～10:20／田中 泰司(東京大学)

V-573　PCLNG地上式貯槽向けPC鋼棒の定着部性能確認試験／清水建設［正］小谷 龍矢・伊藤 健二・吉田 雄介
V-574　グラウト充填不足部でのPC鋼材腐食のPC梁耐荷性能への影響および漏洩磁束法による腐食検知／京都大学［学］加藤 亮平・中森 翔大・廣瀬 誠
V-575　PC桁を用いた補強盛土一体橋梁に及ぼす不静定力の影響／鉄道建設・運輸施設整備支援機構［正］石井 秀和・玉井 真一・高嵜 太一
V-576　PCLNG地上式貯槽におけるPC構造の合理化／清水建設［正］伊藤 健二・吉田 雄介
V-577　塩害による損傷を受けたPC主桁の耐荷力評価手法の提案／土木研究所［正］吉田 英二・石田 雅博・宇佐美 惣
V-578　破断したPC鋼材を有するPC梁の曲げ性状に関する研究／埼玉大学［学］徳田 裕美・塩野 誠・睦好 宏史

■プレストレストコンクリート(2) ／コンクリート製品／10:40～12:00／青木 圭一(中日本高速道路)

V-579　PC床版の拡幅工法に関する実験的研究 その1 FEM解析による構造成立性の確認／首都高速道路［正］石原 陽介・岸田 政彦・左東 有次
V-580　PC床版の拡幅工法に関する実験的研究 その2 3辺固定版載荷試験／富士ピー・エス［正］西永 卓司・岸田 政彦・石原 陽介
V-581　PC床版の拡幅工法に関する実験的研究 その3 定点疲労載荷試験／富士ピー・エス［正］山田 雅彦・岸田 政彦・石原 陽介
V-582　光ファイバを用いたPC緊張力変動の計測／鹿島建設［正］大窪 一正・千桐 一芳・松原 喜之
V-583　常時変形を有するプレストレストコンクリートポールの劣化診断に関する基礎研究／九州高圧コンクリート工業［正］船本 憲治
V-584　PCaPC部材の実大実験と非線形プッシュオーバー解析による適用性の検討／日本コンクリート工業［正］都築 洋平・山岸 健治・薄葉 信一

V-10(C棟C407教室) ／9月9日(金)

■短繊維補強コンクリート(構造)(1) ／9:00～10:20／上田 尚史(関西大学)

V-585　UFC部材のX線撮影とディジタル画像解析による鋼繊維分布・配向の可視化とその曲げ挙動に関する基礎的研究／早稲田大学［学］松田 充弘・岡本 健弘・秋山 充良
V-586　Flexural Behavior Prediction of SFRC Beams Using X-ray Images and FEM analysis／Waseda University［学］LIM SOPOKHEM・松田 充弘・秋山 充良
V-587　UFCの繊維混入率および繊維配向に着目した曲げ引張性能に関する実験的検討／大林組［正］佐々木 一成・野村 敏雄
V-588　繊維配向性を考慮した打込み方法がDFRCC部材の曲げ性状に与える影響／筑波大学［学］渡邉 啓介・大圖 友梨子・金久保 利之
V-589　繊維補強コンクリートを用いたRC一軸引張部材の鉄筋降伏後の挙動／岐阜大学［学］荒木 隆博・倉地 賢・黒田 宗之
V-590　超高強度繊維補強コンクリートの圧縮破壊挙動に関する高速度画像計測／神戸大学［学］渡邉 大基・三木 朋広・河野 克哉
V-591　高靱性セメント材料を使用したRC橋脚の棒形スキャナによる損傷形態評価／九州工業大学［学］山之内 俊樹・幸左 賢二・佐藤 崇

■短繊維補強コンクリート(構造)(2) ／疲労・衝撃(1) ／10:40～12:00／伊藤 始(富山県立大学)

V-592　超高強度材料を用いたRC梁部材の曲げ耐力確認実験および解析による再現性調査／九州大学［学］牟田 諒平・森山 裕也・野澤 忠明
V-593　超高強度材料を用いたRC梁のせん断実験によるせん断耐力の一考察／エスイー［正］野澤 忠明・牟田 諒平・森山 裕也
V-594　超高強度繊維補強モルタルのせん断伝達特性に関する実験的研究／関西大学［正］上田 尚史・藤村 将治
V-595　鋼繊維補強鉄筋コンクリートはりのせん断破壊に関する数値解析的研究／大成建設［正］村田 哲・村田 裕志・武田 均
V-596　超高強度コンクリートの圧縮疲労特性に関する研究／竹中工務店［正］高津 比呂人・平 将次郎・水島 靖典
V-597　超高強度を発現する最密コンクリートの耐衝撃性に及ぼす鋼繊維の補強効果／太平洋セメント［正］曽根 涼太・河野 克哉・多田 克彦
V-598　放射性廃棄物を保管対象とした鉄筋コンクリート製容器の落下実験／室蘭工業大学［学］大場 啓汰・多田 克彦・前堀 伸平

■疲労・衝撃(2) ／15:20～16:40／松本 浩嗣(東京大学)

V-599　10°～15°で曲げ戻した鉄筋D13～D22の繰返し引張疲労試験／三井住友建設［正］有川 直貴・伊原 泰之・紙永 祐紀
V-600　繰返し載荷による鉄筋の破断と構造応答の変化に関する解析的検討／北武コンサルタント［正］坂口 淳一・土屋 智史・渡辺 忠朋
V-601　液状水に起因した風車基礎アンカーリング周りのコンクリート疲労寿命に関する一考察／東電設計［正］茂木 寛之・千々和 伸浩・齊藤 智久
V-602　北海道新幹線(新青森・新函館北斗間)新設PC桁のたわみ測定結果に関する考察／鉄道・運輸機構［正］進藤 良則・山洞 晃一・朝長 光
V-603　コアを用いた床版供試体内部のひび割れ分布調査／土木研究所寒地土木研究所［正］林田 宏・西 弘明
V-604　輪走行作用下におけるRC床版のひずみおよび損傷状態に関する検討／日本大学［学］島野 孝則・前島 拓・子田 康弘
V-605　3次元弾性波トモグラフィによる道路橋RC床版の損傷度評価／日本大学［正］前島 拓・子田 康弘・岩城 一郎

V-11(C棟C408教室) ／9月7日(水)

■耐震／9:00～10:20／内藤 英樹(東北大学)

V-606　かぶりが大きいRC柱の正負交番載荷試験／埼玉大学［学］田頭 颯樹・中村 慎・牧 剛史
V-607　柱主筋を梁上面の鋼板に定着した柱梁接合部構造に関する実験的検討／JR東日本［正］図司 英明・渡部 太一郎
V-608　両端を機械式定着したPC鋼棒による靱性補強効果／大林組［正］田中 浩一・江尻 譲嗣
V-609　鋼角ストッパー埋込み部のコンクリートの形状寸法が破壊形態に及ぼす影響／鉄道総合技術研究所［正］笠倉 亮太・轟 俊太朗・岡本 大
V-610　スパイラル筋を用いたコンクリートの横拘束効果についての一考察／東日本旅客鉄道［正］堀内 俊輔・高橋 紗希子・田附 伸一
V-611　超高強度構造材からなるRC柱・はりの破壊特性と高じん性化に関する研究／浅野工学専門学校［正］殿廣 泰史・加藤 直樹・増田 泰之
V-612　下水道施設における構造計算モデル構築に関する一考察／パシフィックコンサルタンツ［正］齋藤 孟

■耐震／耐震補強／10:40～12:00／渡辺 健(鉄道総合技術研究所)

V-613　長大エクストラドーズド橋の耐震設計における破砕帯を考慮した地震応答解析／大成建設［正］細谷 学・芦塚 憲一郎・前原 直樹
V-614　高強度鉄筋を使用したRC橋脚の限界状態に関する解析手法の検討／国土技術政策総合研究所［正］正木 守・星隈 順一・玉越 隆史
V-615　軸方向鉄筋の座屈による低サイクル疲労破断評価(鉄筋形状等の影響の定性的評価) ／JR九州［正］瀧口 将志・池永 貴史・北原 武嗣
V-616　側面補強されたRCはりのせん断補強効果に関する実験／東日本旅客鉄道［正］平尾 隆太郎・塚田 健一・渡部 太一郎

V-617　側面補強されたRCはりのせん断耐力に関する実験的検討／東日本旅客鉄道［正］塚田 健一・平尾 隆太郎・渡部 太一郎
V-618　組合せ鋼材巻立て補強を施した辺長の長いRC柱の交番載荷試験／東急建設［正］黒岩 俊之・伊藤 正憲・岡本 大
V-619　あと施工せん断補強工法（サイトフィットネイリングバー工法）の開発／西松建設［正］藤波 亘・西見 宣俊・佐藤 幸三

■曲げ・耐震診断／15:20～16:40／小林 薫（東日本旅客鉄道）
V-620　RC部材の変形性能に関する実験的研究／ジェイアール東海コンサルタンツ［正］稲熊 唯史・奥西 淳一・国枝 稔
V-621　かぶりにステンレス鉄筋を埋設したRC はりの曲げひび割れ解析／大成建設［正］村田 裕志・武田 均
V-622　内巻き帯鉄筋を有するRC柱の大変形領域における軸力の影響について／東日本旅客鉄道［正］杉田 清隆・大澤 章吾・築嶋 大輔
V-623　内巻き帯鉄筋を有するRC柱の大変形領域における耐力評価／東日本旅客鉄道［正］松田 聡美・杉田 清隆・大澤 章吾
V-624　内巻き帯鉄筋を有するRC柱の低サイクル疲労による軸方向鉄筋破断時期の評価／東日本旅客鉄道［正］大澤 章吾・井口 重信・杉田 清隆
V-625　既設PC斜材付きπ型ラーメン橋の耐震性判定／西日本高速道路［正］杮木 正喜・伊川 嘉昭・李 首一
V-626　省電力型最大応答部材角測定装置の開発／鉄道総合技術研究所［正］仁平 達也・岡本 大・宮本 則幸

■せん断・ねじり／17:00～18:20／村田 裕志（大成建設）
V-627　圧縮応力下におけるコンクリートのせん断伝達挙動に関する基礎的研究／［学］青木 梓・上田 尚史
V-628　ひび割れ面におけるせん断伝達挙動が無筋コンクリート構造物の耐力に与える影響／北海道大学［学］日下部 護・横田 弘・上松瀬 慈
V-629　1本杭を支点とした片持ち梁のせん断圧縮耐力に関する模型実験／東電設計［正］玉置 久也・斉藤 大地・前原 健治
V-630　拘束圧がRC版の押抜きせん断耐力に及ぼす影響／防衛大学校［学］池田 晋平・藤掛 一典
V-631　鋼角ストッパー埋込み部のコンクリートに生じる水平力に関する解析的検討／鉄道総合技術研究所［正］轟 俊太朗・笠倉 亮太・岡本 大
V-632　強制加振試験によるRC部材のせん断ひび割れの同定／東北大学［学］近 栄一郎・内藤 英樹・五十嵐 亜季
V-633　リメッシュ機能を有するRBSMによる高強度コンクリートのひび割れ面せん断伝達挙動解析／名古屋大学［学］井熊 晃司・山本 佳士・中村 光

V-11（C棟C408教室）／9月8日（木）

■新材料・新工法（構造）／9:00～10:20／三木 朋広（神戸大学）
V-634　連続繊維で端部定着された炭素繊維グリッド板のせん断特性について／福山大学［正］宮内 克之・下枝 博之・小林 朗
V-635　樹脂材を用いたケーブルの定着構造に関する研究／ものつくり大学［F］北條 哲男・甲斐 康幸・山口 健悟
V-636　テーパ型ナットをPC鋼棒定着体とした高耐力あと施工アンカー工法の破壊状況／JR東日本［F］小林 薫・伊藤 隼人・今井 清史
V-637　Super-CFRPロッドを用いたRCはりの曲げ挙動に関する検討／福山コンサルタント［正］渡邉 弘史・野上 和彦・山口 浩平
V-638　鋼板格子筋とポリマーセメントモルタルを用いた補強材の横筋角度と引張抵抗力に関する実験／JFEシビル［正］吉岡 泰邦・塩田 啓介・内藤 仁志
V-639　重複複数シールドにおける鋼繊維補強鉄筋コンクリート構造の性能試験／大成建設［正］布川 哲也・村田 裕志・豊田 努
V-640　PCLNG地上式貯槽におけるTヘッド工法鉄筋を用いた杭頭結合構造の合理化／清水建設［正］塚本 晃平・伊藤 健二・滝本 和志

■構造設計／数値解析／破壊力学／10:40～12:00／長井 宏平（東京大学）
V-641　連続地中壁内に側部ヒーターを有するLNG地下タンクの設計と施工／東京電力フュエル&パワー［正］高坂 理紗・高橋 智彦・鈴木 良亮
V-642　PRC橋梁の長期たわみ解析手法に関する研究／ジェイアール東海コンサルタンツ［正］奥西 淳一・一柳 昌志・稲熊 唯史
V-643　剛結合形式LNG地下タンクの底版の設計／大成建設［正］浜野 旭・鈴木 良亮・高橋 智彦
V-644　押抜きせん断耐力の向上を目的としたテーパー付き杭頭構造に関する数値解析的研究／大成建設［正］森石 理絵・小林 祐樹・山本 平
V-645　多方向ひび割れ解析のためのTHASコンクリート構成則の提案／清水建設［正］長谷川 俊昭
V-646　表層研磨したASR劣化コンクリートはり供試体におけるひび割れ進展挙動に関する研究／神戸大学［学］塚原 宏樹・三木 朋広
V-647　損傷がコンクリートの力学特性に及ぼす影響に関するエネルギー的考察／関西大学［学］小西 麻央・上田 尚史

V-11（C棟C408教室）／9月9日（金）

■付着・定着・継手（1）／9:00～10:20／岡本 大（鉄道総合技術研究所）
V-648　モルタル充填式継手の設計疲労強度に関する検討／日本スプライススリーブ［正］松本 智夫・阿瀬 正明・二羽 淳一郎
V-649　太径アンカー筋に対する無機系注入式あと施工アンカーの付着強度特性／住友大阪セメント［正］安藤 重裕・兼吉 孝征・中野 克彦
V-650　低温および高温環境下に置かれる接着系あと施工アンカーの温度モニタリングについて／日本ヒルティ［正］高橋 宗臣・佐藤 靖彦・佐原 愛士
V-651　低温および高温環境下に置かれる接着系あと施工アンカーの付着耐力について／日本ヒルティ［正］宮崎 剛・佐藤 靖彦・佐原 愛士
V-652　あと施工アンカーのコンクリートのひび割れに対する耐荷力評価のための試験方法／日本ヒルティ［正］石原 力也・国枝 稔
V-653　凍結融解作用による損傷機構に基づいた鉄筋とコンクリート間の付着劣化モデル／北海道大学［学］金澤 健・佐藤 靖彦
V-654　機械式定着鉄筋の引抜き試験の再現解析／大成建設［正］畑 明仁・趙 唯堅・武田 均

■付着・定着・継手（2）／プレキャストコンクリート（1）／10:40～12:00／佐藤 靖彦（北海道大学）
V-655　機械式継手で接合した鉄筋の座屈抵抗性に関する実験的研究／東京鉄鋼［正］後藤 隆臣・小倉 貴裕・平野 勝識
V-656　PCaボックスカルバートの隅角部に配した各種接合方法の曲げ耐荷挙動／九州大学［学］渡邊 允弘・日野 伸一・松田 学
V-657　LNGタンクに使用するプレート定着型せん断補強鉄筋「Head-bar」の低温引張試験／大成建設［正］趙 唯堅・渡辺 崇弘・梶 修
V-658　風力発電塔基礎部におけるアンカーリングの沈下現象に関する基礎的研究／大阪市立大学［学］黒木 唯真・角掛 久雄・江田 七海
V-659　非線形FEM解析を用いた厚い部材へのRCループ継手の適用性に関する一考察／オリエンタルコンサルタンツ［正］栗山 照雄・原田 健彦・蔭山 路生
V-660　PCaPC部材のパラメトリックプッシュオーバー解析―ファイバーモデルとM-φモデルとの比較―／日本コンクリート工業［正］山岸 健治・都築 洋平・薄葉 信一

■プレキャストコンクリート（2）／15:20～16:40／細野 宏巳（三井住友建設）
V-661　プレキャスト型車両用剛性防護柵の開発―車両衝突試験によるSB種の性能確認―／奥村組［正］三澤 孝史・中山 壮一郎・西山 宏一
V-664　鋼材とPCa RC板を組合せた埋設型枠のせん断補強効果に関する検討／ジオスター［正］横尾 彰彦・竹内 大輔・関口 修史
V-665　鋼材とPCa RC板を組合わせた埋設型枠のモックアップ実験／ジオスター［正］西嶋 修平・中谷 郁夫・横尾 彰彦
V-666　等辺角形プレストレストコンクリートパイルを用いた自立式擁壁の耐震性能評価／東京都市大学［学］田村 信二・吉川 弘道・薄葉 信一
V-667　高波浪領域で使用される無筋コンクリート消波ブロックの曲げ耐荷力／不動テトラ［正］昇 悟志・千々和 伸浩・岩波 光保

第Ⅵ部門

建設事業計画、設計技術、積算・契約・労務・調達、施工技術、環境影響対応技術、維持・補修・保全技術、建設マネジメントなど

Ⅵ-1（C棟C103教室）／9月7日(水)

■建設マネジメント(1) ／9:00～10:20／藤田 宗久(清水建設)

Ⅵ-022　土壌汚染対策事業にプログラムマネジメント手法導入への一考察／国際航業［正］下池 季樹
Ⅵ-023　エリアの違いによる構造物が保有する地震リスクポテンシャルの評価／明石工業高等専門学校［学］納庄 一希・稲積 真哉
Ⅵ-024　通行規制を実施した橋梁の損傷要因及び社会的影響に関する事例分析／土木研究所［正］坂本 裕司・眞弓 英大・石原 大作
Ⅵ-025　コンカレント・エンジニアリングの適用に関する一考察／パシフィックコンサルタンツ［正］木守 岳広
Ⅵ-026　建設現場での情報共有を指向したツールの検討／東日本旅客鉄道［正］田原 孝・蒔苗 耕司
Ⅵ-027　地盤構造の違いによる土地評価方法／秋元技術コンサルタンツ［正］阿部 和正・今西 肇
Ⅵ-028　土木工学のなかの機械技術について／土木研究所［正］吉永 弘志・山元 弘

■建設マネジメント(2) ／10:40～12:00／今石 尚(大成建設)

Ⅵ-029　女川町震災復興事業成果(その1) ―復興版CM方式の構築と成果―／鹿島建設［正］尾中 隆文・宮本 久士・野口 光治
Ⅵ-030　女川町震災復興事業成果(その2) ―オープンブック方式について―／鹿島建設［正］木暮 健・田中 宏昭・森脇 恵司
Ⅵ-031　女川町震災復興事業成果(その3) ―まちびらきを迎えて―／鹿島建設［正］野村 浩・星野 亨・朝原 龍彦
Ⅵ-032　女川町震災復興事業成果(その4) ―女川町の水産加工業の早期復興に向けて―／鹿島建設［正］頓所 憲弥・榎畑 智之・朝原 龍彦
Ⅵ-033　女川町震災復興事業成果(その5) ―女川町に点在する漁港集落の高台移転について―／鹿島建設［正］石倉 一輝・鹿毛 量・藤原 陽一
Ⅵ-034　多賀城市における官民・地域連携によるインフラ施設管理のあり方に関する検討／パシフィックコンサルタンツ［正］大石 健二・中井 諒・稲光 信隆
Ⅵ-035　福島県における包括的維持管理(試行)の取組みについて／パシフィックコンサルタンツ［正］村松 和也・木村 豪・福澤 伸彦

■アセットマネジメント(1) ／15:20～16:40／堀 倫裕(大成建設)

Ⅵ-036　橋梁の劣化による道路ネットワークの切断リスクの検討／金沢大学［正］小川 福嗣・近田 康夫・吉田 涼平
Ⅵ-037　道路ネットワーク上の劣化を考慮した道路構造物耐震補強・補修の優先順位設定におけるゲーム理論の適用／金沢大学［学］牧野 信吾・近田 康夫・喜多 敏春
Ⅵ-038　点検結果を活用した橋梁構造物の健全度評価とLCC算出に関する基礎的検討／［正］佐々木 楓・羽柴 俊明・早坂 洋平
Ⅵ-039　橋梁定期点検調書における写真の撮り方および記載単語の基礎的傾向分析／長岡工業高等専門学校［学］小黒 蓮・井林 康・長井 宏平
Ⅵ-040　鉄道トンネルにおける変状実態に関する一考察／東日本旅客鉄道［正］菅藤 太郎・伊藤 信・鈴木 尊
Ⅵ-041　鉄道土留め壁の経時劣化に関する一考察／東日本旅客鉄道［正］篠田 和典・伊藤 優・脇山 勘治
Ⅵ-042　予防保全型の橋梁修繕計画に際しての一考察／エイト日本技術開発［正］小野 和行・中村 圭秀・廣瀬 彰則

■アセットマネジメント(2) ／17:00～18:20／池田 真理子(鹿島建設)

Ⅵ-043　タブレット端末を用いた発展途上国向けの橋梁調書作成・点検システムの開発と試行／長岡工業高等専門学校［学］土田 大嗣・渡邉 正俊・井林 康
Ⅵ-044　BMSの運用実績等に基づく市町向け橋梁データベースシステムの開発事例／日本海コンサルタント(金沢大学)［正］町口 敦志・浦田 孔二・多田 徳夫
Ⅵ-045　橋梁点検データを活用した市町村橋梁の迂回路計算システムの開発／東京大学［学］坂田 理子・長井 宏平・金杉 洋
Ⅵ-046　損傷進展情報を考慮した橋梁マネジメントのための損傷発生予測／大阪大学［学］二宮 陽平・水谷 大二郎・貝戸 清之
Ⅵ-047　土木機械設備のストックマネジメントについて／土木研究所［正］山元 弘・藤野 健一・伊藤 圭
Ⅵ-048　鉄道施設のアセットマネジメントに向けた基礎検討／JR東日本［正］千田 篤史
Ⅵ-049　点検データ分析による高速道路橋床版の変状状態推定／東京大学［正］湧田 雄基・津田 剛彦・木村 信隆

Ⅵ-1（C棟C103教室）／9月8日(木)

■安全管理／9:00～10:20／長澤 達朗(清水建設)

Ⅵ-050　法面からの墜落災害防止のための親綱固定方法に関する研究／東京都市大学［学］岡庭 翔一・伊藤 和也・吉川 直孝
Ⅵ-051　移動式クレーン等の安定設置に必要な地耐力条件／労働安全衛生総合研究所［正］玉手 聡・堀 智仁
Ⅵ-052　ドラグ・ショベルの斜面等走行時の不安定性に関する基礎的検討／労働安全衛生総合研究所［正］堀 智仁・玉手 聡
Ⅵ-053　深礎工による大深度集水井の施工／大成建設［正］関 史郎
Ⅵ-054　移動式吊足場(ラック足場)における安全確保のための事前検討について／東鉄工業［正］望月 信吾・土田 大輔・田尻 丈晴
Ⅵ-055　固結粒状材料を用いた発破に伴う応力の実験的検討／東京都市大学［学］佐藤 美美・伊藤 和也・吉川 直孝
Ⅵ-056　潜水管理システムの開発とダム貯水池における潜水作業への適用／鹿島建設［正］椿 治彦・小川 雄一郎・村上 高志

■安全管理、工程管理／10:40～12:00／鈴木 尊(東日本旅客鉄道)

Ⅵ-057　大型土のうの楊重作業の生産性向上／鹿島建設［正］船迫 俊雄・上田 昭郎・吉川 修
Ⅵ-058　ゴム引布製起伏堰の強度およびクリープ特性の検討／国研)土木研究所［正］中村 崇・新田 弘之・百武 壮
Ⅵ-059　ゴム引布製起伏堰のゴム袋体ひずみ量現地調査／土木研究所［正］新田 弘之・中村 崇・百武 壮
Ⅵ-060　地下鉄営業線に近接した地中連続壁の施工について／大成建設［正］谷一 彰彦・西青木 光則・近藤 達也
Ⅵ-061　坑口巻出工140mをスライド式アウトセントルにて施工／清水建設［正］宮本 有樹・村井 博・新宅 正道
Ⅵ-062　大型駅構内改良に伴う流雪溝打ち替えの計画と管理／東鉄工業［正］太刀川 卓・若月 亮

Ⅵ-1（C棟C103教室）／9月9日(金)

■安全管理、組織・人材育成／9:00～10:20／前渋 卓郎(熊谷組)

Ⅵ-063　2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック関連工事の安全衛生活動について／労働安全衛生総合研究所［正］大幢 勝利・吉川 直孝・豊澤 康男
Ⅵ-064　施工管理と施工技術に関する二極化の現状と課題／大阪大学［正］浜田 成一・貝戸 清之・水谷 大二郎
Ⅵ-065　女性技術者の建設業参入に関する一考察／東洋大学［正］鈴木 信行・村田 裕介・齋藤 彰
Ⅵ-066　女性が働きやすい就労環境の改善費に関する一考察／建設物価調査会［正］村田 裕介・鈴木 信行・齋藤 彰
Ⅵ-067　橋梁点検での接触事故防止を目的とした視差呼称の定着に向けて／［正］影澤 雅人・岩上 和行
Ⅵ-068　中小管工事業者を対象とした安全教育の実態調査／労働者健康安全機構［正］高木 元也
Ⅵ-069　高所作業車におけるセーフティーポールの開発／首都高技術［正］得能 智昭・小出 悟

■建設公共、建設産業／10:40～12:00／石井 明俊(鹿島建設)

Ⅵ-070　海外工事における陥り易い問題解決手法の紹介／前田建設工業［F］酒井 照夫
Ⅵ-071　二極化後の総合評価落札方式の実施状況について／国土技術政策［正］大野 真希・小川 智弘・冨澤 成実
Ⅵ-072　戦略的な広報の実施について(仮称) ／東北地方整備局［正］日野口 厳
Ⅵ-073　ポスト 2020 のシビル産業とみんながグローバル シビルエンジニアへ向けて(その2) ／日本都市整備［F］西 満幸
Ⅵ-074　米英の道路及び河川関連公共事業における中長期計画の現状／国土技術政策総合研究所［正］藤井 都弥子・飯野 光則・小川 智弘

■建設ロボット／15:20～16:40／江田 正敏(大成建設)

Ⅵ-075　自律制御型振動ローラによる転圧作業の現場検証～次世代社会インフラ用ロボット現場検証～／［正］片山 三郎・宮崎 裕道・石井 稔之
Ⅵ-076　振動ローラ自動転圧システムにおける自動化装置の開発／鹿島建設［正］大塩 真・小熊 正・三浦 悟
Ⅵ-077　無人航空機(ドローン)による構造物への補修材等吹付けの適用可能性の検証／西武建設［正］二村 憲太郎・井上 靖雄・伊代田 岳史
Ⅵ-078　磁石式鋼橋点検装置の開発(その2) ／首都高技術［正］布施 光弘・森 清・石塚 尚樹

Ⅵ-079　建設機械の搭乗操作と遠隔操作における作業時間の実態について／土木研究所［正］茂木 正晴・藤野 健一・西山 章彦
Ⅵ-080　ブルドーザ撒出し自動化における作業シミュレータの開発／鹿島建設［正］浜本 研一・黒沼 出・内村 裕
Ⅵ-081　無人化施工における低容量型デジタル高精細画像伝送システムの開発／熊谷組［正］飛鳥馬 翼・北原 成郎・坂西 孝仁

Ⅵ-2（C棟C104教室）／9月7日(水)

■鉄道(1) ／9:00～10:20／松田 茂広(大成建設)

Ⅵ-082　簡易架台による狭隘箇所での小口径羽根付鋼管杭の施工について／JR東日本［正］山本 剛史・齋藤 洋平・加藤 精亮
Ⅵ-083　簡易架台による狭隘箇所での小口径羽根付鋼管杭施工の効率化／JR東日本［正］齋藤 洋平・山本 剛史・加藤 精亮
Ⅵ-084　可部線安芸長束駅改良における軌道移設・ホーム改修の同時施工について／西日本旅客鉄道［正］内田 康平・牛田 直希・古賀 雄也
Ⅵ-085　新駅設置工事に関する一考察／JR東日本［正］籠 雅貴・鈴木 直人
Ⅵ-086　奈良線京都駅ホーム拡幅工事の施工について／西日本旅客鉄道［正］新槙 広樹・堀 慎一・尾崎 大史
Ⅵ-087　軌道脇の法面近傍における鋼管矢板の施工管理／東日本旅客鉄道［正］田中 永之・加藤 精亮・杉崎 向秀
Ⅵ-088　鉄道橋台背面の柱状改良補強工事における施工技術／東鉄工業［正］米澤 歩・木下 一孝

■鉄道(2) ／10:40～12:00／舟橋 秀麿(東海旅客鉄道)

Ⅵ-089　鉄道高架橋の基礎形式の検討／ジェイアール東日本コンサルタンツ［正］清水 靖史・栗原 啓之・友竹 幸治
Ⅵ-090　成田線成田・下総松崎間高架化工事について／JR東日本［正］大矢 新吾・大野 龍馬・小林 義雄
Ⅵ-091　鉄道営業線における高架橋構築用特殊門型クレーン／大成建設［正］佐藤 文彦・竹田 靖・米谷 健治
Ⅵ-092　連続した鉄道高架橋アンダーピニング工事の計画と施工実績～仮受工計画概要と先行プレロード工の実績／鹿島建設［正］伊藤 弘之・鈴木 健介・田中 誠
Ⅵ-093　アスファルト路盤上に設置した高さ調整コンクリートの摩擦抵抗力確認試験／東日本旅客鉄道［正］本田 頼則・渡部 太一郎
Ⅵ-094　超高強度横抵抗部材を用いた軌道構造の曲線部への適用に関する実験的検討／東日本旅客鉄道［正］川村 孝太朗・竹谷 勉・小林 寿子
Ⅵ-095　まくらぎ側面の突起で横圧に抵抗する弾性まくらぎ直結軌道に対する水平方向載荷試験／鉄道総合技術研究所［正］谷川 光・高橋 貴蔵・桃谷 尚嗣

■鉄道(3) ／15:20～16:40／栗林 健一(東日本旅客鉄道)

Ⅵ-096　鉄道林地内におけるなだれ被害とその復旧工事について／JR東海［正］萩谷 俊吾
Ⅵ-097　五能線第2吾妻川橋りょうの洗掘災害と対策工について／JR東日本［正］鵜澤 星一・進藤 忠丸
Ⅵ-098　台風18号に伴う日光線河川橋りょう災害対応について／JR東日本［正］浜田 栄治・秋山 啓太・石塚 直人
Ⅵ-099　海岸護岸の変状対策および維持管理について／西日本旅客鉄道［正］山田 啓太
Ⅵ-100　大糸線神城断層地震により崩壊した斜面の応急復旧工事／JR東日本［正］伊東 典紀・桜井 雄一・青木 光司
Ⅵ-101　観測衛星のリモートセンシングを活用した斜面管理の検討／東日本旅客鉄道［正］鴫志田 祥子・栗林 健一・小野 清孝
Ⅵ-102　列車に搭載したカメラによる線路沿線の環境変化抽出手法の検討／西日本旅客鉄道［正］高山 宜久・藤嶋 昭久・曽我 寿孝

■鉄道(4) ／17:00～18:20／久多羅木 吉治(東亜建設工業)

Ⅵ-103　営業線近接や狭隘空間等の制限下における硬質地盤上基礎の施工／シーエヌ建設［F］丹間 泰郎・大西 亨匡
Ⅵ-104　営業線直下における拡径式アンカーを使用した盛土の耐震補強工事について／東日本旅客鉄道［正］関 禎幸・米川 裕幸・手塚 雅人
Ⅵ-105　棚式土留擁壁部での盛土耐震補強工事について／東日本旅客鉄道［正］川嵜 淳・東條 将人・安藤 聡
Ⅵ-106　ゼロ土被りのHEP&JES工法における上床版エレメントの施工／東海旅客鉄道［正］早川 泰央
Ⅵ-107　線路下ボックスカルバートの構造プロポーションに関する検討／ジェイアール東海コンサルタンツ［正］柳川 一心・今枝 潤志・石橋 孝通
Ⅵ-108　3次元レーザースキャナを活用した鉄道レンガトンネルの覆工補修／JR東日本［正］淀 健・中島 哲哉・大本 晋士郎
Ⅵ-109　再帰性反射塗料を用いたたわみ測定の定量的検証／JR東海［正］並松 沙樹・矢部 丈博・玉谷 宗一朗

Ⅵ-2（C棟C104教室）／9月8日(木)

■鉄道(5) ／9:00～10:20／川崎 祐征(東海旅客鉄道)

Ⅵ-110　新幹線軌道用多頭式ボルト緊解機の開発／東日本旅客鉄道［正］渡部 慎吾・佐竹 宣章
Ⅵ-111　「リモートコントロール型草刈機」の鉄道法面への適応に向けた一考察／大鉄工業［正］白崎 研人・坂本 士・北野 生喜
Ⅵ-112　保守用車用踏切遮断装置の開発／JR九州［正］佐古 武彦・幸野 茂・安部 和俊
Ⅵ-113　GPS式列車接近警報装置の異常検知機能の強化について／西日本旅客鉄道［正］矢野 史也・島田 喜久雄・曽我 寿孝
Ⅵ-114　駅扱工事支援システムの開発／西日本旅客鉄道［正］五十嵐 翔太・島田 喜久雄・曽我 寿孝
Ⅵ-115　線路上空の桁補修等に適した軌陸高所作業車作業床の開発について／東日本旅客鉄道［正］石田 将貴・永井 新悟・水澤 秀樹
Ⅵ-116　次世代トンネル覆工表面撮影車の導入に向けた現地試験の概要について／東日本旅客鉄道［正］久保木 利明・栗林 健一

■鉄道(6) ／10:40～12:00／早川 博久(鹿島建設)

Ⅵ-117　目黒変電所移設工事における工事桁の施工について／東日本旅客鉄道［正］山下 洋平・坂本 渉・岡本 浩
Ⅵ-118　工事桁下部の埋戻しおよび工事桁撤去工法の選定について／大鉄工業［正］布袋 直路・上田 隆之
Ⅵ-119　3線4主桁構造の工事桁架設の精度確保に関する対策について／東日本旅客鉄道［正］榊間 遼・川人 麻紀夫・吉田 一
Ⅵ-120　H鋼型簡易工事桁の開発／大鉄工業［正］武澤 潤・高木 敦士
Ⅵ-121　新宿駅構内における鉄道クレーンによるPC工事桁一括撤去の施工計画及び施工記録／JR東日本［正］片山 拓人・石島 朝男・甘粕 雅俊
Ⅵ-122　鉄道高架化切替後の取付区間におけるPC桁分割撤去／大成建設［正］殿内 秀希・村山 佳弘・木戸 浩幸
Ⅵ-123　線路切り替えに伴う､スラブ桁の急速横取架替え工事について／大成建設［正］齋藤 英弘・桑島 元信・矢野 伸男

Ⅵ-2（C棟C104教室）／9月9日(金)

■施工技術(10) ／9:00～10:20／鈴木 亨(東海旅客鉄道)

Ⅵ-124　長大エクストラドーズド橋柱頭部の押出し施工／大成建設・ピーエス三菱JV［正］新庄 皓平・水谷 正樹・村山 敏弘
Ⅵ-125　高架橋柱湾曲部における鋼板巻き立て耐震補強の試験施工について／東鉄工業［正］薄田 秀平・小笠原 幸司・前田 邦彦
Ⅵ-126　JR既設盛土耐震補強工事における移動式昇降足場の検討と施工について／［正］鎌田 拓弥・櫻井 淳司・中山 亮二
Ⅵ-127　杭式ドルフィン上部工における中空分割施工(HTL工法)の採用／東洋建設［正］上口 真輝・傳 亮司・佐野 清史
Ⅵ-128　大規模改修トンネル工事のひび割れ注入における効果的な施工方法の確立について／JR東海［正］清水 和貴・田川 謙一・小林 毅
Ⅵ-129　フェールセーフを目的とした床版横締めPC鋼材の後埋め部へのはく落防止対策工について／オリエンタル白石［正］大谷 悟司・浦野 悟・長谷 俊彦
Ⅵ-130　背面が劣化したモルタル吹付け工の補修に関する小型模型注入実験／東京都市大学［学］蓮沼 佑晃・秋元 宏仁・伊藤 和也

■施工技術(11) ／10:40～12:00／土屋 雅徳(清水建設)

Ⅵ-131　水路改築工事におけるプレキャスト工法の施工実績／鹿島建設［正］内田 拓史・福井 直之・犬童 眞二
Ⅵ-132　武蔵水路改築における2分割ボックスカルバートの施工実績／鹿島建設［正］腰塚 雄太・天野 栄二・犬童 眞二
Ⅵ-133　民家近接部におけるコンクリート矢板を用いた側水路改修／鹿島建設［正］亀田 卓志・平石 剛紀・犬童 眞二
Ⅵ-134　縦断勾配とカーブの複合条件下におけるプレキャストボックスカルバート施工報告／技研［正］祐川 真也・三重野 考市・鷲尾 晴実
Ⅵ-135　折畳み可能な先組み鉄筋工法の柱部材への適用／鹿島建設［正］河野 哲也・藤井 信宏・坂本 真

Ⅵ-136　隅角部に鉄筋ユニットブロックを配置した部材の耐荷性状／大成建設［正］猪口 泰彦・高倉 克彦・村田 裕志
Ⅵ-137　RC躯体構築現場における鉄筋自動結束機械の適用実績／［正］寺西 弘一・藤井 信宏・坂本 真

■施工技術(12)　／15:20～16:40／大浜 大(鹿島建設)
Ⅵ-138　潜水作業施工管理システムを用いた被覆ブロック据付事例／みらい建設工業［正］齋藤 雄太・吉冨 三矢・的場 敬
Ⅵ-139　大規模造成工事における3次元モデルの活用事例／［正］亀岩 三起・神崎 恵三・青木 武士
Ⅵ-140　回転翼型UAVを用いた土量管理・施工管理事例／大林組［正］尾内 陽介・平山 浩司・杉浦 伸哉
Ⅵ-141　重力利用型連続式混合設備のCSG連続製造への適用性／前田建設工業［正］高橋 雄治・笹倉 伸晃・松尾 健二
Ⅵ-142　災害初期対応を想定した油圧ショベル搭乗操作におけるオペレータ視点について／土木研究所［正］西山 章彦・茂木 正晴・橋本 毅
Ⅵ-143　分合流地中拡幅工事における拡大シールド工の計画と施工／大林組［正］森本 慎吾・落合 栄司・松原 健太
Ⅵ-144　シールドトンネルにおける非開削工法による大断面拡幅工事／首都高速道路［正］落合 栄司・遠藤 啓一郎・伊藤 憲男

Ⅵ-3（C棟C105教室）／9月7日(水)

■施工技術(1)　／9:00～10:20／清水 正巳(大成建設)
Ⅵ-145　放水路トンネルの設計―石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その7)―／北海道電力［正］畠田 大規・齋藤 寿秋・小坂 琢郎
Ⅵ-146　CO_2によるシールド到達防護凍結工事モックアップ試験―石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その8)―／ケミカルグラウト［正］塩屋 祐太・齋藤 寿秋・畠田 大規
Ⅵ-147　外洋における没水型鋼管矢板井筒の施工―石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その9)―／鹿島建設［正］岩前 伸幸・齋藤 寿秋・畠田 大規
Ⅵ-148　外洋における大型構造物据付け工事と出来形確認方法―石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その10)―／鹿島建設［正］飯田 和弘・齋藤 寿秋・畠田 大規
Ⅵ-149　没水型放水口工事に用いる水中不分離性セメントミルクの施工―石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その11)―／鹿島建設［正］渡邉 和英・齋藤 寿秋・畠田 大規
Ⅵ-150　実海域における作業船の動揺計測―石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その12)―／鹿島建設［正］福山 貴子・秋山 義信・岩前 伸幸

■施工技術(2)　／10:40～12:00／石原口 一人(大林組)
Ⅵ-151　小断面鞘管内への中詰め施工に関する一考察／関電工［正］井口 昌之・赤羽 俊彦・森 薫
Ⅵ-152　レーザー塗装剥離装置を用いた塗装剥離における鋼材への影響／IHI［正］岩崎 初美・大脇 桂・川口 勲
Ⅵ-153　ニューマチックケーソンの施工実績と合理化にむけた取組み／前田建設工業［正］森田 篤・河野 浩之・山門 隆雄
Ⅵ-154　近接施工下での河川内長尺鋼管矢板基礎への機械式継手の採用／大成建設［正］藤原 直生・田中 大介・小竹森 浩
Ⅵ-155　高耐久性埋設型枠の施工性向上に関する検討／［正］白木 浩・小山 一夫・柿本 啓太郎
Ⅵ-156　大口径鋼管杭式防潮堤建設における全周回転掘削機架台・鋼管杭建込み架台の開発／鹿島建設［正］石橋 康恭・門脇 和彦・田村 廣丈
Ⅵ-157　植生基準を満足する土砂の分別・分級作業／鹿島建設［正］藤井 信宏・志賀 真悟・廣村 治

■施工技術(3)　／15:20～16:40／藤崎 勝利(鹿島建設)
Ⅵ-158　セメント混合土を先行削孔の埋戻しに利用して土留め壁の変位増大を抑制／鴻池組［正］大沢 恭弘・國富 和眞・江下 慶太郎
Ⅵ-159　清掃工場の建替え工事にともなう盤ぶくれ対策と復水について／アサヒテクノ［正］尾崎 哲二・井出 健二郎・石田 宏一
Ⅵ-160　葉山層泥岩での開削工事における深礎擁壁の変状対策(その1)―深礎の変形挙動と地山状況について―／熊谷組［正］里見 賢・片山 政弘・久保 暁俊
Ⅵ-161　葉山層泥岩での開削工事における深礎擁壁の変状対策(その2)―再現解析と原因分析について―／熊谷組［正］山口 哲司・中出 剛・嶋村 健一郎
Ⅵ-162　葉山層泥岩での開削工事における深礎擁壁の変状対策(その3)―対策工の検討について―／熊谷組［正］中山 猛・中出 剛・山口 哲司
Ⅵ-163　河川橋りょう改修工事における問題とその対策・効果／［正］山田 英助

■施工技術(4)　／17:00～18:20／黒澤 亘(大成建設)
Ⅵ-164　水中コンクリート打設管理システムの開発について／みらい建設工業［正］中田 崇晴・泉 誠司郎・石原 慎太郎
Ⅵ-165　曳航自沈式アンカー（ジャイロアンカー）沈設誘導システムの開発／ゼニヤ海洋サービス［正］西田 秀紀・佐藤 明久・大友 英明
Ⅵ-166　長大海上橋梁工事におけるジオチューブの適用／三井住友建設［正］大井 才生・高橋 英行・グエン アンチー
Ⅵ-167　「ベルタイプ式プレキャスト橋脚基礎」の吊曳航据付―九島大橋(仮称)建設工事―／清水建設［正］前田 裕一・岡野 恭久・清水 康弘
Ⅵ-168　水中作業時の視界確保技術について／大林組［正］徳永 篤・中根 亘
Ⅵ-169　大水深下での水中不分離性コンクリート打設における品質確保と施工管理方法の確立／清水建設［正］内田 加苗・岡野 恭久・清水 康弘
Ⅵ-170　流動化処理土による空洞充填工事の一考察／徳倉建設［正］安田 知之・三ツ井 達也

Ⅵ-3（C棟C105教室）／9月8日(木)

■施工技術(5)　／9:00～10:20／谷田部 勝博(大林組)
Ⅵ-171　熱可塑性樹脂シートのしわ抑制検討と実構造物の壁面での養生実績／鹿島建設［正］仲森 稔晃・志賀 真悟・廣村 治
Ⅵ-172　実構造物における熱可塑性樹脂シートを用いた水分逸散防止養生の適用実績／鹿島建設［正］芦澤 良一・仲森 稔晃・林 宏延
Ⅵ-173　橋脚における熱可塑性樹脂シートを用いた長期間の水分逸散防止養生／鹿島建設［正］柿本 啓太郎・渡邉 賢三・温品 達也
Ⅵ-174　橋梁上部工における熱可塑性樹脂シートを用いた長期間の水分逸散防止養生／鹿島建設［正］坂井 吾郎・温品 達也・渡邉 賢三
Ⅵ-175　不織布テープによるコンクリート充填向上工法の検討(その1:不織布の検討)／アンビック［正］山本 剛士・延谷 公昭・平井 卓
Ⅵ-176　不織布テープによるコンクリート充填向上工法の検討(その2:実大模型試験)／竹中土木［正］四宮 みゆき・平井 卓・高橋 心平
Ⅵ-177　不織布テープによるコンクリート充填向上工法の検討(その3:実トンネルへの適用)／竹中土木［正］原田 透・四宮 みゆき・山本 剛士

■施工技術(6)　／10:40～12:00／杉橋 直行(清水建設)
Ⅵ-178　表面締固めバイブレータの施工管理システムの現場検証／鹿島建設［正］佐野 雄紀・関 健吾・今井 道男
Ⅵ-179　表面締固めバイブレータの影響範囲に関する一考察／鹿島建設［正］海老 剛行・川崎 文義・関 健吾
Ⅵ-180　エンジン式バイブレータの締固め性能の評価／鹿島建設［正］川崎 文義・林 大介・露木 健一郎
Ⅵ-181　門型カルバートにおける高流動コンクリートの打設／［正］池田 和洋・足達 康軌
Ⅵ-182　早強性と低収縮性を有するコンクリートの品質に関する一考察／鹿島建設［正］横関 康祐・関 健吾・小田部 裕一
Ⅵ-183　トンネル覆工コンクリートにおけるS.L.下部の表面気泡の低減に関する検討／鹿島建設［正］佐藤 崇洋・隅田 成朗・手間本 康一
Ⅵ-184　後添加型中流動コンクリートの高密度配筋覆工への適用事例／鹿島建設［正］木原 大樹・新明 正人・須藤 信一

Ⅵ-3（C棟C105教室）／9月9日(金)

■施工技術(7)　／9:00～10:20／武田 均(大成建設)
Ⅵ-185　ケーソン側壁へのパイプクーリングの適用結果について／西松建設［正］伊藤 智規・土屋 光弘・山下 晋由
Ⅵ-186　大規模水門「大林水門」のひび割れ抑制対策について／奥村組［正］高橋 太郎・斎藤 隆弘・中村 方紀
Ⅵ-187　注水併用エアクーリングの注水形態に関する一考察／熊谷組［正］神崎 恵三・中出 剛・水谷 真琴
Ⅵ-188　壁式橋脚への注水併用エアクーリング工法の適用事例／熊

谷組［正］熊谷 康之・水谷 真琴・神崎 恵三
Ⅵ-189 ブリーディング抑制型AE減水剤を用いたコンクリートによる壁状部材の構築／鹿島建設［正］渡邉 賢三・温品 達也・坂井 吾郎
Ⅵ-190 たわら打ちを用いたコンクリート打設による打重ね時間間隔の短縮／鹿島建設［正］向原 健・金崎 伸夫・渡邉 賢三
Ⅵ-191 水門床版への真空脱水工法の適用と効果確認試験に関する報告／安藤・間［正］内田 雅博・藤野 俊彦・伊藤 恒治

■施工技術(8) ／10:40～12:00／片山 政弘(熊谷組)
Ⅵ-192 発破掘削時の差角誘導システムの開発／［正］犬塚 隆明・岩野 圭太・手塚 康成
Ⅵ-193 連続コンベヤを採用した山岳トンネルにおけるズリ出し時間の短縮／大林組［正］木村 博考・伊原 泰之・川原 清一
Ⅵ-194 急曲部のあるトンネル工事に適用可能な低空頭型ベルト捻転装置の開発／大林組［正］羽立 征治・丈達 康太・中村 亮
Ⅵ-195 脆弱地山におけるトンネル坑口部地すべり対策とその挙動／清水建設［正］河田 雅也・田丸 浩行・藏重 幹夫
Ⅵ-196 岩盤切削機の施工効率向上に関する検討／奥村組土木興業［正］吉田 彰男・川畑 雅樹・丸山 健一
Ⅵ-197 崖錐堆積部を通過する進入道路の施工事例／大林組［正］稲川 雄宣・山本 彰・島谷 竜一
Ⅵ-198 急峻な崩落性岩盤斜面を通過する進入道路の施工事例／大林組［正］島谷 竜一・福永 晋一・稲川 雄宣

■施工技術(9) ／15:20～16:40／中出 剛(熊谷組)
Ⅵ-199 都市部連続立体交差事業における軌道直下での函渠改良事例／大林組［正］中田 訓行・桑島 元信・島 一郎
Ⅵ-200 銀座線日本橋駅と日本橋二丁目地区市街地再開発ビルとの接続工事における特殊路面覆工について／東京地下鉄［正］伊藤 聡・小賀坂 秀樹・内藤 貴裕
Ⅵ-201 地下鉄営業線直上におけるハーフプレキャスト床板設置の施工結果について／東京地下鉄［正］沼田 敦・佐久間 穣・志釜 遥介
Ⅵ-202 銀座線渋谷駅改良工事に伴う線路切替え工事計画について／東京地下鉄［正］坂田 聡・藤野 覚・仕垣 時樹世
Ⅵ-203 日比谷線茅場町駅改良土木工事における既設構造物の側壁撤去時における計測結果について／東京地下鉄［正］廣元 勝志・橋口 弘明・町田 裕之
Ⅵ-204 地下鉄駅構築下地盤改良の施工方法変更と試験施工について／東京地下鉄［正］西川 祐・川岸 康人・城石 尚明
Ⅵ-205 櫛形本体利用連壁の設計と施工について／東京地下鉄［正］新井 泰・川岸 康人・森谷 剛

Ⅵ-4（C棟C106教室）／9月7日(水)

■施工計画(1) ／9:00～10:20／川田 成彦(首都高速道路)
Ⅵ-206 既設推進管を地中拡幅(トンネル工事)によるシールド発進基地の築造／戸田建設［正］竹田 英樹・川村 直樹・内藤 将史
Ⅵ-207 鉄道構造物におけるハーモニカ工法の施工実績～高水圧化における鋼殻内躯体構築について～／大成建設［正］倉澤 敦・上坂 龍平・田中 美帆
Ⅵ-208 「ハーモニカ工法+アンダーピニング工法」による京葉JCT・Dランプの施工(その2) ／大成建設［正］室賀 大二郎・金野 正一・門間 正挙
Ⅵ-209 小土被りパイプルーフ工法による高速ランプ部沈下抑止工の施工／大成建設［正］金野 正一・田村 憲・門間 正挙
Ⅵ-210 硬質な岩盤が想定された河川横断部におけるミニシールドの施工について／戸田建設［正］野村 朋之・平野 勝志
Ⅵ-211 小断面トンネルにおける生産性向上への取り組み／大林組［正］東 憲太朗・樋場 光司
Ⅵ-212 契約後VE方式の活用による工程短縮と工事費削減／大林組［正］村上 賢治・野口 彰・篠崎 真弘

■施工計画(2) ／10:40～12:00／八朝 秀晃(熊谷組)
Ⅵ-213 落差60mを超える道路崩壊箇所の災害復旧事例／大林組［正］田畑 繁樹・井上 博幸
Ⅵ-214 平成26年広島豪雨災害に伴う水力発電所(中国電力太田川発電所)復旧工事について／熊谷組［正］森田 慎也・二岡 克己・藤原 拓司
Ⅵ-215 西名古屋火力発電所リフレッシュ工事 放水口工事報告(その1) 一動的有効応力解析を用いた放水口の耐震設計一／鹿島建設［正］大浦 志郎・滝川 真太郎・河村 晋平
Ⅵ-216 西名古屋火力発電所リフレッシュ工事 放水口工事報告(その2) 一ターミナル内に位置する放水口の合理化施工一／中部電力［正］滝川 真太郎・亀井 達司・日野 博之
Ⅵ-217 西名古屋火力発電所リフレッシュ工事放水路立坑の施工実績／鹿島建設［正］福岡 佳輝・滝川 真太郎・河村 晋平
Ⅵ-218 河川内橋脚耐震補強における低空頭仮締切りについて／東鉄工業［正］四十八願 晃・小野田 春雄・塚越 康晴
Ⅵ-219 鋼製水路を用いた河川切回しの施工実績／鹿島建設［正］奥本 現・塩見 尚潔・岸田 正博

■施工計画(3) ／15:20～16:40／北出 啓一郎(大林組)
Ⅵ-220 線路下横断工事における仮設計画の検討／大鉄工業［正］平野 拓朗
Ⅵ-221 鉄道高架橋における特殊な形状をした鋼構造部材の架設・組立について／大成建設［正］藤岡 ひでゆき・相田 行雄・八浪 悌朗
Ⅵ-222 新宿駅中央盛土部高架化工事における土砂搬出ルートの施工について／東日本旅客鉄道［正］永井 辰樹・谷野 良輔
Ⅵ-223 鉄道直下横断道路の施工に支障する埋設管の撤去／東鉄工業［正］庄司 実・瀬下 雄志・渡辺 剛
Ⅵ-224 渋谷駅改良工事における工事桁架設計画の施工上の課題とリスク対策／東日本旅客鉄道［正］鈴木 健史・和田 旭弘・中野 和也
Ⅵ-225 活線に近接した器材線資材搬入出口設置工事／東京メトロ［正］小西 真治・菅原 翔・加賀谷 晃
Ⅵ-226 日暮里駅連絡通路の橋脚新設工事について／［正］柏原 悠

■施工計画(4) ／17:00～18:20／尾崎 健一郎(熊谷組)
Ⅵ-227 構造物に併設された足場の風力に及ぼす幅木の高さの影響その1 風力の計測方法に関する検討／ものつくり大学［学］青木 瑞季・高橋 弘樹・大幢 勝利
Ⅵ-228 構造物に併設された足場の風力に及ぼす幅木の高さの影響その2 構造物と足場の間隔と布わくの影響に関する検討／労働安全衛生総合研究所［正］高橋 弘樹・青木 瑞季・大幢 勝利
Ⅵ-229 稼働設備に近接した煙突解体の工夫／大成建設［正］町田 恵津子・佐藤 浩・加藤 正史
Ⅵ-230 東北新幹線と東北本線を跨ぐこ線人道橋てっ去の施工／東日本旅客鉄道［正］遠藤 大輔・小野寺 吉生
Ⅵ-231 営業線直下における掘削工事の安全管理について／大成建設［正］志谷 倫章・大塚 剛
Ⅵ-232 営業線近接の昼夜施工による急曲線推進施工／大成建設［正］村山 真一・萩原 剛
Ⅵ-233 営業線における工事桁本設化コンクリート工事の施工管理／［正］陣野 真弘・倉岡 希樹・田中 将希

Ⅵ-4（C棟C106教室）／9月8日(木)

■施工計画(5) ／9:00～10:20／河野 哲也(鹿島建設)
Ⅵ-234 線路及び国道上空における曲線線形を有するランプ桁の架設／東日本旅客鉄道［正］手塚 有希子・外山 洋文
Ⅵ-235 既設鉄道高架橋に近接した新設杭施工時の孔壁防護対策／清水建設［正］俣野 綾美・増田 尚大・平井 孝幸
Ⅵ-236 JR高架橋に近接する軟弱地盤上の雨水幹線の設計と維持管理について／大成建設［正］新井 健司・白土 稔・内藤 達也
Ⅵ-237 都市内制約条件下でのASR劣化したRC橋脚の拡幅施工／阪神高速道路［正］藤原 勝也・杉山 裕樹・井内 崇也
Ⅵ-238 JR高架橋近接部における軟弱地盤上の盛土掘削の安定について／大成建設［正］緒方 恒・白土 稔・内藤 達也
Ⅵ-239 曲線上り勾配での鋼箱桁の自走台車による送り出し架設／第一建設工業［正］丸山 哲郎・高橋 範明・武部 真悟
Ⅵ-240 茶畑近傍での大規模盛土工における霜害対策について／大林組［正］梶原 寛司・伊原 泰之・野田 正利

■施工計画(6) ／10:40～12:00／小林 顕(清水建設)
Ⅵ-241 PC中空床版コンクリートの品質確保のための取組みについて／戸田建設［正］酒井 賢太・三上 英明・助友 敬悟
Ⅵ-242 ホロー桁仮受架台形状の設計段階における検討に関する報告／鹿島建設［正］加藤 慎介・中島 徹・今井 俊一郎
Ⅵ-243 鋼コンクリート合成構造による地下構造物(函体)のプレハブ化／鹿島建設［正］小林 弘茂・岸田 正博・伊藤 淳之介
Ⅵ-244 ハーフプレキャスト工法によるRC橋脚の急速施工／大林組［正］石原口 一人・池田 裕司・村田 賢士
Ⅵ-245 滑走路のコンクリート舗装版へのPRC版の適用／鹿島建設［正］清水 亮・網野 秀生・小野 達也
Ⅵ-246 箱式橋台頂版部のプレキャスト化による工程短縮について／大成建設［正］小林 珠祐・伊藤 寛彦・白土 稔
Ⅵ-247 2層構造橋梁(仲の瀬橋)における橋梁補修について／東鉄工業［正］高橋 敬一・佐藤 啓

Ⅵ-4（C棟C106教室）／9月9日（金）

■施工計画（7）／9:00～10:20／新村 亮（大林組）

Ⅵ-248 フライアッシュを用いたコンクリートの大量打設に伴う配合選定／清水建設［正］菊地 裕介・鈴木 裕・宮田 佳和
Ⅵ-249 都市土木工事における現場コンクリート製造プラントの稼働実績／鹿島建設［正］吉住 淳志・奥本 現・芦澤 良一
Ⅵ-250 三陸沿岸道路専用公共生コンクリートプラント設置および運用に関して／大成建設［正］福井 智・小原 克己・梁 俊
Ⅵ-251 盛土上の壁面構造物の支持力不足の解消について／大成建設［正］久常 雄大・竹中 万人・白土 稔
Ⅵ-252 河川部低水敷における橋脚補強工法の選定／佐藤工業［正］田中 絵里子・大西 満
Ⅵ-253 特別名勝「松島」の景観に配慮した法面保護工について／大成建設［正］瀬之口 春雄・白土 稔・緒方 恒
Ⅵ-254 大動力・大張力・長距離曲走コンベヤの実機実験による検証／清水建設［正］丑屋 智志・古賀 善友・佐々木 博昭

■施工計画（8）／10:40～12:00／坂梨 利男（鹿島建設）

Ⅵ-255 同時施工する隣接工事との仕切り壁切断時の開口補強対策／清水建設［正］寺尾 昂・平井 孝幸・荒木 能
Ⅵ-256 河川堤防における新設放流口築造工事の仮設設計及び施工計画／清水建設［正］長谷 陵平・阿部 孝裕・南郷 健太郎
Ⅵ-257 自立式地盤改良土留めを用いた雨水調整池の省力化施工／大林組［正］北川 裕二・高橋 正登・山下 徹
Ⅵ-258 銀座線浅草駅折返し線整備計画について／東京地下鉄［正］荻野 竹敏・福田 隆二・津田 由治
Ⅵ-259 浸透水がある底設管の確実な閉塞について／大成建設［正］後藤 貴晴・白土 稔・佐伯 恭児
Ⅵ-260 駅改修工事における仮設材が不要なハンドホールの施工について／東日本旅客鉄道［正］大矢 智之・小島 淳史・関 和浩

Ⅵ-5（C棟C200教室）／9月7日（水）

■軌道保守（1）／9:00～10:20／立川 正勝（東日本旅客鉄道）

Ⅵ-261 営業列車搭載型軌道材料モニタリング装置収録データの活用方法に関する一考察／東日本旅客鉄道［正］小松 佳弘・葛西 亮平・小西 俊之
Ⅵ-262 携帯情報端末による車両位置同定手法の営業路線への適用／東京大学［学］中田 雄大・蘇 迪・田中 博文
Ⅵ-263 簡易な動的軌間測定装置の試作と基本性能確認／鉄道総合技術研究所［正］三和 雅史・石川 智行・坪川 洋友
Ⅵ-264 レール継目部における短波長軌道管理の検討／東海旅客鉄道［正］佐々木 俊明・磯田 聡史・渡邊 康人
Ⅵ-265 長波長帯域における復元波形の精度検証／鉄道総合技術研究所［正］山本 修平・坪川 洋友・小木曽 清高
Ⅵ-266 在来線の乗り心地向上に向けたマルチプルタイタンパによる構造物箇所への取り付け計画／東海旅客鉄道［正］鈴木 涉
Ⅵ-267 東海道新幹線におけるPCマクラギ更換後のマルタイによる軌道整備／日本機械保線［正］柳澤 健二・佐々木 直人

■軌道保守（2）／10:40～12:00／田中 博文（鉄道総合技術研究所）

Ⅵ-268 マルタイの品質向上による保守周期延伸効果について／西日本旅客鉄道［正］村越 雄太・伊藤 大介・小林 靖典
Ⅵ-269 大規模工事におけるMTTメジャーリングラン機能の補修への適用の検討／西日本旅客鉄道［正］河村 永・小村 啓太
Ⅵ-270 レール削正とマルチプルタイタンパの複合保守効果の定量評価／西日本旅客鉄道［正］原田 祐樹・桶谷 栄一・松本 麻美
Ⅵ-271 短波長軌道狂いを考慮した新しいMTT軌道整備手法の確立／東海旅客鉄道［正］矢田 太郎・曽田 祥信・永沼 泰州
Ⅵ-272 分岐器の軌道状態評価について／JR東日本［正］吉田 尚
Ⅵ-273 SW-MTT施工における効果的な施工方法の検討について／東日本旅客鉄道［正］落合 晋一・糟谷 賢一・桑原 諒
Ⅵ-274 MTT保守周期延伸に関する一考察／JR東日本［正］三村 大輔・萩原 和可子

■軌道保守（3）／15:20～16:40／本野 貴志（西日本旅客鉄道）

Ⅵ-275 ICレコーダを用いた鉄道の急曲線部における波状摩耗推定に関する研究／日本大学（現 大成建設）［正］中澤 慶介・綱島 均
Ⅵ-276 軌道検測車で測定された軸箱加速度によるレール凹凸評価の適用条件に関する検討／鉄道総合技術研究所［正］松本 麻美・田中 博文・原田 祐樹
Ⅵ-277 MBDツールを活用した外軌波状摩耗の発生メカニズム検証ツールの構築／鉄道総合技術研究所［正］田中 博文・細田 充
Ⅵ-278 アクティブ制御状態での徐行速度向上に向けた列車動揺特性の評価について／東日本旅客鉄道［正］久保田 光彦・佐竹 宣章
Ⅵ-279 マルチボディダイナミクスによる車両運動解析の妥当性検証に関する一考察／鉄道総合技術研究所［正］西宮 裕騎・細田 充・田中 博文
Ⅵ-280 軌道変位保守計画モデルを活用した保守計画の逐次更新効果の評価分析／鉄道総合技術研究所［正］吉田 尚史・三和 雅史・片山 雄一朗
Ⅵ-281 PCまくらぎ化計画作成支援システムの開発／鉄道総合技術研究所［正］金丸 清威・三和 雅史・片山 雄一朗

■軌道保守（4）／17:00～18:20／南木 聡明（JR東日本）

Ⅵ-282 レール探傷車により検出した連接軌道下の底部横裂について／JR四国［正］白江 雄介
Ⅵ-283 電磁超音波によるレール探傷手法の基礎的検証／JR西日本［正］庄野 真也・今西 進也
Ⅵ-284 山陽新幹線における新たなレール削正方法の検討／西日本旅客鉄道［正］村上 真・小村 啓太・田畠 伸洋
Ⅵ-285 レール削正における管理方法の提案／西日本旅客鉄道［正］溝端 祐哉・一井 健輔・中村 孝次
Ⅵ-286 レール削正車の削正パターンの検証／JR九州［正］安部 和俊・幸野 茂
Ⅵ-287 軌陸式レール削正機によるレール削正の検証／西日本旅客鉄道［正］渡邊 達郎・瀬川 律文・板橋 徹
Ⅵ-288 レールの断面形状に応じたレール削正方法の検討／JR西日本［正］村上 邦宏・瀬川 律文・山田 知宏

Ⅵ-5（C棟C200教室）／9月8日（木）

■軌道保守（5）／9:00～10:20／白江 雄介（四国旅客鉄道）

Ⅵ-289 高マンガン鋼におけるフェイズドアレイ式超音波探傷に関する基礎研究／JR東海［正］植松 嵩之・三輪 昌弘
Ⅵ-290 き裂進展解析によるシェリング探傷周期見直しの検討／九州旅客鉄道［正］兼田 英樹・幸野 茂・佐古 武彦
Ⅵ-291 群発シェリングの原因となる白色層の走行検知／日本工営［F］石田 誠・丸山 洋一
Ⅵ-292 曲線部の普通レール敷設によるレール傷抑制効果に関する一考察／東日本旅客鉄道［正］野本 耕一・小松 謙介・荻原 正弘
Ⅵ-293 熱処理レールのき裂進展速度に関する一考察／鉄道総合技術研究所［正］西本 晋平・細田 充・兼松 義一
Ⅵ-294 内軌塗油効果向上を目的とした局部的なレール研削方法／東京地下鉄［正］平澤 遼・大澤 純一郎・河野 陽介
Ⅵ-295 トンネル内の新たなレール管理手法の試行について／西日本旅客鉄道［正］今井 啓貴・高尾 賢一・山根 寛史

■軌道保守（6）／10:40～12:00／森本 勝（東海旅客鉄道）

Ⅵ-296 ガラスフレーク工法による防食レールの現地試験敷設および追跡調査／鉄道総合技術研究所［正］田中 俊史・細田 充・片岡 宏夫
Ⅵ-297 防食レール用レール締結装置の開発／鉄道総合技術研究所［正］細田 充・田中 俊史・片岡 宏夫
Ⅵ-298 東海道新幹線における騒音低減効果を目的としたレール削正の導入／JR東海［正］鈴木 修平・杉森 充
Ⅵ-299 レール頭部補修溶接法によるシェリング傷除去試験及びその後の状況調査／JR西日本［正］薮中 嘉彦・山根 寛史・加藤 篤史
Ⅵ-300 THR溶接の施工標準化に向けた取組み／東日本旅客鉄道［正］田中 健太郎・佐々 武彦・香山 智史
Ⅵ-301 レールガス圧接機の緊張下での性能確認試験／東日本旅客鉄道［正］佐竹 宣章・佐々木 亨・鈴木 紀彦
Ⅵ-302 作業の効率化に向けた緊張ガス圧接機の開発／東日本旅客鉄道［正］鈴木 紀彦・佐竹 宣章・佐々木 亨

Ⅵ-5（C棟C200教室）／9月9日（金）

■軌道保守（7）／9:00～10:20／西宮 裕騎（鉄道総合技術研究所）

Ⅵ-303 アラミドシートによる踏切内レール電食防止対策／日本線路技術［正］坂野 浩・渡邉 寛隆・渋谷 伸一
Ⅵ-304 亜鉛テープによるレール電食抑制対策に関する化学分析結果／東京地下鉄［正］磯崎 光・久保田 聡一・後藤 洋次
Ⅵ-305 脱線防止ガード転換作業の機械化／シーエヌ建設［正］大西 亨匡・楪村 将臣・國井 貴史
Ⅵ-306 無道床橋りょう用脱線防止ガードの開発／東海旅客鉄道［正］曽田 祥信・山崎 誠幸

VI-307　レール締結装置の疲労寿命に基づく横圧限度の検討／鉄道総合技術研究所［正］玉川 新悟・弟子丸 将・片岡 宏夫
VI-308　地下トンネル環境を考慮した50Nレールから60レール化に伴う締結装置の開発／東京地下鉄［正］小瀧 香・渡邉 真一・藤井 諒
VI-309　スラブ軌道埋込栓補修における機械化(Tボルト抜取り機械）／東日本旅客鉄道［正］中村 慎也・佐竹 宣章・高津 昌也

■軌道保守(8)　／10:40～12:00／及川 祐也(鉄道総合技術研究所)
VI-310　地下鉄トンネル内ロングレールにおける軸力の挙動特性把握／東京地下鉄［正］星 幸江・武藤 義彦・古谷 健
VI-311　固有振動数によるレール軸力推定法の精度検証／鉄道総合技術研究所［正］浦川 文寛
VI-312　レール持上げ低ローラーの開発／東日本旅客鉄道［正］大野 剛史・佐竹 宣章・野邉 盛道
VI-313　ワイヤレスレール交換機の開発／［正］高橋 秀寿・佐竹 宣章・野邉 盛道
VI-314　遊間検査ランクの見直しの検討／［正］大仲 修・高原 恵男・河野 皓治
VI-315　絶縁継目板40N-Iの開発／九州旅客鉄道［正］佐野 弘典・幸野 茂・佐古 武彦
VI-316　テーパーレールの導入―異形継目板の解消―／九州旅客鉄道［正］津田 宙

VI-6（C棟C201教室）／9月7日(水)

■軌道保守(9)　／9:00～10:20／熊倉 孝雄(JR東日本)
VI-317　次世代分岐器(2000形)の敷設拡大に向けた低廉化の検討／東日本旅客鉄道［正］大池 幸史・小西 俊之・立川 正勝
VI-318　分岐器リード部における横圧限度の検討／鉄道総合技術研究所［正］及川 祐也・吉田 敏幸・吉田 眞
VI-319　電気転てつ機のロック偏移調整仕上がり状態確認装置の開発／ジェイアール東日本コンサルタンツ［正］石間 計夫・菊地 真弘
VI-320　分岐器ポイント部の異物介在時におけるトングレールの変形形状予測について／鉄道総合技術研究所［正］塩田 勝利・及川 祐也・清水 紗希
VI-321　ローラーベアリング床板適用拡大の検討／西日本旅客鉄道［正］本野 貴志・山根 寛史
VI-322　固体潤滑剤含有焼結合金を用いた分岐器床板の転換性能について／西日本旅客鉄道［正］山根 寛史・本野 貴志・高尾 賢一
VI-323　ダブルスリップスイッチ用脱線防止ガードの設計／峰製作所［正］西田 博貴・東原 孝展・本野 貴志

■軌道保守(10)　／10:40～12:00／浦川 文寛(鉄道総合技術研究所)
VI-324　軌道狂い進みに伴うバラスト挙動の経時変化に関する一考察／JR東海［正］千田 耕大・三輪 昌弘・川崎 祐征
VI-325　踏切内線路保守におけるバラスト軌道へのシリコン充填工法の試験施工／東海旅客鉄道［正］中里 純・田中 洋輔・渡邊 康人
VI-326　下級線PCまくらぎ化工事における生分解性ポリマー混合工法の試験施工／東海旅客鉄道［正］渡邉 陵斗・渡邊 康人・齋藤 裕也
VI-327　連結軌道化工事における生産性向上に資する基礎研究／大鉄工業［正］嶋本 聡・西 瑞枝・山下 延明
VI-328　在来線駅構内における道床取替の施工／東海旅客鉄道［正］山口 景・深沢 晃
VI-329　軌道剛性急変箇所の道床沈下解析結果に対する各種離散化条件の影響／新潟大学［学］相田 真人・紅露 一寛・相川 明
VI-330　弾性挙動の空間変動を有するバラスト道床を対象としたスペクトル確率有限要素法軌道振動解析／［学］渡邉 あゆみ・紅露 一寛・阿部 和久

■軌道保守(11)　／15:20～16:40／山崎 誠幸(東海旅客鉄道)
VI-331　道床転圧アタッチメントの開発について／大鉄工業［正］坂本 士・白崎 研人・石川 銀次郎
VI-332　道床を緩める作業の安全性確保に関する研究／東日本旅客鉄道［正］佐藤 和己
VI-333　座屈防止杭が道床縦抵抗力に与える影響に関する基礎的研究／東海旅客鉄道［正］纐纈 智也・前田 麦
VI-334　バラスト軌道の道床横抵抗力試験に関する寸法効果／横浜国立大学［学］富田 ひかる・Pham The Anh・早野 公敏
VI-335　路盤状態及び土のコンシステンシーが軌道変位進み(高低)に及ぼす影響／東日本旅客鉄道［正］面高 陽紀・熊倉 孝雄・小西 俊之
VI-336　超微粒子セメントミルクを適用したてん充道床軌道に関する研究／鉄道総合技術研究所［正］渕上 翔太・高橋 貴蔵・中村 貴久
VI-337　有道床弾性まくらぎに用いる弾性材の耐候性調査／東日本旅客鉄道［正］須江 政喜・熊倉 孝雄・小西 俊之

■軌道保守(12)　／17:00～18:20／高橋 貴蔵(鉄道総合技術研究所)
VI-338　砕石流れ抑止を考慮したトンネル用PCまくらぎの開発／東海旅客鉄道［正］山崎 誠幸・曽田 祥信
VI-339　新幹線用PCまくらぎ使用分岐器の設計／JR西日本［正］井上 拓也・本野 貴志・有本 仁史
VI-340　レール継目部のPCまくらぎの動的応答性状／鉄道総合技術研究所［正］渡辺 勉・松岡 弘大・箕浦 慎太郎
VI-341　薄型合成橋まくらぎの性能検証／東京地下鉄［正］阿部 正和・小林 実・河野 陽介
VI-342　新たな橋まくらぎと桁定着方法の開発に向けた効果の検証／東日本旅客鉄道［正］赤沼 潤一・熊倉 孝雄
VI-343　橋まくらぎ合成化事前調査への移動体三次元計測システムの応用／［正］藤田 征也・筒井 俊幸・土屋 剛
VI-344　鋼橋直結軌道における輸送障害削減に向けた取り組みについて／［正］石坂 佳祐・佐藤 陽・赤松 秀彦

VI-6（C棟C201教室）／9月8日(木)

■軌道保守(13)　／9:00～10:20／山根 寛史(JR西日本)
VI-345　単線トンネルにおける軌道スラブ交換工事の効率化について／東鉄工業［正］松本 和真
VI-346　軌道スラブを支持するCAモルタルの凍害に関する基礎的検討／鉄道総合技術研究所［正］高橋 貴蔵・谷川 光・桃谷 尚嗣
VI-347　CAモルタルを用いた軌道スラブの扛上による補修工法の試験施工について／東亜道路工業［正］片桐 聖太・山本 幸亮・島津 健
VI-348　耐海水性補修用CAモルタルの供用後の経過観察／東亜道路工業［正］山本 幸亮・真鍋 和則・五味 浩義
VI-349　樹脂系材料を適用したスラブ軌道てん充層の補修効果に関する検討／鉄道総合技術研究所［正］吉川 秀平・高橋 貴蔵・渕上 翔太
VI-350　スラブマット修繕方法の一考察／東日本旅客鉄道［正］簗瀬 和清・石井 秀平・枝野 保則
VI-351　弾性まくらぎ直結軌道防振材等の経年劣化調査／西日本旅客鉄道［正］有本 仁史・本野 貴志・間々田 祥吾

■特殊構造物／10:40～12:00／山本 平(大成建設)
VI-352　福島第一原子力発電所2～4号機海水配管トレンチ汚染水対策工事／鹿島建設［正］日比 康生・出口 普・大津 仁史
VI-353　福島第一原子力発電所 海水配管トレンチトンネル部に適用した長距離水中流動性を有するセメント系材料の配合検討／鹿島建設［正］柳井 修司・石橋 靖亨・松本 清治郎
VI-354　福島第一原子力発電所 海水配管トレンチトンネル部に適用した長距離水中流動性を有するセメント系材料の性能確認実験／東京電力ホールディングス［正］西郡 一雅・佐藤 圭太・柳井 修司
VI-355　福島第一原子力発電所 海水配管トレンチの立坑部に適用した水中不分離性コンクリート／東京電力ホールディングス［正］橋本 真一・西郡 一雅・柳井 修司
VI-356　福島第一原子力発電所 海水配管トレンチ立坑閉塞における遮水性・水密性向上対策／鹿島建設［正］石橋 靖亨・柳井 修司・三宅 隆裕
VI-357　福島第一原子力発電所 スクリーンポンプ室閉塞工事に適用した充填材の性状に石炭灰と練混ぜ水が及ぼす影響／東京電力ホールディングス［正］佐藤 圭太・柳井 修司・庄子 茂
VI-358　福島第一原子力発電所 スクリーンポンプ室閉塞工事／鹿島建設［正］庄子 茂・田中 秀昭・柳井 修司

VI-6（C棟C201教室）／9月9日(金)

■地下構造物(1)　／9:00～10:20／岩波 基(第一工業大学)
VI-359　河川に配慮した刃口推進工事について／大成建設［正］武田 澄誉・増田 進一
VI-360　安全性と効率性の向上を目的とした線路下横断工法の施工(その1)／［正］森 寛典・八代 浩二・岡田 英倫
VI-361　安全性と効率性の向上を目的とした線路下横断工法の施工(その2)／鉄建建設［正］長尾 達児・森 寛典・岡田 英倫
VI-362　複合降伏モデルを用いた地下空洞の挙動予測と評価／鹿島

建設［正］藤原 浩一・森 孝之・河野 祐斗
Ⅵ-363　ハーモニカ工法マルチタイプの施工実績／大成建設［正］菱田 博之・山田 亨・片桐 年弥
Ⅵ-364　ハーモニカ工法マルチタイプにより施工する非開削トンネル（SRC構造）の実績／大成建設［正］麻 泰宏・山田 亨・織田 隆志
Ⅵ-365　国道直下におけるハーモニカ工法マルチタイプの施工実績―地表面の変状実績と解析―／大成建設［正］森田 康平・山田 亨・飯島 知哉

■地下構造物（2）／10:40～12:00／古荘 伸一郎（大林組）
Ⅵ-366　開削トンネルランプ分岐部における非開削工法の採用（切り開き その1）／阪神高速道路［正］志村 敦・渡辺 真介・渡辺 幹広
Ⅵ-367　水平ジェットグラウトの実証実験と施工実績（切り開き その2）／鹿島建設［正］渡辺 幹広・志村 敦・渡辺 真介
Ⅵ-368　凍結工法を使用した分岐・変断面メッセル工法の施工実績（切り開き その3）／鹿島建設［正］戸川 敬・志村 敦・渡辺 真介
Ⅵ-369　都市部におけるシールド工法を採用したガスパイプラインの敷設について／東邦ガス［正］菅沼 淳
Ⅵ-370　営業線シールドトンネルの上部掘削に伴うリバウンドについて／大成建設［正］尾関 孝人・兜 俊彦・上野 修彦
Ⅵ-371　ニューマチックケーソン工法を超大深度立坑へ適用するためのワイヤブラシによる止水法の研究／長岡技術科学大学［学］真鍋 晃一・吉崎 健司・杉本 光隆
Ⅵ-372　輸送力増強を目的とした東西線飯田橋・九段下間折返し設備改良計画／東京地下鉄［正］一寸木 朋也・荻野 竹敏・坂田 聡

■地下構造物（3）、開削トンネル／15:20～16:40／青柳 隆浩（鹿島建設）
Ⅵ-373　駅構内から施工する営業線直下の底盤改良について／大成建設［正］近藤 達也・西青木 光則・平川 雄一
Ⅵ-374　営業線シールドトンネル上部掘削の計画・施工について／大成建設［正］熊谷 翼・伊藤 健治・本間 慎一
Ⅵ-375　開削トンネルのRC壁部材に用いるハーフプレキャスト構造の開発／清水建設［正］吉村 友李・大田 寛・広地 豪
Ⅵ-376　RC壁部材にせん断補強鋼板を用いたハーフプレキャスト構造に関する検討／清水建設［正］馬場崎 宗之助・樋本 智・広地 豪
Ⅵ-377　せん断補強鋼板を用いたRC壁部材のせん断性能に関する検討／［正］中谷 郁夫・樋本 智・荒木 尚幸
Ⅵ-378　ゼロスペース工法による洞道の構築／熊谷組［正］二本柳 彰・大舘 隼一・太田 征志
Ⅵ-379　既設構造物への影響に配慮した路面覆工の設計／清水建設［正］前田 周吾・永井 政伸・井田 達郎

Ⅵ-7（C棟C202教室）／9月7日（水）

■山岳トンネル（1）／9:00～10:20／石川 達也（東海旅客鉄道）
Ⅵ-380　道路トンネルにおける掘削発破を利用した坑内弾性波探査の実証実験／安藤ハザマ［正］山本 浩之・中谷 匡志・折元 重信
Ⅵ-381　トンネル掘削発破で発生する弾性波の卓越周波数について／安藤ハザマ［正］大沼 和弘・中谷 匡志
Ⅵ-382　ポータブル受振システムを活用した連続発破トモグラフィによる切羽前方探査事例／［正］山本 憲一・高橋 望・小西 克典
Ⅵ-383　油圧削岩機の削孔振動を用いたトモグラフィ解析によるトンネル切羽前方探査法の開発／奥村組［正］浜田 元・塚本 耕治
Ⅵ-384　ゲル状充填材を用いた切羽前方水平孔間弾性波トモグラフィの試み／前田建設工業［正］水谷 和彦・赤木 英治・袋井 孝洋
Ⅵ-385　ブレーカー振動を利用したトンネル切羽前方探査手法の3次元化／清水建設［正］若林 成樹・西 琢郎・青野 泰久
Ⅵ-386　山岳トンネルにおけるケーブルレス弾性波探査システムの開発／安藤ハザマ［正］中谷 匡志・山本 浩之・上林 凡人

■山岳トンネル（2）／10:40～12:00／安井 成豊（施工技術総合研究所）
Ⅵ-387　トンネル掘削における切羽前方探査方法の運用と効果／大林組［正］西村 友宏・手間本 康一・松野 徹
Ⅵ-388　複数の探査による切羽前方地山予測とその結果／熊谷組［正］長岡 雄太・福井 克佳・竹原 晋平
Ⅵ-389　断層破砕帯区間における切羽前方探査による地山性状の把握／清水建設［正］郡司 恭志・松田 全良・大西 勝
Ⅵ-390　トンネル周辺削孔情報を利用した切羽前方探査の精度向上技術／清水建設［正］尾田 健太郎・金岡 幹・小島 英郷
Ⅵ-391　超長尺ボーリングを用いた切羽前方の湧水データ計測技術／鹿島建設［正］岡田 侑子・升元 一彦・岩野 圭太
Ⅵ-392　切羽前方の湧水状況計測システムの適用事例／鹿島建設［正］北村 義宜・勘定 茂・荒木 武雄
Ⅵ-393　孔内水平ボーリング削孔中における湧水圧の測定方法について／フジタ［正］村山 秀幸・丹羽 廣海・伊東 佳彦

■山岳トンネル（3）／15:20～16:40／小出 孝明（土木研究所）
Ⅵ-394　削孔検層と速度検層によるトンネル切羽前方の弾性波速度分布の予測／鹿島建設［正］白鷺 卓・犬塚 隆明・宮嶋 保幸
Ⅵ-395　穿孔探査システム（DRISS）を用いたトンネル全線探査とその効果／西松建設［正］目崎 浩二・河内 正道
Ⅵ-396　装薬穿孔速度データを利用した切羽の定量評価／鹿島建設［正］宮嶋 保幸・福田 博之・川野 広道
Ⅵ-397　穿孔データを用いた切羽評価手法への遺伝的プログラミングの適用／安藤ハザマ［正］辰巳 順一・河邉 信之・佐々木 亨
Ⅵ-398　熱水変質帯に対する新しい中尺ノンコア削孔技術の適用／大林組［正］矢野 貴行・伊原 泰之・長塚 涉
Ⅵ-399　CIMを用いて4次元で管理したトンネル掘削事例／大林組［正］鈴木 拓也・弓場 進・後藤 隆之
Ⅵ-400　高強度ウレタン系注入材を用いた断層破砕帯の地盤改良／大林組［正］小林 智宏・秋好 賢治・村上 正一

■山岳トンネル（4）／17:00～18:20／上野 光（鉄道建設・運輸施設整備支援機構）
Ⅵ-401　写真測量技術を活用したトンネル切羽面の3次元化に関する取組み／鉄建建設［正］舟橋 孝仁・植村 義幸・宇野 淳二
Ⅵ-402　タブレットPC活用による切羽観察の効率化と高度化／熊谷組［正］青木 宏一・石濱 茂崇・片山 政弘
Ⅵ-403　トンネル切羽観察アプリの開発とビッグデータ化への試み／中電技術コンサルタント［正］石田 滋樹・岸田 展明・森本 真吾
Ⅵ-404　山岳トンネルの地山分類における判定指標について／深田地質研究所［F］亀村 勝美
Ⅵ-405　付加体地山における長大トンネル避難坑支保パターンの合理化事例―新区界トンネル―／鹿島建設［正］村上 浩次・西川 幸一・福田 博之
Ⅵ-406　小断面トンネル（NATM）の支保構造に関する考察／土木研究所［正］小出 孝明・砂金 伸治・日下 敦
Ⅵ-407　小断面トンネルにおける岩質変化に対応した施工の効率化に関する一考察／熊谷組［正］小篠 一伸・糸瀬 巌

Ⅵ-7（C棟C202教室）／9月8日（木）

■山岳トンネル（5）／9:00～10:20／高橋 浩（戸田建設）
Ⅵ-408　周波数特性の調整が容易なトンネル発破低周波音低減装置の開発その1 装置原理と理論的検証／大成建設［正］増田 潔・田中 ひかり・須藤 敏明
Ⅵ-409　周波数特性の調整が容易なトンネル発破低周波音低減装置の開発その2 模型実験及び実寸実験による装置開発／大成建設［正］田中 ひかり・増田 潔・須藤 敏明
Ⅵ-410　周波数特性の調整が容易なトンネル発破低周波音低減装置の開発その3 現場における装置設置実験／大成建設［正］須藤 敏明・増田 潔・田中 ひかり
Ⅵ-411　連続ベルトコンベア対応型トンネル発破低周波音消音器の開発と現場適用結果／大林組［正］本田 泰大・秋山 剛史・保科 孝雄
Ⅵ-412　両端開口管による低周波音低減装置の現場実証実験／錢高組［正］角田 晋相・笠水上 光博・石橋 知大
Ⅵ-413　住宅地に近接したトンネル発破における騒音・低周波音低減に関する検討／鹿島建設［正］志賀 弘史・上南 隆・手塚 康成
Ⅵ-414　トンネル発破低周波音を対象とした音響管による1次元音場内の低減効果に関する検討／飛島建設［正］岩根 康之・小林 真人・内田 季延

■山岳トンネル（6）／10:40～12:00／嶋本 敬介（鉄道総合技術研究所）
Ⅵ-415　トンネル切羽付近の空気質改善を目的とした新換気システムの評価CFD解析によるトンネル内温度分布を考慮した検討／大成建設［正］柴田 勝実・樋渡 潔・国分 茂夫
Ⅵ-416　山岳トンネル安全対策・省エネ制御システムの開発／錢高組［正］白石 雅嗣・笠水上 光博・安部 剛
Ⅵ-417　山岳トンネルにおける移動式発破防護バルーンの開発／西松建設［正］三井 善孝・山下 雅之・塚田 純一

VI-418 流体解析によるトンネル施工時の遮蔽体による有用性と効果に関する研究／山口大学［学］唐本 亮太郎・森本 真吾・進士 正人
VI-419 路面隆起した供用中道路トンネルにおける全断面連続片押しインバート構築工事／東日本高速道路［正］宮沢 一雄・安田 賢哉・永井 宏
VI-420 路盤隆起監視のためのインバート計の開発と適用／大林組［正］伊藤 哲・木梨 秀雄・藤岡 大輔
VI-421 トンネル坑門工における損傷対策の検討／高速道路総合技術研究所［正］増田 弘明・八木 弘・海瀬 忍

Ⅵ-7（C棟C202教室）／9月9日(金)

■山岳トンネル(7) ／9:00～10:20／岡村 正典(奥村組)

VI-422 コンクリート打込み時の充填圧力がコンクリートの品質に与える影響／前田建設工業［正］太田 健司・白根 勇二・羽根田 隆
VI-423 天端部の充填圧入による覆工コンクリートの施工とその品質／前田建設工業［正］羽根田 隆・原 秀利・金子 和己
VI-424 トンネル覆工天端における締固め方法の違いによる品質検証～圧縮強度の比較検証～／前田建設工業［正］渡邉 泰行・前田 啓太・福原 康顕
VI-425 トンネル覆工天端における締固め方法の違いによる品質検証～密実性の比較検証～／前田建設工業［正］前田 啓太・渡邉 泰行・福原 康顕
VI-426 中流動覆工コンクリートの締固めの仕様に関する一考察／鹿島建設［正］石井 利治・松本 修治・手塚 康成
VI-427 現場添加用の増粘剤一液型流動化剤を用いた中流動コンクリートの施工管理について／大成建設［正］田中 秀明・笹西 孝行・梁 俊
VI-428 繊維補強中流動コンクリートの曲げ靱性特性に関する一考察／戸田建設［正］土師 康一・新谷 岳・田中 徹

■山岳トンネル(8) ／10:40～12:00／海瀬 忍(高速道路総合技術研究所)

VI-429 面状発熱体による覆工コンクリートの加温養生／鴻池組［正］木佐一 伸・増田 丑太郎・福井 正規
VI-430 覆工コンクリート給水養生工法の開発と養生効果―覆工コンクリート全面の均一な給水養生―／大成建設［正］檜山 将太・須藤 敏明・臼井 達哉
VI-431 覆工コンクリートの高品質化を可能にした連続ベルコン通過型テレスコピックセントル／大林組［正］加藤 健治・伊原 泰之・長塚 渉
VI-432 ツインアーチフォーム工法による型枠存置時間延長の長期耐久性向上効果に関する一考察／鹿島建設［正］手塚 康成・西岡 和則
VI-433 コンクリート保湿・保温養生シートによる二次覆工コンクリートの表層品質の向上／日本国土開発［正］亀井 雅大・千賀 年浩・佐原 晴也
VI-434 トンネル覆工コンクリートの追加養生手法に関する検討／前田建設工業［正］菅原 崇・笹倉 伸晃・秋田 剛
VI-435 超音波法による覆工コンクリートの脱型時強度推定技術の研究／飛島建設［正］田畑 壮典・筒井 隆規・平間 昭信

■山岳トンネル(9) ／15:20～16:40／尾畑 洋(熊谷組)

VI-436 トンネル坑口部における覆工コンクリート耐凍害配合の検討／前田建設工業［正］平川 彩織・菅原 崇・秋田 剛
VI-437 トンネル覆工コンクリートの耐凍害性を確保できる配合および施工方法に関する検討／鹿島建設［正］佐久間 啓吾・赤石 広秋・小山田 哲也
VI-438 覆工コンクリート目地部の縁切り対策について／安藤ハザマ［正］松丸 貴英・稲葉 秀雄・白井 孝昌
VI-439 覆工コンクリートの環境温度変化および乾燥収縮による表面ひび割れについて／安藤・間［正］白岩 誠史・高橋 拓真・川中 政美
VI-440 覆工コンクリートへのマイスタークリート工法の適用／西松建設［正］中谷 真英・高木 雄一郎・伊藤 忠彦
VI-441 最大縦断勾配9%の覆工コンクリートの施工／戸田建設［正］山火 智洋・尾花 敬治・大塚 賢文
VI-442 覆工コンクリートの品質および耐久性向上に関する取り組み／大林組［正］赤間 友哉・手間本 康一・泉水 大輔

Ⅵ-8（C棟C203教室）／9月7日(水)

■山岳トンネル(10) ／9:00～10:20／沢藤 尚文(大成建設)

VI-443 仮桟橋代替としてのインクラインの採用／西松建設［正］前 啓一
VI-444 ガイドセル先端固定装置の適用による油圧削岩機の穿孔精度向上／奥村組［正］浅野 剛・塚本 耕治・今泉 和俊
VI-445 移動式一体型防音扉適用による掘削工程遅延への対応事例／大林組［正］三村 聡・永松 雄一・佐土原 一也
VI-446 後方設備の設備台車への集約および集塵機運用方法の改善／大林組［正］定師 儀光・後藤 隆之・西本 卓生
VI-447 変形追従型ロックボルトの引抜メカニズムに関する検討／鹿島建設［正］岩野 圭太・岡田 侑子・犬塚 隆明
VI-448 『突起レスロックボルト』の開発／戸田建設［正］中林 雅昭・中藤 英樹・田中 徹
VI-449 止水ウレタン注入による減水対策／飛島建設［正］坂本 秀夫・藤本 克郎・武市 直人

■山岳トンネル(11) ／10:40～12:00／橘 直毅 (中央復建コンサルタンツ)

VI-450 福岡市地下鉄七隈線延伸事業における都市NATMの情報化施工(その1:工事概要と計測管理) ／大成建設［正］文村 賢一・小原 信高・大塚 勇
VI-451 福岡市地下鉄七隈線延伸事業における都市NATMの情報化施工(その2:予測解析と管理基準値の設定) ／大成建設［正］澤田 幸平・文村 賢一・原 靖浩
VI-452 福岡市地下鉄七隈線延伸事業における都市部山岳工法の情報化施工(その3:切羽先行変位計測による周辺地山の挙動監視) ／大成建設［正］北野 悠介・文村 賢一・坂井 一雄
VI-453 立坑発進する都市NATMにおける掘削土の運搬事例／大成建設［正］林 正浩・文村 賢一・柴田 勝実
VI-454 小土かぶり区間におけるトンネルの施工／清水建設［正］稲永 岳洋・白井 隆裕
VI-455 小土かぶり・RC複鉄筋区間における防水型構造トンネルの施工／清水建設［正］白井 隆裕・稲永 岳洋
VI-456 非排水構造の道路トンネルにおける連絡坑交差部の設計・施工／大成建設［正］山仲 俊一朗・岡 浩一・南場 憲一郎

■山岳トンネル(12) ／15:20～16:40／伊藤 哲(大林組)

VI-457 大土被り低強度地山における調査坑の力学挙動特性／清水建設［正］清原 雅俊・桑原 良輝・八木田 茂生
VI-458 大土被り小断面早期閉合トンネルの変形挙動特性／清水建設［正］八木田 茂生・渡部 達宏・楠本 太
VI-459 大土被り小断面早期閉合トンネルの作用土圧と安定性／清水建設［正］楠本 太・渡部 達宏・八木田 茂生
VI-460 情報化施工による長大トンネル調査坑での断層部掘削事例―小嵐トンネル調査坑工事―／鹿島建設［正］小林 幸司・河本 孝史・村上 浩次
VI-461 湧水を伴う断層破砕帯部におけるトンネル補助工法の検討と適用結果／熊谷組［正］国領 優・伊藤 省二・志水 政弘
VI-462 盛土区間の全断面早期閉合掘削／西松建設［正］岡 竜・佐伯 好治・大谷 達彦
VI-463 早期閉合トンネルSFRC覆工の安定性／清水建設［正］谷村 浩輔・田丸 浩行・楠本 太

■山岳トンネル(13) ／17:00～18:20／横尾 敦(鹿島建設)

VI-464 大規模な破砕帯と熱水変質地山における双設道路トンネルの施工／大林組［正］狭間 稔司・伊原 泰之・渡辺 匠
VI-465 市屋第二トンネルにおける低土被り部の施工実績／熊谷組［正］松岡 洋平・鴻野 宏志・橋本 彰文
VI-466 RCスラブによるトンネル低土被り部の施工方法の検討と施工／西松建設［正］野口 達朗・大神 正喜・矢根 健二
VI-467 坑口部の小土被り道路直下における長尺フォアパイリングの施工／フジタ［正］三河内 永康・石川 貴士・宇野 誠二
VI-468 トンネル直上での床固工構築における覆工コンクリートへの影響監視／大林組［正］木野村 有亮・伊原 泰之・榊原 泰造
VI-469 近接構造物への影響に配慮したトンネル施工／大林組［正］小野 真史・加藤 直樹・宮下 邦彦
VI-470 供用中のⅠ期線トンネルに近接するⅠ期線トンネルの設計・施工／大成建設［正］横山 裕史・今塩屋 勝・吉川 真仁

Ⅵ-8（C棟C203教室）／9月8日(木)

■山岳トンネル(14) ／9:00～10:20／石田 滋樹 (中電技術コンサルタント)

VI-471 石炭灰原粉の吹付けコンクリートへの適用可能性の検討／東京電力ホールディングス［正］鬼束 俊一・安田 浩二・坂本 守
VI-472 練り上がり温度を自動制御する吹付けバッチャプラントの開発／飛島建設［正］滝波 真澄・筒井 隆規・平間 昭信
VI-473 スランプ保持時間を調整したベースコンクリートを用いた

吹付けコンクリートのポンプ圧送システム／［正］新津祐樹・文村 賢一・臼井 達哉
Ⅵ-474 非火薬剤を用いたトンネル掘削／［正］鈴木 健・岡 竜・佐伯 好治
Ⅵ-475 住宅近接部での制御発破技術／大成建設［正］清水 裕介・浜田 文年・足達 康軌
Ⅵ-476 硬岩トンネル掘削機TM-100による硬岩掘削について／大成建設［正］天野 元輝・浜田 文年・足達 康軌
Ⅵ-477 蒸気圧破砕薬剤用電子段発式着火具の開発とトンネル掘削への応用／日本工機［正］村田 健司・川野 誠・林 知弘

■山岳トンネル(15)／10:40～12:00／土門 剛(首都大学東京)
Ⅵ-478 ダム湖内の呑口立坑からの大断面トンネルの迎掘り掘削―鹿野川ダムトンネル洪水吐新設工事―／清水建設［正］上田 竜士・谷岡 敏幸・芳岡 良一
Ⅵ-479 NATMによる大口径大深度立坑掘削に関する設計・施工実績―天ケ瀬ダム再開発トンネル放流設備ゲート室部他建設工事―／鹿島建設［正］松井 貴志・安永 豊彦・石橋 浩一
Ⅵ-480 大断面放水路トンネルにおけるNATMによる円形掘削実績―天ケ瀬ダム再開発トンネル放流設備ゲート室部他建設工事―／鹿島建設［正］秋山 崇裕・山本 明雄・小林 茂和
Ⅵ-481 レイズボーリング工法による斜坑掘削に情報化技術を適用／奥村組［正］塚本 耕治・田浦 義真・川田 暢崇
Ⅵ-482 ドーナツ型TBMの掘削に関する研究／株木建設［正］株木 康吉・武田 光雄・小山 幸則
Ⅵ-483 コンピュータジャンボによる高精度作興による効率的な発破掘削(その1)／大成建設［正］高橋 俊次・崎山 透・上岡 亮一
Ⅵ-484 コンピュータジャンボによる高精度作興による効率的な発破掘削(その2)／大成建設［正］崎山 透・高橋 俊次・上岡 亮一

Ⅵ-8（C棟C203教室）／9月9日(金)

■ダム(1)／9:00～10:20／高畑 研(清水建設)
Ⅵ-485 粗骨材最大寸法40mmのゼロスランプコンクリートのコンクリートのダム堤体への適用に関する検討／鹿島建設［正］上田 翔・林 健二・松本 信也
Ⅵ-486 RCD用コンクリートの大量輸送を実現したSP-TOMのコンクリート材料分離抑制機構 ―その2―／鹿島建設［正］松本 孝矢・渡邉 賢三・岡山 誠
Ⅵ-487 RCD 用コンクリートの大量輸送を実現したSP-TOM のコンクリート材料分離抑制機構 ―その1―／鹿島建設［正］大内 斉・渡邉 賢三・岡山 誠
Ⅵ-488 プレキャスト部材の適用によるRCD工法の合理化に関する一検討／鹿島建設［正］林 健二・大内 斉・岡山 誠
Ⅵ-489 品質管理合化システムの現場適用性検証結果の報告／前田建設工業［正］田中 麻穂・笹倉 伸晃・安井 利彰
Ⅵ-490 CSG防潮堤工事におけるCSG運行管理システムの運用／前田建設工業［正］秦 宗之・関根 智之・松浦 亜祐美
Ⅵ-491 コンクリートダムにおけるFPCD（Flat Plate Compacted Dam Concrete）工法の開発／鹿島建設［正］菅井 貴洋・大内 斉・岡山 誠

■ダム(2)／10:40～12:00／佐藤 英明(熊谷組)
Ⅵ-492 ダム常用洪水吐き内張管への高流動コンクリートの適用／鹿島建設［正］大井 篤・坂内 浩人・井上 功平
Ⅵ-493 堤内仮排水路コンクリートのひび割れ防止対策／大成建設［正］太田 兵庫・津川 恵介・金子 英幸
Ⅵ-494 構造物の形状に配慮した温度応力解析と高流動コンクリートの配合選定／鹿島建設［正］小川 雄一郎・森本 修三・白川 豪人
Ⅵ-495 狭隘な仮締切内に構築する予備ゲートピアの施工実績／鹿島建設［正］大木 洋和・白川 豪人・岡田 武文
Ⅵ-496 水中不分離性コンクリートの暑中対策／鹿島建設［正］鮫島 康之・森本 修三・白川 豪人
Ⅵ-497 五ケ山ダムにおける暑中コンクリート温度抑制対策の検証／鹿島建設［正］大橋 宜明・住吉 正浩・渡邉 洋
Ⅵ-498 CSGの繰返し引張強度に関する検討／土木研究所［正］矢田 一也・金銅 将史・小堀 俊秀

■ダム(3)／15:20～16:40／黒木 博(大成建設)
Ⅵ-499 供用中ダムにおける大規模な堤体切削工事の施工実績／鹿島建設［正］中川 進・森本 修三・白川 豪人
Ⅵ-500 供用中ダムの大規模切削工事における情報化施工／鹿島建設［正］後閑 淳司・森本 修三・白川 豪人
Ⅵ-501 大水深下での大型ワイヤーソーを使用した水中岩盤切削の施工実績／鹿島建設［正］川中 勲・森本 修三・白川 豪人
Ⅵ-502 濁水中における清水域の形成技術／鹿島建設［正］新保裕美・田中 昌宏・林 文慶
Ⅵ-503 ダム湖における濁水中の透明度向上エリア形成による視認性改善技術の開発／鹿島建設［正］池松 建治・岡山 誠・西尾 章
Ⅵ-504 ダム堤体嵩上げ工事の施工／鹿島建設［正］萩原 康之・門脇 要・柴田 勝博
Ⅵ-505 供用中ダムの減勢工改修工事／鹿島建設［正］柴田 勝博・門脇 要・萩原 康之

Ⅵ-9（C棟C204教室）／9月7日(水)

■ダム(4)／9:00～10:20／岡山 誠(鹿島建設)
Ⅵ-506 原石山における骨材用原石の選別採取／大成建設［正］西 智宏・小林 至
Ⅵ-507 急傾斜サンドイッチベルトコンベヤの開発／大成建設［正］安藤 哲人
Ⅵ-508 爆砕管理システムの開発～インテリジェントクローラドリルの開発および基礎検証実験～／大成建設［正］氏次 努・西 智宏・山上 順民
Ⅵ-509 爆砕管理システムの開発―五ヶ山骨材製造工事における実証実験―／大成建設［正］山上 順民・市來 孝志・片山 三郎
Ⅵ-510 ダム用軽量コンクリートバケットの開発／清水建設［正］藤内 隆・長谷川 悦央・宇野 昌利
Ⅵ-511 ダムコンクリートの締固め管理システムの開発／清水建設［正］長谷川 悦央・竹内 啓吾・宇野 昌利
Ⅵ-512 ダムコンクリート用細骨材製造における表面水率の急速低下方法／大成建設［正］椛木 実・西 智宏・小林 至

■ダム(5)／10:40～12:00／上遠野 均(熊谷組)
Ⅵ-513 乾燥機能付土質混合機(かまきり)の開発／安藤・間［正］山田 聡・天明 敏行・伊藤 博
Ⅵ-514 アースダムにおける貯水池内材料を有効活用した耐震補強盛土／鹿島建設［正］小林 弘明・伊阪 大輔・伊東 文紀
Ⅵ-515 アースダム耐震補強におけるブラケット補強盛土の施工実績／鹿島建設［正］小倉 勉・伊阪 大輔・伊東 文紀
Ⅵ-516 既設アースダムの耐震補強盛土の工程短縮実績／鹿島建設［正］伊東 文紀・伊阪 大輔・小林 弘明
Ⅵ-517 アースダム耐震補強における既設堤体を考慮した情報化施工管理実績／鹿島建設［正］田中 英孝・小林 弘明・藤崎 勝利
Ⅵ-518 ダム監査廊のスライド型枠による合理化施工(奥胎内ダム工事報告)／鹿島建設［正］阿部 高・坂内 浩人・大井 篤
Ⅵ-519 国内最大級の水圧鉄管工事―鹿野川ダムトンネル洪水吐新設工事―／清水建設［正］高畑 研・上岡 真也・谷岡 敏幸

■ダム(6)／15:20～16:40／宇野 洋志城(佐藤工業)
Ⅵ-520 ダム湖内に構築した鋼管矢板立坑内掘削時の計測管理と止水対策について／清水建設［正］朝山 順一・芳岡 良一・谷岡 敏幸
Ⅵ-521 鋼管矢板井筒の施工時挙動に関する検討／清水建設［正］古宇田 剛史・新美 勝之・高畑 研
Ⅵ-522 シャフト式遠隔操縦水中作業機による岩盤掘削／大成建設［正］矢部 和史・水野 智亮・谷地 宣之
Ⅵ-523 岩盤における全周回転掘削工／大成建設［正］松本 侑士・谷地 宣之・中野 文裕
Ⅵ-524 打球探査法における基礎岩盤の亀裂評価に関する一考察／鹿島建設［正］尾口 佳丈・藤崎 勝利・白鷺 卓
Ⅵ-525 大分川ダムの基礎処理工への3次元割れ目モデルの適用／鹿島建設［正］升元 一彦・渥美 博行・川端 淳一
Ⅵ-526 岩盤判定における打球探査法による定量的評価／鹿島建設［F］上本 勝広・首藤 美誠・麻生 英介

■リニューアル(1)／17:00～18:20／熊坂 徹也(オリエンタルコンサルタンツ)
Ⅵ-527 老朽化橋梁床版のプレキャストPC床版を用いた取替工事／東日本高速道路［正］上平 研司
Ⅵ-528 RC床版から鋼床版への取替え工法に関する施工試験／首都高速道路［正］峯村 智也・倉田 幸宏・橘 肇
Ⅵ-529 沖縄自動車道における塩害劣化したコンクリート床版の変状特性／［正］西谷 朋晃・鮫島 力
Ⅵ-530 取替に至ったRC床版の床版内部調査の取組み／西日本高速道路［正］安藤 亮介・河田 直樹・梨本 竜太郎
Ⅵ-531 劣化したRC床版のたわみに着目した健全度評価の試み／西日本高速道路エンジニアリング関西［正］河田 直樹・安藤 亮介

Ⅵ-532　斜角45°方向に配置したプレキャスト床版による床版取替／西日本高速道路［正］佐溝 純一・岩谷 祐太・井隼 俊也

Ⅵ-9（C棟C204教室）／9月8日（木）

■リニューアル(2)　／9:00～10:20／今泉 敏郎（復建技術コンサルタント）

Ⅵ-533　鋼床版上のSFRC舗装による補強効果の継続性確認調査／建設技術研究所［正］山根 立行・羽根 航・蛭川 満
Ⅵ-534　K-PRO工法によるゴム支承表面亀裂の補修／川金コアテック［正］杉村 直人・菱山 知幸・但住 俊明
Ⅵ-535　摺動性付与新規シールリングについて／川金コアテック［正］但住 俊明・鵜野 禎史・菱山 知幸
Ⅵ-536　上面増厚工法施工後に劣化したRC床版の補修工法に関する実験的研究／ケミカル工事［正］神田 利之・鈴木 真・樅山 好幸
Ⅵ-537　鉄筋コンクリート床版の鋼板接着部における再補修について／建設技術研究所［正］山崎 祐貴子・山内 和則・中村 一平
Ⅵ-538　鋼製橋脚補修用FRPマンホールの接着性能試験／首都高速道路［正］石橋 正博・中野 博文・望月 久義

■リニューアル(3)　／10:40～12:00／齊藤 史朗（IHIインフラシステム）

Ⅵ-539　移動機能が消失した支承の機能回復／本州四国連絡高速道路［正］新野 貴大・貴志 友基・長尾 幸雄
Ⅵ-540　鋼異種主桁橋の桁連続化／阪神高速道路［正］杉岡 弘一・岡本 亮二・神原 康樹
Ⅵ-541　急速施工を可能とする支持桁を用いた合成桁の床版更新工法の開発／首都高速道路［正］岸田 政彦・峯村 智也・江崎 正浩
Ⅵ-542　支持桁を用いた合成桁の床版更新工法の実物大部分要素確認実験／川田工業［正］石川 誠・峯村 智也・石原 陽介
Ⅵ-543　支持桁を用いた合成桁の床版更新工法の施工確認試験／首都高速道路［正］佐藤 公紀・石原 陽介・江崎 正浩
Ⅵ-544　支持桁を用いた合成桁の床版更新工法の施工確認試験計測報告／横河ブリッジ［正］山浦 明洋・岸田 政彦・佐藤 公紀

Ⅵ-9（C棟C204教室）／9月9日（金）

■リニューアル(4)　／9:00～10:20／荒関 正二（オリエンタルコンサルタンツ）

Ⅵ-545　火災により損傷した端横桁の加熱・加圧矯正補修／愛知県知立建設事務所［正］渡邉 英・本田 亮・松村 寿男
Ⅵ-546　鋼橋の塗替塗装における塗膜剥離方法に関する検討／西日本高速道路［正］今村 壮宏・城戸 靖彦・山本 誠也
Ⅵ-547　芝公園鋼製横梁腐食補強工事／首都高メンテナンス西東京［正］成田 浩一・田中 誠
Ⅵ-548　鋼道路橋の塗膜割れおよび疲労き裂の調査結果に伴う一考察／［正］稲葉 ナオフミ・佐藤 徹也・藤嶋 祐太
Ⅵ-549　鋼道路橋の応力頻度測定の一評価方法／川田建設［正］小林 太之・稲葉 尚文・佐藤 徹也
Ⅵ-550　鋼道路橋に母材打撃ピーニング(ICR処理)を用いた疲労き裂の予防保全の一例／［正］今井 平佳・稲葉 尚文・佐藤 徹也

■リニューアル(5)　／10:40～12:00／金岡 幹（清水建設）

Ⅵ-551　自己治癒材料を用いた新たな箱型トンネル漏水補修工法の検討 その2／東京メトロ［正］村上 哲哉・鈴木 拓・安 台浩
Ⅵ-552　連続鞘管(KanaSlip)工法における更生管の長期特性／カナフレックスコーポレーション［正］河野 純子・鳥取 一雄・内山 文男
Ⅵ-553　水力発電所導水路トンネル無巻立て部の風化防止対策の施工／熊谷組［正］森 康雄・山本 高大・森 雄一郎
Ⅵ-554　ポリウレア樹脂を用いた吹付け型剥落対策工の開発／鉄道総合技術研究所［正］伊藤 直樹・野城 一栄・輿石 正己
Ⅵ-555　充填硬化材の加圧注入圧を利用した既設トンネルの補強技術の開発～部分補強に関する解析的検討～／大成建設［正］高倉 克彦・竹中 計行・猪口 泰彦
Ⅵ-556　充填硬化材の加圧注入圧を利用した既設トンネルの補強技術の開発～部分補強に関する載荷実験～／大成建設［正］竹中 計行・高倉 克彦・猪口 泰彦

■リニューアル(6)　／15:20～16:40／松田 敏（熊谷組）

Ⅵ-557　感潮河川下を横断する地下鉄トンネルの塩害対策工事報告／東京地下鉄［正］亀井 啓太・武藤 義彦・諸橋 由治
Ⅵ-558　柱間に地中壁を有する二層式高架橋の耐震補強計画／JR東日本［正］倉渕 健介・忠 直樹
Ⅵ-559　トンネル全断面点検・診断システムの開発／東急建設［正］伊藤 正憲・中村 聡・山下 淳
Ⅵ-560　複数トンネルを対象とした補修優先度の比較／山口大学［学］北村 彩絵・中島 彰吾・進士 正人
Ⅵ-561　八王子城跡トンネル換気ダクト更新工事の設計・施工／西松建設［正］西見 宣俊・真田 昌慶・岡本 隆幸
Ⅵ-562　老朽施設の各種調査・検討に基づく健全性評価／日本工営［正］小谷 拓・沢田 陽佑

Ⅵ-10（C棟C205教室）／9月7日（水）

■リニューアル(7)　／9:00～10:20／月館 洋（大成建設）

Ⅵ-563　既設鉄道桁を再利用した歩道橋計画／東急設計コンサルタント［正］吉田 肇・槇野 光聰・横田 憲介
Ⅵ-564　バックルプレート桁の変状詳細調査について／西日本旅客鉄道［正］越智 達也・吉田 尚弘・山内 彰
Ⅵ-565　上越新幹線雪覆い工の維持管理について／東日本旅客鉄道［正］白又 幹敏・木伏 正人
Ⅵ-566　橋台・土留壁への落書き防止の取組み／東日本旅客鉄道［正］高世 愛花・国分 宏樹・相部 佑太郎
Ⅵ-567　鉄道RCラーメン高架橋中間スラブ補強工法の性能評価法に関する検討／日本交通技術［正］綿引 泰治・加藤 雅史・仁平 達也
Ⅵ-568　特殊大型解体機を用いた鉄道橋りょう橋脚の撤去／東日本旅客鉄道［正］門脇 実・鬼頭 和也
Ⅵ-569　加熱技術を用いた塗膜除去方法の検討／［正］柿添 智之・中山 太志・坂本 達朗

■リニューアル(8)　／10:40～12:00／冨田 克彦（長大）

Ⅵ-570　線路に挟まれた狭隘部の盛土耐震補強工事施工方法について／東日本旅客鉄道［正］日浦 望・田中 源吾・新飼 拓人
Ⅵ-571　信越本線海岸護岸の維持管理について／東日本旅客鉄道［正］高橋 京・金子 建児・須賀 康弘
Ⅵ-572　山手線ホームドア工事の工期短縮とコストダウン／東日本旅客鉄道［正］高橋 宏聡・塚本 清成・杉野 琢哉
Ⅵ-573　自己治癒モルタルを使用した煉瓦構造物の漏水対策／東日本旅客鉄道［正］杉野 琢哉・寒河江 正徳・志賀 学
Ⅵ-574　遮水・排水効果に関する盛土内雨水浸透実験／東海旅客鉄道［正］小島 瑛太郎・今井 賢一・浅野 嘉文
Ⅵ-575　在来線盛土降雨対策工の耐降雨性に関する解析的検討／東海旅客鉄道［正］大木 基裕・浅野 嘉文・舟橋 秀麿
Ⅵ-576　在来線における盛土降雨対策工選定マニュアルの策定／東海旅客鉄道［正］浅野 嘉文・石川 智史・舟橋 秀麿

■リニューアル(9)　／15:20～16:40／岩井 稔（鹿島建設）

Ⅵ-577　鋼橋点検時における下地処理を省略した応急的塗装に関する研究／茨城大学［学］作山 卓也・原田 隆郎・笹生 周平
Ⅵ-578　耐震補強と修繕計画を併用した橋梁維持管理計画／東和設計［正］小森 武・吉田 博基・阿部 忠
Ⅵ-579　瀬戸大橋ケーブル送気乾燥システムの改善／本州四国連絡高速道路［正］竹口 昌弘・門田 整達
Ⅵ-580　RC床版の集計的劣化リスク評価／大阪大学［学］田中 晶大・小濱 健吾・貝戸 清之
Ⅵ-581　既設橋梁における鋼製排水溝を用いた排水構造の提案とライフサイクルコスト評価／茨城大学［正］原田 隆郎・土屋 嘉則・梅原 郁弘
Ⅵ-582　桁橋端部の水じまい処理によるライフサイクルコスト評価／東京都市大学［正］白旗 弘実・清水 和弘・土屋 嘉則

■リニューアル(10)　／17:00～18:20／前田 利光（清水建設）

Ⅵ-583　駐車場施設の健全度評価と維持管理計画に関する一考察／パシフィックコンサルタンツ［正］冨 健一・藤井 久矢・藤沢 匡尚
Ⅵ-584　既設道路防護柵の安全性向上に向けたリニューアル／中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋［正］阿部 徳男・中島 信行・上田 哲也
Ⅵ-585　豊田市における重要度の低い橋梁に対する維持管理の方向性(その2)／豊田市役所［正］鈴木 康貴・山本 尚
Ⅵ-586　道路維持管理におけるパトロールデータの活用に向けた検討事例／パシフィックコンサルタンツ［正］吉田 博・八木 崇充
Ⅵ-587　羽田空港国際線エプロン事業における維持管理データベースシステムの構築／大成建設［正］神谷 誠・大塚 徳之・中村 勝広
Ⅵ-588　既設橋梁の腐食部に対する応急的な補修塗装手法に関する研究／IHIインフラシステム［正］北村 耕一・上野臺 英孝・萩谷 陽平

Ⅵ-10（C棟C205教室）／9月8日(木)

■リニューアル(11)　／9:00〜10:20／久保 昌史(清水建設)

Ⅵ-589　桁端調査診断補修システムの開発／IHIインフラ建設［正］小林 崇・廣井 幸夫・神出 明

Ⅵ-590　橋梁の維持管理の高度化・モニタリング技術の検証(上津屋橋―流れ橋―）／計測リサーチコンサルタント［正］梅本 秀二・小河 聡・春田 健作

Ⅵ-591　NEXCO自社回線を活用した現地モニタリングシステムの開発／西日本高速道路［正］櫻谷 慶治・殿垣内 正人・村上 豊和

Ⅵ-592　吊橋縦桁支承の点検補修用簡易足場検討／本州四国連絡高速道路［正］大廻 聡・森脇 正生・尾崎 泰祐

Ⅵ-593　走行型計測技術を用いたトンネル補修工の効率化の検討(奥岩泉トンネルつらら・氷柱対策）／パシフィックコンサルタンツ［正］駒村 一弥・斉藤 優貴・中村 芳

Ⅵ-594　道路橋補修工事における点検・診断・施工一括発注について(京都府)／京都技術サポートセンター［正］春田 健作・小林 哲也・高田 亮平

Ⅵ-595　ICRTを併用した橋梁点検計画とその適用性に関する検討／復建調査設計［正］山根 章・小坂 崇・松村 道也

■リニューアル(12)　／10:40〜12:00／冨井 孝喜(大林組)

Ⅵ-596　東海道新幹線PC桁における腐食変状の原因究明と健全度評価／JR東海［正］稲葉 涼二・高橋 和也・集治 良太

Ⅵ-597　中央本線十二兼・南木曽間梨子沢土石流災害の復旧／東海旅客鉄道［正］増田 剛美

Ⅵ-598　グラウンドアンカー切土のり面の更新優先度検討／［正］中村 友和・福島 敦・井上 正史

Ⅵ-599　東海道新幹線トラス橋の縦けた上フランジに発生した変状の対策／JR東海［正］辻 英之・高橋 眞・大脇 規孝

Ⅵ-600　鉄道橋りょうの橋脚洗掘被害(その1:被害概要）／東日本旅客鉄道［正］宮崎 真弥・佐名川 太亮・伊藤 彰則

Ⅵ-601　鉄道橋りょうの橋脚洗掘被害(その2:応急復旧対策）／鉄道総合技術研究所［正］佐名川 太亮・宮崎 真弥・西岡 英俊

Ⅵ-10（C棟C205教室）／9月9日(金)

■リニューアル(13)　／9:00〜10:20／根岸 裕(東海旅客鉄道)

Ⅵ-602　無水ワイヤーソーによる水平・鉛直面の同時切断装置の開発／奥村組［正］西山 宏一・高島 通男・小出 昌克

Ⅵ-603　高耐久繊維補強材料の桟橋塩害補修工事への適用／大林組［正］冨井 孝喜・石関 嘉一・中出 義

Ⅵ-604　UAVによる多視点画像取得とパノラマ化支援システムの開発／建設技術研究所［正］河原崎 雄介・松岡 利一・小倉 司

Ⅵ-605　樹脂接着系あと施工アンカーの引抜き工法についての検討／サンコーテクノ［正］中野 秀紀・藤井 保也・冨井 孝喜

Ⅵ-606　寒冷地用低粘度形エポキシ樹脂を使用した冬期施工におけるひび割れ注入工法／日本国土開発［正］山内 匡・内藤 勲・千賀 年浩

Ⅵ-607　マルコフ連鎖モデルを用いた桟橋鋼管杭被覆防食の劣化傾向の分析／港湾空港技術研究所［正］山本 幸治・山路 徹

Ⅵ-608　テーパー型ナット付アンカー筋のプレ充填方法における挿入抵抗確認試験／サンコーテクノ［正］藤井 保也・今井 清史・小林 薫

■橋梁(1)　／10:40〜12:00／守屋 紀和(清水建設)

Ⅵ-609　東海道新幹線Iビーム埋め込み桁における大規模改修工事の施工／JR東海［正］井上 浩一・吉田 幸司・佐久間 勇樹

Ⅵ-610　橋脚工事へのCF工法採用による工期短縮と高耐久化への取り組み／大林・富士ピー・エス特定建設工事共同企業体［正］山中 博登・宮本 賢浩・西村 護

Ⅵ-611　都市内における鋼管集成橋脚の施工実績報告／［正］齊藤 暖・藤原 勝也・佐藤 昇

Ⅵ-612　PCランガー橋の施工実績／鹿島建設［正］高柳 達徳・幸野 寛伸・山崎 啓治

Ⅵ-613　スタッド切断による鋼合成桁の床版撤去施工実験／IHIインフラ建設［正］高木 祐介・峯村 智也・廣井 幸夫

Ⅵ-614　ジャカルタの供用道路上での高架橋新設工事における工程短縮策／大林組［正］星野 智紀・山口 貴志

Ⅵ-615　長大支間を有する海上橋へのスパンバイスパン架設工法の適用／三井住友建設［正］長谷川 隆志・西村 一博・政木 範雄

■橋梁(2)　／15:20〜16:40／細谷 学(大成建設)

Ⅵ-616　コンクリートの運搬・打設方法に関する一考察／鹿島建設［正］相馬 良太・石橋 靖亨・山中 大明

Ⅵ-617　軽量Ⅱ種コンクリートを用いたPC下路桁の品質管理計画／西日本旅客鉄道［正］三輪 陽彦・猿渡 隆史・相原 修司

Ⅵ-618　表層コンクリートの品質向上を目的とした長期養生の効果／清水建設［正］頃安 研吾・野島 昭二・片山 雅夫

Ⅵ-619　冷温水の通水による新しい温度ひび割れ抑制工法の橋脚への適用／鹿島建設［正］村田 和也・戸張 正利・岡本 裕昭

Ⅵ-620　橋梁下部工事における橋脚過密配筋への対応／大林組［正］白井 聡・小丸 博司・木須 芳男

Ⅵ-621　光ファイバを用いたPC緊張力の計測技術の適用実績／鹿島建設［正］曽我部 直樹・佐藤 正・南雲 広幸

Ⅵ-622　光ファイバ組込み式エポキシ被覆型PCケーブルによる緊張力分布の計測／鹿島建設［正］山崎 大介・今井 道男・松原 喜之

Ⅵ-11（C棟C206教室）／9月7日(水)

■河川・港湾(1)　／9:00〜10:20／野勢 辰也(大成建設)

Ⅵ-623　鬼怒川堤防破堤における超高速緊急復旧工事実績／鹿島建設［正］阿部 勇児・堤 盛良・横坂 利雄

Ⅵ-624　仮締切工法用ライナープレートの水圧作用時の強度試験／コルゲート・ライナー技術協会［正］大高 範寛・木村 栄昭・藤本 雄充

Ⅵ-625　海中覆砂施工におけるナローマルチビームを使用した施工管理／五洋建設［正］林 健太郎・佐々木 勝則・中澤 祐治

Ⅵ-626　桟橋上部工の補修用吊り足場の設置・撤去作業の効率化に向けた基礎的検討／東亜建設工業［正］鶴岡 秀樹・網野 貴彦・田中 亮一

Ⅵ-627　アーク矢板ジャケット工法におけるアーク矢板土留めの本施工／東洋建設［正］矢崎 敦義・高橋 久雄・赤野 博

Ⅵ-628　アーク矢板ジャケット工法におけるアーク矢板打設の試験施工／JFEエンジニアリング［正］田中 祐人・水上 亮・高橋 久雄

Ⅵ-629　アーク矢板ジャケット工法におけるサドルプレート打設と閉合の試験施工／東洋建設［正］赤野 博・奈良 正・山崎 直樹

■河川・港湾(2)　／10:40〜12:00／遠藤 和雄(清水建設)

Ⅵ-630　40本のレグを有するジャケットの据付について／大成建設［正］竹谷 純一・小川 普史・村岡 洋次郎

Ⅵ-631　大遊間対応グラウトシール材の開発／西武ポリマ化成［正］下澤 成夫・小川 普史・村岡 洋次郎

Ⅵ-632　大遊間対応グラウトシール材のフィールド実験／大成建設［正］平野 純也・小川 普史・村岡 洋次郎

Ⅵ-633　可塑性グラウト材による防波堤の貫通性欠損部の補修／日特建設［正］中山 守人・増家 由季・近藤 浩正

Ⅵ-634　固化改良工法を用いた耐震強化岸壁の整備について／ニュージェック［正］村上 巧一・小椋 進・鬼頭 孝明

Ⅵ-635　強靭化を目的とした原油桟橋の耐震強化工事の設計と施工／鹿島建設［正］吉原 知佳・安宅 洋・永山 功二

Ⅵ-636　津波引き波に対する護岸の安定解析／早稲田大学［学］太田 海道・清宮 理

Ⅵ-637　Bacillus pasteuriiを用いたセメント改良土の海水環境下における劣化抑制技術／富山県立大学［学］三原 一輝・畠 俊郎

■地盤・基礎(1)　／15:20〜16:40／寺田 倫康(熊谷組)

Ⅵ-638　格子状補強シートによる90tクローラクレーンの沈下対策(その1）3次元FEM解析による補強効果の検討／鹿島建設［正］小原 隆志・中島 悠介・岡本 道孝

Ⅵ-639　格子状補強シートによる90tクローラクレーンの沈下対策(その2)施工実績と対策効果の確認／鹿島建設［正］中島 悠介・原田 靖生・岡本 道孝

Ⅵ-640　掘削した軟弱粘性土の有効利用のためのサンドコンパクションパイルの適用事例／鹿島建設［正］嵩 直人・岡本 道孝・久保 達也

Ⅵ-641　石狩湾周辺地盤のサンドコンパクションパイル工法改良特性について―石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第1工区)工事報告―／［正］千野 和彦・今 翔平・佐藤 将路

Ⅵ-642　石狩湾新港発電所新設工事のうち土木本工事(第2工区)工事報告／大林組［正］田口 伸吾・齋藤 寿秋・樋口 浩之

Ⅵ-643　泥炭地盤への変動追随性の高いメガソーラー架台基礎の適用性検討／大林組［正］玉井 礼子・三浦 国春・山下 斉之

Ⅵ-644　アレイ架台基礎の滑動抵抗に関する実験的検討／大林組［正］三浦 国春・玉井 礼子・渡辺 一義

■地盤・基礎(2) ／17:00～18:20／田中 啓之(鹿島建設)

Ⅵ-645 切梁と腹起しの接合部材に関する検討／大林組［正］吉松 千尋・高橋 正登・平尾 淳一

Ⅵ-646 組合せ部材による支保工隅角部の剛結合化に関する一考察／大林組［正］高野 金幸・高橋 正登・平尾 淳一

Ⅵ-647 鉄道高架橋における鋼管ソイルセメント杭の施工及び施工管理について／九鉄工業［正］阿部 弘典

Ⅵ-648 軌道近傍擁壁に近接した鋼管杭打設に伴う変位管理について／JR東日本［正］吉井 恭一朗・駒宮 隆男

Ⅵ-649 軟弱地盤における大型ニューマチックケーソンの施工実績について／戸田建設［正］藤原 弘久・伊藤 哲・橋本 雄樹

Ⅵ-650 幹線道路沿い急斜面部における切土施工／［正］河野 有美・浜田 文年・足達 康軌

Ⅵ-651 鋼矢板による護岸のすべり抑止対策／清水建設［正］白田 隆一郎・風早 謙一

Ⅵ-11（C棟C206教室）／9月8日(木)

■地盤改良(1) ／9:00～10:20／藤田 淳(清水建設)

Ⅵ-652 柱列改良体の土留め利用／大成建設［正］尾崎 健・浜田 文年・足達 康軌

Ⅵ-653 セメント改良土における引張強度の推定に関する一考察／加藤建設［正］伊藤 正巳・菅野 航太・大河内 保彦

Ⅵ-654 地盤改良体を用いた山留め設計に慣用法を適用する際の引張強度による影響／加藤建設［正］菅野 航太・伊藤 浩邦・大河内 保彦

Ⅵ-655 マルチジェット工法のによる地盤改良の施工事例／佐藤工業［正］新井 崇聖・岩橋 公男

Ⅵ-656 地盤改良体を用いた斜め土留め工法の設計事例／大林組［正］照井 太一・杉江 茂彦・大城 一徳

Ⅵ-657 冷排水路工事における地盤改良体を用いた斜め土留め工法の施工事例／大林組［正］大川 祥功・照井 太一・藤木 豊

Ⅵ-658 小土被り水平地盤改良(HEMS)工法における変状防止工の施工／大成建設［正］田村 憲・金野 正一・門間 正挙

■地盤改良(2) ／10:40～12:00／緒方 明彦(熊谷組)

Ⅵ-659 浅層改良盤の曲げ耐力の評価に関する一考察／ライト工業［正］宇梶 伸・宮武 裕昭・近藤 益央

Ⅵ-660 可塑性グラウトによる巨礫・巨石地盤の注入改良～その1:注入圧の評価・予測法～／大成建設［正］イシイ ヒロヤス・羽生 剛・北詰 昌樹

Ⅵ-661 可塑性グラウトによる巨礫・巨石地盤の注入改良 ～その2:施工時注入圧の事後評価～／大成建設［正］羽生 剛・石井 裕泰・北詰 昌樹

Ⅵ-662 地中埋設物に密着させる高圧噴射撹拌工の施工／清水建設［正］北澤 良平・藤井 誠司・和田 唯史

Ⅵ-663 プレミックス船工法により固化処理・揚土した浚渫土砂の現場強度／五洋建設［正］上野 一彦・橋 和正・大石 俊広

Ⅵ-664 変位低減型深層混合処理工法の現場実験と撹拌混合効率に関する一考察(その2) ／あおみ建設［正］大古利 勝己・上村 一義・遠西 幸男

Ⅵ-665 大口径相対撹拌工法KS-S・MIX工法の施工事例／あおみ建設［正］見世 裕樹・高橋 強・奥野 倫太郎

Ⅵ-666 鉱さい集積場における高強度セメント改良体の強度発現特性について／大成建設［正］吉田 龍平・田口 裕之・須本 祥太

Ⅵ-11（C棟C206教室）／9月9日(金)

■リニューアル(14) ／9:00～10:20／岡本 修一(大成建設)

Ⅵ-667 コンクリート橋における高圧水洗浄による塩害抑制効果について／ネクスコ・エンジニアリング北海道［正］藤井 直己・村山 陽

Ⅵ-668 40年経過した海上基礎の塩害調査と劣化予測に基づいた補修／清水建設［正］宮田 佳和・野村 朋宏・前田 敏也

Ⅵ-669 ポリプロピレン繊維混入断面補修材によるコンクリート構造物の補修／日特建設［正］池田 淳・永山 裕典・阿部 智彦

Ⅵ-670 電気化学的補修の新しい施工方法／安藤ハザマ［正］齋藤 淳・山本 周・宮口 克一

Ⅵ-671 東海道新幹線鋼橋(高速道路交差区間)への耐火塗料の適用／JR東海［正］田中 佑児・津田 英朗・畑中 達彦

Ⅵ-672 東海道新幹線の大規模改修工事支承部取替における反力調整手法／東海旅客鉄道［正］宇佐美 龍一・荒鹿 忠義・鍛冶 秀樹

Ⅵ-673 盛土上の駅ホームにおける変状発生原因と対策／JR東海［正］森谷 啓一郎・丸山 真一

■リニューアル(15) ／10:40～12:00／前田 敏也(清水建設)

Ⅵ-674 武蔵野市における道路総合管理計画(仮称)の策定に向けた取り組み／パシフィックコンサルタンツ［正］堀井 久義・射場 茂夫・松本 昌也

Ⅵ-675 各種点検・評価結果を複合的に活用した橋梁補修計画の検討／ネクスコ・エンジニアリング東北［正］三澤 功一・大塚 美博・齊藤 邦和

Ⅵ-676 市町村が管理する既設橋梁の維持管理―市町村に対するサポート体制―／近畿建設協会［正］山本 幸雄・和田 展幸・古市 亨

Ⅵ-677 市町村が管理する吊橋の維持管理(その1) ―吊橋の点検・調査・診断について―／災害科学研究所［正］東山 浩士・街道 浩・古市 亨

Ⅵ-678 市町村が管理する吊橋の維持管理(その2) ―吊橋の維持管理手法の提案―／近畿建設協会［正］林 正一・古市 亨・中谷 順也

Ⅵ-679 MMS点群データを用いた道路台帳調書の調製に関する考察／中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京［正］工藤 綾太・今井 龍一・松井 晋

Ⅵ-680 センサデータを活用した道路盛土区間の路面変位個所検出手法の提案／三井共同建設コンサルタント［正］吉武 俊章・原田 紹臣・木下 義博

■リニューアル(16) ／15:20～16:40／大塚 勇(大成建設)

Ⅵ-681 本沢橋床版取替え工事に伴う旧床版の切出し調査報告(三才山トンネル有料道路の橋梁床版長寿命化対策について)／日本建設保全協会［正］宗 栄一・手塚 敏徳・牧角 龍憲

Ⅵ-682 地下鉄トンネル検査結果を用いた維持管理指標の妥当性の検証／東京地下鉄［正］田口 真澄・榎谷 祐輝・川上 幸一

Ⅵ-683 追加ボーリングによる集水井の排水機能の回復～山形自動車道 中ノ沢地区及び月山湖PA地区～／東日本高速道路［正］藤田 敦・板垣 陽介・今井 淳次郎

Ⅵ-684 グラウンドアンカーの更新工法の開発と実証／中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京［正］西田 直也・川崎 廣貴・笹本 直之

Ⅵ-685 三世代高速道路トンネル群の比較による現状評価と課題／中日本高速道路［正］佐藤 淳・井上 強・棗 悠紀

Ⅵ-686 供用中の2車線高速道路トンネルにおける二重の安全対策工事／鴻池組［正］白井 淳裕・濱中 亨・宇田 隆彦

Ⅵ-687 特別全般検査データを用いた地下鉄トンネル上床の変状発生予測に関する分析／東京大学［正］安達 慎一・湧田 雄基・石川 雄章

Ⅵ-12（C棟C301教室）／9月7日(水)

■建設環境(1) ／9:00～10:20／宮瀬 文裕(清水建設)

Ⅵ-688 生分解性法枠材を用いたのり面緑化実証試験の経過報告／大成建設［正］大野 剛・川又 睦・伊藤 一教

Ⅵ-689 大山ダムホタルビオトープのモニタリング結果(その6) ―生物多様性に着目して―／熊谷組［正］門倉 伸行・佐々木 静郎・岡本 弾

Ⅵ-690 油汚染土壌バイオパイル処理における効果的な酸素供給方法の解析的検討(その2) ／熊谷組［正］河村 大樹・佐々木 静郎・村上 順也

Ⅵ-691 油汚染土壌のバイオ浄化における添加資材の効果／熊谷組［正］村上 順也・佐々木 静郎・河村 大樹

Ⅵ-692 寒冷地におけるエコスタックの森林性昆虫類の保全対策効果／鹿島建設［F］山脇 健治

Ⅵ-693 足かけ7年にわたる汚染土壌調査と協議、工事まで／鹿島建設［正］一本松 新・酒井 学

Ⅵ-694 生物処理を用いたVOCs原位置浄化の事例／大林組［正］福武 健一・緒方 浩基・西田 憲治

■建設環境(2) ／新材料・新素材／10:40～12:00／松村 綾子(大成建設)

Ⅵ-695 ダム建設工事期間中の動植物保全を目的としたビオトープ整備の効果検証／鹿島建設［正］越川 義功・豊増 隆敏・真崎 達也

Ⅵ-696 ライトトラップ調査による工事用照明の誘虫効果の評価／鹿島建設［正］高山 晴夫・豊増 隆敏・真崎 達也

Ⅵ-697 石炭灰改良土により構築された防潮堤盛土の長期モニタリング結果／大林組［正］山田 祐樹・佐々木 徹・田島 孝敏

Ⅵ-698 石炭灰高リサイクル破砕材の適用について／安藤・間［正］小野里 みどり・坂本 守・真石 恒一

Ⅵ-699 ダム再開発工事における貯水池の底泥処理工の施工実績／鹿島建設［正］水野 浩尚・沼本 仁志

Ⅵ-700 蒸気養生を行わないジオポリマーコンクリートのフレッ

シュ性状および圧縮強度特性について／西松建設［正］原田 耕司・富井 孝喜・青木 峻二
Ⅵ-701　蒸気養生を行わないジオポリマーコンクリートの体積変化および耐酸性特性について／大林組［正］青木 峻二・富井 孝喜・原田 耕司

■検査技術・診断(1)　／15:20～16:40／佐藤 大輔(コンステック)
Ⅵ-702　応力発光材料による補修を要するコンクリート構造物の劣化状況の可視化／鹿島建設［正］小泉 悠・山本 拓治・西里 亮
Ⅵ-703　カメレオンコードと携帯端末を用いた画像モニタリングシステムの開発／清水建設［F］前田 敏也・西村 晋一・森田 千尋
Ⅵ-704　音響探査法を用いたコンクリート表層欠陥探査技術の開発／佐藤工業［正］黒田 千歳・歌川 紀之・阪本 泰士
Ⅵ-705　EMセンサーによる外ケーブル補強工法のケーブル張力モニタリング／計測リサーチコンサルタント［正］濱田 弘志・米本 雅紀・宮本 則幸
Ⅵ-706　ワイヤロープを利用した橋梁床版点検について／ネクスコ東日本エンジニアリング［正］志村 充伸・赤尾 駿太朗・中尻 智大
Ⅵ-707　斜張橋の斜材等の自走式点検装置の開発／中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京［正］高野 真希子・緒方 紀夫・稲葉 尚文
Ⅵ-708　ひび割れ画像解析における解析時間の迅速化手法の開発／大成建設［正］府川 徹・本澤 昌美・堀口 賢一

■検査技術・診断(2)　／17:00～18:20／北川 真也(佐藤工業)
Ⅵ-709　温度ギャップ検出赤外線サーモグラフィ法による亀裂検出実用化システム／ブリッジ・エンジニアリング［正］大藤時秀・溝上 善昭・和泉 遊以
Ⅵ-710　温度ギャップ検出赤外線サーモグラフィ法による裏面亀裂の検出・評価／滋賀県立大学［正］和泉 遊以・阪上 隆英・溝上 善昭
Ⅵ-711　ガードレール支柱の経年劣化検査技術の開発2／原子燃料工業［正］松永 嵩・礒部 仁博・村上 豊和
Ⅵ-712　AEセンサを用いた打音検査システムによるメカニカルアンカ検査技術の開発2／原子燃料工業［正］小川 良太・礒部 仁博・岡本 智文
Ⅵ-713　コンクリート橋に対する劣化診断システムの開発／原子燃料工業［正］匂坂 充行・礒部 仁博・村上 豊和
Ⅵ-714　グラウンドアンカーの頭部振動特性に着目した健全度調査・評価システムの開発／西日本高速道路［正］浜崎 智洋・松永 嵩・小川 良太
Ⅵ-715　広帯域型AEセンサを用いたPC鋼材の破断検知に関する実験的研究／施工技術総合研究所［正］榎園 正義・谷倉 泉・萩原 直樹

Ⅵ-12（C棟C301教室）／9月8日(木)

■検査技術・診断(3)　／9:00～10:20／内藤 英樹(東北大学)
Ⅵ-716　非破壊調査を用いた鋼橋RC床板の損傷度合いの把握／エイト日本技術開発［正］木村 真也・中村 圭秀・小野 和行
Ⅵ-717　高速移動型3D探査車両によるRC中空床版橋の変状調査報告／エイト日本技術開発［正］山森 誠史・安木 清史・菖蒲迫 正之
Ⅵ-718　RC中空床版の耐荷力検討および補修検討報告／エイト日本技術開発［正］安木 清史・菅原 一彦・山森 誠史
Ⅵ-719　簡便な橋脚根固め工移動量把握手法の開発／東海旅客鉄道［正］舟橋 秀磨・浅野 嘉文・今井 賢一
Ⅵ-720　床版外観変状調査結果と床版内部の水平ひび割れとの関連性についての考察／西日本高速道路［正］古澤 貴治・横山 和昭
Ⅵ-721　衝撃弾性波を用いた床版の水平ひび割れ検出精度／西日本高速道路エンジニアリング中国［正］大田 一成・山本 雅行・横山 和昭
Ⅵ-722　実構造物におけるひび割れ深さの推定精度の検証／八千代エンジニヤリング［正］野田 一弘・栗本 太朗・石田 祐也

■検査技術・診断(4)　／10:40～12:00／吉沢 勝(首都高速道路技術センター)
Ⅵ-723　情報化施工に資するリアルタイム締め固め測定法とデータの評価に関する研究／砂子組［正］廣上 伸二・好川 敏・田尻 太郎
Ⅵ-724　床版劣化に関する打音試験法のデータ処理方法と評価／砂子組［正］長谷川 雅樹・川村 正之・古川 大輔
Ⅵ-725　RC床版上面の損傷予測に向けた電磁波レーダーの精度について／東日本高速道路［正］齊藤 進・村山 陽
Ⅵ-726　進展期における鉄筋コンクリート中の鉄筋腐食評価／IHI検査計測［正］西土 隆幸・河野 豊・郡 亜美
Ⅵ-727　熱的負荷による塗膜除去不要な鋼部材疲労亀裂の光学的全視野探傷法に関する研究／長崎大学［学］小金丸 暁・松田 浩・森田 千尋
Ⅵ-728　エコーチップによるコンクリート強度推定時のばらつきに関する検討／熊谷組［正］野中 英・湯浅 昇
Ⅵ-729　誘導路橋梁の振動特性の季節変動に関する検討／清水建設［正］稲田 裕・金子 雅廣・尾関 将克

Ⅵ-12（C棟C301教室）／9月9日(金)

■検査技術・診断(5)　／9:00～10:20／森 康雄(熊谷組)
Ⅵ-730　近赤外域分光情報によるコンクリート表層部の塩分推定モデル構築に関する検討／トプコン［正］半谷 一晴・先村 律雄・中島 良光
Ⅵ-731　近赤外線分光法を用いたコンクリート表面塩分量推定の現場適用性／前田建設工業［正］末永 怜士・中島 良光・先村 律雄
Ⅵ-732　近赤外線を用いたコンクリート表面塩分推定のフライアッシュコンクリートへの適用性／前田建設工業［正］中島良光・末永 怜士・先村 律雄
Ⅵ-733　レーザーを用いたコンクリート構造物の非接触計測技術の開発(1)装置概要と試験状況／西日本旅客鉄道［正］御崎哲一・島田 義則・篠田 昌弘
Ⅵ-734　壁面自動追尾型水路トンネル診断装置による点検／日本工営［正］中山 宣洋・金本 康宏・本田 学
Ⅵ-735　アクアジャスター®を搭載した水中点検ロボットのダム現場実証試験／大林組［正］濱地 克也・椎名 肖一・三輪 徹
Ⅵ-736　音響探査法を用いたコンクリート表層欠陥探査技術の開発—長距離計測に関する検討—／桐蔭横浜大学［正］上地樹・杉本 恒美・杉本 和子

■検査技術・診断(6)　／10:40～12:00／阪本 泰士(東海旅客鉄道)
Ⅵ-737　河川橋りょうの遠隔モニタリングが可能な洗掘検知棒の改良／西日本旅客鉄道［正］近藤 政弘・山田 雅・和田 英明
Ⅵ-738　無人航空機(ドローン)の道路施設管理への展開(京都府:八雲橋・大津南郷宇治線）／計測リサーチコンサルタント［正］木本 啓介・春田 健作・菊本 健太
Ⅵ-739　橋梁・トンネル点検用打音検査飛行ロボットシステムの研究開発／首都高速道路技術センター［正］青木 聡・西沢俊広・野波 健蔵
Ⅵ-740　水中調査ロボットのダム堤体点検・調査への適用／五洋建設［正］水野 剣一・小笠原 哲也・杉本 英樹
Ⅵ-741　車両及びUAVを活用した河川管理高度化の取り組み／復建技術コンサルタント［正］唐木 正史・秋葉 雅章・湧田雄基
Ⅵ-742　ミャンマー国鉄への橋梁維持管理訓練／日本コンサルタンツ［正］高見 満・七村 和明・公門 和樹
Ⅵ-743　ミャンマー国鉄での鋼橋健全度診断の試行／ビーエムシー［正］公門 和樹・高見 満・七村 和明

■検査技術・診断(7)　／15:20～16:40／河野 豊(IHI)
Ⅵ-744　ICTを活用した地下鉄のトンネル検査／東京地下鉄［正］五十嵐 翔太・三浦 孝智・川上 幸一
Ⅵ-745　開削トンネルにおける赤外線熱計測によるコンクリートの浮き・剥離手法の検討／保全工学研究所［正］中山 聡子・川上 幸一・小西 真治
Ⅵ-746　トンネル覆工表面画像を用いたひび割れ自動抽出技術の開発／西日本高速道路エンジニアリング九州［正］谷口 徹也・竹本 将・仲田 慶正
Ⅵ-747　可視画像データによる地下鉄トンネル異状箇所抽出システムの開発／メトロレールファシリティーズ［正］篠原 秀明・小西 真治・川上 幸一
Ⅵ-748　東海道新幹線におけるトンネル覆工撮影車及び画像解析装置の機能向上／東海旅客鉄道［正］岡村 幹男・瀬平 強美・長谷川 誠
Ⅵ-749　光切断法と高精度スライダーを利用したトンネル覆工コンクリートひび割れ計測システムの開発／大林組［正］藤岡大輔・畑 浩二・伊藤 哲
Ⅵ-750　地下鉄トンネルにおける特別全般検査結果について／［正］河畑 充弘・榎谷 祐輝・野口 正則

Ⅵ-13（C棟C302教室）／9月7日(水)

■検査技術・診断(8) ／9:00～10:20／天野 勲(保全工学研究所)

Ⅵ-751 道路橋支承の変位挙動評価／IHI検査計測［正］河野 豊・西土 隆幸
Ⅵ-752 トンネル覆工画像解析による変状抽出精度の向上に向けた一考察／西日本高速道路エンジニアリング関西［正］大西 智之・寺田 光太郎・後島 佑輔
Ⅵ-753 剥落危険予知のための熱画像処理システムの開発／東京都市大学［正］小西 拓洋・小屋 祐太朗・手塚 正道
Ⅵ-754 新設線区橋脚における固有振動数と標準値の比較検討／JR西日本［正］和田 智弘・濱田 吉貞・豊田 隼也
Ⅵ-755 画像処理技術によるポットホール検出システムの試行運用について／東日本高速道路［正］加藤 哲・大廣 智則
Ⅵ-756 アクティブ赤外線サーモグラフィ法によるコンクリート構造物の非破壊検査／神戸大学［正］阪上 隆英・溝上 善昭・花井 拓
Ⅵ-757 空間統計学を用いた鋼矢板の肉厚減少量の空間分布予測に関する検討／海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所［正］田中 豊・加藤 絵万

■検査技術・診断(9) ／10:40～12:00／戸田 勝哉(IHIインフラシステム)

Ⅵ-758 地下鉄トンネル内の赤外線熱計測における変状部の判定確度と浮き・はく離検出精度の関係性の研究／パスコ［正］川島 千明・黒須 秀明・小西 真治
Ⅵ-759 超音波を用いたあと施工アンカー固着状態検査装置の開発／ケー・エフ・シー［正］山本 健太・井本 厚・筒井 透
Ⅵ-760 Uドップラーを用いた高架橋固有振動数取得に関する一考察／東海旅客鉄道［正］福元 義幸・庄司 朋宏・上半 文昭
Ⅵ-761 レーザーを用いたコンクリート欠陥の高速遠隔検査技術の開発／レーザー技術総合研究所［正］島田 義則・倉橋 慎理・北村 俊幸
Ⅵ-762 アンカー補強土壁の補強材を対象とした健全性調査技術の土中における検証実験／岡三リビック［正］林 豪人・小浪 岳治・山下 健太郎
Ⅵ-763 音響探査法を用いたコンクリート表層欠陥探査技術の開発―計測速度向上に関する検討―／桐蔭横浜大学［正］杉本 恒美・杉本 和子・上地 樹
Ⅵ-764 音響探査法を用いたコンクリート表層欠陥探査技術の開発―健全部評価に関する検討―／桐蔭横浜大学［正］杉本 和子・杉本 恒美・千星 淳

■検査技術・診断(10) ／15:20～16:40／青柳 聖(八千代エンジニヤリング)

Ⅵ-765 航空レーザ計測による斜面リスク抽出可能性の検討／西日本旅客鉄道［正］新名 恭仁・栩野 博・牧 澄枝
Ⅵ-766 分岐器検査へのステレオカメラ技術の適用法の検討／鉄道総合技術研究所［正］坪川 洋友・矢澤 英治・石川 智行
Ⅵ-767 赤外線サーモグラフィ法による橋梁コンクリート剥離領域の劣化進行に関する研究／西日本高速道路エンジニアリング四国［正］橋爪 謙治・橋本 和明・松田 靖博
Ⅵ-768 市販カメラを用いた舗装点検技術の開発／東芝［正］米川 陽子・金田 芳明・中村 慶之介
Ⅵ-769 ドライバの生体脈波による高速道路走行時のストレス評価に関する研究／茨城大学［学］高橋 亨・原田 隆郎
Ⅵ-770 モバイルマッピングシステム(MMS)を用いた簡易路面性状調査の開発／東芝［正］熊倉 信行・金田 芳明・小川 和博
Ⅵ-771 老朽導水施設の継続調査に基づく健全度評価／日本工営［正］沢田 陽佑・小谷 拓

■品質管理(1) ／17:00～18:20／川崎 祐征(東海旅客鉄道)

Ⅵ-772 PCLNGタンク側部冷熱抵抗緩和材の液密性の評価(その1)／大阪ガス［正］新村 知也・大西 俊輔・田摩 仁
Ⅵ-773 PCLNGタンク側部冷熱抵抗緩和材の液密性の評価(その2)／大林組［正］阿久津 富弘・川島 宏幸・大西 俊輔
Ⅵ-774 整備新幹線工事のコンクリート構造物の品質確保に向けた施工と品質との関係の把握に関する取組みの試行／鉄道・運輸機構［正］井上 翔・石徳 隆行・弓削 伸二
Ⅵ-775 施工情報管理ツールの実用化に向けた検証／ジェイアール東日本コンサルタンツ［正］小林 孝光・田原 孝・石間 計夫
Ⅵ-776 画像による打継面の処理状態の簡易評価方法の検討／鹿島建設［正］松本 修治・今井 道男・横関 康祐
Ⅵ-777 覆工コンクリート脱枠後における簡易養生が表層品質に与える影響／西武建設［正］村上 順菜・辻田 陽一郎・二村 憲太郎
Ⅵ-778 表層評価および施工状況把握シートを用いた大規模コンクリート構造物の品質向上対策について――関遊水地大林水門の施工事例―／奥村組［正］小笠 真理恵・齋藤 隆弘・高橋 太郎

Ⅵ-13（C棟C302教室）／9月8日(木)

■品質管理(2) ／9:00～10:20／古賀 秀幸(オリエンタルコンサルタンツ)

Ⅵ-779 パイプクーリングを用いたケーソン壁部の温度ひび割れ制御／清水建設［正］幸田 圭司・江渡 正満・大野 裕嗣
Ⅵ-780 橋梁下部工でのコンクリート構造物品質向上への取り組み／西松建設［正］小穴 信太郎・佐伯 岳洋・高鹿 翔太
Ⅵ-781 フライアッシュを用いたコンクリートの実構造物寸法での温度計測について／北海道電力［正］高石 孟・佐久間 清文・宮田 佳和
Ⅵ-782 アスファルト舗装の放射温度計を用いた温度管理手法の検証／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋［正］河本 盛寛・高木 直人・野呂 直史
Ⅵ-783 水中不分離性コンクリートの施工実績／鹿島建設［正］十河 浩・清水 康弘・鎌田 俊彦
Ⅵ-784 工事桁直下における繊維入り高流動コンクリートを使用した高架橋の施工について／［正］佐々木 守・高橋 正晴・澤村 里志
Ⅵ-785 国道下非開削工(パイプルーフ工)の施工実績／鹿島建設［正］吉田 裕亮・奥本 現・安田 学

■CIM (1) ／10:40～12:00／北原 剛(大成建設)

Ⅵ-786 陸前高田市震災復興事業の一体的業務による事業促進(その4) ―UAV航空写真測量による土量管理―／清水建設［正］中牟田 直昭・峯澤 孝永・土屋 信洋
Ⅵ-787 陸前高田市震災復興事業の一体化業務による事業促進(その5) ―大規模土工事におけるICT施工の活用とCIMへの対応―／清水建設［正］定月 良倫・峯澤 孝永・久保 正顕
Ⅵ-788 UAVを用いた写真測量における生産性向上事例／［正］星野 拓馬・西 彰一・杉浦 伸哉
Ⅵ-789 切羽前方地質状況を取り込んだ山岳トンネル予測型CIMの開発／大林組［正］畑 浩二・中岡 健一・藤岡 大輔
Ⅵ-790 シールド線形3Dシミュレーションシステムの開発／熊谷組［正］河越 勝
Ⅵ-791 シールド線形3Dシミュレーションシステムを活用した曲線施工管理／［正］奥川 孝透
Ⅵ-792 筑豊烏尾トンネルにおける施工CIMデータ納品／前田建設工業［正］福原 康顕・松尾 健二・渡邊 康行

Ⅵ-13（C棟C302教室）／9月9日(金)

■CIM (2) ／9:00～10:20／河田 雅也(清水建設)

Ⅵ-793 橋脚工事におけるCIMによる施工性向上の事例／東急建設［正］小島 文寛・水井 隆之・和田 脩平
Ⅵ-794 幌延URLにおける人工バリア性能確認試験 CIM (3次元モデル、ICTの導入・活用)による計画・施工・計測データ管理の適用事例／大成・大林・三井住友特定建設工事共同企業体［正］白瀬 光泰・中山 雅・大野 宏和
Ⅵ-795 樋門変状の3次元管理の試行／パシフィックコンサルタンツ［正］佐久間 謙史・畠山 直樹・北野 和徳
Ⅵ-796 港湾構造物へのCIMの適用／五洋建設［正］石田 仁・山中 哲志・勝田 哲史
Ⅵ-797 廃棄物最終処分場の設計施工一括発注工事におけるCIMの適用事例／東急建設［正］廣崎 大史・小島 文寛・椿 雅俊
Ⅵ-798 3次元配筋システムの設計・施工管理への適用について(第4報) ／エーバイシー［正］横山 義靖・西山 茂樹・山辺 直也
Ⅵ-799 3次元モデルを用いたEPSブロック出来形管理／日本国土開発［正］羽賀 研太朗・佐野 健彦・大上 敏弘

■CIM (3) ／GIS／GPS／10:40～12:00／杉浦 伸哉(大林組)

Ⅵ-800 大容量データ処理技術を活用した検索システムの現場への適用／前田建設工業［正］平澤 江梨・工藤 敏邦・新井 祐二
Ⅵ-801 道路土工構造物の構成要素を対象にした出来形管理手法に関する一考察／大成建設［正］青木 瞭太・今井 龍一・谷口 寿俊
Ⅵ-802 土工の横断測線に着目した出来形管理手法に関する一考察／東急建設［正］小俣 純也・今井 龍一・谷口 寿俊
Ⅵ-803 ヘテロジニアスな分散処理環境における地理情報処理のための処理時間予測の検討／五大開発［正］荒木 光一・新保 泰輝・柏 大吾
Ⅵ-804 BeiDouを併用した高精度移動測位における回折波の除去効果に関する研究／日本大学［正］池田 隆博
Ⅵ-805 GPS無線センサネットワークを用いた変位モニタリングにおける解析手法の検討／東京理科大学［学］高橋 佑莉沙・西 宏治郎・佐伯 昌之

Ⅵ-806　測位に使用する衛星位置と鉛直方向精度に関する実証的研究／日本大学［学］酒井 昂紀・佐田 達典・江守 央

■土留(1)／15:20～16:40／大木 基裕(東海旅客鉄道)
Ⅵ-807　結晶片岩地域での長大切土工事における地質調査とのり面挙動計測／西松建設［正］久野 高敬・佐藤 靖彦・古田 浩人
Ⅵ-808　結晶片岩地域での長大切土工事におけるのり面安定対策工の実施例／西松建設［正］餅井 忠大・久野 高敬・佐藤 靖彦
Ⅵ-809　雨水滞水池築造工事における地下水対策 その1―水位低下に伴う圧密沈下による周辺構造物への影響検討―／地域地盤環境研究所［正］長屋 淳一・栢分 国治・奥田 英幸
Ⅵ-810　雨水滞水池築造工事における地下水対策 その2―浸透流解析による薬液注入範囲の検討―／大成建設［正］奥田 英幸・相浦 宏紀・LIU Yujian
Ⅵ-811　硬岩に根入れする土留工事の施工実績／［正］藤井 淳之・熊澤 一徳
Ⅵ-812　仮設グラウンドアンカーの腹起しの挙動に関する一考察／大林組［正］高下 達也・高橋 正登・平尾 淳一
Ⅵ-813　角形鋼管を用いた切梁構造の強度確認試験／ジェコス［正］松山 積夫・西口 正仁

Ⅵ-14（C棟C303教室）／9月7日(水)

■シールドトンネル(1)／9:00～10:20／西田 与志雄(大成建設)
Ⅵ-814　横浜環状北線馬場出入口工事におけるシールド到達部の併設影響／首都高速道路［正］副島 直史・岩居 博文・鹿島 竜之介
Ⅵ-815　横浜環状北線馬場出入口工事におけるシールド機内覆工セグメントの施工／清水建設［正］篠崎 智至・副島 直史・松浦 幸彦
Ⅵ-816　横浜環状北線馬場出入口工事における送電鉄塔下のシールド掘進報告／首都高速道路［正］溝口 孝夫・遠藤 啓一郎・西田 充
Ⅵ-817　急曲線シールドにおける掘進状況可視化システムの開発／清水建設［正］渡邊 裕輝・副島 直史・遠藤 啓一郎
Ⅵ-818　同時掘進システムを用いたシールドの高速施工／大林組［正］日野 義嗣・上田 潤・山元 寛哲
Ⅵ-819　泥土圧シールド工事の立坑内土砂圧送による掘削土搬出について／西松建設［正］須崎 貴裕・山本 達也

■シールドトンネル(2)／10:40～12:00／坂田 智基(中央復建コンサルタンツ)
Ⅵ-820　大断面泥土圧シールドの長期掘進停止対応(その1:地表面沈下対策、および胴締め対策)／鹿島建設［正］紀伊 吉隆・渡辺 真介・吉迫 和生
Ⅵ-821　大断面泥土圧シールドの長期掘進停止対応(その2:地盤改良体再固化防止対策)／鹿島建設［正］吉迫 和生・渡辺 真介・紀伊 吉隆
Ⅵ-822　大断面シールドにおける路下空間プレキャストボックスの同時施工実績／［正］牧野 由依・渡辺 真介
Ⅵ-823　シールド汚泥再利用による流動化処理土打設実績／鹿島建設［正］生川 寛之・渡辺 真介
Ⅵ-824　SZパイル切削による立坑到達と大断面シールドの転回／阪神高速道路［正］福嶋 孝啓・渡辺 真介・紀伊 吉隆
Ⅵ-825　高水圧下における泥水式岩盤シールドの掘進計画／大成建設［正］岡嶋 和義・國居 史武・稲積 教彦
Ⅵ-826　海外における大断面シールド施工(ニュージーランド ウォータービュートンネル工事)／大林組［正］山下 健司・玉井 昭雄・川上 季伸

■シールドトンネル(3)／15:20～16:40／今石 尚(大成建設)
Ⅵ-827　泥水シールド工法における新規増粘剤を用いた逸泥防止手法の開発／大林組［正］三浦 俊彦・木村 志照・武田 厚
Ⅵ-828　高発泡性能を有するシールドトンネル工事用起泡剤レオフォームOL-10の現場適用／大林組［正］木村 志照・三浦 俊彦・武田 厚
Ⅵ-829　シールド工事における切羽前面の可視化技術の開発／鹿島建設［正］辻 千之・齊藤 啓之・森口 敏美
Ⅵ-830　裏込め注入材で硬化しにくく止水・圧送性能のよい新型テールグリースの開発(その2)／大林組［正］山元 寛哲・星野 智紀・泉 徹
Ⅵ-831　裏込め注入材で硬化しにくく止水・圧送性能のよい新型テールグリースの開発(その1)／JXエネルギー［正］泉 徹・内海 孝之・荒井 孝
Ⅵ-832　鋳物集塵ダストを利用したシールド用裏込め注入材料の開発／大林組［正］武田 厚・三浦 俊彦・中川 浩一

■シールドトンネル(4)／17:00～18:20／増澤 伸司(熊谷組)
Ⅵ-833　アラミド繊維を混入したFFU切削セグメントの性能確認試験―その2／西松建設［正］村上 初央・林 健一郎・北本 正弘
Ⅵ-834　締結力を有するセグメント継手の開発(継手金物の挿入・引張試験)／フジタ［正］野間 達也・岸下 崇裕・三岡 善平
Ⅵ-835　締結力を有するセグメント継手の開発(継手曲げ試験)／フジタ［正］磯崎 智史・岸下 崇裕・三岡 善平
Ⅵ-836　センターカッター交換装置の開発／大成建設［正］西田 与志雄・大坂 衛・長谷川 浩靖
Ⅵ-837　砂礫地盤におけるシールドカッタービットの摩耗予測に関する研究／大林組［正］大前 慶恵・山元 寛哲・野口 宏治
Ⅵ-838　高耐久性カッタービットの開発(その2)―3Dスキャナを用いたカッタービットの計測手法の研究―／奥村組［正］川嶋 英介・星 智久・大槻 弥生

Ⅵ-14（C棟C303教室）／9月8日(木)

■シールドトンネル(5)／9:00～10:20／中川 雅由(鹿島建設)
Ⅵ-839　4面に鋼殻を有する合成セグメントに関する基礎的研究／パシフィックコンサルタンツ［正］清水 幸範・藤木 育雄・水上 博之
Ⅵ-840　FEM解析による合成セグメント評価手法の一考察／IHI建材工業［正］山田 晃司・山口 隆一・小林 一博
Ⅵ-841　大断面・大深度道路トンネルに適用するためのコンクリート一体型鋼製セグメント(HBセグメント)の改良概要(1)本体構造・コンクリート打設方法改良／大成建設［正］織田 隆志・谷口 敦・福田 隆正
Ⅵ-842　大断面・大深度道路トンネルに適用するためのコンクリート一体型鋼製セグメント(HBセグメント)の改良概要(2)継手構造改良／大成建設［正］伊藤 潤・日高 直俊
Ⅵ-843　再生PET繊維の下水道向けセグメントへの適用性確認／清水建設［正］増田 湖一・星野 壮一
Ⅵ-844　蒸気養生した低炭素型コンクリートの耐久性に関する研究／大成建設［正］堀口 賢一・松元 淳一・河村 圭亮
Ⅵ-845　アラミド繊維を混入したFFU切削セグメントの性能確認試験―その1／西松建設［正］大江 郁夫・久住 真也・坂本 博明

■シールドトンネル(6)／10:40～12:00／津野 究(鉄道総合技術研究所)
Ⅵ-846　小土被り区間でのSENS覆工挙動の解析／長岡技術科学大学［学］中田 早紀・TAM NGUYEN・杉本 光隆
Ⅵ-847　URUP工法による地上発進・海底横断を伴うガス導管シールド工事／大林組［正］東野 弘幸・菅沼 淳・古市 圭
Ⅵ-848　ビットの切削実験による「R-SWING工法」揺動型掘削機への対応―新日比谷地下通路工事報告(その1)―／鹿島建設［正］工藤 耕一・上木 泰裕・藤田 浩一
Ⅵ-849　六面鋼殻セグメントの単体曲げ試験結果と2次元非線形FEM解析による一考察―新日比谷地下通路工事報告(その2)―／鹿島建設［正］盛岡 義郎・橋口 弘明・水上 博之
Ⅵ-850　大深度・長距離・小断面シールドにおける礫層掘進の施工報告―西新宿シールド工事／大成建設［正］榎本 文一・松野 一之
Ⅵ-851　巨礫層における泥土圧式シールドの掘進実績／鹿島建設［正］濱本 真吾・奈良 忠志・平井 伸和
Ⅵ-852　巨礫層の影響範囲における小口径シールドの掘進実績／鹿島建設［正］恒川 照康・竹下 慶輔・栗原 健吾

Ⅵ-14（C棟C303教室）／9月9日(金)

■シールドトンネル(7)／9:00～10:20／柳川 一心(ジェイアール東海コンサルタンツ)
Ⅵ-853　施工時荷重を考慮した大和川線シールド掘進時による地下鉄御堂筋線の変状解析／大林組［正］河田 利樹・島 拓造・南川 真介
Ⅵ-854　3次元モデルによるシールド掘削影響解析／鹿島建設［正］小坂 琢郎・大谷 芳輝・玉田 康一
Ⅵ-855　清水共同溝設置工事―4における近接施工の対策と施工結果／前田建設工業［正］鈴木 哲太郎・浅井 秀明・宮澤 昌弘
Ⅵ-856　清水共同溝設置工事―4における圧気工法による松杭撤去／前田建設工業［正］浅井 秀明・寅岡 千丈・鈴木 哲太郎
Ⅵ-857　軟弱粘性土における泥土圧シールド施工についての報告／戸田建設［正］日向 利行・大庭 浩・小林 英智
Ⅵ-858　拡大シールド工法における位置計測技術の開発／大林組［正］金 淨昊・屋代 勉・白坂 紀彦

VI-859 数値解析による地中拡幅部の先受け工に関する小口径シールド実現可能性の検討／［学］新井 祐太・SOUMPHOLPHAKDY VANNAXAY・桑原 正也

■シールドトンネル（8）／10:40～12:00／鹿島 竜之介（清水建設）

VI-860 複合式シールド工法の掘進実績に基づく塑性流動性の評価／鹿島建設［正］磯 秀幸・森本 和大・相坂 亮太
VI-861 シールド機によるRC杭直接切削実験／大成建設［正］岩下 篤・足立 英明・秦野 淳
VI-862 円周シールド用測量システムの開発と検証／奥村組［正］犬飼 貴・川嶋 英介・木下 茂樹
VI-863 幾何学的に発生するシールドセグメントのローリング量の計算方法とその応用／長岡技術科学大学［学］田中 秀幸・小澤 弘幸・鈴木 貴大
VI-864 狭隘な施工ヤードにおける合理化施工／大成建設［正］阿武 潔・太田 祥史・上井 秋彦
VI-865 シールドセグメントトレーサビリティシステムの開発／大成建設［正］石田 桂子・森田 泰司・金田 修一

■土留（2）／15:20～16:40／山下 徹（大林組）

VI-866 流動化処理土を利用する鋼製地中連続壁工法の施工実績（その1:流動化処理土の品質管理手法の提案）／鹿島建設［正］坂本 守・石井 健嗣・吉迫 和生
VI-867 流動化処理土を利用する鋼製地中連続壁工法の施工実績（その2:流動化処理土の充填性確認試験）／鹿島建設［正］松井 雅紀・坂本 守・齋藤 茂
VI-868 流動化処理土を利用する鋼製地中連続壁型工法の施工実績（その3:MPD-TMX工法による施工実績）／鹿島建設［正］板橋 信男・池田 祐介・矢野 孝司
VI-869 透し掘り連続壁工法（SATT工法）による路下連続壁のコンクリート強度と掘削時の挙動／大成建設［正］真部 洋大・渡辺 典男・齋藤 力哉
VI-870 ボックスカルバートのプレキャスト化に対応した土留支保工の計画／清水建設［正］和田 一彬・大田 寛・宗像 慎也
VI-871 発進立坑における非対称土留め支保工の盛替計画について／清水建設［正］足助 美岐子・大田 寛・宗像 慎也
VI-872 新直線形鋼矢板「Jフラットパイル™」の性能検討／JFEスチール［正］恩田 邦彦・河野 謙治・辻本 和仁

Ⅵ-15（C棟C304教室）／9月7日（水）

■技術開発（1）／9:00～10:20／山田 金喜（東日本高速道路）

VI-873 洋上風力用繊維入りグラウト注入材の疲労強度特性について／熊谷組［正］吉田 健治
VI-874 洋上風力用繊維入りグラウト注入材の施工性能について／熊谷組［正］阿部 悟・吉田 健治
VI-875 放射能濃度に応じたソーティング装置による除去土壌の分別試験／大成建設［正］守屋 雅之・岳尾 浩一・島田 曜輔
VI-876 除去土壌等の輸送用簡易遮水トレイの技術開発事例／大成建設［正］大谷 崇・三浦 康文・岳尾 浩一
VI-877 騒音対策支援用可聴化システムの開発／清水建設［正］谷川 将規・宇野 昌利・宮瀬 文裕
VI-878 折りたたみ式防音壁の開発／清水建設［正］宇野 昌利・宮瀬 文裕・谷川 将規
VI-879 メタンガス3次元可視化システムの開発および計測事例／大成建設［正］本島 貴之・名合 牧人・佐ノ木 哲

■技術開発（2）／10:40～12:00／松井 雅紀（鹿島建設）

VI-880 地下埋設物可視化システムの開発／清水建設［正］三木 浩・荒木 尚幸・岡本 修
VI-881 地下水位低下工法における自動制御プログラムの開発／前田建設工業［正］坂藤 勇太・林 幹朗・岡田 直仁
VI-882 3次元画像処理装置によるCSG材の連続粒度管理手法／大林組［正］宮入 斎・藤原 宗一・小林 功
VI-883 管路式濁水処理システムの実証試験／大成建設［正］川又 睦・大野 剛・伊藤 一教
VI-884 UAVを用いたダム堤体健全性調査のための基礎研究／茨城大学［学］中野 翔太・桑原 祐史・齋藤 修
VI-885 今後のホームドア整備における盛土式ホーム基礎構造の開発／JR東日本［正］岩井 俊且・島崎 聡・笹川 透
VI-886 夜間工事照明の種類と誘虫性への影響に関する基礎調査／清水建設［正］宮瀬 文裕・宇野 昌利・森 日出夫

■技術開発（3）／15:20～16:40／山本 彰（大林組）

VI-887 耐衝撃性を考慮したカッタビットの開発／大成建設［F］森田 泰司・武田 伸児・緒方 勤
VI-888 礫層掘削を対象とした長寿命カッタビットの開発／丸和技研［正］緒方 勤・森田 泰司・佐々木 誠
VI-889 礫層掘削に効果的な薄型多層チップ構造の提案／丸和技研［正］佐々木 誠・森田 泰司・嘉屋 文康
VI-890 連続型ミキサによるセメント改良土製造時の品質安定化―給水量リアルタイムコントロールシステム―／鹿島建設［正］安達 洋平・安藤 晃・鈴木 建爾
VI-891 SFWDによる岩盤評価手法の開発／清水建設［正］中野 貴公・長澤 正明・河田 雅也
VI-892 薬液を用いた自立削孔技術の開発／東京都市大学［学］杉浦 陽子・末政 直晃・佐々木 隆光

■情報化施工（1）／17:00～18:20／森田 泰司（大成建設）

VI-893 i-Constructionの全面活用に向けたUAV写真測量による土量計算誤差に関する考察／日本国土開発［正］中村 裕希・佐野 健彦・佐藤 裕
VI-894 i-Constructionの全面活用に向けたUAV写真測量精度の考察／日本国土開発［正］佐野 健彦・佐藤 裕・中村 裕希
VI-895 土工の面的管理実現に向けた出来形実態についての一考察／日本建設機械施工協会［正］藤島 崇・味田 悟・辻野 直義
VI-896 スマートフォンを活用したトンネル坑内位置検知システムの開発・適用／鹿島建設［正］森本 直樹・森本 和大・嶋田 恭佑
VI-897 3Dスキャナとプロジェクションマッピングを組み合わせたトンネルの掘削管理に関する基礎的研究／清水建設［正］青野 泰久・竹内 啓五・中谷 篤史
VI-898 アジテータ車運行とコンクリート打重ねのICT活用統合管理の取組み／大林組［正］末宗 利隆・田中 将希・藤沢 薫
VI-899 マシンコントロールモータグレーダ導入効果について／土木研究所［正］橋本 毅・田中 洋一・藤野 健一

Ⅵ-15（C棟C304教室）／9月8日（木）

■情報化施工（2）／自動化システム／9:00～10:20／宮村 正樹（福山コンサルタント）

VI-900 コンクリートトレースシステムの開発（機械施工編）／大成建設［正］江田 正敏・松本 三千緒・山下 貴士
VI-901 コンクリートトレースシステムの開発（人力施工編）／大成建設［正］松本 三千緒・江田 正敏・萩原 潤
VI-902 車両運行管理システムによるトレーサビリティ確保とすれ違い管理の実現／鹿島建設［正］丹 秀男・藤本 健治郎
VI-903 ダム堤体材料の原石採取における賦存量CIM管理システムの構築および施工現場への適用／安藤ハザマ［正］宇津木 慎司・中谷 匡志
VI-904 緊張管理図自動作成システムによるPC緊張管理精度向上／鹿島建設［正］酒井 大輔・小丸 博司・秋山 清
VI-905 冬用タイヤ自動判別技術の検討／［正］永易 慎二・橋本 和明・松田 靖博
VI-906 自動制御によるコンクリートひび割れ制御システムの開発／みらい建設工業［正］石原 慎太郎・泉 誠司郎・中田 崇晴

■設計技術、入札・契約、資金調達／10:40～12:00／田坂 幹雄（大林組）

VI-907 木製下路桁クロスパネル構造の設計と製作及び静的載荷実験／大成建設［正］山田 飛鳥・西ヶ谷 悠太・関 文夫
VI-908 海上部における大規模鋼管矢板基礎の設計について／大日本コンサルタント［正］豊島 孝之・作中 淳一郎
VI-909 並走する複数の道路カルバートの多連多層化による合理化／大林組［正］高橋 敏樹・齋藤 隆
VI-910 施工パッケージ型積算方式に係る施工実態変動確認手法の合理化の検討／国土技術政策総合研究所［正］杉谷 康弘・桜井 真・大山 憲英
VI-911 「技術開発・工事一括型（A型）総合評価方式」による調達について―東京外かく環状道路 本線シールドトンネル―／中日本高速道路［正］名井 乃
VI-912 施工者等との早期連携による建設生産システム改善方策に関する調査／国土技術政策総合研究所［正］中洲 啓太・小川 智弘・大野 真希
VI-913 ドイツにおけるPPP―アウトバーン事業における官民連携―／ネクスコ・エンジアリング東北［F］末岡 眞純

Ⅵ-15（C棟C304教室）／9月9日（金）

■施工計画（9）、測量・計測（1）／9:00～10:20／森本 直樹（鹿島建設）

VI-914 新名神高速道路における高盛土部の挙動予測―その1 地盤調査と動態観測―／鹿島建設［正］高塚 義則・堤 浩志・入田 圭
VI-915 新名神高速道路における高盛土部の挙動予測―その2 弾粘

塑性FEM解析による情報化施工—／鹿島建設［正］村上 武志・堤 浩志・入田 圭
Ⅵ-916　UAVを用いた崩壊地における迅速な地形測量技術の提案／岡山理科大学［正］佐藤 丈晴
Ⅵ-917　デジタル画像によるダム掘削出来形管理／大成建設［正］石井 喬之・江田 正敏・太田 兵庫
Ⅵ-918　ドローンによる空撮測量の精度検証と施工管理への適用／鹿島建設［正］松永 たかこ・加藤 康生
Ⅵ-919　UAVを用いた地形測量の適用性の検討／前田建設工業［正］松尾 健二・清水 英樹・秤谷 嘉明
Ⅵ-920　建設工事における汎用型UAV活用方法の検討／奥村組土木興業［正］梅宮 利之・藤森 章記・高崎 茂昌

■測量・計測（2）／10:40～12:00／神﨑 恵三（熊谷組）
Ⅵ-921　光切断法を用いた連続ベルコン計測システムの開発／大成建設［正］石井 稔之・片山 三郎・白坂 紀彦
Ⅵ-922　土工事の土量管理測量について／大成建設［正］岩崎 孝夫・清水 裕雄・平井 晶
Ⅵ-923　IoTを用いたモニタリングシステムの現場適用／五洋建設［正］山中 哲志・石田 仁・勝田 哲史
Ⅵ-924　TSによる基礎杭中心計測手法の改良／クモノスコーポレーション［正］中庭 和秀・矢吹 信喜・西 乃輔
Ⅵ-925　小型試験機とCIMを用いた大規模土工事の施工管理／大林組［正］山上 晶子・市川 賀寿男・奥澤 康一
Ⅵ-926　SLAM計測機を用いた屋内外の3次元施設マッピング／ジェイアール東日本コンサルタンツ［正］長谷部 国彦・石川 新太郎・都竹 正志
Ⅵ-927　フロート式の樋門・樋管点検機械の開発による点検作業の効率化、高度化—未点検樋門・樋管の解消を目指して—／パシフィックコンサルタンツ［正］畠山 直樹・鄉家 康広・高橋 義孝

■測量・計測（3）／15:20～16:40／長澤 正明（清水建設）
Ⅵ-928　地下埋設物を対象とした写真測量の計測精度に関する基礎的研究／日本建設機械施工協会［正］椎葉 祐士・岩渕 裕・藤島 崇
Ⅵ-929　3DレーザスキャナとSfMからの点群データを活用した橋梁の復元図作成の検討／ジェイアール東海コンサルタンツ［正］谷口 真奈花・平野 秀臣・山本 義幸
Ⅵ-930　稼働中の浄水場における既設埋設管の探査と3D化／大成建設［正］鈴木 聡
Ⅵ-931　トンネル計測管理におけるRANSAC法の適用／佐藤工業［正］瀬谷 正巳・京免 継彦・吉田 直人
Ⅵ-932　モバイルマッピングシステムの走行速度と標定点による補正効果の検証／日本大学［学］岡本 直樹・佐田 達典・江守 央
Ⅵ-933　画像処理による杭施工精度の管理／奥村組［正］森田 修二・塚本 耕治・坂元 一雄
Ⅵ-934　デジタル画像によるトンネル覆工コンクリートの変位計測技術の開発と適用／大成建設［正］谷 卓也・篠崎 哲明・高橋 聡尚

Ⅵ-16（B棟B101教室）／9月7日(水)

■耐震・免震／9:00～10:20／曽我部 直樹（鹿島建設）
Ⅵ-001　供用しながらの耐震改修工事に凍結工法初適用 その1—不飽和凍土強度の計画と検証—／精研［正］小椋 浩・矢島 清志・大石 雅人
Ⅵ-002　供用しながらの耐震改修工事に凍結工法初適用 その2—凍結改良範囲と建物レベル変位管理—／精研［正］大舘 良吉・町田 勲・小椋 浩
Ⅵ-003　回転式破砕混合方式による事前混合処理工法の実施事例／日本国土開発［正］高垣 豊・四宮 圭三・山崎 浩之
Ⅵ-004　落橋防止装置の設計・施工に関する課題／奥村組［正］木山 絢太・岡本 泰彦
Ⅵ-005　商業施設内における高架橋RC柱耐震補強工事の施工について／九鉄工業［正］松田 直樹・柿本 厚司
Ⅵ-006　狭隘箇所での高架橋柱耐震化工法選定／東亜建設工業［正］伊藤 弘毅・福田 司・山崎 寿人
Ⅵ-007　建築用タワークレーンのマスト接合部の強度に関する研究（その1 縮小模型によるボルトの応力状況）／労働安全衛生総合研究所［正］高梨 成次・大幢 勝利・高橋 弘樹

Ⅵ-17（B棟B102教室）／9月7日(水)

■海外工事／9:00～10:20／川上 季伸（大林組）
Ⅵ-008　発展途上国農村部における渡河構造物施工手法に関する施工内容および実施体制の検討／大成建設［正］芝村 裕人・大東 優馬・福林 良典
Ⅵ-009　香港地下鉄西港線における凍結工法による全長100mのトンネルの設計・施工事例（その1）／西松建設［正］齋藤 禎二郎・若尾 政克・清水 達郎
Ⅵ-010　香港地下鉄西港線における凍結工法による全長100mのトンネルの設計・施工事例（その2）／精研［正］森 保史・新井 聡・齋藤 禎二郎
Ⅵ-011　ベトナムにおける場所打ち杭の海上施工と品質管理／三井住友建設［正］池田 圭宏・安達 剛・近藤 慎也
Ⅵ-012　ウォータージェットを活用したネガティブフリクション対策鋼管杭の施工／三井住友建設［正］近藤 慎也・板花 宏明・大保 敬文
Ⅵ-013　ベトナムで二例目となる鋼管矢板基礎の施工／三井住友建設［正］安達 剛・黒川 敏広・近藤 慎也
Ⅵ-014　帯水砂層内でのトンネル交差部補強／［正］大塚 勇・小原 伸高・小林 伸次

Ⅵ-18（B棟B103教室）／9月7日(水)

■各種基礎／9:00～10:20／玉嶋 克彦（大成建設）
Ⅵ-015　重要構造物に近接してのアーバンリング圧入管理手法と鉄筋かご建込み方法の創意工夫／清水建設［正］岩元 佑太朗・山中 利明・山本 利史
Ⅵ-016　西船場JCT改築工事におけるアーバンリング工法を用いたケーソン構造の合理化／清水建設［正］小野田 元・杉山 裕樹・曽我 恭匡
Ⅵ-017　地盤連成Pushover解析による合成構造フーチングの検証／大林組［正］齋藤 隆・松崎 久倫・天野 寿宣
Ⅵ-018　地盤連成動的解析による合成構造フーチングの検証／大林組［正］天野 寿宣・松崎 久倫・齋藤 隆
Ⅵ-019　軌道と既設建物に近接した狭隘部における軌道仮受杭の施工事例／東急建設［正］小笠原 広志・高橋 靖幸・大峰 秀之
Ⅵ-020　大型ニューマチックケーソン2函同時沈設に伴う周面摩擦の増加と対策／大林組［正］山村 拓郎・青山 繁・小崎 敏之
Ⅵ-021　既存杭の引抜工法の開発と引抜孔が周辺地盤に及ぼす影響について／サンシャ［正］濵田 聡一郎・桑原 秀一・鳥越 友輔

第Ⅶ部門　環境計画・管理、環境システム、用排水システム、廃棄物、環境保全など

Ⅶ-1（B棟B202教室）／9月7日（水）

■廃棄物処理計画及び処分・リサイクル技術／9:00〜10:20／柴田 健司（大林組）

Ⅶ-001　津波浸水深からみた福岡県沿岸部の災害廃棄物発生量予測／福岡大学［学］高口 拓也・佐藤 研一・藤川 拓朗
Ⅶ-002　大規模堆肥化施設における有機性廃棄物リサイクル方法の体系化に向けての取組み／五洋建設［正］浜谷 信介・徳山 文祐・荒井 正英
Ⅶ-003　建設発生土に対する中和剤の混合効果と植生基盤材としての再利用に関する検討／［正］関 海夏人・橋田 弘之・村松 宏紀
Ⅶ-004　再生石膏粉を用いた建設発生汚泥の凝集沈殿及びヒ素汚染土壌の処理に関する研究／［学］堀田 翔平
Ⅶ-005　排泥処理プラントによる排泥減量化／大成建設［正］宮崎 尚人・小川 普史・村岡 洋次郎
Ⅶ-006　静的圧縮減容化工法による海面最終処分場の減容化事例／海洋工業［正］池田 通陽・森下 達雄・鳴海 直信

■廃棄物処分場管理／10:40〜12:00／下村 泰造（大成建設）

Ⅶ-007　自己修復機能を有するアスファルト系シートのAML工法への適用検討／大林組［F］柴田 健司・日笠山 徹巳・諸留 章二
Ⅶ-008　海面処分場における杭基礎周面の遮水性に関する現地透水試験／海上・港湾・航空技術研究所［正］渡部 要一・金子 崇・水谷 崇亮
Ⅶ-009　海面処分場における杭基礎周面の遮水性に関する室内透水試験／海上・港湾・航空技術研究所［正］金子 崇・渡部 要一・島村 章吾
Ⅶ-010　海面埋立型廃棄物最終処分場の底面遮水機能に及ぼす基礎杭打設の影響／呉工業高等専門学校［学］鹿瀬 宏希・森脇 武夫・平尾 隆行
Ⅶ-011　高濃度フライアッシュスラリーのトレミー管を用いた埋立効果／東洋建設［正］山崎 智弘
Ⅶ-012　最終処分場埋立地の不等沈下を考慮した雨水浸透防止シートの力学特性に関する評価／神奈川県［正］遠藤 清亮・田口 雅丈
Ⅶ-013　ダム建設に係る旧鉱さい堆積場の移設工事／鹿島建設［正］松原 功明・大場 敏則・長谷川 敬寿

■循環資源・リサイクル／15:20〜16:40／北條 俊昌（東北大学）

Ⅶ-014　バイオマスガス化システムの東南アジアへの適用検討／鹿島建設［正］石川 一真・福井 久智・脇本 春樹
Ⅶ-015　草木混合の含水率の高い植物発生材を利活用したバイオマスガス発電の実用化〜実証実験〜／鉄建建設［F］喜久里 政宏・宇治 正人・八太 昭道
Ⅶ-016　草木混合の含水率の高い植物発生材を利活用したバイオマスガス発電の実用化〜実用化改良〜／東日本高速道路［正］宇治 正人・堀井 秀基・宇留野 武見
Ⅶ-017　セロオリゴ糖生産を目的とする酵素糖化反応において反応系のスケールアップが酵素反応に与える影響調査／長岡技術科学大学［学］武笠 巨尭・志田 洋介・小笠原 渉
Ⅶ-018　メタン発酵消化液を利用した植物栽培の比較及び養液の微生物解析／長岡技術科学大学［学］栖木 淑恵・中村 啓人・幡本 将史
Ⅶ-019　ヨシを用いたヒラタケ栽培試験／鹿児島工業高等専門学校［学］池田 匠児・新原 悠太郎・山田 真義
Ⅶ-020　下水汚泥を用いたきのこ栽培技術の開発／鹿児島工業高等専門学校［学］山崎 寛登・池田 匠児・山内 正仁

■バイオレメディエーション／17:00〜18:20／寺崎 寛章（福井大学）

Ⅶ-021　RHA1株によるバイオオーグメンテーションに適した培地成分の検討／大成建設［正］高畑 陽・渡邉 亮哉・伊藤 雅子
Ⅶ-022　Rhodococcus jostii RHA1株による塩素化エチレン類分解に対する過酸化水素の影響／大成建設［正］渡邉 亮哉・伊藤 雅子・高畑 陽
Ⅶ-023　高分子有機資材による塩素化エチレン類脱塩素化の基礎的検討／大成建設［正］伊藤 雅子・高畑 陽
Ⅶ-024　地盤環境—植物生長モデルにおける根系の生長に関する基礎的検討その(1)根の半径について／九州大学［正］古川 全太郎・笠間 清伸・藤澤 朱音
Ⅶ-025　地盤環境—根系成長モデルにおける根の生長に関する基礎的検討その(2)根長密度について／九州大学［学］藤澤 朱音・古川 全太郎・笠間 清伸
Ⅶ-026　油汚染土壌浄化における植物の生存・生育への影響の解析／熊谷組［正］佐々木 静郎・門倉 伸行・久保 幹
Ⅶ-027　高濃度の油汚染土壌に対するバイオレメディエーションによるパイロット試験／三井住建道路［正］林 政子・南舘 学
Ⅶ-028　油汚染土壌に対する原位置バイオレメディエーションの浄化効果:油種間での比較／鴻池組［正］田中 宏幸・吉浪 賢史・田村 和広

Ⅶ-1（B棟B202教室）／9月8日（木）

■土壌・地下水汚染(1)／9:00〜10:20／大城 温（国土技術政策総合研究所）

Ⅶ-029　分級・鉄粉洗浄による鉛・砒素汚染土壌の浄化事例／鹿島建設［正］伊藤 圭二郎・川端 淳一・伊藤 康則
Ⅶ-030　透過性浄化壁で使用する鉄粉の還元状態における溶出特性／大林組［正］宮崎 隆洋・竹崎 聡・三浦 俊彦
Ⅶ-031　自然由来ヒ素汚染土壌の分離浄化処理工法／前田建設工業［正］山本 達生・岩田 将英・野田 兼司
Ⅶ-032　自然由来の砒素を含有するシールド泥水の浄化技術の開発（その3）—効率的なキレート洗浄方法の検討—／西松建設［正］山崎 将義・石渡 寛之・地井 直行
Ⅶ-033　自然由来ヒ素汚染土壌の分離浄化処理工法の開発—各処理工程の検討—／前田建設工業［正］岩田 将英・山本 達生・野田 兼司
Ⅶ-034　砒素およびフッ素の溶出を抑制できる環境配慮型のシールド工事用起泡剤／ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ［正］足立 とう子・野田 泰史・木村 志照
Ⅶ-035　水銀汚染土壌からの水銀揮発抑制方法に関する検討／竹中工務店［正］奥田 信康・田邉 康太・菅沼 優巳

■土壌・地下水汚染(2)／10:40〜12:00／高畑 陽（大成建設）

Ⅶ-036　建屋直下における汚染土壌・地下水対策を目的とした薬剤注入例／大林組［F］西田 憲司・緒方 浩基・日笠山 徹巳
Ⅶ-037　水田土壌における湛水土壌表面からの塩溶出実験／住化分析技術（上海）有限公司［正］仇 啓涵・寺崎 寛章・福原 輝幸
Ⅶ-038　酸化鉄スラリーを用いた汚染拡散防止壁の事前適用性試験例／大林組［正］佐藤 祐輔・西田 憲司・三浦 俊彦
Ⅶ-039　建設工事で発生するセレン含有排水の還元処理の検討／鹿島建設［正］河合 達司・田中 真弓・川端 淳一
Ⅶ-040　微生物由来マンガン酸化物の重金属吸着能の評価／大成建設［正］根岸 昌範・瀧 寛則・大谷 崇
Ⅶ-041　暗渠排水量に及ぼす疎水材の透水性の影響／福井大学［正］寺崎 寛章・吉兼 一晟・福原 輝幸
Ⅶ-042　ドレーン工法を用いた油回収に関する実験的検討／鹿島建設［正］関 弘・増田 真佑・河合 達司
Ⅶ-043　道路事業用地内で確認された土壌汚染等の現況／国土技術政策総合研究所［正］大城 温・井上 隆司・光谷 友樹

Ⅶ-1（B棟B202教室）／9月9日（金）

■底泥／9:00〜10:20／井芹 寧（西日本技術開発）

Ⅶ-044　固化処理した底泥の水質への影響に関する検討／大林組［正］西川 直仁・左合 靖樹・大宮 雄一
Ⅶ-045　沿岸域で覆砂材に活用される石炭灰造粒物の底質酸素要求量抑制効果／中国電力［正］井上 智子・松尾 暢・中本 健二
Ⅶ-046　フライアッシュとセメント混合率を調整し長期養生した石炭灰造粒物の化学組成評価／中国電力［正］中本 健二・井上 智子・樋野 和俊
Ⅶ-047　アサリを対象としたフルボ酸鉄シリカ資材投入に伴う干潟浄化実証研究／福岡大学［学］熊川 豪・渡辺 亮一・浜田 晃規
Ⅶ-048　小名浜港における港内底泥中の放射性物質濃度の面的調査について／三洋テクノマリン［正］岡部 克顕・神原 晋・齋藤 良章
Ⅶ-049　伊豆沼における底質有機物堆積機構の解析／東北大学［学］藤巻 史也・野村 宗弘・西村 修

■水質生態系モニタリング／10:40〜12:00／渡辺 亮一（福岡大学）

Ⅶ-050　カワニナを用いた水質モニタリングシステム／鹿島建設［正］林 文慶・越川 義功・畑中 昭人
Ⅶ-051　アミノ酸混和コンクリートによる底生動物の生息環境の創出／日建工学［正］川島 大助・御室 伸太郎・飯干 富広
Ⅶ-052　名取川流域における河川水中のミトコンドリアDNA濃度の時系列解析／東北大学［学］内田 典子・糠澤 桂・風間 聡

Ⅶ-053　神戸市垂水処理場修景池における藻類増殖対策に関する実験的検討／明石工業高等専門学校［正］渡部 守義・高見 徹
Ⅶ-054　養殖牡蠣ノロウイルス汚染指標としてのPMMoVとアイチウイルスの利用可能性／山形大学［学］伊藤 絵里香・伊藤 紘晃・渡部 徹
Ⅶ-055　脂肪酸・安定同位体比分析による内湾の粒状有機物動態と養殖カキ餌料源の評価／東北大学［学］松野 匠・鄭 翊喆・坂巻 隆史
Ⅶ-056　2015/16年インフルエンザシーズンにおける河川中のタミフルおよびタミフル代謝物濃度について／大阪産業大学［正］高浪 龍平・谷口 省吾・尾崎 博明
Ⅶ-057　抗生物質に耐性を示す活性汚泥細菌の検索／山形大学［学］三浦 逸実・渡部 徹・浦 剣

Ⅶ-2（B棟B203教室）／9月7日(水)

■原子力土木(地震・津波・断層変位）／9:00〜10:20／小池 信昭（和歌山工業高等専門学校）

Ⅶ-058　女川原子力発電所防潮堤かさ上げ工事の概要／東北電力［正］尾崎 充弘・岸部 大蔵
Ⅶ-059　海底地すべりに伴い発生する津波の規模推定に用いる予測式の提案／三菱総合研究所［正］文屋 信太郎・藤田 尚毅・松山 昌史
Ⅶ-060　オープンソース粒子法コードの改良およびSPH法による断層変位解析に関する検討／大林組［正］秋元 理仁・井垣 亮・戸田 圭彦
Ⅶ-061　逆断層変位を受ける地中構造物の挙動に関する遠心模型実験:Part1 実験概要／東北電力［正］菊地 慶太・伊藤 悟郎・加藤 一紀
Ⅶ-062　逆断層変位を受ける地中構造物の挙動に関する遠心模型実験:Part2 作用荷重／大林組［正］樋口 俊一・加藤 一紀・伊藤 悟郎
Ⅶ-063　津波波源内の断層運動に伴う海面擾乱に関する水理実験および数値計算／関西大学［学］藤原 岳大・坂本 匡史・高橋 智幸

■原子力土木(地盤・斜面）／10:40〜12:00／中村 晋(日本大学)

Ⅶ-064　個別要素法による土砂流動解析の計算条件に関する一考察／東北大学［正］森口 周二・太田 勇真・高瀬 慎介
Ⅶ-065　個別要素法の簡易モデルを土量評価へ適用するための実被害の再現解析／東電設計［正］中瀬 仁・岩本 哲也・曺 国強
Ⅶ-066　動的遠心模型実験による斜面のすべり土塊衝突荷重評価／鉄道総合技術研究所［正］中島 進・長尾 洋太・成田 浩明
Ⅶ-067　大地震時の合理的な斜面対策工に関する一考察／電力中央研究所［正］石丸 真・清水 啓之・大島 貴充
Ⅶ-068　水平基盤に対する球形落体の反発係数に及ぼす細粒分と表土層厚の影響／名古屋工業大学［学］奥村 勇太・前田 健一・内藤 直人
Ⅶ-069　簡易な構成式を用いた斜面の地震時すべり破壊解析における異方性の影響について／東北大学［正］河井 正・中村 晋・有留 義晃

■原子力土木(地中構造物耐震・耐久性）／15:20〜16:40／渡辺 和明(大成建設)

Ⅶ-070　遠心載荷実験による箱型構造物への地震時作用荷重の評価／大林組［正］堤内 隆広・永井 秀樹・菊地 慶太
Ⅶ-071　水平耐力の低下開始時点における鉄筋コンクリート製ボックスカルバートの変位分布／電力中央研究所［正］宮川 義範・柴山 淳・安藤 明宏
Ⅶ-072　塑性ヒンジ区間に打継目を有する鉄筋コンクリート製ボックスカルバートの載荷実験／電力中央研究所［正］柴山 淳・宮川 義範・安藤 明宏
Ⅶ-073　水平二方向地震動に対する三次元地下構造物の耐震性能評価／東北電力［正］土田 恭平・伊藤 悟郎・渡辺 伸和
Ⅶ-074　ひび割れ補修領域に対する遮塩性能の評価方法について／電力中央研究所［正］松井 淳・安藤 明宏

■原子力土木(外的事象PRA）／17:00〜18:20／中島 正人（電力中央研究所）

Ⅶ-075　スペクトル確率有限要素法の地震応答解析への適用／大成建設［正］堀田 渉・羽場 一基・畑 明仁
Ⅶ-076　地すべり津波に関する基礎的水理実験／東電設計［正］藤井 直樹・松山 昌史・内野 大介
Ⅶ-077　原子力施設周辺斜面のリスク評価に係る検討―転動岩塊の速度と到達距離の関係―／原子力規制庁長官官房技術基盤グループ［正］千明 一生・中村 英孝・中村 晋
Ⅶ-078　混合ガウスモデルを利用した落石リスク評価手法の提案／東北大学［学］菅野 蓮華・森口 周二・寺田 賢二郎
Ⅶ-079　岩塊転動による構造物への影響評価に関する検討(1)〜自由落下実験による岩塊・土砂の衝突荷重と荷重作用時間の分析〜／鉄道総合技術研究所［正］名取 努・阿部 慶太・成田 浩明
Ⅶ-080　岩塊転動による構造物への影響評価に関する検討(2)〜自由落下実験による岩塊・土砂の衝突荷重の分析〜／鉄道総合技術研究所［正］成田 浩明・阿部 慶太・名取 努

Ⅶ-2（B棟B203教室）／9月8日(木)

■上下水都市雨水管理／9:00〜10:20／伊藤 歩(岩手大学)

Ⅶ-081　下水管渠の調査頻度に関する提案／日本大学［正］保坂 成司・Tait Simon
Ⅶ-082　液膜式酸素溶解による圧送式下水道の管内硫化水素抑制に関する基礎的研究／大広エンジニアリング［正］盛谷 悠介・羽田野 袈裟義・李 洪源
Ⅶ-083　大規模災害時において仮設トイレで発生するし尿の処理計画／首都大学東京［正］荒井 康裕・小泉 明・稲員 とよの
Ⅶ-084　貯水槽水道における給水方式を考慮した残留塩素の消費に関するモデル分析／首都大学東京［学］大谷 真也・太田 優司・稲員 とよの
Ⅶ-085　雨水浸透緑化システムの基礎的検討／竹中工務店［正］古川 靖英・嚢茂 雄二郎・三輪 隆
Ⅶ-086　雨水有効活用を念頭にした雨水タンク内水質の改善策の一検討／東京理科大学［学］有川 遼・二瓶 泰雄・前田 嘉人
Ⅶ-087　あまみず社会実現に向けた住宅における流出抑制・利水可能性効果の検証／福岡大学［学］沼田 將真・渡辺 亮一・浜田 晃規

■膜分離・物理化学処理／10:40〜12:00／李 玉友(東北大学)

Ⅶ-088　人形峠環境技術センターにおける鉱さいたい積場坑水浄化メカニズムの検討／日本原子力研究開発機構［正］桝永 幸介・所 千晴・小原 義之
Ⅶ-089　浸出水処理の高度化による温暖化対策／鹿島建設［正］間宮 尚・岡部 元宣・有馬 毅
Ⅶ-090　膜分離活性汚泥法における膜のポリマー加工がファウリング抑制に与える影響／東京都市大学［学］中村 康大・長岡 裕
Ⅶ-091　MBRにおけるポリマー加工膜のファウリング抑制効果とMLSS濃度の関係／東京都市大学［学］山田 朋子・長岡 裕
Ⅶ-092　浸漬型中空糸膜モジュールの内部における気泡の拡散メカニズム／東京都市大学［学］遊佐 大介・長岡 裕・井上 美穂
Ⅶ-093　中空糸膜状浸漬型MBRにおいて散気管位置が曝気によるモジュール内の流動特性に及ぼす影響／東京都市大学［学］井上 美穂・遊佐 大介・長岡 裕

Ⅶ-2（B棟B203教室）／9月9日(金)

■下水処理／9:00〜10:20／長岡 裕(東京都市大学)

Ⅶ-094　一戸住宅を対象とした二段式人工湿地装置の適用／［学］坂井 颯哲・中島 淳・佐藤 圭輔
Ⅶ-095　水平流式人工湿地における細菌除去特性の解析／東北大学［学］熊井 健人・板倉 帆希・西村 修
Ⅶ-096　実規模スケール下水処理DHSリアクターの有機物除去および酸素消費特性／長岡技術科学大学［学］野本 直樹・原田 秀樹・山口 隆司
Ⅶ-097　都市下水処理を目的とした一次沈殿槽+DHSリアクターを用いた処理性能評価／香川高等専門学校［学］長町 晃宏・多川 正・井口 晃徳
Ⅶ-098　窒素安定同位体比を用いた活性汚泥における捕食の進行度の把握／国立環境研究所［正］小野寺 崇・珠坪 一晃・金谷 弦
Ⅶ-099　高濃度排水処理に適した土壌細菌の検討／日本大学［学］伊藤 康介・高橋 岩仁・奥山 真司
Ⅶ-100　バイオフェトン法を用いたスルファメトキサゾールの処理に関する研究／早稲田大学［学］邵 一凡

■栄養塩除去／10:40〜12:00／多川 正(香川高等専門学校)

Ⅶ-101　市街面源負荷削減のためのリン吸着材に関する基礎的検討／東京理科大学［学］佐藤 健志・大友 絵尋・小倉 久子
Ⅶ-102　マンガンと栄養塩に着目した小河内貯水池流入河川の土壌特性／首都大学東京［学］小林 将之・山崎 公子・小泉 明
Ⅶ-103　下水処理水の掛け流し灌漑による飼料用米栽培に関する研究／山形大学［正］渡部 徹・Pham Duy Dong・倉島 須美子

Ⅶ-104　海洋深層水利用による海産性微細藻の培養／大林組［正］山本 緑・大島 義徳・千野 裕之
Ⅶ-105　アナモックス処理のための連続亜硝酸化／鹿島建設［正］多田羅 昌浩・石川 秀・上野 嘉之
Ⅶ-106　アナモックス反応と嫌気的メタン酸化脱窒反応を組み合わせた窒素除去システムの性能評価／長岡技術科学大学［学］吉田 悠亮・根本 笙・幡本 将史

■嫌気性処理／15:20～16:40／小野寺 崇（国立環境研究所）

Ⅶ-107　下水処理UASB槽内に生息する嫌気性原生動物の共生微生物の分子生物学的解析／長岡技科大［学］平片 悠河・幡本 将史・山口 隆司
Ⅶ-108　ラボスケールUASBリアクター内における嫌気的硫黄酸化反応の再現性評価／長岡技術科学大学［学］塩澤 大和・山口 隆司・幡本 将史
Ⅶ-109　硫酸塩含有廃水のUASB処理におけるメタン生成古細菌と硫酸塩還元細菌の長期間競合の変化／東北大学［学］呉 江・常 玉広・胡 勇
Ⅶ-110　UASBリアクターを用いたメタノール系廃水の処理におけるCOD/SO42-比が微生物群集構造に及ぼす影響の評価／東北大学［学］倪 嘉苓・陸 雪琴・久保田 健吾
Ⅶ-111　海水・淡水生物飼育水を対象とした飼育水を循環利用できるUSB-DHSシステムの窒素成分除去性能の評価／長岡技術科学大学［学］太田 優輝・山口 隆司・幡本 将史

Ⅶ-3（B棟B204教室）／9月7日（水）

■ビオトープ（1）／9:00～10:20／池田 幸資（パシフィックコンサルタンツ）

Ⅶ-112　伊良原ダム建設工事における代償ビオトープの創出について／大成建設［正］渡邊 篤・中川 順野・我妻 敏昭
Ⅶ-113　里山の水辺の代替環境を目指したビオトープ計画事例／大成建設［正］渡邉 千佳子
Ⅶ-114　高速道路における農業用溜め池に生息する希少昆虫類の保全対策について／西日本高速道路［正］川原田 圭介・大岡 慶巳
Ⅶ-115　地域在来資源に考慮したカワニナの飼育増殖／鹿島建設［正］大野 貴子・中村 華子・林 文慶
Ⅶ-116　ホタルが棲むビオトープの構築／鹿島建設［正］高砂 裕之・越川 義功・小澤 一喜
Ⅶ-117　都市域におけるビオトープ竣工後10年目の調査で分かったこと／清水建設［正］米村 惣太郎・林 豊・中村 健二
Ⅶ-118　錦海ハビタットにおける湿地の生物多様性空間の創出事例／清水建設［正］小川 総一郎・小松 裕幸・前川 尚嗣

■ビオトープ（2）／10:40～12:00／川原田 圭介（西日本高速道路）

Ⅶ-119　湯西川ダム建設事業におけるクマタカ人工巣の繁殖成功事例／八千代エンジニヤリング［正］山内 可奈子・小林 裕明
Ⅶ-120　ビオトープの整備と生物の生息状況／五洋建設［正］田中 裕一・菊原 紀子
Ⅶ-121　首都圏中央連絡自動車道 あきる野ICビオトープにおける取組み／東日本高速道路［正］中尻 智大・亀山 章・宮下 修一
Ⅶ-122　環境DNAを用いたニホンザリガニ生息場の推定における季節影響／パシフィックコンサルタンツ［正］池田 幸資・土居 秀幸・田中 一典
Ⅶ-123　汽水湖でのアサリ増殖を目指しての現地試験／大林組［正］大島 義徳・西川 直仁・大谷 考一
Ⅶ-124　アサリの生残・潜砂に及ぼす低水温・低塩分の影響／大林組［正］藤井 雄太・大島 義徳

■森林・植生／15:20～16:40／田中 裕一（五洋建設）

Ⅶ-125　資源循環型屋上緑化の整備による草地空間の再生／鹿島建設［正］柳 雅之・曽根 佑太・山田 順之
Ⅶ-126　安威川ダムにおける表土を用いた法面緑化の取り組み／大林組［正］寺井 学・平井 幹也・岸本 雅彦
Ⅶ-127　郷土産植物による木本緑化手法の適用とその評価／北海道［正］中家 崇宏・佐藤 幸樹・吉田 幸教
Ⅶ-128　倒木危険領域のスクリーニング評価に関する検討／西日本高速道路エンジニアリング四国［正］林 詳悟・橋本 和明・松田 靖博
Ⅶ-129　固定式レーザプロファイラを用いた樹木情報抽出手法の検討／西日本高速道路エンジニアリング中国［正］高橋 英樹・小澤 徹三・極楽寺 隼也
Ⅶ-130　衛星画像を用いた水源林簡易評価手法の提案／岐阜大学［正］児島 利治・Zainal Edwina・大橋 慶介

■水質浄化技術／17:00～18:20／中野 和典（日本大学）

Ⅶ-131　殿川ダムにおける曝気循環装置の水質改善に関する調査報告／アース・プランニング［正］井上 豪
Ⅶ-132　ファイトフェントン法の浄化メカニズムの解明／早稲田大学［学］奈良 茂樹・稲垣 嘉彦・榊原 豊
Ⅶ-133　ウッドチップを骨材としたポーラスモルタルのセシウム吸着挙動／［学］平塚 育翔
Ⅶ-134　鉄イオン溶出による河川等の水質浄化大型実証試験／復建調査設計［F］福田 直三・丸山 健吉・遠藤 茂
Ⅶ-135　マイクロ／ナノポーラスセラミックを用いた水処理技術の基礎的検討／西松建設［正］浅井 靖史・石渡 寛之・日下 英史
Ⅶ-136　実海域における光照射による貧酸素環境の改善効果／大成建設［正］片平 智仁・帆秋 利洋・今田 千秋

Ⅶ-3（B棟B204教室）／9月8日（木）

■大気環境・騒音振動（1）／9:00～10:20／齋藤 邦夫（中央大学）

Ⅶ-137　敷鉄板の段差解消スロープマットによるダンプトラックの振動・騒音対策／鹿島建設［正］末吉 隆信・岡本 道孝・小原 隆志
Ⅶ-138　非接触振動測定による橋梁振動対策の一検討／［正］岩吹 啓史・長船 寿一・中崎 邦夫
Ⅶ-139　振動対策WIB工法の性能設計事例／E&Dテクノデザイン［F］竹宮 宏和
Ⅶ-140　鉄道橋台周辺の地盤振動特性に関する一考察／西日本旅客鉄道［正］坂本 寛章・泉 翔伍・近藤 政弘
Ⅶ-141　ラーメン高架橋柱地中部のモデル化方法の違いが列車走行時の地盤振動シミュレーションへ与える影響／鉄道総合技術研究所［正］横山 秀史・野寄 真徳・三橋 祐太
Ⅶ-142　3次元地盤モデルを用いた解析による建設重機加振力の推定／飛島建設［正］小林 真人・岩根 康之・若林 幹太

■大気環境・騒音振動（2）／10:40～12:00／北川 敏樹（鉄道総合技術研究所）

Ⅶ-143　音響管付二重防音壁の騒音低減効果／大林組［正］前田 章・本田 泰大・宮岡 修二
Ⅶ-144　サイドブランチ型消音器の枝管長調整機構について／前田建設工業［正］安井 利彰・山田 哲也・藤橋 克己
Ⅶ-145　自動車騒音のCA法における音源のモデル化／長岡技術科学大学［学］佐川 翔・宮木 康幸・大毛利 亮
Ⅶ-146　積算体系にあわせた工種当たりの二酸化炭素排出原単位の検討／国土技術政策総合研究所［正］瀧本 真理・井上 隆司
Ⅶ-147　水平スリンキー型熱交換パイプを利用した浅層地中熱採集システムの評価―その1―／福井大学［学］山本 仁・寺崎 寛章・福原 輝幸
Ⅶ-148　地域産業連関表の作成とイベントの経済効果及びCO_2排出解析／和歌山工業高等専門学校［正］鶴巻 峰夫・日高 康介

Ⅶ-3（B棟B204教室）／9月9日（金）

■環境影響評価／9:00～10:20／安里 俊則（西日本高速道路）

Ⅶ-149　自動車衝突確率モデルを用いたガン類・ハクチョウ類のロードキル発生リスク／パシフィックコンサルタンツ［正］森元 愛和・漆原 強・安部 大輔
Ⅶ-150　バンドトラップ調査による冬季の陸上昆虫類等調査事例／パシフィックコンサルタンツ［正］加藤 敦子・池田 幸資・瀬戸 祐介
Ⅶ-151　淡水二枚貝ドブガイと魚類の共生関係に配慮した環境影響調査／パシフィックコンサルタンツ［正］小林 功・山田 浩行・野手 啓行
Ⅶ-152　動体検知機能付ビデオカメラシステムを用いた希少猛禽類（オオタカ）のモニタリング／パシフィックコンサルタンツ［正］漆原 強・池田 幸資・堀越 弘美
Ⅶ-153　ニホンザリガニの生息場創出と効果の定量的評価／パシフィックコンサルタンツ［正］尾籠 健一・池田 幸資・高山 雅彦
Ⅶ-154　東シナ海上沖縄島嶼の漂着ゴミ問題への考察～19年間の調査結果を踏まえて～／元防衛大学校［正］山口 晴幸
Ⅶ-155　高速道路沿線における凍結防止剤飛散抑制効果について／西日本高速道路エンジニアリング中国［正］柳迫 新吾

■環境システム／10:40～12:00／加藤 敦子（パシフィックコンサルタンツ）

Ⅶ-156　生物を活用した環境配慮型緑地管理技術の研究／鹿島建設［正］山田 順之・曽根 祐太・青木 忠尚

Ⅶ-157　集合住宅の住環境に関する住民意見の把握:概念の分類と属性の差異／佛教大学［正］水上 象吾
Ⅶ-158　水質対策としての環境保全型農業の経済評価―滋賀県環境こだわり農業の事例分析―／［学］小坂田 ゆかり・藤野 正也・栗山 浩一
Ⅶ-159　食品残渣等の都市ごみを対象としたメタン発酵システムの実験的検討(その2)／西松建設［F］伊藤 忠彦・石渡 寛之・清水 直人
Ⅶ-160　マクロデータを用いた家庭系ごみ排出量に影響する要因の把握／東洋大学［学］色川 拓斗・村野 昭人
Ⅶ-161　住民主導による循環型社会形成における情報伝達手段の研究／茨城大学［正］赤津 典生・石田 智行
Ⅶ-162　カエル類を対象とした都市の生物多様性に関する基礎的研究／日本海コンサルタント［正］國本 昌宏・米島 諒・香坂 玲
Ⅶ-163　栃木県の水力発電の導入拡大に向けた情報提供システムの構築―「とちぎ小水力発電！基礎データマップ」の公開―／栃木県庁［正］松本 茂

■環境計画・環境管理／15:20～16:40／小林 功（パシフィックコンサルタンツ）
Ⅶ-164　篳篥の蘆舌に用いるヨシの保全と新名神高速道路建設事業の両立に向けた取り組み／西日本高速道路［正］安里 俊則・桃井 信行・繁冨 剛
Ⅶ-165　新名神高速道路(高槻～箕面間)建設区間に生息するヒダサンショウウオへの保全対策について／西日本高速道路［正］川村 祐次・三井 邦弘・高山 和久
Ⅶ-166　3種類の皮膚感染症の用量反応モデルの構築／山形大学［学］金谷 祐里・渡部 徹・浦 剣
Ⅶ-167　環境モデル都市の事業の進捗状況に影響する要素の抽出／東洋大学［学］大塚 章吾・村野 昭人
Ⅶ-168　猛禽類の広域保全手法を導入した環境保全対策／鹿島建設［正］加藤 康生・大野 直・高山 晴夫
Ⅶ-169　千葉県の土地利用変化に伴う絶滅危惧種の生息適地の分析／日本大学［正］伊東 英幸・早川 晃司・大場 真
Ⅶ-170　マイクロコズムWET試験によるゴルフ場排水の生態毒性評価／千葉工業大学［正］村上 和仁・小幡 一樹・小浜 暁子

共通セッション

CSの1会場(B棟B101教室)／9月7日(水)

■放射性廃棄物の処分技術(1)／10:40～12:00／吉村 貢（ソイルアンドロックエンジニアリング）
CS13-001　信濃川堤防の自然ガンマ線強度と地盤材料に関する一考察／ソイルアンドロックエンジニアリング［正］吉村 貢・三村 衛・岩崎 好規
CS13-002　自然放射線のガンマ線と地盤に含まれる自然放射性核種の分布／ソイルアンドロックエンジニアリング［正］鈴木 聡彦・吉村 貢・渡邊 保貴
CS13-003　RIコーンプローブを利用した自然放射線測定技術の活用／ソイルアンドロックエンジニアリング［正］後藤 政昭・小山 博司・石井 正紀
CS13-004　低膨潤型ベントナイト砕石(NB工法)に関する一考察／NB研究所［正］成島 誠一・氏家 伸介・藤原 照幸
CS13-005　堆積軟岩を母材としたベントナイト混合土の透水性への影響評価に関する一考察／大成建設［正］磯 さち恵・森川 義人・石塚 光
CS13-006　大年寺層泥岩を用いたベントナイト混合土の透水係数／清水建設［正］中島 均・齋藤 亮・浅田 素之
CS13-007　21世紀の原子力土木における「廃炉地盤工学」の構築と廃炉プロセスへの提言／早稲田大学［正］小峯 秀雄・後藤 茂・東畑 郁生

■放射性廃棄物の処分技術(3)／15:20～16:40／森川 誠司（鹿島建設）
CS13-014　低レベル放射性廃棄物処分施設における難透水性覆土の品質評価方法に関する検討(その1)―覆土の平均的な透水係数の評価目的とその方法について―／鹿島建設［F］森川 誠司・矢込 吉則・工藤 淳
CS13-015　低レベル放射性廃棄物処分施設における難透水性覆土の品質評価方法に関する検討(その2)―平均的な透水係数による品質評価方法の適用性の検討―／鹿島建設［正］並川 正・森川 誠司・工藤 淳
CS13-016　小型変水位透水試験におけるベントナイト混合土測定時の誤差要因(その1)―測定誤差の影響因子の抽出―／戸田建設［正］三浦 玄太・関口 高志・倉持 隼斗
CS13-017　小型変水位透水試験におけるベントナイト混合土測定時の誤差要因(その2)―測定誤差の要因の検討―／早稲田大学［学］倉持 隼斗・小峯 秀雄・三浦 玄太
CS13-018　低レベル放射性廃棄物処分施設における難透水性覆土の施工の高度化の検討／安藤ハザマ［正］山田 淳夫・永井 裕之・千々松 正和
CS13-019　ベントナイト混合土の吹付け施工の効率化に関する検討／安藤・間［正］千々松 正和・山田 淳夫・永井 裕之

■放射性廃棄物の処分技術(4)／17:00～18:20／森川 義人（大成建設）
CS13-020　高品質な低透水バリア構築に向けたベントナイト混合土施工法の開発(1)―混合土の製造方法―／大林組［正］松田 武・山本 修一・木村 志照
CS13-021　高品質な低透水バリア構築に向けたベントナイト混合土施工法の開発(2)―敷きならし・締固め施工―／大林組［正］山本 修一・松田 武・木村 志照
CS13-022　Ca型ベントナイト混合土の長期状態設定における変形挙動と透水係数―伸びひずみ試験(長期状態、地震時状態)―／大成建設［正］森川 義人・木ノ村 幸士・磯 さち恵
CS13-023　コンクリート中鉄筋の腐食膨張率に関する研究／日本原燃［正］浪岡 翔吾・工藤 淳・枝松 良展
CS13-024　品質の異なるフライアッシュを使用したモルタルの材齢6年における諸特性／清水建設［正］矢ノ倉 ひろみ・杉橋 直行・高橋 圭一
CS13-025　グラウト施工した花崗岩とグラウト接合部の顕微鏡による詳細観察／大林組［正］鵜山 雅夫・人見 尚・弥富 洋介
CS13-026　グラウト施工した花崗岩とグラウト接合部のX線による非破壊詳細観察／大林組［正］人見 尚・鵜山 雅夫・弥富 洋介

CSの1会場(B棟B101教室)／9月8日(木)

■地下空間の多角的利用(1)／9:00～10:20／角川 順洋（東京電力）
CS4-001　国土強靭化に資する地下空間利用に関する調査(その1)―地域強靭化計画策定におけるリスク分析とハザードマップの活用について―／安藤ハザマ［正］笠 博義・中村 静也・藤川 富夫
CS4-002　国土強靭化に資する地下空間利用に関する調査(その2)／基礎地盤コンサルタンツ［正］吉川 猛・稲葉 薫・平野 孝行
CS4-003　大谷採石地下空間における安全性に着目した空間価値評価の試み／宇都宮大学［正］清木 隆文・斎藤 明秀・佐藤 大地
CS4-004　ILC北上候補サイト周辺において強震観測網KiK-netで得られた地震動の地表、地下比較／戸田建設［正］関根 一郎・吉岡 正和・佐貫 智行
CS4-005　長岡CO_2地中貯留プロジェクトにおけるCO_2トラッピング過程のシミュレーション／大成建設［正］山本 肇・中島 崇裕・薛 自求
CS4-006　CO_2地中貯留における貯留層内圧力上昇とその抑制方法／大成建設［正］藤田 クラウディア・平塚 裕介・山本 肇

■地下空間の多角的利用(2)／10:40～12:00／中山 学（神戸学院大学）
CS4-007　地下鉄を考慮した名古屋と大阪の大規模浸水の比較検討／中部大学［学］中島 勇介・村瀬 将隆・武田 誠
CS4-008　内水・外水氾濫時における大規模地下空間の浸水解析と被害額算定／パシフィックコンサルタンツ［学］濵口 舜・浪方 美佑・石垣 泰輔
CS4-009　水災害時の地下空間における車いす利用者の安全避難に関する研究／関西大学［正］川中 龍児・豊田 育布・石垣 泰輔
CS4-010　地下空間の浸水対策としての樹脂製止水板の有効性について／［正］有村 友孝・井上 貴央・浮島 徹
CS4-011　地下空間内の安全確保に役立つ人材育成のための調査事例(3)／神戸学院大学［F］中山 学

CSの1会場(B棟B101教室)／9月9日(金)

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(1)／9:00～10:20／宇野 昌利(清水建設)

CS7-001 コンクリートの塩害モニタリングに資する鉄筋腐食促進試験／日本工営［正］高地 透・中野 雅章・米田 大樹

CS7-002 RC梁供試体の鉄筋腐食促進試験における塩分浸透モニタリング／日本工営［正］末崎 将司・松山 公年・米田 大樹

CS7-003 RC梁の耐荷力と振動特性との相関検証／日本電気［正］木下 翔平・葛西 茂・中野 雅章

CS7-004 高速道路橋の維持管理におけるモニタリング技術の活用に関する検討／中日本高速道路［正］牧田 通・藤田 鉱治

CS7-005 IT技術を活用した市町村道の維持管理について／岐阜県建設研究センター［正］加藤 一郎・村上 茂之・梶井 浩晶

CS7-006 光センサシステムを活用した道路パトロールの提案／ダイヤコンサルタント［正］鏡原 聖史・永井 哲夫・小田 和広

CS7-007 斜張橋保護管の画像計測手法適用に関する基礎実験／三井住友建設［正］塩崎 正人・河村 圭・長谷川 達哉

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(3)／10:40～12:00／佐田 達典(日本大学)

CS7-015 UAVを用いたダム構造物調査手法の一例／エイト日本技術開発［正］仲村 賢人・黒田 修一・稲垣 謙司

CS7-016 画像分析を用いたリップラップ材劣化評価の一事例／エイト日本技術開発［正］黒田 修一・仲村 賢人・稲垣 謙司

CS7-017 骨材搬送ベルトコンベアにおける骨材粒径自動判定システムの開発／みずほ情報総研［正］松崎 和敏・佐野 碧・竹内 啓五

CS7-018 ITセンサを用いたグラウチング岩盤変位監視の事例紹介／建設技術研究所［正］野村 貢・松浦 努

CS7-019 LEDシンチレーションファイバーを用いた除去土壌の放射線量率計測試験／清水建設［正］浅田 素之・川口 正人・中尾 徳晶

CS7-020 打撃削孔における削孔振動波形解析による地質判定の研究／大成建設［正］近藤 高弘・片山 三郎・山上 順民

CS7-021 光ファイバーを用いた廃棄物処理場の漏水箇所検知に関する基礎実験／神戸大学［正］芥川 真一・深田 哲平

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(5)／15:20～16:40／松谷 治(アイペック)

CS7-029 橋梁の変位量計測へのサンプリングモアレ法の適用性検証／ネクスコ・エンジニアリング東北［正］早坂 洋平・成田 朋憲・李 志遠

CS7-030 モアレ法を利用した橋軸方向からの撮影による橋梁のたわみ計測法の開発／産業技術総合研究所［正］李 志遠・津田 浩・山田 金喜

CS7-031 構造部材の2方向載荷実験へのPC用位置センサデバイスの適用／名古屋工業大学［F］小畑 誠・三宅 駿介

CS7-032 加速度計による橋梁の変位推定の検証／日本航空電子工業［正］富岡 昭浩・玉田 和也

CS7-033 連続する高架橋群の遠隔非接触微動測定による固有振動数推定／トップライズ［正］佐藤 賢弥・上半 文昭・植木 淳平

CS7-034 無線MEMSセンサを利用した多点振動計測システムのRC部材への適用実験／愛媛大学［学］松本 愛・齊藤 中・高本 龍直

CS7-035 生体信号に基づく労働者安全管理に関する基礎的研究／飛島建設［正］松田 浩朗・松元 和伸・田頭 茂明

CSの2会場(B棟B102教室)／9月7日(水)

■放射性廃棄物の処分技術(2)／10:40～12:00／大山 将(鴻池組)

CS13-008 ポリイオンコンプレックスによる土砂の飛散抑制に関する試験／大林組［F］千野 裕之・八塩 晶子・大熊 史子

CS13-009 放射性セシウム含有土壌・砕石の洗浄処理に関する基礎的検討—事故後4年経過時の洗浄処理効果の確認—／鴻池組［正］大山 将・中島 卓夫・松生 隆司

CS13-010 各種吸着材におけるストロンチウムの吸着特性に関する研究／香川大学［学］柴田 慶一郎・吉田 秀典・松本 直通

CS13-011 汚染廃棄物保管用のコンクリート容器の耐久性実証試験／太平洋セメント［正］森 寛晃・橘 修・岩城 一郎

CS13-012 仮設焼却施設の放射性物質除染と放射線管理の事例／鹿島建設［正］小川 浩司・本間 徳人

CS13-013 福島県の富岡町における対策地域内廃棄物の処理実績／鹿島建設［正］疋田 哲也・射場 学・松原 武志

■道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(1)／15:20～16:40／久保 圭吾(宮地エンジニアリング)

CS11-001 RC床版上面の状態グルーピングアルゴリズムの適用事例／ニチレキ［正］永塚 竜也・小林 大・唐木 正史

CS11-002 電磁波レーダによるRC床版上面の状態評価に関する実験的検討／大日本コンサルタント［正］小林 大・田代 大樹・永塚 竜也

CS11-003 道路橋RC床版の衝撃荷重によるたわみ劣化に関する実験的研究／大日本コンサルタント［F］横山 広・佐藤 孝司・角間 恒

CS11-004 微破壊検査を用いた積雪寒冷地における鉄筋コンクリート床版内部のひび割れ調査／ティ・エス・プランニング［正］佐藤 智・佐藤 孝司・伊勢 貴浩

CS11-005 鋼板接着床版における滞水検出のためのガイド波法／東京工業大学［正］廣瀬 壮一・橘 肇・小原 稔生

CS11-006 鋼橋RC床版の下面剥離の点検・調査・診断に関する考察(その1)／西日本高速道路［正］田邊 功次・松井 隆行

CS11-007 鋼橋RC床版の下面剥離の点検・調査・診断に関する考察(その2)／西日本高速道路［正］松井 隆行・田邊 功次

■道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(2)／17:00～18:20／藤山 知加子(法政大学)

CS11-008 清洲橋バックルプレート床版の疲労耐久性の評価／東京都土木技術支援・人材育成センター［正］関口 幹夫・大石雅登

CS11-009 上面打替工法で補修した道路橋既設RC床版の疲労試験について／中日本高速道路［正］長谷 俊彦

CS11-010 格子鋼板筋を用いた道路橋床板の耐疲労性の評価／日本大学［正］阿部 忠・水口 和彦・吉岡 泰邦

CS11-011 突起リブを採用した鋼コンクリート合成床版(SCデッキ)の輪荷重走行試験／川田工業［正］佐々木 秀智・小笠原照夫・米田 達則

CS11-012 突起リブを採用した鋼コンクリート合成床版に対する熱弾性応力測定に基づく底鋼板下面の応力評価／神戸大学［学］山下 雄大・和泉 遊以・水野 浩

CS11-013 熱弾性応力測定法に基づくロビンソン型合成床版におけるスタッド疲労損傷評価の高精度化／滋賀県立大学［学］市橋 良・和泉 遊以・水野 浩

CS11-014 赤外線サーモグラフィ法に基づくスタッドの疲労き裂進展評価に関する実験的検討／神戸大学［正］塩澤 大輝・山下 雄大・阪上 隆英

CSの2会場(B棟B102教室)／9月8日(木)

■道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(3)／9:00～10:20／横山 広(大日本コンサルタント)

CS11-015 普通セメントに低収縮型早強性混和材を配合した鋼床版SFRC舗装における耐疲労性の評価／鹿島道路［正］一瀬八洋・阿部 忠・カワイ ユタカ

CS11-016 鋼床版上への適用を考慮した表面粗面型ハイブリッドコンクリート舗装の開発／鹿島道路［正］横田 慎也・遠藤 大樹・久利 良夫

CS11-017 道路橋から撤去した鋼板接着床版の水張り実験／駒井ハルテック［正］橘 肇・小原 稔生・古川 陽

CS11-018 RC床版下面増厚補強における付着界面の引張強度および一面せん断強度／新日鉄住金マテリアルズ［正］小森 篤也・阿部 忠・澤野 利章

CS11-019 薄層部におけるポリマーセメントモルタルの寸法安定性に関する検討／太平洋マテリアル［正］杉野 雄亮・佐竹 紳也・大久保 藤和

CS11-020 九年橋鉄筋コンクリート床版の劣化調査と材料試験／日本橋梁建設協会［正］川東 龍則・酒井 武志・久保 圭吾

CS11-021 九年橋鉄筋コンクリート床版の劣化過程の推定／日本橋梁建設協会［正］酒井 武志・川東 龍則・柿沼 努

■道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(4)／10:40～12:00／小関 裕二(大林道路)

CS11-022 普通セメントを用いたSFRC床版の輪荷重走行疲労実験における耐疲労性の評価／日本大学［学］伊藤 清志・阿部忠・深川 克彦

CS11-023 高浸透型防水材を塗布したRC床版の輪荷重走行試験結果／首都高速道路［正］蒲 和也・永田 佳文・前島 拓

CS11-024 VEHICLE MODEL CALIBRATION IN FREQUENCY DOMAIN USING MULTIPLE OBSERVABLES AND ITS APPLICATION TO IRI ESTIMATION／東京大学［学］趙 博宇・長山 智則

CS11-025 保全における床版防水システム施工の現状と課題／西日本高速道路［正］仁科 雅登・松井 隆行

CS11-026　自走式路面乾燥機を用いたコンクリート床板面の水分除去に関する一検討／鹿島道路［正］芳賀 潤一・田中 絵里・阿部 昌徳
CS11-027　床版上に設置される導水パイプに関する基礎試験／土木研究所 寒地土木研究所［正］角間 恒・佐藤 孝司・西 弘明

CSの2会場（B棟B102教室）／9月9日（金）

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性（2）／9:00～10:20／岡本 修（茨城工業高等専門学校）
CS7-008　GPS、QZSSおよびIMESを併用した工事車両の4次元トレーサビリティに関する基礎的実験／安藤ハザマ［正］黒台 昌弘・武石 学・澤 正樹
CS7-009　GNSSとIMESを用いた屋内外シームレス測位技術の検証／安藤ハザマ［正］武石 学・黒台 昌弘
CS7-010　光ファイバーセンサによる動的ひずみ分布データ処理方法の研究／鹿島建設［正］三浦 悟・今井 道男・松浦 聡
CS7-011　光ファイバを用いた杭構造物周辺の局所洗掘に対する経時変化計測／東洋建設［正］山野 貴司・藤原 隆一・田邊 彩佳
CS7-012　ヘテロコア光ファイバセンサによる橋梁支承部の変位・振動計測／コアシステムジャパン［正］佐々木 博幸・渡辺 一弘・奈良 一孝
CS7-013　地域防災を支援するIoT技術を活用した斜面モニタリング手法とその課題／防災科学技術研究所［正］酒井 直樹・大西 有三・石澤 友浩
CS7-014　ワイヤレスセンサネットワークによる斜面地盤の計測システムの開発と適用に関する基礎的研究／長崎大学［正］杉本 知史・笹村 拓哉・石塚 洋一

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性（4）／10:40～12:00／高田 知典（PHM）
CS7-022　高速道路床版の交通荷重AE分析とコア採取による整合性検証／東芝［正］渡部 一雄・宮田 弘和・塩谷 智基
CS7-023　AE解析およびAEトモグラフィによるRC床版損傷度評価手法の確立に関する検討／京都大学［学］土橋 和也・塩谷 智基・西田 孝弘
CS7-024　RC床版の電磁波レーダー計測による定量的評価／東芝［正］高峯 英文・渡部 一雄・宮田 弘和
CS7-025　地方自治体におけるUAVの活用と課題／福山コンサルタント［正］齋藤 修・桑原 裕史
CS7-026　Accurate field survey by UAV and NDVI estimate for rice terrace／長崎大学［正］小川 進・大坪 俊太郎・Dan Tran Thanh
CS7-027　小型無人機（ドローン）を用いた橋梁点検手法に関する基本的研究／埼玉大学［学］春田 大二郎・党 紀
CS7-028　UAVを用いた河川の状態監視および運用／地圏総合コンサルタント［正］皆川 洋・郷家 康弘・千葉 孝寿

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性（6）／15:20～16:40／石間 計夫（ジェイアール東日本コンサルタンツ）
CS7-036　輪荷重走行試験によるRC床版の疲労劣化に関するモニタリング技術の検討（その1）試験の概要とリファレンス計測による損傷程度の評価／鹿島建設［正］古市 耕輔・新井 崇裕・岩井 稔
CS7-037　輪荷重走行試験によるRC床版の疲労劣化に関するモニタリング技術の検討（その2）低周波3軸加速度センサによるRC床版の疲労損傷解析／能美防災［正］遠藤 義英・皆川 翔輝・山本 康弘
CS7-038　輪荷重走行試験によるRC床版の疲労劣化に関するモニタリング技術の検討（その3）実験モード解析法による疲労損傷評価／日本電気［正］葛西 茂・木下 翔平・小原 孝之
CS7-039　輪荷重走行試験によるRC床版の疲労劣化に関するモニタリング技術の検討（その4）光ファイバーセンサによるひび割れ検知／鹿島建設［正］今井 道男・新井 崇裕・岩井 稔
CS7-040　輪荷重走行試験によるRC床版の疲労劣化に関するモニタリング技術の検討（その5）アコースティックエミッション法による疲労損傷の評価／鹿島建設［正］新井 崇裕・岩井 稔・古市 耕輔
CS7-041　3Dスキャナを用いた鋼板の3次元座標データの収集／和歌山工業高等専門学校［学］中島 輝生・山田 宰・酒造 敏廣

CSの3会場（B棟B103教室）／9月7日（水）

■土木教育一般（1）／10:40～12:00／皆川 浩（東北大学）
CS1-001　測量技術を用いた田んぼアートによる地域貢献／松江工業高等専門学校［正］表 真也・安食 正太・福田 恭司
CS1-002　MMSを利用した防災教育用簡易浸水シミュレータについて／和歌山工業高等専門学校［正］辻原 治・小竹 亨・伊藤 秀幸
CS1-003　「水理学」教育におけるグループ学習とその効果―初学者を対象として―／北海道大学［正］田中 岳
CS1-004　鉄筋コンクリートに関する模型製作授業の実施／苫小牧工業高等専門学校［正］土門 寛幸・廣川 一巳・渡辺 暁央
CS1-005　構造系教育におけるWEBシステムの活用例／北見工業大学［正］齊藤 剛彦・三上 修一・崔 希燮
CS1-006　アクティブ・ラーニングを基軸とした橋梁メンテナンス技術者育成カリキュラムの開発／舞鶴工業高等専門学校［正］玉田 和也・田村 隆弘・嶋田 知子
CS1-007　産官学連携によるグループ・プラニング演習の効果と課題／芝浦工業大学［正］岩倉 成志

■土木教育一般（2）／15:20～16:40／岩倉 成志（芝浦工業大学）
CS1-008　分野横断型教育としての鉄軌条振動調査の試み／苫小牧工業高等専門学校［正］渡辺 暁央・三河 佳紀・小野 真嗣
CS1-009　モバイルマッピングシステムを用いた災害図上訓練用教材の開発に関する基礎的研究／和歌山工業高等専門学校［学］山口 恭平・伊藤 秀幸・辻原 治
CS1-010　2015年度継続教育実施委員会活動の報告／大成建設［F］尾高 義夫・竹村 次朗
CS1-011　社会人および大学院生を対象とした危機管理人材養成プログラムの実践―四国防災・危機管理特別プログラム―／徳島大学環境防災研究センター［正］三上 卓・白木 渡・中野 晋
CS1-012　京都府北部地域におけるインフラマネジメントとインフラ管理人材の育成に関する研究／舞鶴工業高等専門学校［正］加登 文学・玉田 和也・嶋田 知子
CS1-013　土木構造物点検診断技術者資格認定制度の改訂及び継続的な改善について／阪神高速道路技術センター［正］安藤 高士・下地 勝哲・久利 良夫

■土木教育一般（3）／17:00～18:20／山田 久美（東急電鉄）
CS1-014　周南市3地区における児童・生徒への交通安全教育を通じた通学路の危険意識、行動意向の変化／徳山工業高等専門学校［正］目山 直樹
CS1-015　建設科における出前授業について／神奈川県立磯子工業高等学校［正］山下 敦
CS1-016　『土木』のイメージ改善のための教育効果の検証／芝浦工業大学［正］伊代田 岳史
CS1-017　社会基盤分野の中核的専門人材養成プログラム開発プロジェクト～全国版モデルカリキュラムへの発展と地域版学び直し実証講座等～／東京工科大学・日本工学院［正］伊藤 武志・広瀬 幸男
CS1-018　クリエイティブ都市と人的資源に関する先行研究の展開と課題／［学］内山 詩央里・岩倉 成志
CS1-019　土木工学専攻の理数系留学生の受け入れに関する課題の検討／宇都宮大学［正］松本 美紀
CS1-020　グローバル技術者育成のための国際交流を用いた技術者教育の事例報告／苫小牧工業高等専門学校［正］松尾 優子・金田 祐樹・松田 奏保

CSの3会場（B棟B103教室）／9月8日（木）

■複合構造物（2）／9:00～10:20／大久保 宣人（東京鐵骨橋梁）
CS3-007　フーチング―タワー直接接合形式風車の振動特性分析と基礎破壊形態の推定／法政大学［学］下舘 啓人・藤山 知加子・子田 康弘
CS3-008　二次元振動台を用いた風車基礎接合部疲労実験／法政大学［学］植田 祐司・藤山 知加子・子田 康弘
CS3-009　実際の鉄道橋に使用する合成床版に対する3次元FEM解析に関する研究／前橋工科大学［学］DOAN NHUNGOC・谷口 望・藤原 良憲
CS3-010　老朽化した単純鋼桁橋のPRB化に関する基礎的研究／フジエンジニアリング［正］今川 雄亮・中原 正人・根上 仁
CS3-011　複合形式のPRBにおける斜角の影響に関する研究／千代田コンサルタント［正］田中 新・今川 雄亮・岩崎 信正
CS3-012　鋼箱桁橋支承部への角形CFT補剛材の適用の検討／［学］下津 隆介・鬼頭 宏明・角掛 久雄
CS3-013　合成梁の力学性状に及ぼすスタッドの配置間隔の影響に関する実験的研究／宇都宮大学［学］菅原 健太郎・中島 章典・Nguyen MinhHai

■複合構造物（3）／10:40～12:00／葛西 昭（熊本大学）
CS3-014　孔あき鋼板を補強材に用いた梁部材のひび割れ幅に関する

一考察／鹿島建設［正］末長 清也・玉野 慶吾・平 陽兵
CS3-015 斜角を持つSRC桁に対する支承条件の影響に関する研究／［学］目黒 綾乃・池田 学・笹田 航平
CS3-016 SRC部材の破壊メカニズムの検討のための基礎的検討／北武コンサルタント［正］阿部 淳一・渡邊 忠朋
CS3-017 鋼鉄道橋合成桁におけるコンパクト断面の適用に関する検討／トーニチコンサルタント［正］久保 武明・谷口 望・藤原 良憲
CS3-018 プレビーム合成桁の分割工法ブロック端部のひび割れ原因と対策に関する研究／川田工業［正］藤林 博明・水野 浩・松井 繁之
CS3-019 鋼材の拘束作用を考慮したプレビーム合成桁の乾燥収縮に関する検討結果／川田工業［正］野呂 直樹・藤林 博明・小川 利之
CS3-020 下路鉄骨鉄筋コンクリート連続桁における収縮およびクリープひずみの経時変化／鉄道総合技術研究所［正］笹田 航平・猪股 貴憲・池田 学

CSの3会場（B棟B103教室）／9月9日（金）

■複合構造物（4）／9:00～10:20／牧 剛史（埼玉大学）

CS3-021 合成床版を有する合成桁橋の乾燥収縮挙動に関する解析的研究／大阪工業大学［学］平松 唯・柳尾 隆志・山本 将士
CS3-022 スタッドヘッドが鋼コンクリート合成版のせん断破壊に及ぼす影響／北海道大学［学］梶原 脩・伊藤 翼・古内 仁
CS3-023 外部拘束を受けるコンクリートはり部材の耐荷機構／大阪市立大学［学］松本 涼・村西 俊樹・鬼頭 宏明
CS3-024 鋼製橋脚の複合構造化による耐震補修補強方法に関するFEM解析／前橋工科大学［学］陳 晨・谷口 望
CS3-025 Iビーム支点部疲労き裂に対するコンクリート巻立て工法の効果の検証／鹿島建設［正］玉野 慶吾・小林 裕介・福本 守
CS3-026 Iビーム支点部疲労き裂に対するコンクリート巻立て工法の疲労耐久性の検討／鹿島建設［正］平 陽兵・小林 裕介・福本 守
CS3-027 コンクリート巻立て工法における隅角部ずれ止め配列／鉄道総合技術研究所［正］濱上 洋平・小林 裕介・平 陽兵

■複合構造物（5）／10:40～12:00／平 陽兵（鹿島建設）

CS3-028 性能照査型設計法に基づく鋼管ジベルの設計せん断耐力式の検討／片山ストラテック［正］山本 将士・中本 啓介・大久保 宣人
CS3-029 斜材張力をずれ止め鋼板に負担させる複合主塔定着構造の研究／三井住友建設［正］篠崎 裕生・有川 直貴・牧 剛史
CS3-030 非合成桁ずれ止めの車両荷重による水平せん断力振幅と疲労強度の比較検討／宇都宮大学［学］桑原 伸太郎・中島 章典・Nguyen MinhHai
CS3-031 外部拘束力作用下における頭付きスタッドのせん断耐力の検討／［学］星名 浩人
CS3-032 付着特性を考慮したリブ付鋼管継手の引抜性能に関する解析的研究／前橋工科大学［学］長 秀輝・岩田 裕太・岡野 素之
CS3-033 定着体を用いた高架橋の柱・杭接合部に関する研究／［学］NGUYEN VAN QUANG・谷口 望
CS3-034 高軸力下における鋼とコンクリートの接合面の付着及び摩擦に関する一考察／東日本旅客鉄道［正］田辺 詩織・吉田 一・井上 佳樹

■複合構造物（6）／15:20～16:40／溝江 慶久（川田工業）

CS3-035 並列配置または長手方向に複数配置した孔あき鋼板ジベルのせん断ずれ性状とせん断耐力に関する実験的研究／宇都宮大学［学］大野 将季・中島 章典・Nguyen MinhHai
CS3-036 モルタルを用いた孔あき鋼板ジベルのせん断耐力の一考察／宇都宮大学［正］Nguyen Minh Hai・中島 章典・蝦名 貴之
CS3-037 孔あき鋼板ジベルのせん断耐力のばらつきに関する研究／IHI［正］木作 友亮・保阪 拓実・藤山 知加子
CS3-038 繰返し載荷条件が孔あき鋼板ジベルのせん断耐力に与える影響に関する基礎的考察／愛知工業大学［正］宗本 理・嶋口 儀之・鈴木 森晶
CS3-039 セグメントとRC躯体接合部を想定したフランジを有する孔あき鋼板ジベルの実大引張せん断実験／清水建設［正］仲山 賢司・武藤 圭祐・副島 直史
CS3-040 シートパイル基礎の鋼矢板とコンクリートの接合部に関する一検討／北武コンサルタント［正］京田 英宏・西岡 英俊・佐名川 太亮
CS3-041 プレキャストPC床版同士の新たな接合方法の開発／［正］蝦名 貴之・上平 謙二・HAI NGUYEN MINH

CSの4会場（B棟B104教室）／9月7日（水）

■計算力学（1）／9:00～10:20／岡澤 重信（山梨大学）

CS8-001 せん断抵抗特性の違いからみた亜弾性に用いる応力速度の選択／東北大学［学］藤本 真明・岩熊 哲夫・斉木 功
CS8-002 熱可塑性樹脂およびゴムを用いた緩衝材のエネルギー吸収性能評価／東北大学［学］岸 正泰・松原 成志朗・村松 眞由
CS8-003 結合力モデルを導入した共回転有限要素法による大変位・大回転破壊解析手法／東北大学［学］鈴木 峻・寺田 賢二郎・森口 周二
CS8-004 乾燥亀裂形成過程の数理モデルと数値解析／慶應義塾大学［学］廣部 紗也子・小國 健二
CS8-005 複合材料のき裂進展挙動における材料パラメータの影響／木更津工業高等専門学校［正］石井 建樹・川口 勇一郎
CS8-006 幾何学的非線形性を考慮した鉄筋コンクリートはりの3次元破壊シミュレーション／茨城大学［学］相馬 悠人・阿部 俊逸・車谷 麻緒
CS8-007 NURBSによる3次元物体形状作成の試み／日本大学［学］齋藤 良平・野村 卓史・長谷部 寛

■計算力学（2）／10:40～12:00／加藤 準治（東北大学）

CS8-008 2次元波動伝搬問題に対する演算子積分時間領域アイソジオメトリック境界要素法／群馬大学［学］市川 諒・吉原 央・斎藤 隆泰
CS8-009 材料表面のき裂による分調波発生現象の2次元数値シミュレーション／東京理科大学［正］丸山 泰蔵・斎藤 隆泰・廣瀬 壮一
CS8-010 欠陥を等間隔に配置した周期層の波動透過解析／新潟大学［学］筧 拓哉・阿部 和久・紅露 一寛
CS8-011 防振杭の有限要素表面波透過解析／新潟大学［学］山谷 啓晃・阿部 和久・紅露 一寛
CS8-012 等方弾性体と異方性飽和多孔質弾性体の界面における弾性波の反射・屈折／東京工業大学［正］古川 陽・斎藤 隆泰・廣瀬 壮一
CS8-013 電磁波の反射特性を利用した坑道周辺の誘電率分布の推定／東京工業大学［学］高木 勘多・古川 陽・廣瀬 壮一
CS8-014 CFRPを伝搬する超音波のモデル化と可視化実験による検証／愛媛大学［学］溝上 尚弥・小畠 一朗・中畑 和之

■計算力学（3）／15:20～16:40／長谷部 寛（日本大学）

CS8-015 スマートフォンを用いたマーカーレスAR技術に基づく環境流れ問題可視化システムの構築／中央大学［学］菅田 大輔・樫山 和男・宮地 英生
CS8-016 2DマーカーレスARを用いた水環境流れ問題のための可視化手法／中央大学［学］花立 麻衣子・菅田 大輔・樫山 和男
CS8-017 時間領域DG-FEMに基づく騒音伝播解析手法の構築／中央大学［学］中村 和寛・樫山 和男・志村 正幸
CS8-018 堤防の洗掘崩壊シミュレーションに向けたSPH-DEMカップリング法による固液混相流解析手法の開発／九州大学［学］原崎 健輔・浅井 光輝
CS8-019 不確実性を考慮した漂流物の衝突力に関する数値解析的検討／東北大学［学］小谷 拓磨・高瀬 慎介・森口 周二
CS8-020 粒子法による大型浮遊物衝突を考慮した津波避難ビルの安全性評価／九州大学［学］鍋倉 昌博・浅井 光輝
CS8-021 都市における火災シミュレーション手法の構築／中央大学［学］川口 泰斗・樫山 和男

■計算力学（4）／17:00～18:20／車谷 麻緒（茨城大学）

CS8-022 土木の工学シミュレーションにおけるV&Vの重要性と課題／清水建設［正］櫻井 英行・桐山 貴俊・渦岡 良介
CS8-023 CFRC製インバート工の最適設計に対する数理的手法の適用性評価／東北大学［学］稲葉 紅子・加藤 準治・京谷 孝史
CS8-024 単調載荷時のバラスト道床の弾塑性有限要素解析結果におけるバラスト材のYoung率の空間変動の影響／新潟大学［学］井口 建斗・紅露 一寛・阿部 和久
CS8-025 斜面の安定解析における粒子法と極限平衡法の比較／防衛大学校［正］野々山 栄人・宮田 喜壽
CS8-026 鉄道車両と地上設備の簡易な接触モデルの提案／鉄道総合技術研究所［正］後藤 恵一・曽我部 正道・渡辺 勉
CS8-027 トポロジー最適化を用いた材料微視構造の靭性最大化／東北大学［学］小川 竣・干場 大也・加藤 準治
CS8-028 微地形情報を考慮した安定化有限要素法による雪崩解析／東北大学［学］山口 裕矢・高瀬 慎介・森口 周二

CSの4会場(B棟B104教室) ／9月8日(木)

■ダイバーシティ&インクルージョン(1) ／9:00～10:20／保田 祐司(鹿島建設)

CS9-001 (公社)地盤工学会における男女共同参画・ダイバーシティ推進／応用地質［正］工藤 里絵・田中 真弓
CS9-002 ダイバーシティ&インクルージョンに向けて―ダイバーシティ推進委員会第6期活動報告―／建設技術研究所［正］米山 賢・山田 菊子
CS9-003 女性参画への土木分野の大学教育における取り組みと今後の課題／関東学院大学［正］中藤 誠二
CS9-004 数理的概念を用いた企業におけるダイバーシティ推進に関する考察／山梨大学［正］岡村 美好・木村 達司・瀬尾 弘美

■ダイバーシティ&インクルージョン(2) ／10:40～12:00／山田 菊子(東京工業大学)

CS9-005 建設業におけるダイバーシティ推進に向けた取り組み／大成建設［正］柏倉 志乃・鈴木 三馨・勝田 つかさ
CS9-006 女性技術者の活躍推進にむけた取り組み／清水建設［正］宮岡 香苗・川原井 裕子・安達 昌史
CS9-007 建設現場における女性目線での職場環境整備／清水建設［正］伏見 みや子・福井 真二・西岡 真帆
CS9-008 ミャンマー連邦共和国と日本の建設業における女性活用の現状と意識調査／熊谷組［正］濱 慶子
CS9-009 ペルソナとシナリオ手法による建設コンサルタントのダイバーシティ推進策の検討／建設技術研究所［正］瀬尾 弘美・山田 菊子・石井 桂

CSの4会場(B棟B104教室) ／9月9日(金)

■新設および大規模改修時における橋梁計画(1) ／9:00～10:20／森山 彰(本州四国連絡高速道路)

CS6-001 鋼橋の疲労亀裂調査の効率化に関する研究プロジェクト(その2) ／関西大学［正］坂野 昌弘
CS6-002 横桁下フランジ貫通構造に対するビード切削による予防保全対策／関西大学［学］吉田 直人・坂野 昌弘・小西 日出幸
CS6-003 Uリブ鋼床版のビード亀裂に対する下面補修／本州四国連絡高速道路［正］金澤 高宏・溝上 善昭・森下 元晴
CS6-004 対傾構取付け垂直補剛材上端部の疲労対策に関する実験的検討／関西大学［学］坂本 千洋・岡田 康暉・坂野 昌弘
CS6-005 主桁と分配横桁・対傾構との交差部の疲労対策による応力低減効果の解析的評価／日建設計シビル［正］田辺 篤史・松本 理佐・小山 雅弘
CS6-006 応力頻度測定による分配横桁・対傾構取合い部の疲労対策効果の検証／日本工業試験所［正］一ノ瀬 ルイザ伯子・ICHINOSE LUIZA HIROKO・小山 雅弘

■新設および大規模改修時における橋梁計画(2) ／10:40～12:00／田辺 篤史(日建設計シビル)

CS6-007 Monitoring of expressway viaducts and comparative investigation of dynamic response variability／［学］Kuleli Muge・SU DI・Nagayama Tomonori
CS6-008 多径間長大エクストラドーズド橋の構造成立性について／三井住友建設［正］春日 昭夫
CS6-009 開口部を有する箱桁断面を用いた長大橋梁の耐風性に関する実験的研究／三井住友建設［正］永元 直樹・白土 博通・八木 知己
CS6-010 「橋梁計画」の実践／エイト日本技術開発［正］椛木 洋子
CS6-011 新しい構造形態による歩道橋計画の一提案／ドーコン［正］松田 達生・庄司 和晃・畑山 義人
CS6-012 高屋川橋(PC8径間連続箱桁橋)の橋梁計画／中央復建コンサルタンツ［正］丹羽 信弘・森 彩

■新設および大規模改修時における橋梁計画(3) ／15:20～16:40／野澤 伸一郎(東日本旅客鉄道)

CS6-013 耐震性能向上を目的としたロッキング橋脚の構造変更について／西日本高速道路［正］浅野 貴弘・中岡 仁志・垣内 憲夫
CS6-014 阪神高速道路の大規模更新事業の取り組み／阪神高速道路［正］高田 佳彦・河野 康史・森田 卓夫
CS6-015 阪神高速15号堺線付近における鋼製フーチング調査報告／阪神高速道路［正］森田 卓夫・高田 佳彦
CS6-016 橋梁保全・耐震補強に向けた新たな支承機能の開発／エイト日本技術開発［正］廣瀬 彰則
CS6-017 超高耐久橋梁実証橋の施工と実橋載荷実験／西日本高速道路［正］福田 雅人・緒方 辰男・永元 直樹
CS6-018 鉄道橋はなぜ長寿命なのか／土木研究センター［正］西川 和廣

CSの5会場(B棟B200教室) ／9月7日(水)

■International session国際セッション(3) ／9:00～10:20／党 紀(埼玉大学)

CS2-015 NUMERICAL INVESTIGATIONS ON DYNAMIC RESPONSES OF A HIGHWAY BRIDGE UNDER MOVING VEHICLES SUBJECT TO STRONG EARTHQUAKES／京都大学［学］Borjigin Sudanna・Kim Chul-Woo・Chang Kai-Chun
CS2-016 Real Time Image Processing Based Displacement Monitoring Methods Using Smart Devices／Saitama University［学］Shrestha Ashish・Dang Ji・Wang Xin
CS2-017 BEHAVIOUR OF SILICA SAND UNDER REPEATED LIQUEFACTION USING TRIAXIAL APPARATUS／The University of Tokyo［学］テパラクサ ジラット・Koseki Junichi
CS2-018 the comparison of direct and indirect local deformations of silica sand by image analysis in triaxial liquefaction tests／東京大学［学］ZHAO Chuang
CS2-019 Research on Countermeasures of Wind-induced Vehicle Overturning and Threshold-exceeding Wind Duration／京都大学［学］張 騰月・和田 光平・張 東明
CS2-020 Numerical Investigation of mechanism of corner-cut in rectangular bluff body from the view point of flow field／Yokohama National university［学］ホー ホアイ・勝地 弘・Kim Haeyoung

■International session国際セッション(4) ／10:40～12:00／佐藤 大作(東京電機大学)

CS2-021 A NUMERICAL CURVED FLUME TEST FOR DEBRIS FLOW VELOCITY ESTIMATION:JUSTIFICATION OF USING SUPER-ELEVATION／横浜国立大学［学］ラーマン アフタブル・Konagai Kazuo
CS2-022 Development of nitrogen removal system for freshwater breeding in aquarium／長岡技術科学大学［学］ABU BAKAR NUR ADLIN BINTI・ABU BAKAR NUR ADLIN BINTI・渡邉 高子
CS2-023 THE IMPORTANCE OF PHOTOSYNTHESIS IRRADIANCE (P-I) CURVE FOR ESTIMATING PRIMARY PRODUCTION BY PHYTOPLANKTON WITH RESPECT TO MIXED DEPTHS／埼玉大学［学］カンタジャヤツ・古里 栄一・Martienssen Marion
CS2-024 NUMERICAL INVESTIGATION ON ESTIMATING FLUID FORCE ON IMMERSED RECTANGULAR BEAM STRUCTURES WITH LOW GROUND CLEARANCE／Taisei Corporation［正］Manawasekara Chathura・Oda Yukinobu・Honda Takahide
CS2-025 A STUDY OF BRIDGE WASH-OUT SIMULATION DURING TSUNAMI BY USING THE SMOOTHED PARTICLE HYDRODYNAMICS (SPH) METHOD／九州大学［学］Chandra Bodhinanda・浅井 光輝
CS2-026 TREATMENT OF ANTIBIOTICS BY BIO-FENTON PROCESS IN DIATOMS／WASEDA UNIVERSITY, DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL ENG［学］バダッケパリヤラス ランジュシャ・榊原 豊

■複合構造物(1) ／15:20～16:40／西崎 到(土木研究所)

CS3-001 GFRP溝形材のせん断特性と評価方法に関する実験的検討／東京都［正］飯田 卓弥・石井 佑弥・中村 一史
CS3-002 トラス桁形式GFRP製橋梁用検査路の安全性・使用性と10m級スパンへの適用に関する研究／東日本高速道路［正］小泉 公佑・石井 佑弥・中村 一史
CS3-003 表面処理の異なるAFRP補剛材の付着性の検討／［学］渡部 洋平・柏 翔悟・大西 弘志
CS3-004 土木分野への熱可塑性FRP筋のニーズ調査と基礎的な耐久性評価／金沢工業大学［正］ホクラ アツシ・宮里 心一・土肥 一生
CS3-005 寒冷地施工を想定した接着系あと施工アンカーの性能確認試験／駒井ハルテック［正］平野 穂菜美・橘 肇・三輪 浩二
CS3-006 円管部材接着接合部の静的挙動に関する基礎的研究／名古屋大学［正］清水 優・甲斐 信博・三浦 洋康

■計算力学(5) ／17:00～18:20／田中 聖三(筑波大学)

CS8-029 安定化ISPH法を用いたケーソン式防波堤の浸透崩壊シミュレーション／九州大学［学］合田 哲朗・浅井 光輝
CS8-030 安定化有限要素法による湿度を伴う三次元立方体Cavity内自然対流解析／中央大学［学］田中 洋志・樫山 和男
CS8-031 DG有限要素法による浅水長波流れ解析における数値フ

ラックスに関する検討／中央大学［学］伊藤 翔・花澤 広貴・大川 博史
CS8-032 DG-FEMに基づく移動境界処理を考慮した長波浅水流れ解析／中央大学［学］花澤 広貴・伊藤 翔・大川 博史
CS8-033 Sliding Interfaceを適用した非適合メッシュによる移流拡散解析／日本大学［正］長谷部 寛・長井 耀太郎・野村 卓史
CS8-034 有限要素法による音の伝播解析における傾斜境界の取り扱い／日本大学［F］野村 卓史・栗城 祐太・長谷川 翔平
CS8-035 インピーダンス境界条件を考慮した境界要素法による3次元非定常音場解析／中央大学［学］高木 貴弘・吉川 仁・樫山 和男
CS8-036 VR技術を用いた体験型航空機騒音予測システムの構築／［学］石田 安理・樫山 和男・志村 正幸

CSの5会場（B棟B200教室）／9月8日（木）

■International session国際セッション（1）／9:00～10:20／小松 怜史（横浜国立大学）

CS2-001 Identification of Vehicle Parameters from Bridge Acceleration Data by Using Particle Filter／東京大学［学］wang haoqi・Nagayama Tomonori
CS2-002 LIVE LOAD RATING BY INCLINATION MEASUREMENT OF A STEEL BRIDGE INCORPORATING RELIABILITY ANALYSIS／University of Tokyo［学］EID Jonathan・Su Di
CS2-003 ANALYSIS OF A CABLE-STAYED BRIDGE UNDER EFFECT OF LATERAL STAY CABLE BREAKAGE／早稲田大学［学］ホアン フー・清宮 理・安 同祥
CS2-004 Simplified Fragility Evaluation Method of Soil-Structure Interaction for typical RC Bridge Piers／安藤・間［正］峰沢 ジョージヴゥルペ・浦野 和彦・西村 毅
CS2-005 AN ENERGY-BASED DAMPING EVALUATION FOR INTERPRETATION OF DAMPING INCREASE DUE TO DAMAGE IN AN EXISTING STEEL TRUSS BRIDGE／Saitama University［学］MUSTAFA SAMIM・Matsumoto Yasunao
CS2-006 Study on the Fatigue Damage Assessment of Concrete Bridge Deck by Developing a Type of Carbon Fiber Mortar Sensor／［正］徐 晨・高橋 秀侑・桝谷 浩
CS2-007 Numerical study on the extension of Augmented State Kalman Filter for profile estimation／東京大学［学］シヤガラジャン ジョシ サラバナン・長山 智則・趙 博宇

■International session国際セッション（2）／10:40～12:00／水谷 司（東京大学）

CS2-008 A FUNDAMENTAL STUDY ON THE DIAGNOSTIC MEASURE OF CONCRETE STRUCTURE USING HAMMERING SOUND TEST／九州大学［学］Srisomboonsakul Thanawadee・園田 佳巨
CS2-009 EXPERIMENTAL STUDY ON FATIGUE STRENGTH AND DEBONDING PROGRESS OF STEEL-TO-STEEL ADHESIVELY BONDED JOINTS／首都大学東京［学］タイ ウィサル・中村 一史・堀井 久一
CS2-010 EFFECT EVALUATION OF REPAIRING METHOD USING CFRP SHEET FOR STEEL GIRDER END／長岡技術科学大学［学］ゴンザレス ロドリゲス ジョナタン・宮下 剛・黒木 孝司
CS2-011 LOAD RATING ON CORROSIVE MEMBERS IN TWIN I-STEEL RAILWAY GIRDER／UNIVERSITY OF TOKYO［学］ベルマ アトウル クマル・Su Di
CS2-012 PROBABILISTIC DISTRIBUTION OF BUCKLING STRENGTH OF STIFFENED STEEL PLATES／埼玉大学［学］Mahmudur Rahman
CS2-013 Evaluation of Equation of Horizontal Applied Force by Wave Shapes／九州工業大学［学］ケイ シュンエン・幸左 賢二・佐藤 崇
CS2-014 Introduction of Eurocode 8: Design of structures for earthquake resistance／日建設計シビル［正］門前 敏典

CSの5会場（B棟B200教室）／9月9日（金）

■放射性廃棄物の処分技術（5）／9:00～10:20／渡邊 保貴（電力中央研究所）

CS13-027 微視的な構造の変化を考慮した締固めたベントナイトの一次元除荷・再載荷挙動のモデル化／電力中央研究所［F］田中 幸久・渡邊 保貴
CS13-028 温度が異なるベントナイトの湿潤過程の水分特性曲線／足利工業大学［正］西村 友良・古関 潤一
CS13-029 ベントナイト系材料の過圧密挙動及び繰返し挙動に対する弾塑性構成モデルの適応性／大林組［正］佐藤 伸・山本 修一・伊藤 浩二
CS13-030 締固め時の含水比に着目した微小変位制御によるベントナイトの膨潤特性試験／電力中央研究所［正］渡邊 保貴・田中 幸久
CS13-031 温度変化を考慮したベントナイト緩衝材の膨潤量の計測について／福島工業高等専門学校［学］佐藤 文啓・金澤 伸一・林 久資
CS13-032 温度変化を考慮したベントナイト一軸圧縮試験機の開発および基礎実験／福島工業高等専門学校［学］渡部 滉大・林 久資・金澤 伸一

■放射性廃棄物の処分技術（6）／10:40～12:00／岩谷 隆文（原子力環境整備促進・資金管理センター）

CS13-033 処分孔竪置き方式における緩衝材流出に関する検討（その1;研究計画）／原子力環境整備促進・資金管理センター［正］岩谷 隆文・朝野 英一・石井 智子
CS13-034 処分孔竪置き方式における緩衝材流出に関する検討（その2;室内試験での緩衝材流出試験）／鹿島建設［正］小林 一三・横山 聡・石井 智子
CS13-035 処分孔竪置き方式における緩衝材流出に関する検討（その3;幌延URLにおける原位置試験）／大成建設［正］小野 誠・城 まゆみ・中山 雅
CS13-036 処分孔竪置き方式における緩衝材流出に関する検討（その4;地下水流入に関する解析的検討）／鹿島建設［正］渥美 博行・石井 智子・中山 雅
CS13-037 パイピングによる緩衝材の流出現象を考慮した高レベル放射性廃棄物の廃棄体定置率の検討／原子力発電環境整備機構［正］後藤 考裕・鈴木 覚・窪田 茂
CS13-038 グリムゼル試験場FEBEXにおけるベントナイトの熱―水挙動の18年間モニタリング／Nagra［正］榊 利博・Kober Florian・Gaus Irina
CS13-039 高レベル放射性廃棄物の地層処分における緩衝材の再冠水挙動に関する解析的検討／西松建設［正］吉野 修・石山 宏二・金澤 伸一

■放射性廃棄物の処分技術（7）／15:20～16:40／古賀 和正（原子力環境整備促進・資金管理センター）

CS13-040 TRU廃棄物処分におけるガス移行連成挙動評価手法の開発（その1）―研究開発の全体概要―／原環センター［正］古賀 和正・大和田 仁
CS13-041 TRU廃棄物処分におけるガス移行連成挙動評価手法の開発（その2）―ガス移行評価シナリオの構築と根拠の拡充―／mcm japan［F］河村 秀紀・古賀 和正・大和田 仁
CS13-042 TRU廃棄物処分におけるガス移行連成挙動評価手法の開発（その3）―界面を有する圧縮飽和ベントナイト供試体のガス移行試験―／大林組［正］高橋 真一・古賀 和正・大和田 仁
CS13-043 TRU廃棄物処分におけるガス移行連成挙動評価手法の開発（その4）―ベントナイト・砂混合材料の不飽和圧密特性とそのモデル化―／大林組［正］志村 友行・山本 修一・古賀 和正
CS13-044 TRU処分坑道の人工バリア設計における長期力学挙動評価／鹿島建設［正］羽根 幸司・佐原 史浩・佐々木 敏幸
CS13-045 連設坑道における岩盤の長期力学挙動評価手法の検討／西松建設［正］真田 昌慶・石山 宏二・金澤 伸一
CS13-046 数値解析やクラックテンソルによる大深度立坑掘削時の力学的影響に関する検討／福島工業高等専門学校［学］坂本 美咲・林 久資・金澤 伸一

CSの6会場（B棟B201教室）／9月7日（水）

■International session国際セッション（7）／9:00～10:20／Goit Chandra Shekhar（埼玉大学）

CS2-041 Study on Estimation of Travel Speed using Probe Vehicle System and V2V―Verification based on Traffic MicroSimulation Model―／日本大学［学］青柳 達也・石坂 哲宏・福田 敦
CS2-042 Using Game Theory to Model the Interaction between the Airline and Customers after Aviation Accidents／東京工業大学［正］鈴木 美緒・Li Chen-Wei・屋井 鉄雄
CS2-043 WASHBOARD ROAD: DISPLACEMENT AMPLITUDE AND FREQUENCY OF SAND BED／［学］Srimahachota Teeranai

CS2-044　Trends of Public-Private Partnerships in Latin America and the Caribbean／［正］ハウスナー ダニエル・MIYAWAKI TAKUYA
CS2-045　NUMERICAL INVESTIGATION ON SHEAR BEHAVIOR OF RC BEAMS WITH LOCAL BOND DETERIORATION／名古屋大学［学］グエン コン ルエン・中村 光・山本 佳士
CS2-046　MODELING OF AXIALLY LOADED CFT USING MIXED 3D-RIGID BODY SPRING MODEL AND GEOMETRICALLY NONLINEAR SHELL／Nagoya University, Civil Engineering Department［学］Rdolfo Mendoza Jr・Rodolfo Mendoza Jr・山本 佳士
CS2-047　PROPOSAL OF LOCAL INDEX FOR DAMAGE EVALUATION OF RC BEAM FAILED IN SHEAR COMPRESSION MODE／Nagoya University［学］レムレム タテック イェネフン・Hikaru Nakamura・Yoshihito Yamamoto

■International session国際セッション(8)／10:40～12:00／Yao Luan（埼玉大学）
CS2-048　A comparison study of two ion-exchange resin mixed grouts:chloride absorption, strength and fresh properties／埼玉大学［学］Nguyen Thi Loan・Mutsuyoshi Hiroshi・Luan Yao
CS2-049　Effect of addition time of heat stimulated admixture on fresh and hardened properties of mortar／東海大学［学］Tahery Zabihollah・伊達 重之
CS2-050　Effect of Calcium Nitrate Based Accelerator and Steam Curing Temperature on the Compressive Strength of Mortar／東海大学［学］Malikyar Abdul Ahmad・須藤 裕司・中嶋 望
CS2-052　AUTONOMOUS CRACK HEALING PERFORMANCE IN CONCRETE MONITORED BY DIGITAL IMAGE CORRELATION AND ACOUSTIC EMISSION TECHNIQUES／京都大学［正］西田 孝弘・Huang Chien-wen・Shiotani Tomoki
CS2-053　EVALUATION OF AIR PERMEABILITY OF CONCRETE SURFACE USING THERMOGRAPHY／名古屋大学［学］Hasanyar Masihullah・中村 光・山本 佳士

■気候変動による影響への適応(1)／15:20～16:40／小林 健一郎（神戸大学）
CS5-001　超過洪水による上流側の氾濫を考慮した洪水頻度解析／京都大学［学］田中 智大・立川 康人・市川 温
CS5-002　大気再解析データと分布型水循環モデルを用いた多数年におよぶ河川流量データの擬似作成に関する研究／京都大学［正］萬 和明・黒崎 直哉・市川 温
CS5-003　RCM5を用いたゲリラ豪雨と大気不安定の将来変化に関する解析／［学］森元 啓太朗・中北 英一・峠 嘉哉
CS5-004　砂防ダムによる流木災害リスクの低減効果評価の試み／九州大学［学］富田 浩平・矢野 真一郎・土橋 将太
CS5-005　気候変動に伴う台風経路変化による高潮偏差の影響評価―第二室戸台風を用いた検討―／鳥取大学［正］澁谷 容子・中條 壮大・森 信人
CS5-006　気候変動を考慮した沿岸浸水に対する適応策の最適化検討／パシフィックコンサルタンツ［正］辻尾 大樹・Bates Paul

■気候変動による影響への適応(2)／17:00～18:20／矢野 真一郎（九州大学）
CS5-007　北海道におけるWinter Index（冬の厳しさ指数）の変動分析／北見工業大学［正］白川 龍生・千葉 一貴
CS5-008　気候変動下における堤防の強靭化策:2015.9.10関東・東北豪雨災害の経験から／茨城大学［F］安原 一哉
CS5-009　マルチ温暖化シナリオに基づいた平成25年台風18号の擬似温暖化実験／神戸大学［学］能登谷 拓・小林 健一郎・奥 勇一郎
CS5-010　礫河川に繁茂するオオカナダモの消長における出水攪乱規模と水温の変化の影響／名古屋大学［正］椿 涼太・河原 能久
CS5-011　阿寒湖におけるマリモ球状化に影響を与える風の将来予測／北見工業大学［学］佐野 史弥・中山 恵介・山田 俊郎
CS5-012　フィリピン国パンパンガ流域における渇水アセスメント／土木研究所［正］海野 仁・グシエフ マキシム・徳永 良雄

CSの6会場（B棟B201教室）／9月8日（木）

■International session国際セッション(5)／9:00～10:20／小山 倫史（関西大学）
CS2-027　SFRC Segment Lining in Singapore MRT T207 Project／Shimizu Corporation［正］SUTHIWARAPIRAK PEERAPONG・BAGAS John Eric
CS2-028　IG SHAKING TABLE TESTS ON ROCKING PHENOMENON OF SHALLOW FOUNDATION／University of Tokyo［学］Kariuki Catherine・Kariuki Catherine・Takaki Matsumaru
CS2-029　LOCAL MEASUREMENT OF THE PERMEABILITY OF SANDS USING PIN-TYPE SENSORS IN THE TRIAXIAL APPARATUS／The University of Tokyo, student［学］タン ティアン ジェイロード・古関 潤一・王 海龍
CS2-030　IMPROVEMENT OF CLAY AND SAND LAMINATE LAYERS BY PVD-VACUUM METHOD COMBINED WITH CEMENT GROUTING／東京大学［学］ニュエン レイ
CS2-031　EFFECT OF COMPACTION ON SEEPAGE FOR HOMOGENEOUS SMALL EARTHFILL DAM EMBANKMENT MODEL／九州大学［学］マンガラジャラリヤ・Mabojano Jalalya・安福 規之
CS2-032　PRELIMINARY STUDY ON THE ENVIRONMENTAL IMPLICATIONS OF STO. NINO DUMPSITE IN TACLOBAN, LEYTE, PHILIPPINES FROM THE SUPER TYPHOON HAIYAN AFTERMATH／Tokyo Institute of Technology［学］アブドゥラー ラジヴエルドン・竹村 次朗・Tanchuling Maria Antonia
CS2-033　USE OF LOCAL STRAIN MEASUREMENTS FOR RATIONAL EVALUATION OF LOADING RATE DEPENDENCY OF GYPSUM MIXED SAND／The University of Tokyo［学］マクスード ザイン・Koseki Junichi

■International session国際セッション(6)／10:40～12:00／菊本 統（横浜国立大学）
CS2-034　Undrained Shear Characteristics and Particle Breakage of Silica Sand at Low and High Pressures／山口大学［正］呉 楊・WU YANG・兵動 正幸
CS2-035　ACOUSTIC EMISSION RESPONSE DURING SHEAR BAND FORMATION IN TRIAXIAL COMPRESSION TEST ON SAND／The University of Tokyo［学］リンウェンリ・KOSEKI Junichi・MAO Wuwei
CS2-036　EFFECT OF DRYING PROCESS ON DEFORMATION BEHAVIOR IN MUDSTONE／Saitama University［学］AMUNUGAMA BIMALI・AMUNUGAMA BIMALI
CS2-037　AIR ENTRAPMENT IN SOIL WITH FINER MATERIAL OVERLAYING A COARSER MATERIAL／The University of Tokyo［学］Musenero Leah・桑野 玲子
CS2-038　Influence of top layer density on the actual evaporation rate and water storage through coarse overlying fine sand profiles／九州大学［学］アロウェイシー アデル・ALOWAISY ADEL・安福 規之
CS2-039　COMPARISION OF GEOTECHNICAL PROPERTIES OF AGGREGATED SAND, CEMENT TREATED SAND AND NATURAL SAND／The University of Tokyo［学］Digala Mudiyanselage Dayani Nadeesha Sanjeewani・桑野 玲子
CS2-040　EFFECT OF A WATER FLOW IN INTERNAL EROSION OF SOILS／The University of Tokyo［学］Santa Spitia Luisa Fernanda・桑野 玲子

CSの6会場（B棟B201教室）／9月9日（金）

■土木工学における諸資料および映像記録の収集、保存と利活用(1)／9:00～10:20／上岡 弘和（大成建設）
CS10-001　土木広報としての土木技術映像の上映／［正］桝山 清人・弓場 信夫
CS10-002　昭和14年秋田県男鹿地震における震災後貴重映像の発掘とその活用／東急建設［正］梅津 愛・渋沢 重彦・大野 春雄
CS10-003　土木学会図書館映像データベースの再構築と今後の課題／海技教育機構［正］瀧川 正一・高橋 広行
CS10-004　地下鉄銀座線の図面と大正期の都市高速鉄道網計画／東京地下鉄［正］平野 隆

CS10-005　鉄道省による戦前の航空写真測量の成果物／鉄道総合技術研究所［F］小野田 滋・野末 道子
CS10-006　土木学会出版物の大学図書館等における収蔵状況について／北海道教育大学［正］今 尚之

■土木工学における諸資料および映像記録の収集、保存と利活用(2)／10:40～12:00／原口 征人(北海道開発技術センター)

CS10-007　中小零細建設業における映像活用の有効性に関する研究／可児建設［正］舟橋 浩司・原 隆博・増田 和久
CS10-008　高架橋橋脚工事における映像を活用したCIMの有効性／可児建設［正］可児 憲生・田中 一弘・虫鹿 史郎
CS10-009　工事現場における映像CIMの利用に関する報告／トライポッドワークス［正］渋谷 義博・薄木 康史・相原 真士
CS10-010　映像を活用したリスクコミュニケーションの効果について／可児建設［正］可児 純子・可児 憲生・舟橋 浩司
CS10-011　点検記録の統計的解析による床版健全度判定の支援に向けた検討／日本電気［正］十河 泰弘・鈴木 正範・三上 伸弘

■放射性廃棄物の処分技術(8) ／15:20～16:40／森 拓雄(大林組)

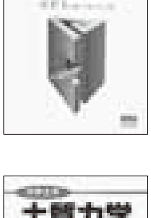
CS13-047　間隙水圧モニタリングシステム内での孔間弾性波トモグラフィ探査／原子力発電環境整備機構［正］吉村 公孝・西尾 光・近藤 浩文
CS13-048　沿岸域の地下水流動解析における定常・非定常解の比較検討／大成建設［正］八木 啓介・井尻 裕二・丸井 敦尚
CS13-049　地層処分場 地下施設の換気システムの成立性検討(その1 全体概要) ／原子力発電環境整備機構［正］窪田 茂・勝又 尚貴・野尻 慶介
CS13-050　地層処分場 地下施設の換気システムの成立性検討(その2 通気網解析) ／原子力発電環境整備機構［正］勝又 尚貴・野尻 慶介・窪田 茂
CS13-051　地層処分場 地下施設の換気システムの成立性検討(その3 温熱対策) ／清水建設［正］矢萩 良二・戸栗 智仁・勝又 尚貴
CS13-052　地層処分における止水プラグ設計の考え方／原子力発電環境整備機構［正］山本 陽一・窪田 茂・鈴木 覚
CS13-053　ベントナイト系人工バリア切削技術の開発(その2) ―ドライアイスブラストによるトレンチ掘削―／大林組［正］森 拓雄・土井 暁

実績と信頼で築いてきた大学土木系教科書

「大学土木」シリーズ

A5判
定価(本体2,800円+税)

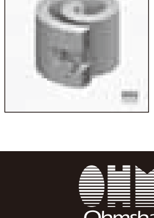
・基礎力を着実に定着できるように、理解しやすい表現を用いて解説。
・用語解説の拡充によりレポート、論文等で重要用語を正しく使うことができる。
・論理的な思考力を鍛えられるよう、項目や説明の展開を整理して記述。



大学土木
道路工学
改訂3版
稲垣竜興 編/中村俊行・
稲垣竜興・小梁川雅 共著
248頁 978-4-274-21787-6

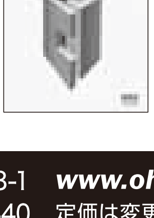
大学土木
水理学
改訂2版
玉井信行・有田正光 共編
浅枝 隆・有田正光・池谷 毅・
佐藤大作・玉井信行 共著
244頁 978-4-274-21673-2

大学土木
河川工学
改訂2版
玉井信行 編/浅枝 隆・
鈴木 篤・玉井信行・西川 肇・
安田 実・青山定敬・朝香智仁 共著
228頁 978-4-274-21653-4



大学土木
土質力学
改訂2版
安田 進・山田恭央・
片田敏行 共著
194頁 978-4-274-21643-5

大学土木
水環境工学
改訂3版
松尾友矩 編
田中修三・神子直之・
齋藤利晃・長岡 裕 共著
276頁 978-4-274-21525-4



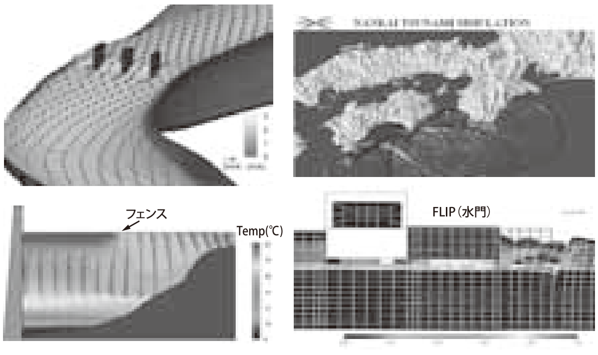
大学土木
鉄筋コンクリート工学 改訂3版
町田篤彦 編/町田篤彦・関 博・
丸山武彦・檜貝 勇・斉藤成彦 共著
244頁 978-4-274-21524-7

Ohmsha オーム社 | 〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
TEL 03(3233)0853 FAX 03(3233)3440
www.ohmsha.co.jp
定価は変更になる場合があります。

「確かな技術で未来を創る」

河川・砂防・ダム及び海岸の各事業分野において、専門技術を生かし、建設コンサルタント業界における**数値解析**と**土木システム構築・データ処理**の高品質な技術サービスを提供いたします。

解析技術サービス

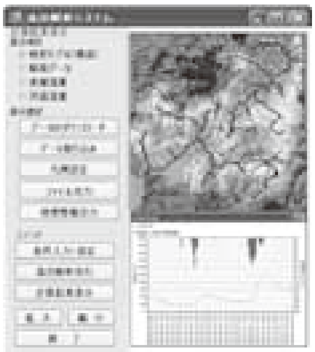


- 土砂水理解析 ●海岸水理解析 ●環境水理解析
- 氾濫・防災関連解析 ●下水道解析 ●水循環・地下水解析
- 耐震・地盤・構造解析 ●科学技術解析

情報技術サービス

お客様保有プログラムコードの解析・改修
・コードの構造化・API仕様作成
・並列化・高速化を実現

保有解析プログラム
単体テストの実施
コーディング規約を利用したスタイルの統一
構造化プログラミングの適用
API仕様自動作成
保守・拡張・信頼性向上



- 土木・防災情報システム ●解析プログラムのGUI構築
- 解析プログラムの高度化・並列化・高速化
- ビッグデータ解析

HYDROSOFT

株式会社 ハイドロソフト技術研究所

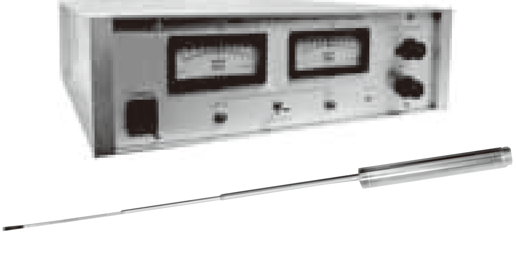
www.hydro-soft.co.jp

【技術に関するお問い合わせは、お電話・HPへお寄せください】 ハイドロソフト

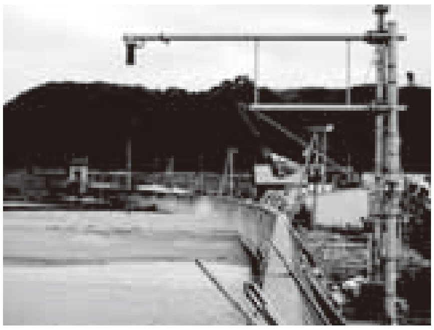
大阪本社
〒530-6126 大阪市北区中之島3−3−23 中之島ダイビル 26F
TEL：06-6479-3621 FAX：06-6479-3622

東京支社
〒105-6031 東京都港区虎ノ門4−3−1 城山トラストタワー 31F
TEL：03-6721-5507 FAX：03-6721-5506

波高計シリーズ



電磁流速計シリーズ



潮位観測装置

《営業品目》

プロペラ式流速計・電磁流速計・超音波式潮位計・波高計・濁度計・水位計製造販売

KENEK

株式会社ケネック

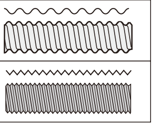
http://www.kenek-co.com
Email sales@kenek-co.com
TEL 042-544-1011

“建設の安全”と“省力化”のお役に立つ、建設用副資材専門メーカーです。Epoch - Making New Type

無溶接による鉄筋結束金具
場所打ち杭／鉄筋組立用

ゼスロック®
PAT.P

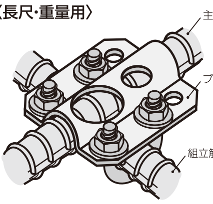
ゼスロックとは、鉄筋組立の“点溶接”に代わって、鉄筋を**ねじ**で組立結合する“無溶接（ゼロ溶接）”鉄筋結束金具のことです。

ねじ山の比較		
	ゼスナーねじ（円形ねじ）	
	メートルねじ	

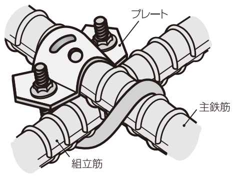
特　長

- ゼスロックのゼスナーねじ（ゼン技研製品）は、ねじ山が大きく円形なので、ねじ組立ての作業が、スピードアップします。
- ゼスナーねじの締付け力は、トルク管理を提案します。
- 主鉄筋と組立筋の結合金具は、・長尺・重量用の、4点ロック（US型）、・短尺・軽量用には、2点ロック（UL型）があり、各々の使い分けを提案します。
- 主鉄筋の重ね継手の結合金具（ML）は、上下鉄筋かごの重量を安全に支えるハチ巻きクサビロック（ねじ結合）です。

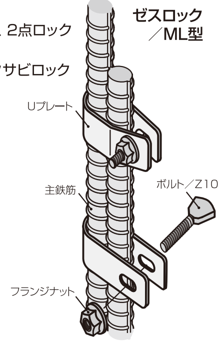
ゼスロック／US型（4点ロック）
〈長尺・重量用〉



ゼスロック／UL型（2点ロック）
〈短尺・軽量用〉



ゼスロック
／ML型



建設の安全と省力化・必ず役立つ
建設用副資材・金具

- **プロテックPコン** 塩害防止コーン・インサート
- プロテックPコンシリーズ **MCコン・ZCコン** NETIS登録番号 QS-110027-VE
- **テンバー** コンクリート床板の天端出し表示具 NETIS登録番号 KT-120062-VE
- **吊りカーン** つりだな足場のつりチェーン用アンカー金具
- **RCT−107** コンクリート専用壁つなぎ金具のアンカー

全国多数実績有

建設の安全と省力にアタック
ゼン技研株式会社

本　　社　〒818-0105 太宰府市都府楼南5−16−13
TEL (092)925-8161 FAX (092)925-3449
URL http://www.zen-g.co.jp/
東京営業所　〒108-0014 東京都港区芝5-26-30-3階
TEL (03)6435-3899 FAX (03)6435-3842

調査・計画・設計・施工事業分野

メンテナンス・防災事業分野

鉄道を基軸とした総合技術コンサルタンツとして
高い品質で鉄道分野での業務革新、技術革新に貢献し、
あらゆる分野で新たな可能性へ挑戦してまいります。

環境・緑化事業分野

ICT事業分野

新技術・新商品事業分野

ジェイアール東日本コンサルタンツ株式会社
JR East Consultants Company

〒171-0021 東京都豊島区西池袋一丁目11番1号メトロポリタンプラザ 18F
TEL 03-5396-7221　FAX 03-5949-2791
http://www.jrc.jregroup.ne.jp

自然との調和

私たちは先進技術で
自然と調和し美しい地球を創ることに貢献します

AsunaroAokı

青木あすなろ建設株式会社

代表取締役社長 上 野 康 信

〒 108-0014　東京都港区芝 4-8-2　　TEL 03-5419-1011（代表）

URL http://www.aaconst.co.jp

沿岸域の環境創造

五洋建設が培ってきた海洋土木技術は、
多岐にわたる沿岸域の再生と創造を可能にします

五洋建設
PENTA-OCEAN CONSTRUCTION

東京都文京区後楽2-2-8
www.penta-ocean.co.jp

Zenitaka

変わり続ける社会にあって、変わらない私たちの思い。
銭高組は、創業以来
「社会から認められ社会から求められる企業」として歴史を刻んできました。
次代に豊かな環境を残すため、新たな価値を創り続けます。

Since 1705

銭 高 組
URL http://www. zenitaka. co. jp/

美しい時代へ── 東急グループ

Town Value-up Management

タウン バリューアップ マネジメント

街 の 新 た な 価 値 創 造 を め ざ し て

私たち東急建設の原点は、多摩田園都市をはじめとする渋谷や東急沿線の街づくりです。私たちはこの原点に立ち、企画提案から新築、リニューアル、建て替えに至るまで、街のライフサイクルに末永く関わっていくことによって、建物ひとつひとつではなく、お客様や生活者の視点で“まち”全体を考え、常に新たな価値の創造に努めてまいります。

街並の美観向上
定住人口の増加
Town Value-up Management
来街者の増加
資産価値の向上

TOKYU CONSTRUCTION
東急建設株式会社
http://www.tokyu-cnst.co.jp/

Classembly Devices®
Interface Made in 日本
設計品質はそのままで超小型産業用パソコンを作りました。
Windows 7が快適に動作します。
SuperCD
Menu
製品名：SuperCD
価格：￥79,800~
価格：￥69,800~
詳細はこちら
製品の仕様、デザイン、価格については、予告なく変更する場合があります。
本広告に記載した会社名、商品名は、各会社の商標または登録商標です。
URL：www.interface.co.jp

マスコンクリートの3次元温度応力解析専用プログラム

目地検討も

らくらく温度応力

ASTEA MACS Ver.9

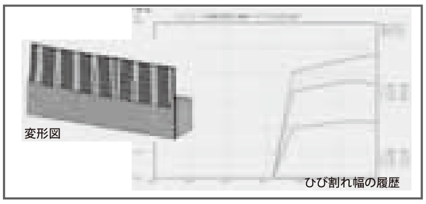
DXFデータインポート機能／ヒートパイプ解析機能

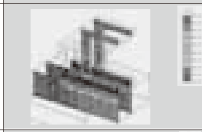
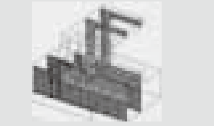
最強バージョンアップ　V9 新規リリース

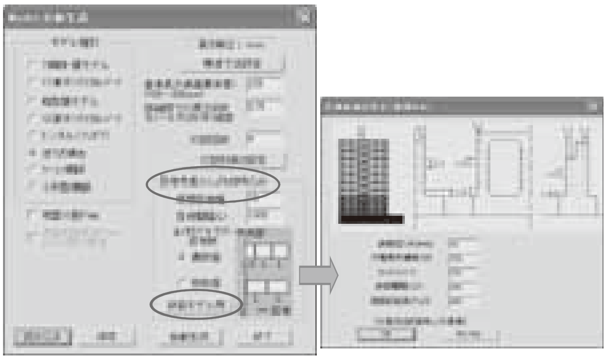
MACS スタンダード版

土木学会RC標準示方書 2012
JCIひび割れ制御指針2008
建築学会マスコン指針に準拠

マスコンクリートの温度応力検討専用に開発されたシステムで、土木学会標準示方書・建築学会マスコン指針に準拠しています。コンクリート打設に伴う境界条件の変化や水和発熱・養生条件などを考慮した３次元非定熱伝導計算と強度発現を伴う温度応力計算を一貫して行なうことが出来ます。プリ・ポスト機能を重視し、標準データベースのデフォルト設定など解析初心者にも優しい設計となっております。自動メッシュ機能と条件自動設定のできる定形パターン10タイプが自動作成できます。（CS 機能完全内蔵）



	パイプクーリングなし	パイプクーリングあり
経験最高温度		
経験最小ひび割れ指数		

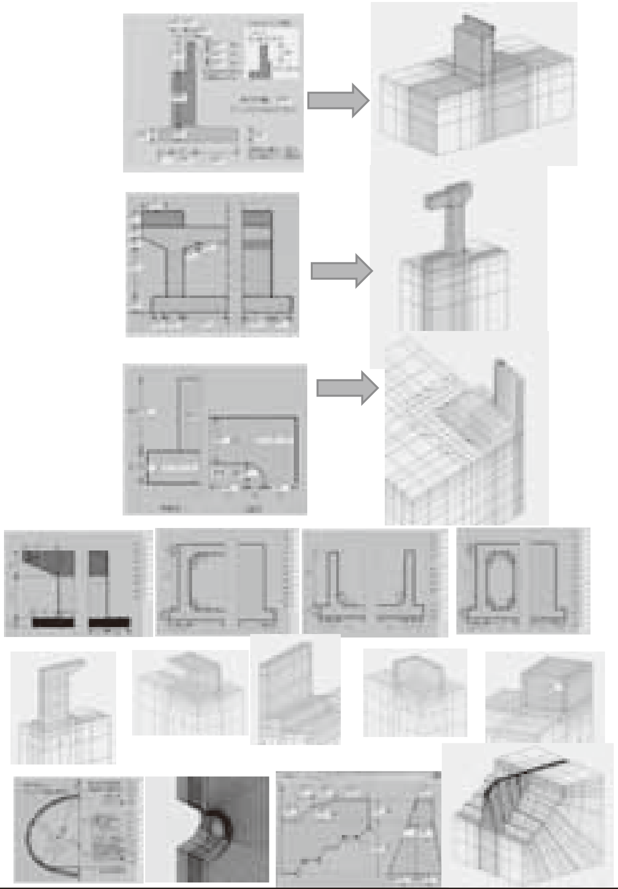


現場向けオートメッシュ搭載MACS

MACS CS Construction Site

現場の技術者が手軽に温度応力評価ができます。スタンダード版との互換性があるので、更に詳細な検討につなぐことが可能です。解析対象構造を限定し、主要な機能のみのコンパクト版です。メッシュ、物性データ、境界条件の自動設定により、作業時間を大幅に短縮できます。

サイズを入力すると自動的にメッシュが完成します。



ASTEA MACS for Windows　スタンダード版			MACS-CS
年間ライセンス	３ケ月ライセンス	１ケ月ライセンス	年間ライセンス
400,000円～	250,000円～	180,000円～	300,000円

上記はすべてサポート込の価格です。

Research Center of Computational Mechanics,Inc.
RCCM 株式会社 計算力学研究センター

〒142-0041　東京都品川区戸越1-7-1　戸越NIビル
TEL.03-3785-3033　FAX.03-3785-6066
E-mail:macs@rccm.co.jp　http://www.rccm.co.jp

学会 on the WEB

■オンラインソリューション例

学術研究機関をオンラインシステムでサポートします。

秋田活版印刷株式会社では、土木学会はじめ各学会・研究機関の論文集・講演集の編集印刷製本はもとより、オンライン投稿システム・査読システム等の提供により、研究者の時間というコスト、事務局の経費というコストの削減をお手伝いするとともに、リアルタイムでの管理システムを実現します。

セキュアな環境で提供するオンラインシステムは、投稿の負担軽減、管理の効率化はもちろんのこと、デジタルデータ収集により学会誌・論文集・講演集・予稿集等の刊行物やCD-ROM・DVD・WEBコンテンツと幅広い活用が出来ます。

URL http://www.kappan.co.jp/

Kappan

E-mail info@kappan.co.jp

■運用実績・事例はお問い合わせください

秋田活版印刷株式会社

〒011-0901 秋田県秋田市寺内三千刈110-1
TEL 018-888-3500 FAX 018-888-3505

安藤ハザマ

KUMAGAI 熊谷組

佐藤工業

TEKKEN 鉄建建設

飛島建設

西松建設

MAEDA 前田建設

【アイウエオ順】

// Advertisement
時をつくる　こころで創る

子どもたちが大人になっていくように、
街も健やかに育っていくと、
そこで暮らすみんなに幸せが広がります。

わたしたち大林組は、
親が子どもたちに愛情を注ぐように、
こころを込めて、建物や街をつくっています。

みんなの未来を、夢のある時間で満たすために。

www.obayashi.co.jp

OBAYASHI 大林組

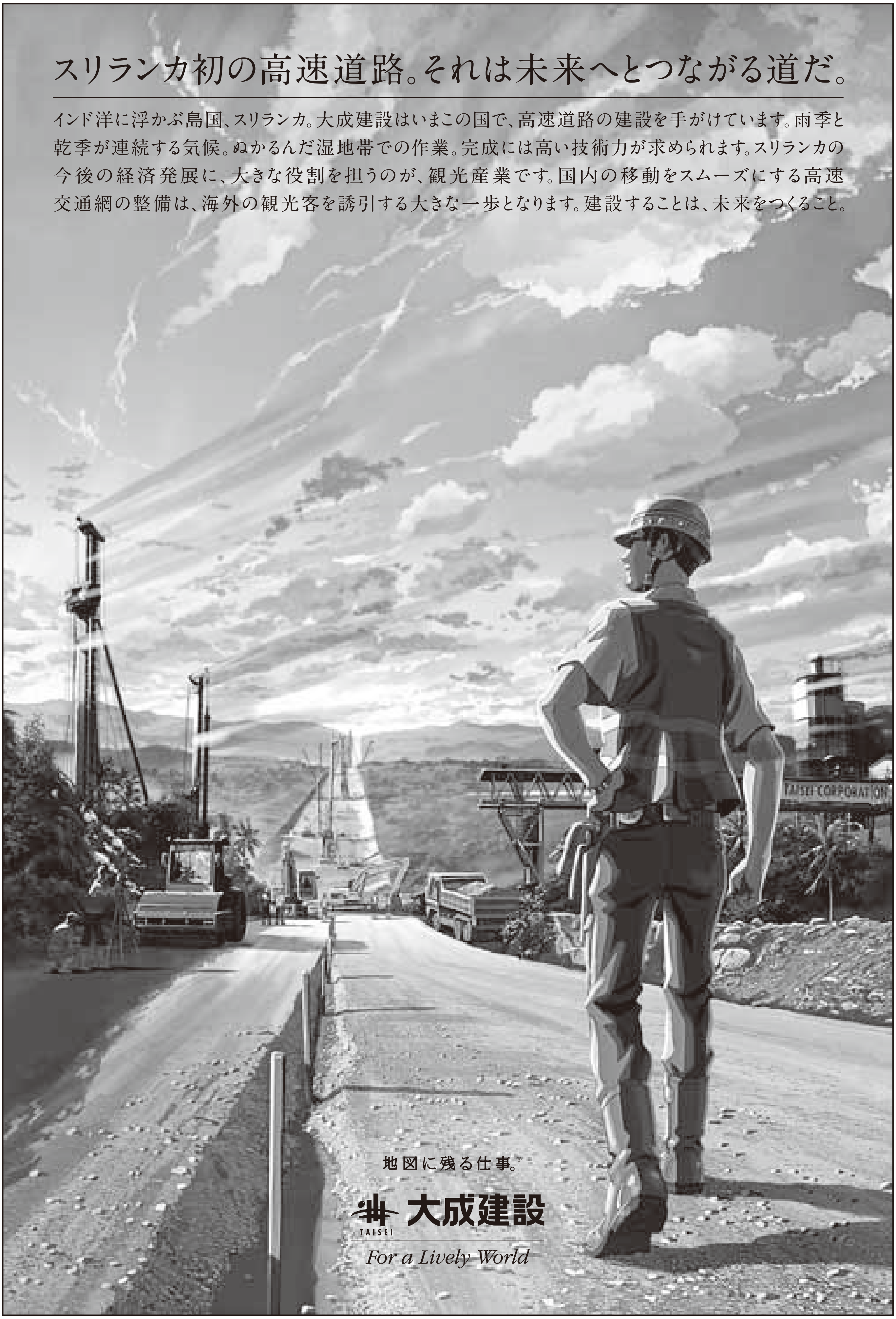
想像を、チカラに。

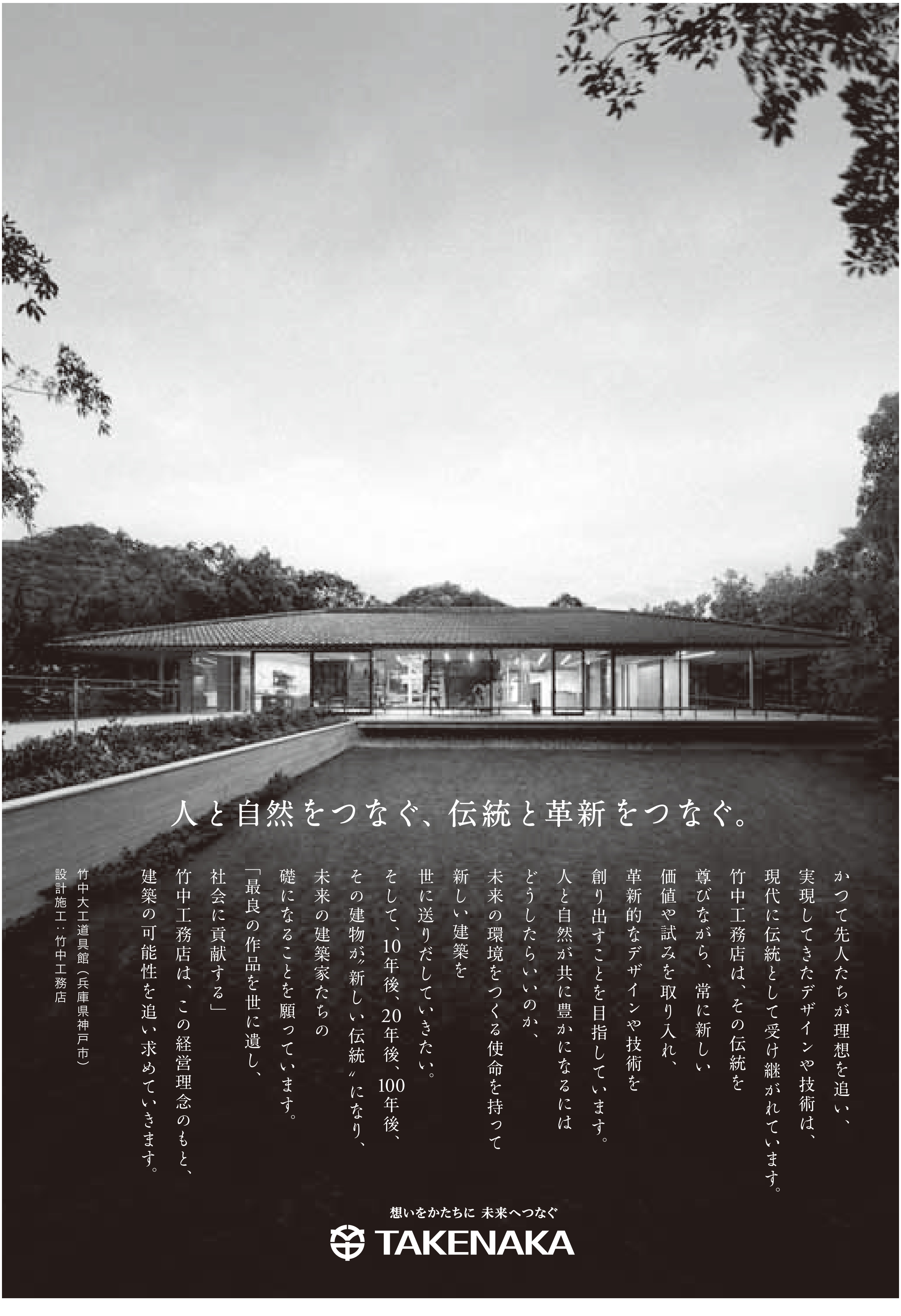
フランス人の小説家、ジュール・ヴェルヌが残したという言葉があります。「人が想像できることは、必ず人が実現できる」
100年以上も前に彼が空想したロケットや携帯電話が、世界の常識になっている今日。私たちは、「想像」の可能性を否定することはできません。
いま、私たちが建設するひとつひとつが、地球の上でどんな存在なのかが問われる時代。これから築かなければいけないのは、人と地球のいい関係です。100年先、200年先、ずっと先の未来まで。私たちは、想像します。たとえいま困難に思えることでも、やがて世界の常識になる日が来るために。

人が想像できることは、必ず人が実現できる。鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
鹿島

SHIMZ
子どもたちに
誇れるしごとを。
目を輝かせて何かに没頭していた
あの頃から、私たちの
ものづくりへの気持ちは変わりません。
ずっと思い描いてきた夢や情熱を、
建造物に込めて未来へ伝えていきます。
SHIMIZU CORPORATION
清水建設


スリランカ初の高速道路。それは未来へとつながる道だ。
インド洋に浮かぶ島国、スリランカ。大成建設はいまこの国で、高速道路の建設を手がけています。雨季と乾季が連続する気候。ぬかるんだ湿地帯での作業。完成には高い技術力が求められます。スリランカの今後の経済発展に、大きな役割を担うのが、観光産業です。国内の移動をスムーズにする高速交通網の整備は、海外の観光客を誘引する大きな一歩となります。建設することは、未来をつくること。
TAISEI CORPORATION
地図に残る仕事。
TAISEI
大成建設
For a Lively World


人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ。
かつて先人たちが理想を追い、
実現してきたデザインや技術は、
現代に伝統として受け継がれています。
竹中工務店は、その伝統を
尊びながら、常に新しい
価値や試みを取り入れ、
革新的なデザインや技術を
創り出すことを目指しています。
人と自然が共に豊かになるには
どうしたらいいのか、
未来の環境をつくる使命を持って
新しい建築を
世に送りだしていきたい。
そして、10年後、20年後、100年後、
その建物が〝新しい伝統〟になり、
未来の建築家たちの
礎になることを願っています。
「最良の作品を世に遺し、
社会に貢献する」
竹中工務店は、この経営理念のもと、
建築の可能性を追い求めていきます。
竹中大工道具館（兵庫県神戸市）
設計施工：竹中工務店
想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

この道の先に
NIPPO

地震によるアスファルト舗装の亀裂、段差を抑制する

地震対策型段差抑制工法

HRB工法

Hazard-Reducing Bed

地震直後の車両交通が可能

地震によるアスファルト舗装の崩壊を防止するとともに亀裂や段差の発生を抑制し、地震直後でも車両の通行を可能にします。

特長

短い工期と経済性

地盤改良等の地盤耐震対策工法と比較し、短期間で、安価に構築できます。

本復旧も容易

複合剛性層は簡単に撤去でき、本復旧も容易に行えます。

用途

大規模地震対策として

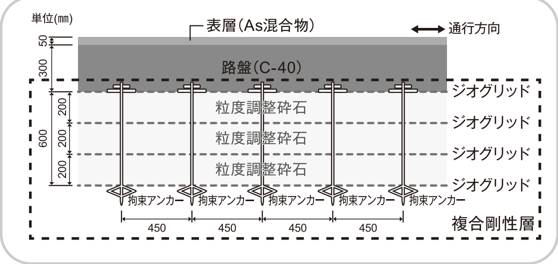
- 重要路線
- 緊急輸送道路
- 緊急車両基地
- 埋設構造物前後
- 構内道路

地震以外の用途として

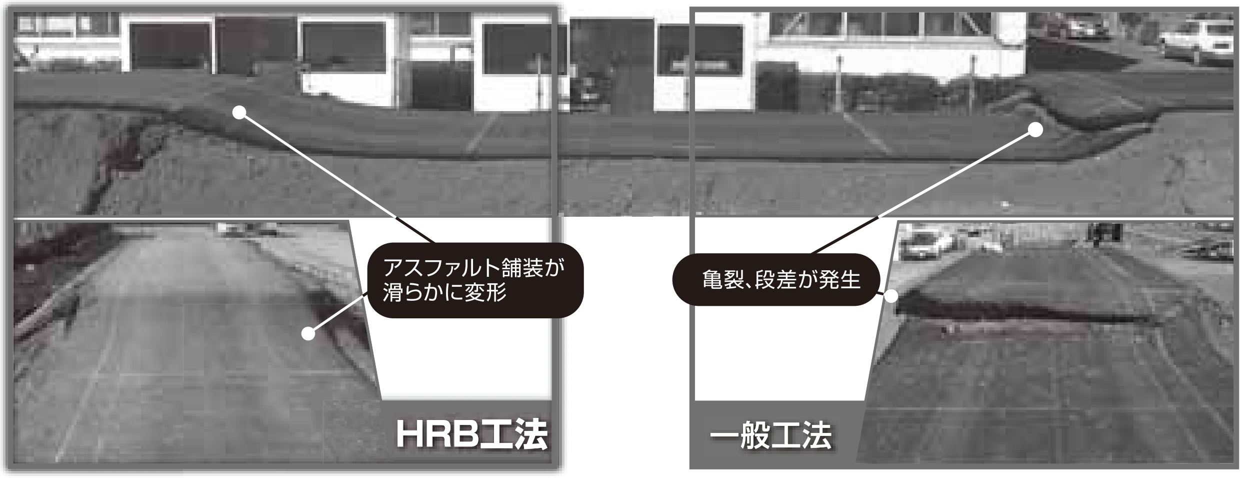
- 軟弱地盤上の道路高盛土
- 急速施工盛土上の道路

複合剛性層構造

粒調砕石を低ひずみ・高強度のジオグリッドでサンドイッチ状に3段に重ね、特殊な拘束アンカーを一定間隔で打ち込んで複合剛性層を構築します。複合剛性層は、地盤の変形に滑らかに追随するとともに車両荷重も支えます。



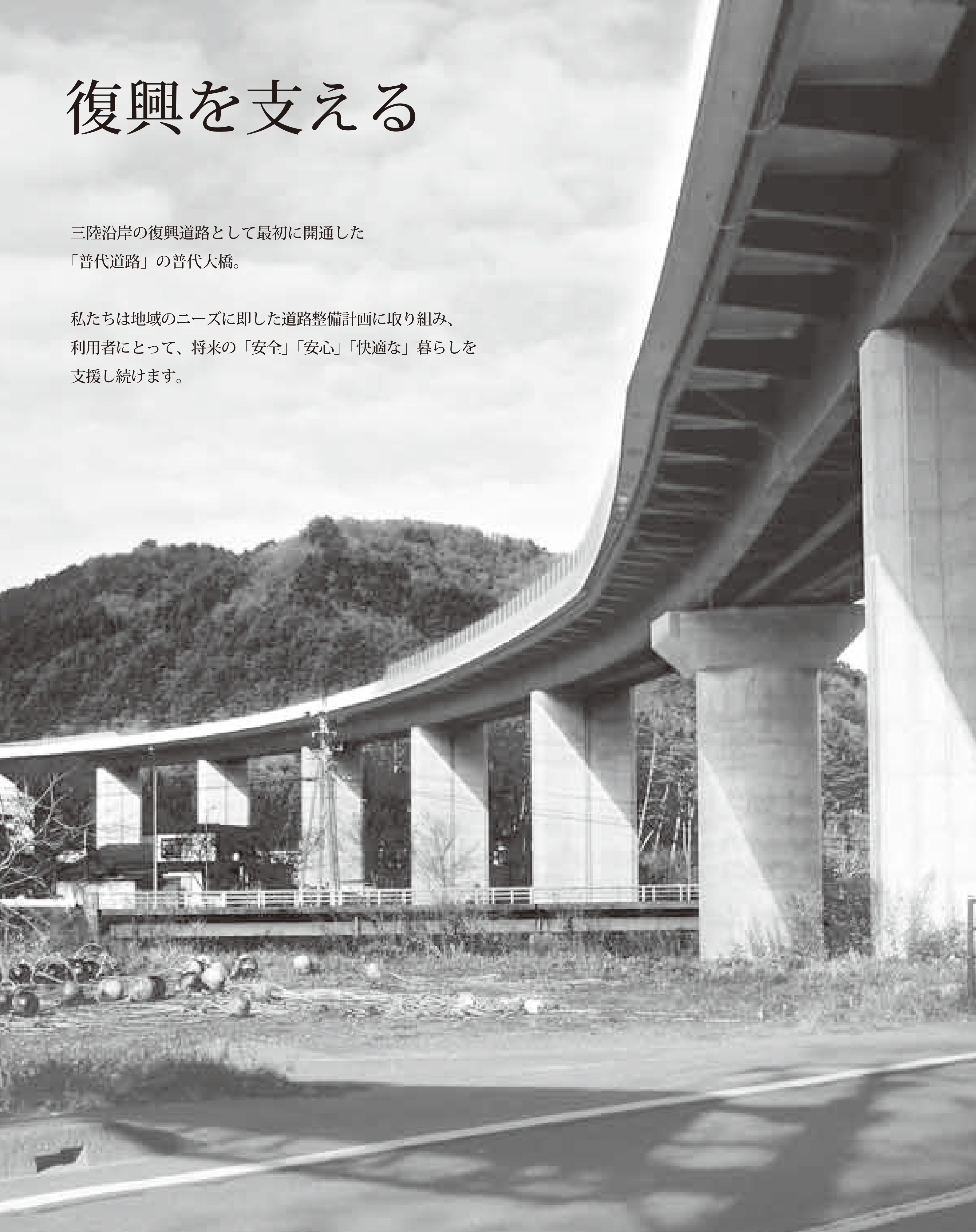
強制沈下実験 (地盤沈下量=55㎝)



※HRB工法は中央大学研究開発機構、株式会社NIPPO、前田工織株式会社が産学連携共同研究により開発した工法です(特許第5261121号)

株式会社 NIPPO

本社 東京都中央区八重洲1丁目2番16号　TGビルディング
TEL (03) 3563-6711　　http://www.nippo-c.co.jp/



株式会社オリエンタルコンサルタンツ
ORICONSUL

URL http://www.oriconsul.com
本社 / 東京都渋谷区本町三丁目12番１号 住友不動産西新宿ビル６号館
支店 / 北海道・東北・関東・北陸・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄

株式会社 大應は創業52年目を迎えます。

◎ パンフレット・ポスター・会社案内・学会誌・協会誌・記念誌・季刊誌・各種冊子
◎ アンケート印刷・集計・封入/封緘・発送業務

エコ用紙、大豆インク、そして廃材廃液を出さない、環境に配慮した最新のシステムで質と価格にこだわり提供しています。

最新のカラー印刷システムを駆使し、**工期の短縮・高品質**かつ正確で完璧な仕上がり、**低価格のカラー印刷を実現し、一層のコスト削減**にむけてサービスを展開しております。

グラフィックデザイナーと印刷オペレータが直接言葉を交わせる環境が大切です。制作部門と印刷を併設する私達は魅力的な発色にこだわっています。

その他、**高速オンデマンド印刷**で素早く安価に提供しております。
是非一度お試し下さいますようお願い申し上げます。

最先端のデジタルテクノロジー

株式会社 大 應

OFF SET オフセット印刷 / Design グラフィックデザイン / オンデマンド印刷 ON DEMAND / イベント・セミナー関連印刷 Seminar

カラー総合技術印刷・情報処理・編集加工・Web制作

たいせつにしますプライバシー 16190135

本社神田事業部
〒101-0047　東京都千代田区内神田 1-7-5
Tel 03(3292)1488　Fax 03(3292)1485
http://www.dai-oh.co.jp

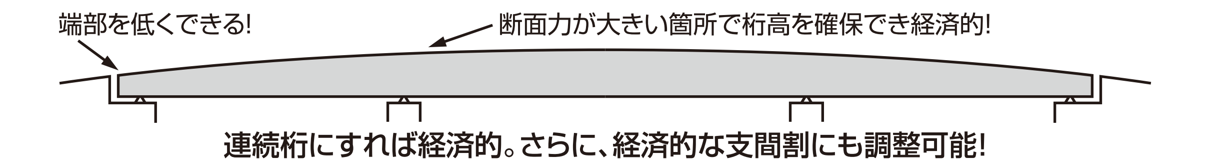
横浜事業部
〒221-0844　神奈川県横浜市神奈川区沢渡1−2 高島台第2ビル 6-F号
Tel 045 (320) 2081 (代表)　Fax 03(3292)1485

新宿営業所
〒160-0023　東京都新宿区西新宿4-1-7 三晃ビル4階
Tel 03(3375)6320

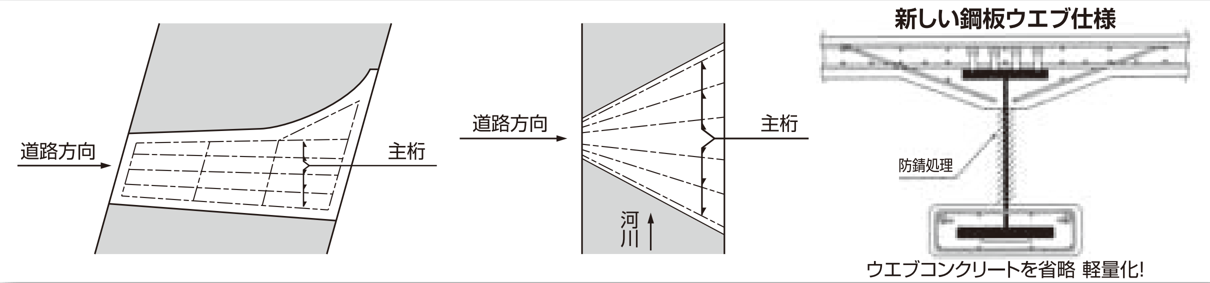
桁高変化が得意なプレビーム桁橋

● 桁剛性が高く、低い桁高が可能！　● 分割工法、連続桁が可能！

● 道路縦断に合わせ、必要な桁高に変化が可能！



● 他形式では困難とされる道路線形に対応可能！



● 鋼板ウエブ仕様で、死荷重低減・コストダウンが可能！

● 45年以上・1,000橋以上の実績があり、信頼される橋梁！

「カタログ」「設計・施工指針」「標準設計集」「設計・製作・施工要領書」「点検要領（案）」の図書販売、無料の設計計算プログラム、橋梁の実績等をホームページで公開中！

http://www.prebeam.jp

プレビーム振興会

事 務 局 〒114-0023 東京都北区滝野川 1-3-11 TEL(03)3915-5394

東北支部 〒980-0021 仙台市青葉区中央 1-6-35 TEL(022)266-8887
中部支部 〒460-0008 名古屋市中区栄 2-4-1 TEL(052)223-8211
北陸支部 〒939-1593 富山県南砺市苗島 4610 TEL(0763)22-6669
関西支部 〒550-0013 大阪市西区新町 2-4-2 TEL(06)6532-4174
九州支部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-5-19 TEL(092)431-7345

プレビーム振興会会員

- ㈱IHIインフラ建設
- ㈱安部日鋼工業
- 川田建設㈱
- 川田工業㈱
- 極東興和㈱
- コーアツ工業㈱
- 昭和コンクリート工業㈱
- ドーピー建設工業㈱
- 日本高圧コンクリート㈱
- ㈱日本ピーエス
- ㈱ピーエス三菱
- 東日本コンクリート㈱
- ㈱富士ピー・エス

賛助会員

- 協立エンジ㈱
- ㈱駒井ハルテック
- エムエム建材㈱

美しく、快適な地球環境づくりに邁進する
Environment and new energy
環境・新エネルギー
小水力・地熱発電等のクリーンエネルギー事業の展開
東南アジア諸国の地元企業と連携した生活環境改善を目指すエコ事業の展開――
Healthcare,welfare,construction
医療・福祉・建築
ITS 技術を駆使したデマンドバス事業など医療・福祉と連携した地域交通システムの整備
地域の交流と発展に寄与する新たな建築設計 ――
Improvement of country foundation
国土基盤整備
国土強靱化施策に対応する安全・安心で豊かさを実感できる国土づくりを目指して
「技術の長大」の復活と発展
世界に誇る長大橋梁技術のさらなる国外発展 ――
人・夢・技術
株式会社 長大
www.chodai.co.jp

持続型社会の基盤整備に貢献

会　　長　菅野 昇孝　　副会長　藤井 敏道

副会長　井岡 隆雄　　副会長・専務理事　上野 進一郎

一般社団法人
プレストレスト・コンクリート建設業協会　[略称] PC建協
JAPAN PRESTRESSED CONCRETE CONTRACTORS ASSOCIATION

〒162-0821　東京都新宿区津久戸町4番6号　第3都ビル
TEL.03-3260-2535　FAX.03-3260-2518
http://www.pcken.or.jp/

株式会社東京建設コンサルタント
TOKEN C. E. E. Consultants Co.,Ltd.

〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-15-6 TEL.(03)5980-2633 FAX.(03)5980-2601
http://www.tokencon.co.jp/
支社・支店 ： 東京本社、関西本社、東北支社、北陸支社、中部支社、中国支社、四国支社、九州支社、北海道支店

事業内容	河川計画、河川構造物、河川環境、水質保全、上下水道、道路、橋梁、交通、海岸、ダム、砂防、港湾、環境アセスメント、観測技術、模型実験、都市・地域計画、事業執行マネジメント、防災、LCM、機械電気設備技術、情報通信技術、測量・地質調査、施工管理、建築設計

人を想い
社会を創る

人々の暮らしに想いを馳せ、技術の力を発揮することが私たちの使命です。
安全なインフラ整備で社会を支え、安心して暮らせるように。
道路や橋を人々が行き交い、豊かに発展できるように。
自然環境とも調和し、潤いのある生活が広がるように。

私たちは日本で最初の建設コンサルタントとして、
70年以上にわたってこの想いのもと、歩んできました。
そして、これからも。
高い技術とあふれる英知で、
安心して暮らせる明るい社会を創り続けます。

世界に誇れる技術と英知で、安全で潤いのある豊かな社会づくりに挑戦する

CTi 株式会社 建設技術研究所

〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町3-21-1（日本橋浜町Fタワー） TEL.03-3668-0451 http://www.ctie.co.jp/

パシフィックコンサルタンツ株式会社

土木と建築の調和が、ワクワクする未来を形作る。

広島市中心部と郊外を結ぶアストラムラインの新駅「新白島駅」と
JR山陽本線が交差する場所に、新たに生まれたシンボリックな水玉の駅舎。
設計事務所が描くクリエイティブな図面を、リアルな構造物として実現させるため
弊社は全体の詳細設計と地下の土木構造物を担当しました。
乗り換え駅としてだけではなく、自然の光や風を感じられる開放的な空間が
人々をやわらかく迎え、賑わいをもたらしています。
社会インフラを担う企業として、私たちはこれからもまちづくりをプロデュースします。

Pacific Consultants

Producing The Future™